

東大和市
子ども・若者・子育て支援ニーズ調査
調査結果報告書

令和6年5月

東 大 和 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	未就学児・小学生	2
	(1) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	2
	(2) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	7
	(3) 宛名のお子さんの平日の日常的な教育・保育等の利用状況について	28
	(4) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	43
	(5) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「日常的」な教育・保育等の利用希望について	58
	(6) 宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育等を利用している方のみ）	62
	(7) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育等の利用について	79
	(8) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	95
	(9) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	120
	(10) ご家庭での生活の様子について	133
	(11) ヤングケアラーについて	139
	(12) ご家庭の経済状況について	141
	(13) 子育て全般について	148
	(14) 子どもの権利について	177
	(15) 公共施設・関係機関や政策等について	180
2	中学生・高校生	192
	(1) あなたの事について	192
	(2) あなたと親（保護者）の関係について	207
	(3) 学校や友人について	212
	(4) 放課後や休日について	231
	(5) あなたの将来について	240
	(6) 子どもの権利について	249

(7) ヤングケアラーについて	258
(8) 社会環境について	263
(9) 最後に	269
3 若者	277
(1) 回答者属性	277
(2) あなたの、普段の生活について	278
(3) あなたの、現在の人間関係や悩み事について	282
(4) 仕事に関することについて	286
(5) 結婚・将来のことについて	289
(6) あなた自身のことについて	296
(7) 公共施設・関係機関や政策について	298
Ⅲ 自由回答・自由意見	300
1 未就学児保護者	300
(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について	300
(2) 保育園について	302
(3) 幼稚園について	304
(4) 学童保育・ランドセル来館について	304
(5) 学校について	305
(6) 放課後子ども教室について	307
(7) 児童館について	307
(8) 公園・遊び場について	308
(9) 母子保健・医療について	309
(10) 病児・病後児保育・障害児等について	311
(11) 子育て制度・行政等について	312
(12) その他	317
2 小学生保護者	320
(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について	321
(2) 保育園について	321
(3) 幼稚園について	321
(4) 学童保育・ランドセル来館について	321
(5) 学校について	323
(6) 放課後子ども教室について	325
(7) 児童館について	326
(8) 公園・遊び場について	326
(9) 母子保健・医療について	327
(10) 病児・病後児保育・障害児等について	328
(11) 子育て制度・行政等について	329
(12) その他	333
3 中学生	336
(1) 学校生活について	336

(2) 学校外での活動等	336
(3) 学校施設等について	337
(4) 市のまちづくり	337
(5) その他	338
4 高校生	340
(1) 学校生活について	340
(2) 学校外での活動等	340
(3) 学校施設等について	340
(4) 市のまちづくり	340
(5) その他	341
5 若者	342
(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について	342
(2) 保育園について	342
(3) 幼稚園について	342
(4) 学童保育について	342
(5) 学校について	342
(6) 児童館について	343
(7) 公園・遊び場について	343
(8) 母子保健・医療について	343
(9) 病児・病後児保育・障害児保育等について	343
(10) 子育て制度・行政等について	343
(11) その他	344
IV 調査票	346
1 未就学児保護者	346
2 小学生保護者	361
3 中学生	370
4 高校生	382
5 若者	395

I 調査の概要

1 調査の目的

「東大和市子ども・子育て未来プラン」の策定に向けて、市民の皆様の生活実態やご要望・ご意見等を把握し、今後の計画に反映させるための基礎資料とするものです。

2 調査対象（令和5年12月1日時点で東大和市在住の方）

未就学児の保護者、小学生の保護者、中学生、18～39歳の若者：無作為抽出
高校生世代：全員

3 調査期間

令和6年2月14日から令和6年3月4日まで

4 調査方法

郵送配布・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
未就学児	1,800 通	757 通 (うち WEB 368 通)	42.1%
小学生	1,600 通	657 通 (うち WEB 315 通)	41.1%
中学生	1,400 通	424 通 (うち WEB 169 通)	30.3%
高校生	2,339 通	218 通 (うち WEB 218 通)	9.3%
若者	1,000 通	199 通 (うち WEB 98 通)	19.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります（クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。）。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、分析コメントは回答件数による表記としています。
- ・前回調査に同一の設問がある場合は、経年比較の形式で表示しています。

Ⅱ 調査結果

1 未就学児・小学生

(1) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問 お住まいの地区をお聞きます。(○は1つだけ)
(未就学児：問1、小学生：問1)

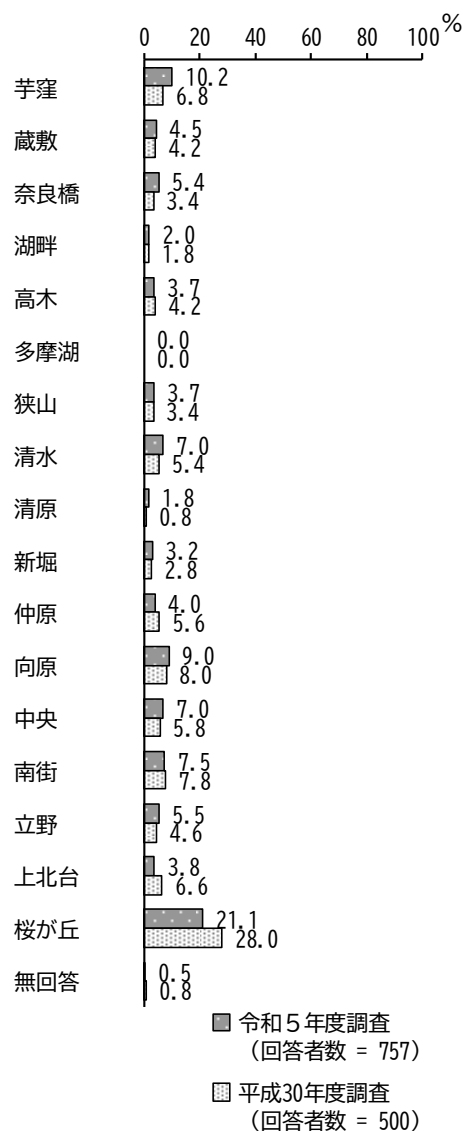
未就学児では、「桜が丘」の割合が21.1%と最も高く、次いで「芋窪」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「桜が丘」の割合が減少しています。

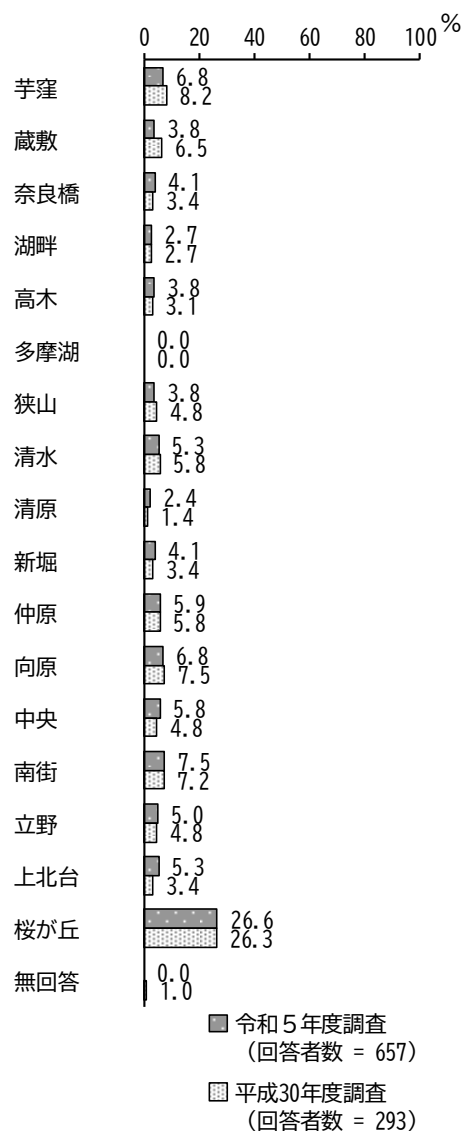
小学生では、「桜が丘」の割合が26.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(元号に○をつけ、□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)(未就学児：問2、小学生：問2)

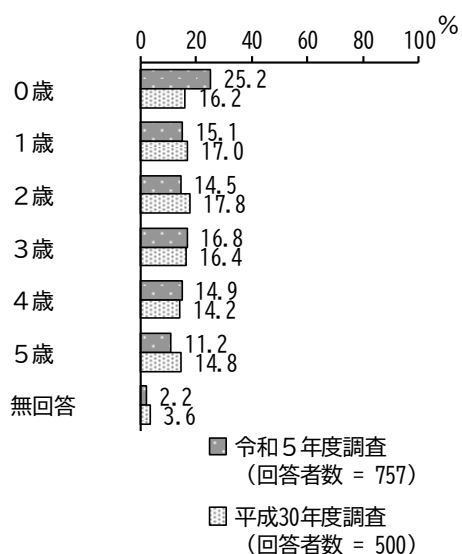
子どもの年齢として、未就学児では、「0歳」の割合が25.2%と最も高く、次いで「3歳」の割合が16.8%、「1歳」の割合が15.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が増加しています。

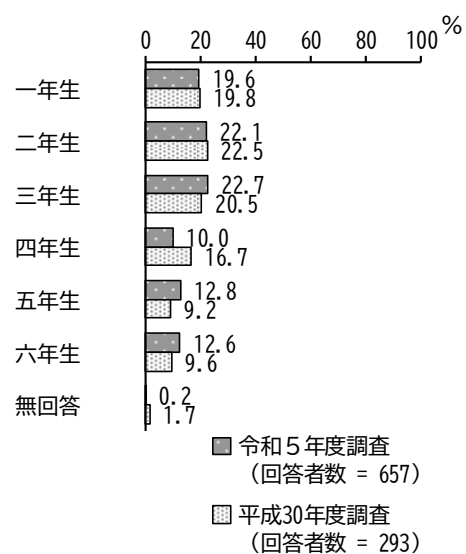
小学生では、「三年生」の割合が22.7%と最も高く、次いで「二年生」の割合が22.1%、「一年生」の割合が19.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「四年生」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。（未就学児：問3、小学生：問3）

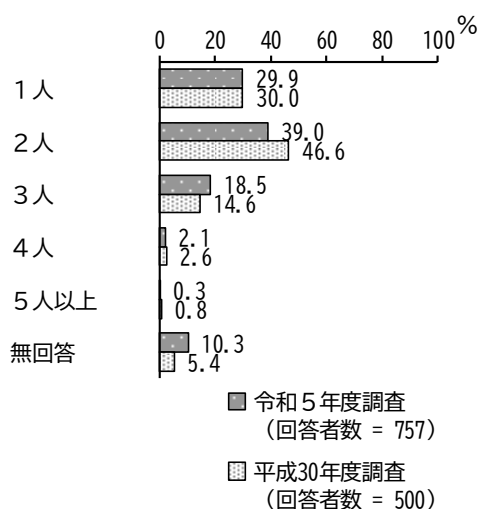
きょうだいの人数として、未就学児では、「2人」の割合が39.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が29.9%、「3人」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2人」の割合が減少しています。

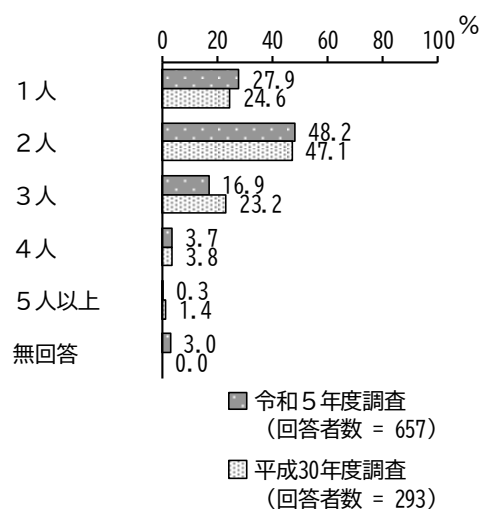
小学生では、「2人」の割合が48.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が27.9%、「3人」の割合が16.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3人」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



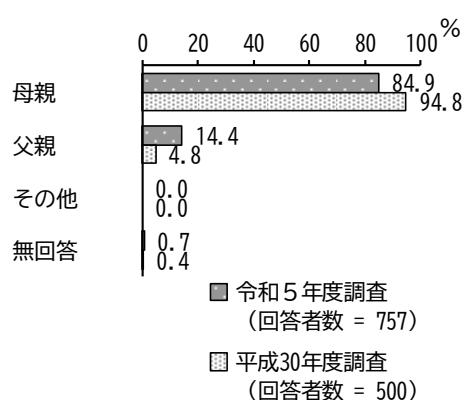
問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお聞きます。（○は1つだけ）（未就学児：問4、小学生：問4）

回答者の属性として、未就学児では、「母親」の割合が84.9%、「父親」の割合が14.4%となっています。

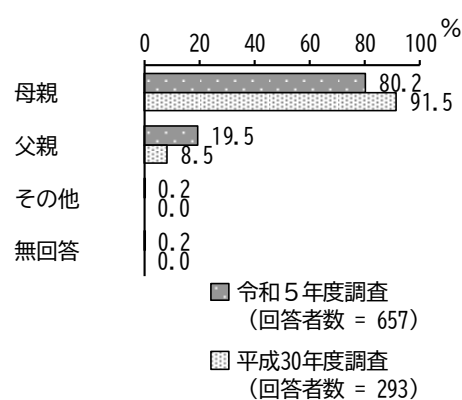
小学生では、「母親」の割合が80.2%、「父親」の割合が19.5%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



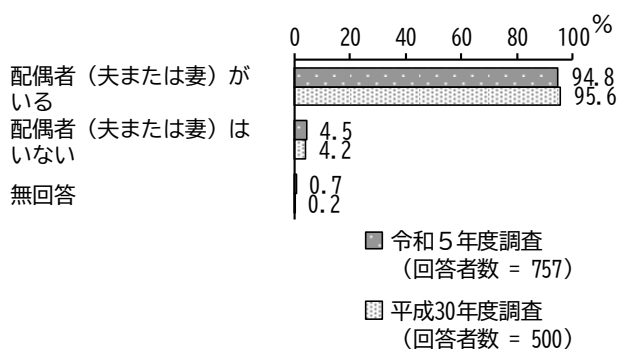
問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお聞きします。
(○は1つだけ) (未就学児：問5、小学生：問5)

回答者の配偶者関係として、未就学児では、「配偶者（夫または妻）がいる」の割合が 94.8%、「配偶者（夫または妻）はいない」の割合が 4.5%となっています。

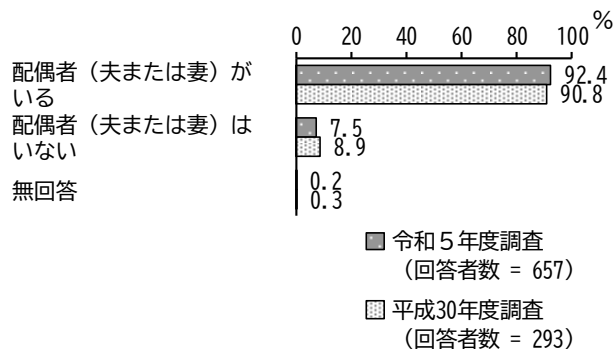
小学生では、「配偶者（夫または妻）がいる」の割合が 92.4%、「配偶者（夫または妻）はいない」の割合が 7.5%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



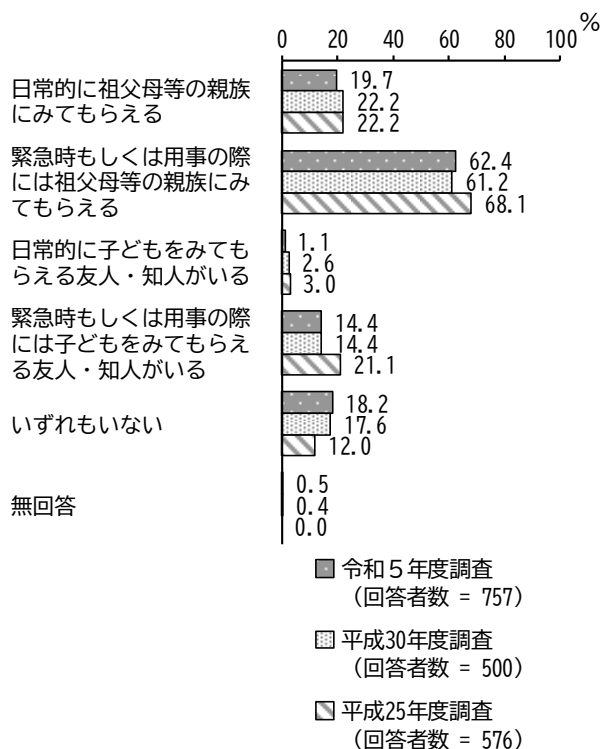
【小学生】



問 父母以外で、宛名のお子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。
(○はいくつでも) (未就学児：問6)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 19.7%、「いずれもない」の割合が 18.2%となっています。

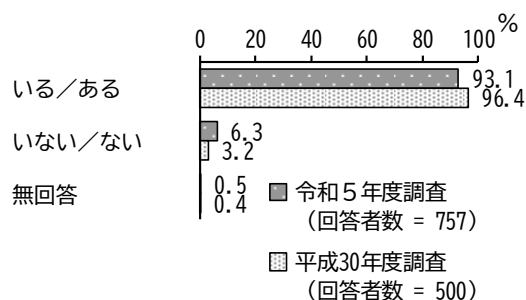
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（○は1つだけ）（未就学児：問7）

「いる／ある」の割合が 93.1%、「いない／ない」の割合が 6.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

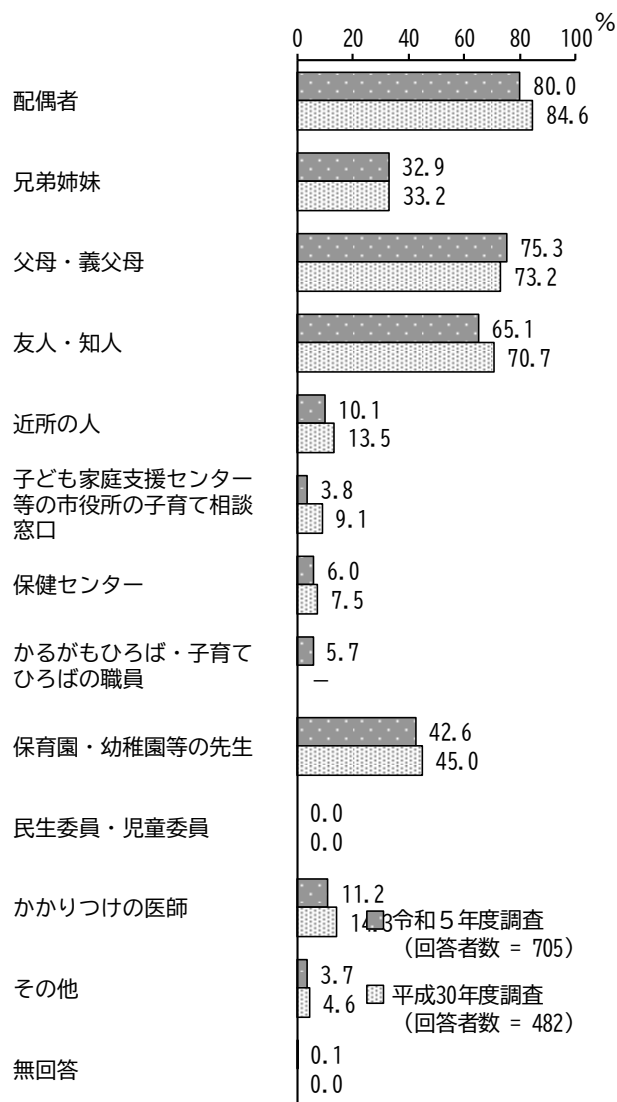


問7で「1. いる／ある」と答えた方にお聞きします。

問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。回答いただいている方との関係でお答えください。（○はいくつでも）（未就学児：問7-1）

相談先として、「配偶者」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「父母・義父母」の割合が 75.3%、「友人・知人」の割合が 65.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人・知人」「子ども家庭支援センター等の市役所の子育て相談窓口」の割合が減少しています。



※前回調査では、「かるがもひろば・子育てひろばの職員」の選択肢はありませんでした。

(2) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 宛名のお子さんの保護者（父母または養育者ともに）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお聞きます。（○は1つだけ）
（未就学児：問8、小学生：問6）

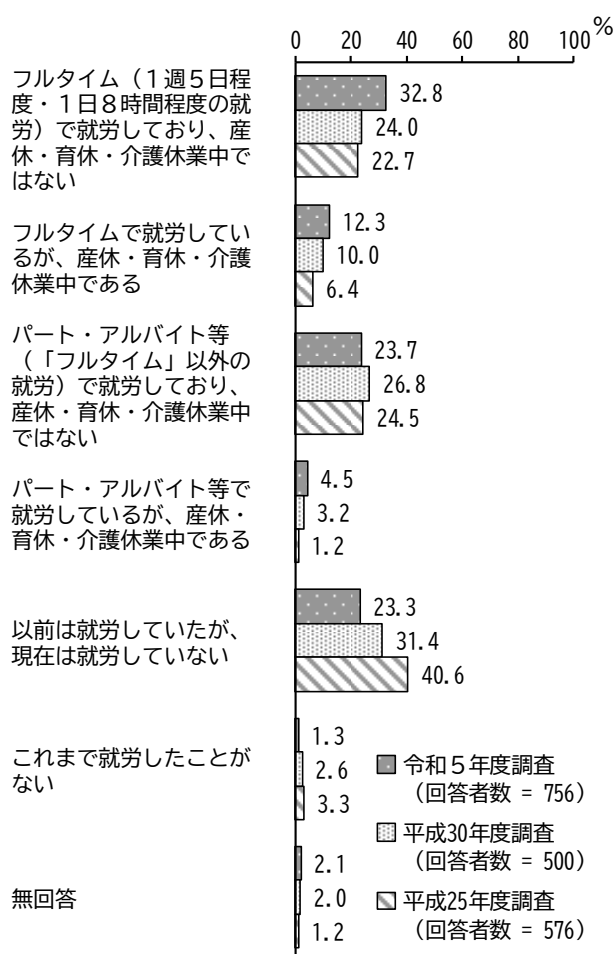
(1) 母親

未就学児では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が32.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が23.7%、となっています。

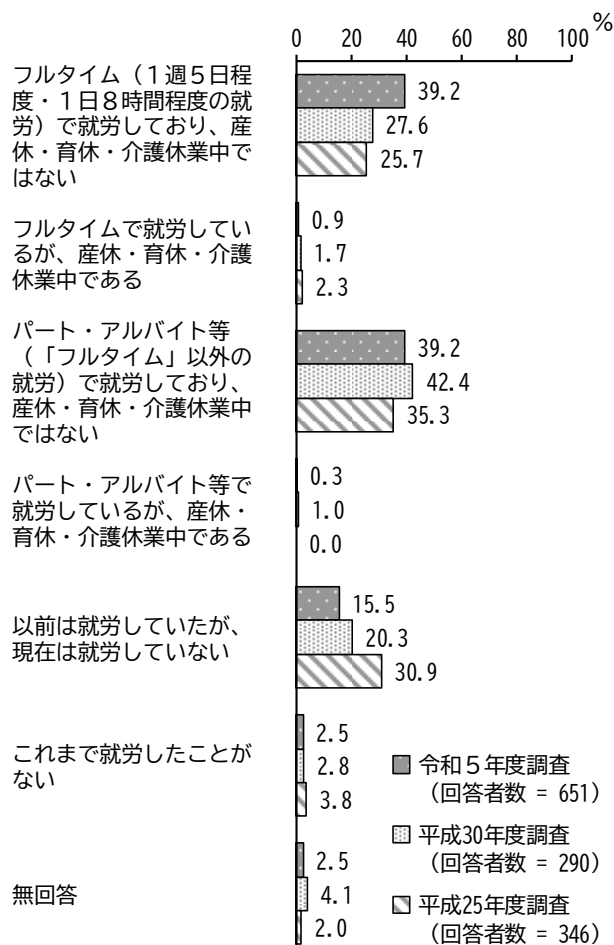
小学生では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が15.5%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



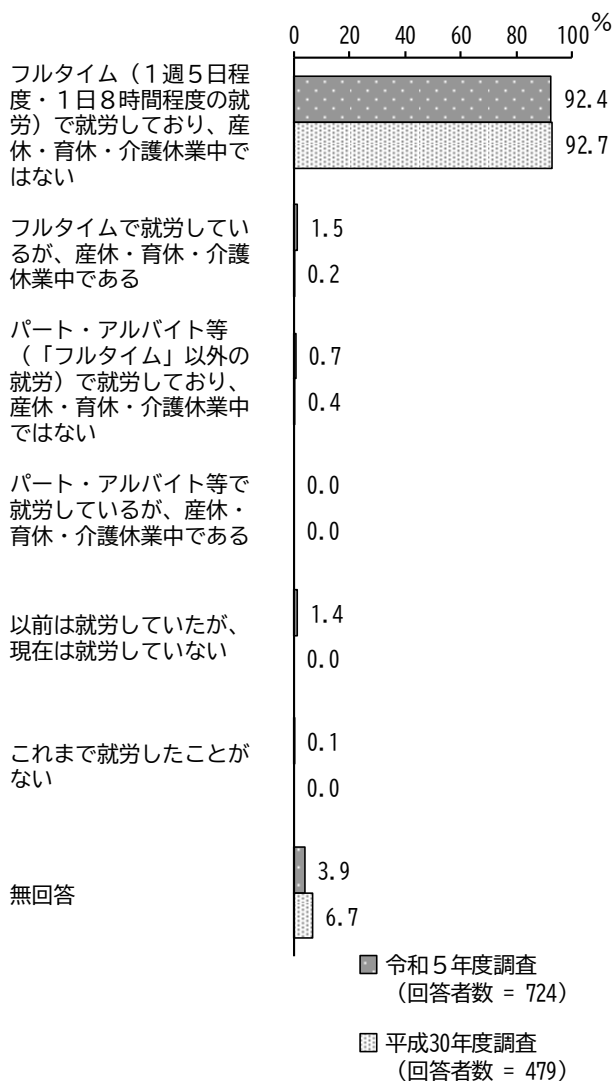
(2) 父親

未就学児では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が92.4%と最も高くなっています。

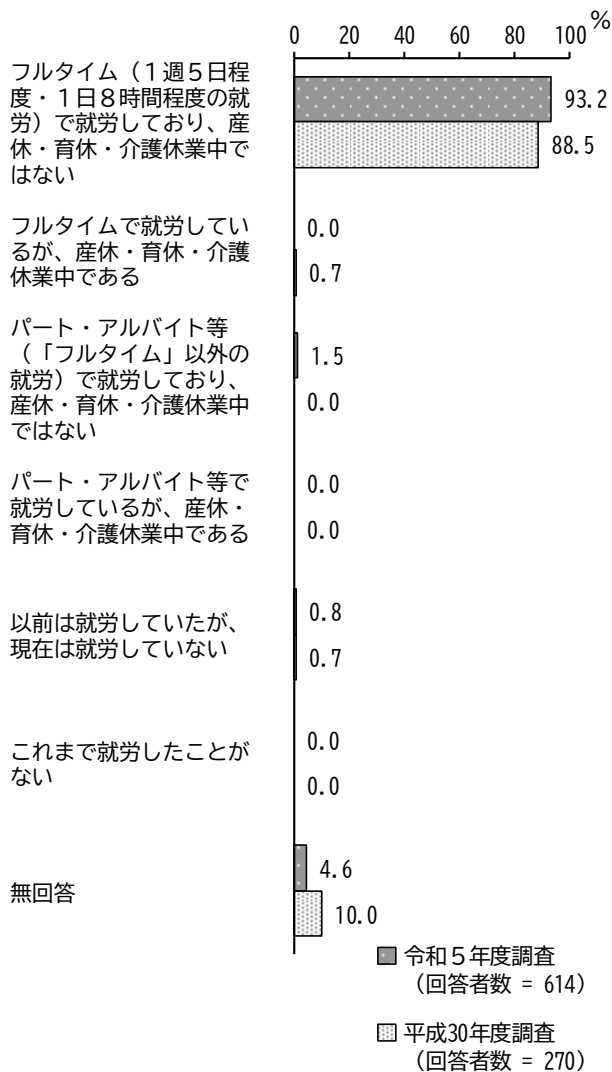
小学生では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が93.2%と最も高くなっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問8（問6）で「1～4」（就労している）のいずれかと答えた方にお聞きます。

問 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお聞きます。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお聞きます。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお聞きます。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）
（未就学児：問8－1、小学生：問6－1）

（1）母親

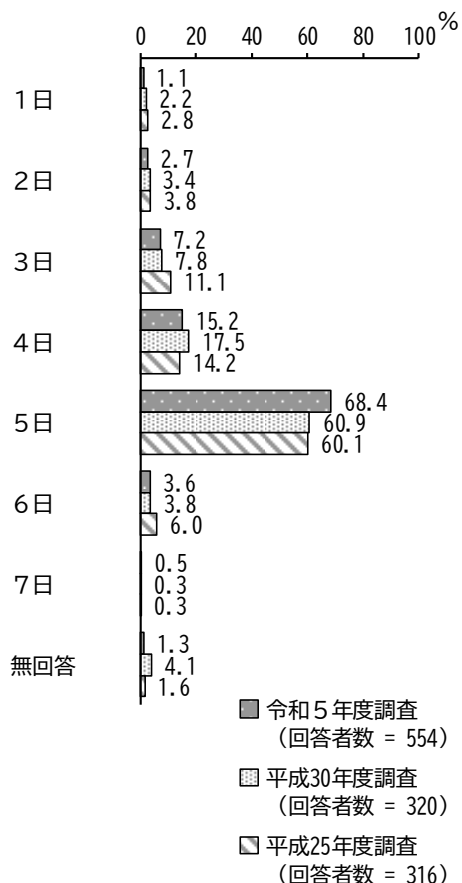
1 週当たりの「就労日数」

未就学児では、「5日」の割合が68.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が15.2%となっています。

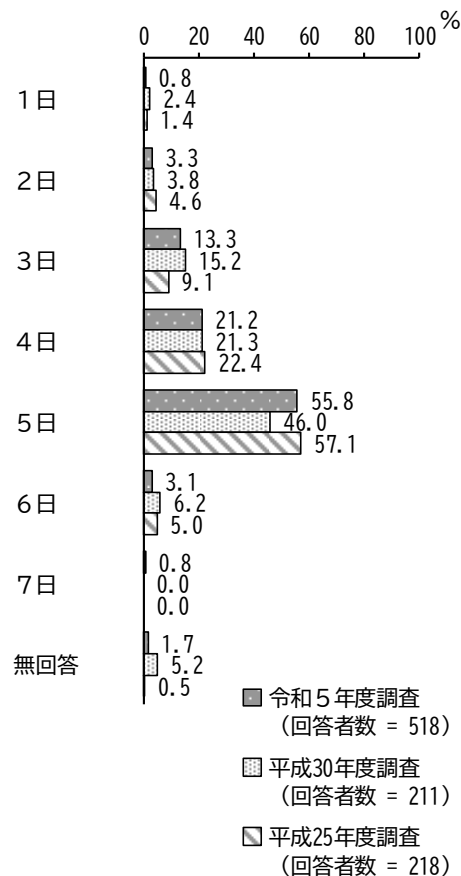
小学生では、「5日」の割合が55.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が21.2%、「3日」の割合が13.3%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

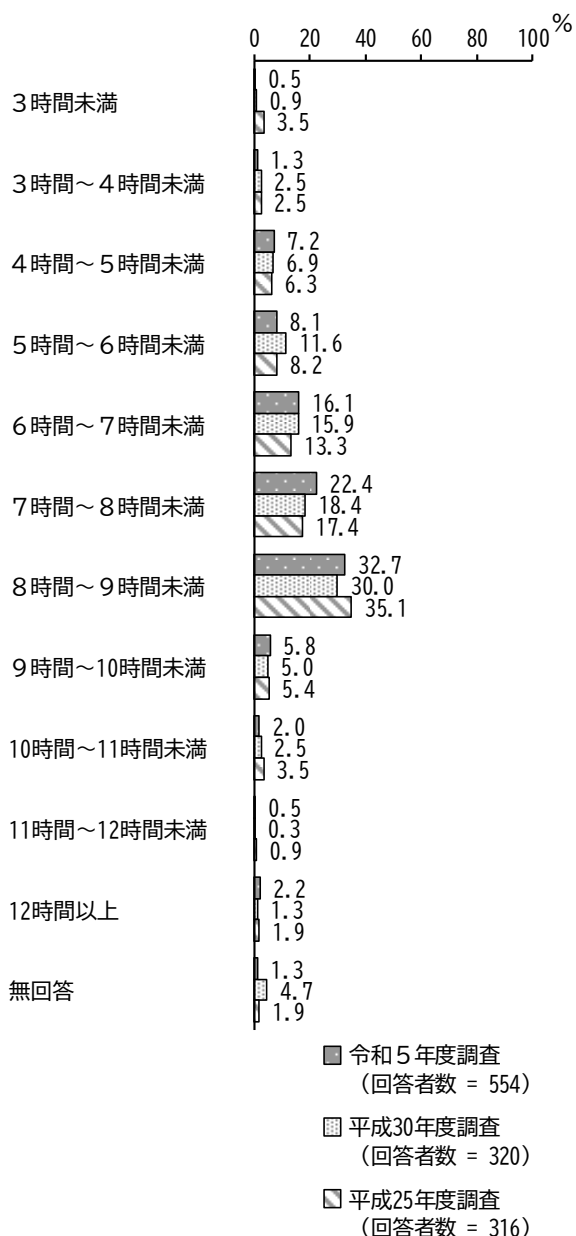
未就学児では、「8時間～9時間未満」の割合が32.7%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が22.4%、「6時間～7時間未満」の割合が16.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

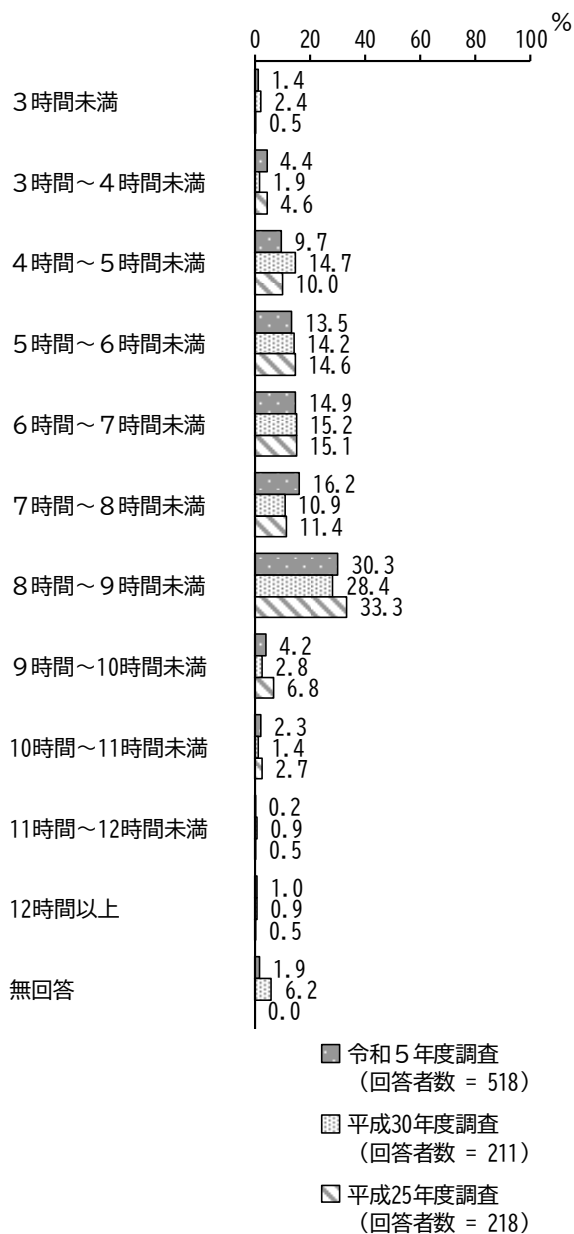
小学生では、「8時間～9時間未満」の割合が30.3%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が16.2%、「6時間～7時間未満」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時間～8時間未満」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



(2) 父親

1週当たりの「就労日数」

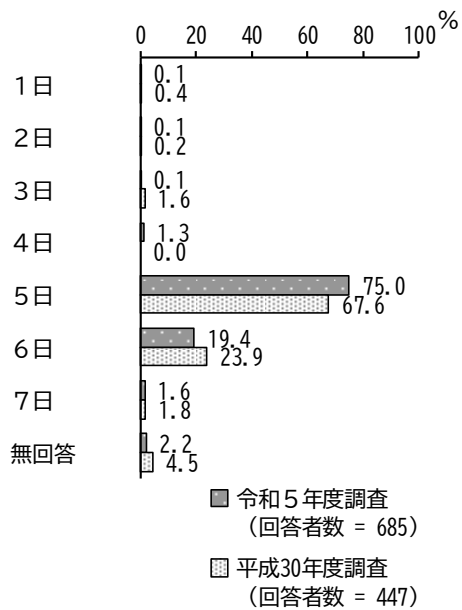
未就学児では、「5日」の割合が75.0%と最も高く、次いで「6日」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。

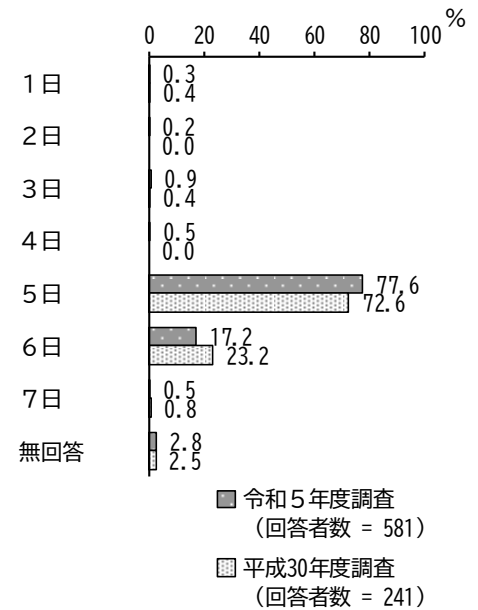
小学生では、「5日」の割合が77.6%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



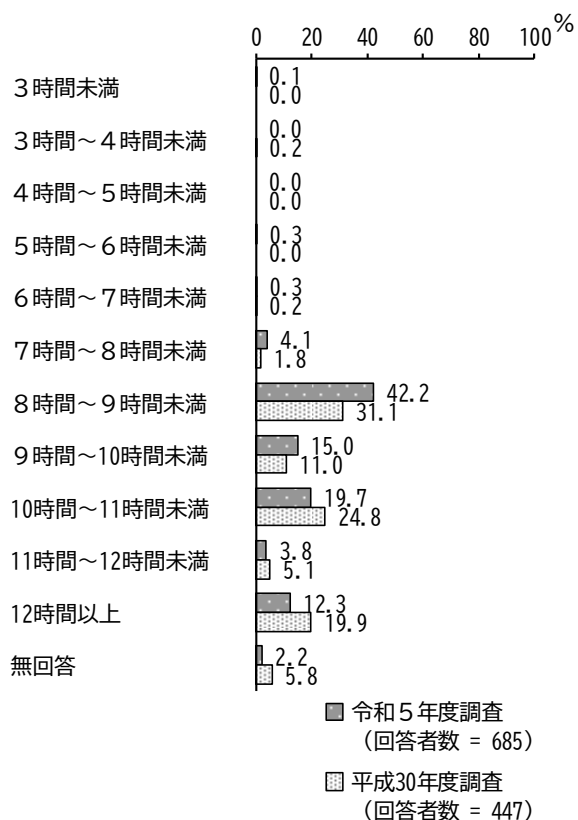
1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

未就学児では、「8時間～9時間未満」の割合が42.2%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が19.7%、「9時間～10時間未満」の割合が15.0%となっています。

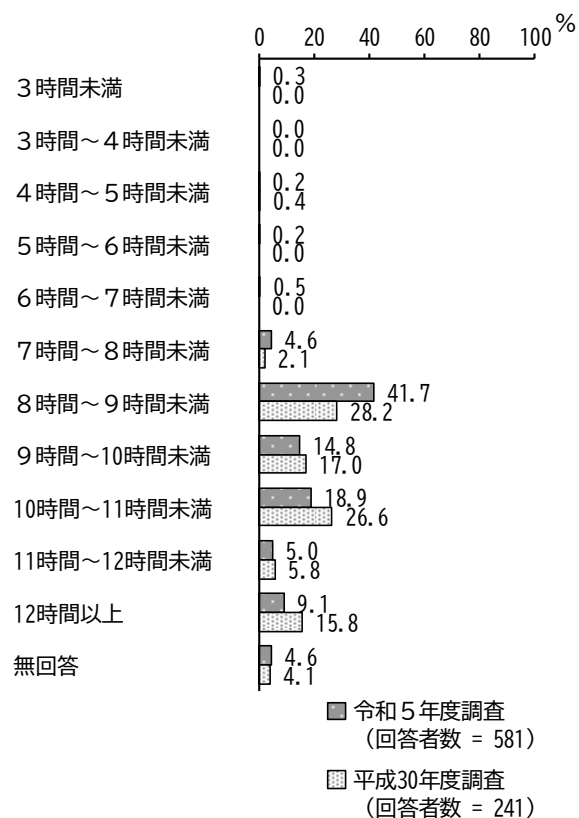
小学生では、「8時間～9時間未満」の割合が41.7%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が18.9%、「9時間～10時間未満」の割合が14.8%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～11時間未満」「12時間以上」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 家を出る時刻と帰宅時刻をお聞きます。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお聞きます。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお聞きます。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）
（未就学児：問8－2、小学生：問6－2）

（１）母親

①家を出る時刻

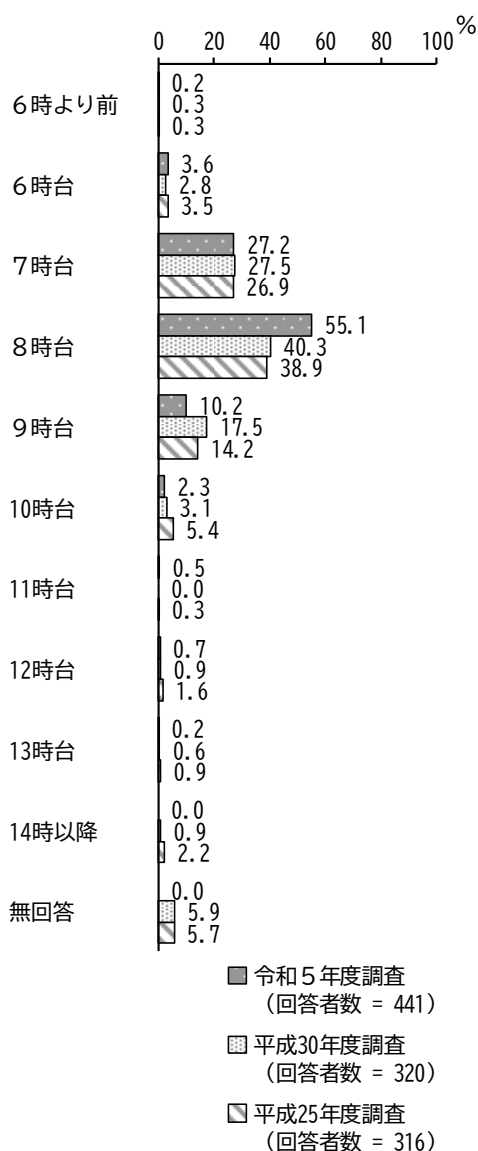
未就学児では、「8時台」の割合が55.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が27.2%、「9時台」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。

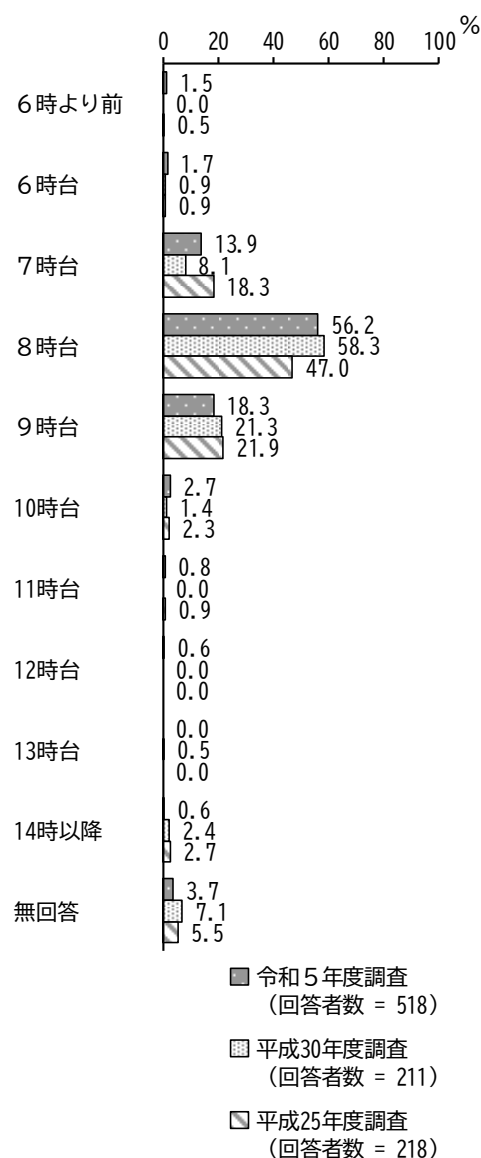
小学生では、「8時台」の割合が56.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が18.3%、「7時台」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



②帰宅時刻

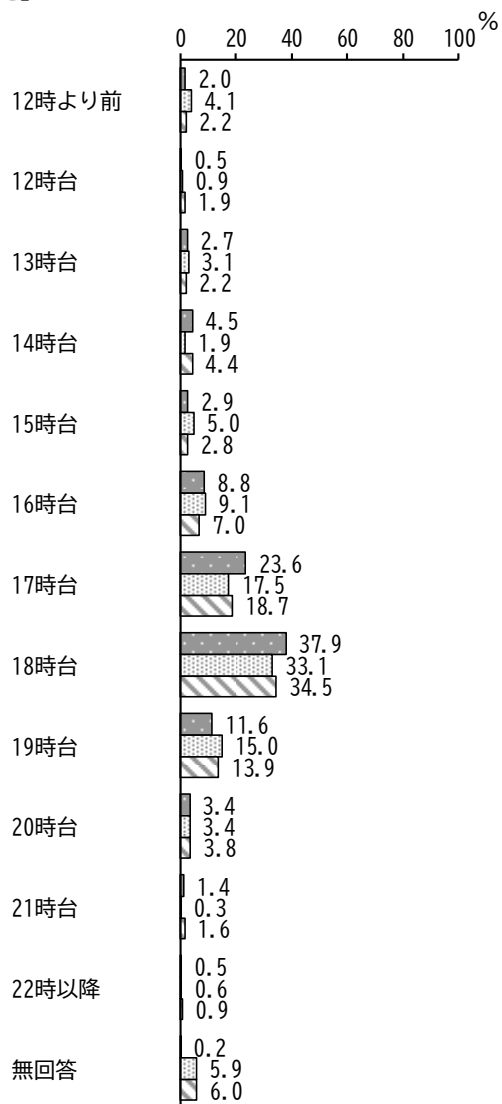
未就学児では、「18 時台」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.6%、「19 時台」の割合が 11.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。

小学生では、「18 時台」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 16.4%、「19 時台」の割合が 13.1%となっています。

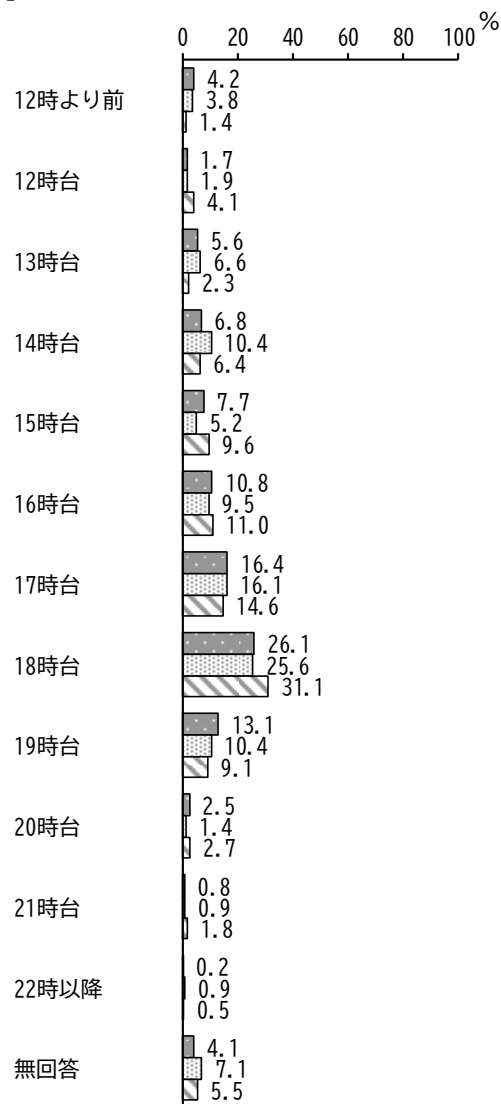
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 441)
 ■ 平成30年度調査
(回答者数 = 320)
 ■ 平成25年度調査
(回答者数 = 316)

【小学生】

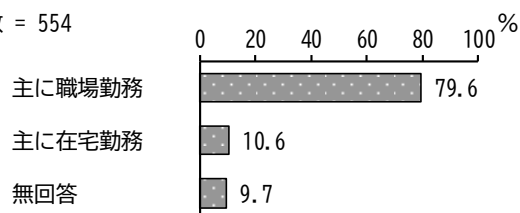


■ 令和5年度調査
(回答者数 = 518)
 ■ 平成30年度調査
(回答者数 = 211)
 ■ 平成25年度調査
(回答者数 = 218)

③勤務場所（未就学児）

「主に職場勤務」の割合が79.6%、「主に在宅勤務」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 554



（２）父親

①家を出る時刻

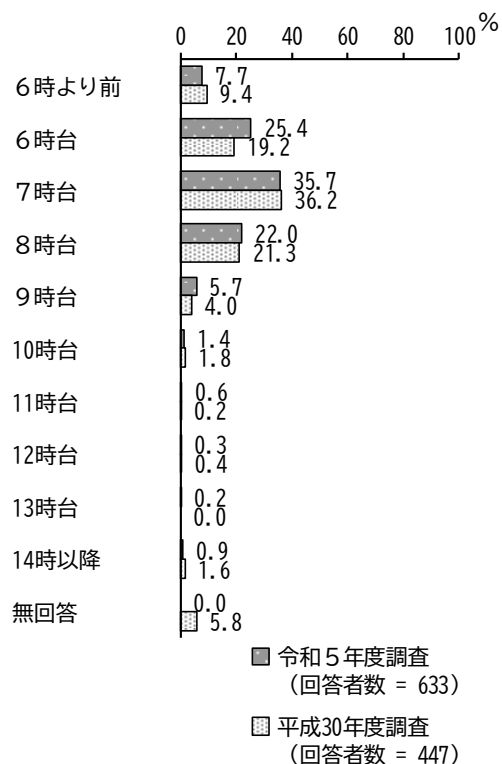
未就学児では、「7時台」の割合が35.7%と最も高く、次いで「6時台」の割合が25.4%、「8時台」の割合が22.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6時台」の割合が増加しています。

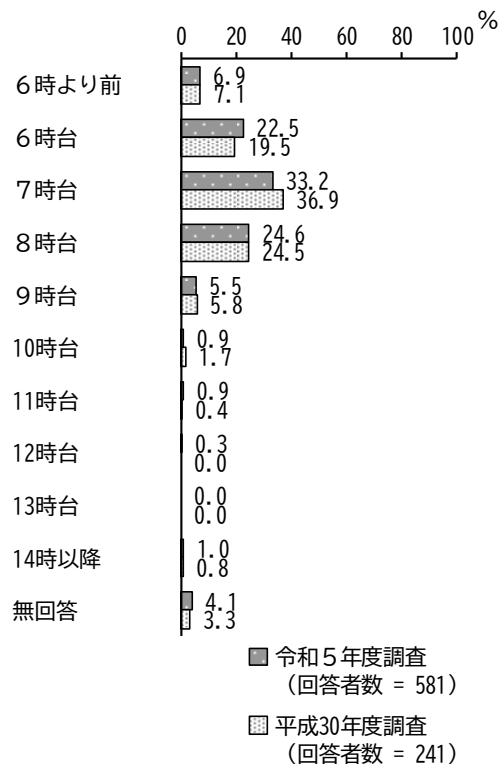
小学生では、「7時台」の割合が33.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が24.6%、「6時台」の割合が22.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



②帰宅時刻

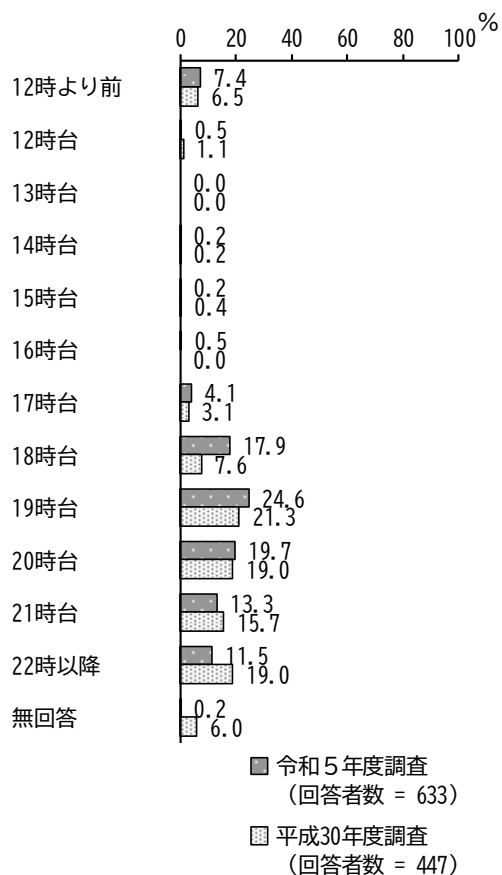
未就学児では、「19 時台」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 19.7%、「18 時台」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「22 時以降」の割合が減少しています。

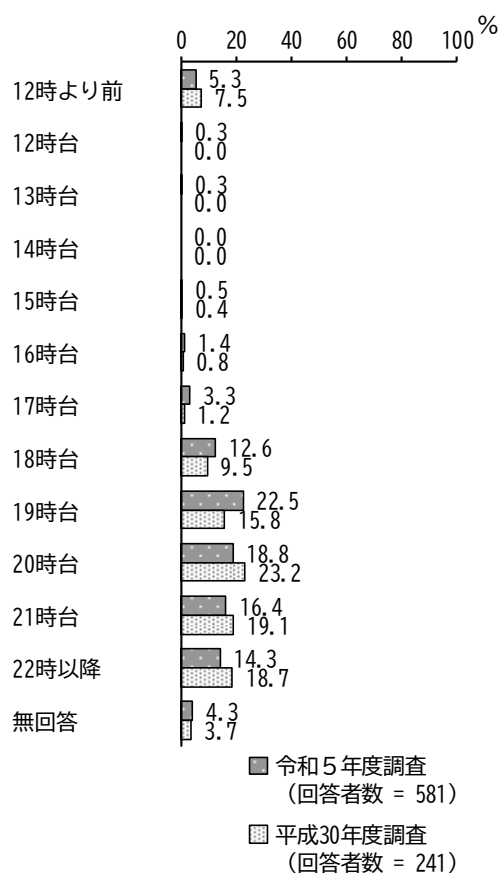
小学生では、「19 時台」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 18.8%、「21 時台」の割合が 16.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「19 時台」の割合が増加しています。

【未就学児】



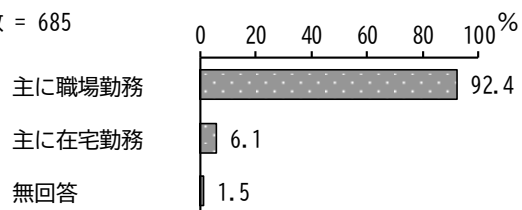
【小学生】



③勤務場所（未就学児）

「主に職場勤務」の割合が 92.4%、「主に在宅勤務」の割合が 6.1%となっています。

回答者数 = 685



問8（問6）で「1～4」（就労している）、「5」（以前は就労していたが、現在は就労していない）のいずれかと答えた方にお聞きます。

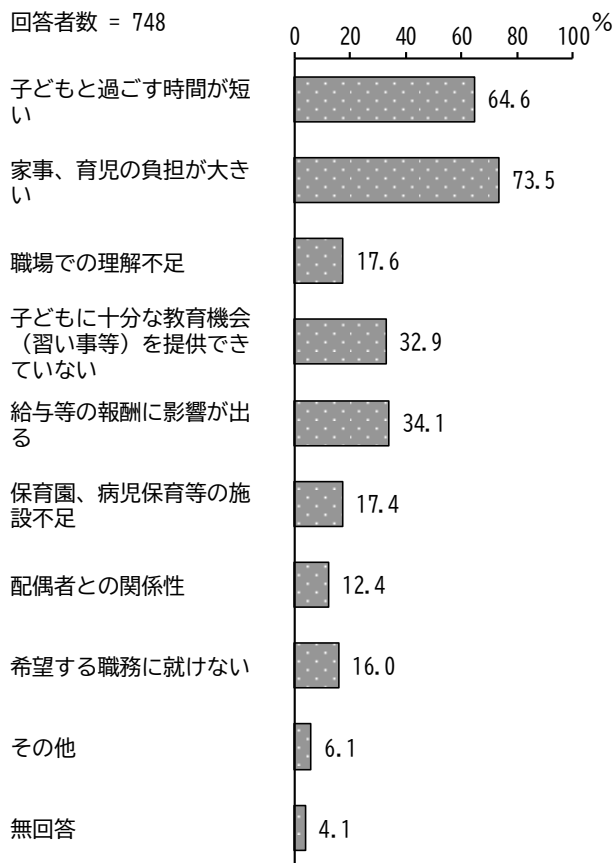
問 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか。（○はいくつでも）
（未就学児：問8－3、小学生：問6－3）

未就学児では、「家事、育児の負担が大きい」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が短い」の割合が 64.6%、「給与等の報酬に影響が出る」の割合が 34.1%となっています。

小学生では、「家事、育児の負担が大きい」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が短い」の割合が 57.2%、「子どもに十分な教育機会（習い事等）を提供できていない」の割合が 26.1%となっています。

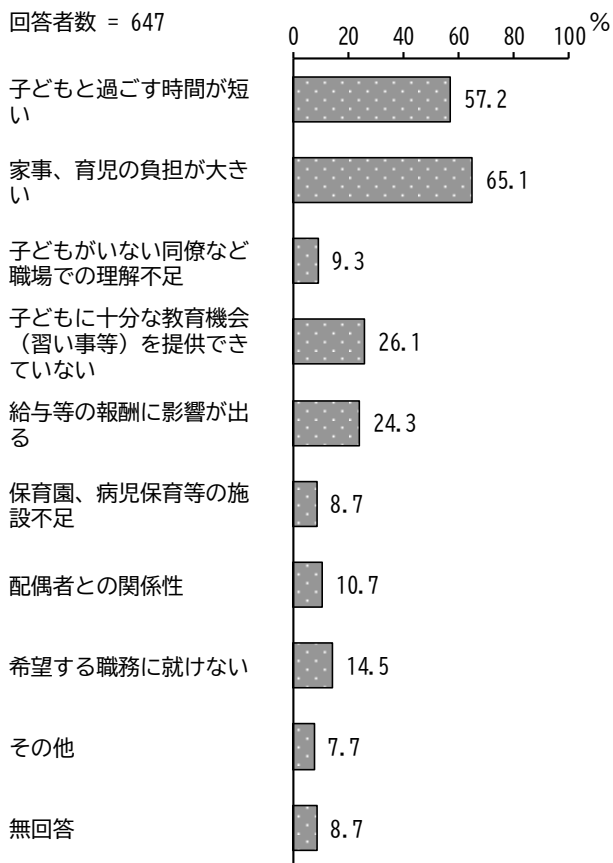
【未就学児】

回答者数 = 748



【小学生】

回答者数 = 647



問8（問6）で「3～4」（パート・アルバイト等で就労している）のいずれかと答えた方にお聞きします。該当しない方は、問7（問9）へお進みください。

問 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つだけ）
（未就学児：問8－4、小学生：問6－4）

（1）母親

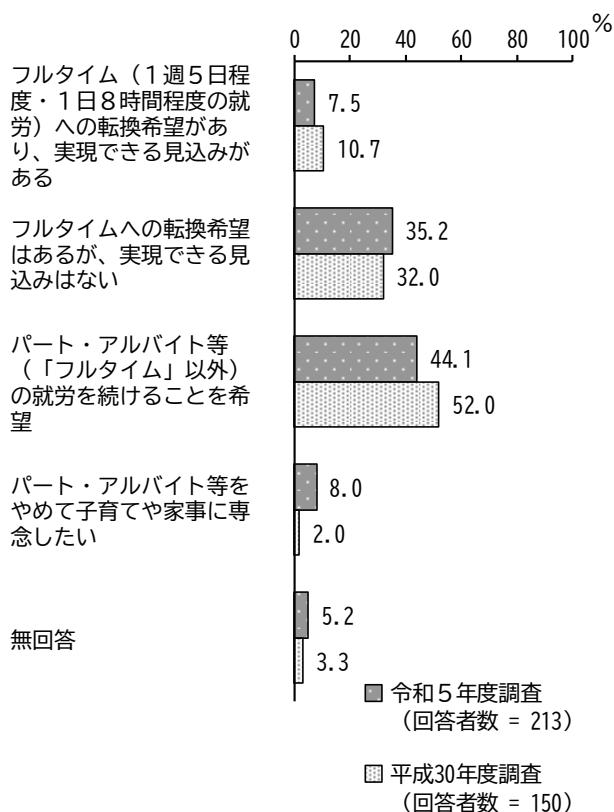
未就学児では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が44.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が35.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

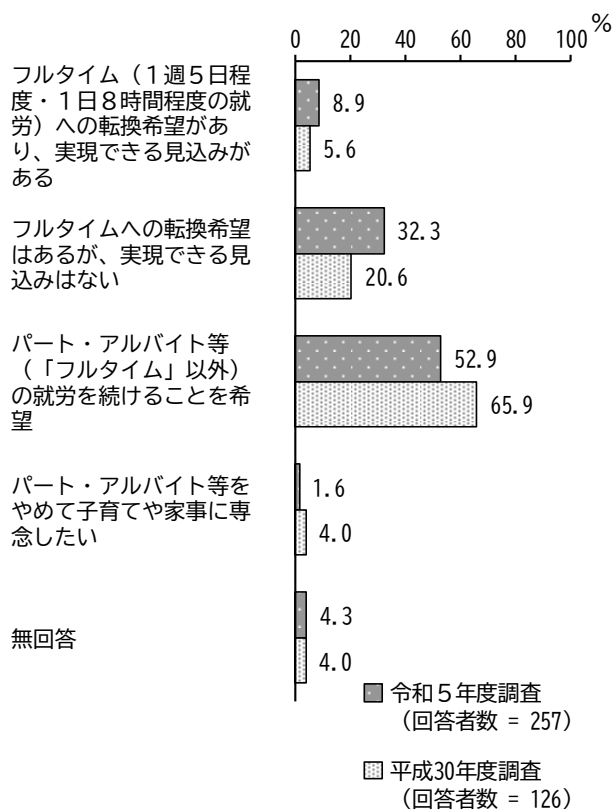
小学生では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が52.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が32.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

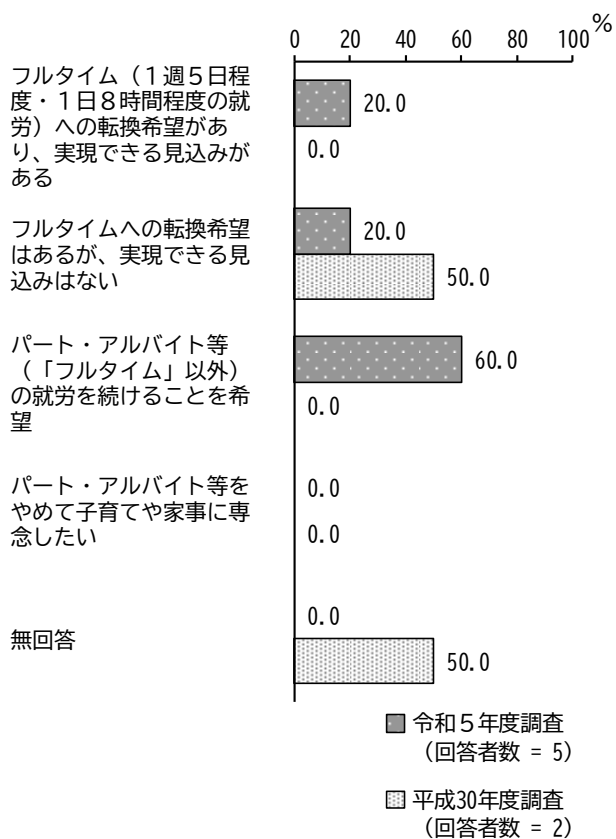


(2) 父親

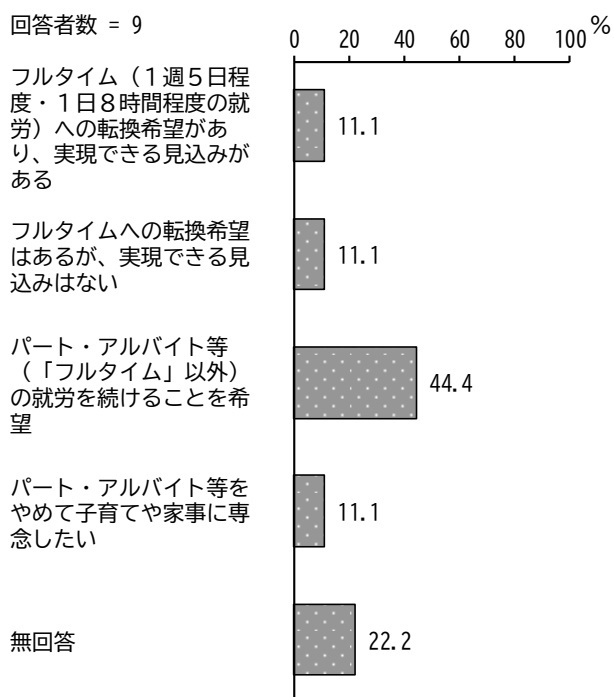
未就学児では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が3件となっています。「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ1件となっています。

小学生では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が4件となっています。「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」がそれぞれ1件となっています。

【未就学児】



【小学生】



問8（問6）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と答えた方にお聞きします。該当しない方は、問9（問7）へお進みください。

問 就労したいという希望はありますか。（○は1つだけ。該当する□内には数字をご記入ください。数字は一枠に一字）（未就学児：問8－5、小学生：問6－5）

（1）母親

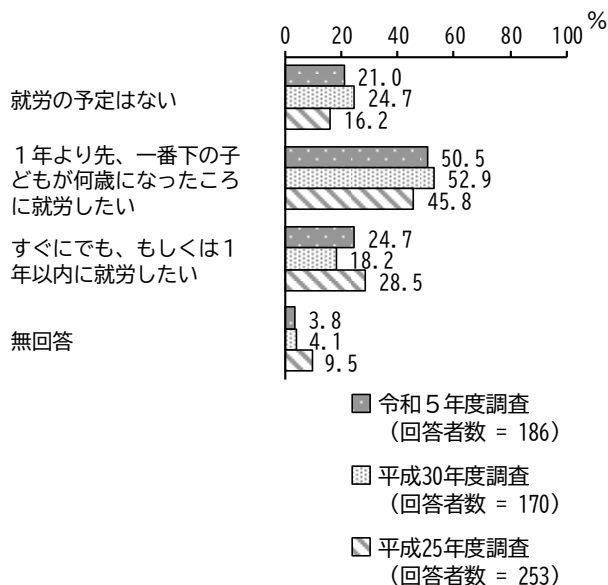
未就学児では、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が50.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.7%、「就労の予定はない」の割合が21.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。

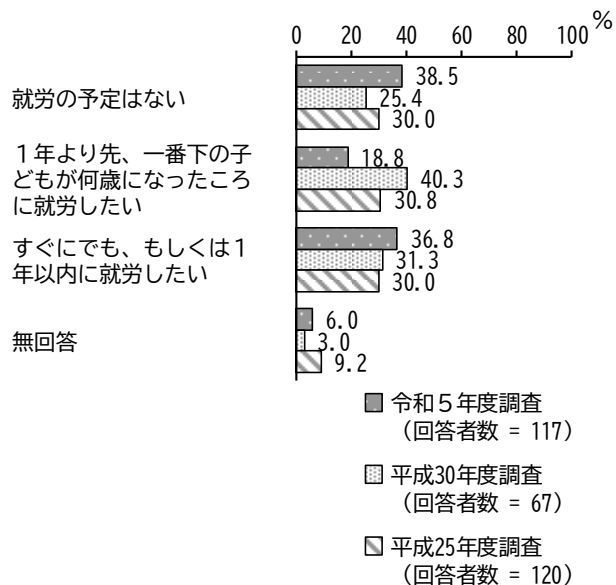
小学生では、「就労の予定はない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が36.8%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「就労の予定はない」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



2. 「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の回答について

①就労希望時の一番下の子どもの年齢

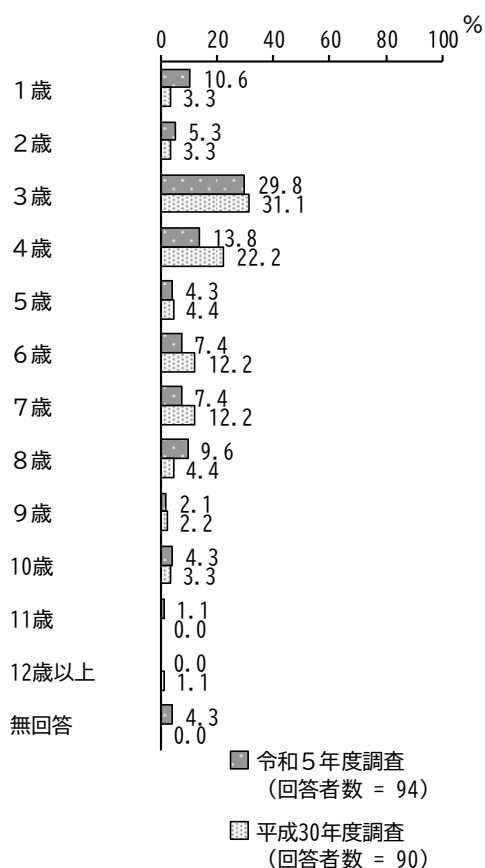
未就学児では、「3歳」の割合が29.8%と最も高く、次いで「4歳」の割合が13.8%、「1歳」の割合が10.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」「8歳」の割合が増加しています。一方、「4歳」の割合が減少しています。

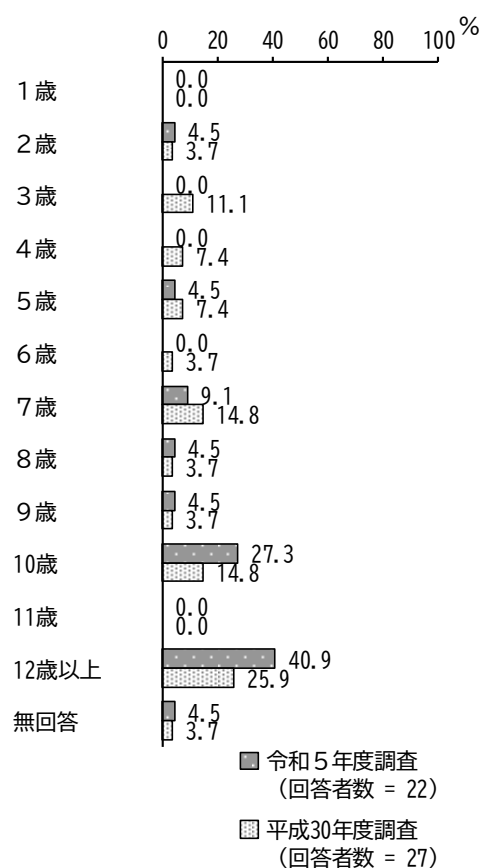
小学生では、「12歳以上」の割合が40.9%と最も高く、次いで「10歳」の割合が27.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10歳」「12歳以上」の割合が増加しています。一方、「3歳」「4歳」「7歳」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



②希望する就労形態

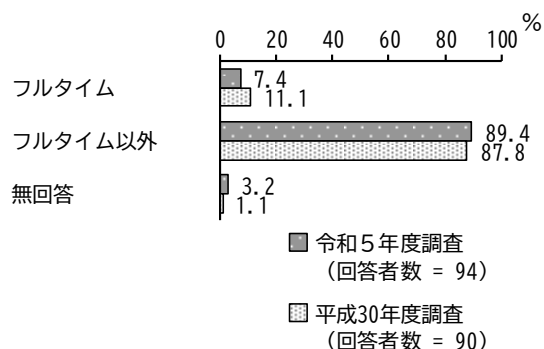
未就学児では、「フルタイム」の割合が7.4%、「フルタイム以外」の割合が89.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

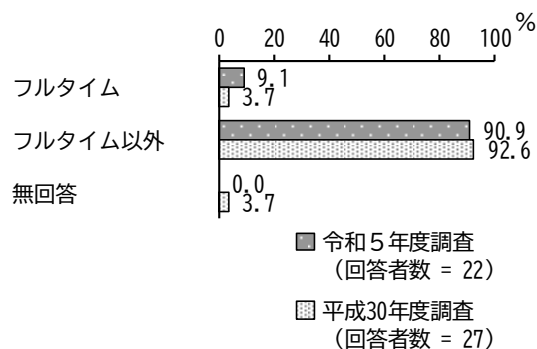
小学生では、「フルタイム」の割合が9.1%、「フルタイム以外」の割合が90.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



③1週当たりの就労日数

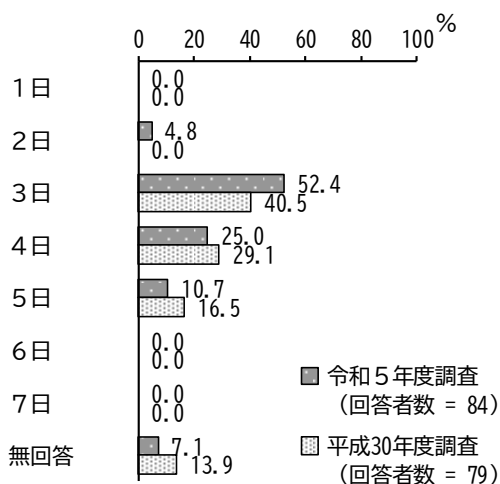
未就学児では、「3日」の割合が52.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.0%、「5日」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。

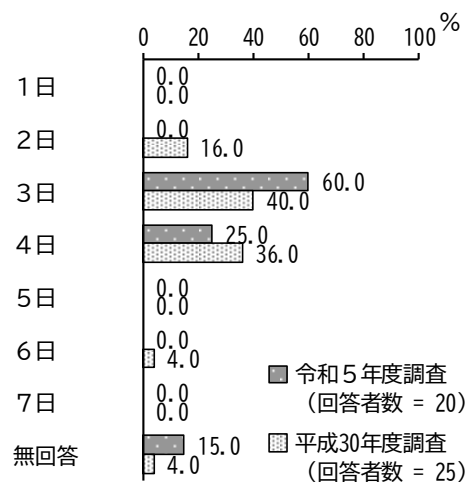
小学生では、「3日」の割合が60.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」「4日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



④ 1日当たりの就労時間

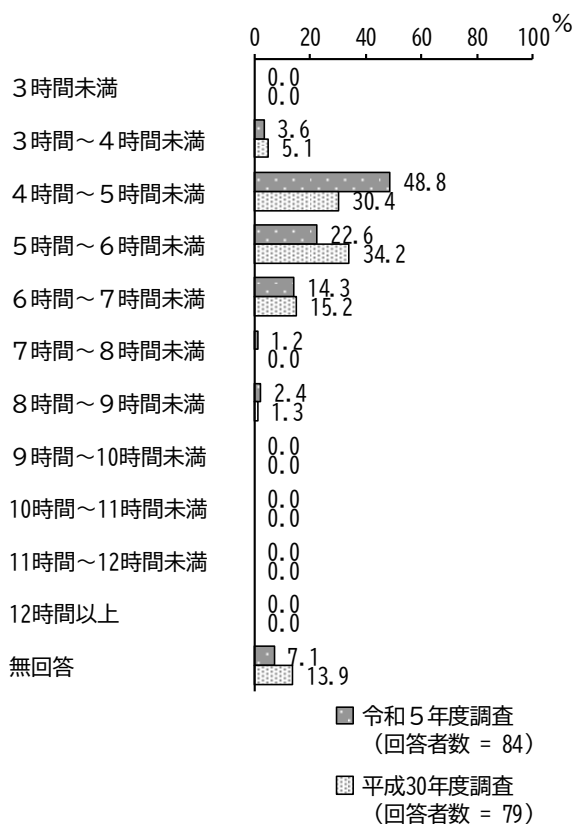
未就学児では、「4時間～5時間未満」の割合が48.8%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が22.6%、「6時間～7時間未満」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間～5時間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。

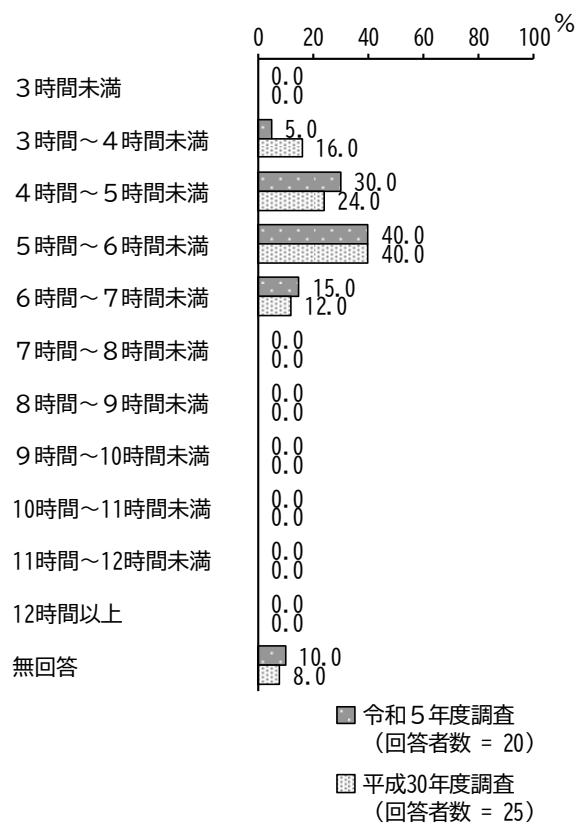
小学生では、「5時間～6時間未満」の割合が40.0%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が30.0%、「6時間～7時間未満」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間～5時間未満」の割合が増加しています。一方、「3時間～4時間未満」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



3. 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の回答について

①希望する就労形態

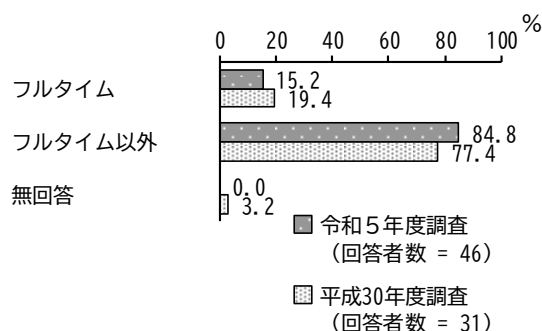
未就学児では、「フルタイム」の割合が15.2%、「フルタイム以外」の割合が84.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム以外」の割合が増加しています。

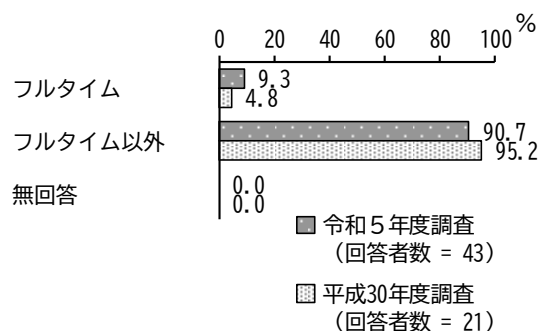
小学生では、「フルタイム」の割合が9.3%、「フルタイム以外」の割合が90.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



②1週当たりの就労日数

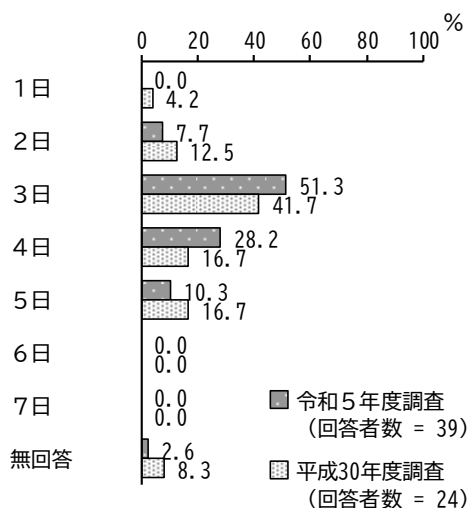
未就学児では、「3日」の割合が51.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.2%、「5日」の割合が10.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。

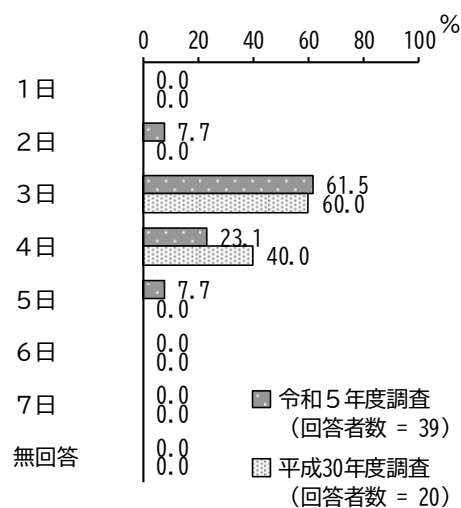
小学生では、「3日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が23.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



③ 1日当たりの就労時間

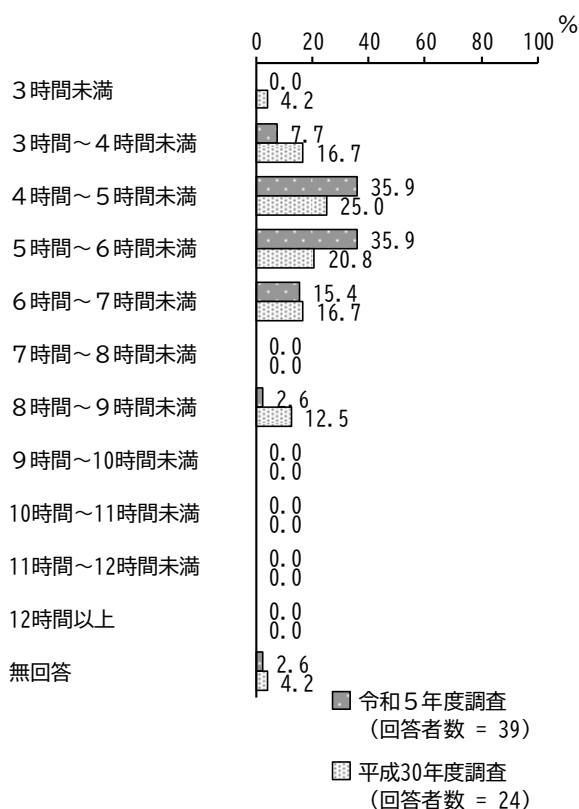
未就学児では、「4時間～5時間未満」、「5時間～6時間未満」の割合が35.9%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間～5時間未満」「5時間～6時間未満」の割合が増加しています。一方、「3時間～4時間未満」「8時間～9時間未満」の割合が減少しています。

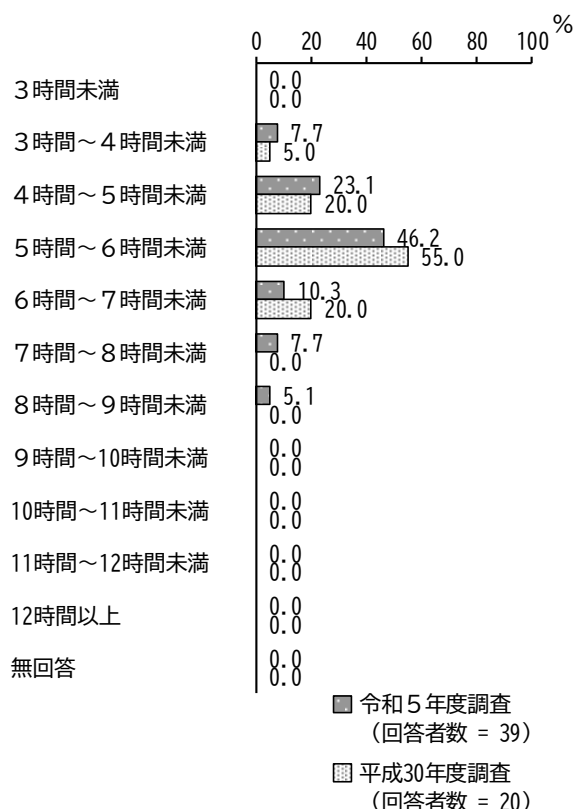
小学生では、「5時間～6時間未満」の割合が46.2%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が23.1%、「6時間～7時間未満」の割合が10.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時間～8時間未満」「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」「6時間～7時間未満」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



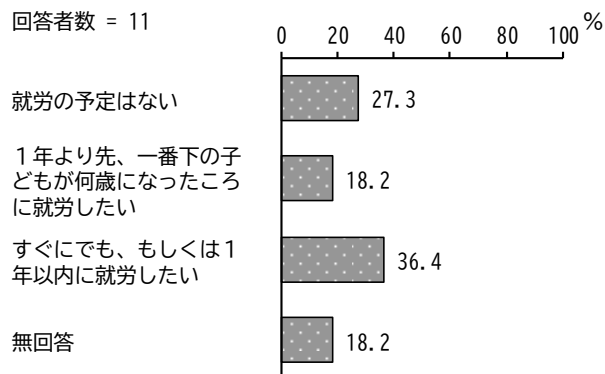
(2) 父親

未就学児では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が36.4%と最も高く、次いで「就労の予定はない」の割合が27.3%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が18.2%となっています。

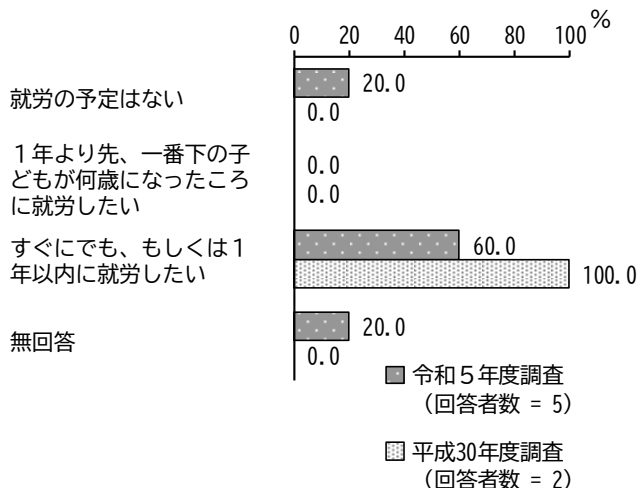
小学生では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件となっています。「就労の予定はない」が1件となっています。

【未就学児】

回答者数 = 11



【小学生】



2. 「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の回答について

①就労希望時の一番下の子どもの年齢

未就学児では、「1歳」、「6歳」が1件となっています。

小学生では、有効回答がありませんでした。

②希望する就労形態

未就学児では、「フルタイム」が1件、「フルタイム以外」が1件となっています。

小学生では、有効回答がありませんでした。

③1週当たりの就労日数

未就学児では、「5日」が1件となっています。

小学生では、有効回答がありませんでした。

④1日当たりの就労時間

未就学児では、「4時間～5時間未満」が1件となっています。

小学生では、有効回答がありませんでした。

3. 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の回答について

①希望する就労形態

未就学児では、「フルタイム」が1件となっています。

小学生では、「フルタイム」が3件となっています。

②1週当たりの就労日数

未就学児、小学生ともに、有効回答がありませんでした。

③1日当たりの就労時間

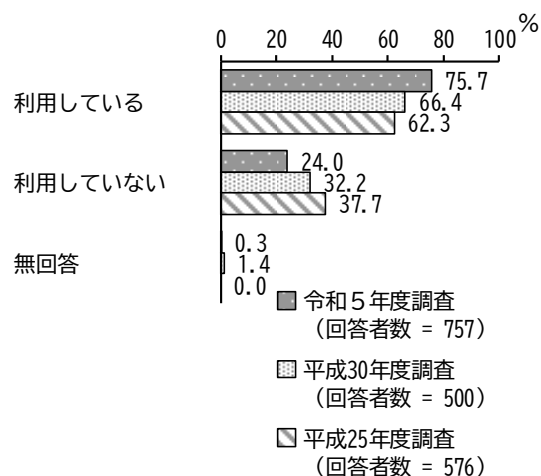
未就学児、小学生ともに、有効回答がありませんでした。

(3) 宛名のお子さんの平日の日常的な教育・保育等の利用状況について

問 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「日常的な教育・保育」を利用されていますか。(○は1つだけ)(未就学児：問9)

「利用している」の割合が75.7%、「利用していない」の割合が24.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。

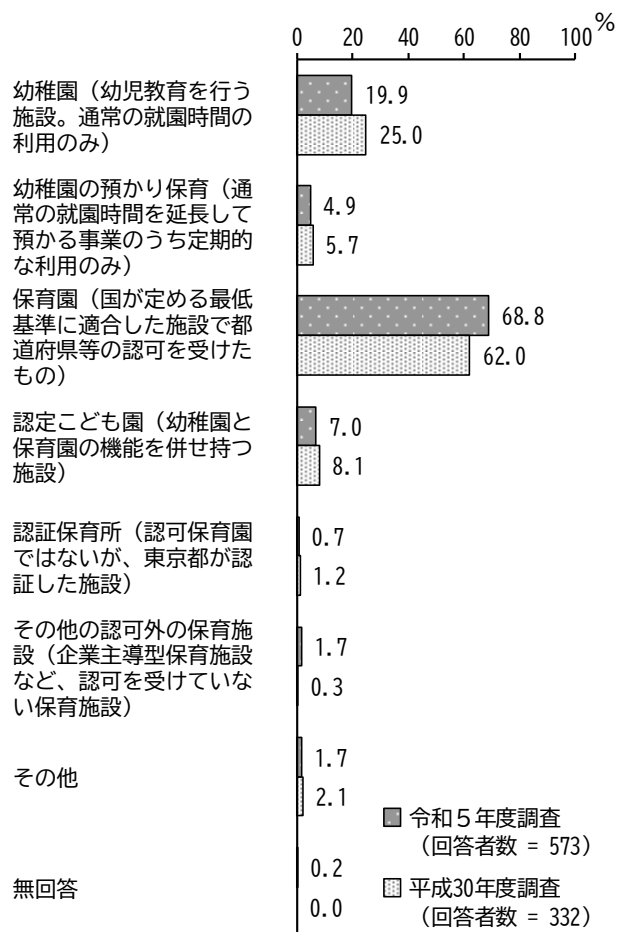


問9-1～問9-3は、問9で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。

問 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。年間を通じて「日常的に」利用している事業をお聞きします。(○はいくつでも)(未就学児：問9-1)

「保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)」の割合が68.8%と最も高く、次いで「幼稚園(幼児教育を行う施設。通常の就園時間の利用のみ)」の割合が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)」の割合が増加しています。一方、「幼稚園(幼児教育を行う施設。通常の就園時間の利用のみ)」の割合が減少しています。



【年齢別】

すべての年齢において、「保育園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	育 幼稚園 の預かり保	保育園	認定こども園	認証保育所	その他の認可外の 保育施設	その他	無回答
全 体	573	19.9	4.9	68.8	7.0	0.7	1.7	1.7	0.2
0歳	66	6.1	3.0	84.8	3.0	1.5	3.0	1.5	—
1歳	76	2.6	—	85.5	7.9	—	2.6	2.6	—
2歳	94	11.7	—	69.1	8.5	2.1	3.2	4.3	1.1
3歳	126	27.8	5.6	66.7	4.8	0.8	0.8	0.8	—
4歳	112	34.8	11.6	51.8	10.7	—	1.8	0.9	—
5歳	84	23.8	6.0	65.5	6.0	—	—	—	—

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

問 問9-1で○をつけた施設や事業等について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（1週間あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、利用したい時間帯を□内に（例）9時～18時 のように24時間制でご記入ください。数字は一枠に一字）（未就学児：問9-2）

（1）現在

① 1週間当たりの利用日数と1日当たりの利用時間

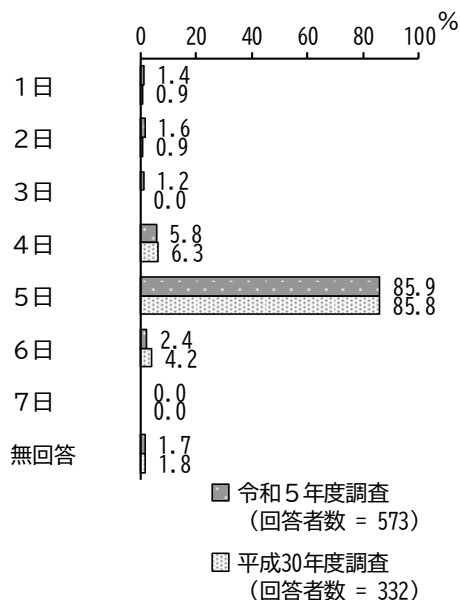
1週間当たりの利用日数は、「5日」の割合が85.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

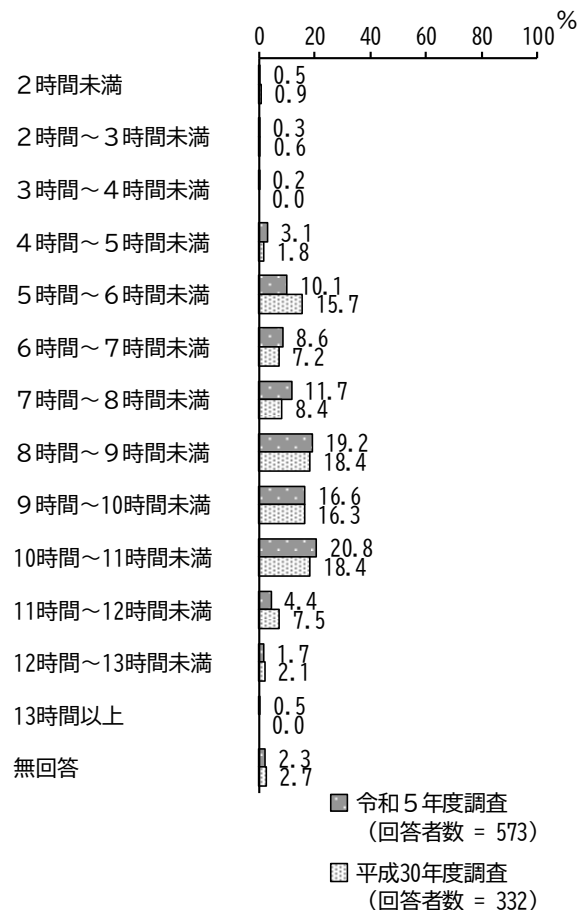
1日当たりの利用時間は、「10時間～11時間未満」の割合が20.8%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が19.2%、「9時間～10時間未満」の割合が16.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。

【1週間当たりの利用日数】



【1日当たりの利用時間】



②利用開始時刻と利用終了時刻

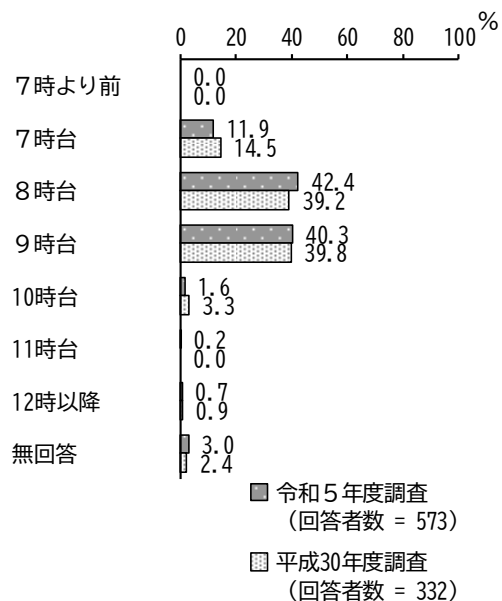
利用開始時刻は、「8時台」の割合が42.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が40.3%、「7時台」の割合が11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

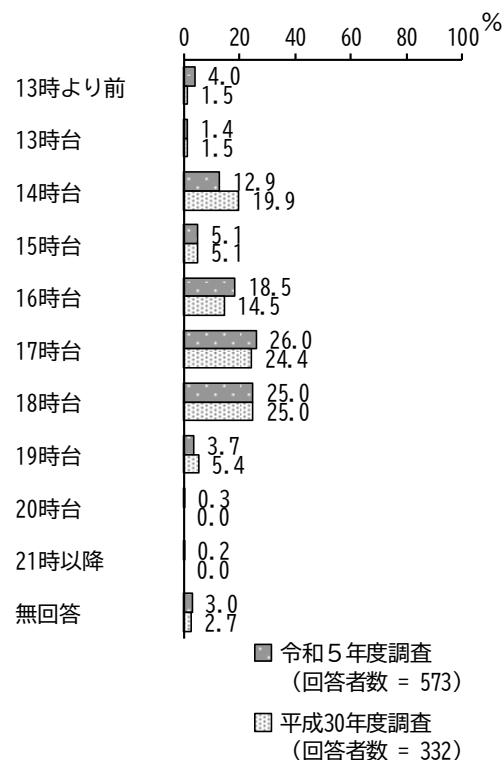
利用終了時刻は、「17時台」の割合が26.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が25.0%、「16時台」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「14時台」の割合が減少しています。

【利用開始時刻】



【利用終了時刻】



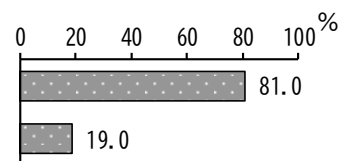
(2) 今後

① 1週間当たりの利用希望日数と1日当たりの利用希望時間

「現在と同じでよい」の割合が81.0%となって 回答者数 = 573
います。

現在と同じでよい

無回答



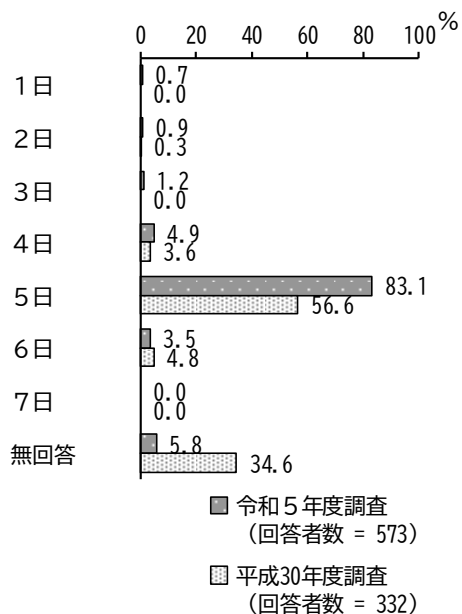
1週間当たりの利用希望日数は、「5日」の割合が83.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。

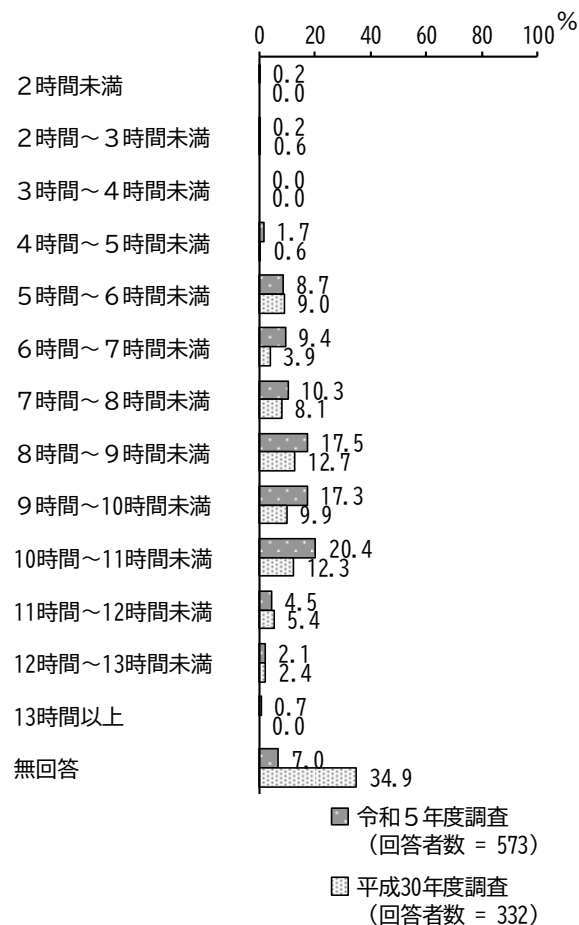
1日当たりの利用希望時間は、「10時間～11時間未満」の割合が20.4%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が17.5%、「9時間～10時間未満」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6時間～7時間未満」「9時間～10時間未満」「10時間～11時間未満」の割合が増加しています。

【1週間当たりの利用希望日数】



【1日当たりの利用希望時間】



②利用開始希望時刻と利用終了希望時刻

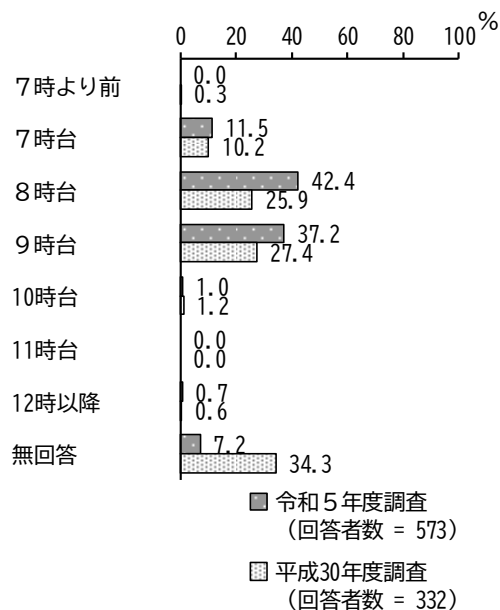
利用開始希望時刻は、「8時台」の割合が42.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が37.2%、「7時台」の割合が11.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」「9時台」の割合が増加しています。

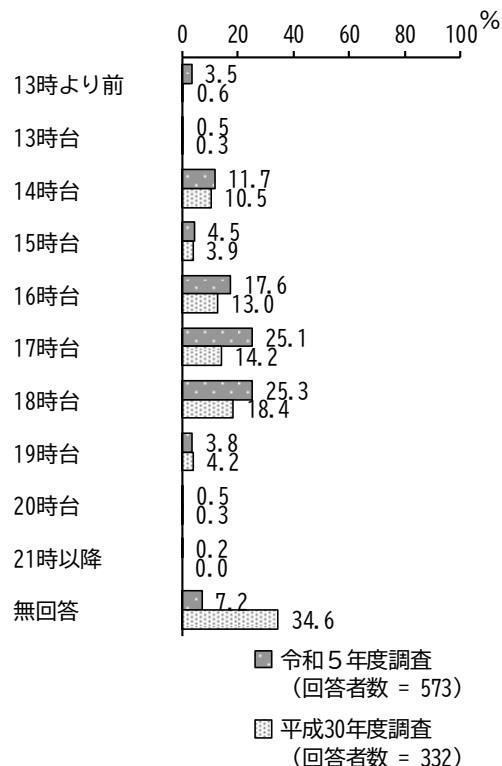
利用終了希望時刻は、「18時台」の割合が25.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.1%、「16時台」の割合が17.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「17時台」「18時台」の割合が増加しています。

【利用開始希望時刻】



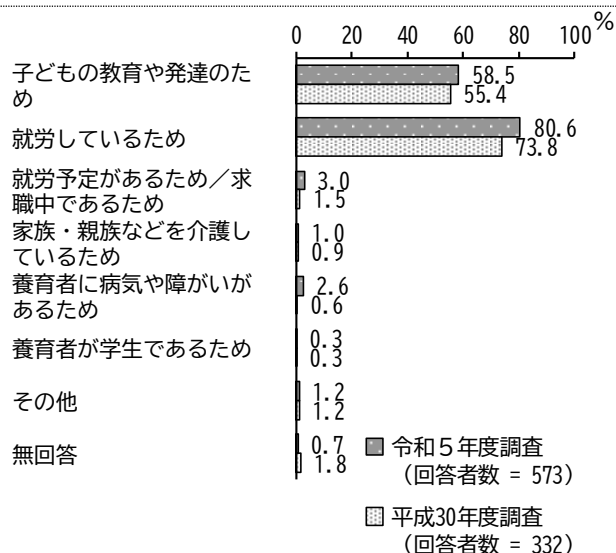
【利用終了希望時刻】



問 平日に日常的に教育・保育を利用されている理由についてお聞きます。
(○はいくつでも) (未就学児：問9-3)

「就労しているため」の割合が80.6%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が58.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「就労しているため」の割合が増加しています。



問9－3で「2. 就労している」「3. 就労予定がある／求職中である」と答えた方にお聞きします。

問 教育・保育を利用される前の就労等の状況についてお聞きいたします。
(○は1つだけ) (未就学児：問9－4)

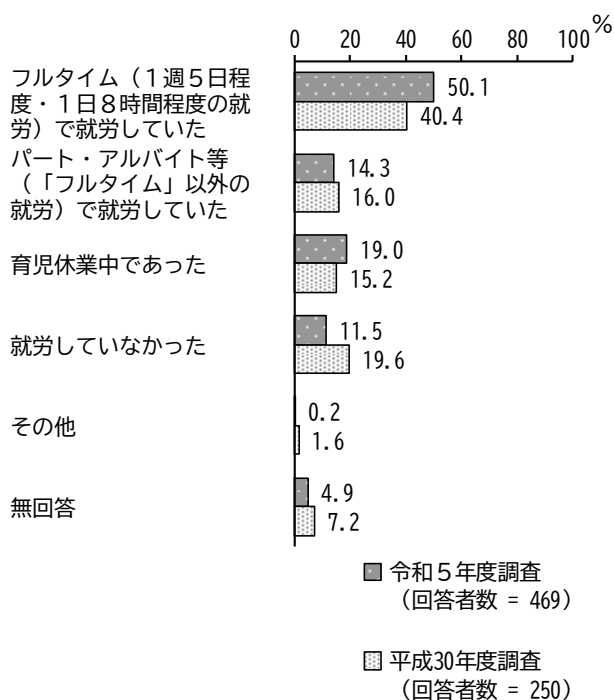
母親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労していた」の割合が50.1%と最も高く、次いで「育児休業中であった」の割合が19.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労していた」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労していた」の割合が増加しています。一方、「就労していなかった」の割合が減少しています。

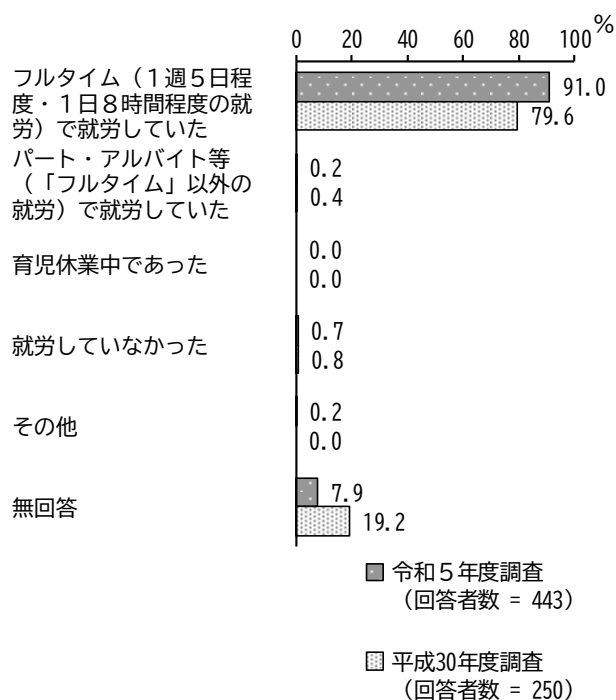
父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労していた」の割合が91.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労していた」の割合が増加しています。

【母親】



【父親】

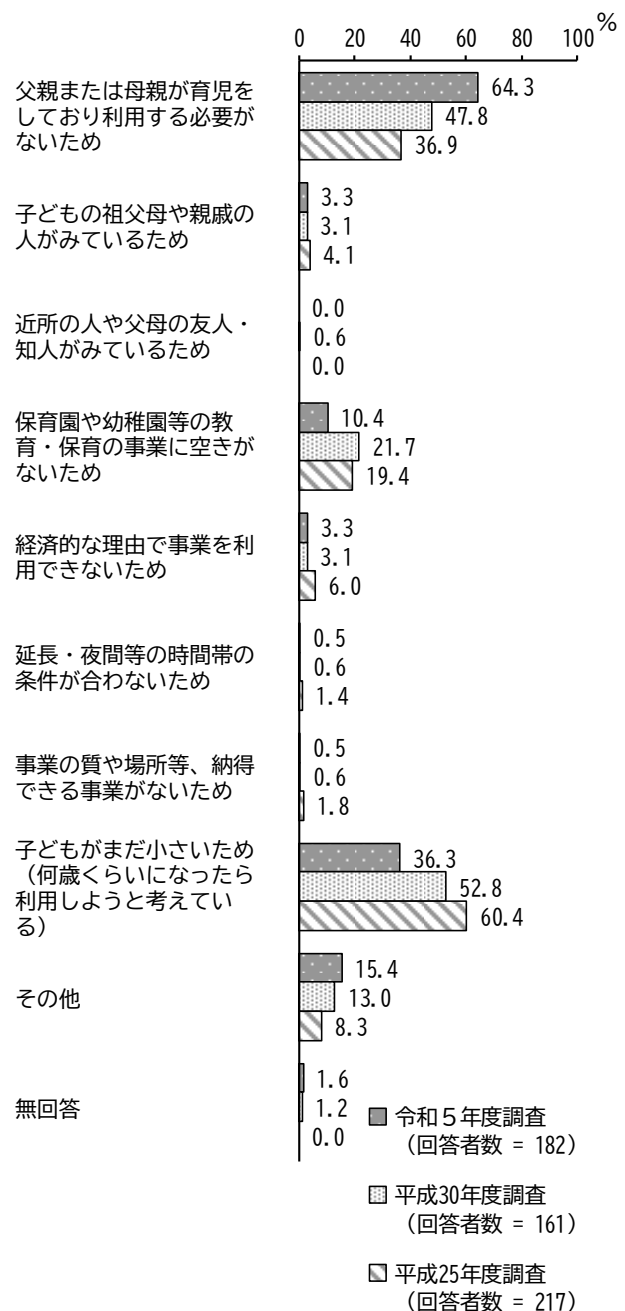


問9で「2. 利用していない」と答えた方にお聞きします。

問 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも) (未就学児：問9－5)

「父親または母親が育児をしており利用する必要がないため」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が 36.3%、「保育園や幼稚園等の教育・保育の事業に空きがないため」の割合が 10.4%となっています。

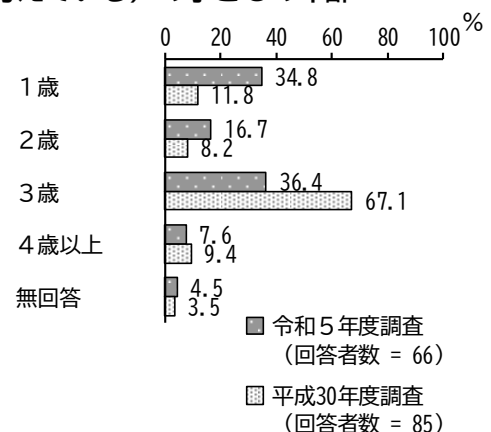
平成 30 年度調査と比較すると、「父親または母親が育児をしており利用する必要がないため」の割合が増加しています。一方、「保育園や幼稚園等の教育・保育の事業に空きがないため」「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が減少しています。



子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)の子どもの年齢

「3歳」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 34.8%、「2歳」の割合が 16.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1歳」「2歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、「2歳」で「父親または母親が育児をしており利用する必要がないため」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親または母親が育児をしており利用する必要がないため	子どもの祖父母や親戚の人がみているため	近所の人や父母の友人・知人がみているため	保育園や幼稚園等の教育・保育の事業に空きがないため	経済的な理由で事業を利用できないため	延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため	事業の質や場所等、納得できる事業がないため	子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）	その他	無回答
全 体	182	64.3	3.3	—	10.4	3.3	0.5	0.5	36.3	15.4	1.6
0歳	125	61.6	2.4	—	12.0	4.0	0.8	0.8	38.4	17.6	1.6
1歳	38	73.7	5.3	—	7.9	2.6	—	—	34.2	5.3	—
2歳	16	75.0	6.3	—	—	—	—	—	25.0	18.8	—
3歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
4歳	1	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—
5歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「父親または母親が育児をしており利用する必要がないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親または母親が 育児をする必要が ないため	子どもの祖父母や 親戚の人がみてい るため	近所の人や父母の 友人・知人がみて いるため	保育園や幼稚園等 の教育・保育の事 業に空きがないた め	経済的な理由で 業を利用できない ため
全 体	182	64.3	3.3	－	10.4	3.3
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	4	－	25.0	－	25.0	－
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	55	54.5	－	－	12.7	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	12	33.3	8.3	－	16.7	8.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	21	52.4	9.5	－	9.5	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	84	79.8	2.4	－	8.3	6.0
これまで就労したことがない	5	100.0	－	－	－	－

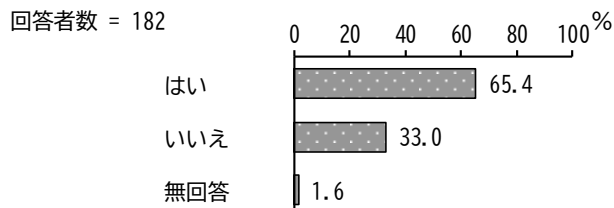
区分	延長・夜間等の時 間条件が合わな いため	事業の質や場所等、 納得できる事業が ないため	子どもがまだ小 さいため（何歳くら いになったら利用し ようと考えている）	その他	無回 答
全 体	0.5	0.5	36.3	15.4	1.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	－	－	－	50.0	－
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1.8	－	36.4	21.8	1.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	－	－	33.3	33.3	－
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	4.8	57.1	4.8	9.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	－	－	34.5	9.5	－
これまで就労したことがない	－	－	20.0	－	－

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

問9で「2. 利用していない」と答えた方にお聞きします。

問 こども誰でも通園制度を利用したいですか。(○は1つだけ)
(未就学児：問9-6)

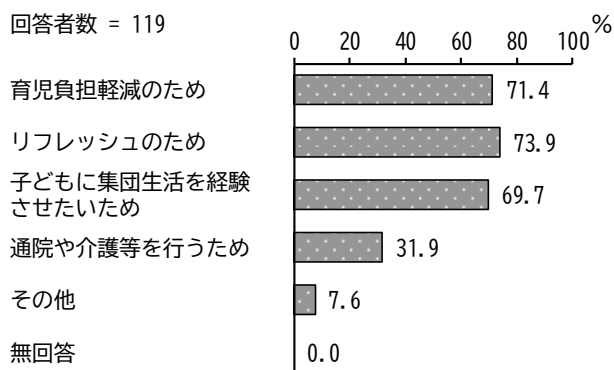
「はい」の割合が 65.4%、「いいえ」の割合が 33.0%となっています。



問9-6で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

問 利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも) (未就学児：問9-7)

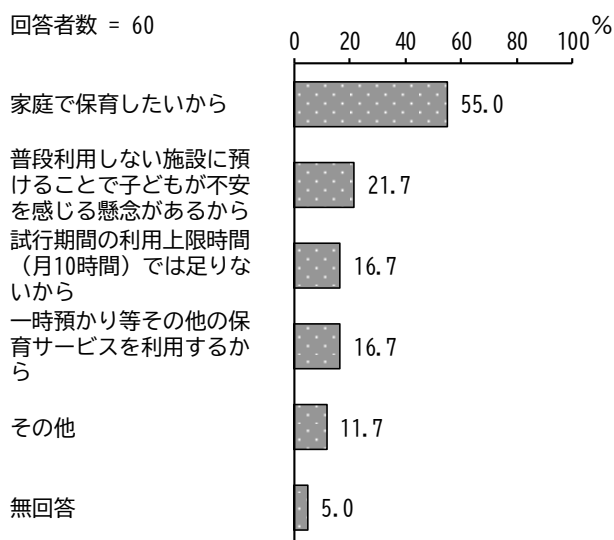
「リフレッシュのため」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「育児負担軽減のため」の割合が 71.4%、「子どもに集団生活を経験させたいため」の割合が 69.7%となっています。



問9-6で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。

問 利用したくない理由は何ですか。(○はいくつでも) (未就学児：問9-8)

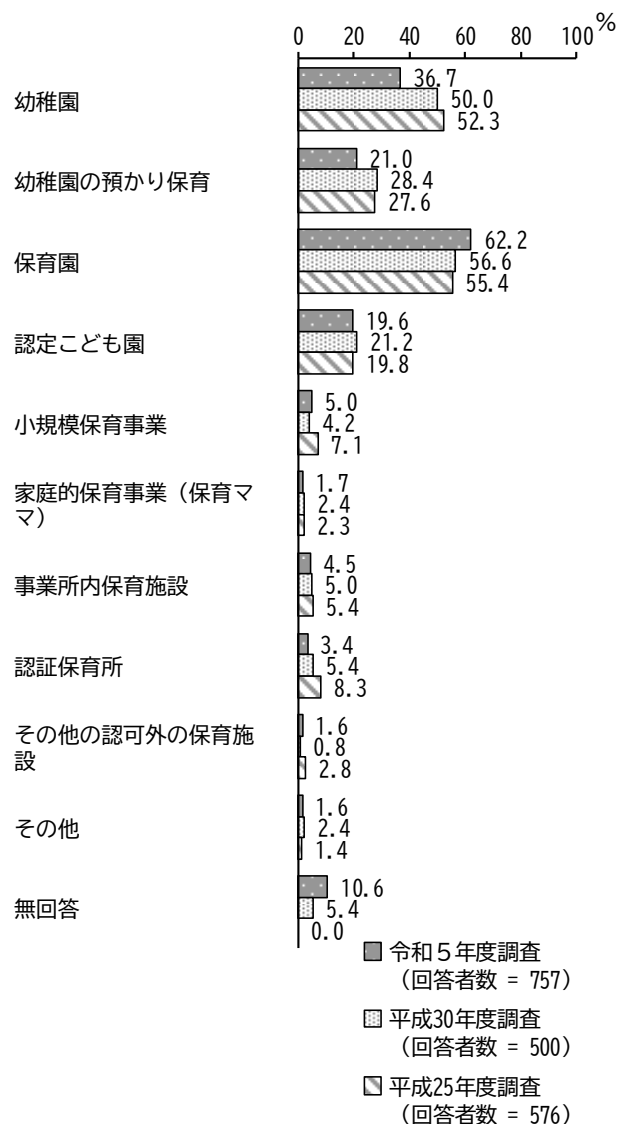
「家庭で保育したいから」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「普段利用しない施設に預けることで子どもが不安を感じる懸念があるから」の割合が 21.7%、「試行期間の利用上限時間(月10時間)では足りないから」、「一時預かり等その他の保育サービスを利用するから」の割合が 16.7%となっています。



問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「日常的に」利用したいと考える事業をお聞きます。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(〇はいくつでも) (未就学児：問 10)

「保育園」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 36.7%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 21.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保育園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【年齢別】

すべての年齢で「保育園」の割合が高く、年齢別にみると、「0歳」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	育 幼稚園 の預かり保	保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業 (保育ママ)	事業所内保育施設	認証保育所	その他の認可外の 保育施設	その他	無回答
全 体	757	36.7	21.0	62.2	19.6	5.0	1.7	4.5	3.4	1.6	1.6	10.6
0歳	191	37.7	18.8	75.4	28.8	9.4	3.1	5.2	6.3	2.6	1.6	8.9
1歳	114	38.6	22.8	63.2	24.6	4.4	2.6	4.4	2.6	1.8	4.4	6.1
2歳	110	38.2	19.1	56.4	12.7	1.8	—	0.9	1.8	0.9	2.7	8.2
3歳	127	37.8	22.8	57.5	15.0	2.4	—	6.3	5.5	1.6	—	14.2
4歳	113	37.2	25.7	51.3	14.2	2.7	—	5.3	—	0.9	—	11.5
5歳	85	29.4	17.6	61.2	15.3	5.9	2.4	3.5	1.2	—	1.2	14.1

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である」で「保育園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	育 幼稚園 の預かり保	保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業 (保育ママ)	事業所内保育施設	認証保育所	その他の認可外の 保育施設	その他	無回答
全 体	756	36.8	21.0	62.2	19.6	5.0	1.7	4.5	3.4	1.6	1.6	10.6
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	248	19.4	14.9	79.8	13.7	3.6	1.2	3.2	2.4	1.2	2.0	11.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	93	26.9	22.6	83.9	30.1	7.5	2.2	7.5	3.2	3.2	1.1	8.6
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	179	29.6	17.9	59.2	16.2	4.5	2.2	6.1	3.4	1.1	1.7	12.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	34	20.6	11.8	82.4	32.4	11.8	2.9	—	5.9	—	—	11.8
以前は就労していたが、現在は就労していない	176	73.3	31.8	27.8	22.2	4.0	0.6	2.8	4.5	2.3	1.7	7.4
これまで就労したことがない	10	100.0	40.0	20.0	30.0	—	—	—	—	—	—	—

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労希望別】

母親の就労希望別にみると、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業(保育ママ)	事業所内保育施設	認証保育所	その他の認可外の保育施設	その他	無回答
全 体	186	74.7	32.3	27.4	22.6	3.8	0.5	2.7	4.3	2.2	1.6	7.0
就労の予定はない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい	175	75.4	31.4	26.9	21.7	3.4	0.6	2.9	4.0	2.3	1.7	6.9
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4	50.0	75.0	75.0	25.0	25.0	—	—	25.0	—	—	—

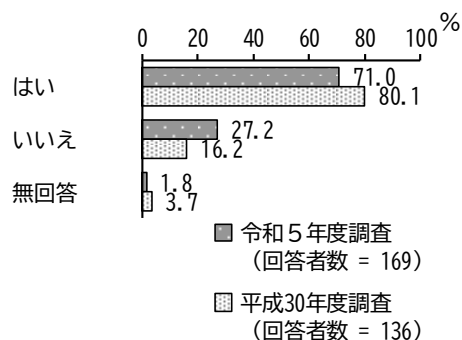
※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

問 10 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」と答え、かつ 3～10 にも○をつけた方にお聞きします。

問 3 歳以降、幼稚園（特に幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つだけ）（未就学児：問 10－1）

「はい」の割合が 71.0%、「いいえ」の割合が 27.2%となっています。

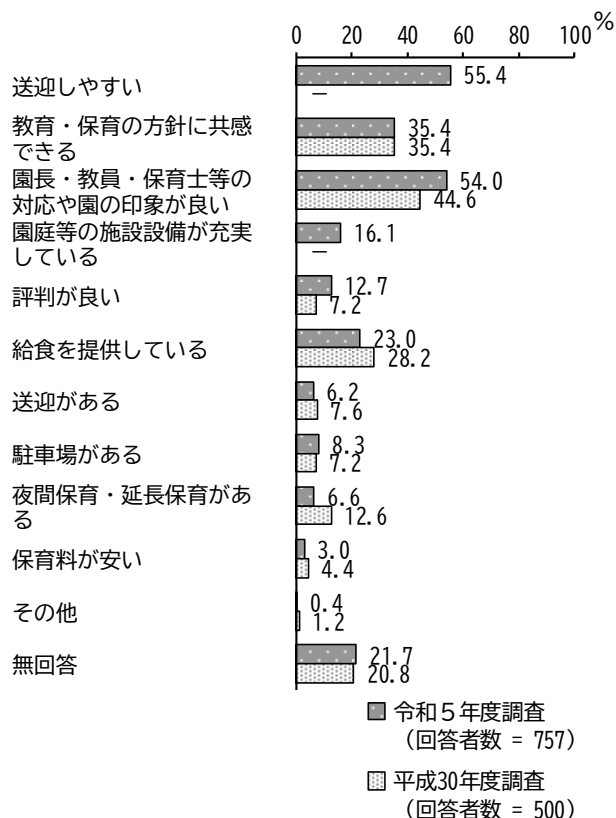
平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



問 お子さんの平日の教育・保育を選ぶ際、特に重視する点はどのようなことですか。（○は3つまで）（未就学児：問 11）

「送迎しやすい」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「園長・教員・保育士等の対応や園の印象が良い」の割合が 54.0%、「教育・保育の方針に共感できる」の割合が 35.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「園長・教員・保育士等の対応や園の印象が良い」「評判が良い」の割合が増加しています。一方、「給食を提供している」「夜間保育・延長保育がある」の割合が減少しています。



※前回調査では、「送迎しやすい」「園庭等の施設設備が充実している」の選択肢はありませんでした。

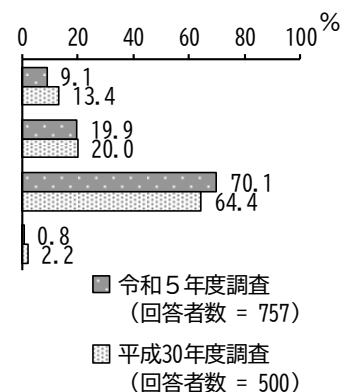
(4) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 宛名のお子さんは、現在、「かるがもひろば（子ども家庭支援センターで実施）」や「子育てひろば（大和南子育て支援センターぽけっと・れんげ上北台保育園・玉川上水保育園・各児童館で実施）」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（○は1つだけ。おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）（未就学児：問 12）

「利用していない」の割合が70.1%と最も高く、次いで「年に数回利用した（利用している）」の割合が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。

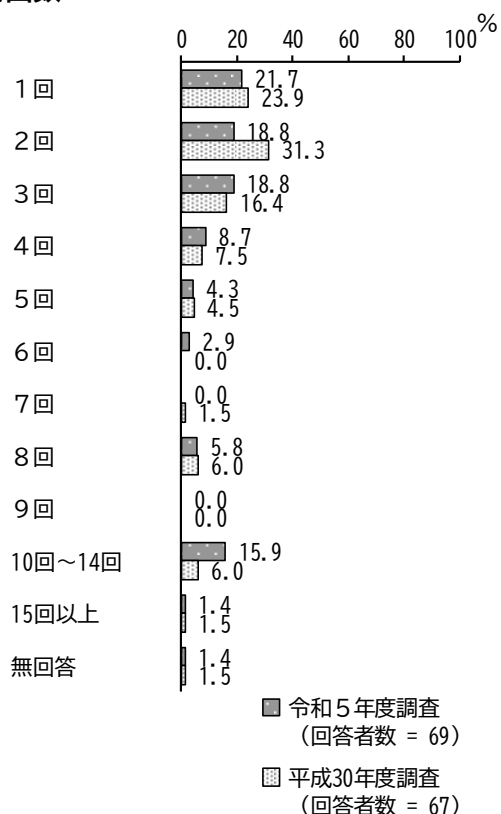
定期的に利用している
年に数回利用した（利用している）
利用していない
無回答



① 「かるがもひろば」や「子育てひろば」の1か月あたり利用回数

「1回」の割合が21.7%と最も高く、次いで「2回」、「3回」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10回～14回」の割合が増加しています。一方、「2回」の割合が減少しています。

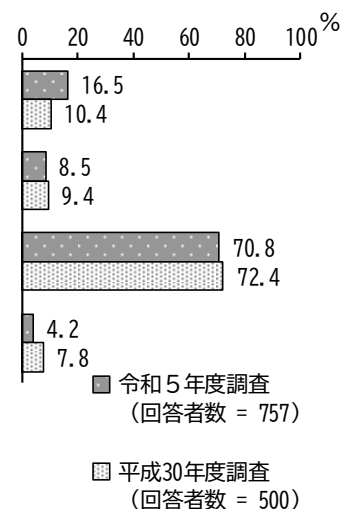


問 問 12 のような「かるがもひろば」や「子育てひろば」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
 (○は1つだけ。おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)(未就学児：問 13)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 16.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」の割合が増加しています。

利用していないが、今後利用したい
 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
 無回答



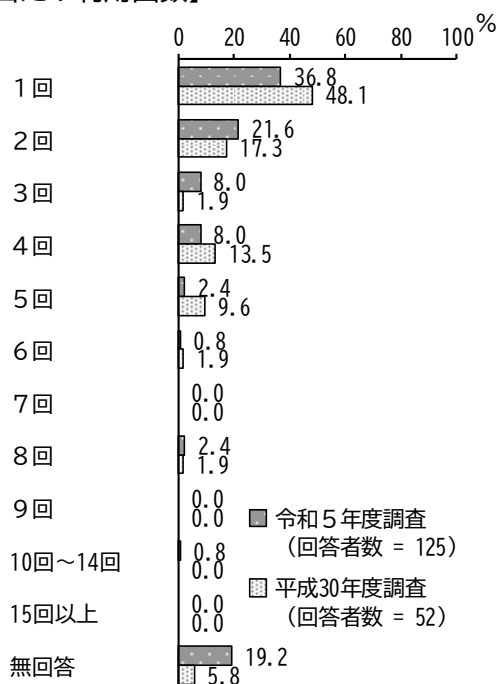
利用していないが、今後利用したい人の1か月当たり利用回数は、「1回」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が 21.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3回」の割合が増加しています。一方、「1回」「4回」「5回」の割合が減少しています。

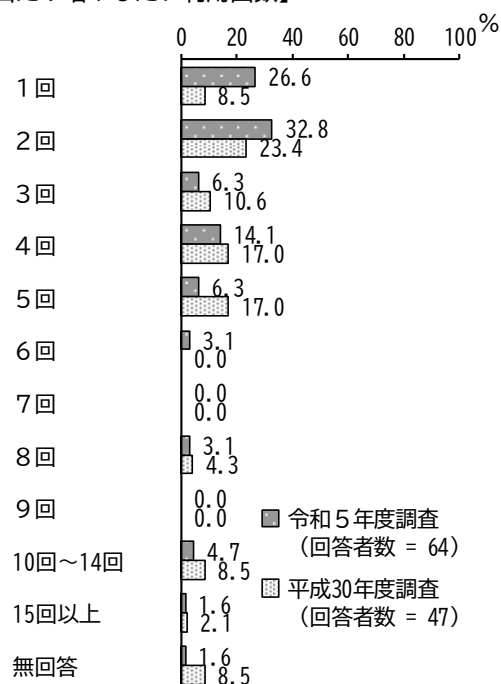
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の1か月当たり増やしたい利用回数は、「2回」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「1回」の割合が 26.6%、「4回」の割合が 14.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1回」「2回」の割合が増加しています。一方、「5回」の割合が減少しています。

【利用していないが、今後利用したい人の1か月当たり利用回数】



【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の1か月当たり増やしたい利用回数】



問 問 12 のような「かるがもひろば」や「子育てひろば」について、期待する機能は何ですか。（〇はいくつでも）（未就学児：問 14）

「子どもが遊べる場所や遊具」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「子どもと参加できる行事」の割合が 46.4%、「同月齢の保護者との交流」の割合が 38.2%となっています。

回答者数 = 757

子どもが遊べる場所や遊具

同月齢の保護者との交流

保育知識のある職員との会話

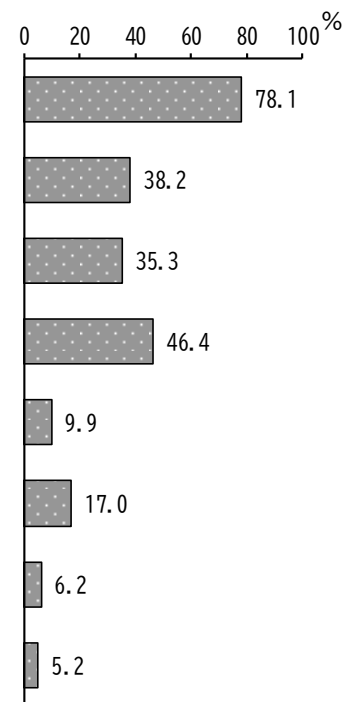
子どもと参加できる行事

職員や他の保護者とは関わらずに施設を利用して子どもと過ごしたい

子育てに関する講座

その他

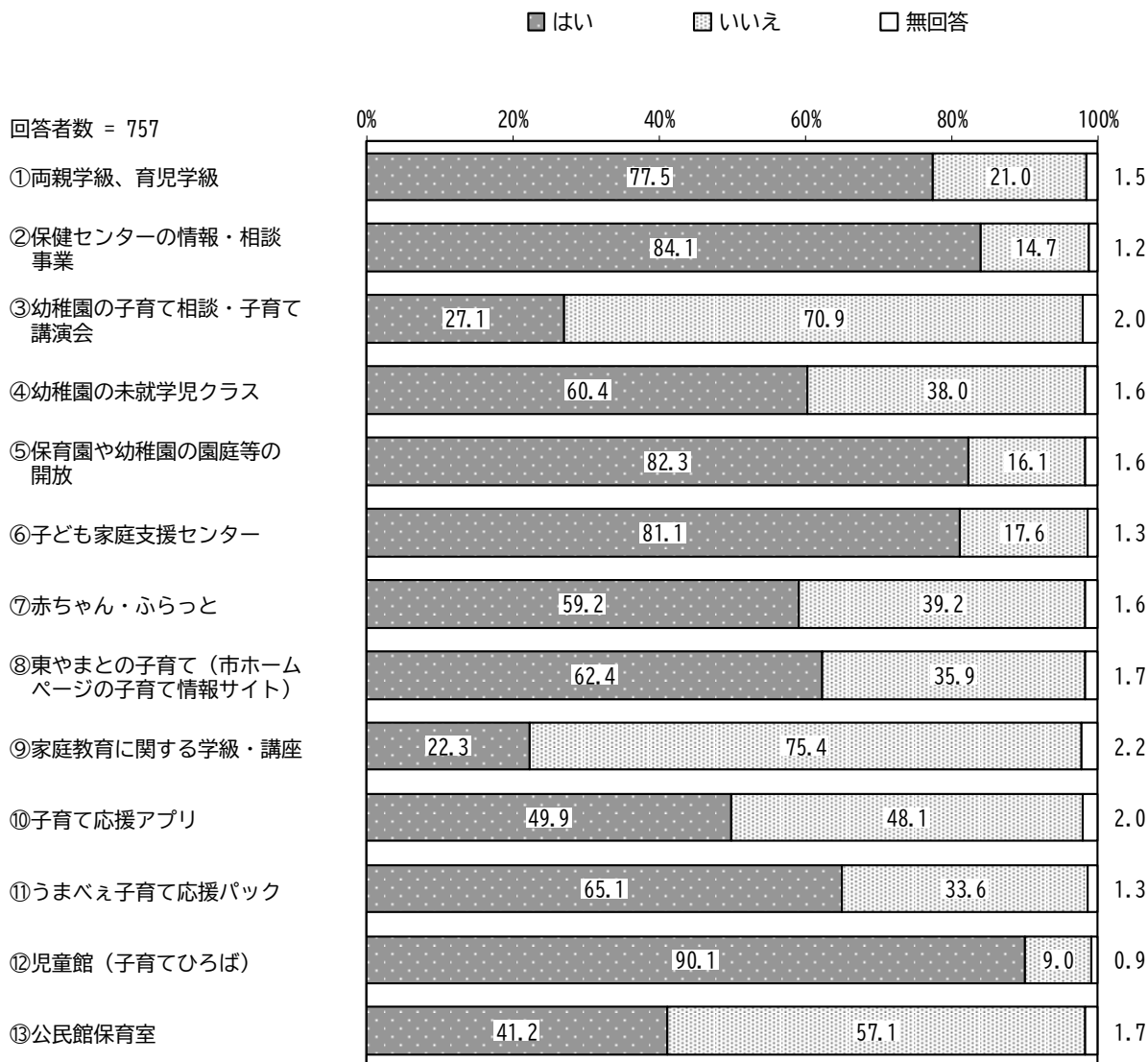
無回答



問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお聞きします。(①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○) (未就学児：問 15)

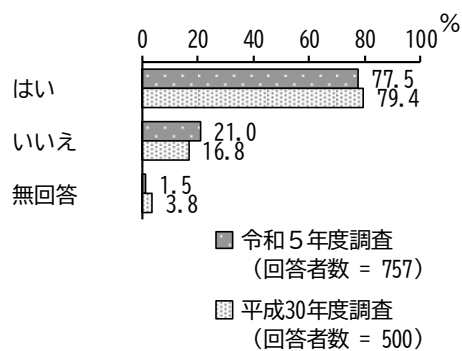
A 知っている

「⑫児童館（子育てひろば）」で「はい」の割合が高くなっています。一方、「⑨家庭教育に関する学級・講座」で「いいえ」の割合が高くなっています。



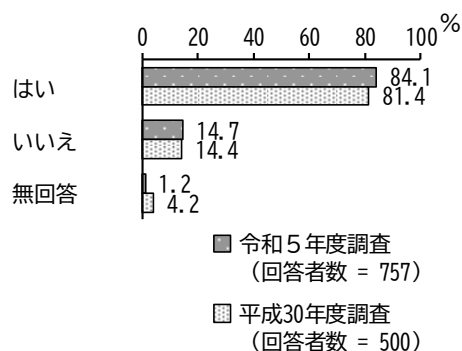
①両親学級、育児学級

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



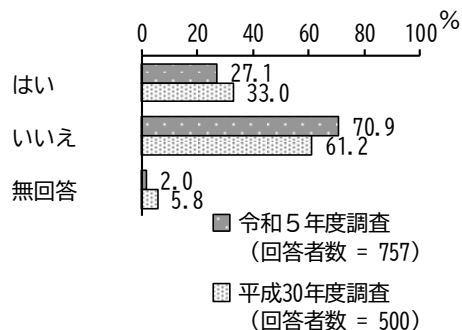
②保健センターの情報・相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



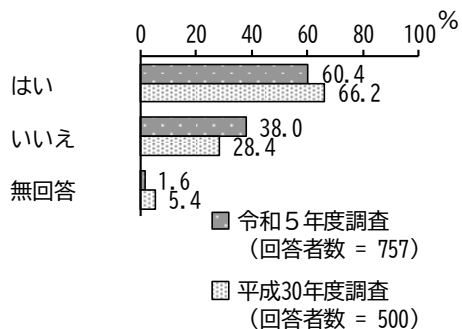
③幼稚園の子育て相談・子育て講演会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



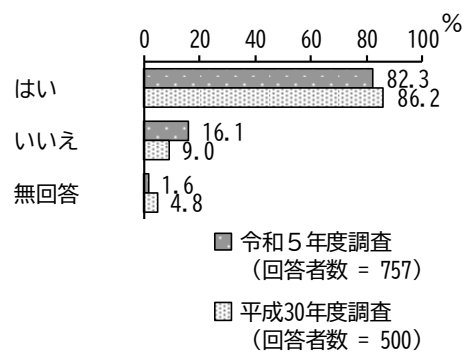
④幼稚園の未就学児クラス

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



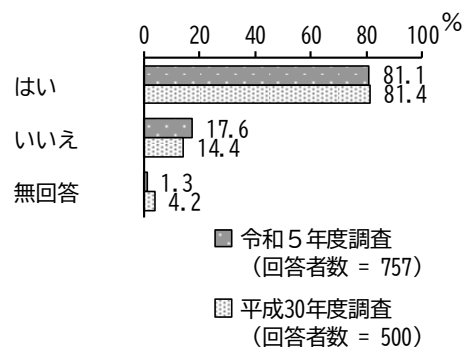
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



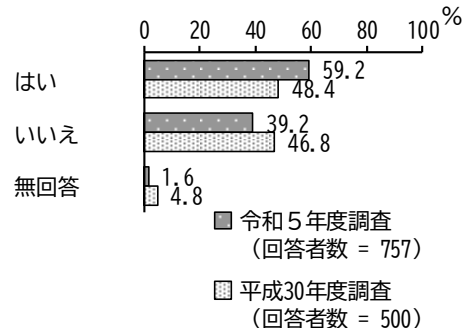
⑥子ども家庭支援センター

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



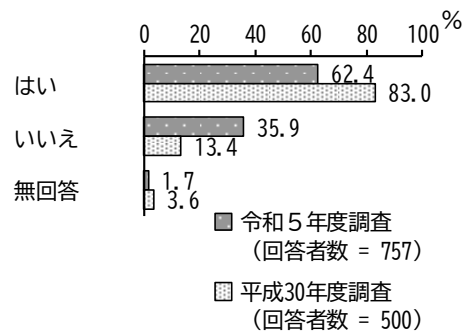
⑦赤ちゃん・ふらっと

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



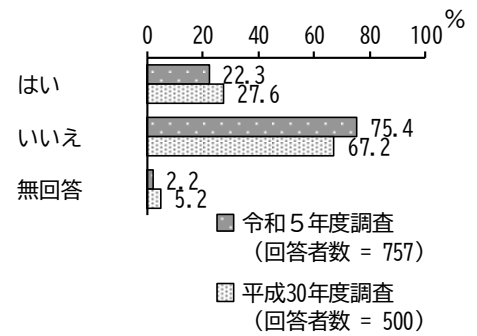
⑧東やまとの子育て（市ホームページの子育て情報サイト）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



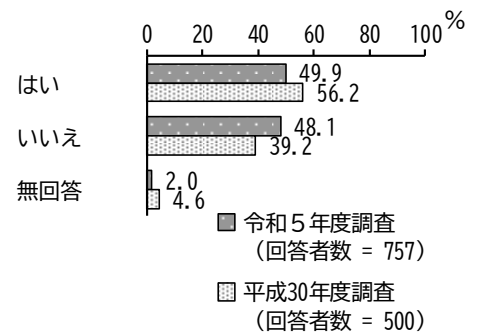
⑨家庭教育に関する学級・講座

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



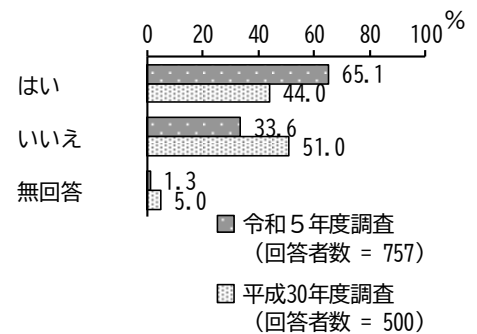
⑩子育て応援アプリ

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



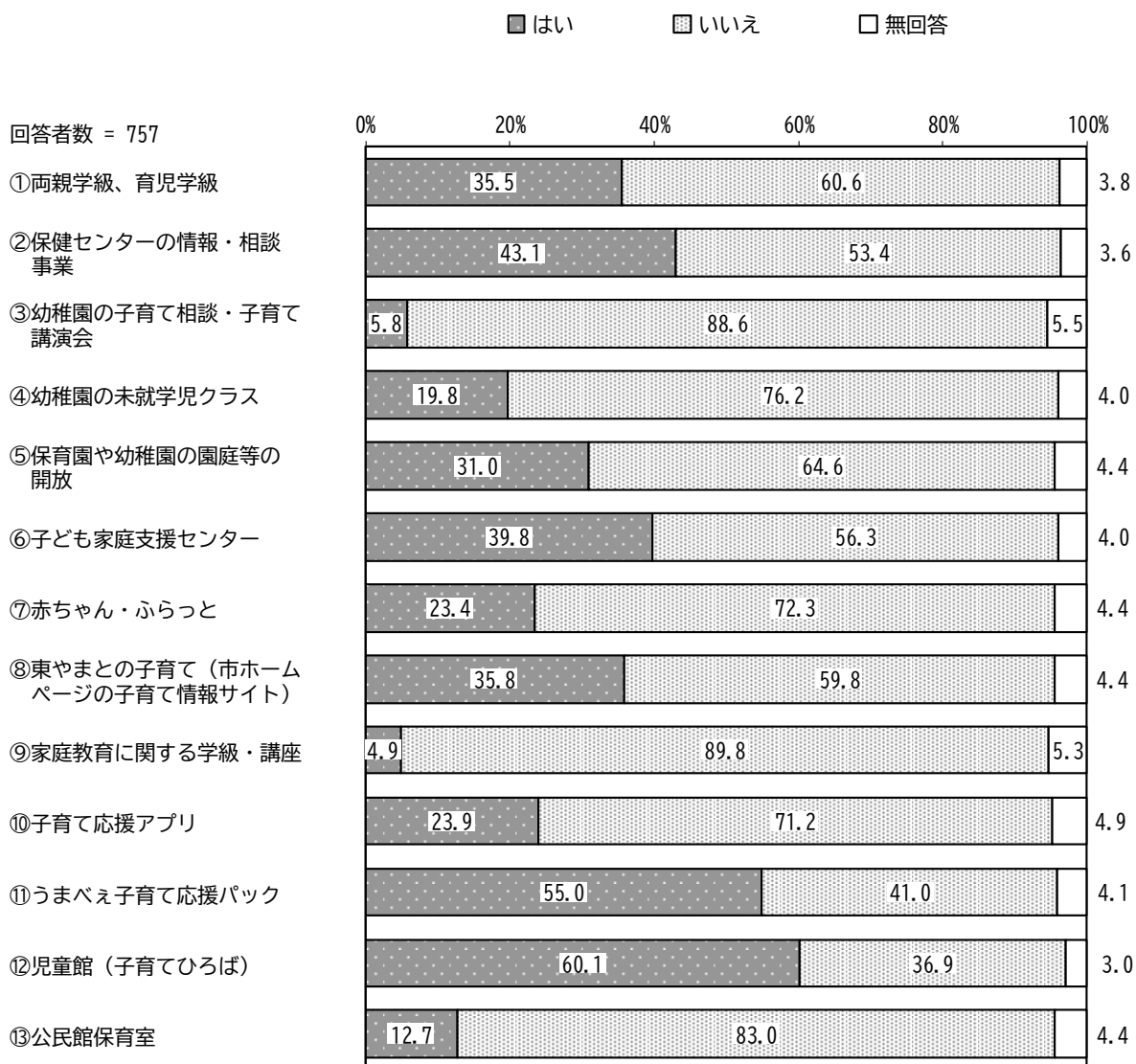
⑪うまベえ子育て応援パック

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



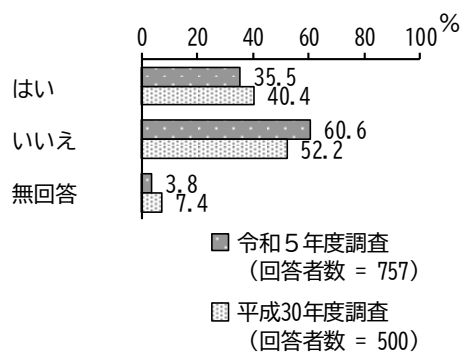
B これまでに利用したことがある

「⑫児童館（子育てひろば）」で「はい」の割合が高くなっています。一方、「③幼稚園の子育て相談・子育て講演会」「⑨家庭教育に関する学級・講座」で「いいえ」の割合が高くなっています。



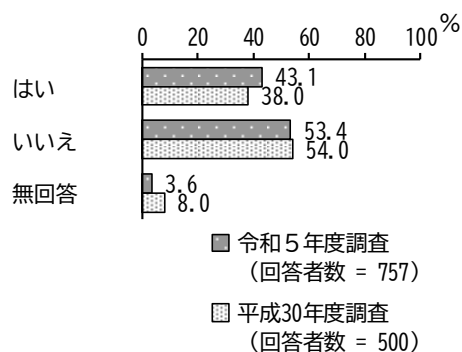
①両親学級、育児学級

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



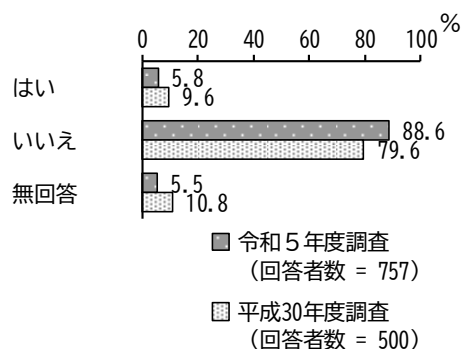
②保健センターの情報・相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



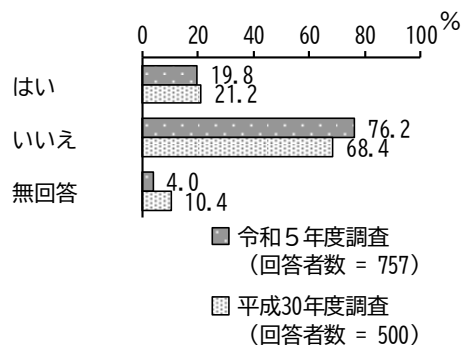
③幼稚園の子育て相談・子育て講演会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



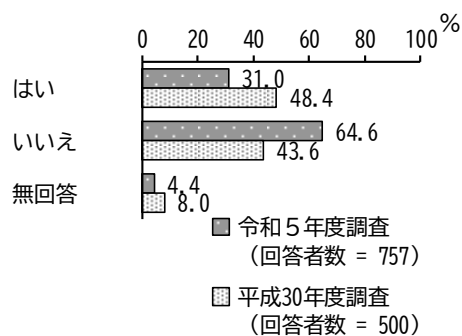
④幼稚園の未就学児クラス

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



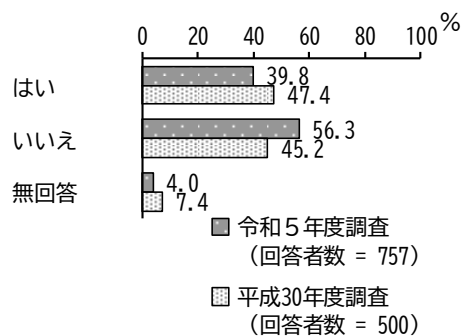
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



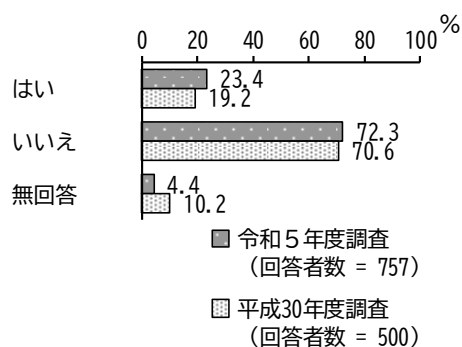
⑥子ども家庭支援センター

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



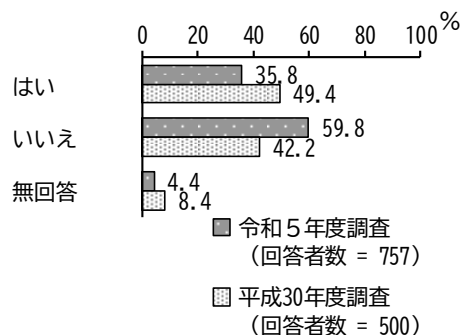
⑦赤ちゃん・ふらっと

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



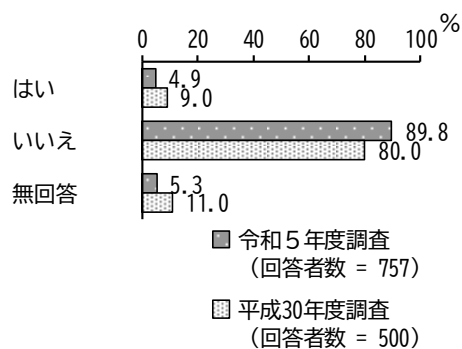
⑧東やまとの子育て（市ホームページの子育て情報サイト）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



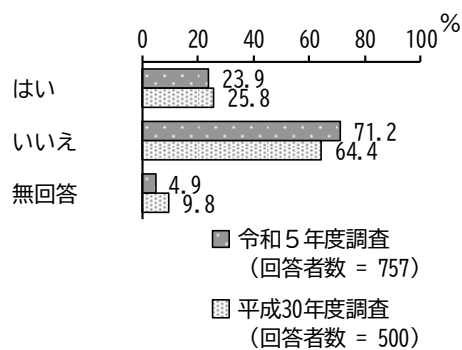
⑨家庭教育に関する学級・講座

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



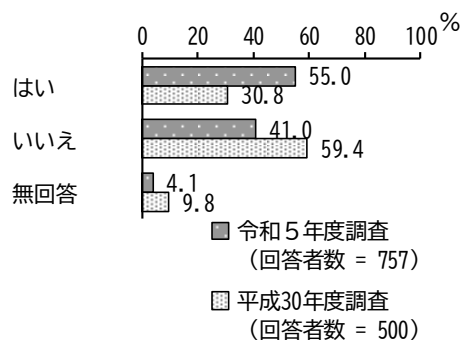
⑩子育て応援アプリ

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



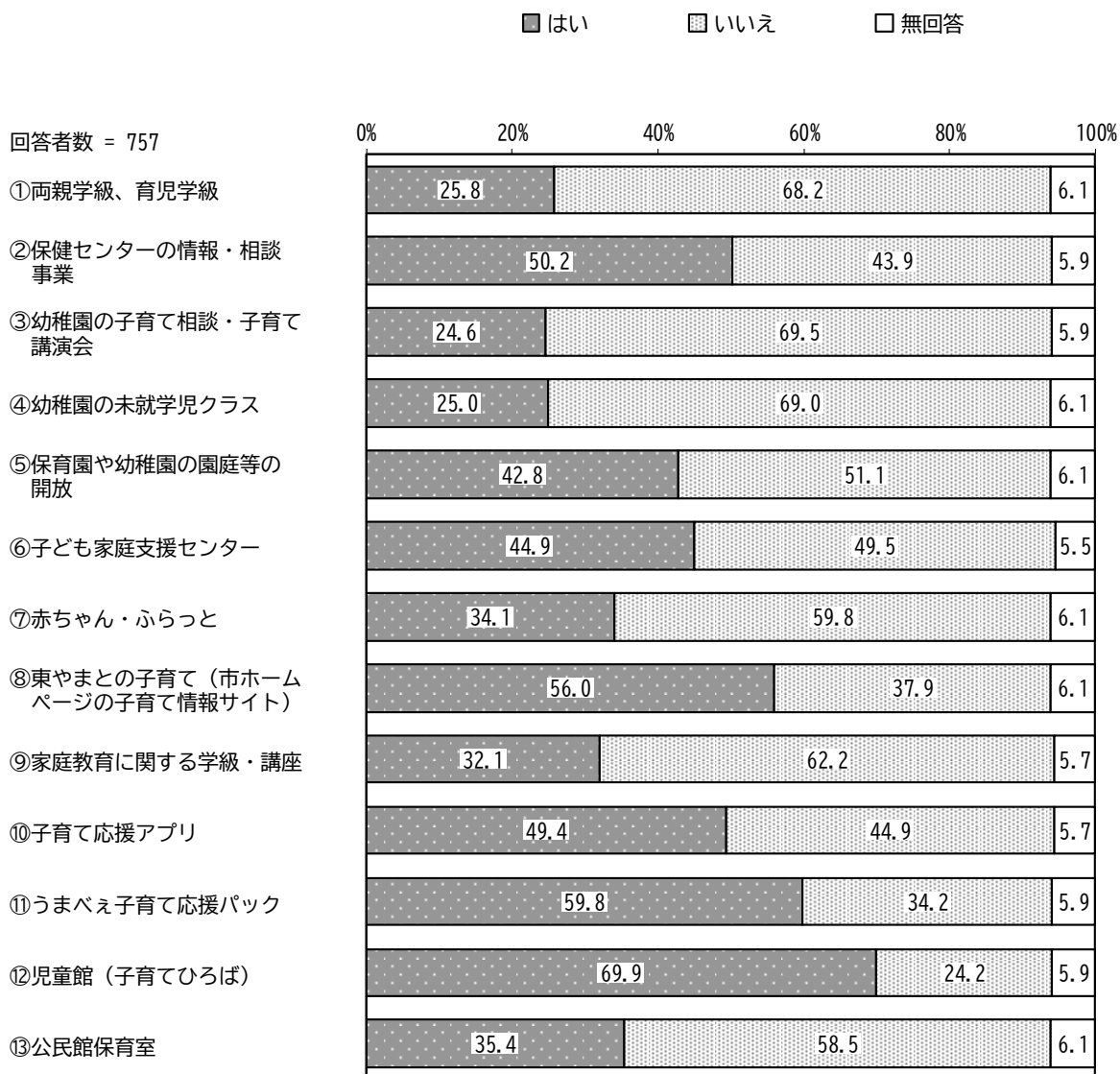
⑪うまべえ子育て応援パック

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



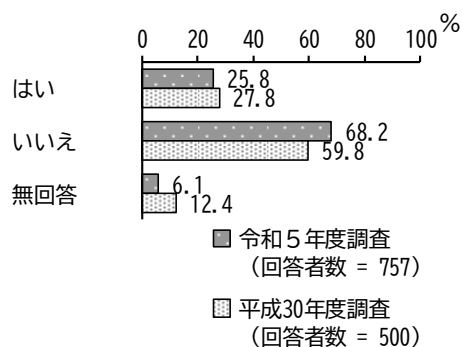
C 今後利用したい

「⑫児童館（子育てひろば）」で「はい」の割合が高くなっています。一方、「①両親学級、育児学級」「③幼稚園の子育て相談・子育て講演会」「④幼稚園の未就学児クラス」で「いいえ」の割合が高くなっています。



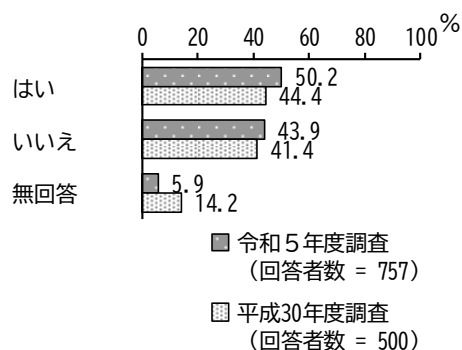
①両親学級、育児学級

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



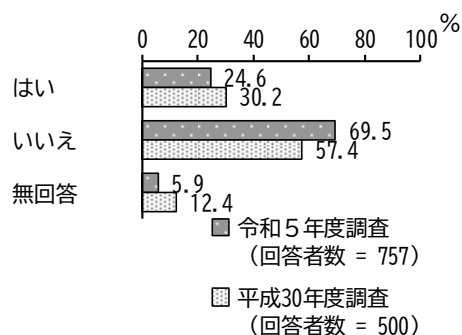
②保健センターの情報・相談事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



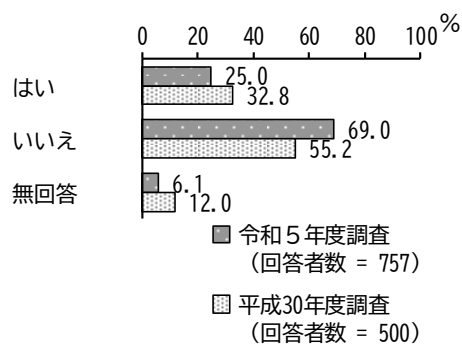
③幼稚園の子育て相談・子育て講演会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



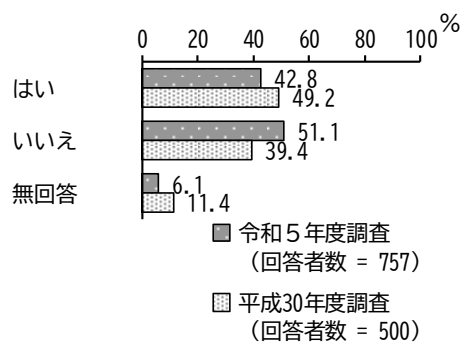
④幼稚園の未就学児クラス

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



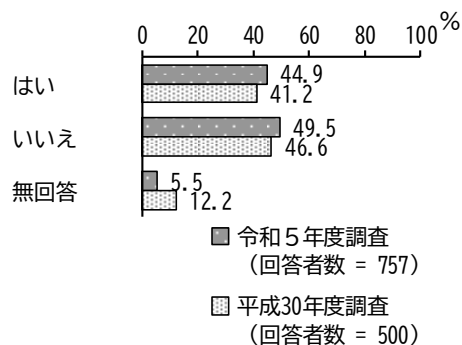
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



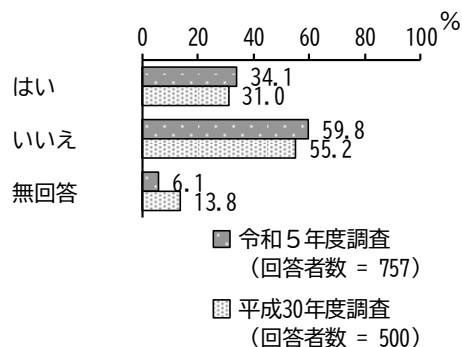
⑥子ども家庭支援センター

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



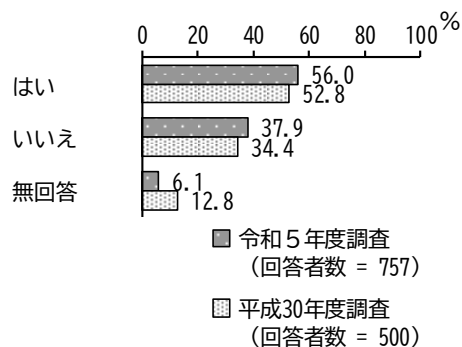
⑦赤ちゃん・ふらっと

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



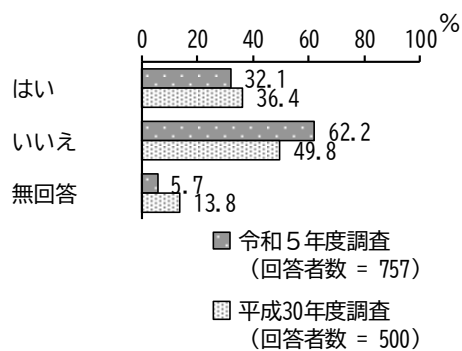
⑧東やまとの子育て（市ホームページの子育て情報サイト）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



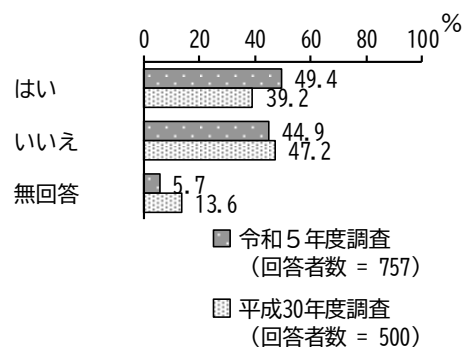
⑨家庭教育に関する学級・講座

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



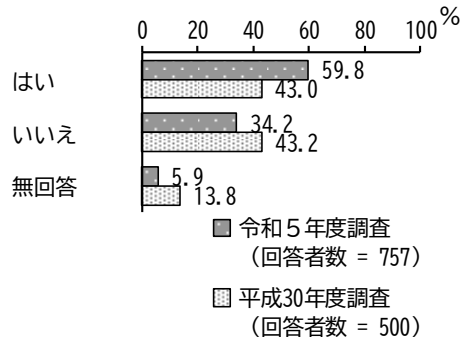
⑩子育て応援アプリ

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



⑪うまベえ子育て応援パック

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



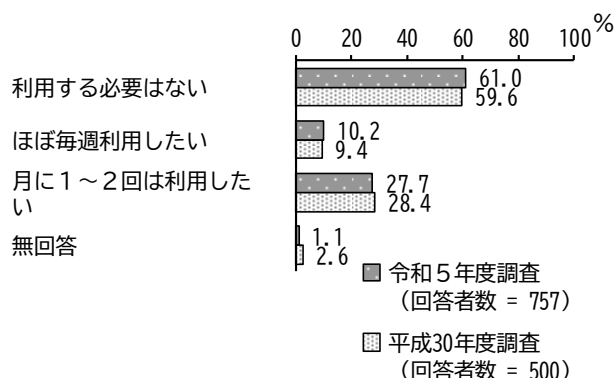
(5) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「日常的」な教育・保育等の利用希望について

問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、日常的な教育・保育の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます) 希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。(○は1つだけ。数字は一枠に一字) なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。※教育・保育等とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設等の事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。(未就学児：問16)

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が27.7%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



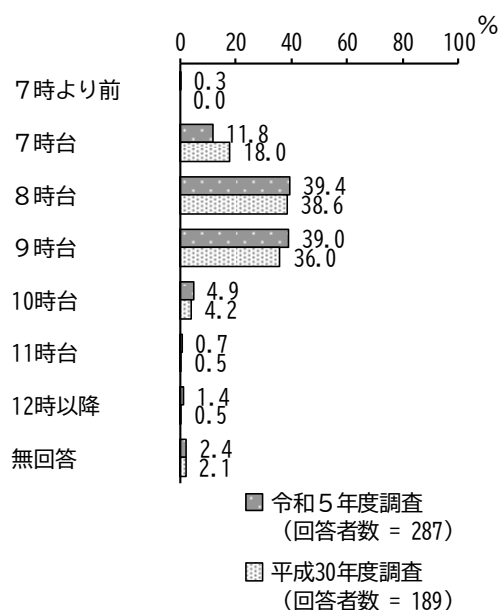
利用開始希望時刻は、「8時台」の割合が39.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が39.0%、「7時台」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。

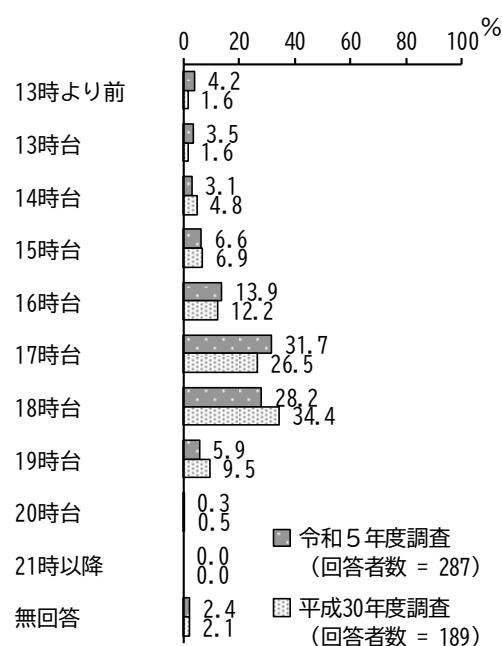
利用終了希望時刻は、「17時台」の割合が31.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が28.2%、「16時台」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「18時台」の割合が減少しています。

【利用開始希望時刻】



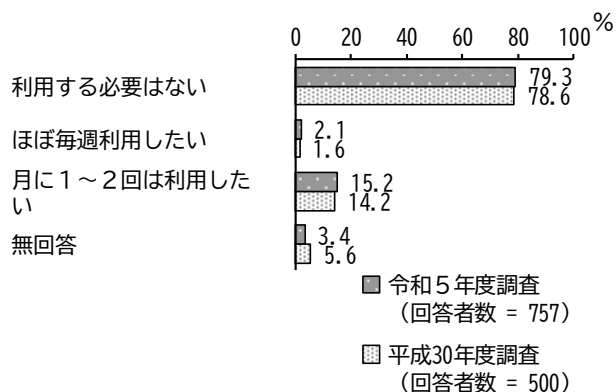
【利用終了希望時刻】



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 79.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 15.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



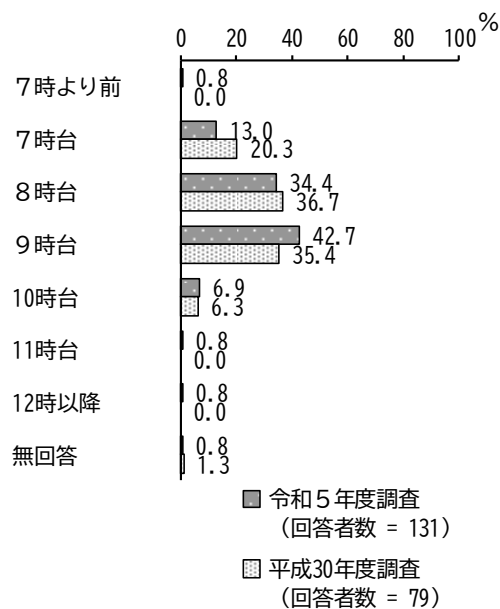
利用開始希望時刻は、「9時台」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 34.4%、「7時台」の割合が 13.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。

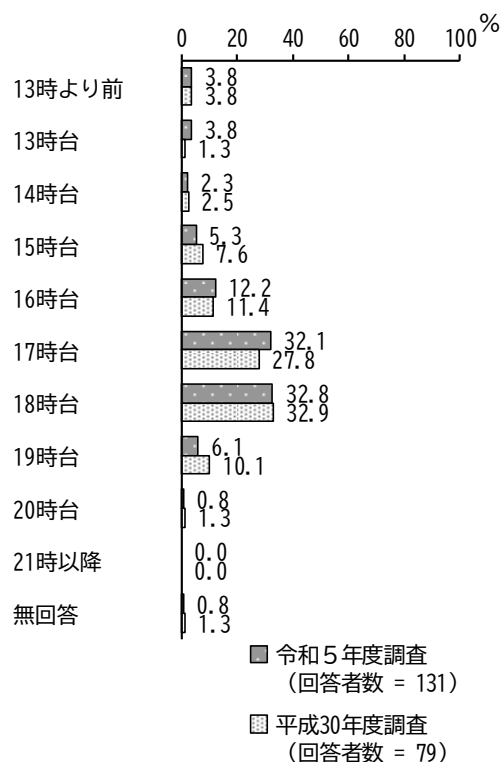
利用終了希望時刻は、「18時台」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 32.1%、「16時台」の割合が 12.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【利用開始希望時刻】



【利用終了希望時刻】

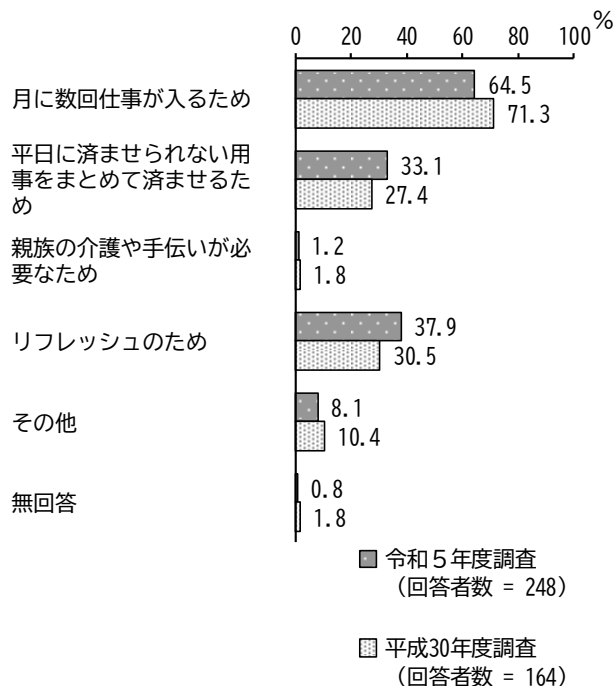


問 16 の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」と答えた方にお聞きします。

問 毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）
（未就学児：問 16－１）

「月に数回仕事が入るため」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が 37.9%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 33.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「リフレッシュのため」の割合が増加しています。一方、「月に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。

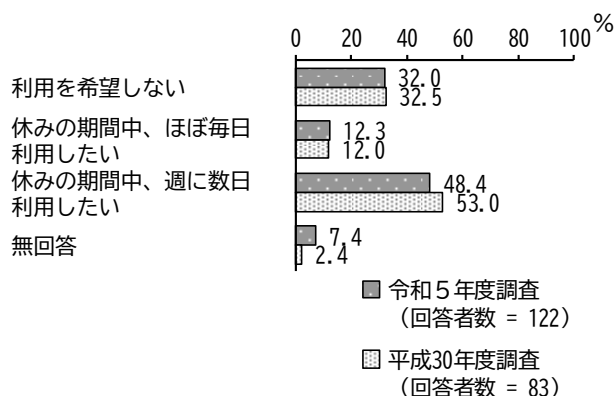


問9－１で、「１．幼稚園」または「２．幼稚園の預かり保育」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

問 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み等、長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）９時～１８時のように 24 時間制でご記入ください。（○は１つだけ、数字は一枠に一字）なお、これらの利用には一定の利用者負担が発生します。（未就学児：問 17）

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「利用を希望しない」の割合が 32.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 12.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



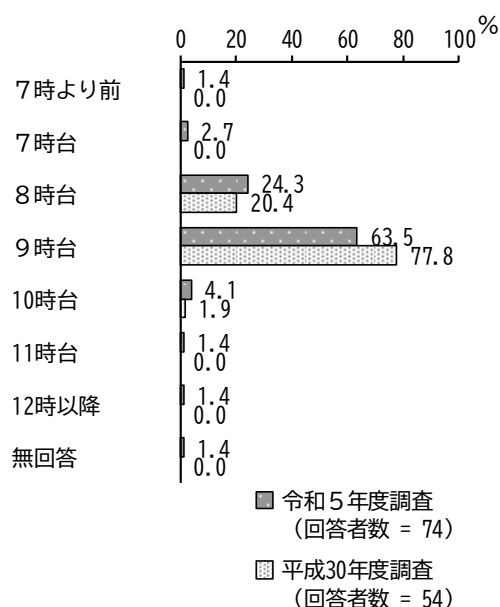
利用開始希望時刻は、「9 時台」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 24.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「9 時台」の割合が減少しています。

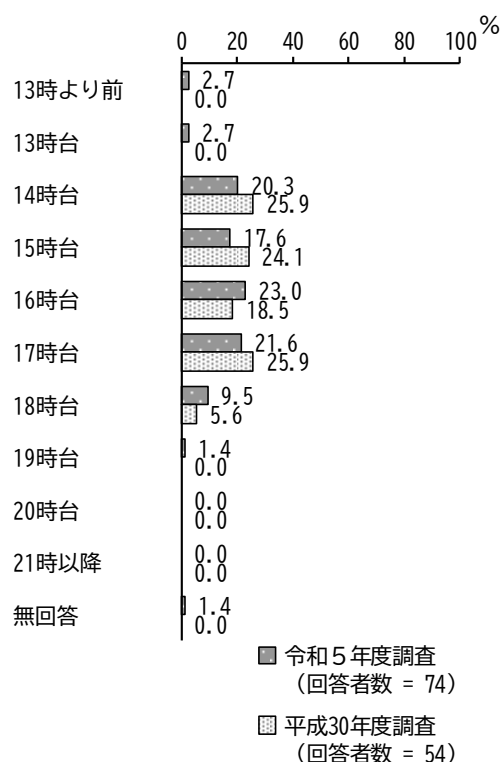
利用終了希望時刻は、「16 時台」の割合が 23.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.6%、「14 時台」の割合が 20.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」「15 時台」「17 時台」の割合が減少しています。

【利用開始希望時刻】



【利用終了希望時刻】



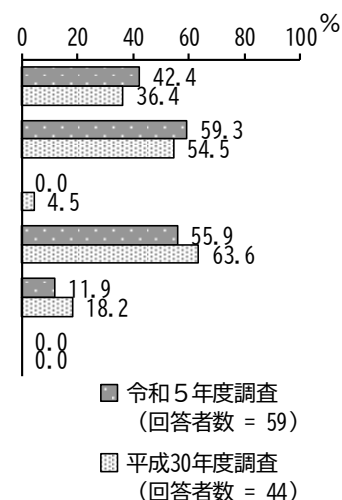
問 17 で、「3. 週に数日利用したい」と答えた方にお聞きします。

問 毎日ではなく、時々利用したい理由はなんですか。(○はいくつでも)
(未就学児：問 17-1)

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が 55.9%、「週に数回仕事が入るため」の割合が 42.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「週に数回仕事が入るため」「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が増加しています。一方、「リフレッシュのため」の割合が減少しています。

週に数回仕事が入るため
買い物等の用事をまとめて済ませるため
親族の介護や手伝いが必要なため
リフレッシュのため
その他
無回答



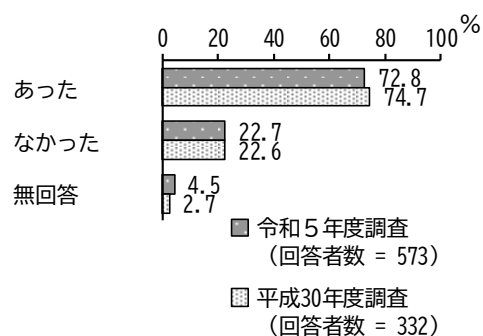
（６）宛名のお子さんの病気の際の対応について （平日の教育・保育等を利用している方のみ）

平日の日常的な教育・保育を利用していると答えた保護者の方（問９で１に○をつけた方）にお聞きします。現在利用していない方は、問１９にお進みください。

問 この１年の間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことはありますか。（○は１つだけ）（未就学児：問１８）

「あった」の割合が 72.8%、「なかった」の割合が 22.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	573	72.8	22.7	4.5
0 歳	66	71.2	24.2	4.5
1 歳	76	76.3	19.7	3.9
2 歳	94	73.4	20.2	6.4
3 歳	126	73.0	21.4	5.6
4 歳	112	70.5	26.8	2.7
5 歳	84	73.8	23.8	2.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あつた	なかった	無回答
全 体	572	72.9	22.6	4.5
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	244	80.7	15.2	4.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	38	68.4	26.3	5.3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	167	70.7	24.6	4.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	13	61.5	30.8	7.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	91	62.6	33.0	4.4
これまで就労したことがない	5	40.0	60.0	－

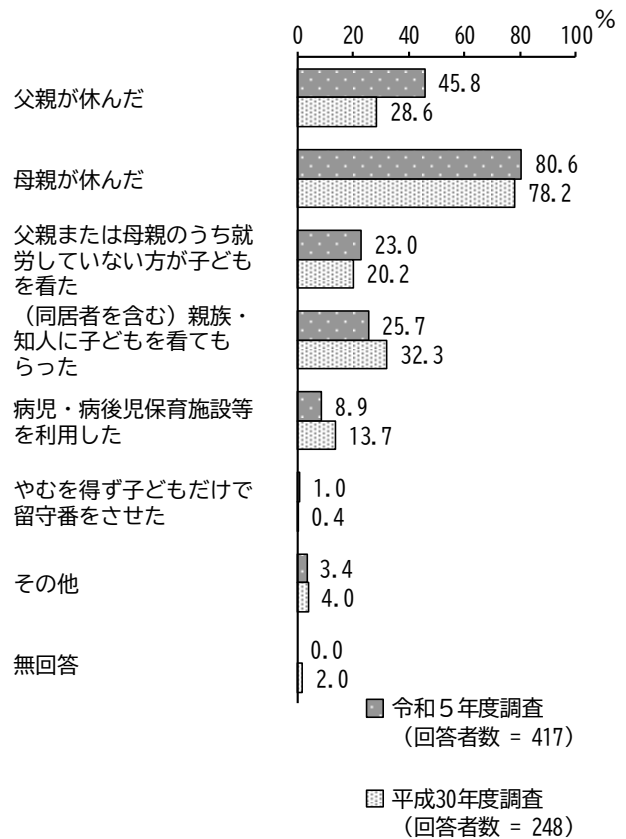
問 18 で「1. あった」と答えた方にお聞きます。

問 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している事業が利用できなかった場合に、この1年の間に行った対処方法はなんですか。当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）（未就学児：問 18－1）

1年間の対処方法

「母親が休んだ」の割合が 80.6%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 45.8%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が 25.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が減少しています。



【年齢別】

すべての年齢で「母親が休んだ」の割合が高くなっており、年齢別にみると、「0歳」で「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	父親または母親のうち が子どもを看た	（同居者を含む）親 族・知人に子どもを 看てもらった	病児・病後児保育施 設等を利用した	やむを得ず子どもだ けで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	417	45.8	80.6	23.0	25.7	8.9	1.0	3.4	—
0 歳	47	66.0	91.5	10.6	44.7	6.4	—	2.1	—
1 歳	58	48.3	89.7	10.3	36.2	15.5	—	6.9	—
2 歳	69	42.0	82.6	15.9	20.3	8.7	—	2.9	—
3 歳	92	47.8	71.7	32.6	25.0	7.6	1.1	2.2	—
4 歳	79	40.5	72.2	30.4	17.7	5.1	—	2.5	—
5 歳	62	37.1	82.3	30.6	17.7	9.7	3.2	3.2	—

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

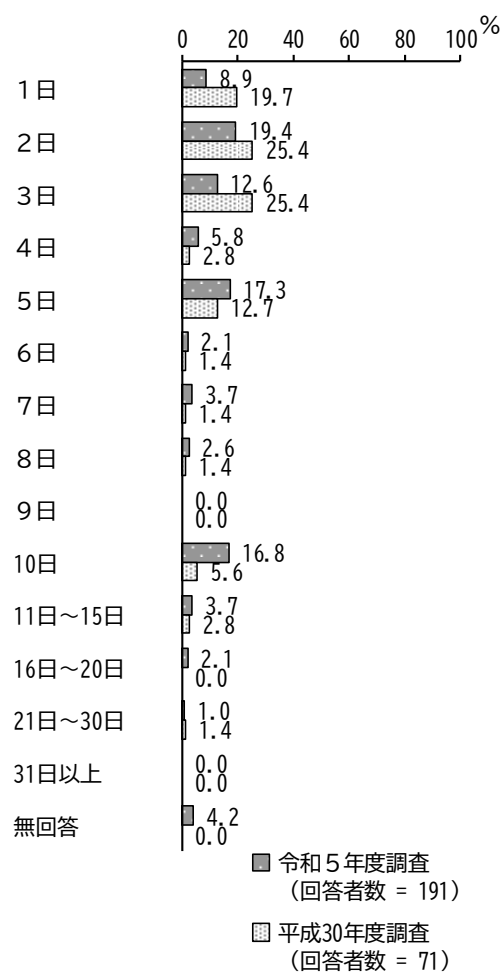
区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	が子どもを看 た 父 親 ま た は 母 親 の 方 が 子 ど も を 看 た	（同居者を含む）親 族・知人に子どもを 看てもらった	病児・病後児保育施 設等を利用した	やむを得ず子どもだ けで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	417	45.8	80.6	23.0	25.7	8.9	1.0	3.4	—
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	197	56.9	93.4	8.1	27.9	14.7	1.0	4.6	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	26	46.2	76.9	19.2	23.1	—	—	3.8	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	118	40.7	95.8	15.3	29.7	5.1	0.8	3.4	—
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	—	62.5	37.5	25.0	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	57	22.8	14.0	87.7	8.8	1.8	—	—	—
これまで就労したことがない	2	50.0	—	50.0	50.0	—	50.0	—	—

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

1. 父親が休んだ 日数

「2日」の割合が19.4%と最も高く、次いで「5日」の割合が17.3%、「10日」の割合が16.8%となっています。

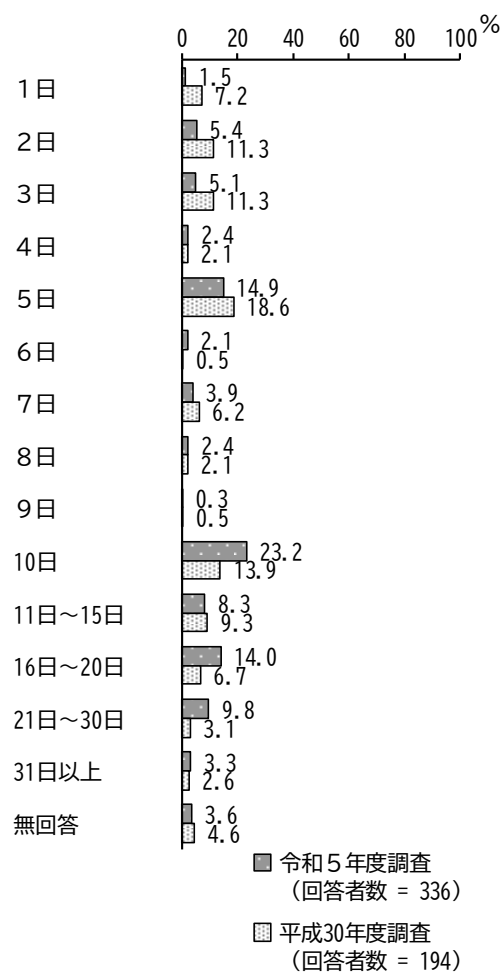
平成30年度調査と比較すると、「10日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」「3日」の割合が減少しています。



2. 母親が休んだ 日数

「10 日」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 14.9%、「16 日～20 日」の割合が 14.0%となっています。

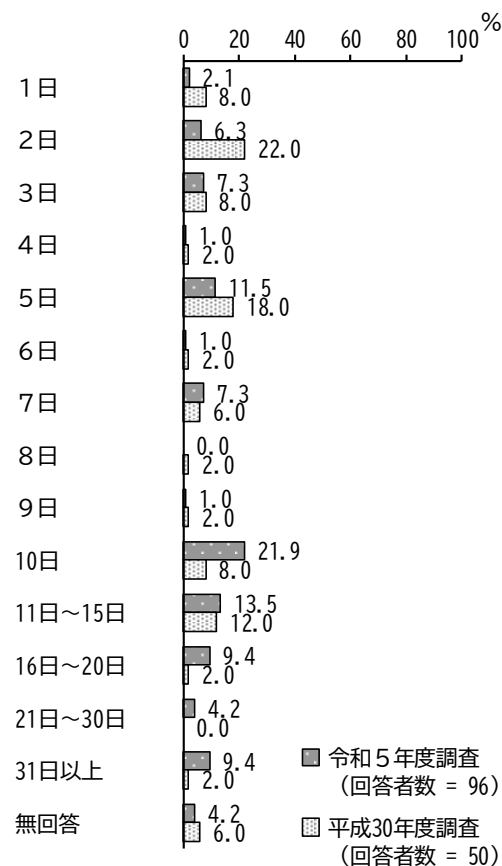
平成 30 年度調査と比較すると、「10 日」「16 日～20 日」「21 日～30 日」の割合が増加しています。一方、「1 日」「2 日」「3 日」の割合が減少しています。



3. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た 日数

「10 日」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「11 日～15 日」の割合が 13.5%、「5 日」の割合が 11.5%となっています。

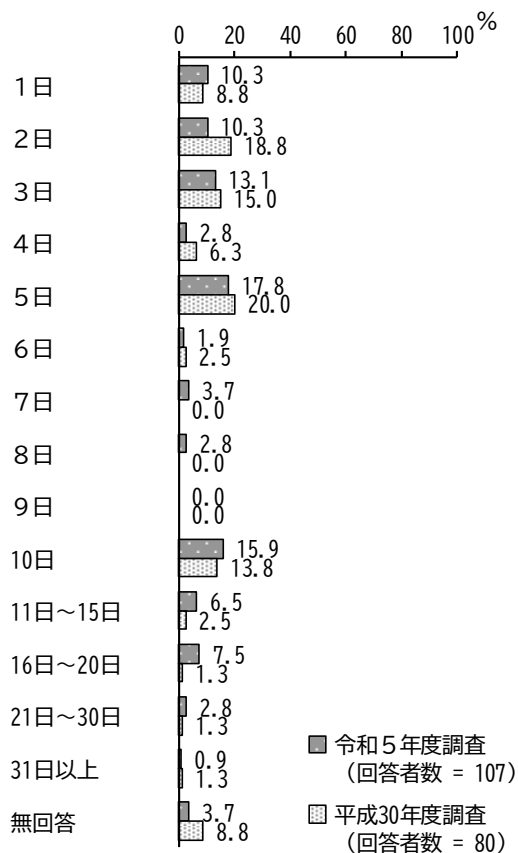
平成 30 年度調査と比較すると、「10 日」「16 日～20 日」「31 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」「2 日」「5 日」の割合が減少しています。



4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった 日数

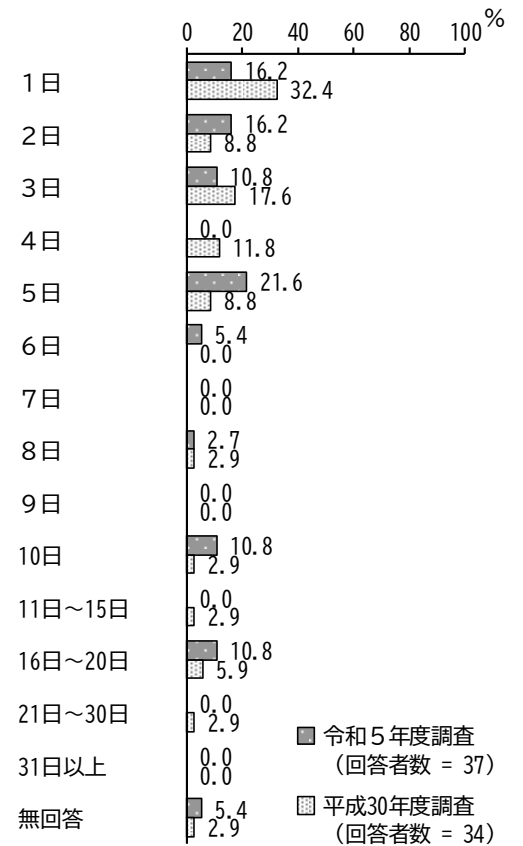
「5日」の割合が17.8%と最も高く、次いで「10日」の割合が15.9%、「3日」の割合が13.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16日～20日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



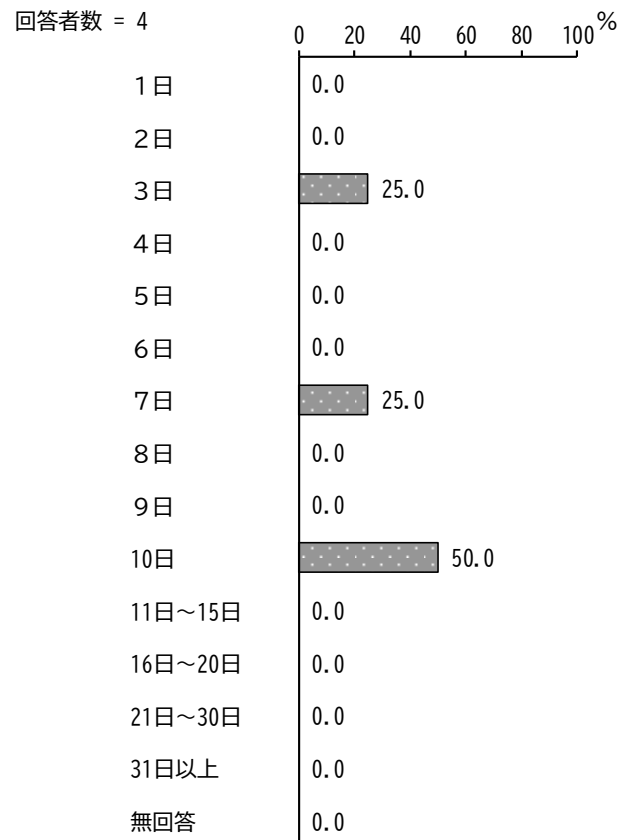
5. 病児・病後児保育施設等を利用した 日数

「5日」の割合が21.6%と最も高く、次いで「1日」「2日」の割合が16.2%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」「6日」「10日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」「4日」の割合が減少しています。



6. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた 日数

「10日」が2件となっています。「3日」「7日」が1件となっています。

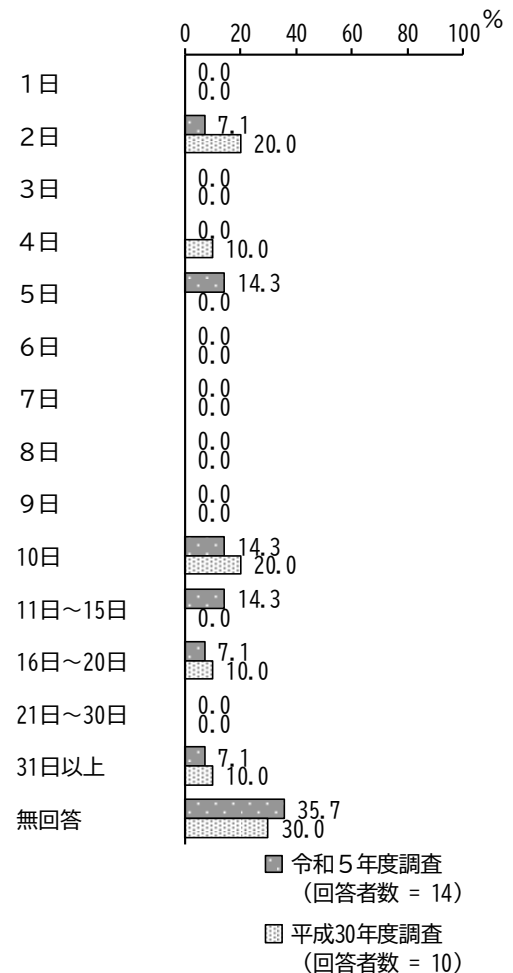


※前回調査では、設問はありましたが、該当がありませんでした。

7. その他 日数

「5日」、「10日」、「11日～15日」の割合が14.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」「11日～15日」の割合が増加しています。一方、「2日」「4日」「10日」の割合が減少しています。



問18-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」と答えた方にお聞きします。

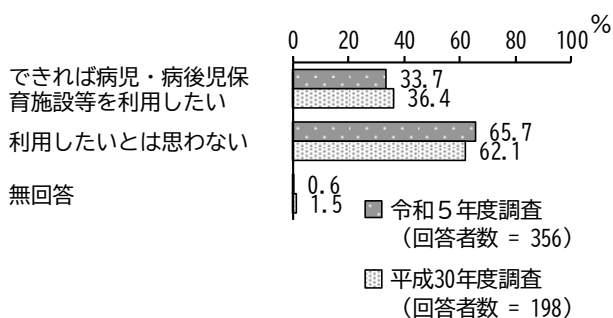
問 その際、「できれば病児・病後児の保育施設等を利用したい」と思われましたか。○は1つだけ。日数（おおよそ）についても□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）（未就学児：問18-2、小学生：問7）

未就学児では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が33.7%、「利用したいとは思わない」の割合が65.7%となっています。

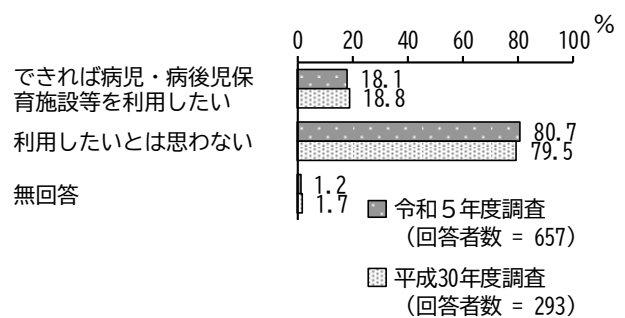
小学生では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が18.1%、「利用したいとは思わない」の割合が80.7%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



【年齢別（未就学児）】

未就学児では、年齢別にみると、「1歳」で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後 児保育施設等を利用 したい	利用したいと思 わない	無回答
全 体	356	33.7	65.7	0.6
0歳	44	36.4	63.6	—
1歳	53	43.4	56.6	—
2歳	61	26.2	73.8	—
3歳	74	35.1	64.9	—
4歳	61	31.1	67.2	1.6
5歳	53	30.2	69.8	—

【年齢別（小学生）】

小学生では、年齢別にみると、「四年生」で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後 児保育施設等を利用 したい	利用したいと思 わない	無回答
全 体	657	18.1	80.7	1.2
一年生	129	20.2	79.8	—
二年生	145	20.7	79.3	—
三年生	149	16.1	81.2	2.7
四年生	66	21.2	75.8	3.0
五年生	84	15.5	84.5	—
六年生	83	14.5	83.1	2.4

【母親の就労状況別（未就学児）】

未就学児では、母親の就労状況別にみると、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後 児保育施設等を利用 したい	利用したいとは思 わない	無回 答
全 体	356	33.7	65.7	0.6
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労し ており、産休・育休・介護休業中ではない	187	38.5	61.5	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	22	22.7	77.3	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労して おり、産休・育休・介護休業中ではない	115	29.6	68.7	1.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休 業中である	5	20.0	80.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	18	22.2	77.8	—
これまで就労したことがない	1	—	100.0	—

【母親の就労状況別（小学生）】

小学生では、母親の就労状況別にみると、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後 児保育施設等を利用 したい	利用したいとは思 わない	無回 答
全 体	651	18.0	80.8	1.2
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労し ており、産休・育休・介護休業中ではない	255	24.3	75.3	0.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	16.7	83.3	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労して おり、産休・育休・介護休業中ではない	255	14.5	84.3	1.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休 業中である	2	—	100.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	101	13.9	83.2	3.0
これまで就労したことがない	16	6.3	93.8	—

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

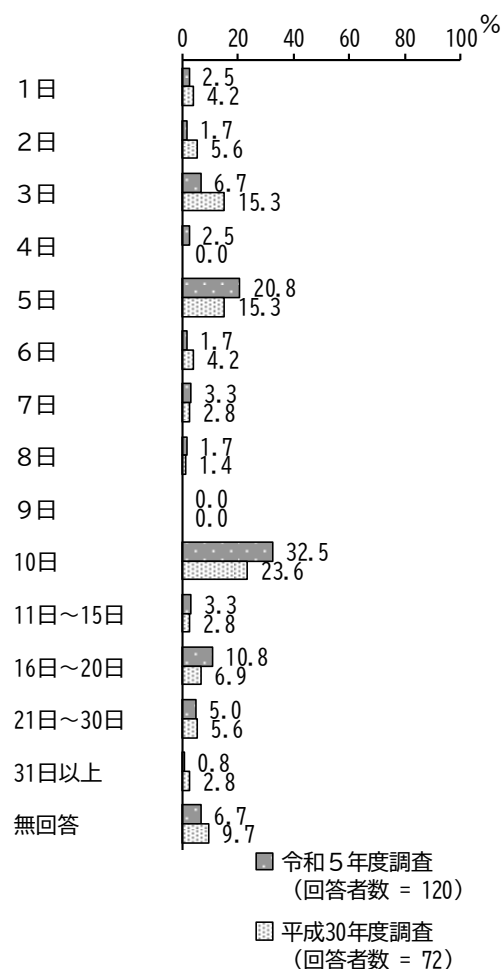
未就学児では、「10日」の割合が32.5%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.8%、「16日～20日」の割合が10.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」「10日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。

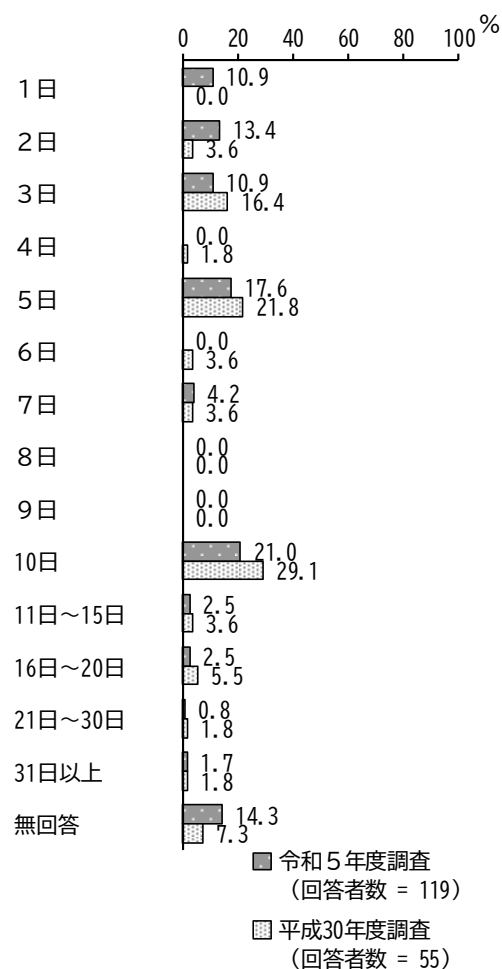
小学生では、「10日」の割合が21.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が17.6%、「2日」の割合が13.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」「10日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 18－2（問 7）で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と答えた方にお聞きします。

問 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（〇はいくつでも）（未就学児：問 18－3、小学生：問 7－1）

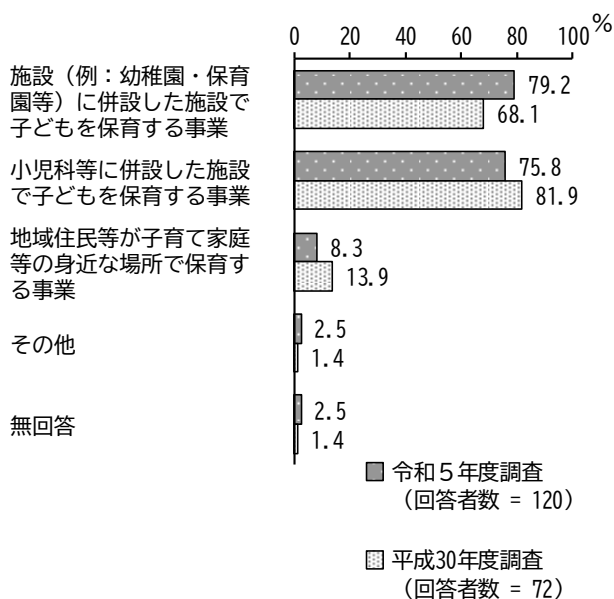
未就学児では、「施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「小児科等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 75.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。一方、「小児科等に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が減少しています。

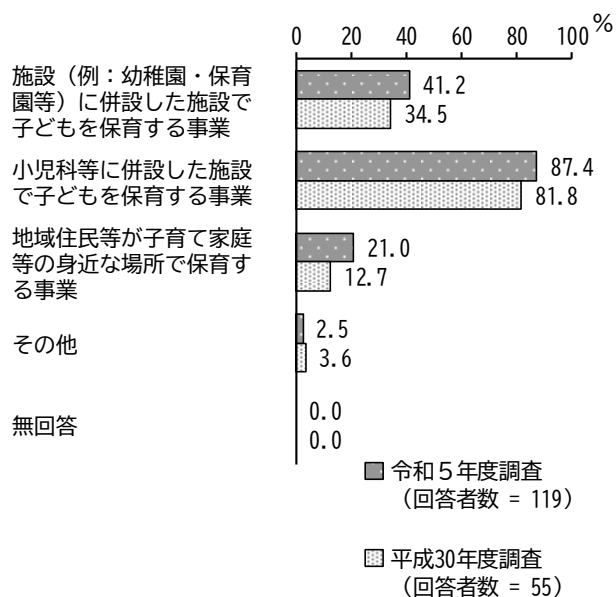
小学生では、「小児科等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 87.4%と最も高く、次いで「施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 41.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 21.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」「小児科等に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



問 18－2（問 7）で「利用したいと思わない」と答えた方にお聞きます。

問 そう思われる理由はなんですか。（○はいくつでも）
（未就学児：問 18－4、小学生：問 7－2）

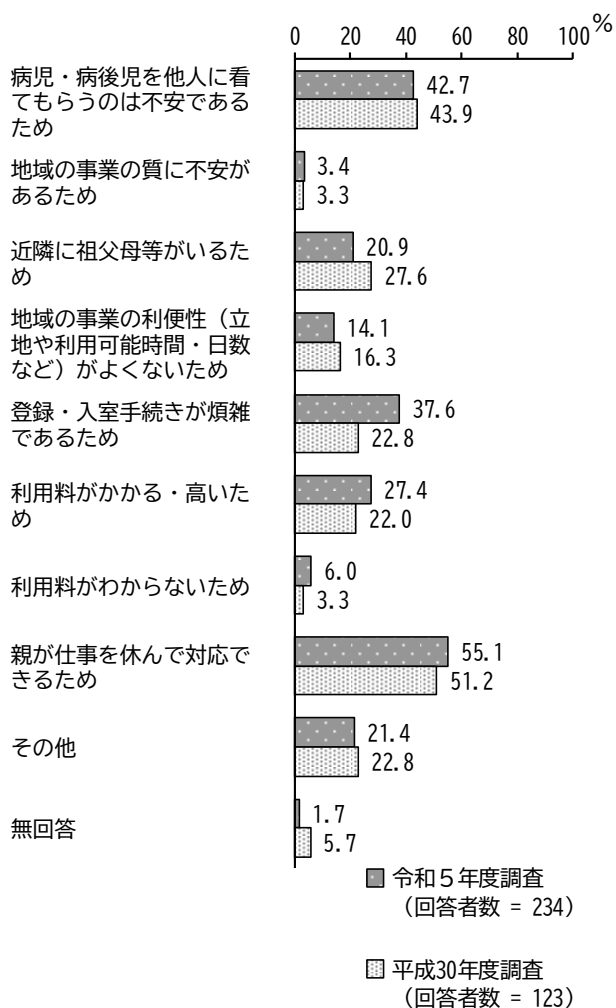
未就学児では、「親が仕事を休んで対応できるため」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安であるため」の割合が 42.7%、「登録・入室手続きが煩雑であるため」の割合が 37.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「登録・入室手続きが煩雑であるため」「利用料がかかる・高いため」の割合が増加しています。一方、「近隣に祖父母等がいるため」の割合が減少しています。

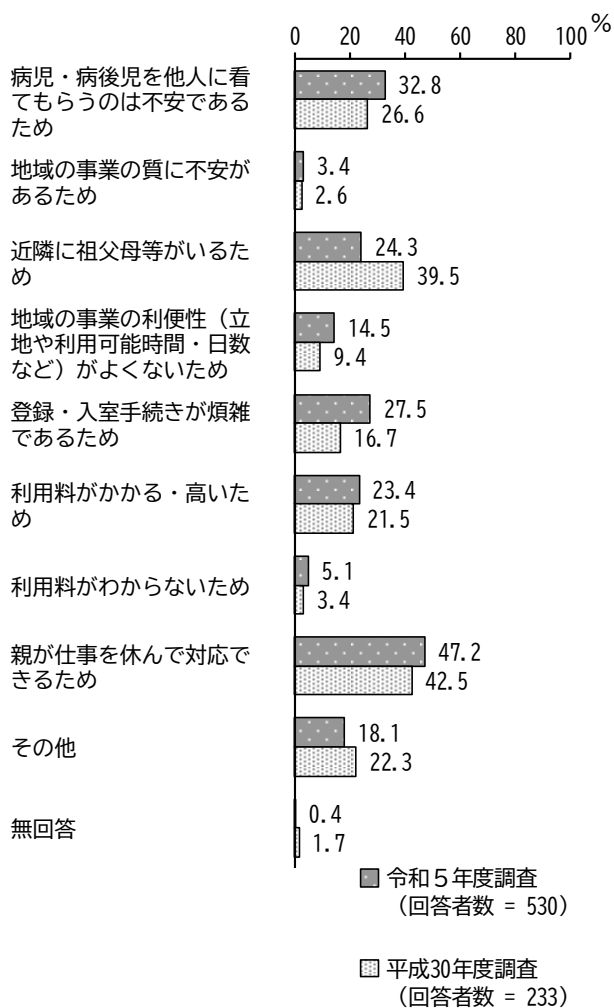
小学生では、「親が仕事を休んで対応できるため」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安であるため」の割合が 32.8%、「登録・入室手続きが煩雑であるため」の割合が 27.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安であるため」「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくないため」「登録・入室手続きが煩雑であるため」の割合が増加しています。一方、「近隣に祖父母等がいるため」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

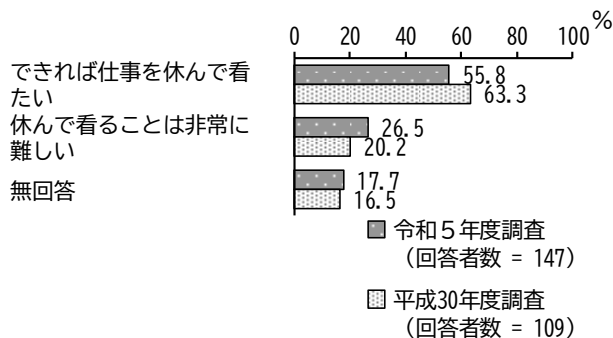


問 18-1 で「4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった～7. その他」のいずれかと答えた方にお聞きします。

問 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。問 18-1 の「4～7」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数（おおよそ）についても数字でご記入ください。（○はひとつだけ、数字は一桁に一字）
（未就学児：問 18-5）

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 55.8%、「休んで看ことは非常に難しい」の割合が 26.5%となっています。

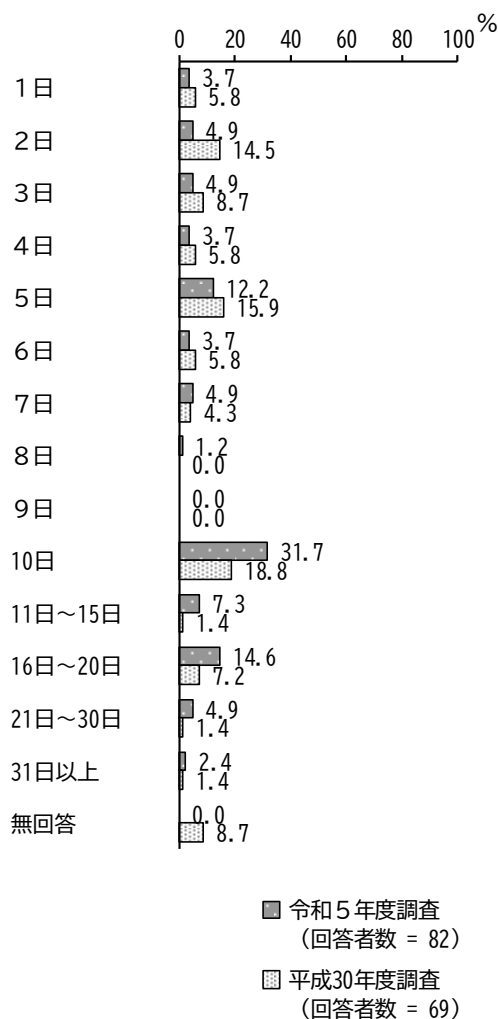
平成 30 年度調査と比較すると、「休んで看ことは非常に難しい」の割合が増加しています。



できれば仕事を休んで看たい日数

「10 日」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「16 日～20 日」の割合が 14.6%、「5 日」の割合が 12.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「10 日」「11 日～15 日」「16 日～20 日」の割合が増加しています。一方、「2 日」の割合が減少しています。



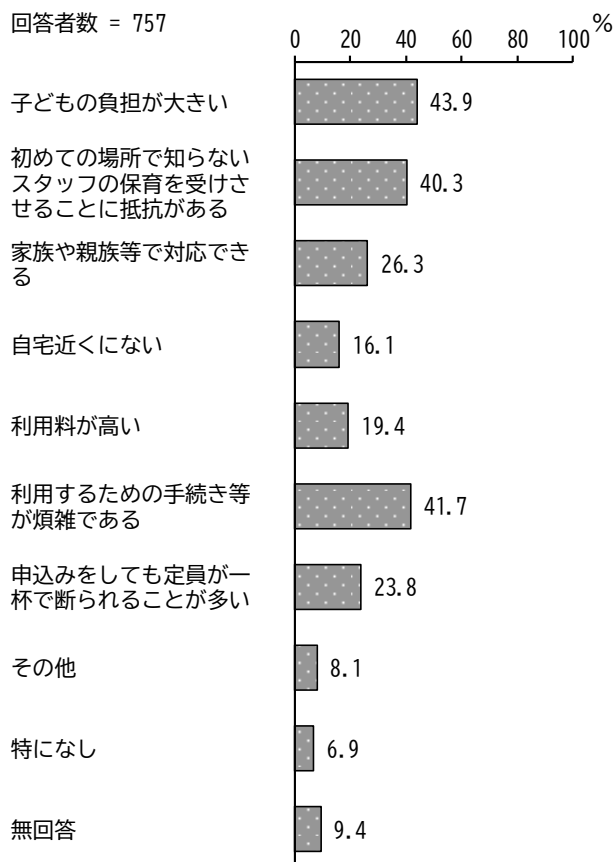
問 病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに関わらず、感じていることを教えてください。（〇はいくつでも）（未就学児：問 19、小学生：問 7－3）

未就学児では、「子どもの負担が大きい」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「利用するための手続き等が煩雑である」の割合が 41.7%、「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある」の割合が 40.3%となっています。

小学生では、「利用するための手続き等が煩雑である」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「子どもの負担が大きい」の割合が 36.8%、「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある」の割合が 33.6%となっています。

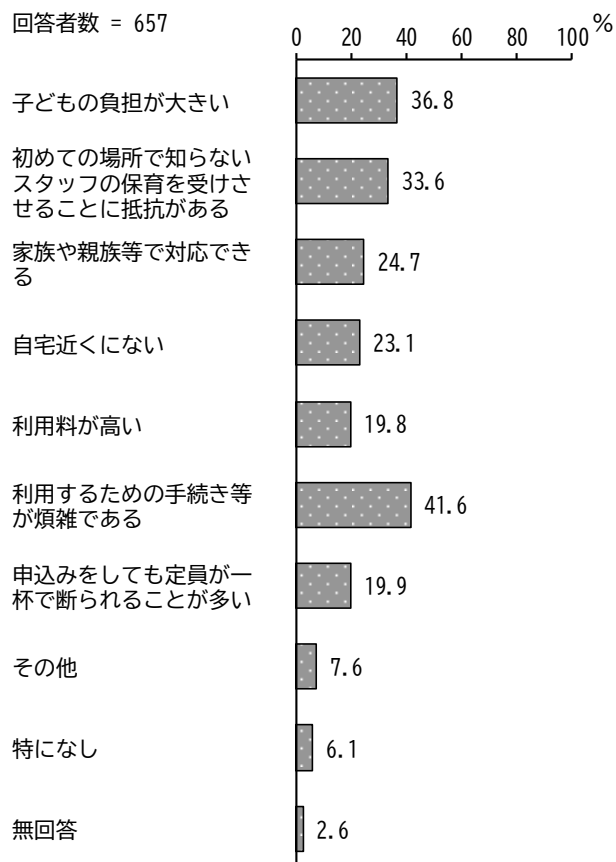
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



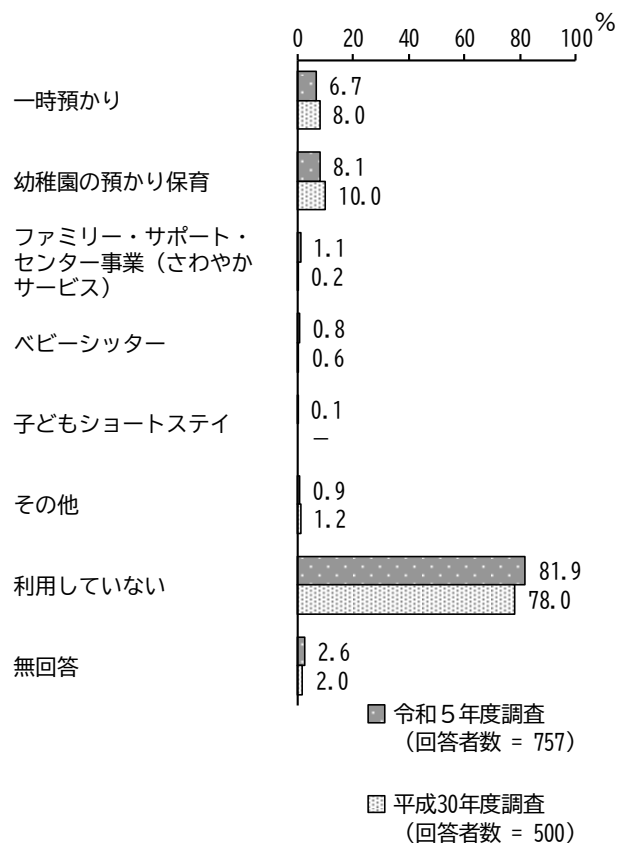
(7) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育等の利用について

問 宛名のお子さんについて、私用、通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（〇はいくつでも、数字は一桁に一字）（未就学児：問 20）

利用している事業

「利用していない」の割合が 81.9%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「子どもショートステイ」の選択肢はありませんでした。

【年齢別】

年齢別にみると、「5歳」で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・ センター事業（さわや かサービス）	ベビーシッター	子どもショートステイ	その他	利用していない	無回答
全 体	757	6.7	8.1	1.1	0.8	0.1	0.9	81.9	2.6
0歳	191	7.9	2.1	1.6	0.5	—	0.5	86.9	2.6
1歳	114	13.2	0.9	0.9	0.9	0.9	1.8	80.7	3.5
2歳	110	10.0	3.6	0.9	1.8	—	0.9	81.8	1.8
3歳	127	3.9	15.7	0.8	—	—	0.8	81.1	0.8
4歳	113	1.8	15.0	—	—	—	1.8	79.6	3.5
5歳	85	2.4	16.5	2.4	—	—	—	78.8	2.4

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

単位：％

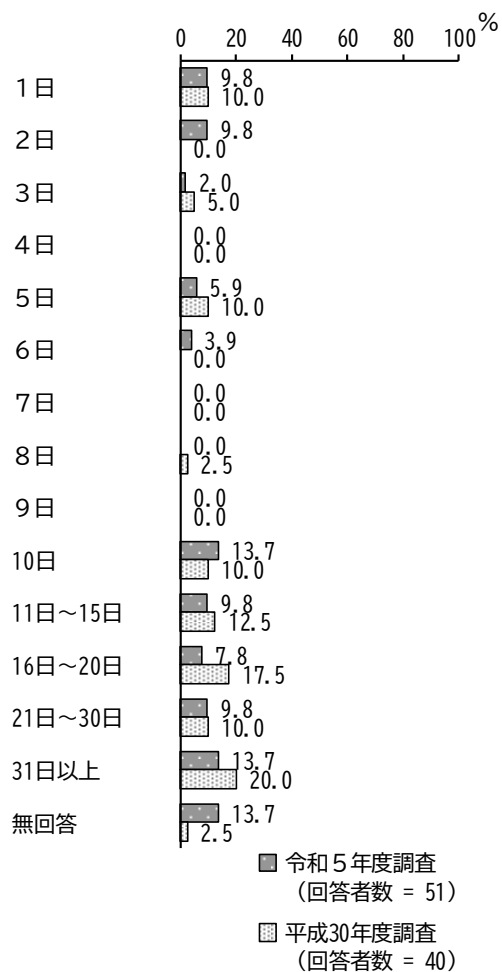
区分	回答者数 (件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・ センター事業（さわや かサービス）	ベビーシッター	子どもショートステイ	その他	利用していない	無回答
全 体	756	6.7	8.1	1.1	0.8	0.1	0.9	81.9	2.6
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	248	3.2	1.6	1.2	0.8	—	0.8	90.3	2.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	93	5.4	2.2	1.1	—	—	1.1	90.3	1.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	179	4.5	12.8	—	0.6	—	—	79.9	2.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	34	5.9	—	—	2.9	—	—	94.1	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	176	14.2	17.0	2.3	0.6	0.6	2.3	67.0	2.3
これまで就労したことがない	10	30.0	20.0	—	—	—	—	60.0	—

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

1. 一時預かり 日数

「10 日」、「31 日以上」の割合が 13.7%と最も高くなっています。

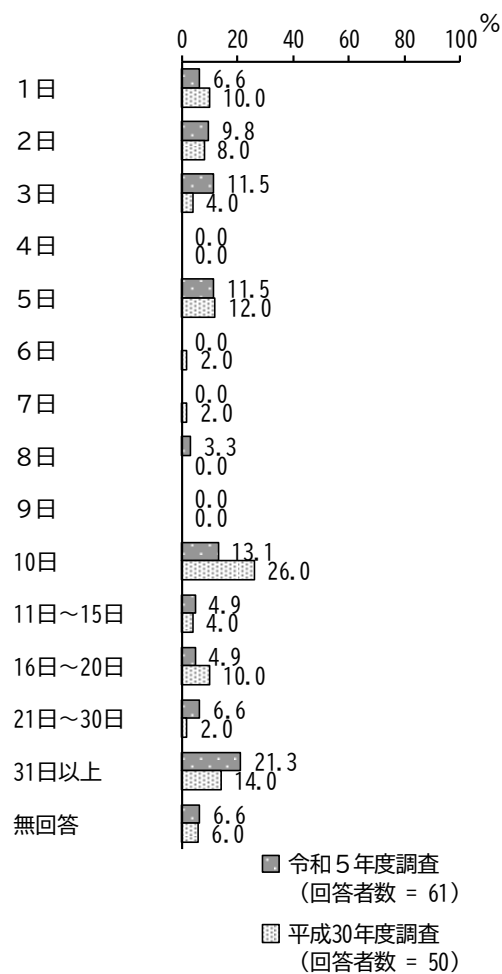
平成 30 年度調査と比較すると、「2 日」の割合が増加しています。一方、「16 日～20 日」「31 日以上」の割合が減少しています。



2. 幼稚園の預かり保育 日数

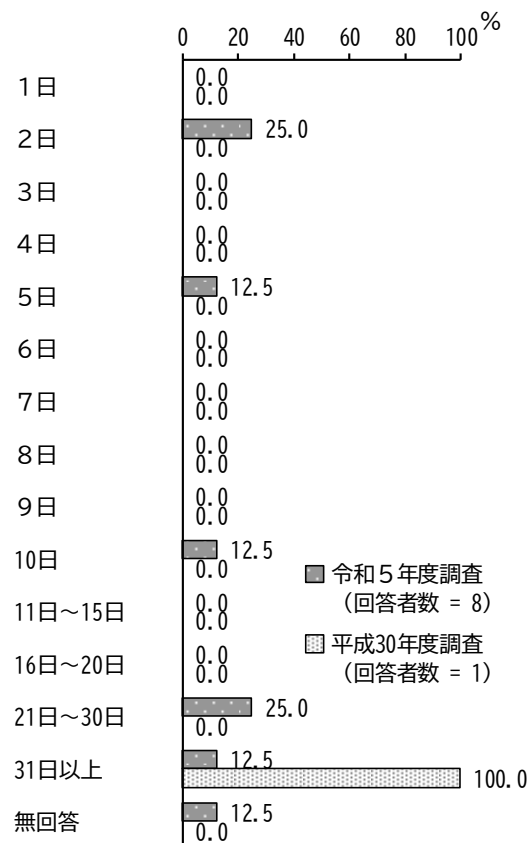
「31 日以上」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「10 日」の割合が 13.1%、「3 日」、「5 日」の割合が 11.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3 日」「31 日以上」の割合が増加しています。一方、「10 日」「16 日～20 日」の割合が減少しています。



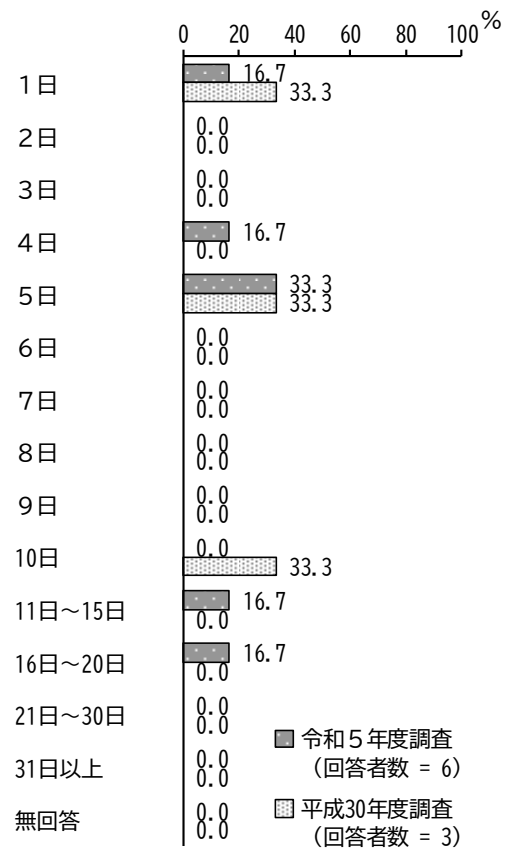
3. ファミリー・サポート・センター事業（さわやかサービス） 日数

「2日」、「21日～30日」が2件となっていて
す。「5日」、「10日」が1件となっています。



4. ベビーシッター 日数

「5日」が2件となっています。「1日」、「4日」、「11日～15日」が1件となっています。



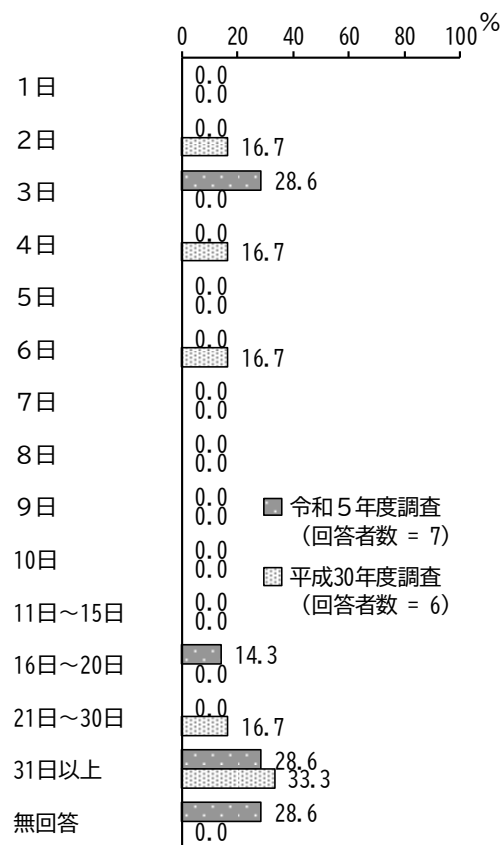
5. 子どもショートステイ 日数

有効回答がありませんでした。

6. その他 日数

「3日」、「31日以上」が2件となっています。

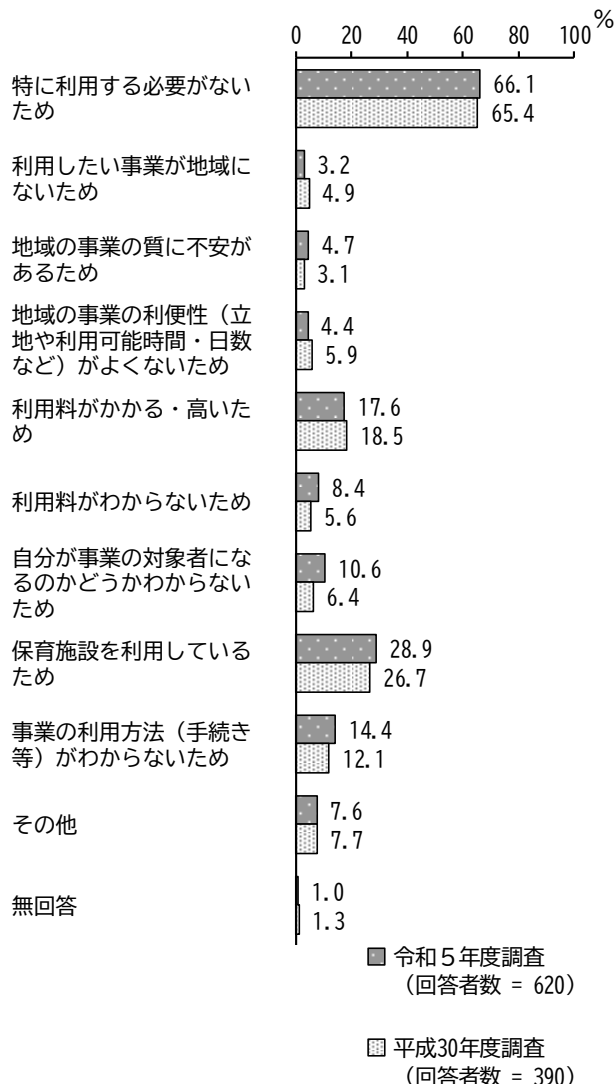
「16日～20日」が1件となっています。



問 20 で「7. 利用していない」と答えた方にお聞きします。

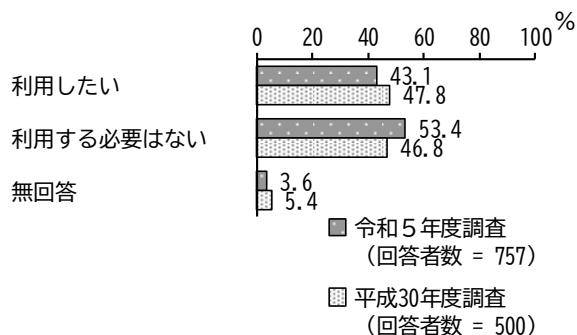
問 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも) (未就学児：問 20－1)

「特に利用する必要がないため」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「保育施設を利用しているため」の割合が 28.9%、「利用料がかかる・高いため」の割合が 17.6%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 宛名のお子さんについて、保護者の用事、通院、就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに〇をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)
(未就学児：問 21)

「利用したい」の割合が 43.1%、「利用する必要はない」の割合が 53.4%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が77.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が57.7%、「不特定の就労」の割合が26.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

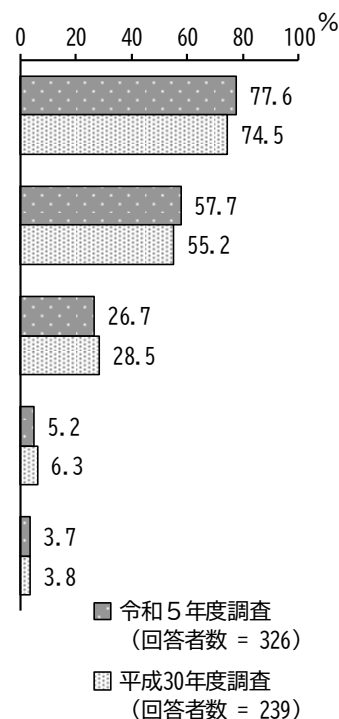
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

不特定の就労

その他

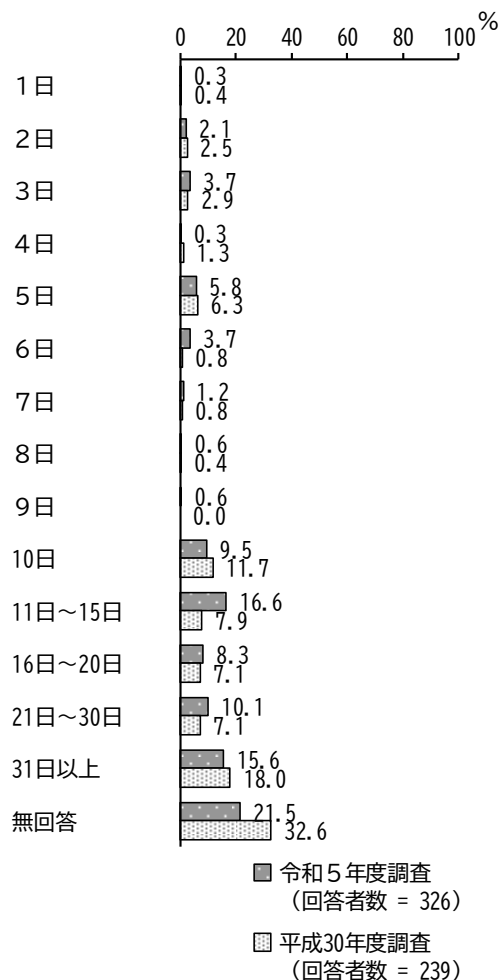
無回答



利用したい合計日数

「11日～15日」の割合が16.6%と最も高く、次いで「31日以上」の割合が15.6%、「21日～30日」の割合が10.1%となっています。

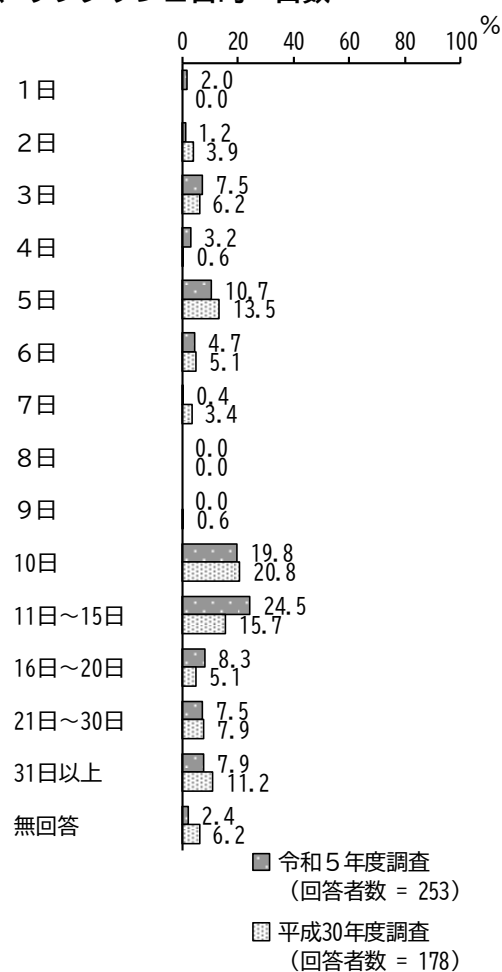
平成30年度調査と比較すると、「11日～15日」の割合が増加しています。



ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 日数

「11 日～15 日」の割合が 24.5%と最も高く、
次いで「10 日」の割合が 19.8%、「5 日」の割合
が 10.7%となっています。

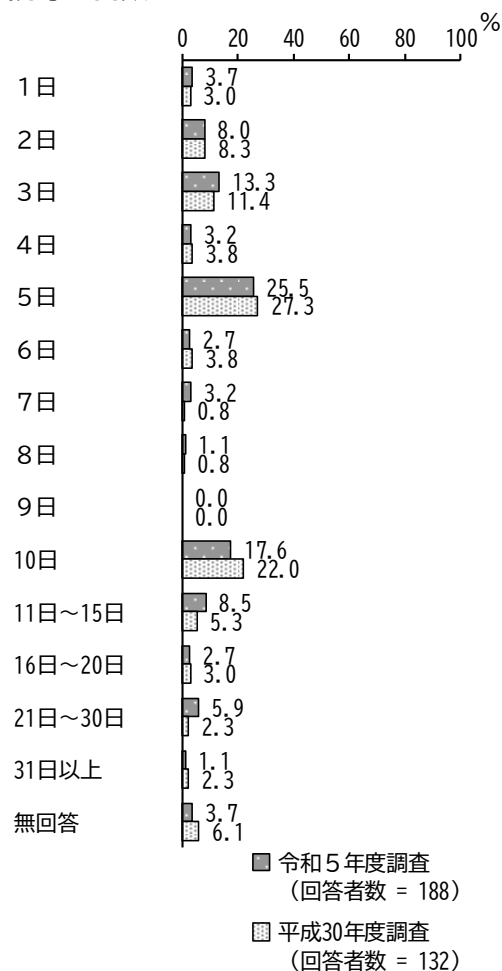
平成 30 年度調査と比較すると、「11 日～15 日」
の割合が増加しています。



イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 日数

「5日」の割合が 25.5%と最も高く、次いで
「10日」の割合が 17.6%、「3日」の割合が 13.3%
となっています。

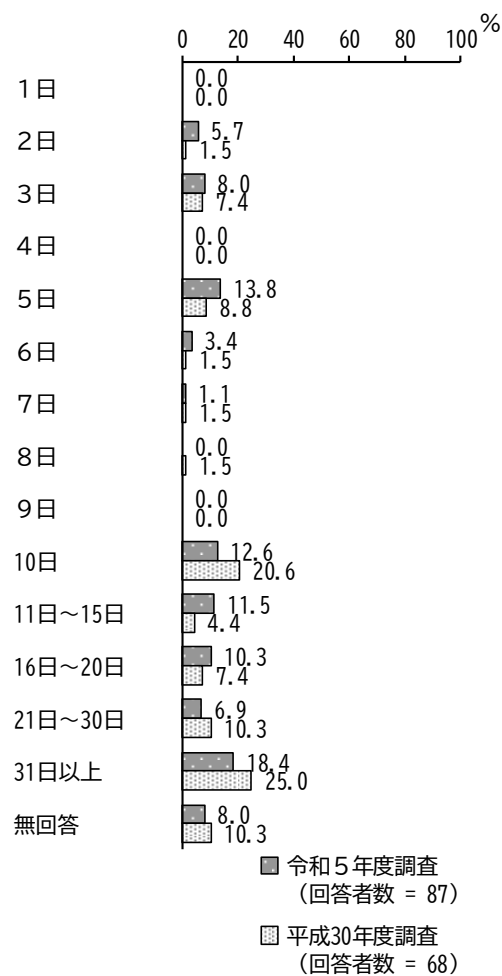
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



ウ. 不定期の就労 日数

「31 日以上」の割合が 18.4%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 13.8%、「10 日」の割合が 12.6%となっています。

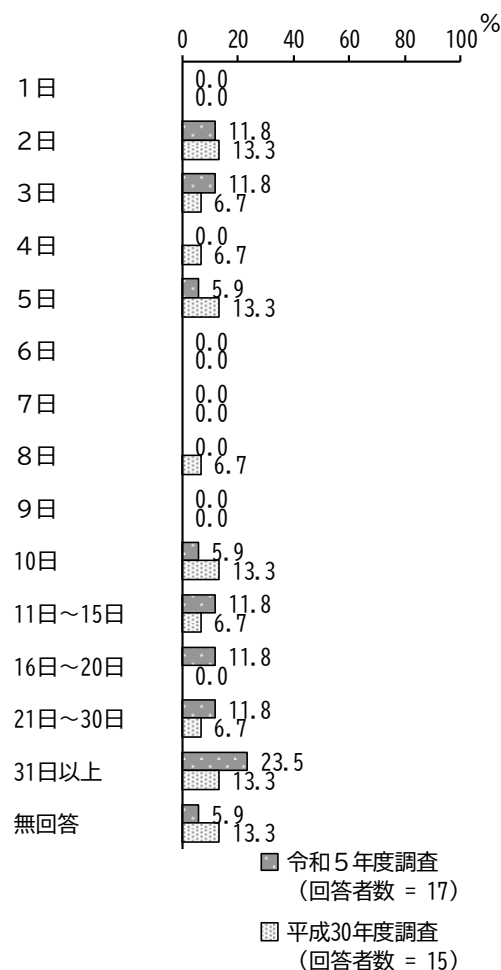
平成 30 年度調査と比較すると、「11 日～15 日」の割合が増加しています。一方、「10 日」「31 日以上」の割合が減少しています。



エ. その他 日数

「31 日以上」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「2 日」、「3 日」、「11 日～15 日」「16 日～20 日」「21 日～30 日」の割合が 11.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3 日」「11 日～15 日」「16 日～20 日」「21 日～30 日」「31 日以上」の割合が増加しています。一方、「4 日」「5 日」「8 日」「10 日」の割合が減少しています。

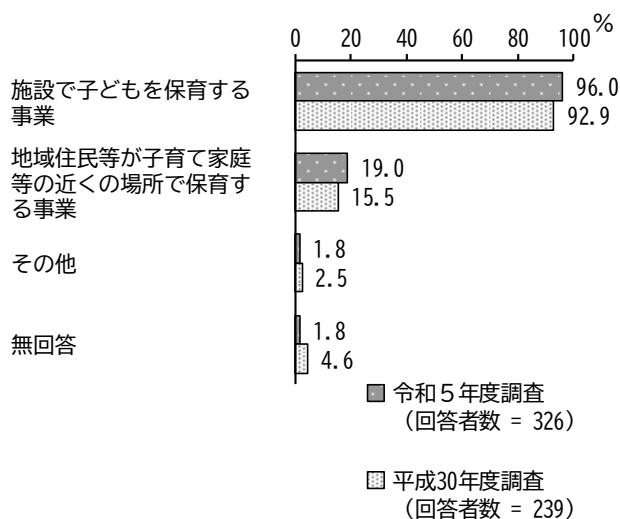


問 21 で「1. 利用したい」と答えた方にお聞きます。

問 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも) (未就学児：問 21-1)

「施設で子どもを保育する事業」の割合が 96.0%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が 19.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

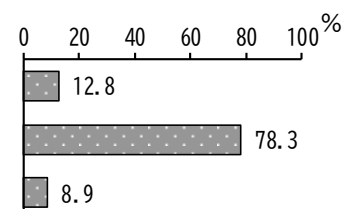


問 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子どもショートステイの利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください）（数字は一桁に一字）なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。
（未就学児：問 22）

「利用したい」の割合が 12.8%、「利用する必要はない」の割合が 78.3%となっています。

回答者数 = 757

利用したい
利用する必要はない
無回答

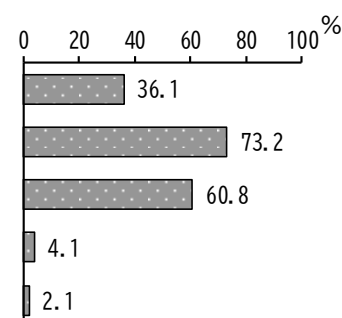


利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 73.2%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 60.8%、「冠婚葬祭」の割合が 36.1%となっています。

回答者数 = 97

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

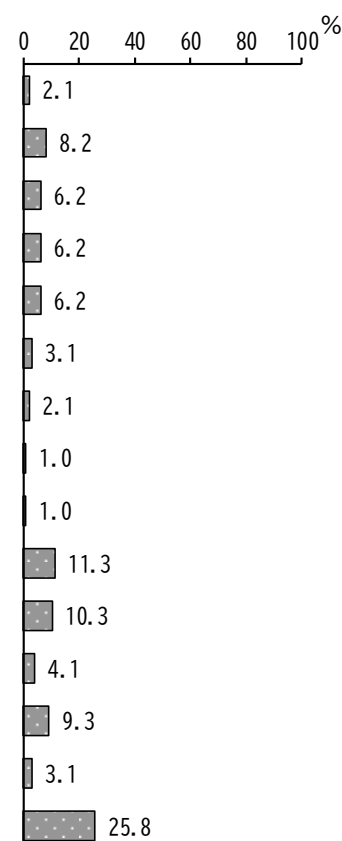


利用したい合計泊数

「10泊」の割合が 11.3%と最も高く、次いで「11泊～15泊」の割合が 10.3%となっています。

回答者数 = 97

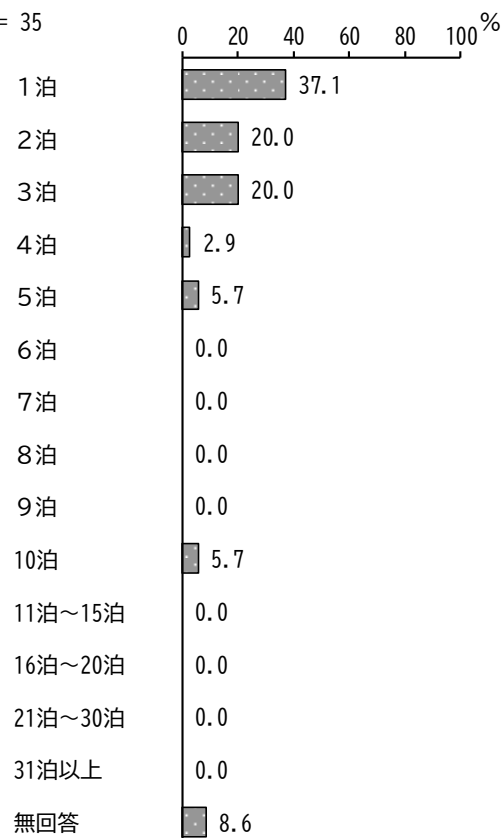
1泊
2泊
3泊
4泊
5泊
6泊
7泊
8泊
9泊
10泊
11泊～15泊
16泊～20泊
21泊～30泊
31泊以上
無回答



ア. 冠婚葬祭 泊数

「1泊」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「2泊」、「3泊」の割合が 20.0%となっています。

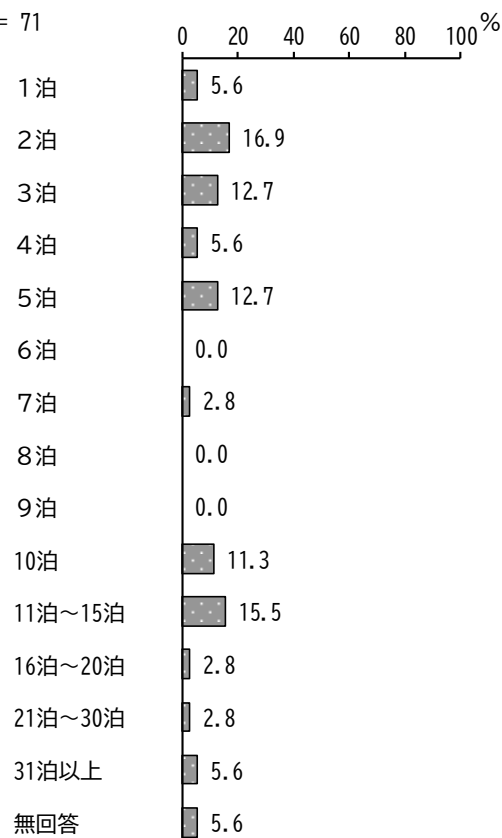
回答者数 = 35



イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安 泊数

「2泊」の割合が 16.9%と最も高く、次いで「11泊~15泊」の割合が 15.5%、「3泊」、「5泊」の割合が 12.7%となっています。

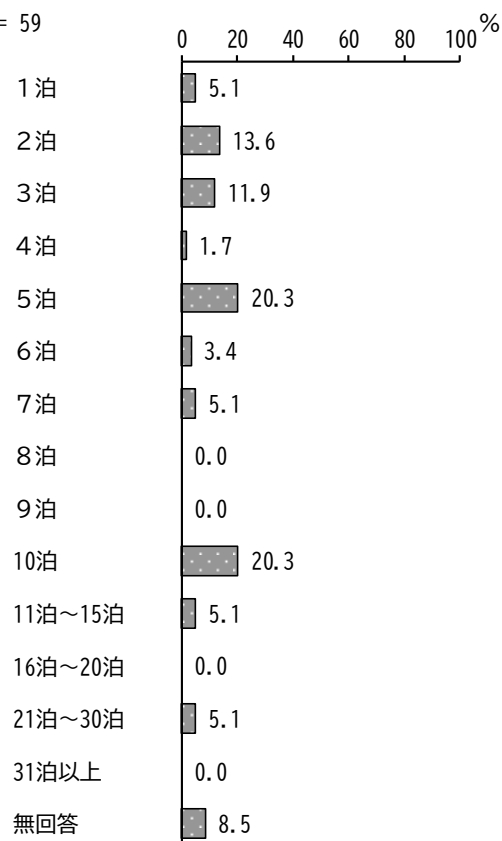
回答者数 = 71



ウ. 保護者や家族の病気 泊数

「5泊」、「10泊」の割合が20.3%と最も高く、
次いで「2泊」の割合が13.6%となっています。

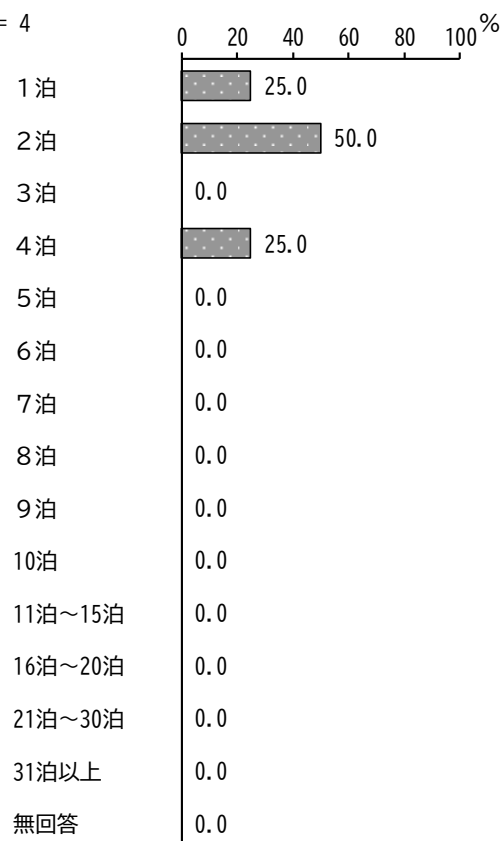
回答者数 = 59



エ. その他 泊数

「2泊」が2件となっています。「1泊」、「4泊」が1件となっています。

回答者数 = 4



(8) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年・高学年で、それぞれ希望する週当たりの日数を合計が5日になるように数字でご記入ください。また、「学童保育所」「ランドセル来館」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字。○はいくつでも）（未就学児：問23、小学生：問8）

低学年（1～3年生）

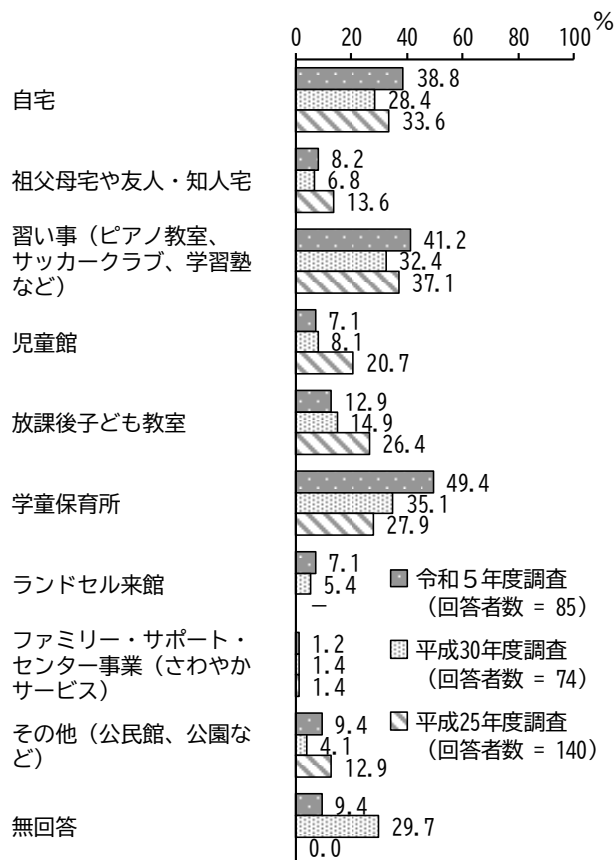
未就学児では、「学童保育所」の割合が49.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が41.2%、「自宅」の割合が38.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「学童保育所」「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。

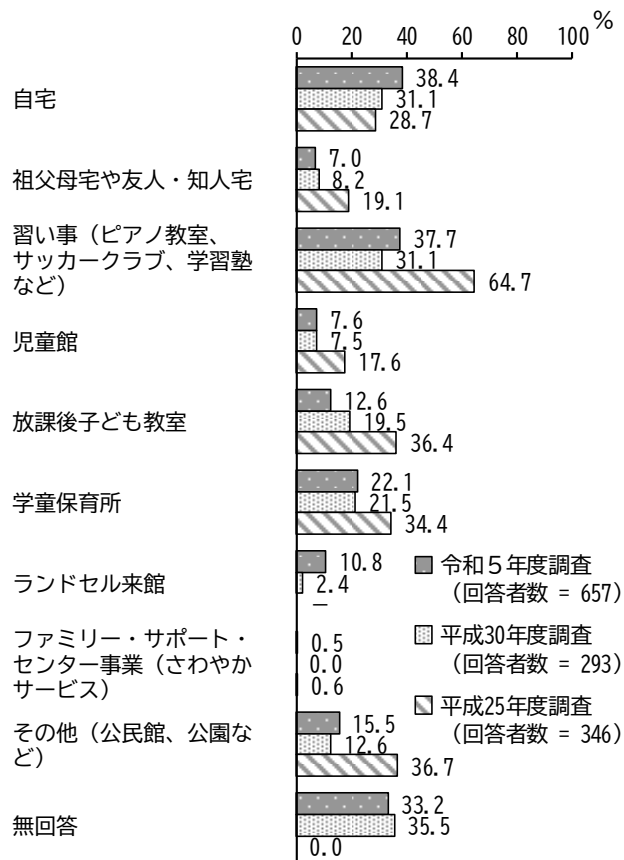
小学生では、「自宅」の割合が38.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が37.7%、「学童保育所」の割合が22.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「ランドセル来館」の割合が増加しています。一方、「放課後子ども教室」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



※前々回調査では、「ランドセル来館」の選択肢はありませんでした。

1. 自宅 日数

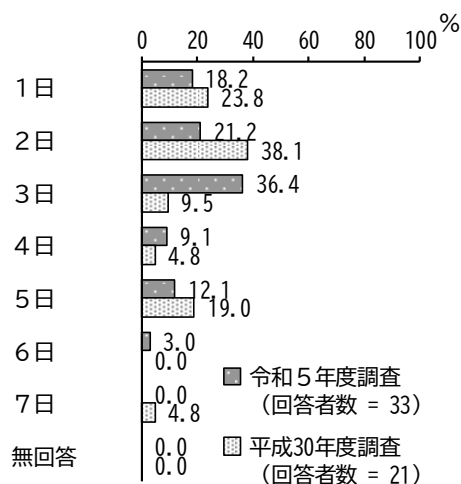
未就学児では、「3日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.2%、「1日」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」「5日」の割合が減少しています。

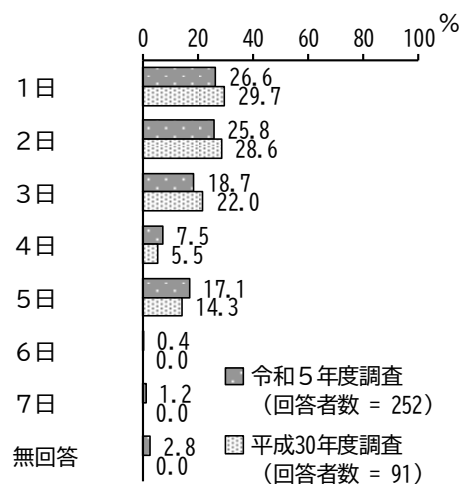
小学生では、「1日」の割合が26.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.8%、「3日」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



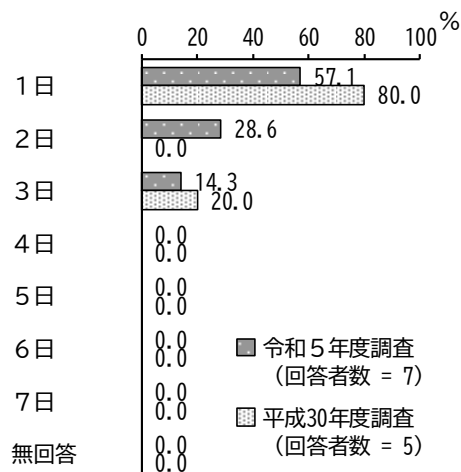
2. 祖父母宅や友人・知人宅 日数

未就学児では、「1日」が4件となっています。「2日」が2件、「3日」が1件となっています。

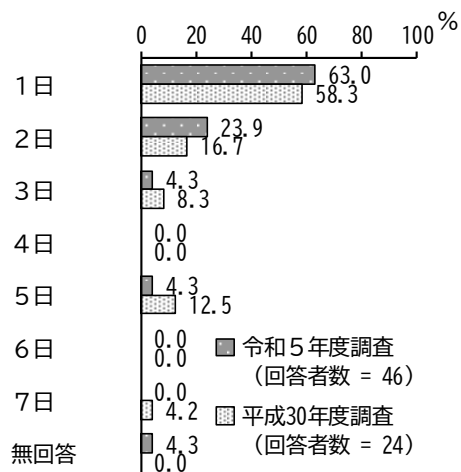
小学生では、「1日」の割合が63.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 日数

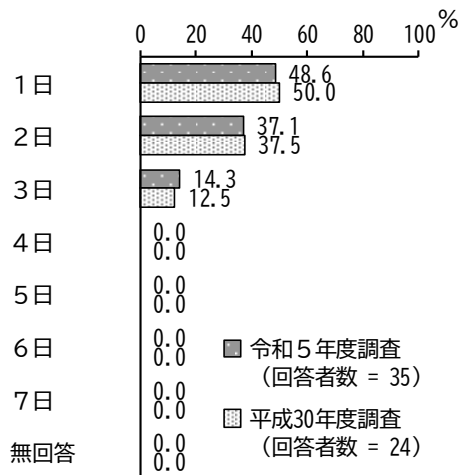
未就学児では、「1日」の割合が48.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が37.1%、「3日」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

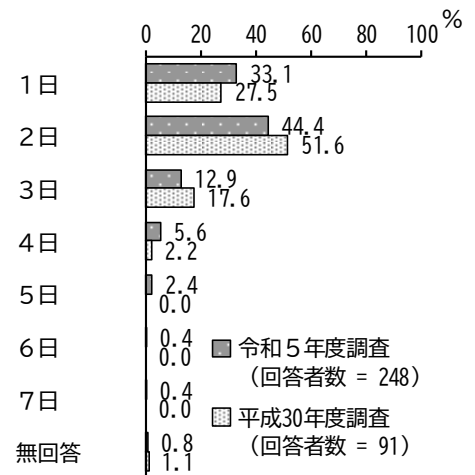
小学生では、「2日」の割合が44.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が33.1%、「3日」の割合が12.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



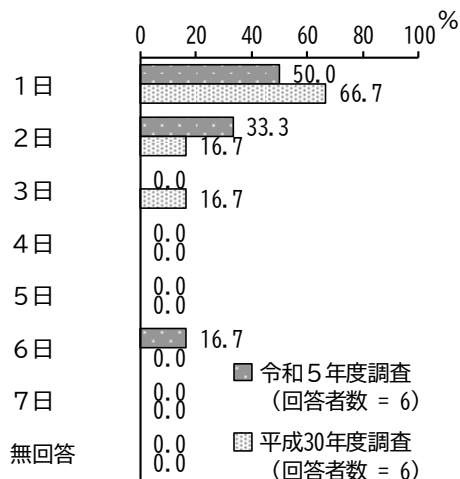
4. 児童館 日数

未就学児では、「1日」が3件となっています。「2日」が2件、「6日」が1件となっています。

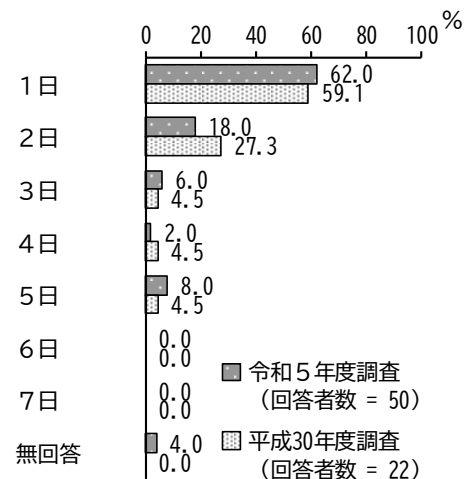
小学生では、「1日」の割合が62.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



5. 放課後子ども教室 日数

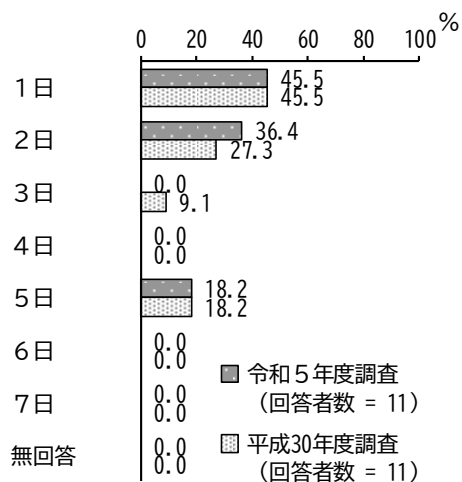
未就学児では、「1日」の割合が45.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が36.4%、「5日」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。

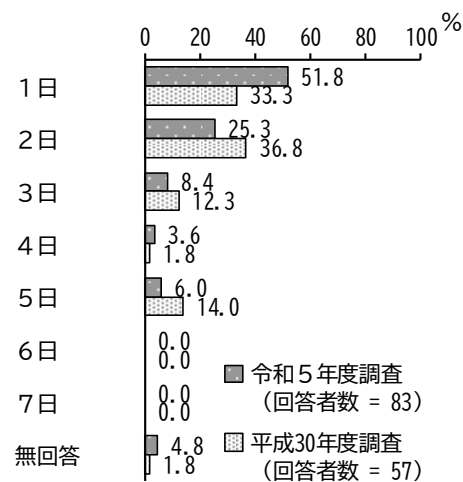
小学生では、「1日」の割合が51.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」「5日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



6. 学童保育所 日数

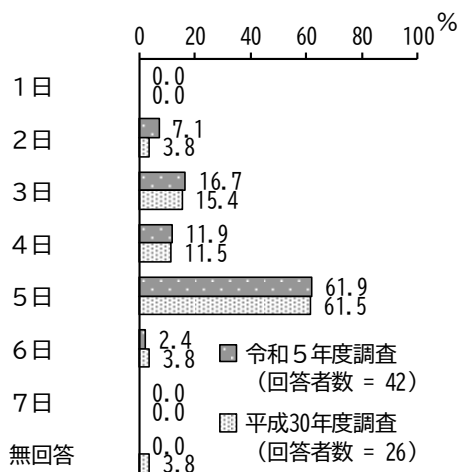
未就学児では、「5日」の割合が61.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が16.7%、「4日」の割合が11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

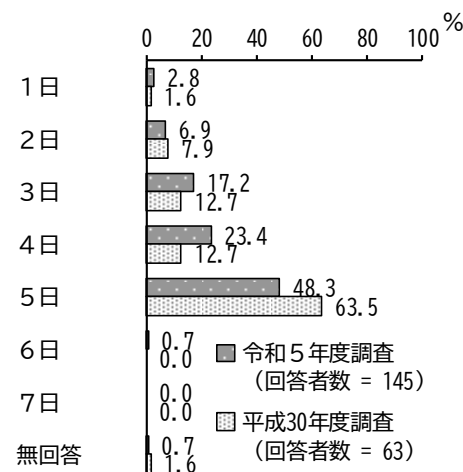
小学生では、「5日」の割合が48.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が23.4%、「3日」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



6. 学童保育所 利用終了時刻

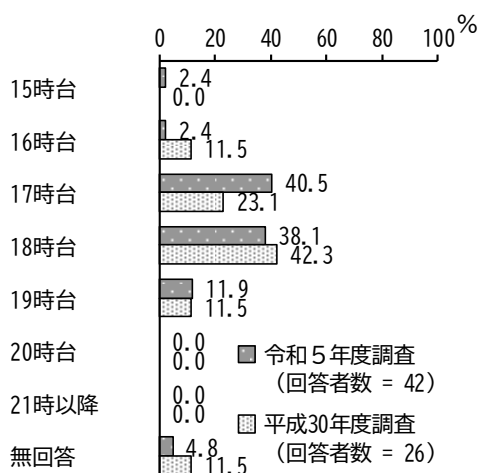
未就学児では、「17 時台」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 38.1%、「19 時台」の割合が 11.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。一方、「16 時台」の割合が減少しています。

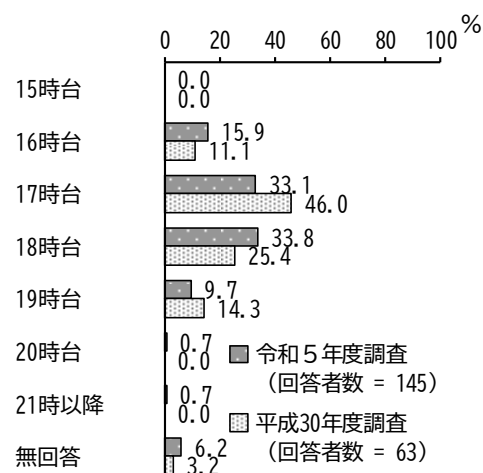
小学生では、「18 時台」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.1%、「16 時台」の割合が 15.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



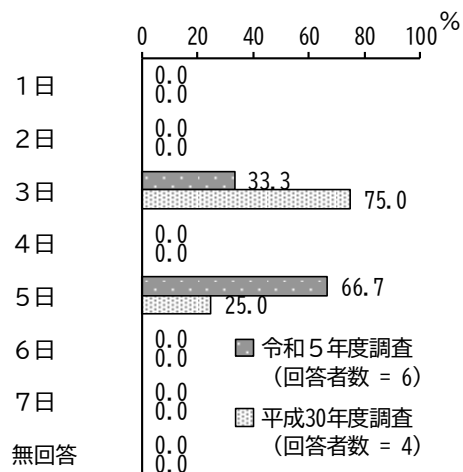
7. ランドセル来館 日数

未就学児では、「5 日」が 4 件となっています。「3 日」が 2 件となっています。

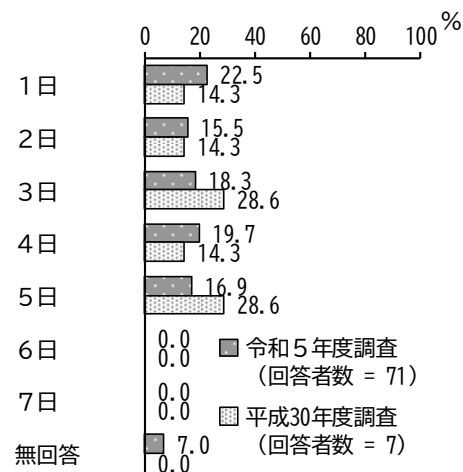
小学生では、「1 日」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「4 日」の割合が 19.7%、「3 日」の割合が 18.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1 日」「4 日」の割合が増加しています。一方、「3 日」「5 日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



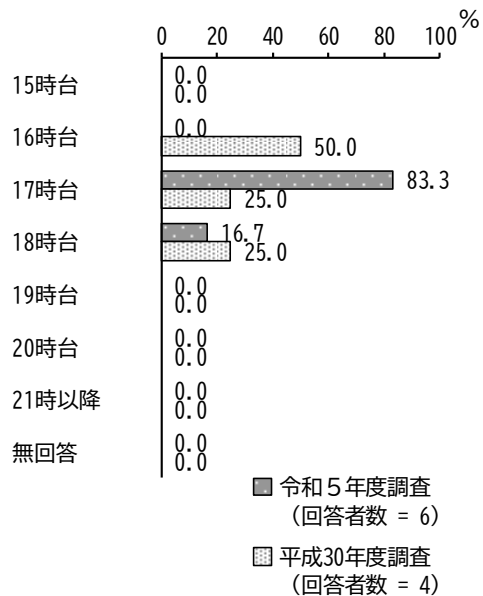
7. ランドセル来館 利用終了時刻

未就学児では、「17 時台」が5件となっています。「18 時台」が1件となっています。

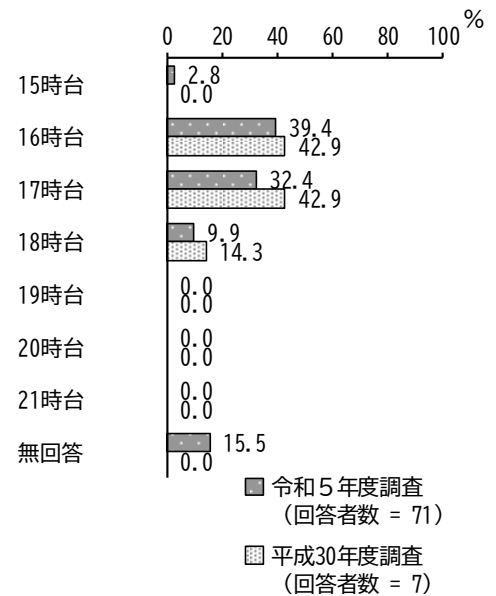
小学生では、「16 時台」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 32.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」「18 時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

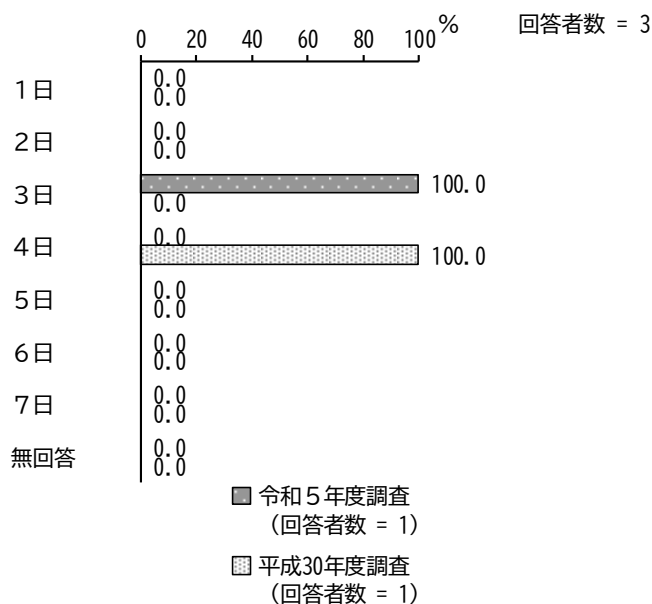


8. ファミリー・サポート・センター事業（さわやかサービス） 日数

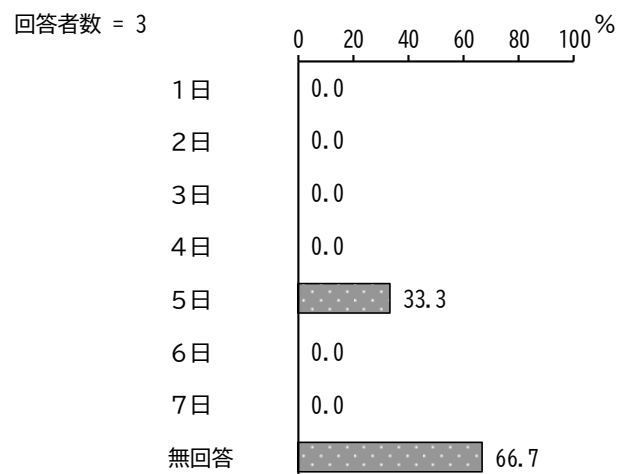
未就学児では、「3 日」が1件となっています。

小学生では、「5 日」が1件となっています。

【未就学児】



【小学生】



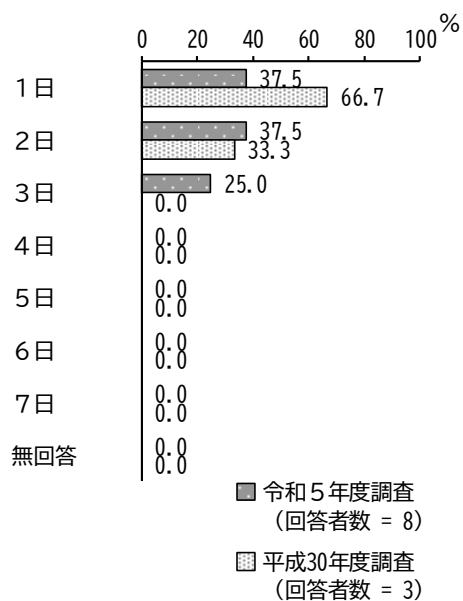
9. その他（公民館、公園など） 日数

未就学児では、「1日」、「2日」が3件となっています。「3日」が2件となっています。

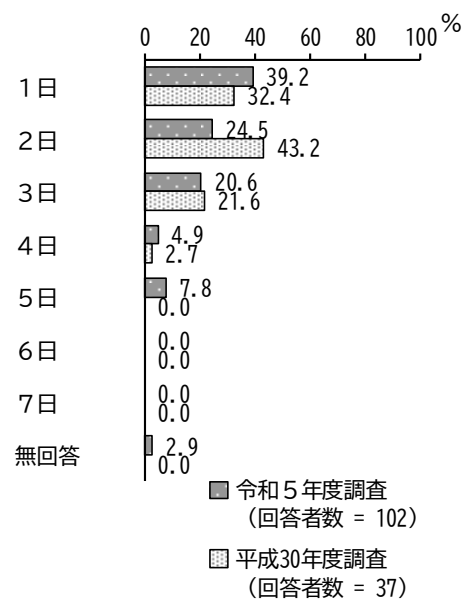
小学生では、「1日」の割合が39.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.5%、「3日」の割合が20.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



高学年（４～６年生）

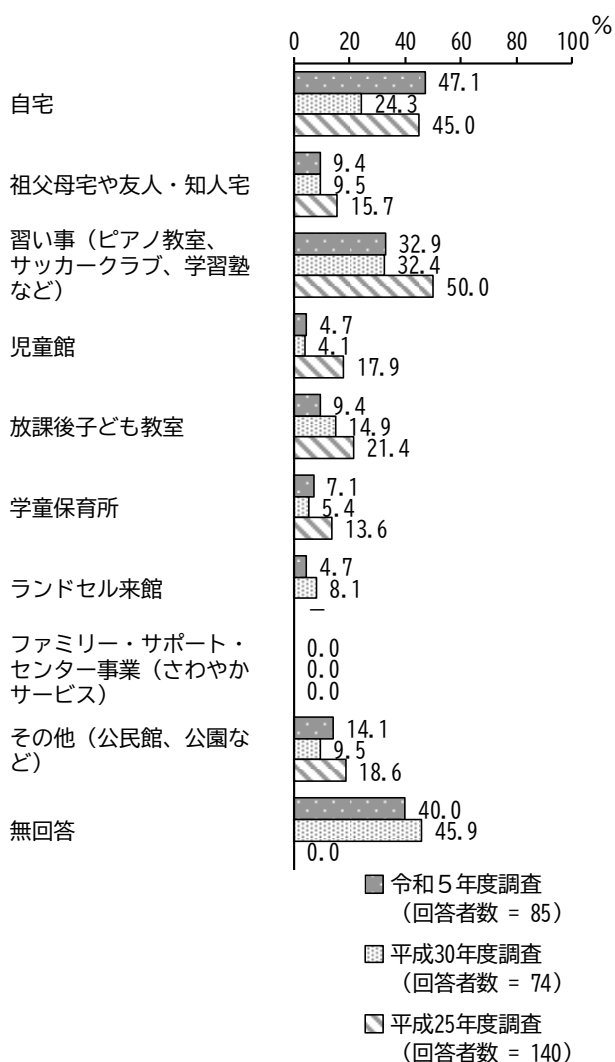
未就学児では、「自宅」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカー клуб、学習塾など）」の割合が 32.9%、「その他（公民館、公園など）」の割合が 14.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。一方、「放課後子ども教室」の割合が減少しています。

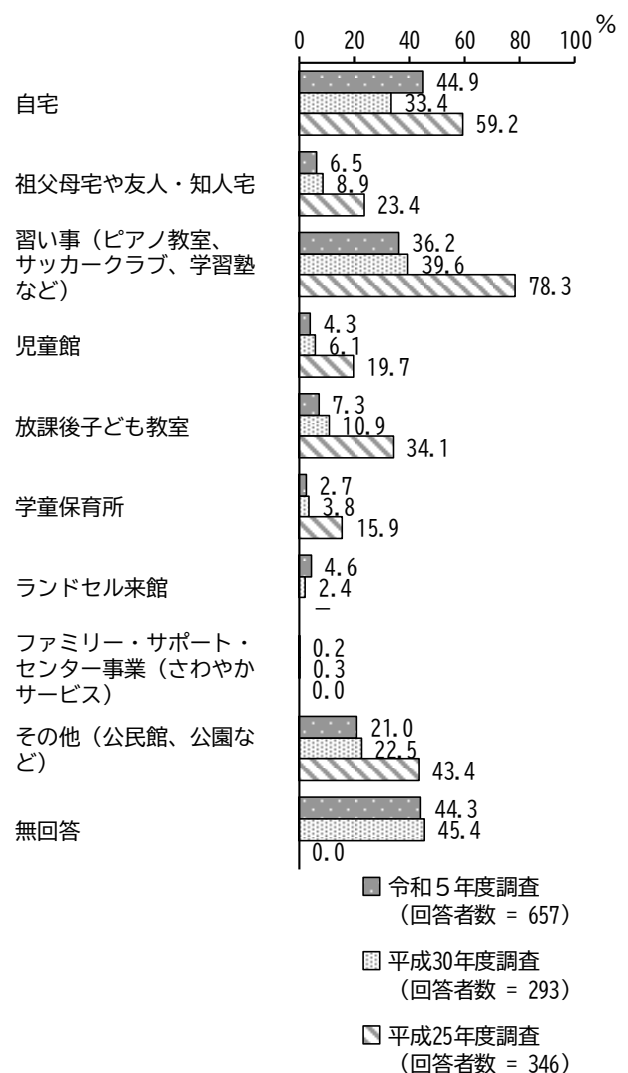
小学生では、「自宅」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカー клуб、学習塾など）」の割合が 36.2%、「その他（公民館、公園など）」の割合が 21.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



※前々回調査では、「ランドセル来館」の選択肢はありませんでした。

1. 自宅 日数

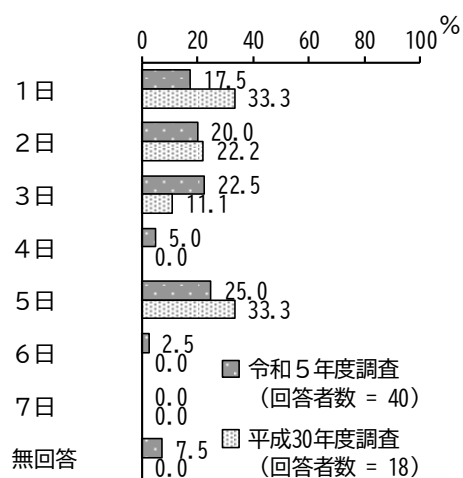
未就学児では、「5日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.5%、「2日」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」「5日」の割合が減少しています。

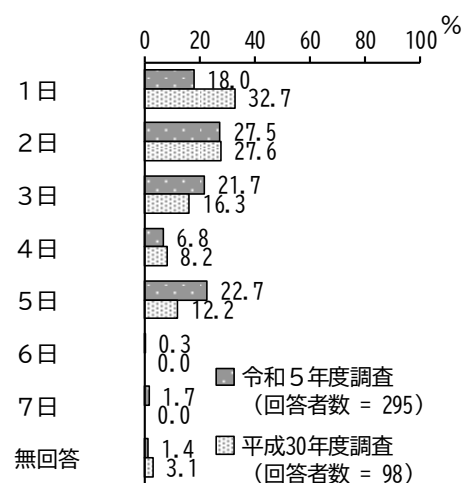
小学生では、「2日」の割合が27.5%と最も高く、次いで「5日」の割合が22.7%、「3日」の割合が21.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



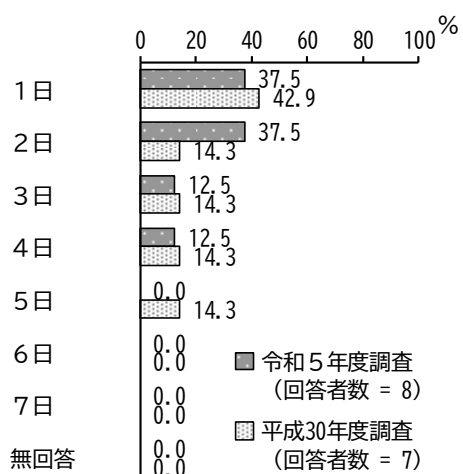
2. 祖父母宅や友人・知人宅 日数

未就学児では、「1日」「2日」が3件となっています。「3日」「4日」が1件となっています。

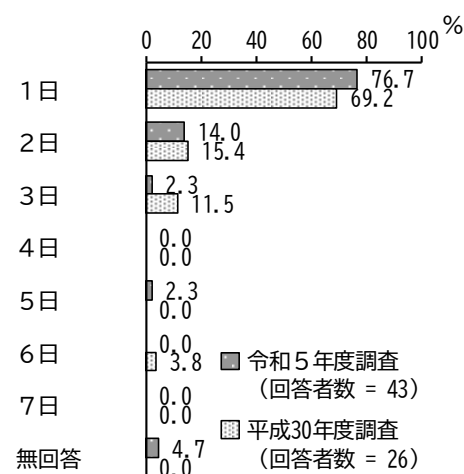
小学生では、「1日」の割合が76.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 日数

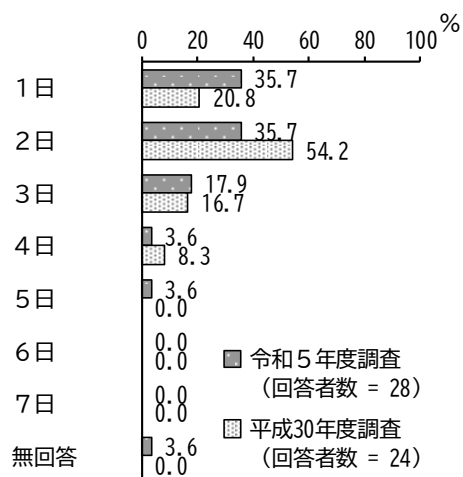
未就学児では、「1日」、「2日」の割合が35.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

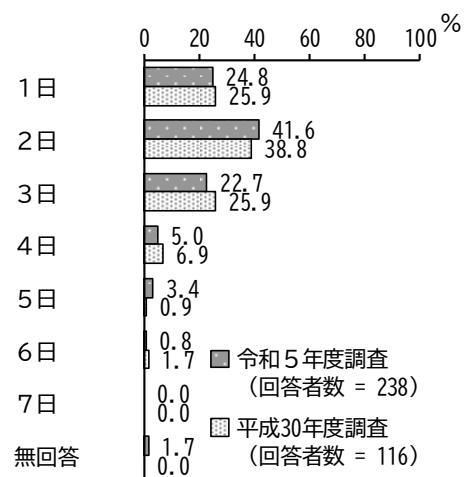
小学生では、「2日」の割合が41.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.8%、「3日」の割合が22.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



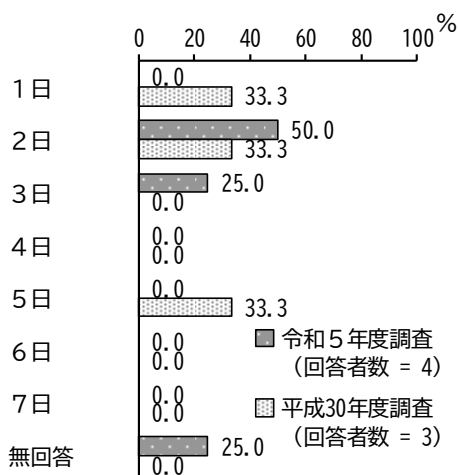
4. 児童館 日数

未就学児では、「2日」が2件となっています。「3日」が1件となっています。

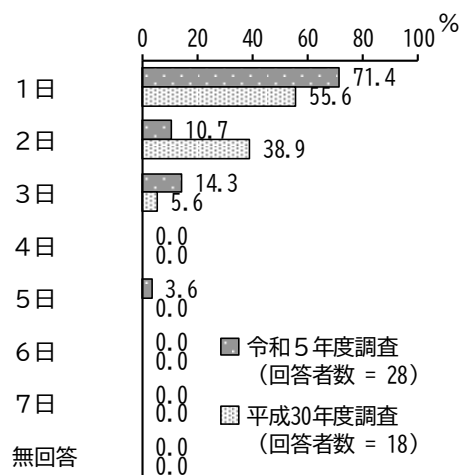
小学生では、「1日」の割合が71.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.3%、「2日」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



5. 放課後子ども教室 日数

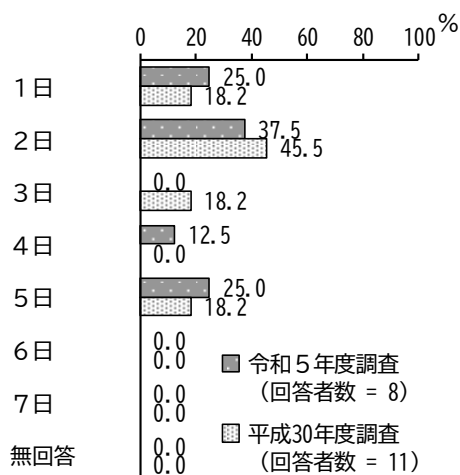
未就学児では、「2日」が3件となっています。「1日」、「5日」が2件となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日」「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」の割合が減少しています。

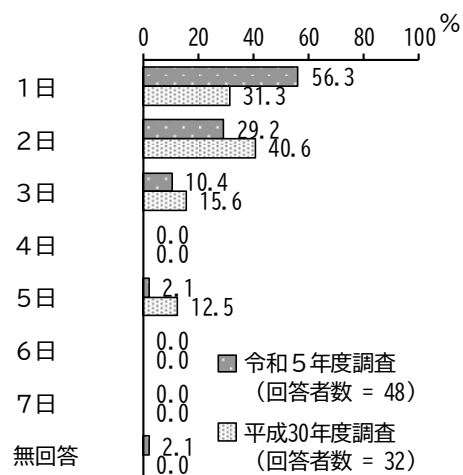
小学生では、「1日」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 29.2%、「3日」の割合が 10.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」「5日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



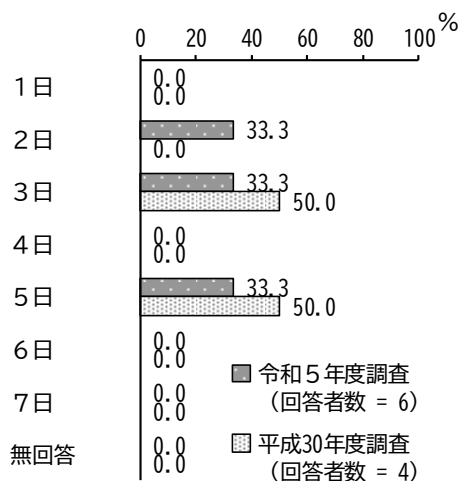
6. 学童保育所 日数

未就学児では、「2日」、「3日」、「5日」が2件となっています。

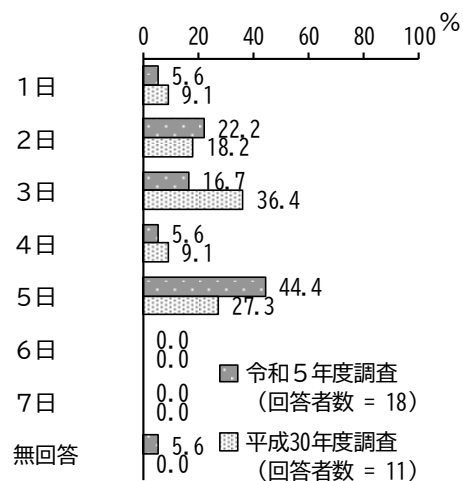
小学生では、「5日」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が 22.2%、「3日」の割合が 16.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



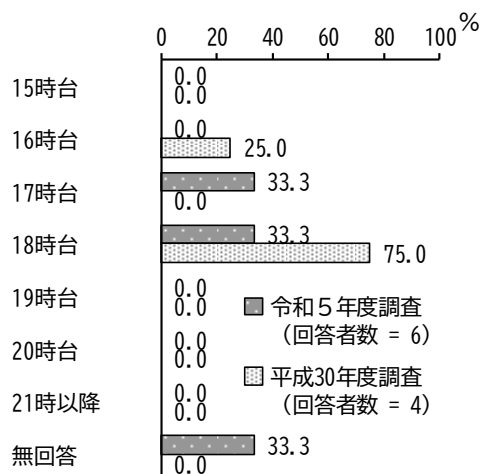
6. 学童保育所 利用終了時刻

未就学児では、「17 時台」、「18 時台」が 2 件となっています。

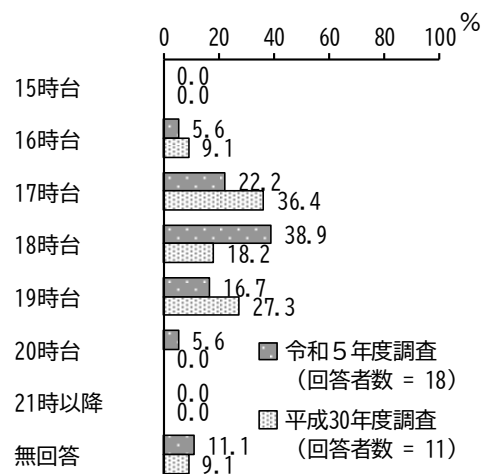
小学生では、「18 時台」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.2%、「19 時台」の割合が 16.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」「20 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」「19 時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



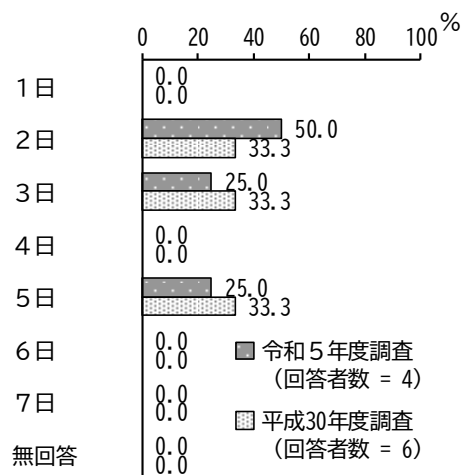
7. ランドセル来館 日数

未就学児では、「2 日」が 2 件となっています。「3 日」、「5 日」が 1 件となっています。

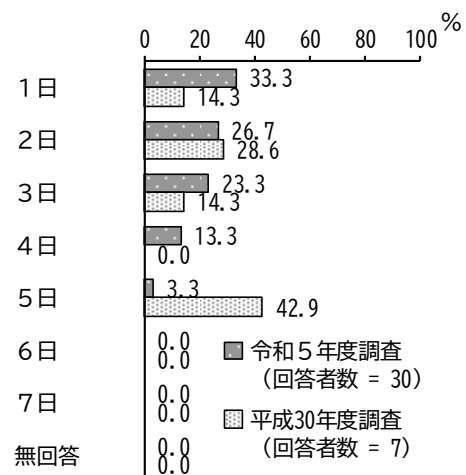
小学生では、「1 日」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 26.7%、「3 日」の割合が 23.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1 日」「3 日」「4 日」の割合が増加しています。一方、「5 日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



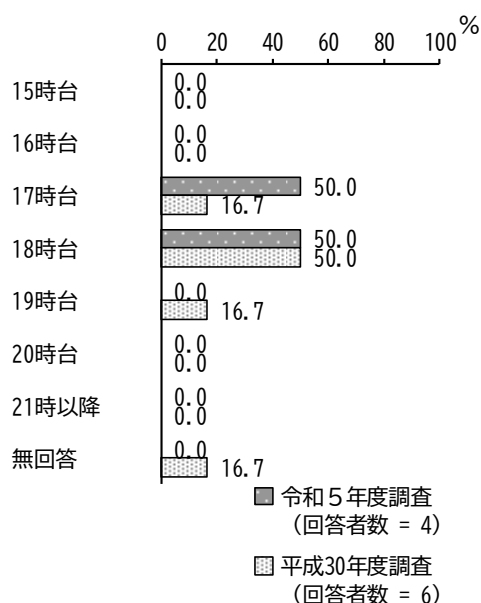
7. ランドセル来館 利用終了時刻

未就学児では、「17 時台」、「18 時台」が 2 件となっています。

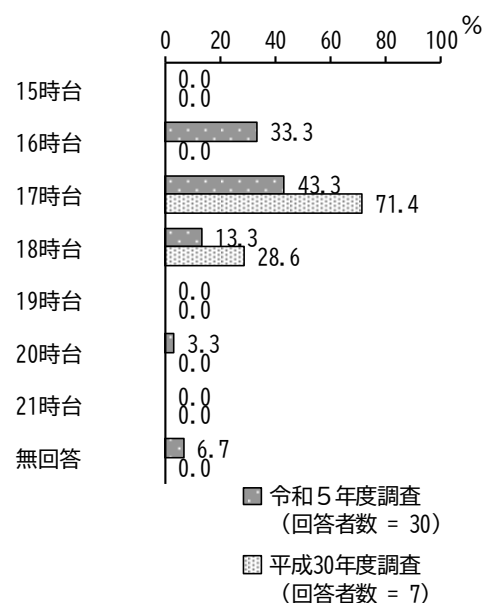
小学生では、「17 時台」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 33.3%、「18 時台」の割合が 13.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」「18 時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

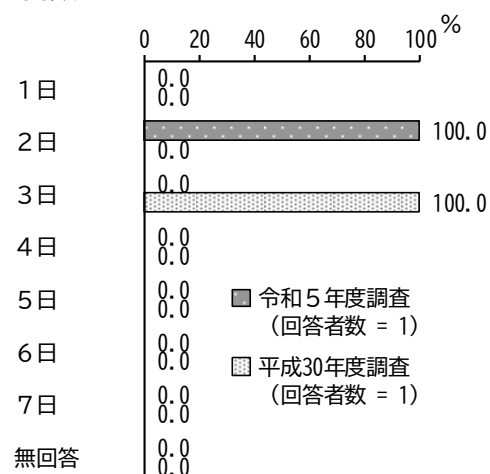


8. ファミリー・サポート・センター事業（さわやかサービス） 日数

未就学児では、有効回答がありませんでした。

小学生では、「2 日」が 1 件となっています。

【小学生】



9. その他（公民館、公園など） 日数

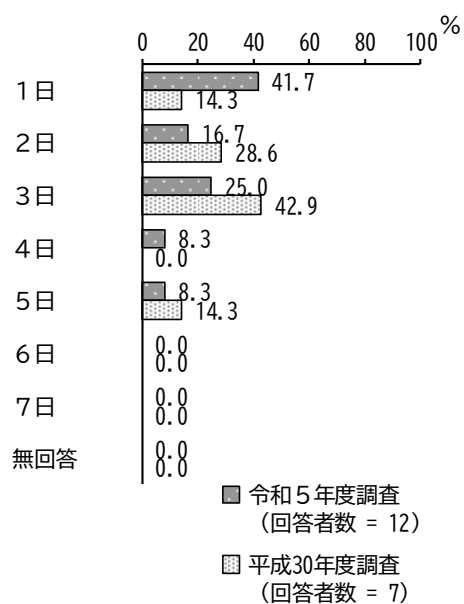
未就学児では、「1日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が25.0%、「2日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「4日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」「5日」の割合が減少しています。

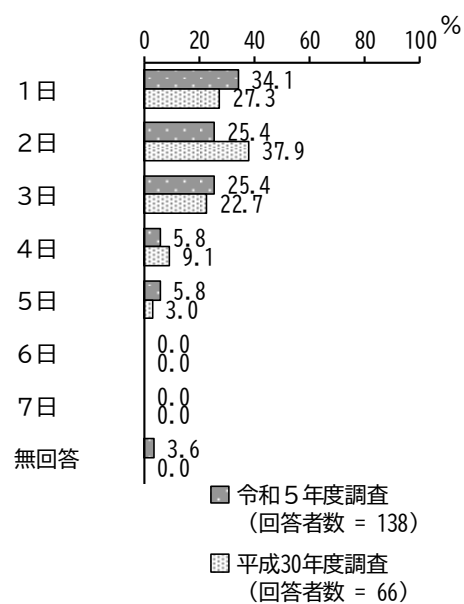
小学生では、「1日」の割合が34.1%と最も高く、次いで「2日」「3日」の割合が25.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 23（問 8）で「6. 学童保育所」と答えた方にお聞きします。

問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい回数と時間帯を□内に（例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）※学童保育所の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。（未就学児：問 23－1、小学生：問 8－1）

（1）土曜日

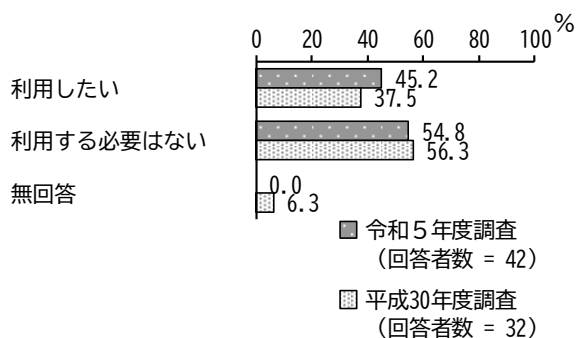
未就学児では、「利用したい」の割合が 45.2%、「利用する必要はない」の割合が 54.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。

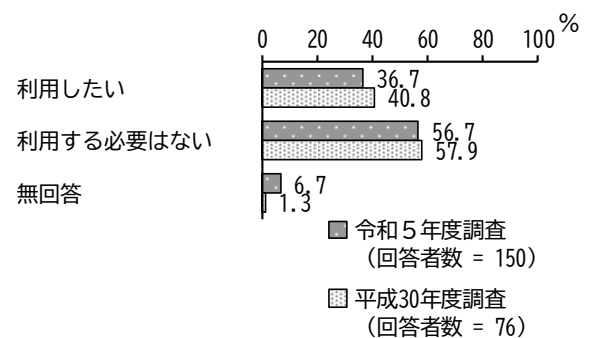
小学生では、「利用したい」の割合が 36.7%、「利用する必要はない」の割合が 56.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



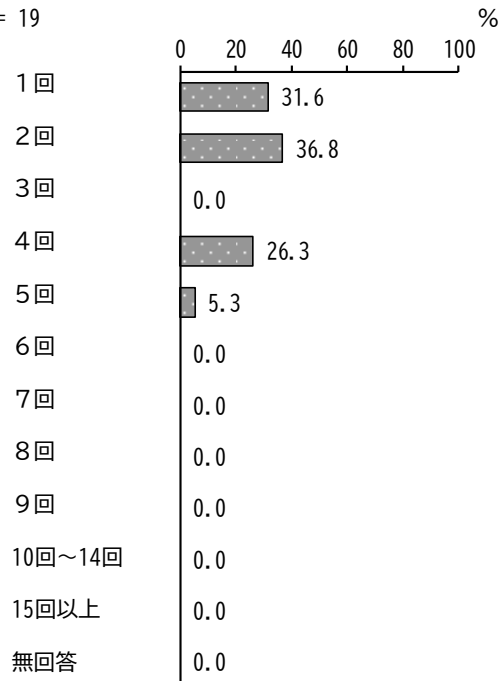
① 1 か月あたり利用回数

未就学児では、「2回」の割合が36.8%と最も高く、次いで「1回」の割合が31.6%、「4回」の割合が26.3%となっています。

小学生では、「1回」の割合が32.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が29.1%、「4回」の割合が20.0%となっています。

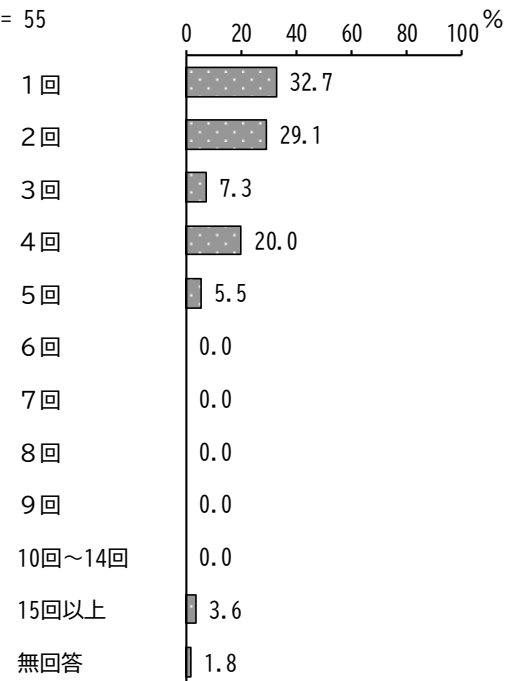
【未就学児】

回答者数 = 19



【小学生】

回答者数 = 55



②利用開始時刻

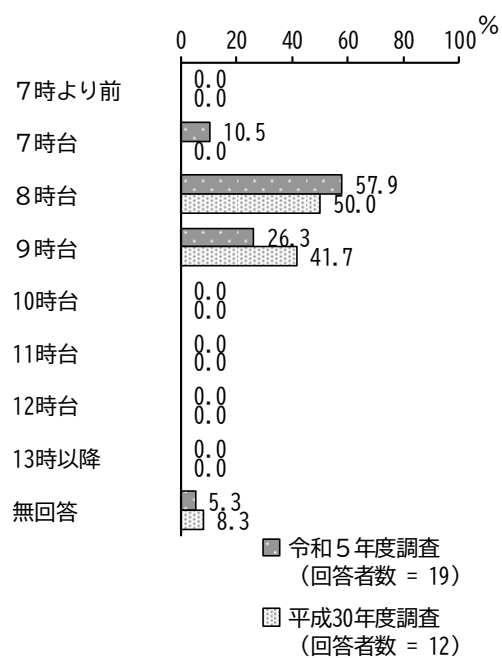
未就学児では、「8時台」の割合が57.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が26.3%、「7時台」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時台」「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。

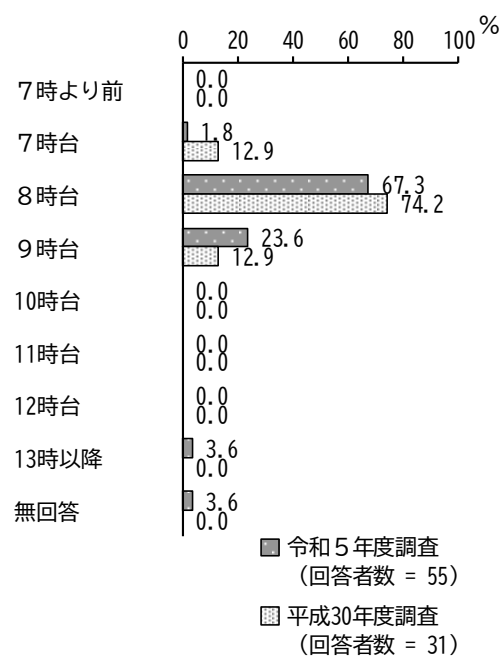
小学生では、「8時台」の割合が67.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が23.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「8時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



③利用終了時刻

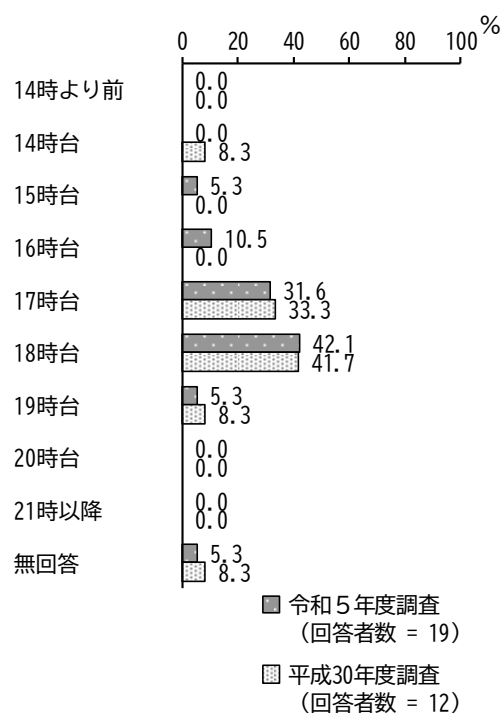
未就学児では、「18 時台」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 31.6%、「16 時台」の割合が 10.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「15 時台」「16 時台」の割合が増加しています。一方、「14 時台」の割合が減少しています。

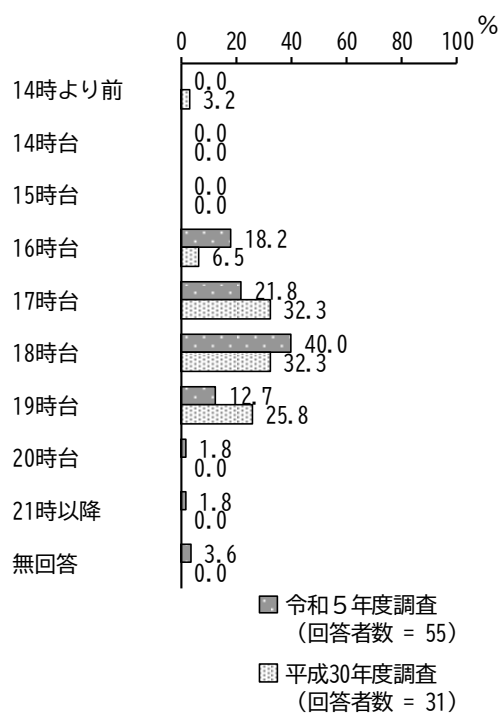
小学生では、「18 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.8%、「16 時台」の割合が 18.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」「19 時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



(2) 日曜日・祝日

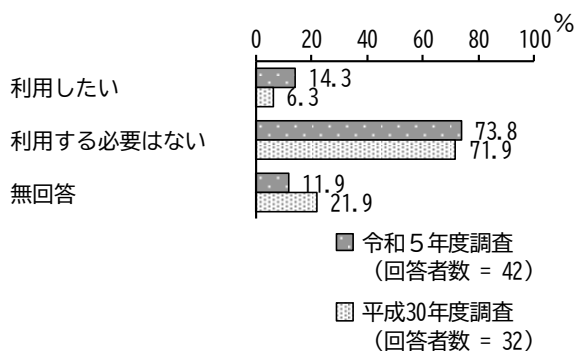
未就学児では、「利用したい」の割合が 14.3%、「利用する必要はない」の割合が 73.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。

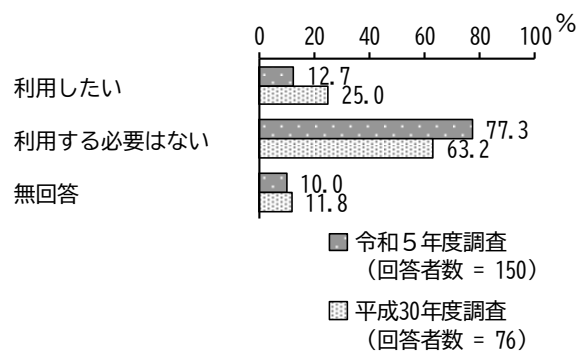
小学生では、「利用したい」の割合が 12.7%、「利用する必要はない」の割合が 77.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「利用したい」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



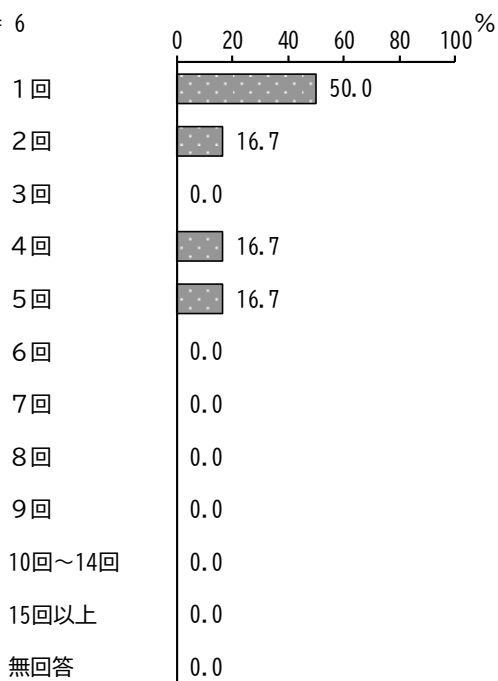
① 1 か月あたり利用回数

未就学児では、「1 回」が 3 件となっています。「2 回」、「4 回」、「5 回」が 1 件となっています。

小学生では、「2 回」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「1 回」の割合が 26.3%、「3 回」、「4 回」の割合が 10.5%となっています。

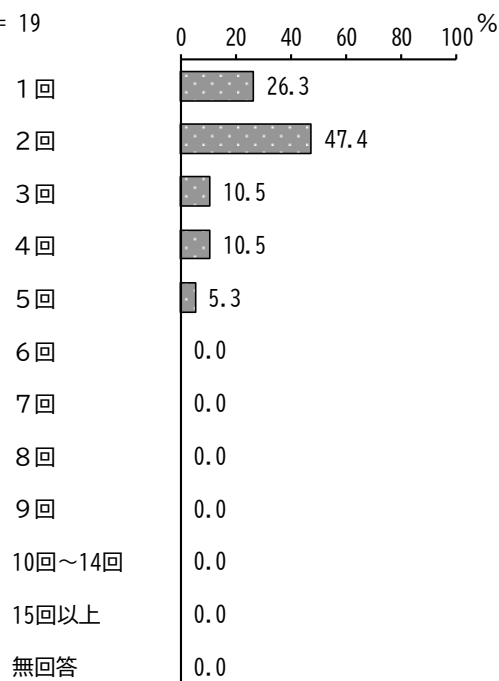
【未就学児】

回答者数 = 6



【小学生】

回答者数 = 19



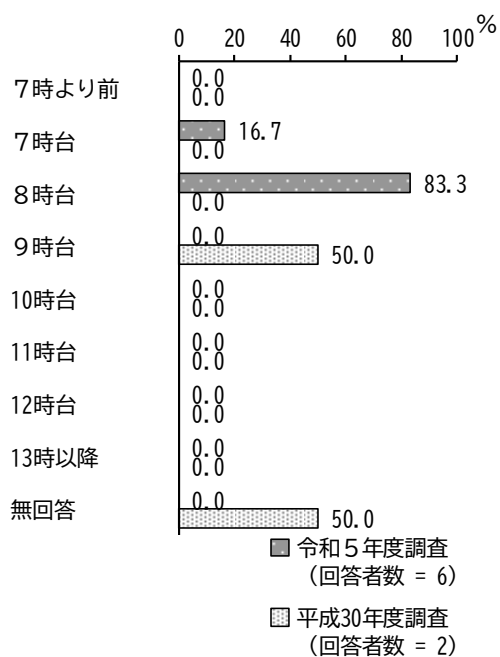
②利用開始時刻

未就学児では、「8時台」が5件となっています。「7時台」が1件となっています。

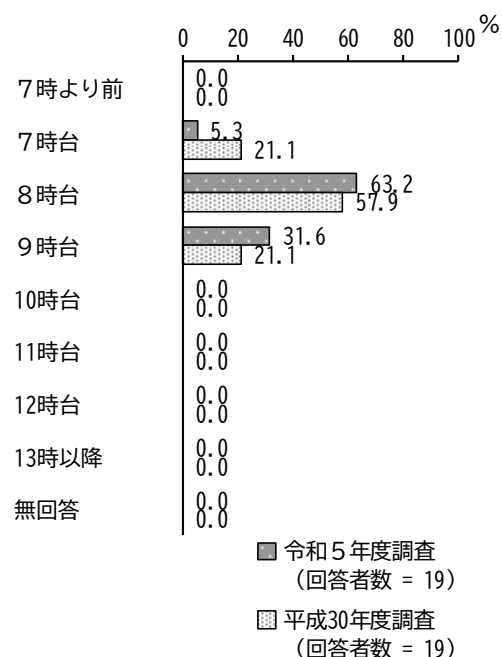
小学生では、「8時台」の割合が63.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」「9時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



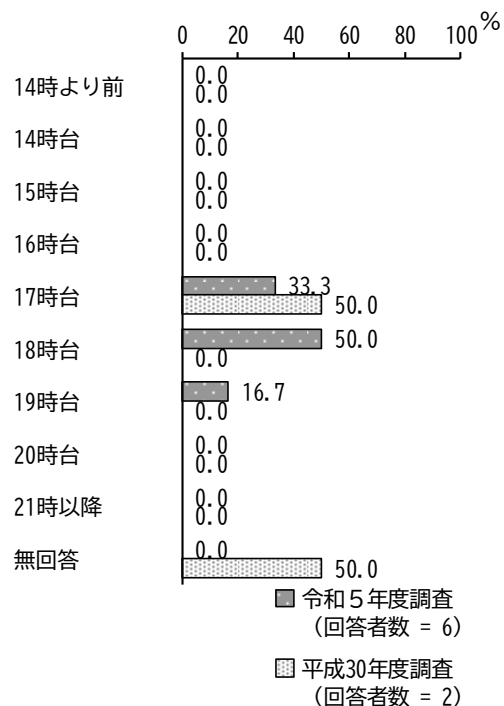
③利用終了時刻

未就学児では、「18 時台」が3件となっています。「17 時台」が2件、「19 時台」が1件となっています。

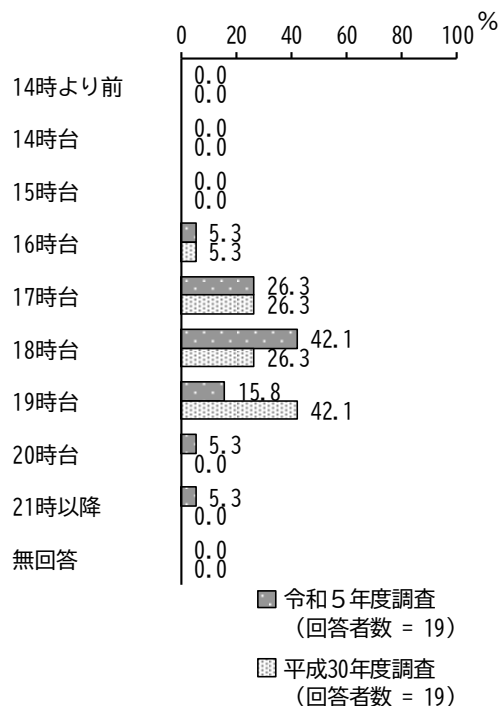
小学生では、「18 時台」の割合が42.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が26.3%、「19 時台」の割合が15.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18 時台」「20 時台」「21 時以降」の割合が増加しています。一方、「19 時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。（○は1つだけ）また、利用したい回数と時間帯を□内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）※学童保育所の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。
（未就学児：問24、小学生：問9）

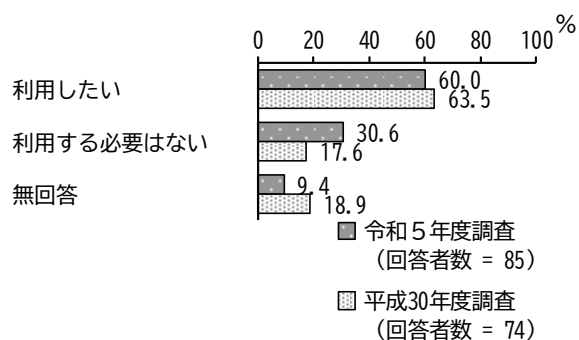
未就学児では、「利用したい」の割合が60.0%、「利用する必要はない」の割合が30.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

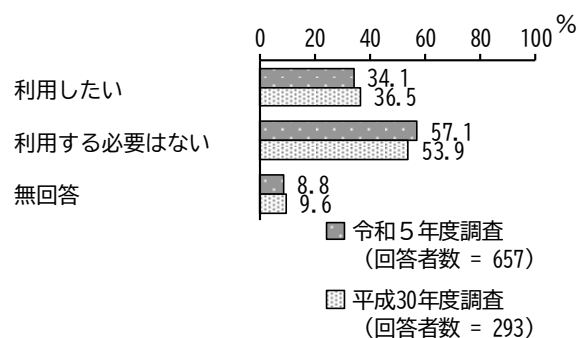
小学生では、「利用したい」の割合が34.1%、「利用する必要はない」の割合が57.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



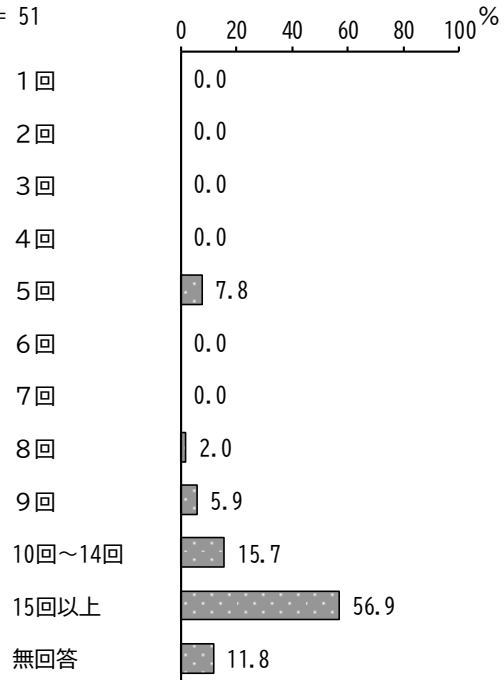
① 1 か月あたり利用回数

未就学児では、「15 回以上」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「10 回～14 回」の割合が 15.7%となっています。

小学生では、「15 回以上」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「10 回～14 回」の割合が 15.2%となっています。

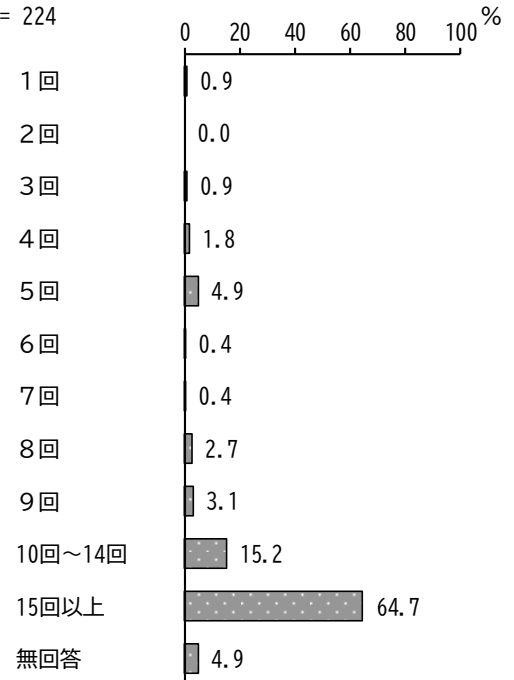
【未就学児】

回答者数 = 51



【小学生】

回答者数 = 224



②利用したい 利用開始時刻

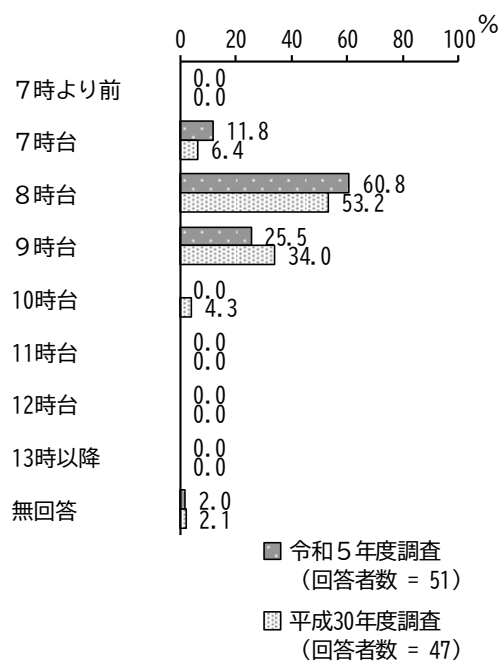
未就学児では、「8時台」の割合が60.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が25.5%、「7時台」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時台」「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。

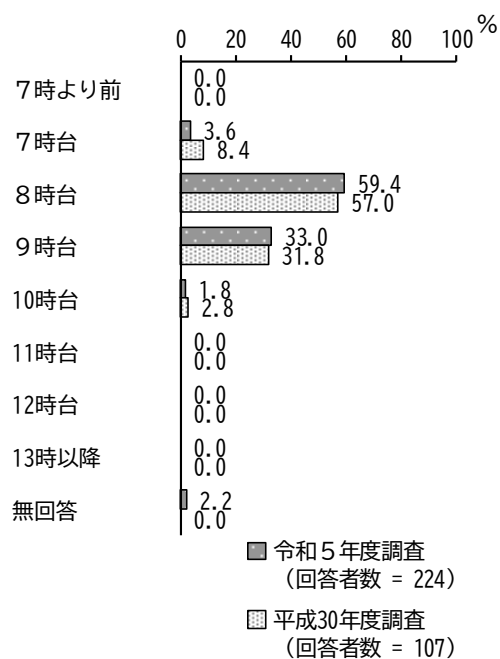
小学生では、「8時台」の割合が59.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



③利用したい 利用終了時刻

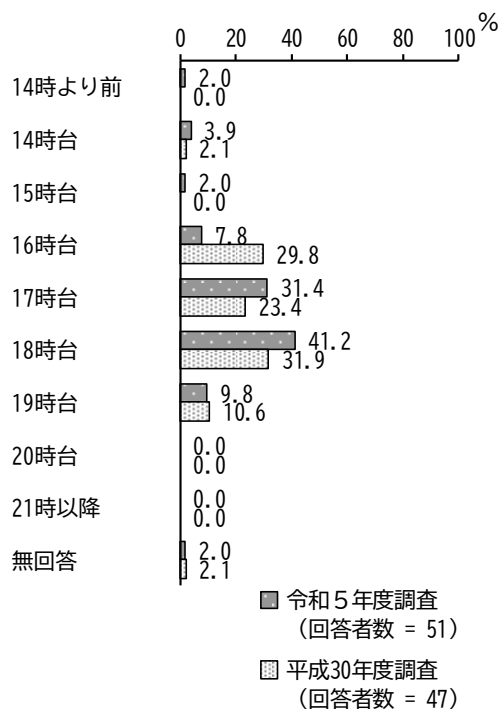
未就学児では、「18 時台」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 31.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「16 時台」の割合が減少しています。

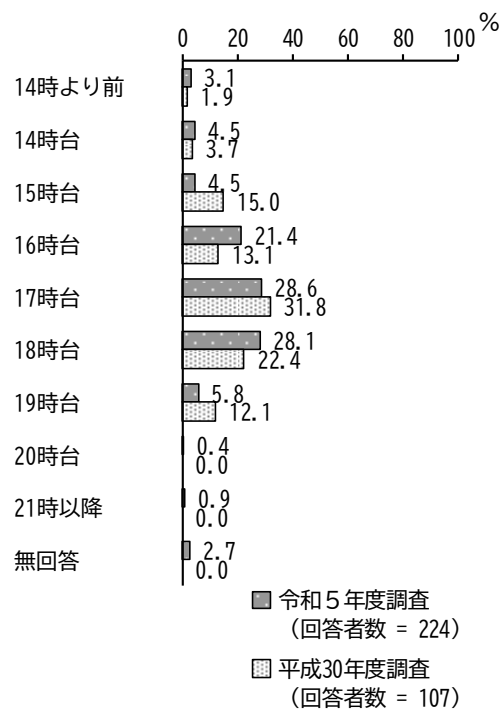
小学生では、「17 時台」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 28.1%、「16 時台」の割合が 21.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」「19 時台」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



(9) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ○はひとつだけ) (未就学児：問 25)

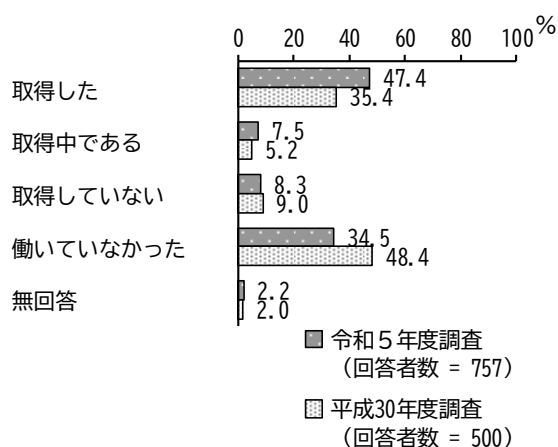
母親では、「取得した」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 34.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得した」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。

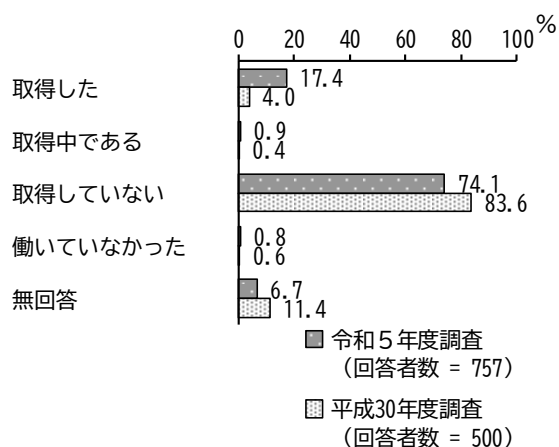
父親では、「取得していない」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「取得した」の割合が 17.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得した」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



問 25 の母親または父親で「3. 取得していない」と答えた方にお聞きします。

問 取得していない理由はなんですか。(〇はいくつでも) (未就学児：問 25－1)

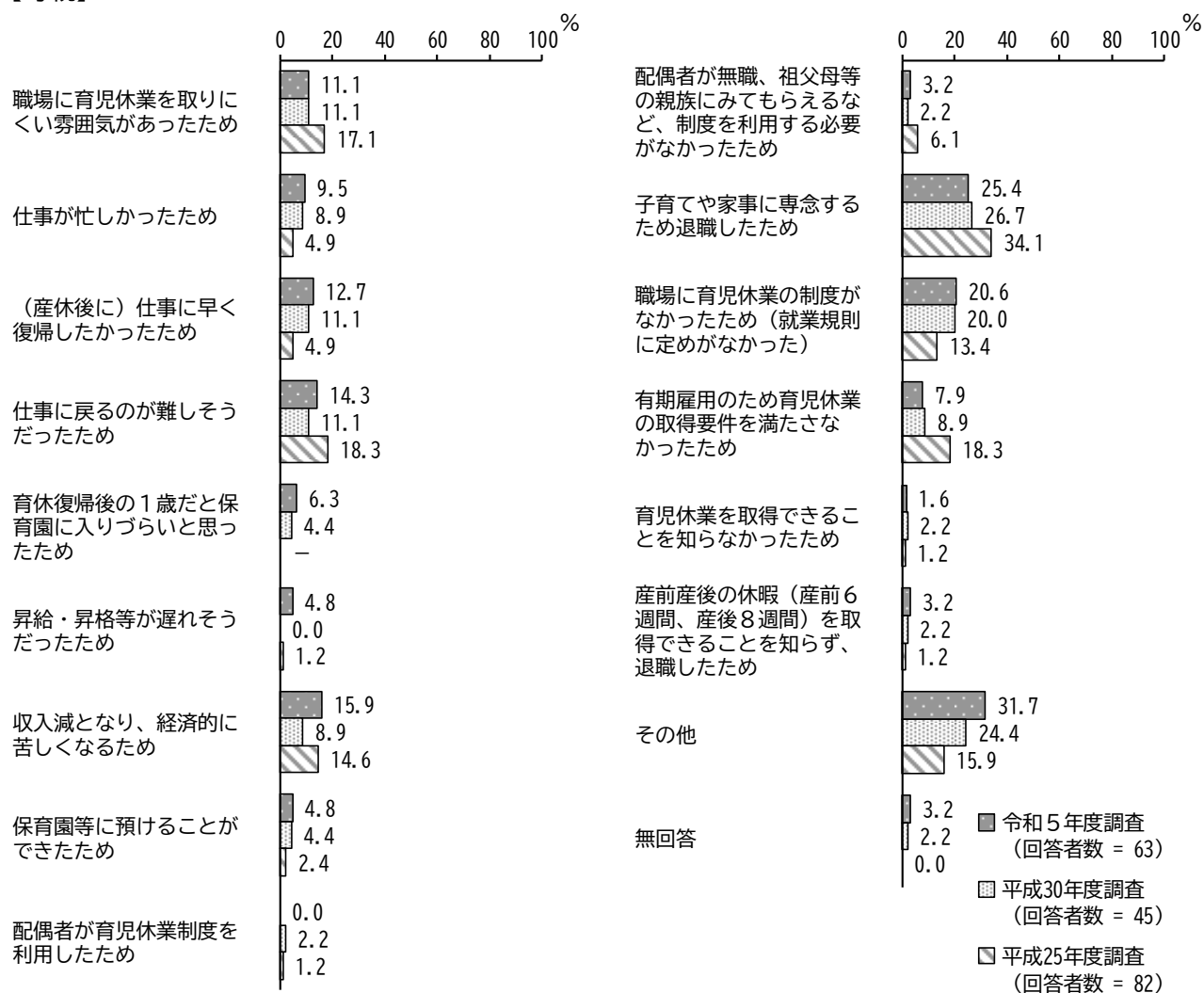
母親では、「子育てや家事に専念するため退職したため」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかったため(就業規則に定めがなかった)」の割合が 20.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」の割合が 15.9%となっています。

過去の調査と比較すると、「仕事が忙しかったため」「仕事に戻るのが難しそうだったため」「(産休後に) 仕事に早く復帰したかったため」「収入減となり、経済的に苦しくなるため」の割合が増加しています。

父親では、「仕事が忙しかったため」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」の割合が 39.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」の割合が 34.4%となっています。

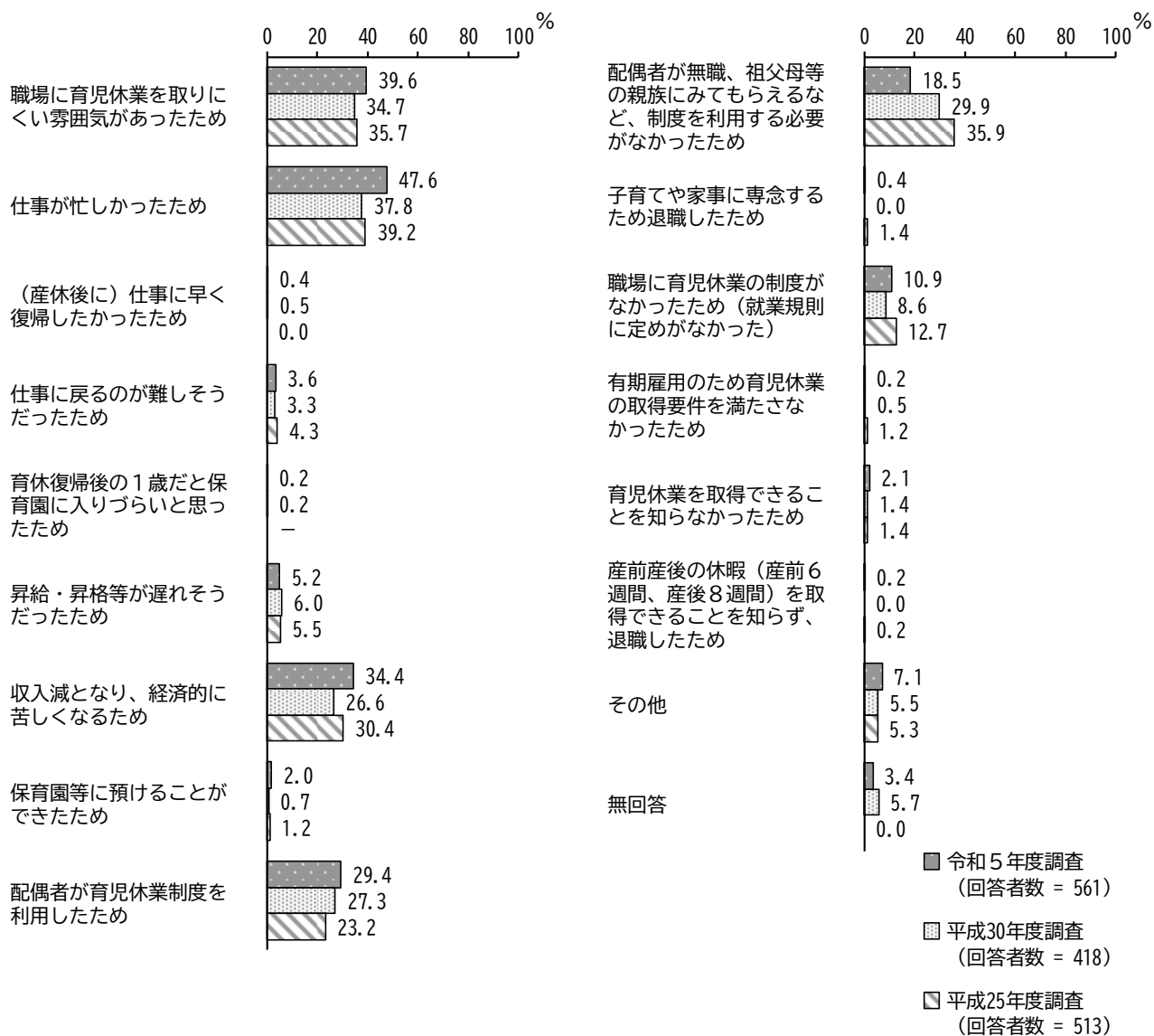
平成 30 年度調査と比較すると、「仕事が忙しかったため」「収入減となり、経済的に苦しくなるため」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため」の割合が減少しています。

【母親】



※前々回調査では、「育休復帰後の1歳だと保育園に入りづらいと思ったため」の選択肢はありませんでした。

【父親】



※前々回調査では、「育休復帰後の1歳だと保育園に入りづらいと思ったため」の選択肢はありませんでした。

問 25 で「1. 取得した」と答えた方にお聞きします。

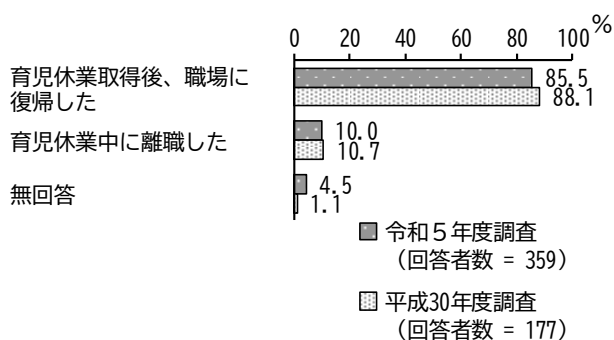
問 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つだけ) (未就学児：問 25－2)

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 85.5%、「育児休業中に離職した」の割合が 10.0%となっています。

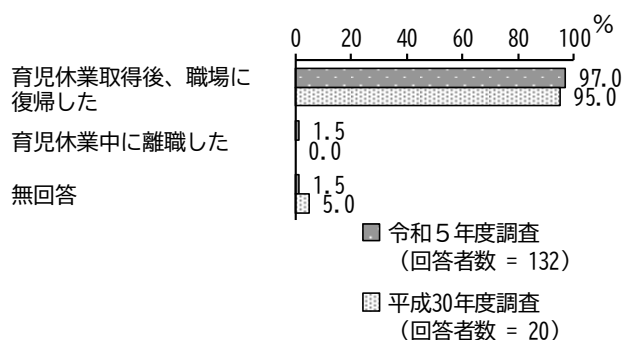
父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 97.0%、「育児休業中に離職した」の割合が 1.5%となっています。

母親、父親ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【母親】



【父親】



問 25－2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方にお聞きします。

問 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(○は1つだけ) (未就学児：問 25－3)

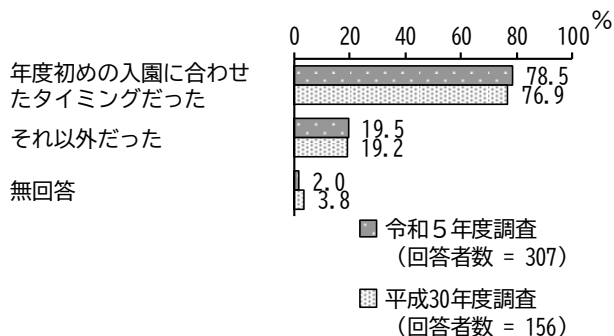
母親では、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が 78.5%、「それ以外だった」の割合が 19.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

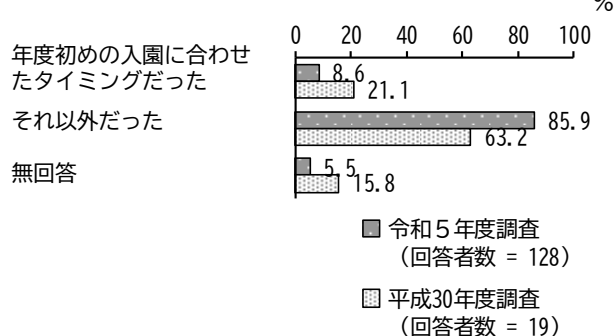
父親では、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が 8.6%、「それ以外だった」の割合が 85.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が増加しています。一方、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



問 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）（未就学児：問 25－4）

復帰の時期

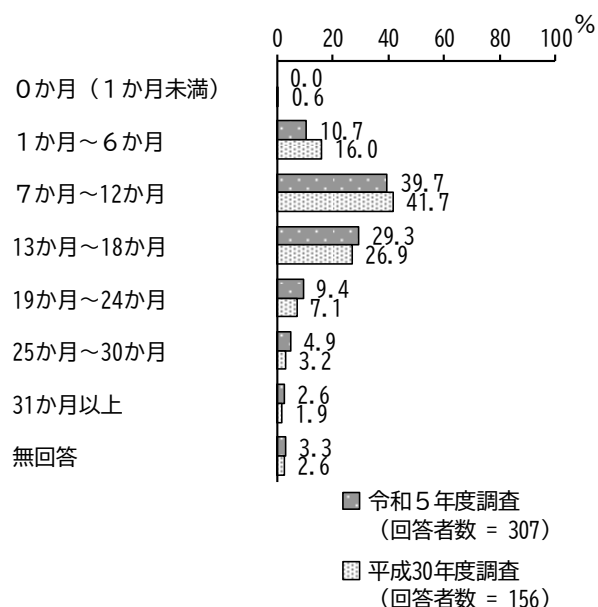
母親では、「7か月～12か月」の割合が39.7%と最も高く、次いで「13か月～18か月」の割合が29.3%、「1か月～6か月」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」の割合が減少しています。

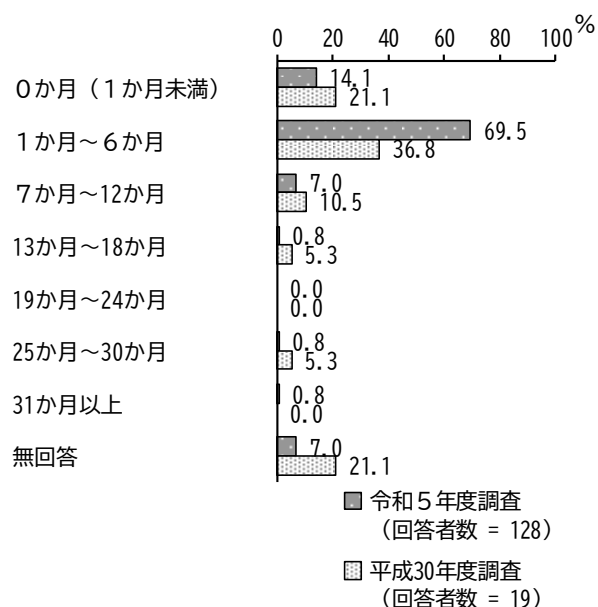
父親では、「1か月～6か月」の割合が69.5%と最も高く、次いで「0か月（1か月未満）」の割合が14.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」の割合が増加しています。一方、「0か月（1か月未満）」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



希望

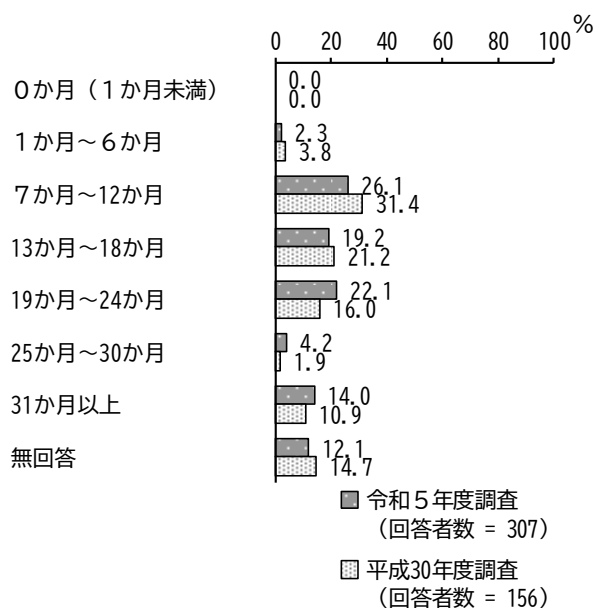
母親では、「7か月～12か月」の割合が26.1%と最も高く、次いで「19か月～24か月」の割合が22.1%、「13か月～18か月」の割合が19.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「19か月～24か月」の割合が増加しています。一方、「7か月～12か月」の割合が減少しています。

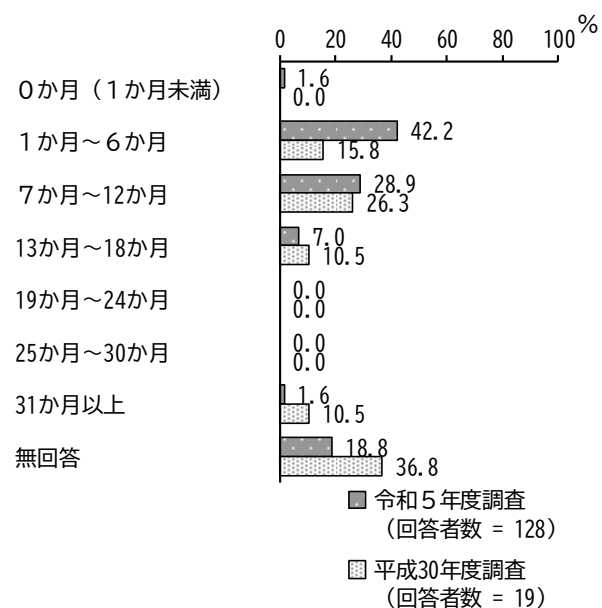
父親では、「1か月～6か月」の割合が42.2%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が28.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」の割合が増加しています。一方、「31か月以上」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



問 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。（未就学児：問25-5）

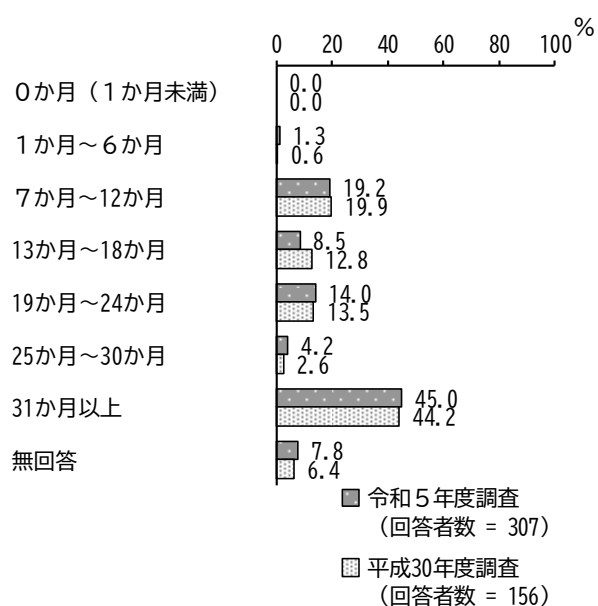
母親では、「31 か月以上」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「7か月～12 か月」の割合が 19.2%、「19 か月～24 か月」の割合が 14.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

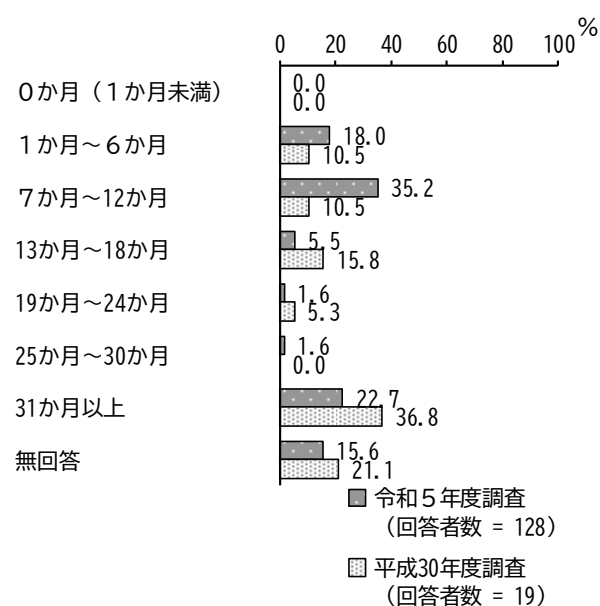
父親では、「7か月～12 か月」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「31 か月以上」の割合が 22.7%、「1 か月～6 か月」の割合が 18.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1 か月～6 か月」「7か月～12 か月」の割合が増加しています。一方、「13 か月～18 か月」「31 か月以上」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



問 25－4 で実際の復帰と希望が異なる方にお聞きします。

問 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお聞きします。(〇はいくつでも)
(未就学児：問 25－6)

(1) 「希望」より早く復帰した方

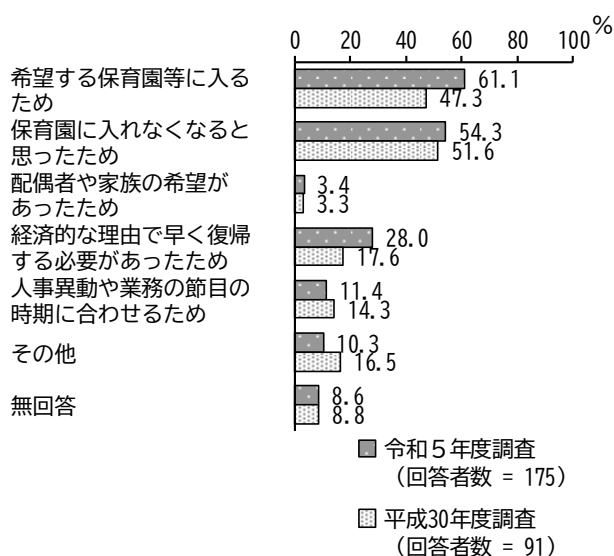
母親では、「希望する保育園等に入るため」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「保育園に入れなくなると思ったため」の割合が 54.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 28.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育園等に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が増加しています。

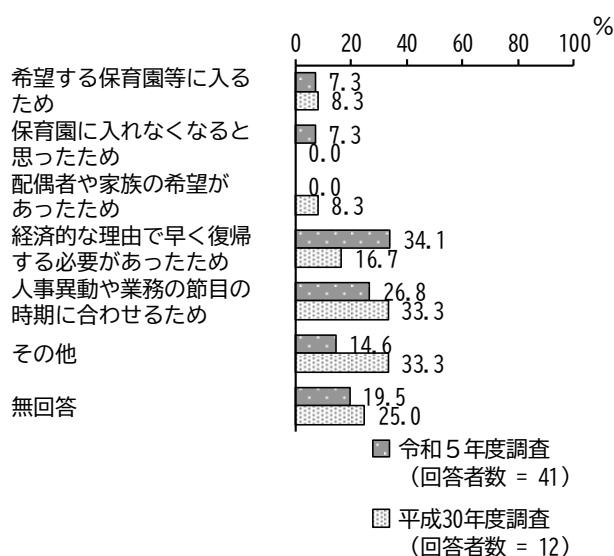
父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 26.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保育園に入れなくなると思ったため」「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が増加しています。一方、「配偶者や家族の希望があったため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】

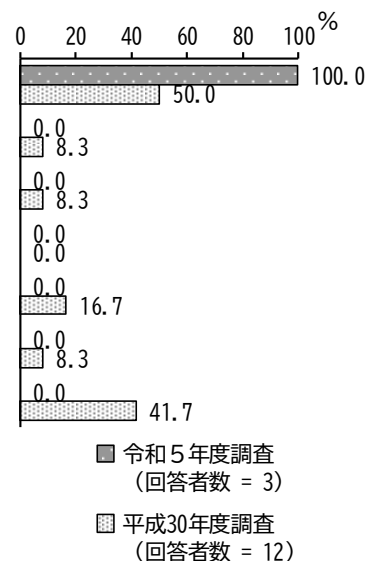


(2)「希望」より遅く復帰した方

母親では、「保育園に入れなかったため」が3件となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

保育園に入れなかったため
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
配偶者や家族の希望があったため
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
子どもをみてくれる人がいなかったため
その他
無回答



問 25－2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方にお聞きます。

問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
(○は1つだけ) (未就学児：問 25－7)

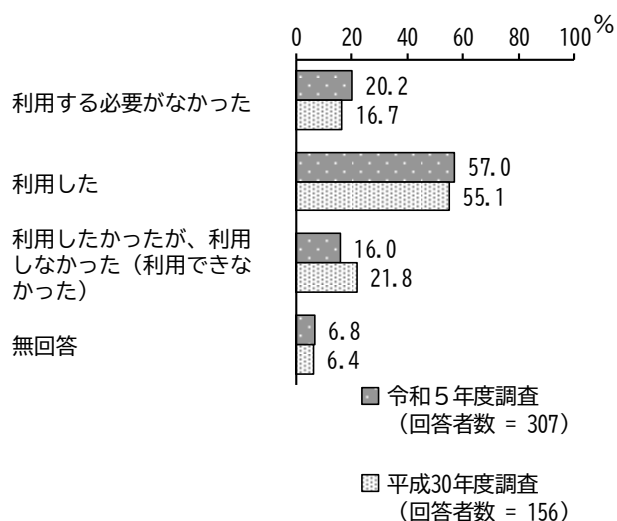
母親では、「利用した」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」の割合が 20.2%、「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」の割合が 16.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」の割合が減少しています。

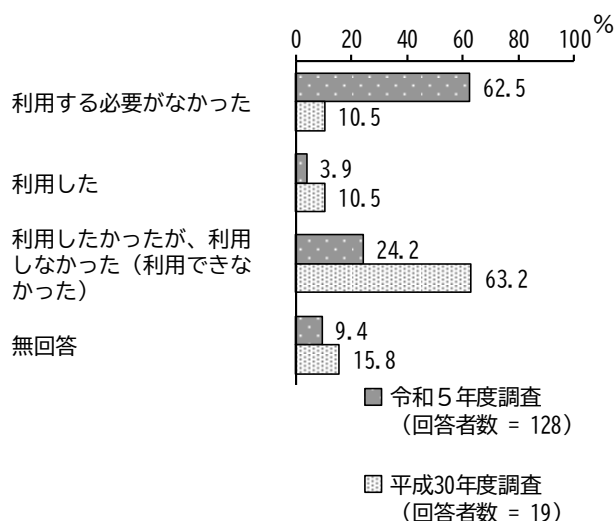
父親では、「利用する必要がなかった」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」の割合が 24.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった」の割合が増加しています。一方、「利用した」「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」の割合が減少しています。

【母親】



【父親】



問 25－7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と答えた方にお聞きします。

問 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
（〇はいくつでも）（未就学児：問 25－8）

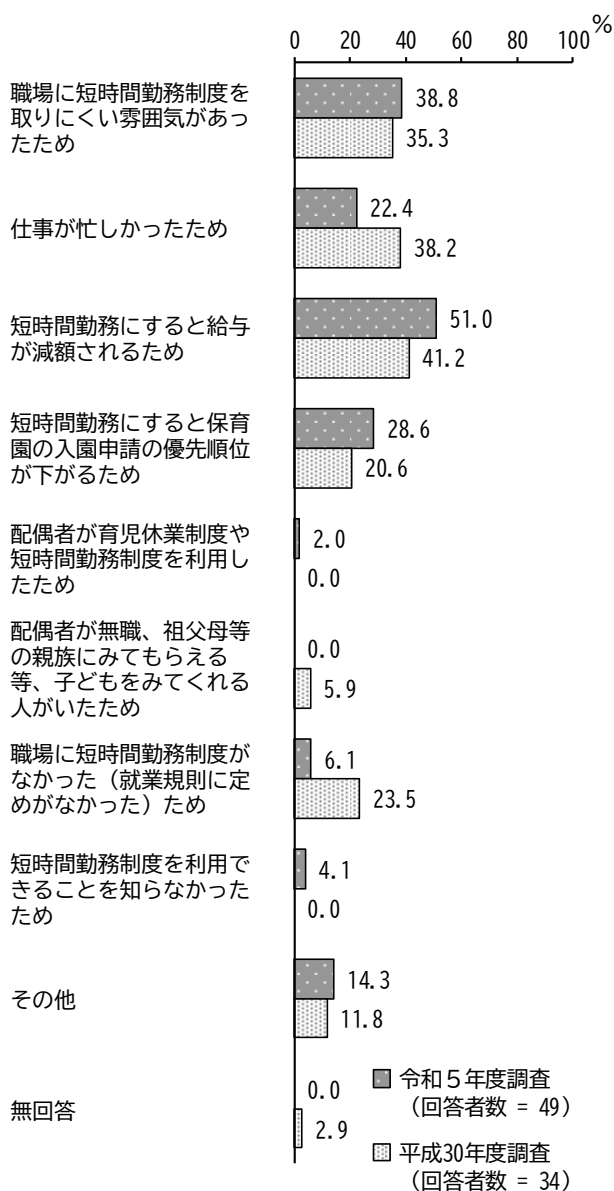
母親では、「短時間勤務にすると給与が減額されるため」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」の割合が 38.8%、「短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がるため」の割合が 28.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額されるため」「短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がるため」の割合が増加しています。

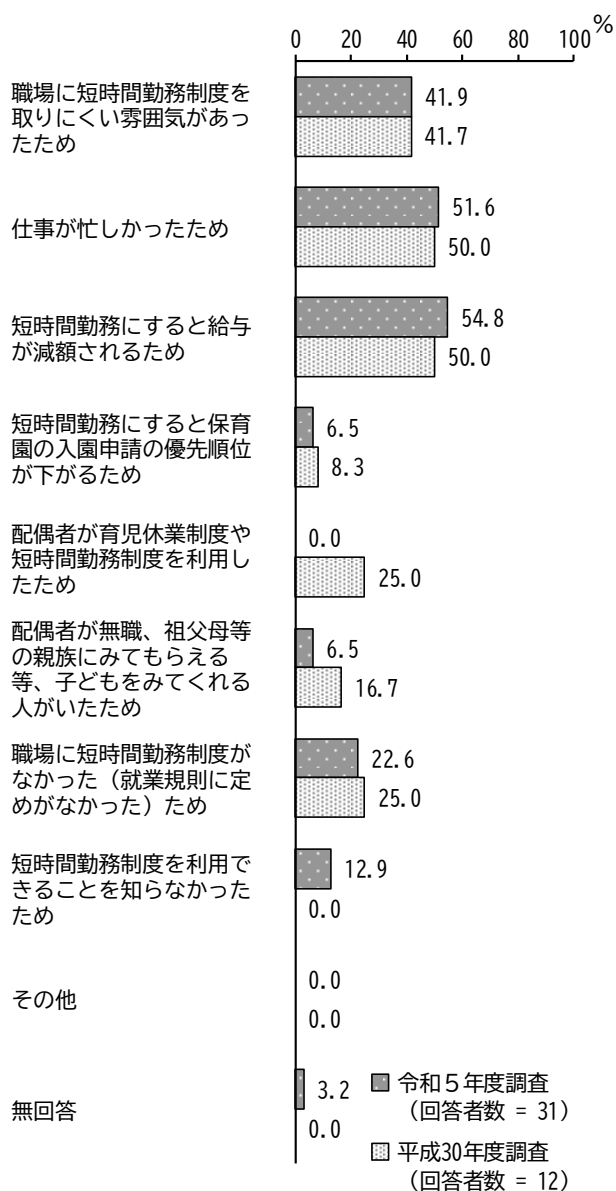
父親では、「短時間勤務にすると給与が減額されるため」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかったため」の割合が 51.6%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」の割合が 41.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため」の割合が増加しています。

【母親】



【父親】



問 25 で「4. 働いていなかった」と答えた方にお聞きます。

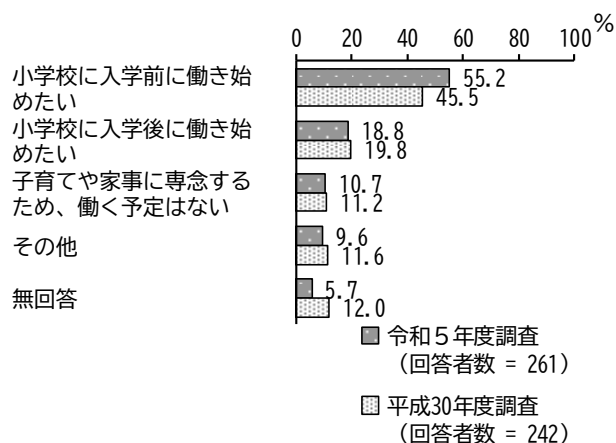
問 必ず預け先が確保できる保育事業があれば、宛名のお子さんを保育施設等に預けて働き始めたいですか。(○は1つだけ) (未就学児：問 25－9)

母親では、「小学校に入学前に働き始めたい」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「小学校に入学後に働き始めたい」の割合が 18.8%、「子育てや家事に専念するため、働く予定はない」の割合が 10.7%となっています。

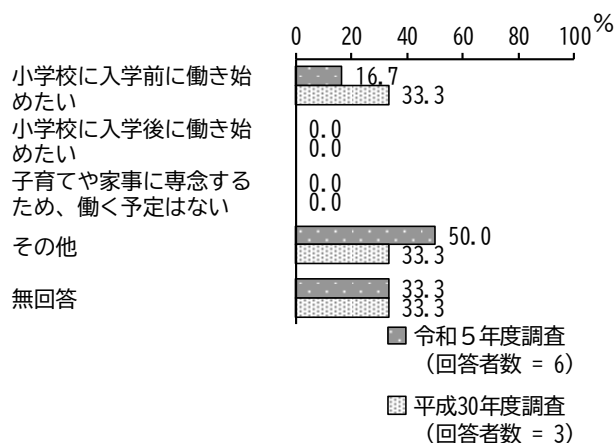
平成 30 年度調査と比較すると、「小学校に入学前に働き始めたい」の割合が増加しています。

父親では、「小学校に入学前に働き始めたい」が1件となっています。

【母親】



【父親】



問 25－9で「1. 小学校に入学前に働き始めたい」、「2. 小学校に入学後に働き始めたい」と答えた方にお聞きします。

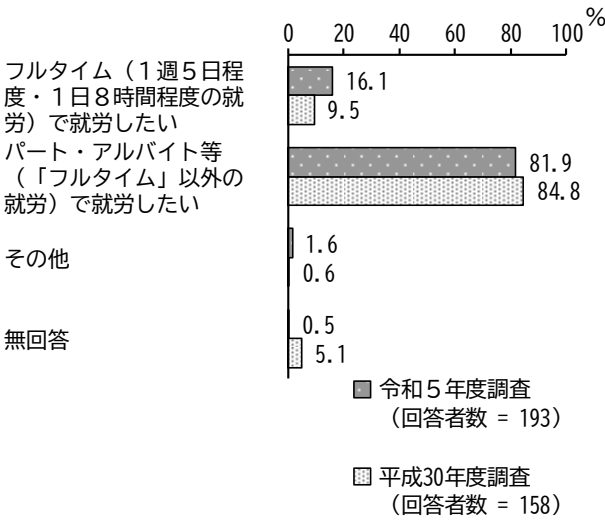
問 働き始めるときはどのような就業形態を希望しますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 25－10)

母親では、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労したい」の割合が 81.9%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労したい」の割合が 16.1%となっています。

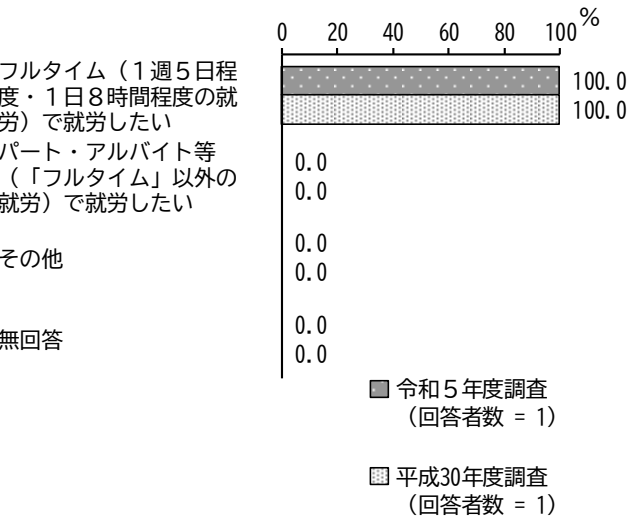
平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労したい」の割合が増加しています。

父親では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労したい」が 1 件となっています。

【母親】



【父親】



問 25 で「2. 取得中である」と答えた方にお聞きます。

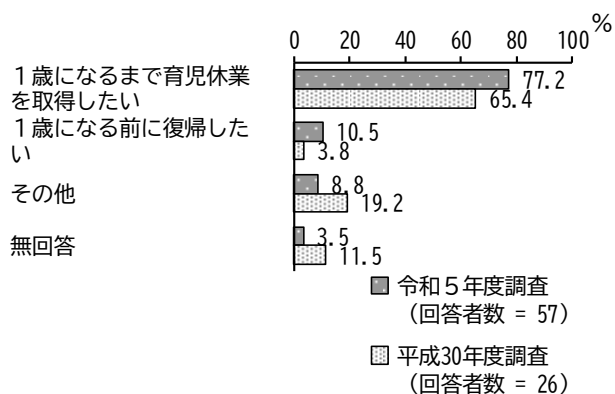
問 宛名のお子さんが1 歳になったときに必ず預け先が確保できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1 歳になる前に復帰しますか。(○は1 つだけ) (未就学児：問 25－11)

母親では、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 77.2%、「1 歳になる前に復帰したい」の割合が 10.5%となっています。

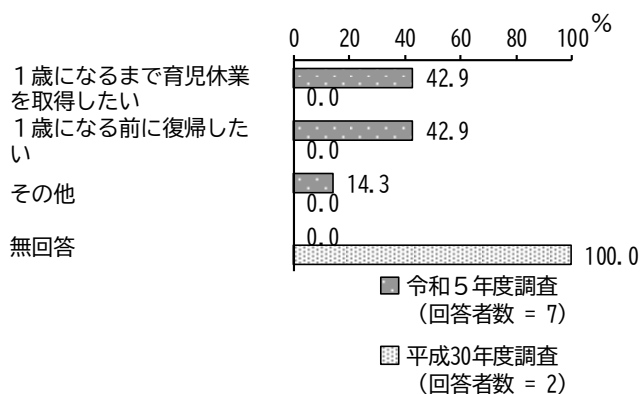
平成 30 年度調査と比較すると、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」「1 歳になる前に復帰したい」の割合が増加しています。

父親では、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」が 3 件、「1 歳になる前に復帰したい」が 3 件となっています。

【母親】



【父親】



(10) ご家庭での生活の様子について

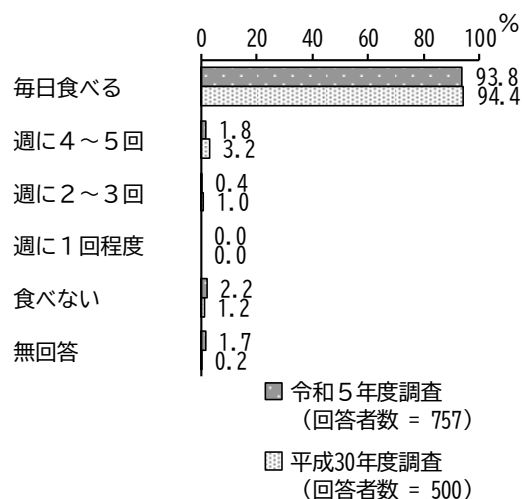
問 宛名のお子さんの過去1か月の朝食の状況についてお聞きします。お子さんは朝食を食べますか。(○は1つだけ)(未就学児：問26、小学生：問10)

未就学児では、「毎日食べる」の割合が93.8%と最も高くなっています。

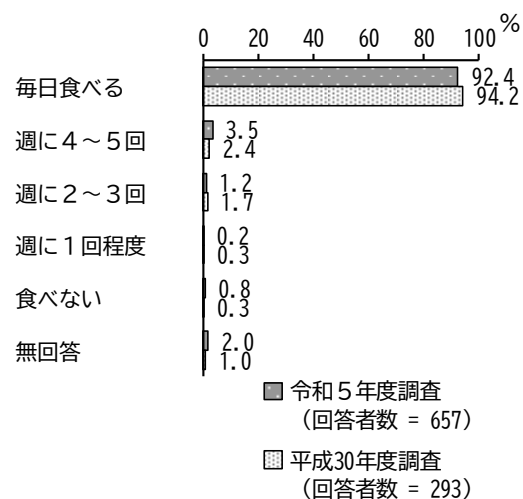
小学生では、「毎日食べる」の割合が92.4%と最も高くなっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問26(問10)で「食べない」以外を回答された方にお聞きします。

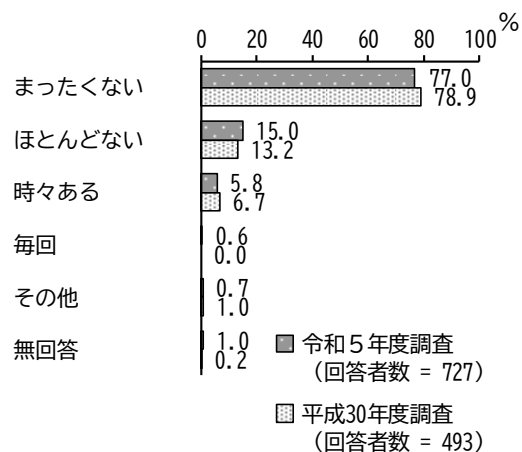
問26-1 お子さんの朝食がお菓子だけになることがありますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問26-1、小学生：問10-1)

未就学児では、「まったくない」の割合が77.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が15.0%となっています。

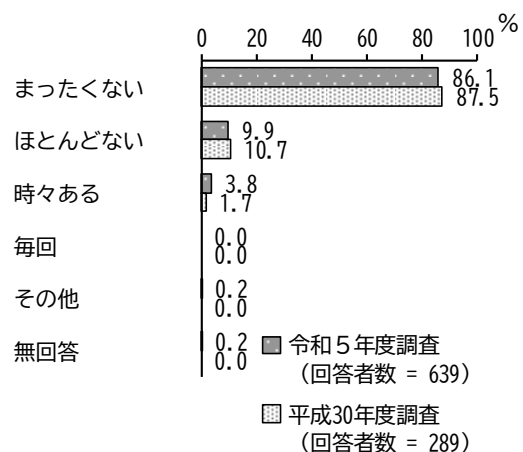
小学生では、「まったくない」の割合が86.1%と最も高くなっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問 26－2 お子さんの朝食に野菜は含まれていますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 26－2、小学生：問 10－2)

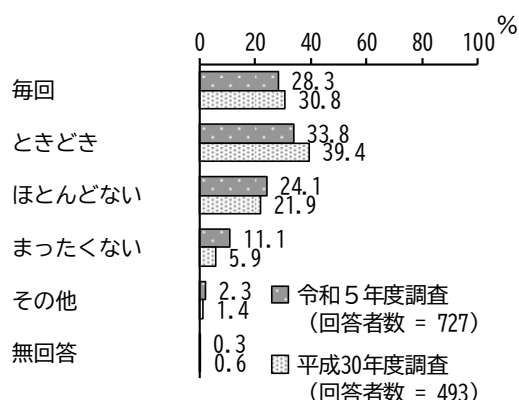
未就学児では、「ときどき」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「毎回」の割合が 28.3%、「ほとんどない」の割合が 24.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まったくない」の割合が増加しています。一方、「ときどき」の割合が減少しています。

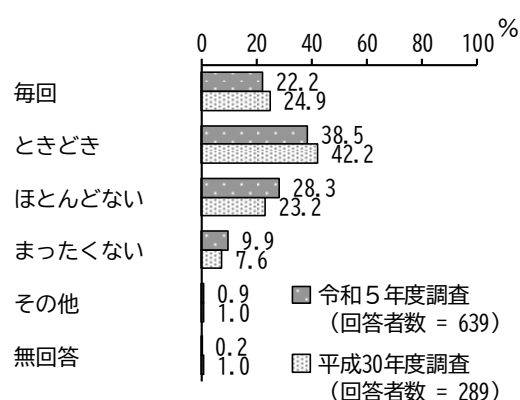
小学生では、「ときどき」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 28.3%、「毎回」の割合が 22.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ほとんどない」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



問 お子さんの朝食の品数はどれくらいありますか。(例：朝食が「ご飯、しゃけ、みそ汁」であれば、品数は「3品」になります) (○は1つだけ)
(未就学児：問 26－3、小学生：問 10－3)

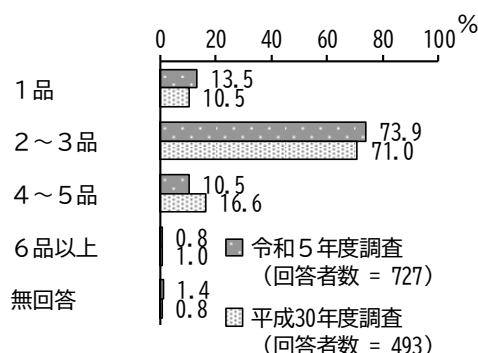
未就学児では、「2～3品」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「1品」の割合が 13.5%、「4～5品」の割合が 10.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4～5品」の割合が減少しています。

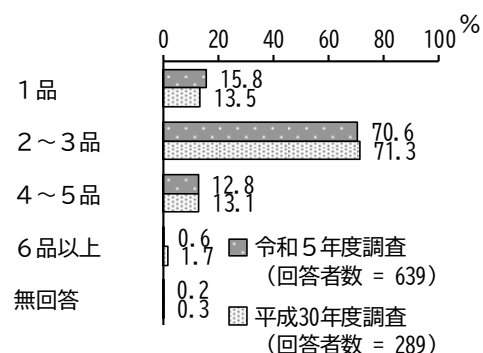
小学生では、「2～3品」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「1品」の割合が 15.8%、「4～5品」の割合が 12.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問 26 (問 10) で「4. 週に 1 回程度」「5. 食べない」と答えた方にお聞きします。

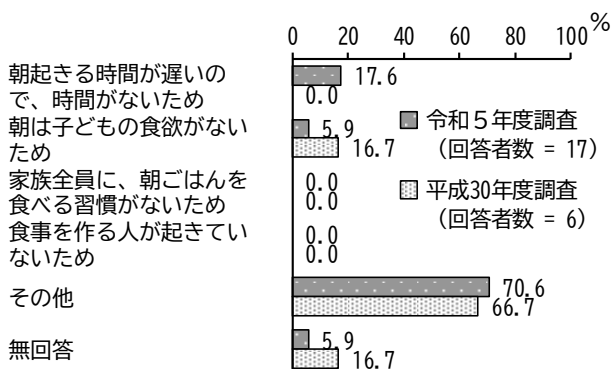
問 お子さんが朝食を週に 1 回程度食べるまたは食べない理由は何ですか。
(○は 1 つだけ) (未就学児：問 26－4、小学生：問 10－4)

未就学児では、「朝起きる時間が遅いので、時間がないため」の割合が 17.6%と最も高くなっています。

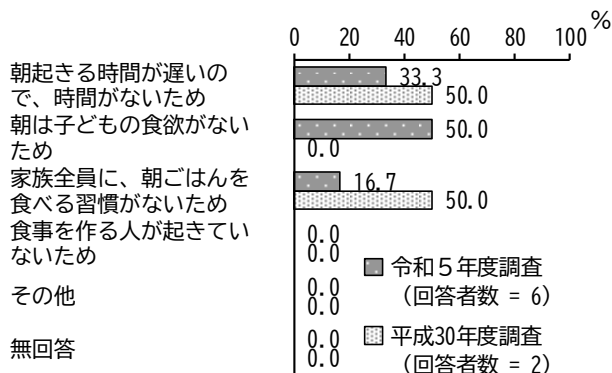
平成 30 年度調査と比較すると、「朝起きる時間が遅いので、時間がないため」の割合が増加しています。

小学生では、「朝は子どもの食欲がないため」が 3 件となっています。「朝起きる時間が遅いので、時間がないため」が 2 件、「家族全員に、朝ごはんを食べる習慣がないため」が 1 件となっています。

【未就学児】



【小学生】



問 お子さんの夕食のとり方についてお聞きします。(○は 1 つだけ)
(未就学児：問 27、小学生：問 11)

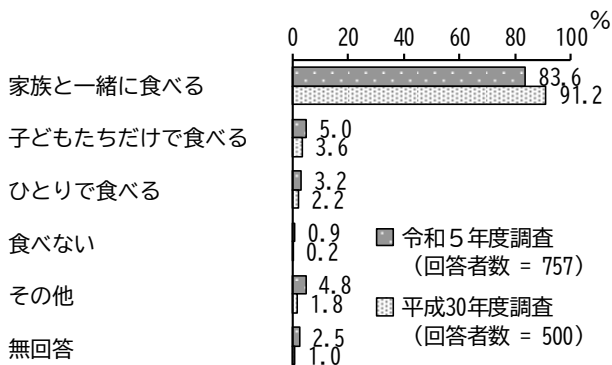
未就学児では、「家族と一緒に食べる」の割合が 83.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「家族と一緒に食べる」の割合が減少しています。

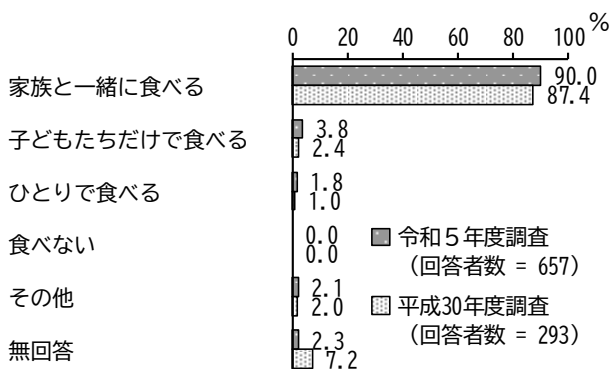
小学生では、「家族と一緒に食べる」の割合が 90.0%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問 27 (問 11) で「1. 家族と一緒に食べる」と答えた方にお聞きします。

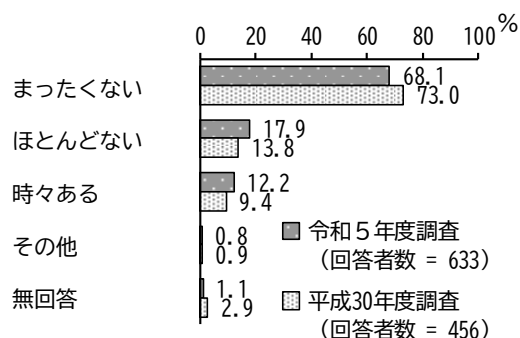
問 お子さんが夕食を子どもたちだけで食べたり、ひとりで食べたりすることはどのくらいありますか。(○は1つだけ)(未就学児：問 27-1、小学生：問 11-1)

未就学児では、「まったくない」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 17.9%、「時々ある」の割合が 12.2%となっています。

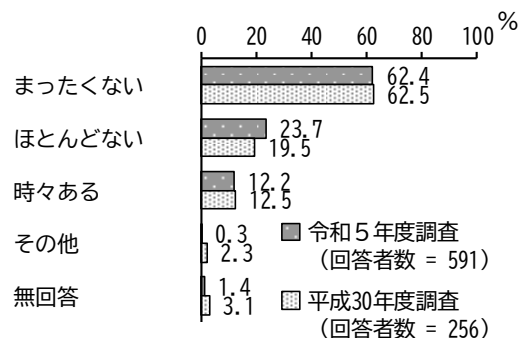
小学生では、「まったくない」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 23.7%、「時々ある」の割合が 12.2%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問 宛名のお子さんの歯みがきの様子についてお聞きします。(○は1つだけ)
(未就学児：問 28、小学生：問 12)

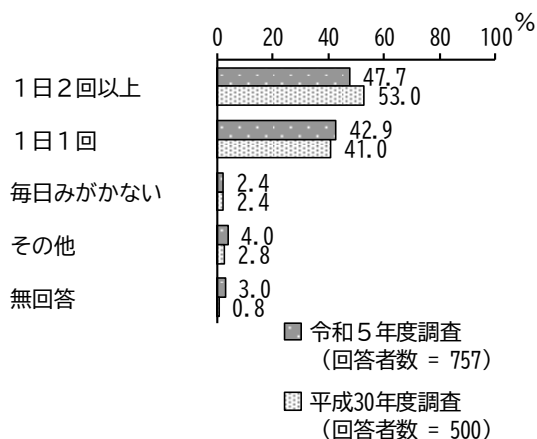
未就学児では、「1日2回以上」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「1日1回」の割合が 42.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日2回以上」の割合が減少しています。

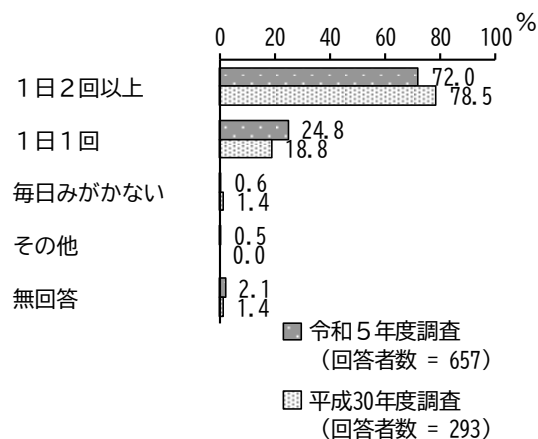
小学生では、「1日2回以上」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「1日1回」の割合が 24.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日1回」の割合が増加しています。一方、「1日2回以上」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 お子さんは歯みがき剤を使用していますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 29、小学生：問 13)

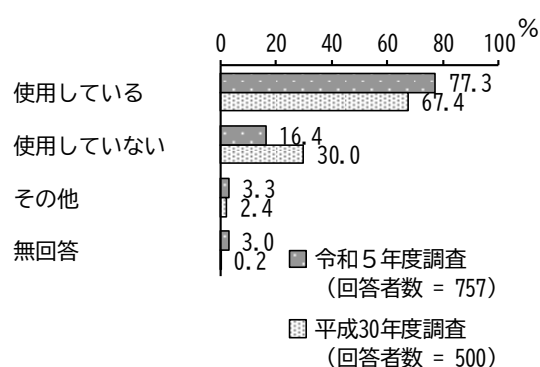
未就学児では、「使用している」の割合が 77.3%、「使用していない」の割合が 16.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「使用している」の割合が増加しています。一方、「使用していない」の割合が減少しています。

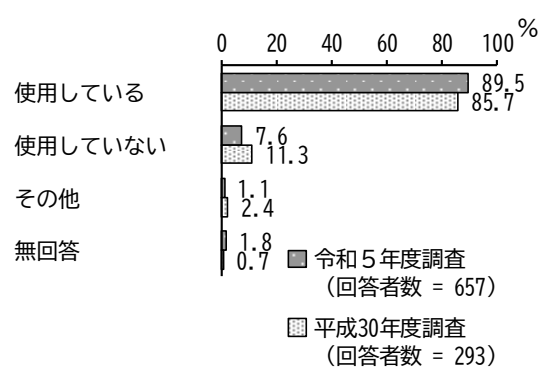
小学生では、「使用している」の割合が 89.5%、「使用していない」の割合が 7.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問 29 (問 13) で歯みがき剤を「1. 使用している」と答えた方にお聞きします。

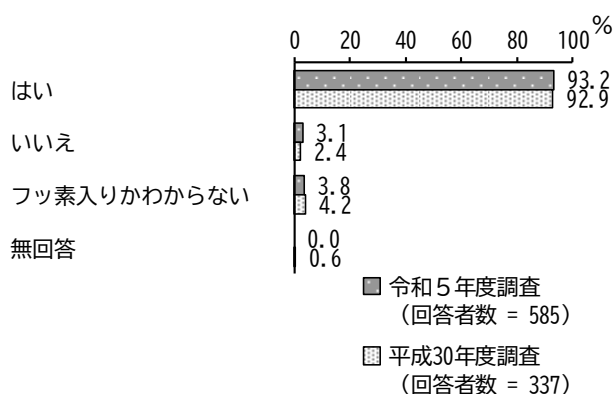
問 一般的にはお子さんのむし歯予防のためフッ素入りの歯みがき剤が推奨されていますが、お子さんが使用している歯みがき剤は、フッ素入り（フッ化物配合）ですか。(○は1つだけ) (未就学児：問 29-1、小学生：問 13-1)

未就学児では、「はい」の割合が 93.2%と最も高くなっています。

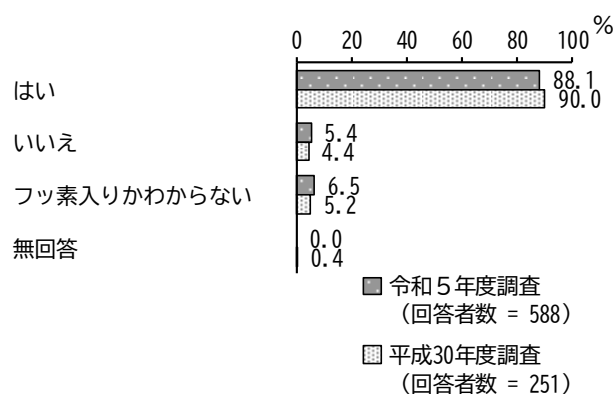
小学生では、「はい」の割合が 88.1%と最も高くなっています。

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



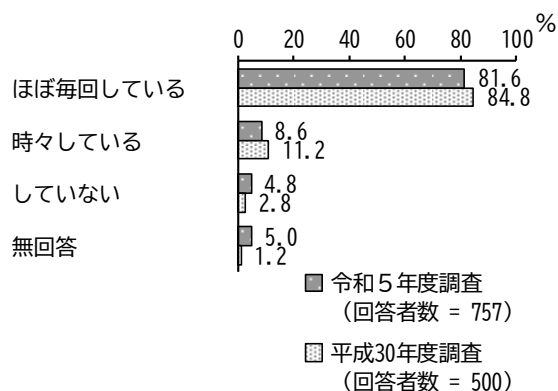
問 お子さんの歯みがきで、保護者の方が仕上げみがきをすることがありますか。
(○は1つだけ) (未就学児：問 30、小学生：問 14)

未就学児では、「ほぼ毎回している」の割合が81.6%と最も高くなっています。

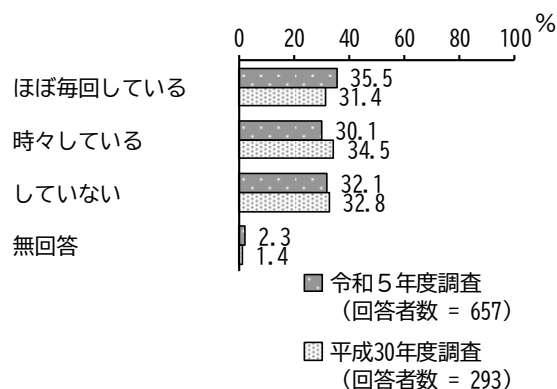
小学生では、「ほぼ毎回している」の割合が35.5%と最も高く、次いで「していない」の割合が32.1%、「時々している」の割合が30.1%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



問 お子さんは歯科医院で治療や定期的な歯科チェックを受けていますか。
(○は1つだけ) (未就学児：問 31、小学生：問 15)

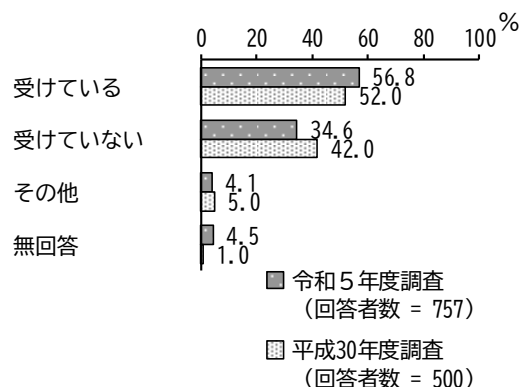
未就学児では、「受けている」の割合が56.8%、「受けていない」の割合が34.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「受けていない」の割合が減少しています。

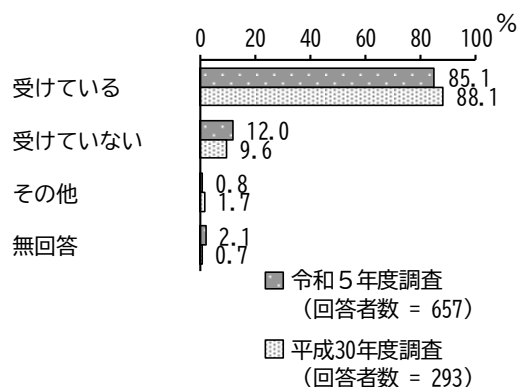
小学生では、「受けている」の割合が85.1%、「受けていない」の割合が12.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



(11) ヤングケアラーについて

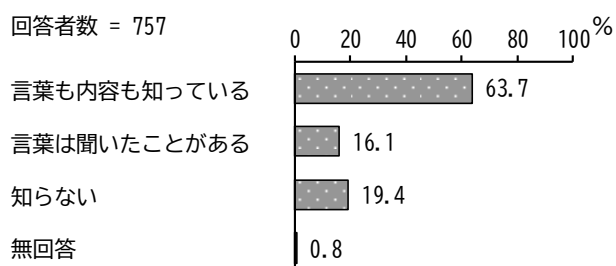
問 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 32、小学生：問 20)

未就学児では、「言葉も内容も知っている」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 19.4%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 16.1%となっています。

小学生では、「言葉も内容も知っている」の割合が 73.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 14.5%、「知らない」の割合が 11.6%となっています。

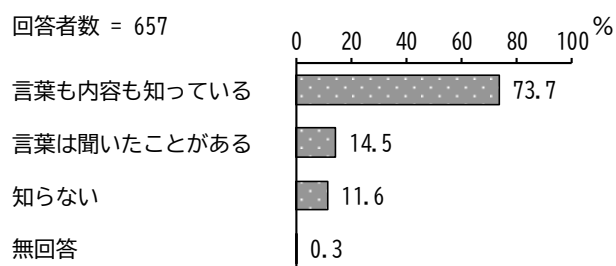
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



問 32（問 20）で「1. 言葉も内容も知っている」と答えた方にお聞きします。

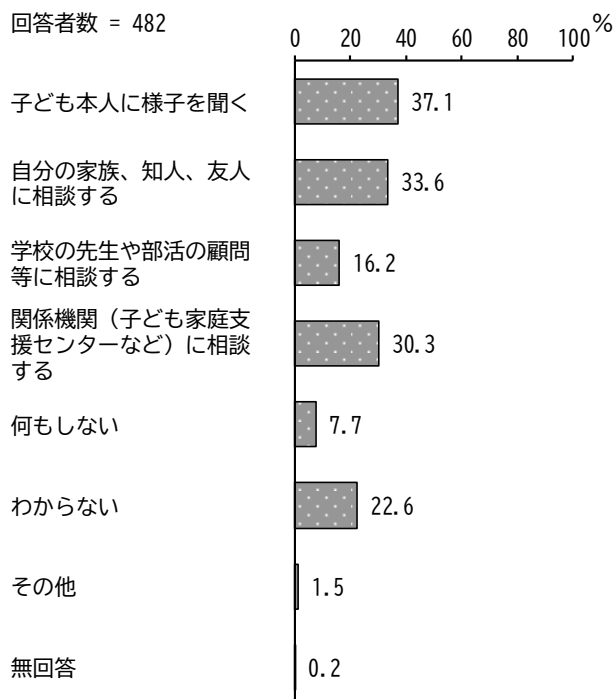
問 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。（○はいくつでも）（未就学児：問 32－1、小学生：問 20－1）

未就学児では、「子ども本人に様子を聞く」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「自分の家族、知人、友人に相談する」の割合が 33.6%、「関係機関（子ども家庭支援センターなど）に相談する」の割合が 30.3%となっています。

小学生では、「自分の家族、知人、友人に相談する」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「子ども本人に様子を聞く」の割合が 35.7%、「関係機関（子ども家庭支援センターなど）に相談する」の割合が 35.1%となっています。

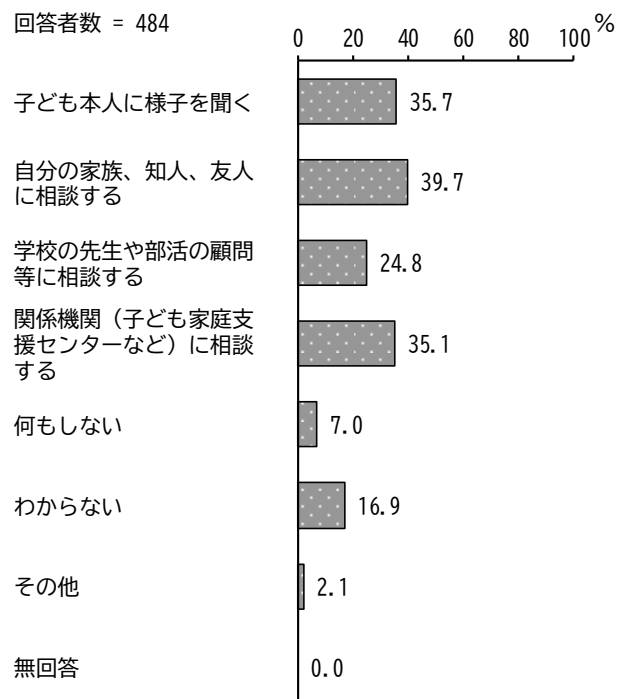
【未就学児】

回答者数 = 482



【小学生】

回答者数 = 484



(12) ご家庭の経済状況について

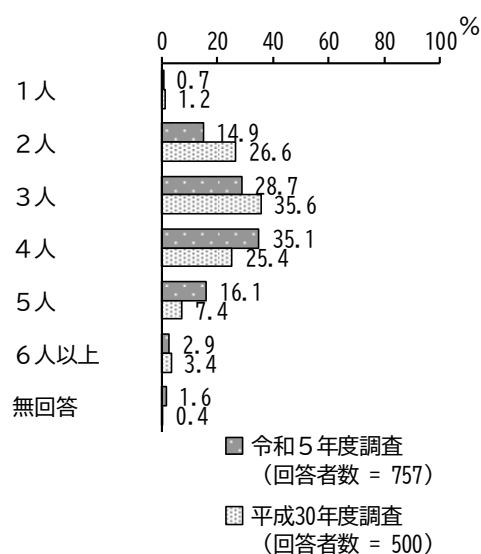
問 宛名のお子さんと同居している方の人数をご記入ください。単身赴任をしている家族も含めてください。(未就学児：問 33、小学生：問 16)

未就学児では、「4人」の割合が35.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が28.7%、「5人」の割合が16.1%となっています。

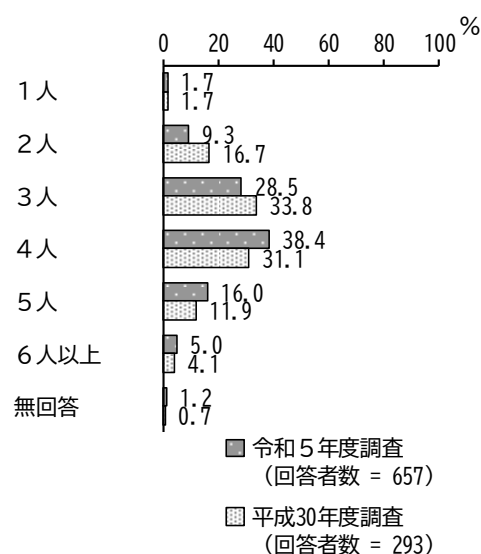
小学生では、「4人」の割合が38.4%と最も高く、次いで「3人」の割合が28.5%、「5人」の割合が16.0%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、「4人」、「5人」の割合が増加しています。一方、「2人」、「3人」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況についてお聞きします。(○は1つだけ)
(未就学児：問 34、小学生：問 17)

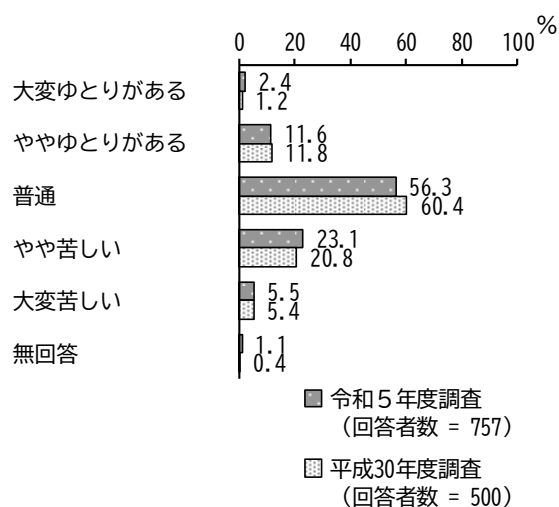
未就学児では、「普通」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 23.1%、「ややゆとりがある」の割合が 11.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

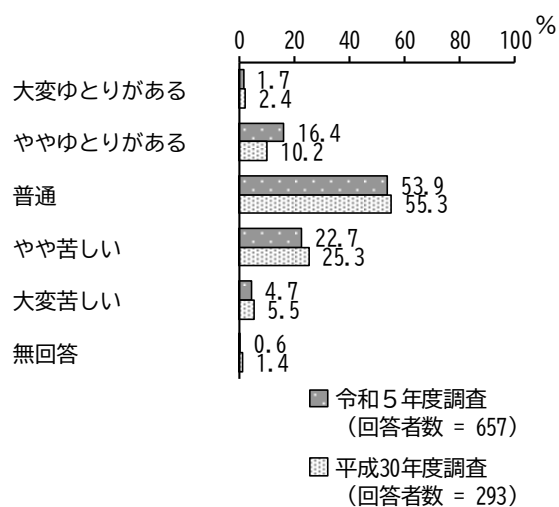
小学生では、「普通」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 22.7%、「ややゆとりがある」の割合が 16.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ややゆとりがある」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



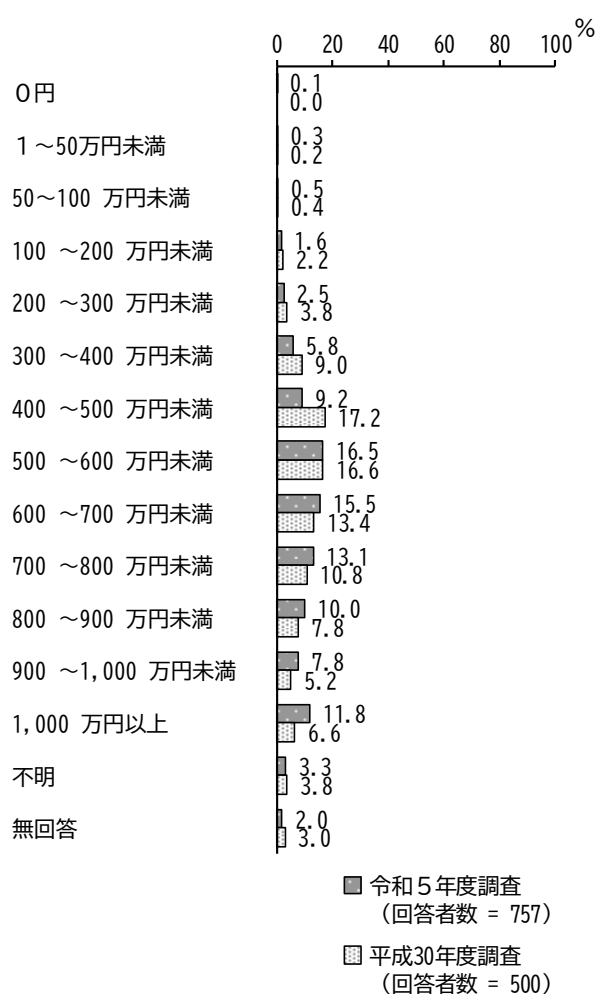
問 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナス含む額面額）」をお聞きます。（○は1つだけ）
（未就学児：問 35、小学生：問 18）

未就学児では、「500～600 万円未満」の割合が 16.5%と最も高く、次いで「600～700 万円未満」の割合が 15.5%、「700～800 万円未満」の割合が 13.1%となっています。

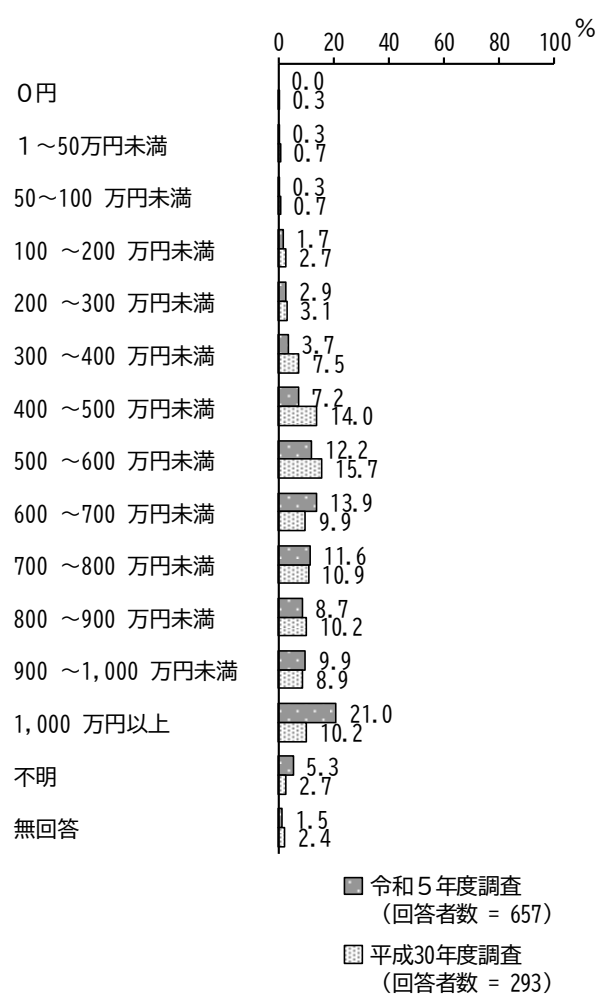
小学生では、「1,000 万円以上」の割合が 21.0%と最も高く、次いで「600～700 万円未満」の割合が 13.9%、「500～600 万円未満」の割合が 12.2%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「1,000 万円以上」の割合が増加しています。一方、「400～500 万円未満」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



【暮らしの状況別（未就学児）】

未就学児では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「500～600 万円未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	0 円	1 ～50 万円未 満	50 ～100 万円未 満	100 ～200 万円未 満	200 ～300 万円未 満	300 ～400 万円未 満	400 ～500 万円未 満	500 ～600 万円未 満	600 ～700 万円未 満	700 ～800 万円未 満	800 ～900 万円未 満	900 ～1,000 万円未 満	1,000 万円以上	不 明	無 回 答
全 体	757	0.1	0.3	0.5	1.6	2.5	5.8	9.2	16.5	15.5	13.1	10.0	7.8	11.8	3.3	2.0
ゆとりがある	106	—	—	0.9	—	—	1.9	0.9	3.8	10.4	17.0	9.4	15.1	40.6	—	—
普通	426	—	0.2	0.2	0.5	2.1	4.0	7.5	17.6	16.9	15.5	12.2	8.5	10.1	3.3	1.4
苦しい	217	0.5	0.5	0.9	4.6	4.6	11.5	17.1	20.3	15.7	6.9	6.5	3.2	1.4	5.1	1.4

【暮らしの状況別（小学生）】

小学生では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「500～600 万円未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	0 円	1 ～50 万円未 満	50 ～100 万円未 満	100 ～200 万円未 満	200 ～300 万円未 満	300 ～400 万円未 満	400 ～500 万円未 満	500 ～600 万円未 満	600 ～700 万円未 満	700 ～800 万円未 満	800 ～900 万円未 満	900 ～1,000 万円未 満	1,000 万円以上	不 明	無 回 答
全 体	657	—	0.3	0.3	1.7	2.9	3.7	7.2	12.2	13.9	11.6	8.7	9.9	21.0	5.3	1.5
ゆとりがある	119	—	—	—	1.7	0.8	—	0.8	5.0	5.9	5.9	10.1	18.5	49.6	1.7	—
普通	354	—	—	—	0.6	1.4	3.4	5.9	11.0	16.7	16.1	11.0	9.3	17.5	5.9	1.1
苦しい	180	—	1.1	1.1	3.9	7.2	6.7	13.9	18.9	13.9	6.7	3.3	5.6	9.4	6.7	1.7

問 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由での次のものが買えなかったり、支払うことができなかったことがありましたか。（それぞれ○は1つだけ）
（未就学児：問 36、小学生：問 19）

未就学児で、「②衣服（高価な衣服や貴金属・宝飾品除く）」で「あった」の割合が高くなっています。

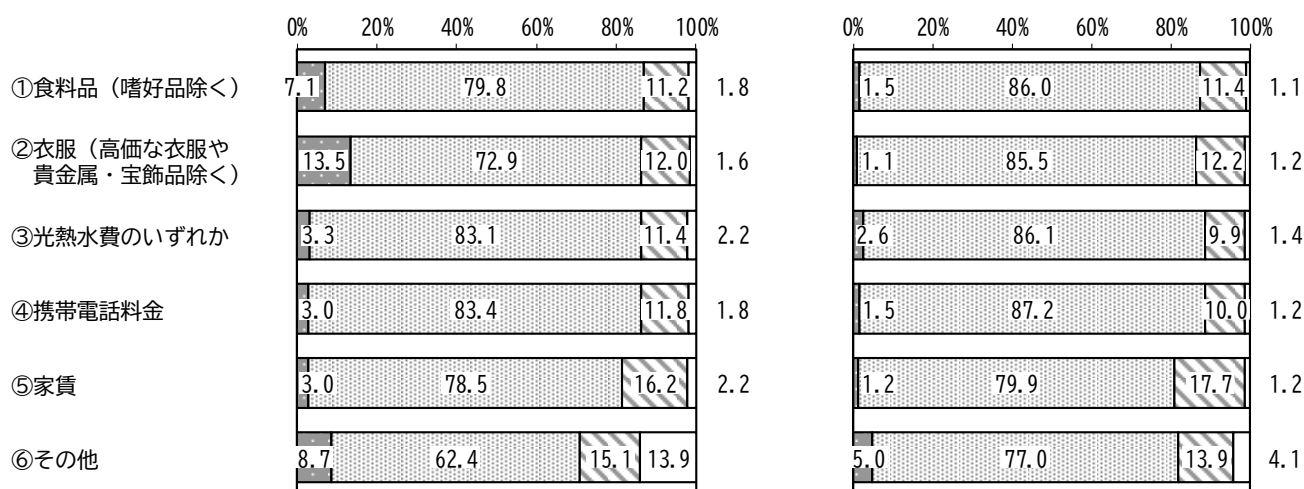
【未就学児】

【小学生】

■ あった ■ なかった ■ 該当しない □ 無回答

回答者数 = 757

回答者数 = 657



※前回調査では、①食料品（嗜好品除く）、②衣服（高価な衣服や貴金属・宝飾品除く）の選択肢はありませんでした。

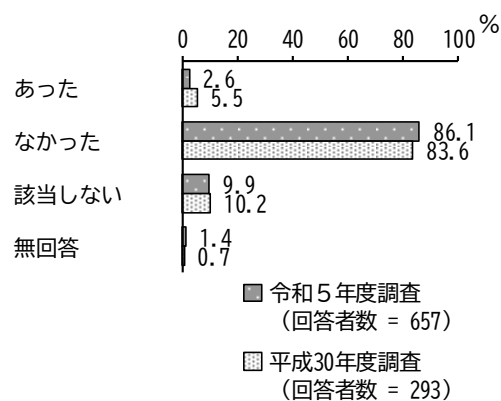
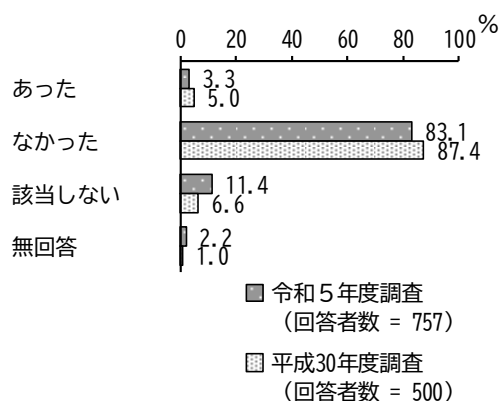
③光熱水費のいずれか

未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】

【小学生】

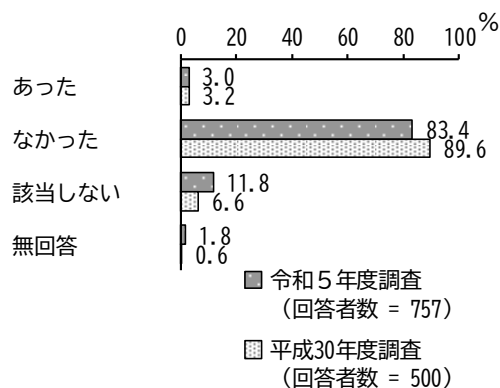


④携帯電話料金

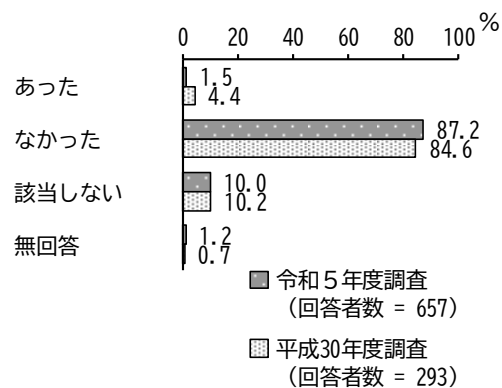
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「該当しない」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



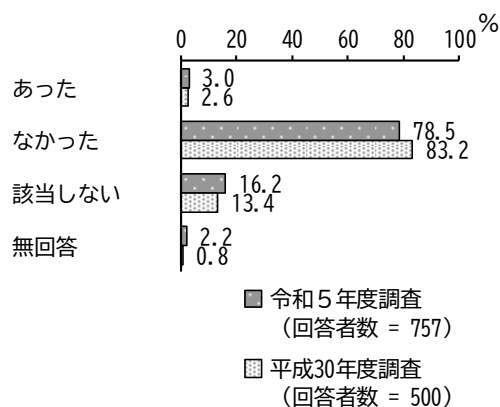
【小学生】



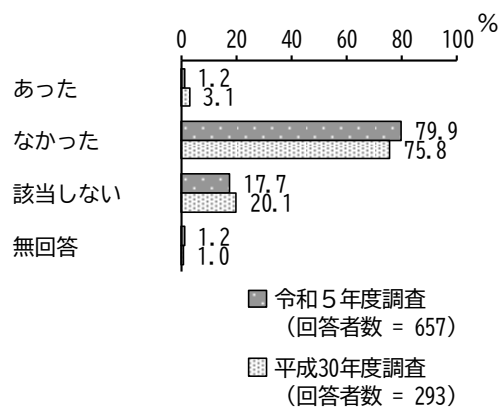
⑤家賃

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】

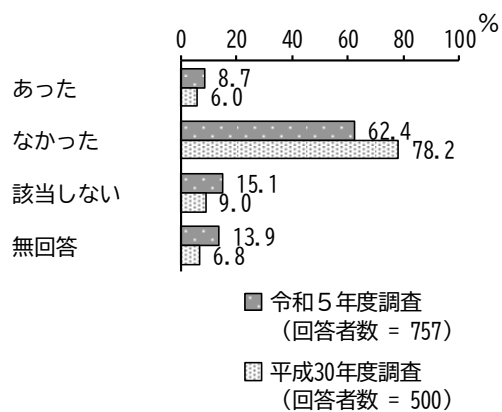


⑥その他

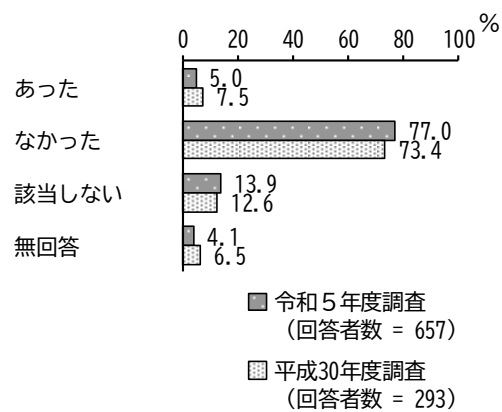
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「該当しない」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】



(13) 子育て全般について

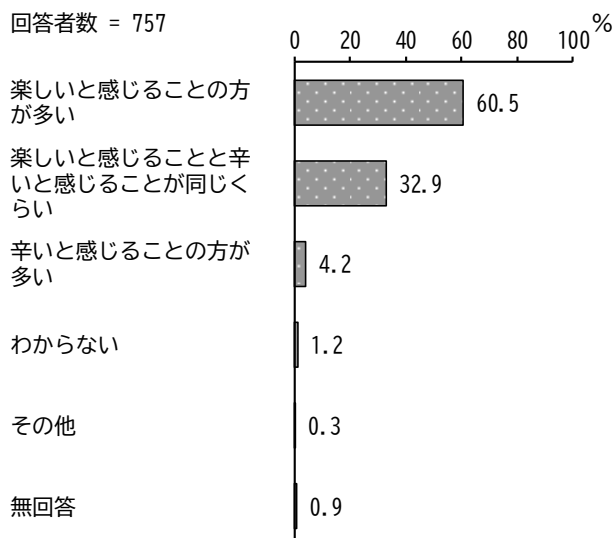
問 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 37、小学生：問 21)

未就学児では、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が 32.9%となっています。

小学生では、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が 35.9%となっています。

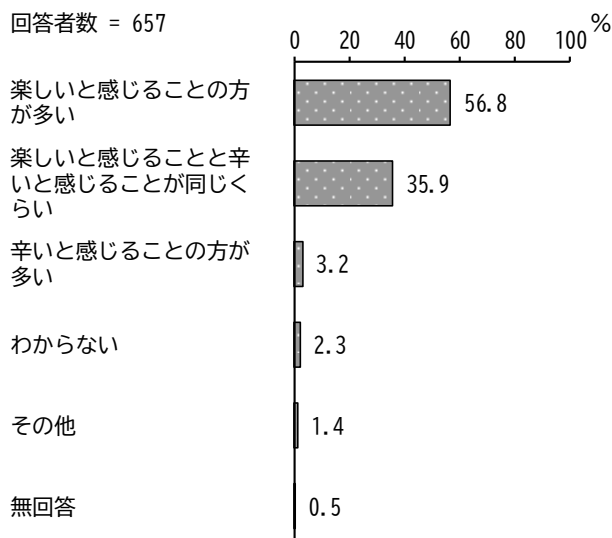
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



問 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。(1)
(2) それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(未就学児：問 38、小学生：問 22)

(1) 子どもに関すること

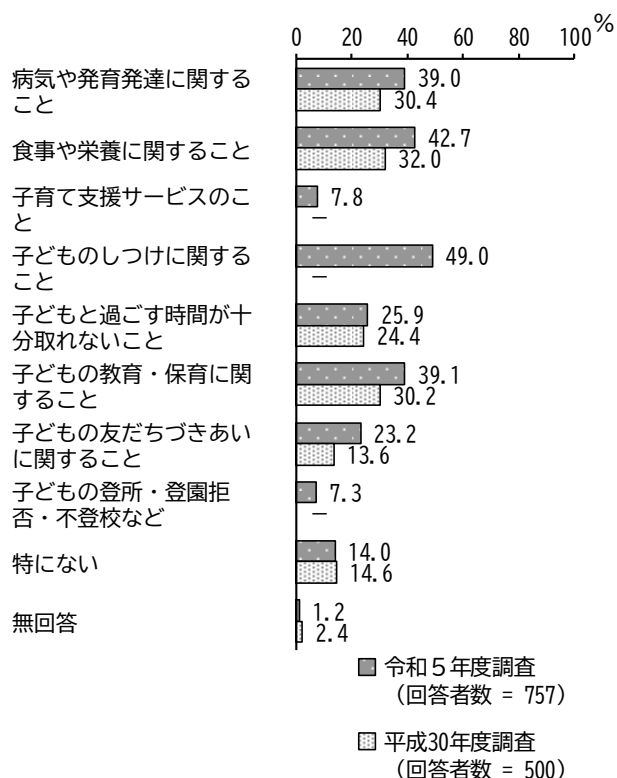
未就学児では、「子どものしつけに関すること」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」の割合が 42.7%、「子どもの教育・保育に関すること」の割合が 39.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病気や発育発達に関すること」、「食事や栄養に関すること」、「子どもの教育・保育に関すること」、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が増加しています。

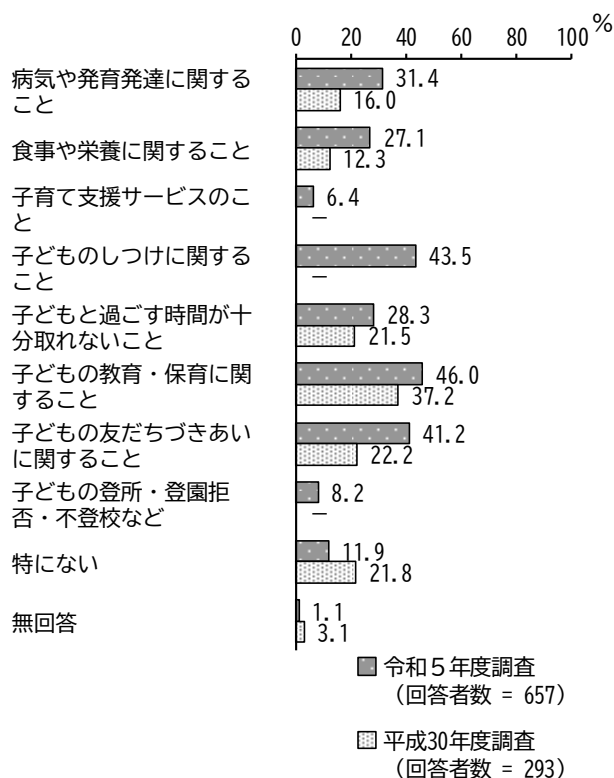
小学生では、「子どもの教育・保育に関すること」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が 43.5%、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が 41.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病気や発育発達に関すること」、「食事や栄養に関すること」、「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」、「子どもの教育・保育に関すること」、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が増加しています。一方、「特にない」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



※前回調査では、「子育て支援サービスのこと」「子どものしつけに関すること」「子どもの登所・登園拒否・不登校など」の選択肢はありませんでした。

【年齢別（未就学児）】

未就学児では、年齢別にみると、「4歳」で「子どものしつけに関すること」の割合が特に高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの登所・登園拒否・不登校など	特になし	無回答
全 体	757	39.0	42.7	7.8	49.0	25.9	39.1	23.2	7.3	14.0	1.2
0歳	191	45.0	48.7	12.6	39.3	18.8	41.4	14.1	7.3	15.7	1.0
1歳	114	37.7	45.6	7.9	45.6	28.9	34.2	17.5	3.5	17.5	0.9
2歳	110	31.8	46.4	2.7	59.1	24.5	35.5	12.7	6.4	10.0	1.8
3歳	127	35.4	37.0	5.5	43.3	29.1	40.9	26.8	5.5	14.2	1.6
4歳	113	45.1	43.4	6.2	61.1	22.1	36.3	38.9	8.0	11.5	0.9
5歳	85	34.1	28.2	7.1	52.9	37.6	44.7	37.6	15.3	15.3	—

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【年齢別（小学生）】

小学生では、年齢別にみると、「四年生」、「五年生」で「子どもの教育・保育に関すること」の割合が特に高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの登所・登園拒否・不登校など	特になし	無回答
全 体	657	31.4	27.1	6.4	43.5	28.3	46.0	41.2	8.2	11.9	1.1
一年生	129	34.1	26.4	3.9	47.3	28.7	46.5	46.5	6.2	10.1	1.6
二年生	145	34.5	29.7	7.6	44.1	29.0	40.0	37.2	10.3	15.2	0.7
三年生	149	28.2	22.1	6.7	44.3	30.9	47.0	43.0	7.4	12.1	2.7
四年生	66	33.3	31.8	10.6	45.5	31.8	50.0	48.5	4.5	13.6	—
五年生	84	29.8	28.6	4.8	38.1	21.4	50.0	35.7	11.9	10.7	—
六年生	83	27.7	27.7	6.0	38.6	26.5	47.0	37.3	8.4	8.4	—

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【母親の就労状況別（未就学児）】

未就学児では、母親の就労状況別にみると、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「子どものしつけに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気や発育発達に 関すること	食事や栄養に 関すること	子育て支援サ ービスに 関すること	子どものしつけに 関すること	子どもと過ごす 時間が十分取れ ないこと	子どもの教育・保 育に 関すること	子どもの友だちづ きあいに 関すること	子どもの登所・登 園拒否・不登校な ど	特 に な い	無 回 答
全 体	756	38.9	42.6	7.8	48.9	25.8	39.2	23.3	7.3	14.0	1.2
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	248	35.1	42.7	6.5	47.6	46.0	36.7	25.8	8.1	8.9	0.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	93	40.9	45.2	14.0	43.0	19.4	47.3	10.8	8.6	16.1	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	179	39.1	38.5	6.7	53.6	24.6	38.5	26.3	9.5	16.8	1.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	34	41.2	32.4	14.7	50.0	14.7	47.1	23.5	5.9	14.7	2.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	176	43.2	47.7	6.3	51.1	5.1	39.2	22.7	4.0	17.0	0.6
これまで就労したことがない	10	40.0	60.0	—	50.0	—	20.0	20.0	—	20.0	—

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労状況別（小学生）】

小学生では、母親の就労状況別にみると、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの登所・登園拒否・不登校など	特にない	無回答
全 体	651	31.3	27.0	6.5	43.5	28.3	46.1	41.5	8.3	11.8	1.1
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	255	30.6	28.6	7.8	42.0	51.4	50.6	37.6	11.0	7.5	0.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	255	29.0	23.5	5.5	43.9	15.7	44.7	44.3	4.7	14.9	0.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	101	33.7	31.7	5.9	50.5	6.9	42.6	43.6	10.9	12.9	2.0
これまで就労したことがない	16	43.8	25.0	—	37.5	6.3	43.8	43.8	6.3	25.0	—

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【暮らしの状況別（未就学児）】

未就学児では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「子どものしつけに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの登所・登園拒否・不登校など	特にない	無回答
全 体	757	39.0	42.7	7.8	49.0	25.9	39.1	23.2	7.3	14.0	1.2
ゆとりがある	106	36.8	41.5	8.5	46.2	27.4	42.5	16.0	4.7	17.9	—
普通	426	35.7	40.6	5.9	48.6	23.0	38.3	21.1	5.9	16.0	0.5
苦しい	217	47.0	47.9	11.5	52.5	31.8	40.1	31.3	11.5	8.8	1.4

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【暮らしの状況別（小学生）】

小学生では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「子どもの教育・保育に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの登所・登園拒否・不登校など	特にない	無回答
全 体	657	31.4	27.1	6.4	43.5	28.3	46.0	41.2	8.2	11.9	1.1
ゆとりがある	119	30.3	32.8	8.4	45.4	31.9	49.6	40.3	10.9	11.8	—
普通	354	29.1	22.6	6.2	41.2	21.8	43.5	38.7	6.5	14.7	1.4
苦しい	180	36.7	32.8	5.6	47.8	39.4	48.9	47.2	10.0	6.1	0.6

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

(2) ご自身に関すること

未就学児では、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が44.6%と最も高く、次いで「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が39.4%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が34.2%となっています。

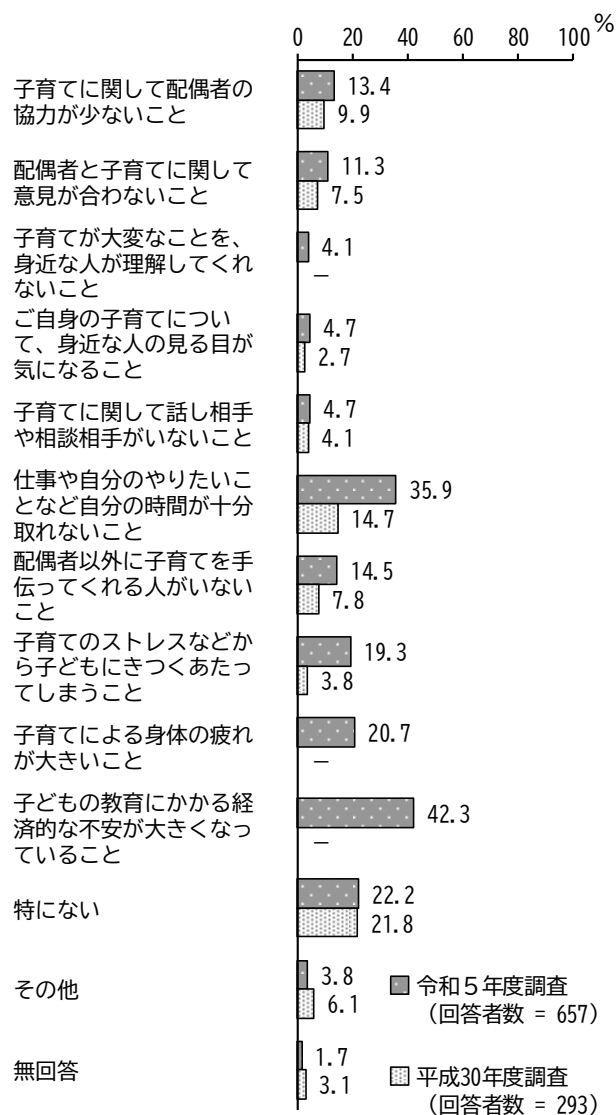
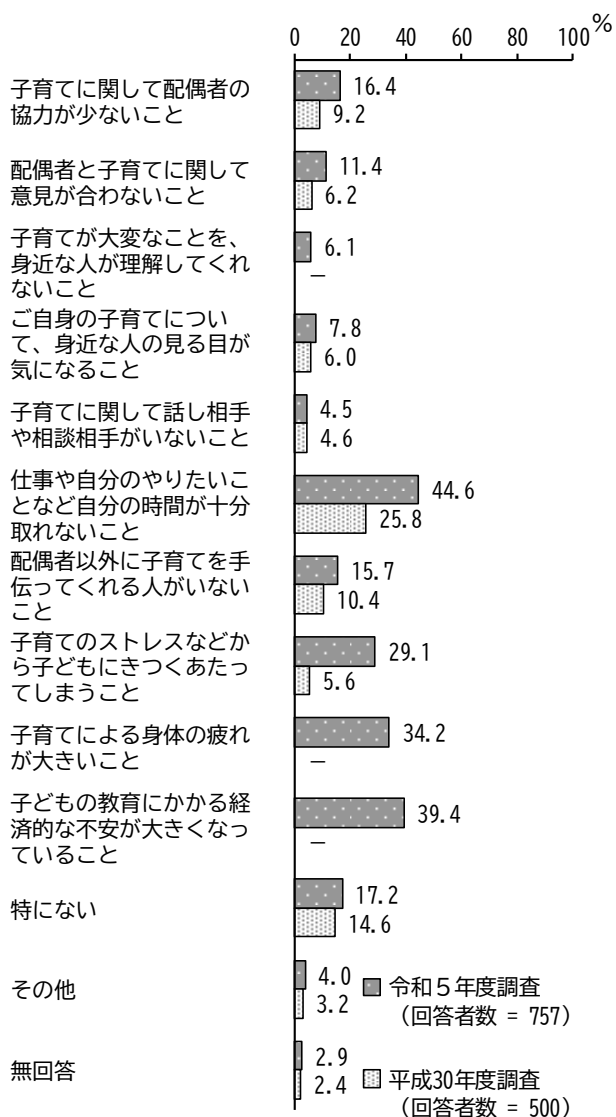
平成30年度調査と比較すると、「子育てに関して配偶者の協力が少ないこと」、「配偶者と子育てに関して意見が合わないこと」、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」、「配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が増加しています。

小学生では、「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が42.3%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が35.9%、「特にない」の割合が22.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」「配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が増加しています。

【未就学児】

【小学生】



※前回調査では、「子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の選択肢はありませんでした。

【年齢別（未就学児）】

未就学児では、年齢別にみると、「3歳」で「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全 体	757	16.4	11.4	6.1	7.8	4.5	44.6	15.7	29.1	34.2	39.4	17.2	4.0	2.9
0歳	191	12.6	7.9	5.8	5.2	3.1	44.0	16.2	18.3	35.1	39.3	21.5	2.6	3.7
1歳	114	15.8	11.4	7.0	9.6	4.4	44.7	18.4	26.3	35.1	36.0	20.2	5.3	2.6
2歳	110	17.3	8.2	4.5	10.9	3.6	45.5	16.4	29.1	35.5	35.5	12.7	5.5	3.6
3歳	127	14.2	9.4	5.5	7.1	5.5	46.5	14.2	33.9	30.7	39.4	18.9	4.7	2.4
4歳	113	23.9	19.5	9.7	11.5	6.2	43.4	14.2	39.8	35.4	44.2	8.8	2.7	2.7
5歳	85	16.5	15.3	3.5	4.7	5.9	42.4	14.1	36.5	36.5	42.4	20.0	4.7	1.2

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【年齢別（小学生）】

小学生では、年齢別にみると、「五年生」で「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全 体	657	13.4	11.3	4.1	4.7	4.7	35.9	14.5	19.3	20.7	42.3	22.2	3.8	1.7
一年生	129	11.6	10.9	6.2	6.2	2.3	42.6	15.5	19.4	26.4	35.7	19.4	4.7	2.3
二年生	145	11.0	16.6	5.5	5.5	4.1	35.2	13.8	23.4	20.0	33.1	26.9	5.5	2.1
三年生	149	14.1	9.4	3.4	3.4	6.7	32.9	13.4	21.5	22.1	45.6	21.5	3.4	2.0
四年生	66	10.6	13.6	3.0	3.0	6.1	39.4	18.2	15.2	19.7	45.5	21.2	1.5	1.5
五年生	84	19.0	10.7	1.2	3.6	3.6	34.5	15.5	17.9	15.5	52.4	14.3	3.6	—
六年生	83	15.7	4.8	3.6	6.0	6.0	31.3	12.0	13.3	16.9	50.6	27.7	2.4	1.2

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労状況別（未就学児）】

未就学児では、母親の就労状況別にみると、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全 体	756	16.4	11.4	6.1	7.8	4.5	44.6	15.7	29.0	34.3	39.3	17.2	4.0	2.9
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	248	19.0	13.7	7.3	8.9	3.2	52.4	16.1	33.9	34.3	36.3	13.3	5.6	2.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	93	12.9	11.8	5.4	7.5	3.2	45.2	14.0	22.6	32.3	35.5	21.5	2.2	1.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	179	21.8	12.3	6.7	7.8	7.3	44.7	12.8	35.8	35.2	45.3	16.2	5.0	1.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	34	8.8	11.8	2.9	5.9	2.9	38.2	8.8	20.6	44.1	52.9	14.7	2.9	2.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	176	11.4	8.0	4.0	6.8	4.0	35.8	19.9	22.2	33.0	36.9	21.6	2.3	4.0
これまで就労したことがない	10	10.0	—	20.0	10.0	—	20.0	20.0	10.0	30.0	40.0	30.0	—	—

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労状況別（小学生）】

小学生では、母親の就労状況別にみると、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関する配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全 体	651	13.5	11.4	4.1	4.8	4.8	35.9	14.6	19.2	20.7	42.2	22.1	3.8	1.7
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	255	11.8	12.5	5.1	4.3	5.1	45.5	13.3	19.6	20.8	43.9	16.9	3.5	1.2
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	—	—	—	—	—	16.7	16.7	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	255	14.5	10.2	3.9	6.3	3.5	32.9	18.8	18.0	21.2	44.3	20.4	4.7	2.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	101	16.8	9.9	2.0	3.0	5.0	27.7	8.9	18.8	19.8	32.7	33.7	2.0	2.0
これまで就労したことがない	16	12.5	18.8	6.3	—	12.5	18.8	—	25.0	12.5	18.8	50.0	—	6.3

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【暮らしの状況別（未就学児）】

未就学児では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全 体	757	16.4	11.4	6.1	7.8	4.5	44.6	15.7	29.1	34.2	39.4	17.2	4.0	2.9
ゆとりがある	106	12.3	13.2	3.8	1.9	0.9	45.3	13.2	29.2	33.0	9.4	25.5	4.7	2.8
普通	426	14.3	8.5	5.2	7.5	4.2	40.1	14.3	25.8	30.5	28.9	22.3	3.8	2.8
苦しい	217	22.6	16.1	9.2	11.5	6.5	54.4	19.8	35.9	41.9	75.6	3.7	4.1	1.4

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【暮らしの状況別（小学生）】

小学生では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全 体	657	13.4	11.3	4.1	4.7	4.7	35.9	14.5	19.3	20.7	42.3	22.2	3.8	1.7
ゆとりがある	119	12.6	9.2	4.2	4.2	4.2	37.0	12.6	18.5	23.5	15.1	32.8	4.2	0.8
普通	354	11.3	8.8	2.8	3.7	3.4	30.2	13.8	18.6	17.2	33.9	26.6	4.0	2.0
苦しい	180	18.3	17.8	6.7	7.2	7.8	47.2	17.2	21.7	26.1	77.8	6.1	3.3	0.6

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

問 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)(未就学児：問 39、小学生：問 23)

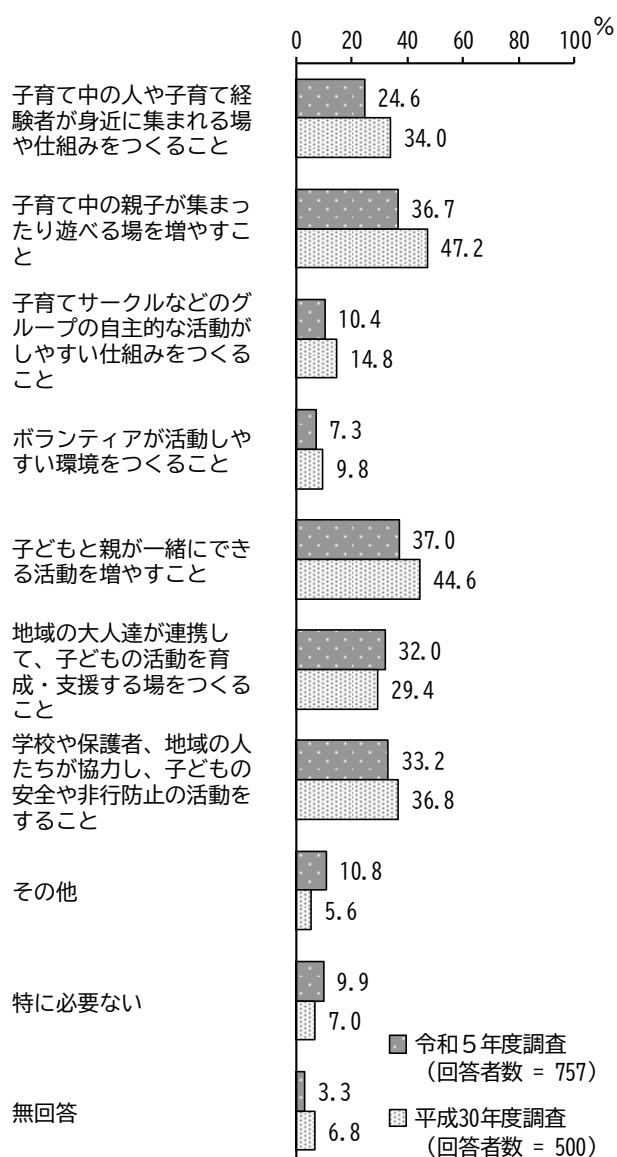
未就学児では、「子どもと親と一緒にできる活動を増やすこと」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やすこと」の割合が 36.7%、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする事」の割合が 33.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくること」、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やすこと」、「子どもと親と一緒にできる活動を増やすこと」の割合が減少しています。

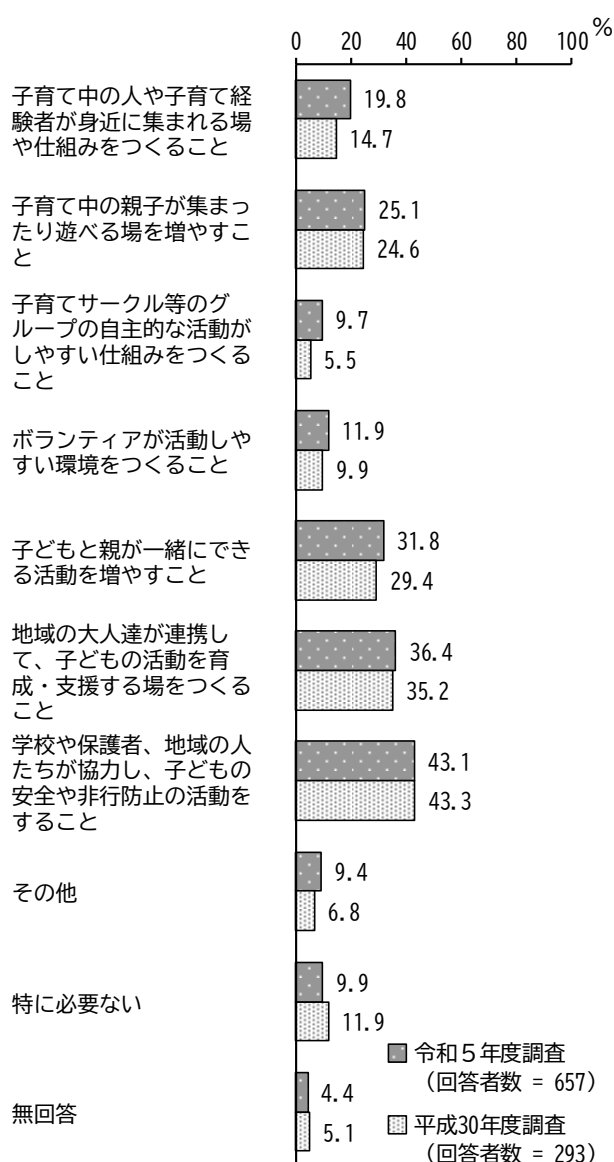
小学生では、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする事」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくること」の割合が 36.4%、「子どもと親と一緒にできる活動を増やすこと」の割合が 31.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくること」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】



問 日常生活において孤立感を感じますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 40、小学生：問 24)

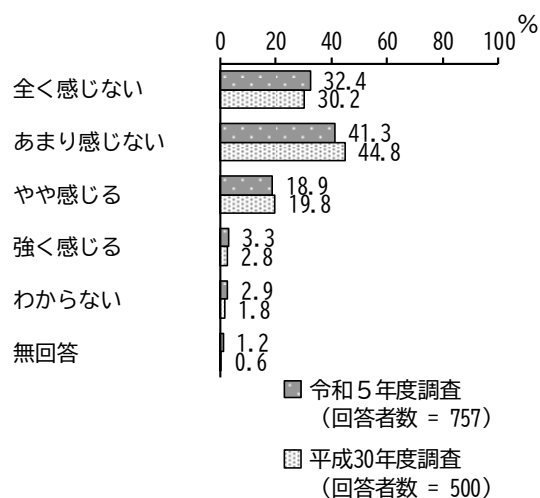
未就学児では、「あまり感じない」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「全く感じない」の割合が 32.4%、「やや感じる」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

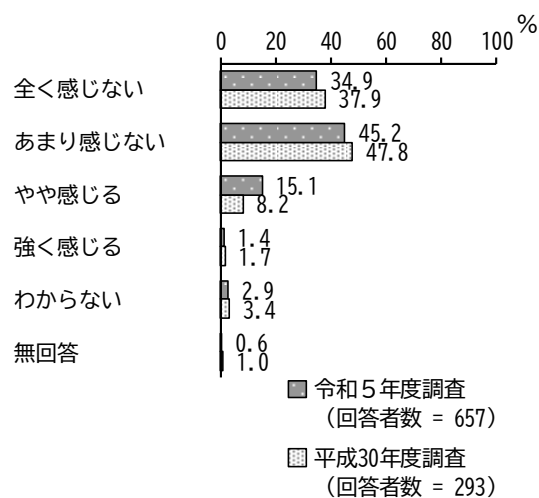
小学生では、「あまり感じない」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「全く感じない」の割合が 34.9%、「やや感じる」の割合が 15.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「やや感じる」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】

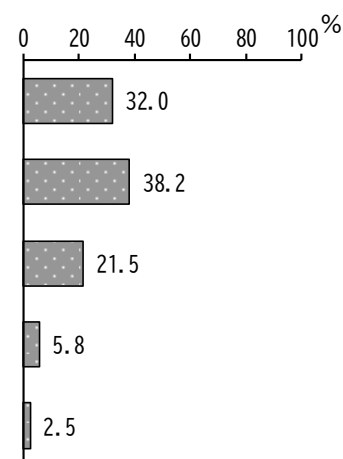


問 産後に不安や負担は感じましたか。(○は1つだけ) (未就学児：問 41)

「時々感じた（時々感じている）」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「とても感じた（感じている）」の割合が 32.0%、「あまり感じなかった（あまり感じていない）」の割合が 21.5%となっています。

回答者数 = 757

とても感じた（感じている）
時々感じた（時々感じている）
あまり感じなかった（あまり感じていない）
まったく感じなかった（まったく感じていない）
無回答



問 41 で「1. とても感じた（感じている）」「2. 時々感じた（時々感じている）」と答えた方にお聞きします。

問 それはどんな内容ですか。（○はいくつでも）（未就学児：問 41－1）

「出産や育児による体の疲れ」の割合が 77.2%と最も高く、次いで「十分な睡眠がとれない」の割合が 69.5%、「自分の時間がとれない」の割合が 65.3%となっています。

回答者数 = 531

出産や育児による体の疲れ

上の子との育児の両立が難しい

十分な睡眠がとれない

イライラしたり落ち込んだりする

自分の時間がとれない

自分の育児方法が正しいのか分からない

授乳をめぐるトラブル

家事ができない

子どもが泣きやまない

乳房のトラブル

仕事への復帰や仕事との両立が大変

子育てにお金がかかる

ほかの子どもと自分の子どもの発達などを比べて不安になる

子育てに自信が持てない

まわりの育児の協力者が足りない

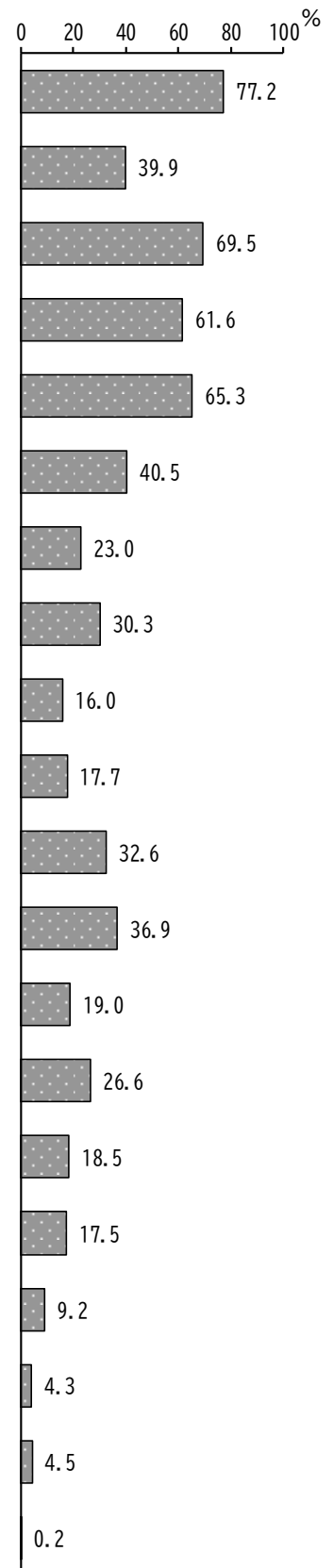
配偶者や家族との関係がうまくいかない

相談できる友人がおらず、孤独感を感じる

ほかの親（ママ友など）との関係がうまくいかない

その他

無回答



問 どのような支援を受けたかった、受けていますか。(〇はいくつでも)
(未就学児：問 41－2)

「お子さんを預かるサービス付きの母親が
休息できる宿泊サービス」の割合が 43.1%と最
も高く、次いで「夫への育児技術指導」の割合
が 24.4%、「宿泊しながらの赤ちゃんへのケア
方法指導（ベビーマッサージやスキンケアな
ど）」の割合が 19.3%となっています。

回答者数 = 757

お子さんを預かるサービ
ス付きの母親が休息でき
る宿泊サービス

夫への育児技術指導

宿泊しながらの赤ちゃん
へのケア方法指導（ベ
ビーマッサージやスキン
ケアなど）

1日を通した赤ちゃんとの
接し方指導

夜泣きに関する指導

授乳のペースや方法の指
導

宿泊しながらの乳房ケア
サービスと指導

沐浴、お風呂の入れ方の
指導

ご自宅にうかがっての育
児や不安に関する相談
サービス

ご自宅にうかがっての育
児技術に関するアドバイ
ス、指導

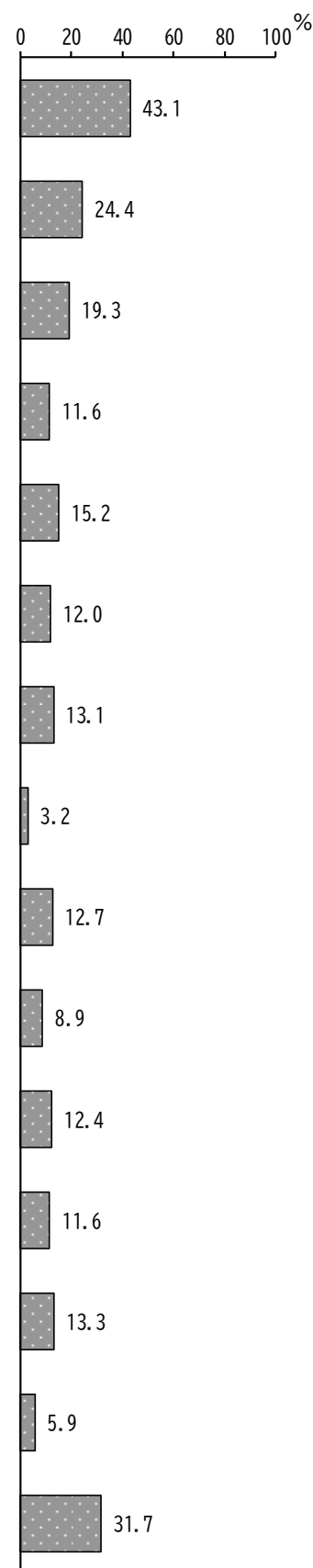
日帰りでの赤ちゃんへの
ケア方法指導（ベビーマ
ッサージやスキンケア
など）

日帰りでの乳房ケアサー
ビスや指導

日帰りでの夫への育児技
術指導

その他

無回答



問 あなたは地域の人から見守られていると思いますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 42、小学生：問 25)

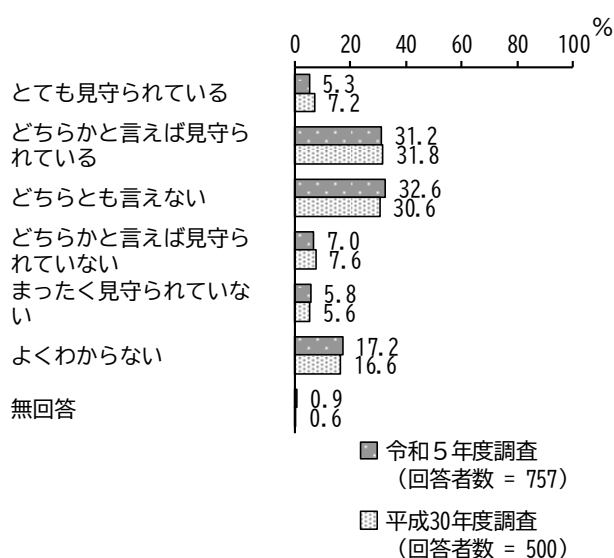
未就学児では、「どちらとも言えない」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「どちらかと言えば見守られている」の割合が 31.2%、「よくわからない」の割合が 17.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

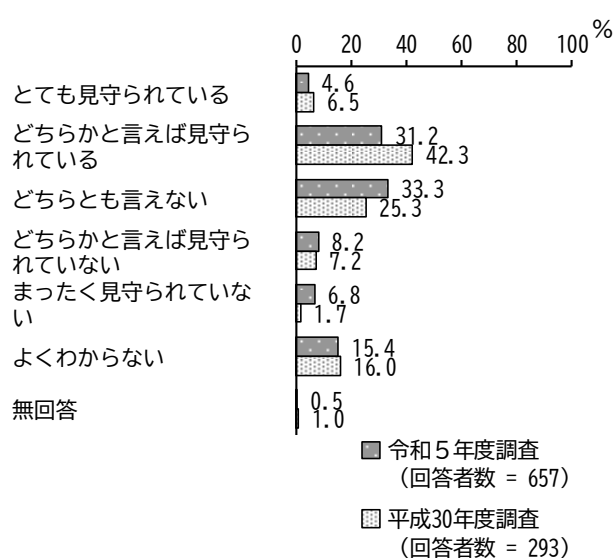
小学生では、「どちらとも言えない」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「どちらかと言えば見守られている」の割合が 31.2%、「よくわからない」の割合が 15.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」、「まったく見守られていない」の割合が増加しています。一方、「どちらかと言えば見守られている」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



問 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。
 (それぞれ○は1つだけ) (未就学児：問 43、小学生：問 26)

未就学児、小学生ともに、『⑥じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じた』で「全くない」の割合が、『①理由もなく疲れ切ったように感じた』で「時々」の割合が高くなっています。

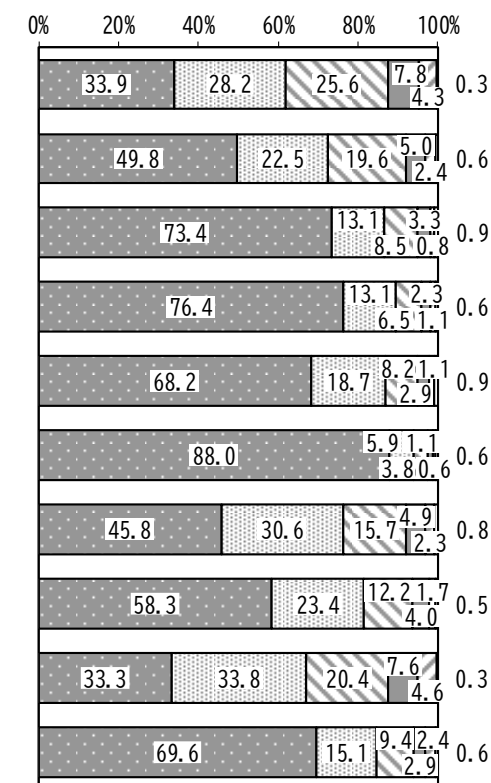
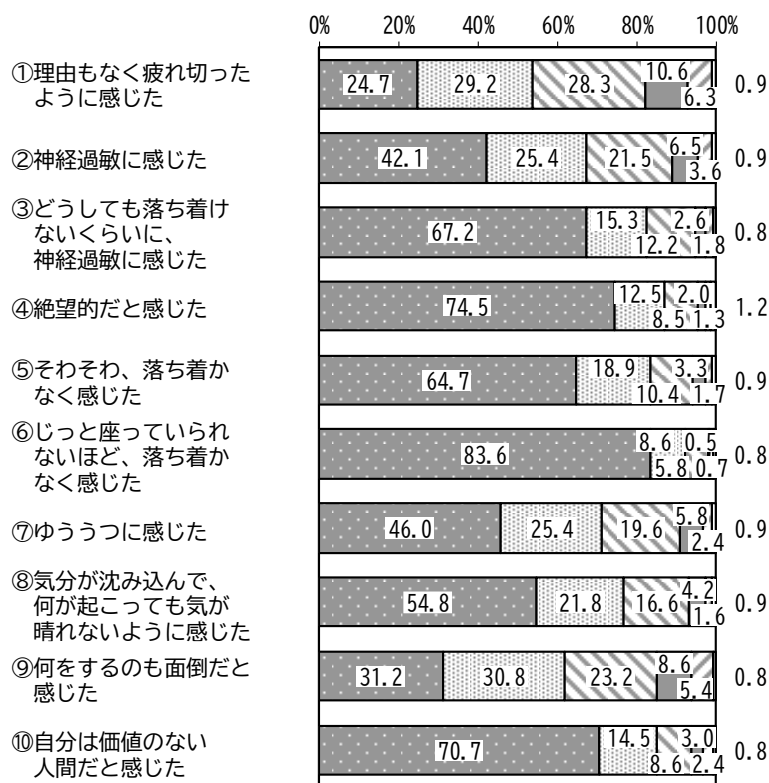
【未就学児】

【小学生】

■ 全くない ■ 少しだけ ■ 時々 ■ たいてい ■ いつも □ 無回答

回答者数 = 757

回答者数 = 657

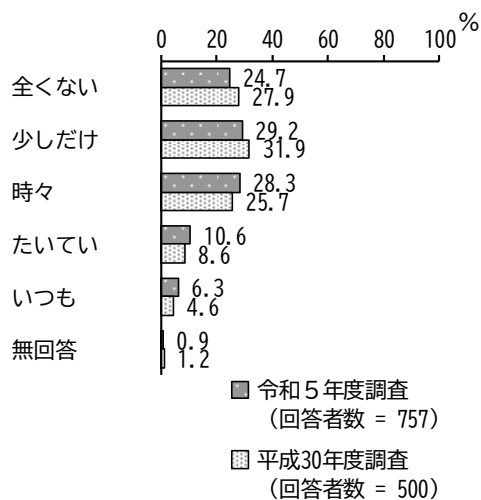


①理由もなく疲れ切ったように感じた

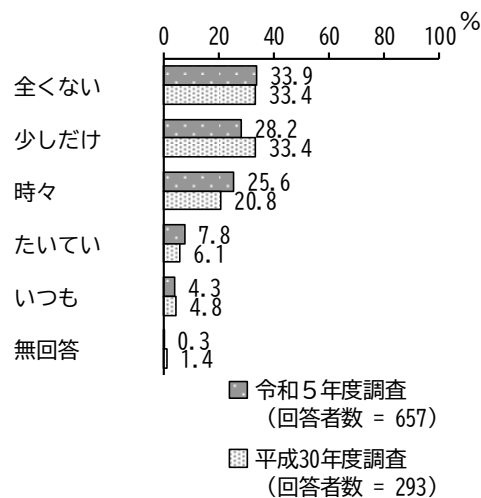
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

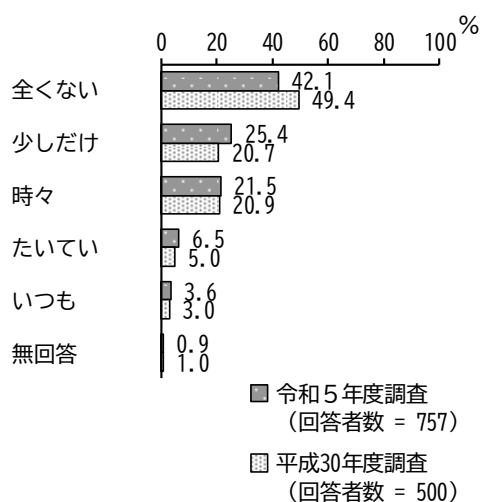


②神経過敏に感じた

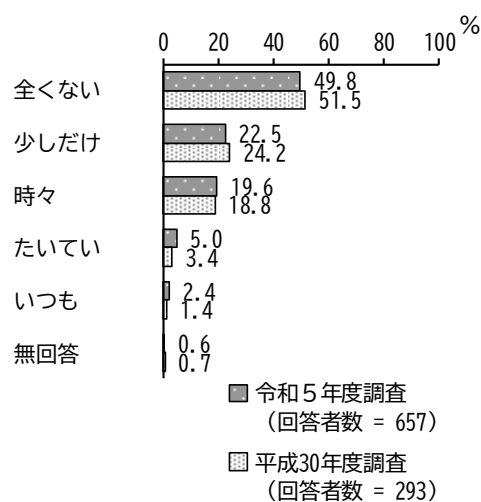
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】

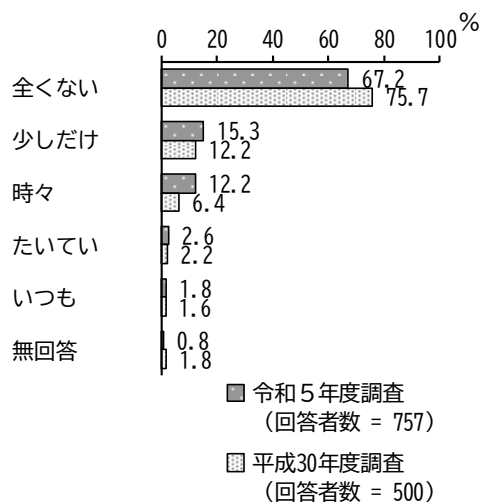


③どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じた

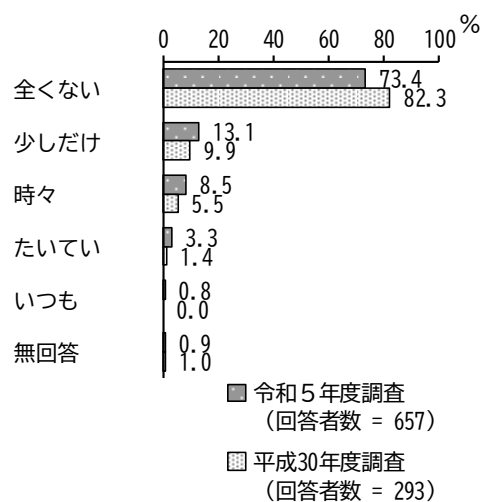
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「時々」の割合が増加しています。一方、「全くない」の割合が減少しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

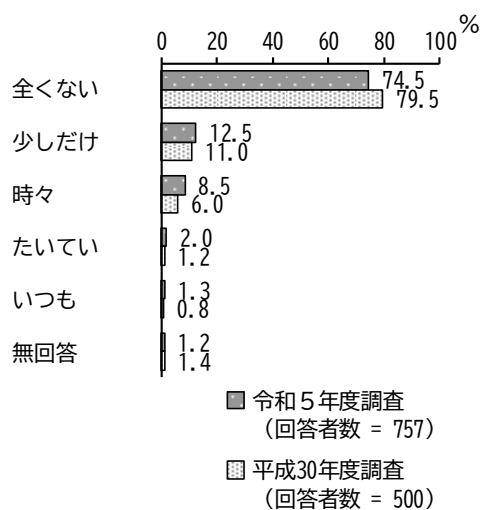


④絶望的だと感じた

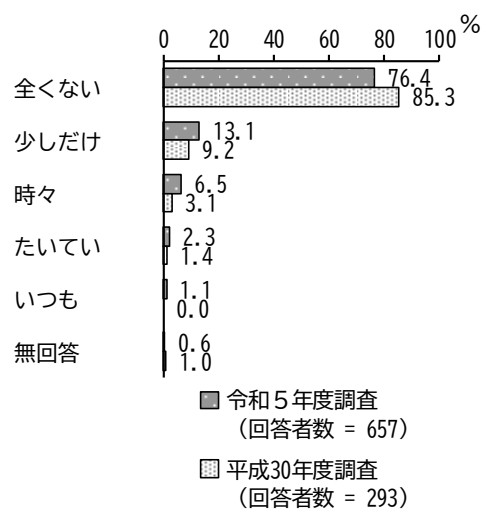
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



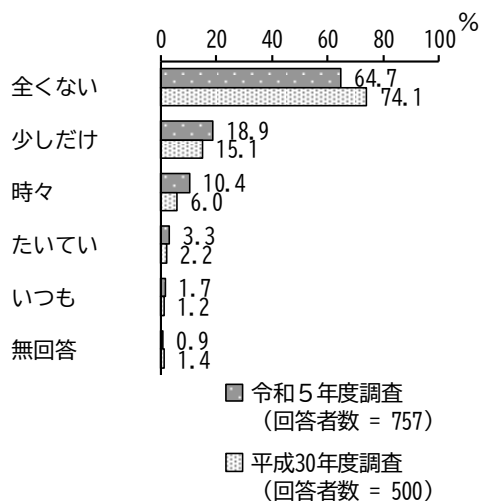
【小学生】



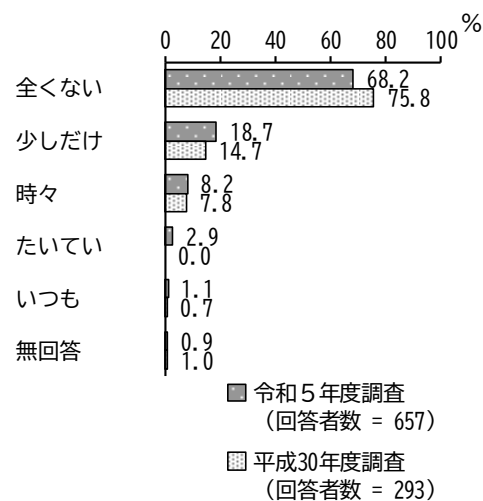
⑤そろそろ、落ち着かなく感じた

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



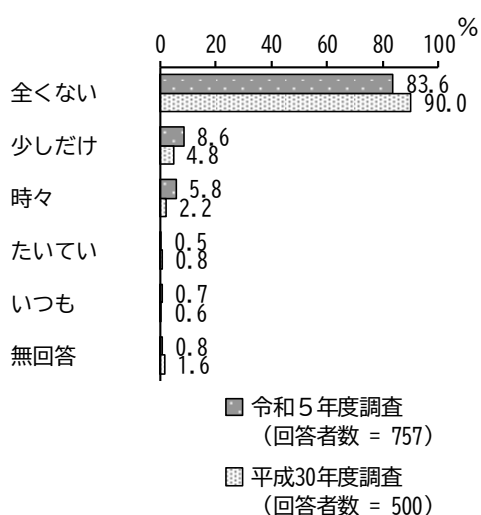
【小学生】



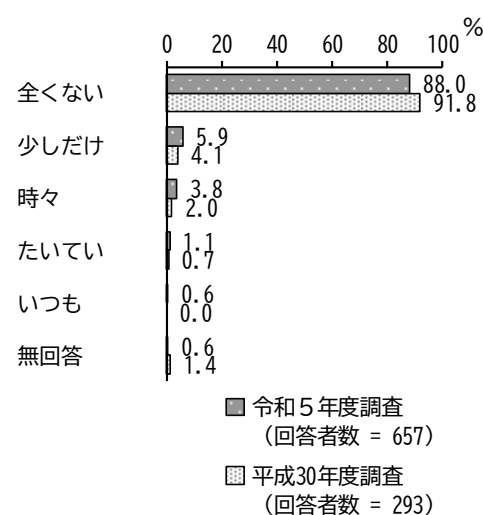
⑥じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じた

未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。
小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】

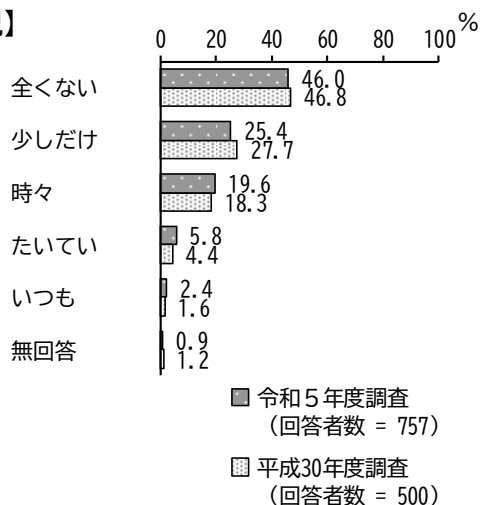


⑦ゆううつに感じた

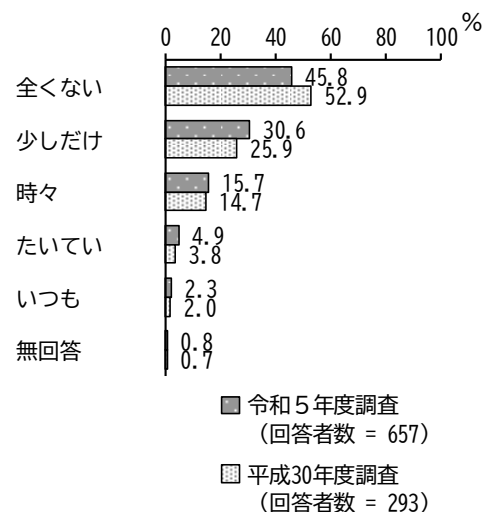
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

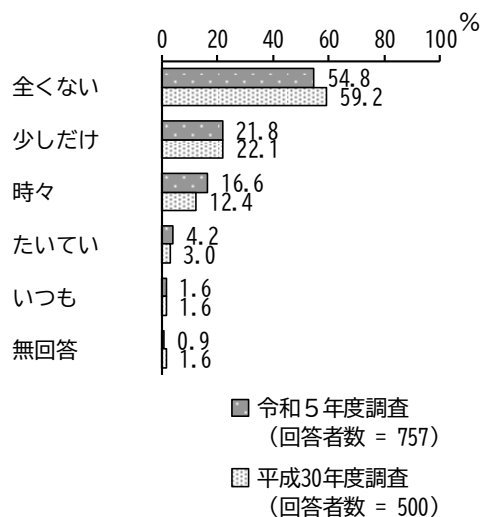


⑧気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

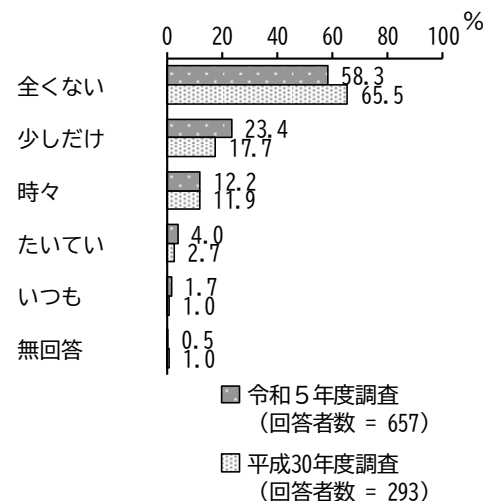
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が増加しています。一方、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】

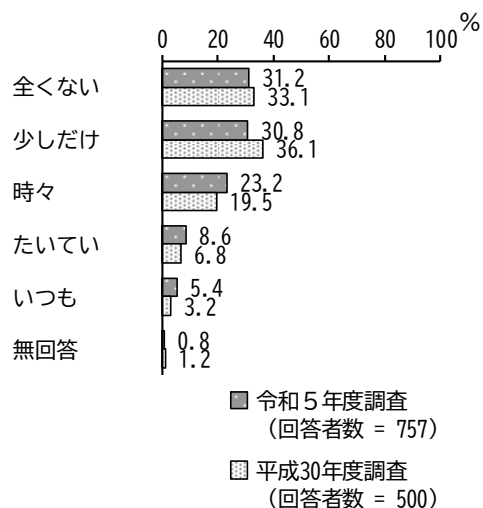


⑨何をするのも面倒だと感じた

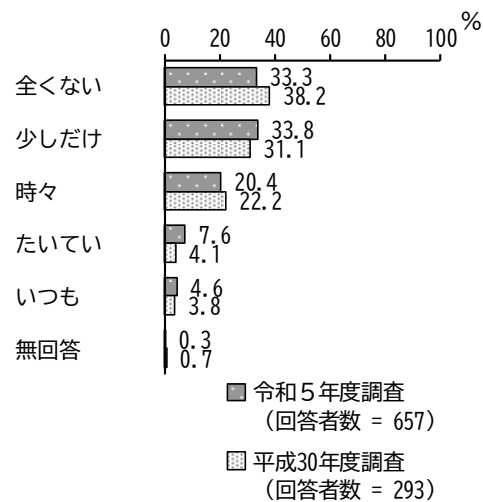
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が減少しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



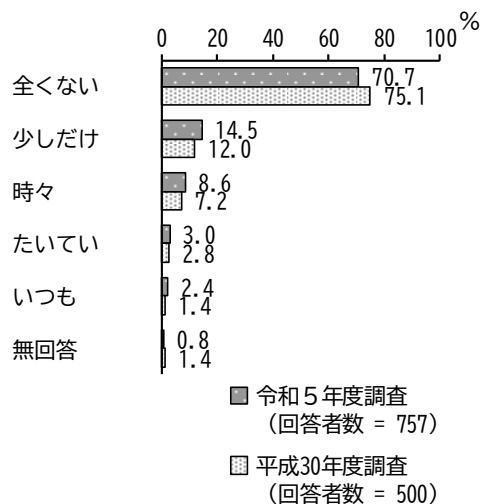
【小学生】



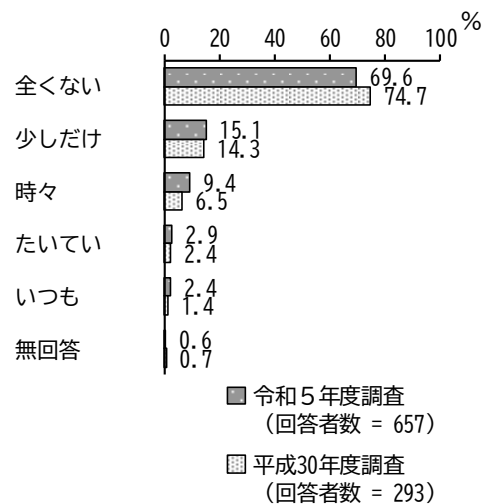
⑩自分は価値のない人間だと感じた

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



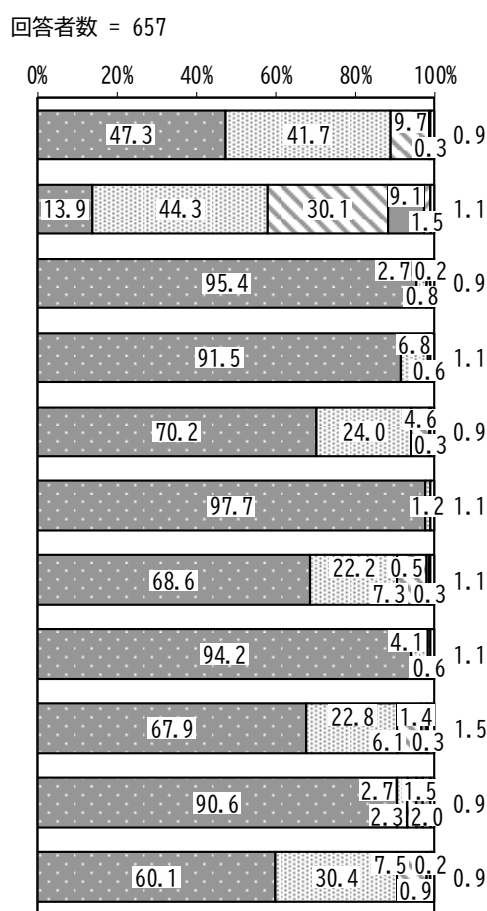
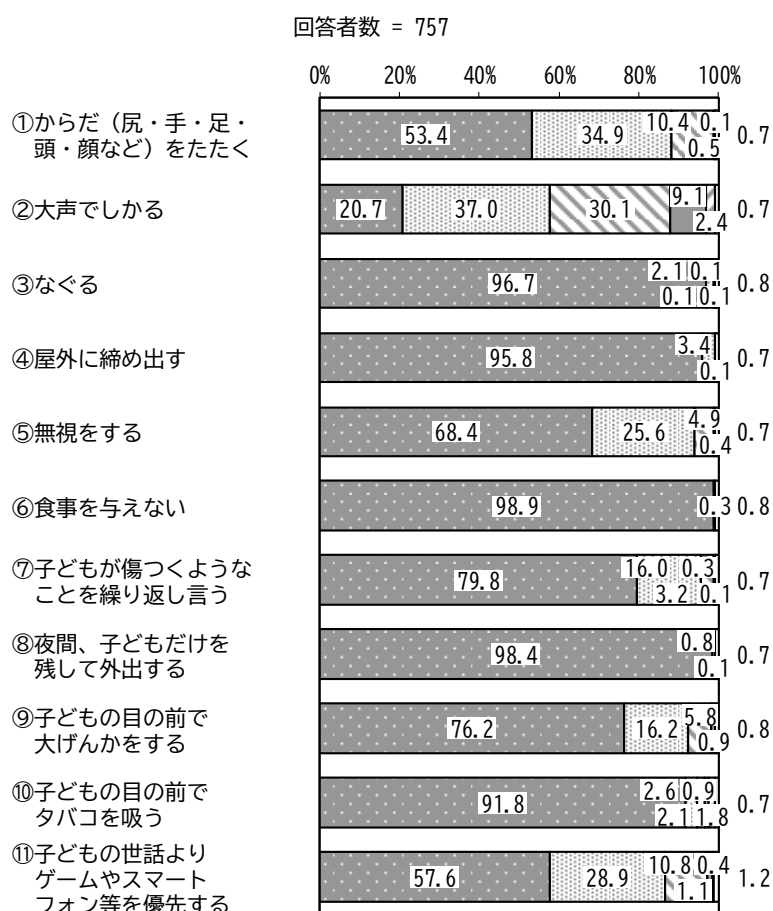
問 これまで、子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありましたか。
(それぞれ○は1つだけ) (未就学児：問 44、小学生：問 27)

未就学児、小学生ともに、「①からだ(尻・手・足・頭・顔など)をたたく」「②大声でしかる」で「少しだけ」の割合が高くなっています。

【未就学児】

【小学生】

■ 全くない □ 少しだけ ▨ 時々 ■ たいてい □ いつも □ 無回答

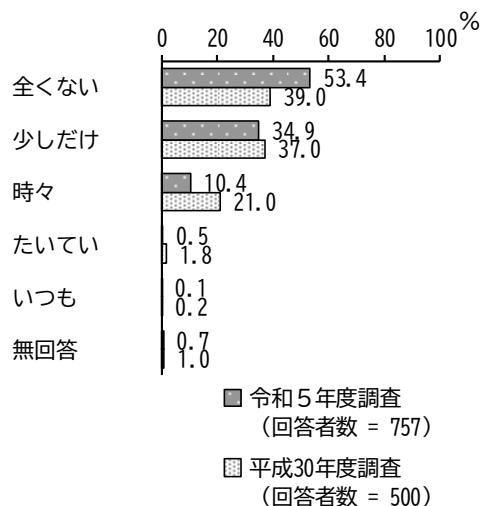


①からだ（尻・手・足・頭・顔など）をたたく

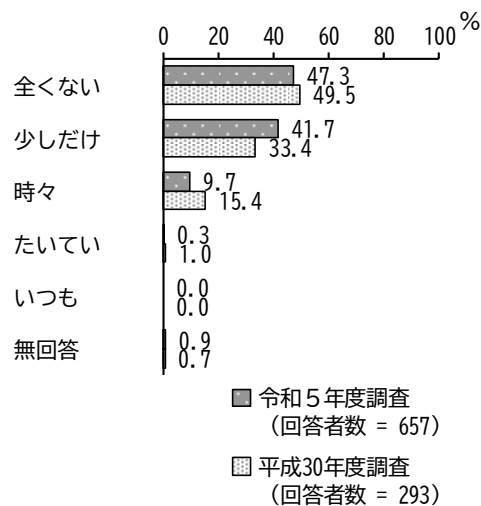
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が増加しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が増加しています。

【未就学児】



【小学生】

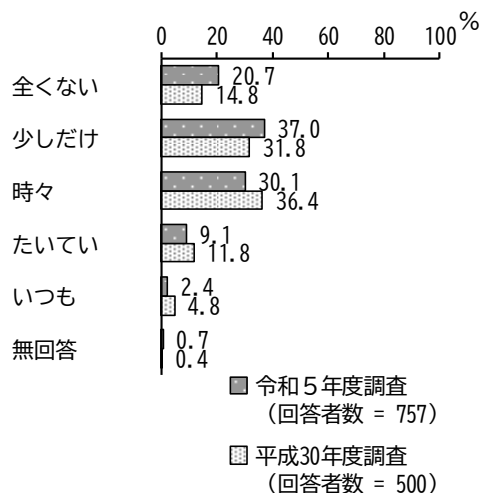


②大声でしかる

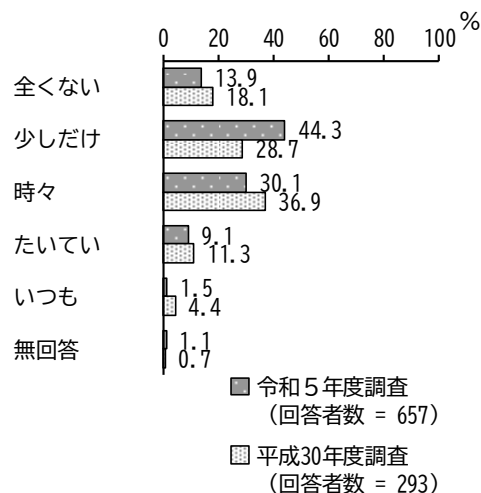
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」「少しだけ」の割合が増加しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が増加しています。

【未就学児】



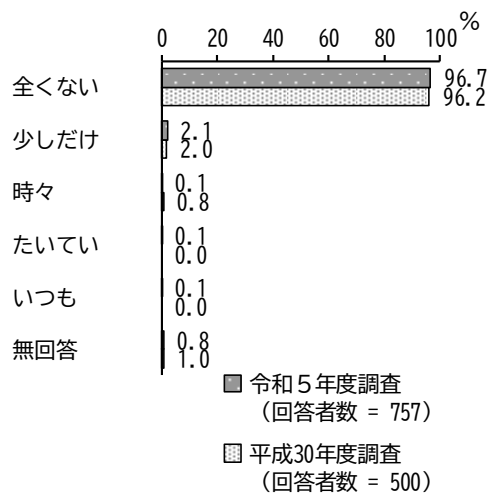
【小学生】



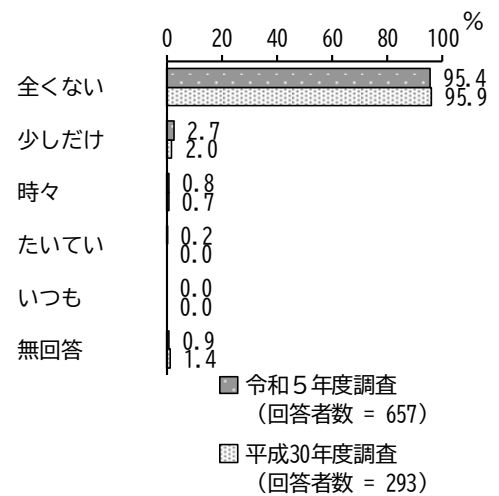
③なぐる

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



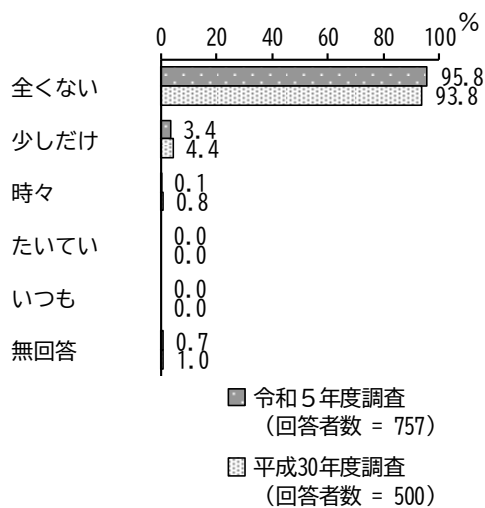
【小学生】



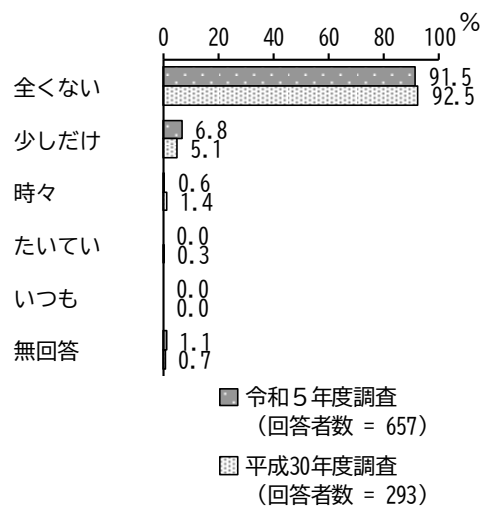
④屋外に締め出す

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



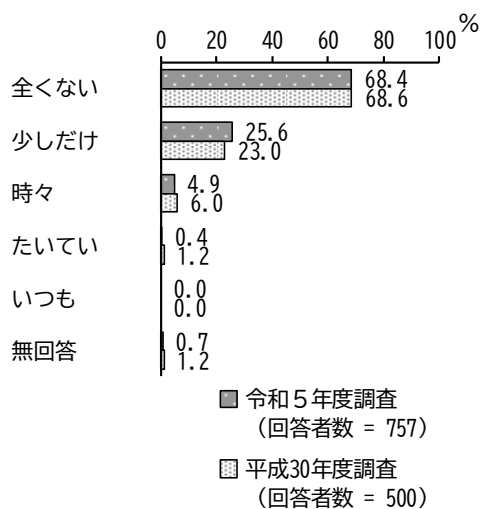
【小学生】



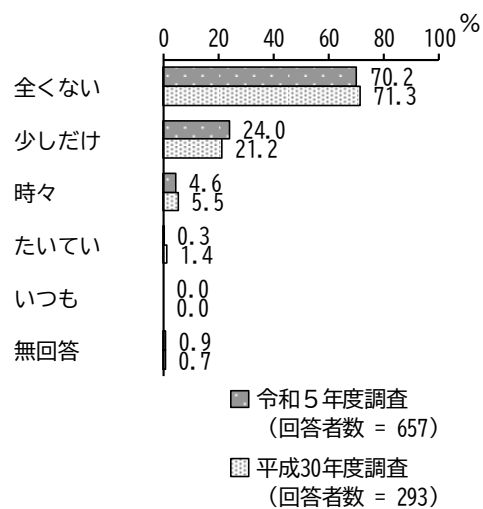
⑤無視をする

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



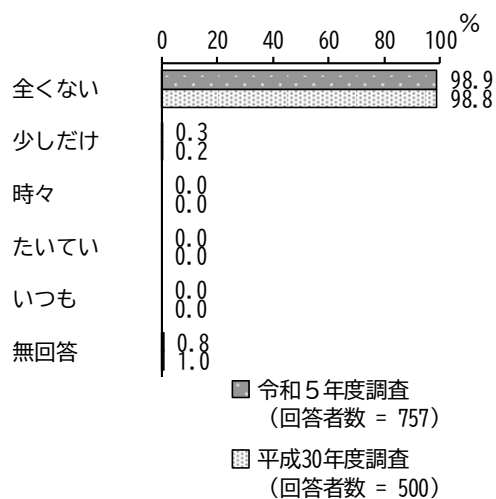
【小学生】



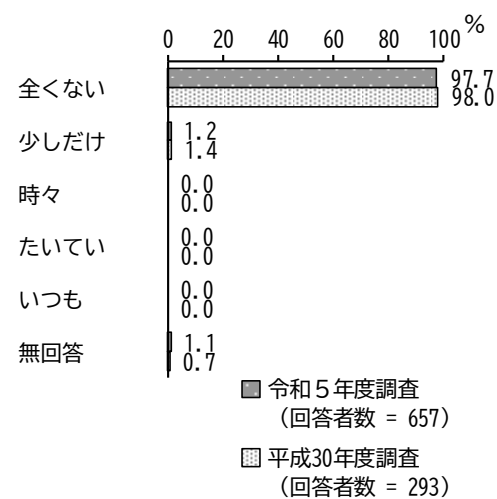
⑥食事を与えない

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】

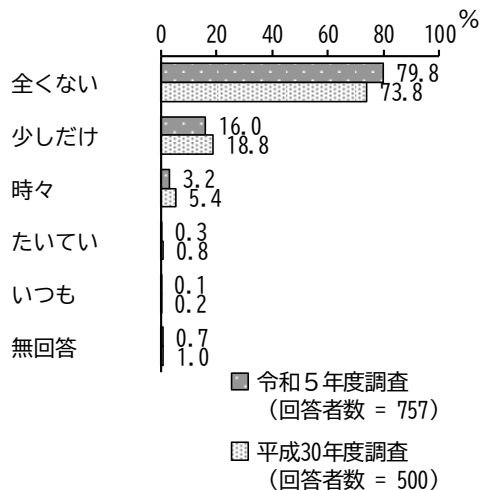


⑦子どもが傷つくようなことを繰り返し言う

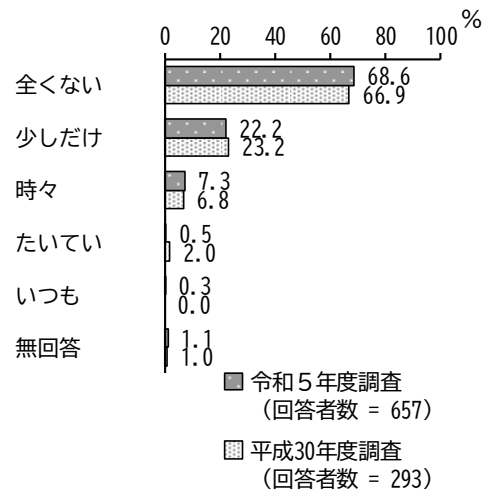
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、「全くない」の割合が増加しています。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



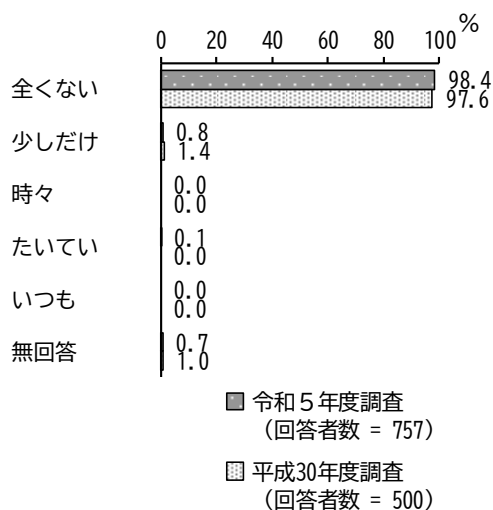
【小学生】



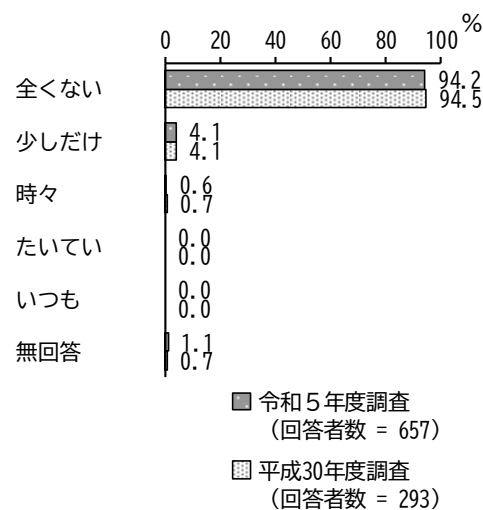
⑧夜間、子どもだけを残して外出する

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】

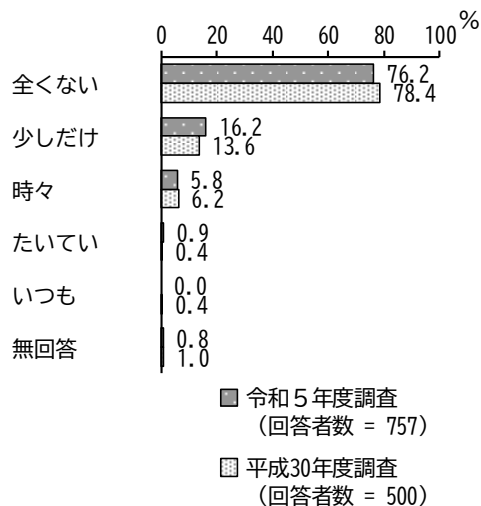


⑨子どもの目の前でだげんかをする

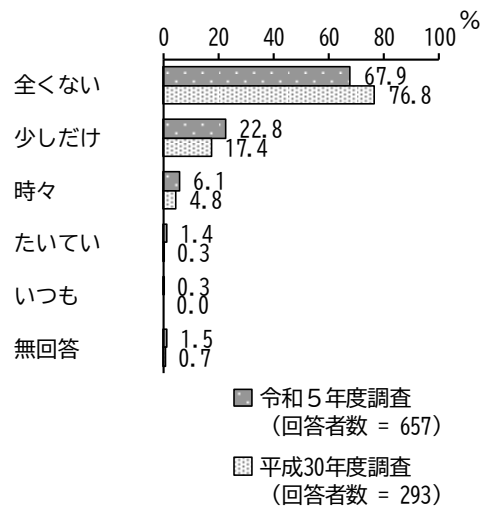
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が増加しています。一方、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



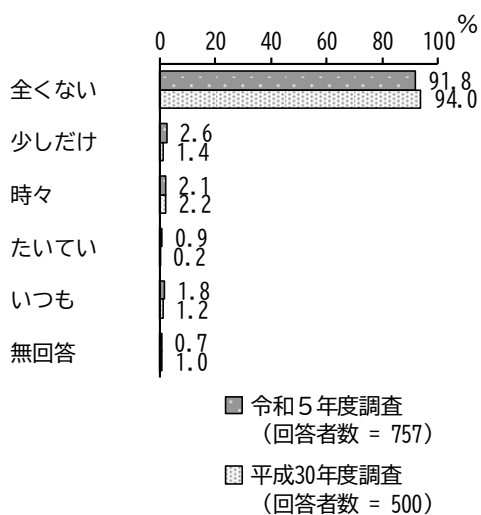
【小学生】



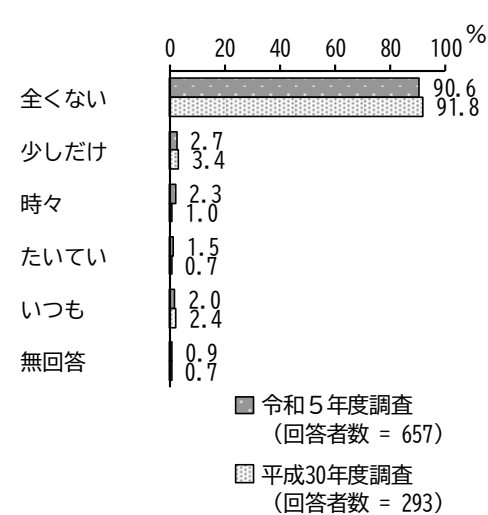
⑩子どもの目の前でタバコを吸う

未就学児、小学生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】

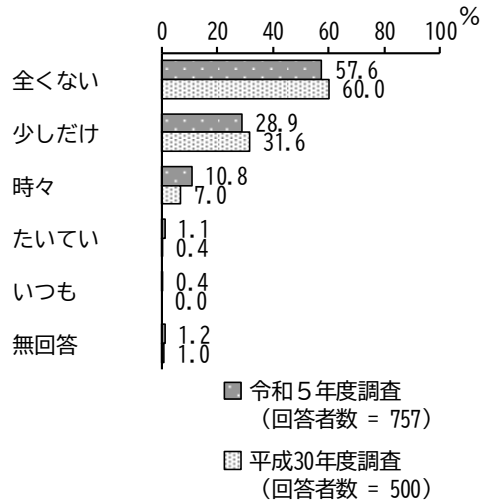


⑪子どもの世話よりゲームやスマートフォン等を優先する

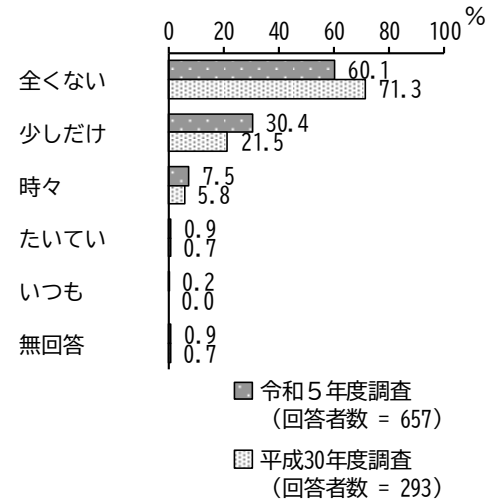
未就学児では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が増加しています。一方、「全くない」の割合が減少しています。

【未就学児】



【小学生】



(14) 子どもの権利について

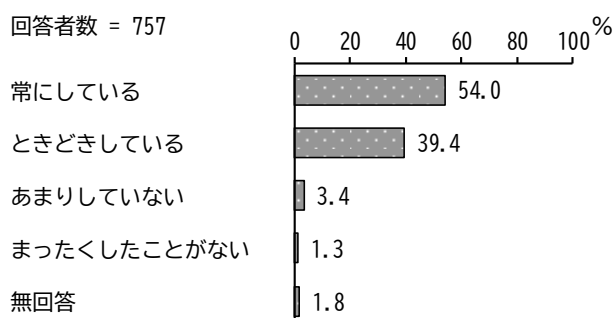
問 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 45、小学生：問 28)

未就学児では、「常にしている」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が 39.4%となっています。

小学生では、「常にしている」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が 43.8%となっています。

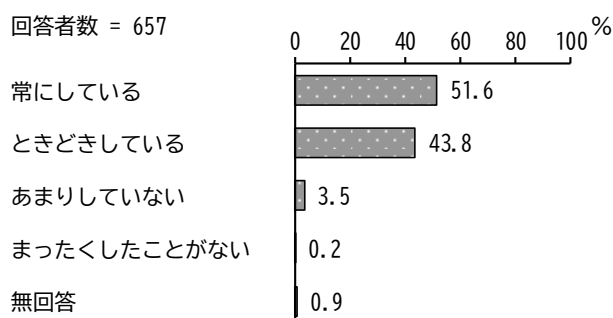
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



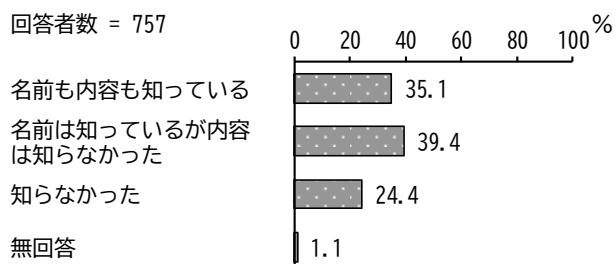
問 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 46、小学生：問 29)

未就学児では、「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が 35.1%、「知らなかった」の割合が 24.4%となっています。

小学生では、「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が 37.0%、「知らなかった」の割合が 20.1%となっています。

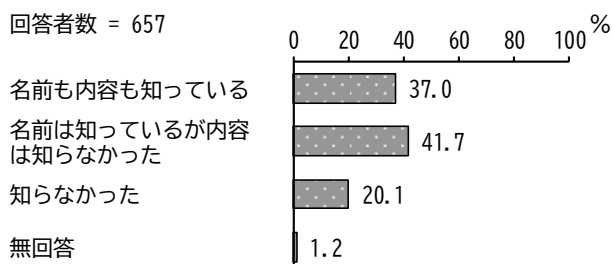
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



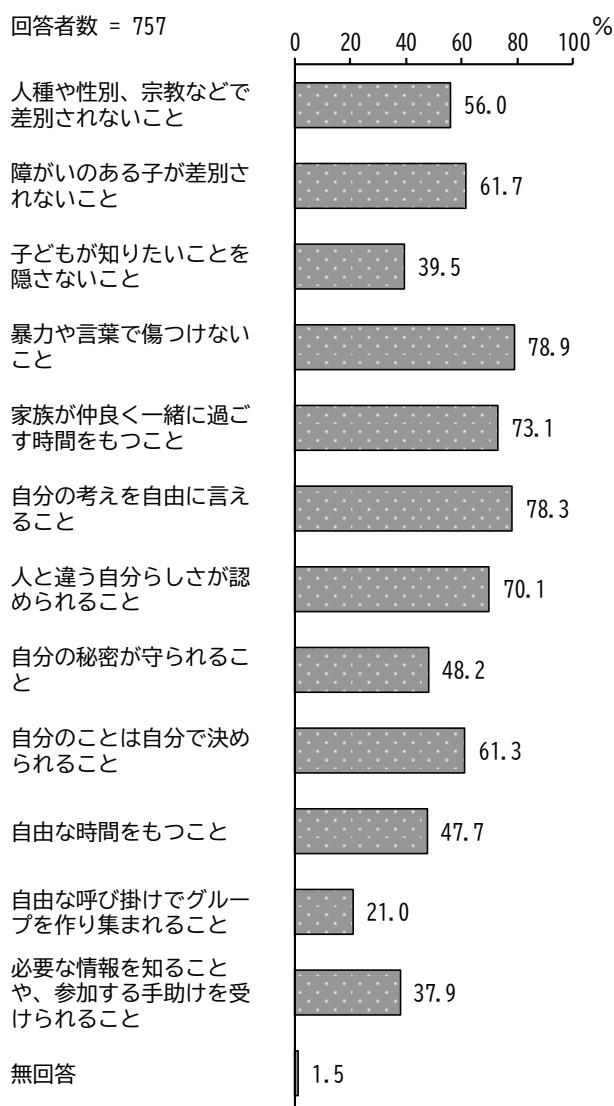
問 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(〇はいくつでも)
(未就学児：問 47、小学生：問 30)

未就学児では、「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 78.9%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が 78.3%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が 73.1%となっています。

小学生では、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 81.9%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 81.3%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が 76.1%となっています。

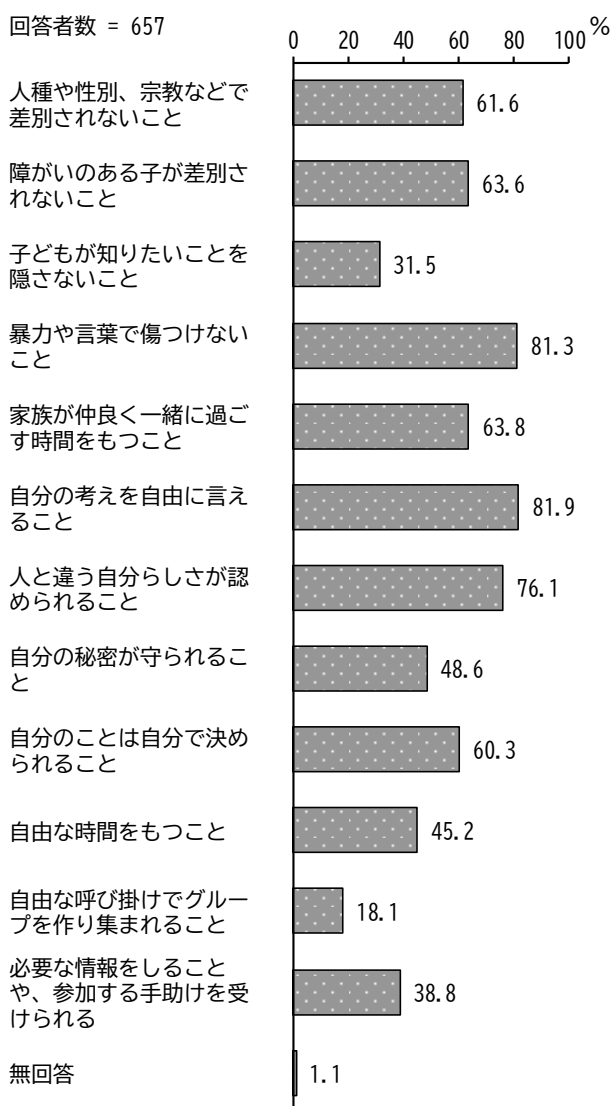
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



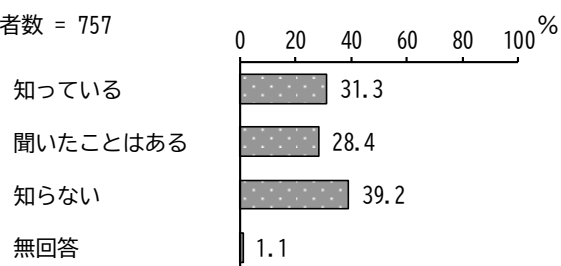
問 東大和市に住むすべての人たちが、みんなで明るい未来を目指し、それぞれが、自分らしく成長していけるようにつくられた、東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）を知っていますか？（○は1つだけ）
（未就学児：問 48、小学生：問 31）

未就学児では、「知らない」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「知っている」の割合が 31.3%、「聞いたことはある」の割合が 28.4%となっています。

小学生では、「知らない」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 32.1%、「知っている」の割合が 29.4%となっています。

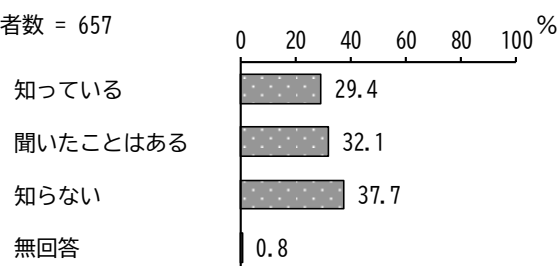
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



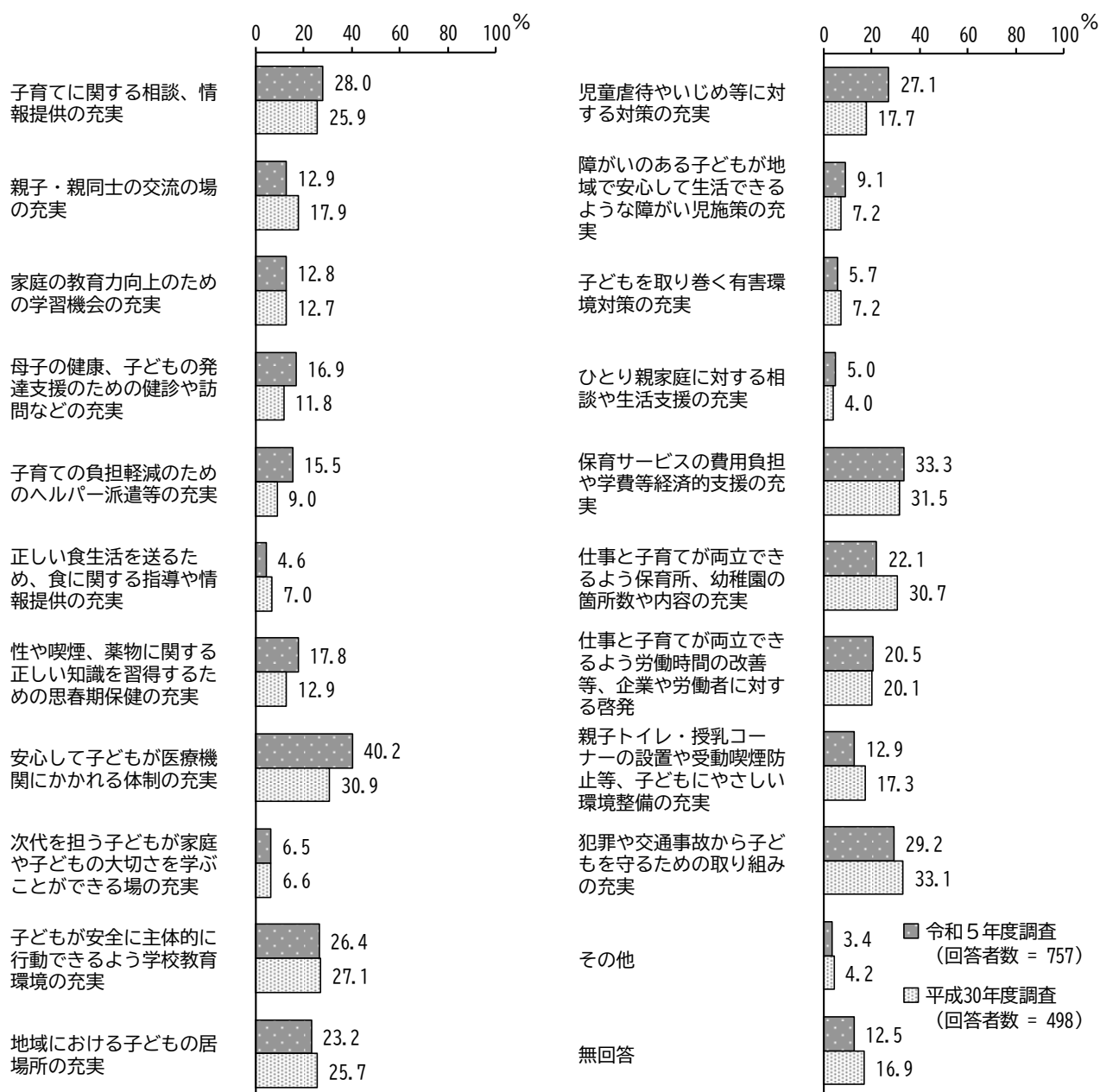
(15) 公共施設・関係機関や政策等について

問 市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。(○は5つまで)
(未就学児：問 49、小学生：問 32)

未就学児では、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実」の割合が 33.3%、「犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実」の割合が 29.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実」、「子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実」、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」、「児童虐待やいじめ等に対する対策の充実」の割合が増加しています。一方、「仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実」の割合が減少しています。

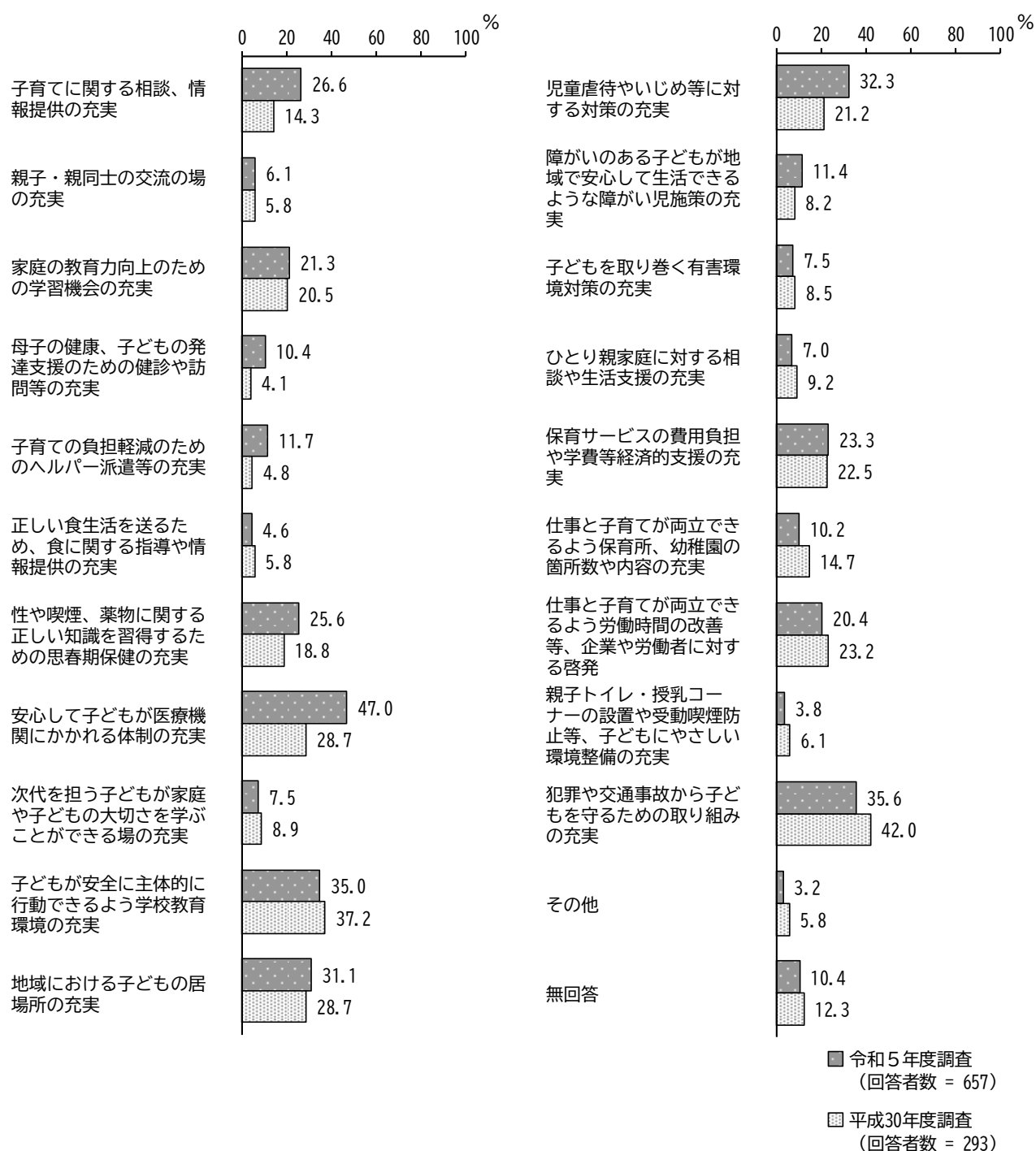
【未就学児】



小学生では、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実」の割合が 35.6%、「子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実」の割合が 35.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てに関する相談、情報提供の充実」、「母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問等の充実」、「子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実」、「性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実」、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」、「児童虐待やいじめ等に対する対策の充実」の割合が増加しています。

【小学生】



【年齢別（未就学児）】

未就学児では、年齢別にみると、「1歳」で「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実	子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実	正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実	性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実	安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実	地域における子どもの居場所の充実
全 体	757	28.0	12.9	12.8	16.9	15.5	4.6	17.8	40.2	6.5	26.4	23.2
0歳	191	27.7	15.7	9.4	20.9	15.7	3.7	14.1	36.6	4.7	23.6	23.0
1歳	114	28.1	10.5	12.3	19.3	13.2	5.3	12.3	46.5	4.4	24.6	23.7
2歳	110	29.1	16.4	8.2	18.2	13.6	7.3	20.9	37.3	5.5	21.8	18.2
3歳	127	26.8	11.0	15.7	12.6	15.0	5.5	17.3	44.9	3.1	27.6	22.8
4歳	113	28.3	10.6	17.7	15.0	10.6	2.7	20.4	41.6	15.9	33.6	23.9
5歳	85	29.4	12.9	15.3	14.1	24.7	3.5	25.9	35.3	5.9	32.9	30.6

区分	児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	障がいのある子どもが地域で安心して生活できるような障がい児施策の充実	子どもを取り巻く有害環境対策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	親子トイレ・授乳コーナーの設置や受動喫煙防止等、子どもにやさしい環境整備の充実	犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実	その他	無回答
全 体	27.1	9.1	5.7	5.0	33.3	22.1	20.5	12.9	29.2	3.4	12.5
0歳	26.2	5.8	5.2	5.2	44.0	26.7	22.0	18.3	32.5	1.6	12.6
1歳	24.6	8.8	3.5	4.4	37.7	25.4	22.8	9.6	20.2	1.8	14.9
2歳	20.0	10.0	4.5	3.6	22.7	21.8	18.2	12.7	24.5	6.4	14.5
3歳	24.4	11.8	8.7	6.3	28.3	19.7	26.8	13.4	29.9	3.9	12.6
4歳	31.0	8.8	3.5	5.3	27.4	19.5	13.3	9.7	31.9	3.5	12.4
5歳	38.8	12.9	9.4	5.9	32.9	14.1	17.6	10.6	32.9	4.7	7.1

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【年齢別（小学生）】

小学生では、年齢別にみると、「六年生」で「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実	子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実	正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実	性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実	安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実	地域における子どもの居場所の充実
全 体	657	26.6	6.1	21.3	10.4	11.7	4.6	25.6	47.0	7.5	35.0	31.1
一年生	129	26.4	8.5	18.6	7.8	10.1	4.7	27.9	50.4	10.1	34.1	30.2
二年生	145	25.5	4.1	12.4	10.3	11.7	4.1	24.8	39.3	10.3	31.0	36.6
三年生	149	24.2	4.0	20.8	11.4	14.1	2.7	23.5	49.0	5.4	35.6	30.2
四年生	66	31.8	7.6	27.3	12.1	10.6	1.5	25.8	45.5	6.1	39.4	36.4
五年生	84	31.0	6.0	32.1	10.7	14.3	9.5	26.2	48.8	6.0	41.7	31.0
六年生	83	24.1	8.4	25.3	10.8	8.4	6.0	26.5	51.8	4.8	31.3	20.5

区分	児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	障がいのある子どもが地域で安心して生活できるような障がい児施策の充実	子どもを取り巻く有害環境対策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	親子トイレ・授乳コーナーの設置や受動喫煙防止等、子どもにやさしい環境整備の充実	犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実	その他	無回答
全 体	32.3	11.4	7.5	7.0	23.3	10.2	20.4	3.8	35.6	3.2	10.4
一年生	32.6	7.8	9.3	2.3	23.3	11.6	20.9	4.7	34.9	6.2	12.4
二年生	35.2	11.0	6.2	6.2	24.8	14.5	20.0	4.8	34.5	4.1	11.0
三年生	35.6	10.1	7.4	10.1	24.8	8.1	17.4	2.0	36.9	2.7	11.4
四年生	25.8	16.7	4.5	3.0	30.3	7.6	30.3	4.5	36.4	1.5	4.5
五年生	32.1	11.9	7.1	9.5	16.7	4.8	20.2	1.2	32.1	1.2	9.5
六年生	25.3	15.7	9.6	10.8	19.3	12.0	18.1	6.0	38.6	1.2	9.6

※複数回答のため各項目の合計は 100%を超えます。

【母親の就労状況別（未就学児）】

未就学児では、母親の就労状況別にみると、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」では「保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実」の割合が高くなっており、他の就労状況では「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実	子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実	正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実	性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実	安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実	地域における子どもの居場所の充実
全 体	756	28.0	13.0	12.8	16.9	15.5	4.6	17.9	40.1	6.5	26.5	23.3
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	248	22.6	11.7	14.9	14.1	14.5	6.0	18.1	39.1	6.9	27.8	21.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	93	23.7	12.9	12.9	25.8	16.1	3.2	15.1	40.9	6.5	18.3	23.7
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	179	31.8	15.1	16.2	16.8	17.3	3.9	19.6	39.1	7.3	28.5	20.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	34	32.4	14.7	8.8	11.8	11.8	2.9	11.8	26.5	—	29.4	29.4
以前は就労していたが、現在は就労していない	176	34.1	11.9	8.5	17.0	15.9	4.0	19.9	43.8	7.4	28.4	26.1
これまで就労したことがない	10	30.0	20.0	—	40.0	30.0	20.0	10.0	60.0	—	—	20.0

単位：％

区分	児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	障がいのある子どもが地域で安心して生活できるような障がい児施策の充実	子どもを取り巻く有害環境対策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	親子トイレ・授乳コーナーの設置や受動喫煙防止等、子どもにやさしい環境整備の充実	犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実	その他	無回答
全 体	27.0	9.1	5.7	4.9	33.2	22.1	20.5	13.0	29.2	3.4	12.6
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	29.4	6.5	6.9	7.3	32.7	22.2	19.0	11.3	34.7	4.4	11.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	19.4	4.3	5.4	1.1	36.6	30.1	35.5	16.1	29.0	3.2	16.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	28.5	11.2	4.5	6.7	36.9	19.6	17.9	8.4	29.6	3.4	10.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	23.5	17.6	2.9	2.9	44.1	20.6	17.6	20.6	23.5	5.9	17.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	27.3	10.2	6.3	2.3	25.0	19.9	18.2	17.0	23.3	1.7	13.1
これまで就労したことがない	30.0	20.0	—	—	50.0	20.0	20.0	20.0	40.0	—	—

（前ページの表 続き）

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【母親の就労状況別（小学生）】

小学生では、母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」以外の就労状況で「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実	子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実	正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実	性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実	安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実	地域における子どもの居場所の充実
全 体	651	26.4	6.0	21.5	10.3	11.7	4.6	25.8	46.9	7.4	35.2	31.3
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	255	20.0	4.7	20.8	8.6	13.3	5.5	27.1	47.1	6.7	29.8	25.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	33.3	—	33.3	33.3	33.3	—	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	255	29.4	5.9	21.2	10.2	9.4	4.3	26.3	47.8	7.5	40.0	34.9
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	50.0	100.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	101	33.7	9.9	22.8	14.9	12.9	4.0	25.7	42.6	7.9	38.6	35.6
これまで就労していない	16	31.3	—	18.8	6.3	6.3	6.3	18.8	62.5	6.3	31.3	31.3

単位：％

区分	児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	障がいのある子どもが地域で安心して生活できるような障がい児施策の充実	子どもを取り巻く有害環境対策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	親子トイレ・授乳コーナーの設置や受動喫煙防止等、子どもにやさしい環境整備の充実	犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実	その他	無回答
全 体	32.1	11.5	7.2	6.5	23.0	10.3	20.6	3.7	35.6	3.2	10.4
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	26.3	11.4	9.0	8.2	23.9	11.4	22.7	2.4	35.3	4.7	12.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	50.0	—	—	16.7	16.7	16.7	—	—	33.3	16.7	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	34.1	9.4	5.5	5.9	23.5	10.6	23.9	3.1	34.9	1.6	10.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	36.6	14.9	8.9	4.0	20.8	6.9	11.9	6.9	35.6	2.0	9.9
これまで就労したことがない	50.0	25.0	—	6.3	18.8	12.5	6.3	12.5	25.0	—	—

(前ページの表 続き)

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【暮らしの状況別（未就学児）】

未就学児では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実	子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実	正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実	性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実	安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実	次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実	地域における子どもの居場所の充実
全 体	757	28.0	12.9	12.8	16.9	15.5	4.6	17.8	40.2	6.5	26.4	23.2
ゆとりがある	106	27.4	13.2	9.4	6.6	16.0	2.8	13.2	42.5	3.8	28.3	35.8
普通	426	29.1	13.8	14.1	18.8	13.1	4.9	19.5	39.0	7.0	27.7	24.4
苦しい	217	26.7	11.5	12.4	18.4	19.8	5.1	17.1	41.9	6.9	23.0	15.7

区分	児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	障がいのある子どもが地域で安心して生活できるような障がい児施策の充実	子どもを取り巻く有害環境対策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	親子トイレ・授乳コーナーの設置や受動喫煙防止等、子どもにやさしい環境整備の充実	犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実	その他	無回答
全 体	27.1	9.1	5.7	5.0	33.3	22.1	20.5	12.9	29.2	3.4	12.5
ゆとりがある	24.5	11.3	6.6	3.8	29.2	21.7	22.6	10.4	33.0	4.7	14.2
普通	29.3	8.9	5.9	2.6	29.6	23.0	19.5	13.8	27.5	2.8	12.4
苦しい	24.4	8.3	5.1	10.1	43.8	21.2	22.1	12.4	31.3	4.1	10.1

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

【暮らしの状況別（小学生）】

小学生では、暮らしの状況別にみると、「苦しい」で「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実	子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実	正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実	性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実	安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実	地域における子どもの居場所の充実
全 体	657	26.6	6.1	21.3	10.4	11.7	4.6	25.6	47.0	7.5	35.0	31.1
ゆとりがある	119	24.4	12.6	14.3	12.6	18.5	3.4	23.5	46.2	10.1	32.8	34.5
普通	354	28.5	5.4	21.5	9.9	11.3	5.4	24.6	46.0	7.9	37.0	33.1
苦しい	180	24.4	3.3	25.6	10.0	8.3	3.9	28.9	50.6	5.0	32.8	25.0

区分	児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	障がいのある子どもが地域で安心して生活できるような障がい児施策の充実	子どもを取り巻く有害環境対策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	親子トイレ・授乳コーナーの設置や受動喫煙防止等、子どもにやさしい環境整備の充実	犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実	その他	無回答
全 体	32.3	11.4	7.5	7.0	23.3	10.2	20.4	3.8	35.6	3.2	10.4
ゆとりがある	30.3	16.8	5.9	4.2	16.0	13.4	18.5	5.9	33.6	3.4	10.9
普通	32.8	11.0	7.9	7.3	20.6	9.6	19.5	4.0	36.4	3.7	10.2
苦しい	33.3	8.9	7.2	8.3	33.3	8.9	23.3	1.7	35.6	2.2	10.0

※複数回答のため各項目の合計は100%を超えます。

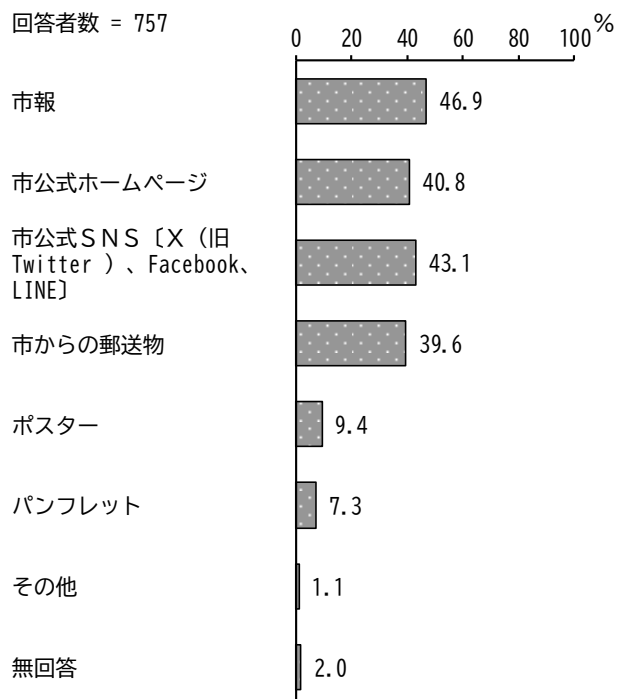
問 市の情報（子育て情報、災害情報など）をどの方法で知りたいですか。
（○はいくつでも）（未就学児：問 50、小学生：問 33）

未就学児では、「市報」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「市公式SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook、LINE〕」の割合が 43.1%、「市公式ホームページ」の割合が 40.8%となっています。

小学生では、「市報」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「市公式SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook、LINE〕」の割合が 40.8%、「市公式ホームページ」の割合が 37.7%となっています。

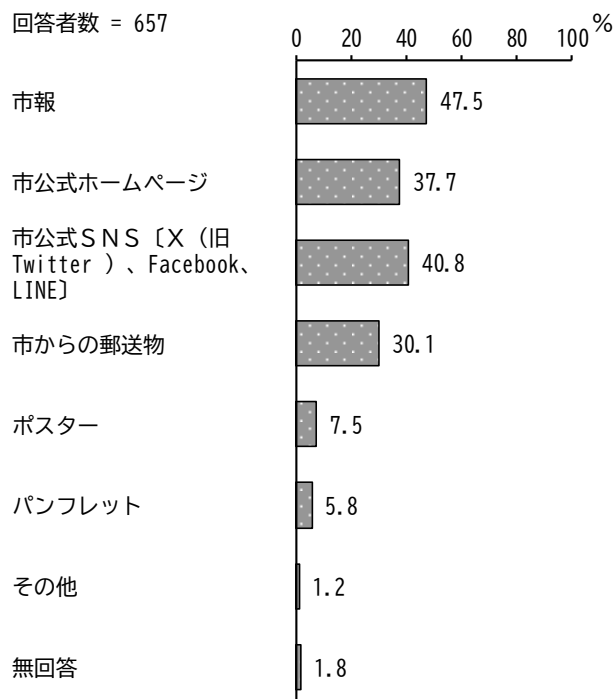
【未就学児】

回答者数 = 757



【小学生】

回答者数 = 657



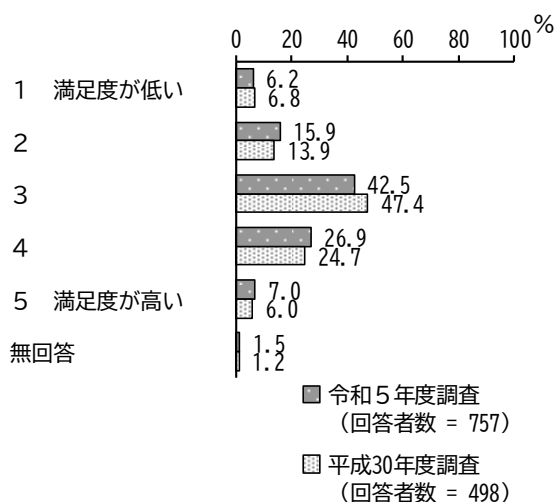
問 東大和市における子育ての環境や支援への満足度についてお聞きします。
(○は1つだけ) (未就学児：問 51、小学生：問 34)

未就学児では、「3」の割合が42.5%と最も高く、次いで「4」の割合が26.9%、「2」の割合が15.9%となっています。

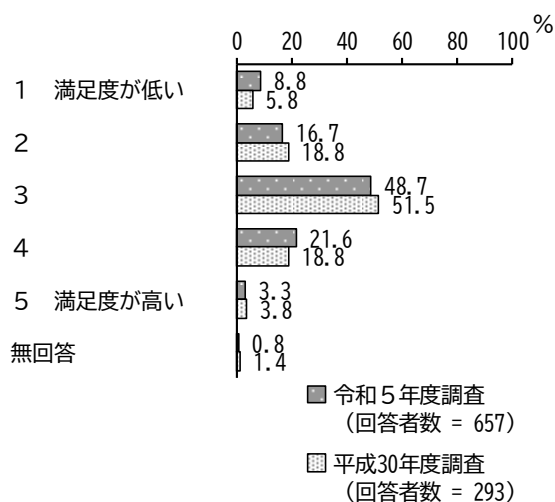
小学生では、「3」の割合が48.7%と最も高く、次いで「4」の割合が21.6%、「2」の割合が16.7%となっています。

未就学児、小学生ともに、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【未就学児】



【小学生】

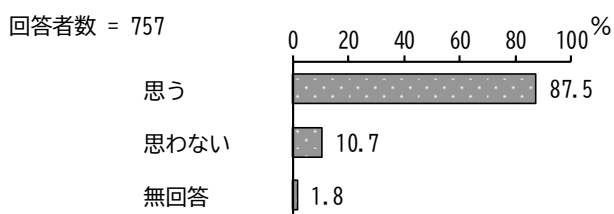


問 今後も東大和市で子育てをし続けたいと思いますか。(○は1つだけ)
(未就学児：問 52、小学生：問 35)

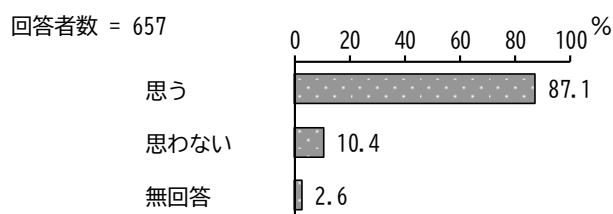
未就学児では、「思う」の割合が87.5%、「思わない」の割合が10.7%となっています。

小学生では、「思う」の割合が87.1%、「思わない」の割合が10.4%となっています。

【未就学児】



【小学生】



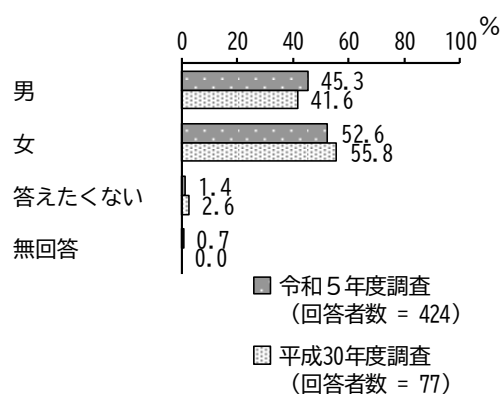
2 中学生・高校生

(1) あなたの事について

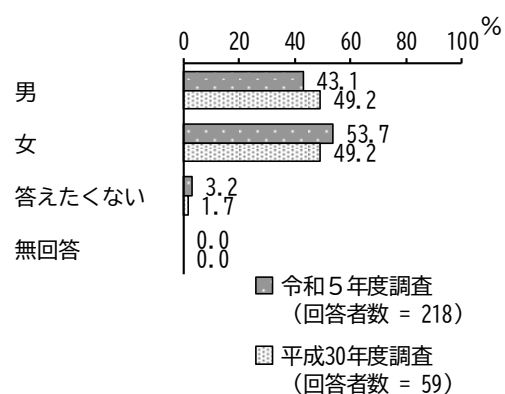
問 あなたの性別・学年をお答えください。(それぞれ○は1つだけ)
(中学生：問1、高校生：問1)

①性別

【中学生】

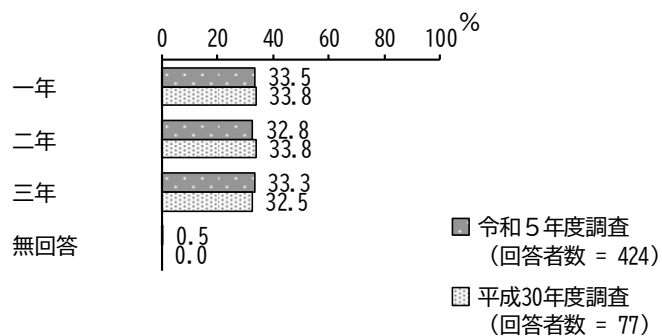


【高校生】



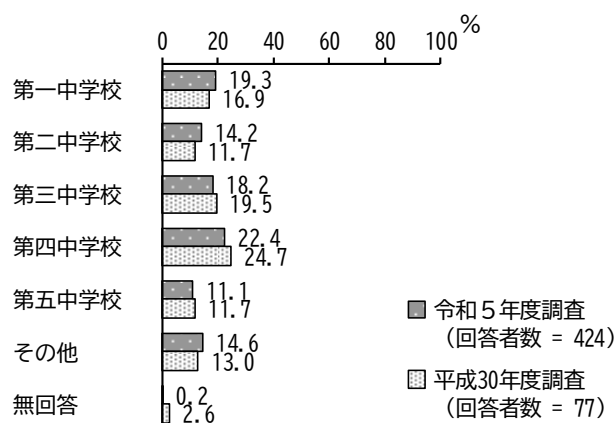
②学年

【中学生】



③学校

【中学生】



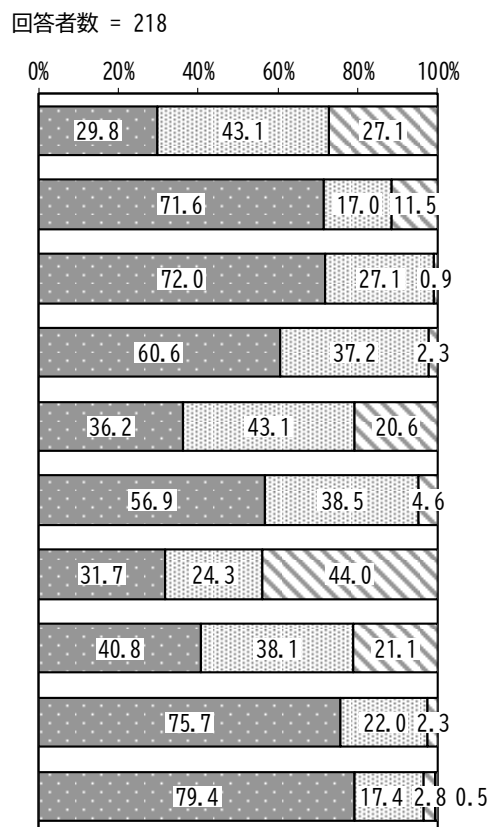
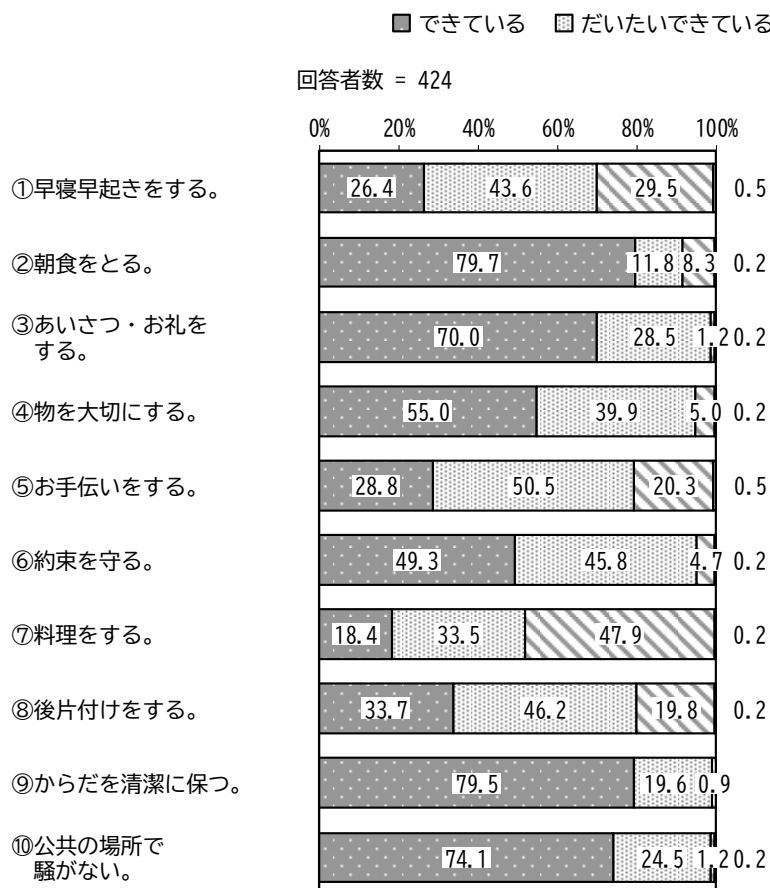
問 普段から次のことをしていますか。(それぞれ○は1つだけ)
(中学生：問2、高校生：問2)

中学生では、「②朝食をとる。」で「できている」の割合が高くなっています。一方、「⑦料理をする。」で「できていない」の割合が高くなっています。

高校生では、「⑩公共の場所で騒がない。」で「できている」の割合が高くなっています。一方、「⑦料理をする。」で「できていない」の割合が高くなっています。

【中学生】

【高校生】

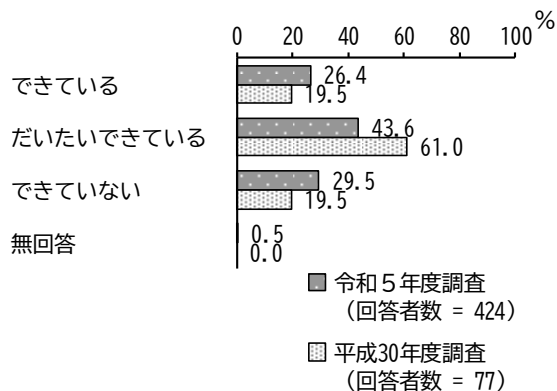


①早寝早起きをする。

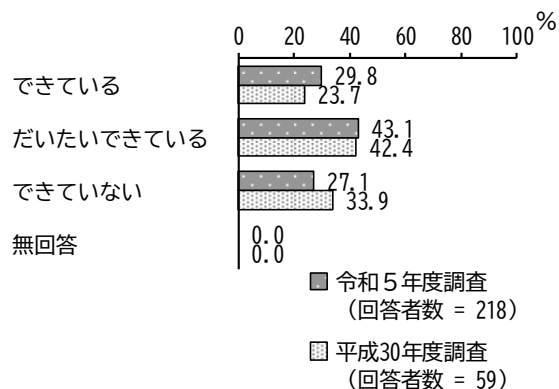
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」「できていない」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「できていない」の割合が減少しています。

【中学生】



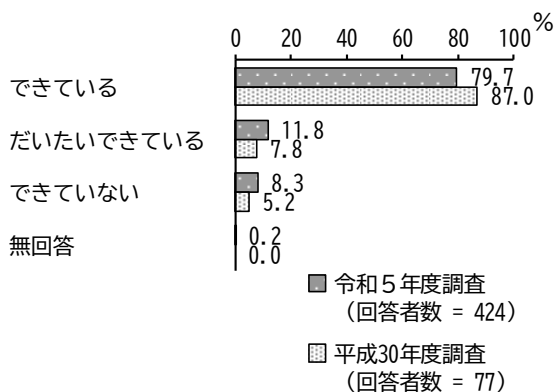
【高校生】



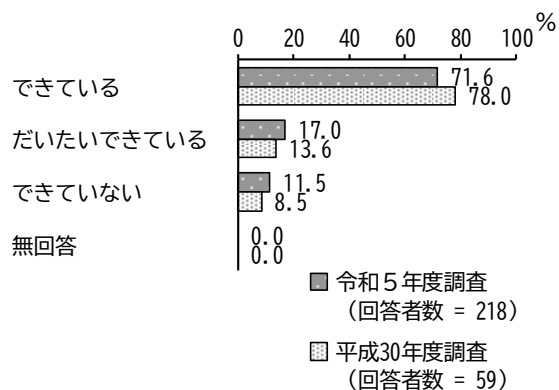
②朝食をとる。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

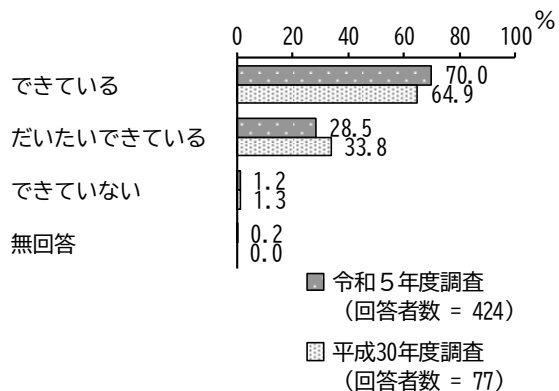


③あいさつ・お礼をする。

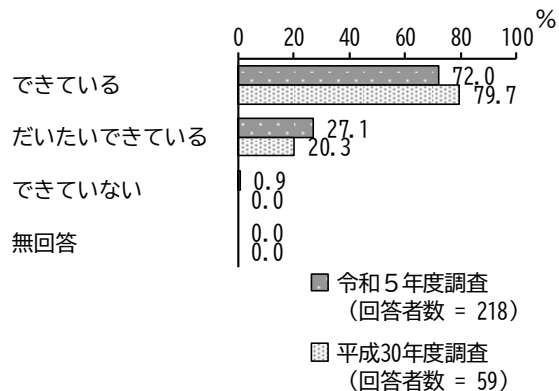
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいできている」の割合が増加しています。一方、「できている」の割合が減少しています。

【中学生】



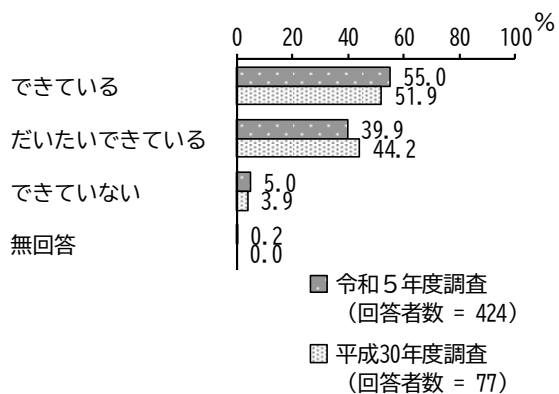
【高校生】



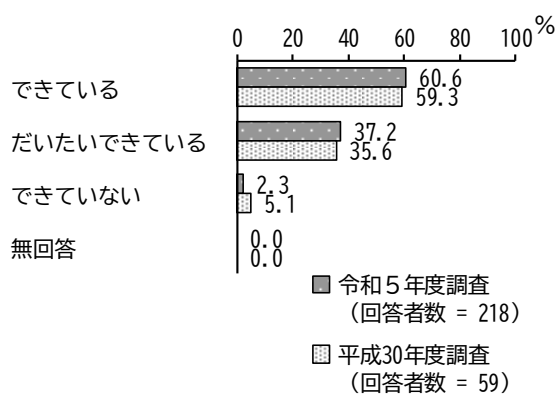
④物を大切にする。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



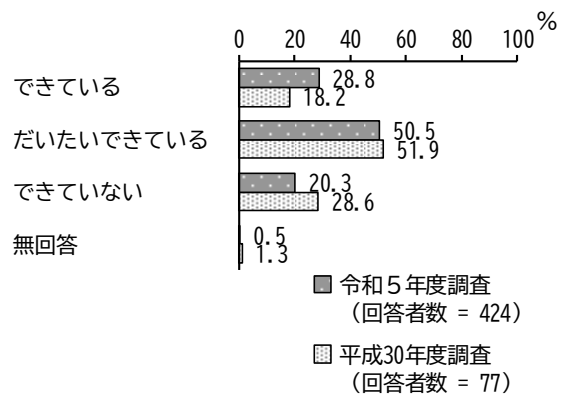
【高校生】



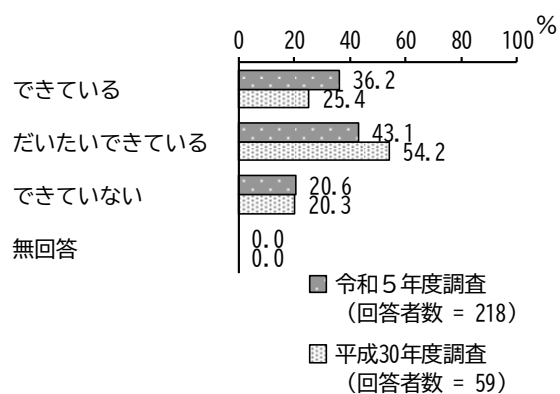
⑤お手伝いをする。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「できていない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

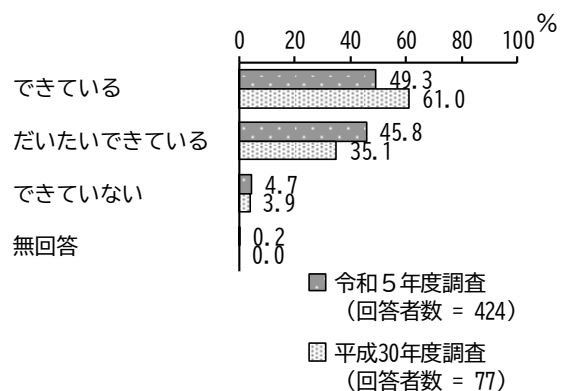


⑥約束を守る。

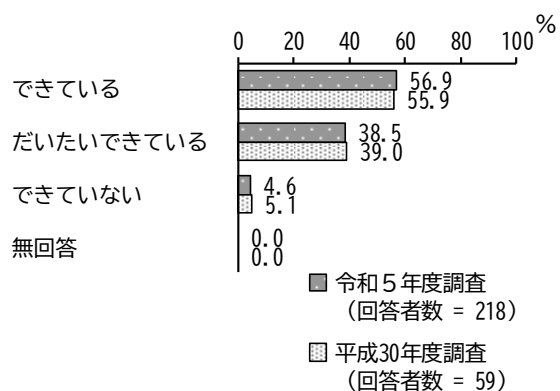
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいできている」の割合が増加しています。一方、「できている」の割合が減少しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



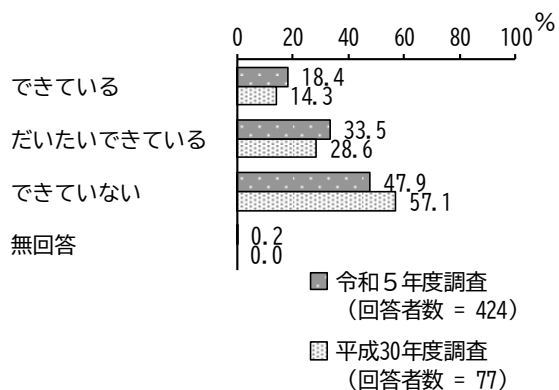
【高校生】



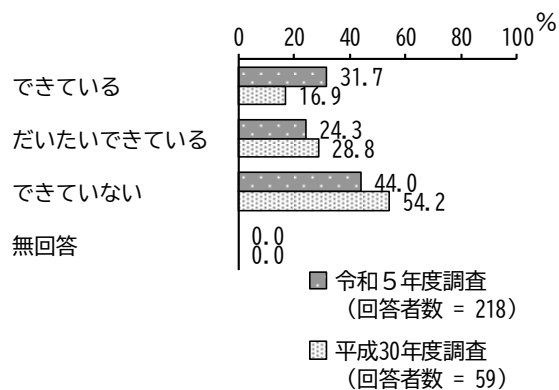
⑦料理をする。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「できていない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

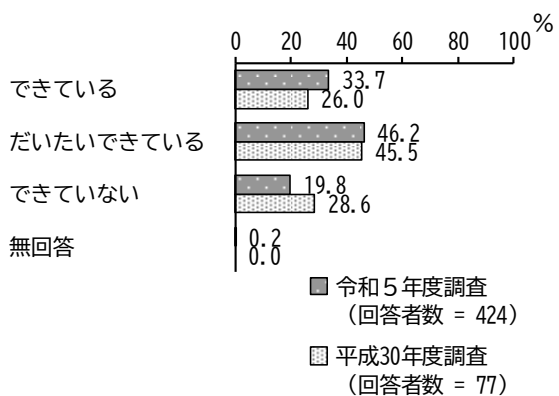


⑧後片付けをする。

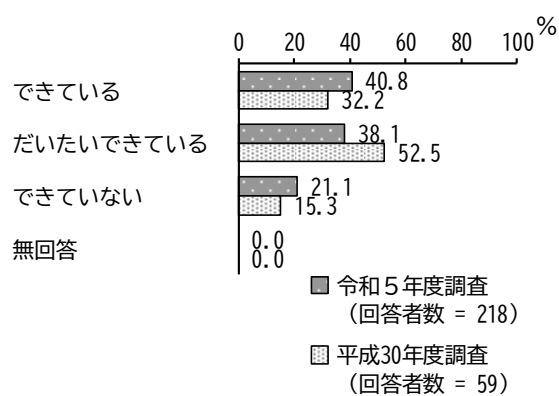
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「できていない」の割合が減少しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「できている」「できていない」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

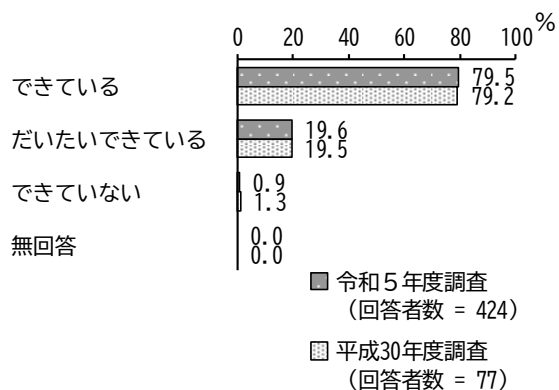


⑨からだを清潔に保つ。

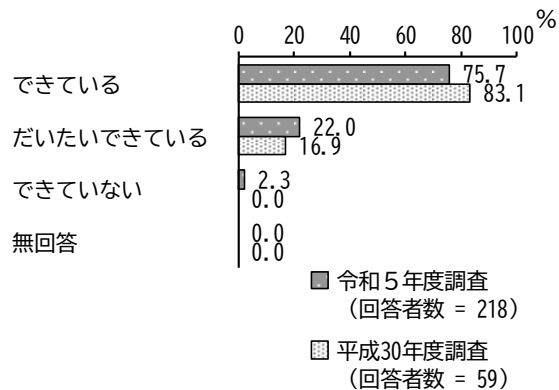
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいできている」の割合が増加しています。
一方、「できている」の割合が減少しています。

【中学生】



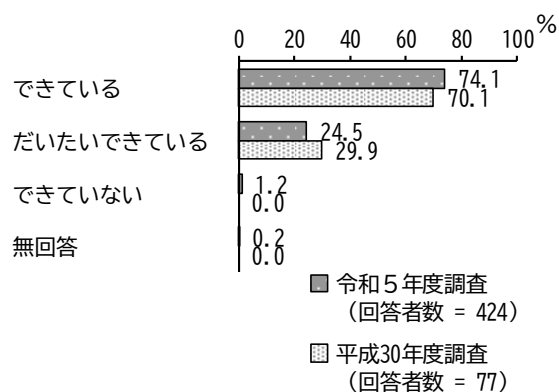
【高校生】



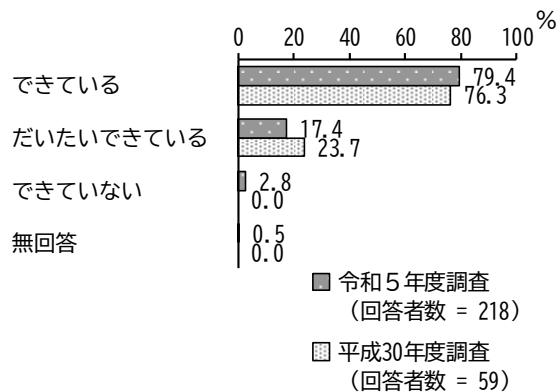
⑩公共の場所で騒がない。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいできている」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 次のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つだけ)
(中学生：問3、高校生：問3)

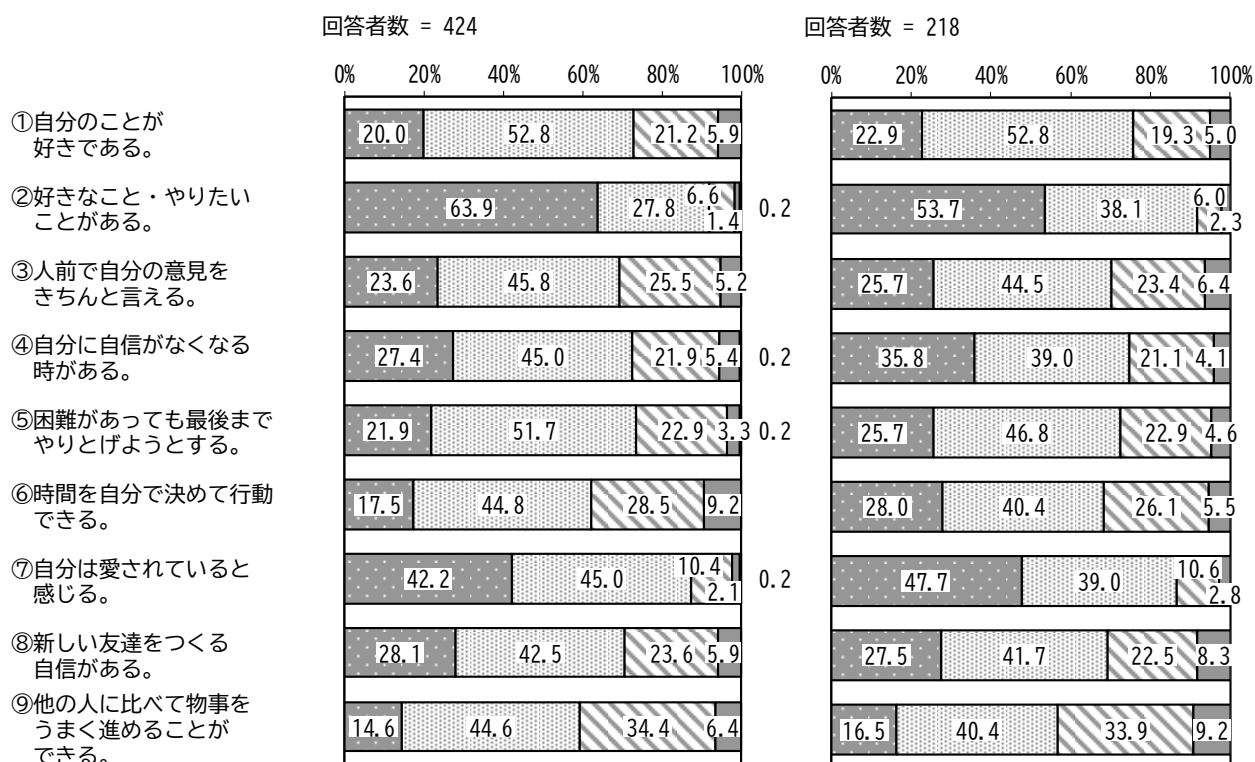
中学生では、『②好きなこと・やりたいことがある。』で「とてもあてはまる」の割合が高くなっています。一方、『⑥時間を自分で決めて行動できる。』で「まったくあてはまらない」の割合が高くなっています。

高校生では、『②好きなこと・やりたいことがある。』で「とてもあてはまる」の割合が高くなっています。一方、『⑨他の人に比べて物事をうまく進めることができる。』で「まったくあてはまらない」の割合が高くなっています。

【中学生】

【高校生】

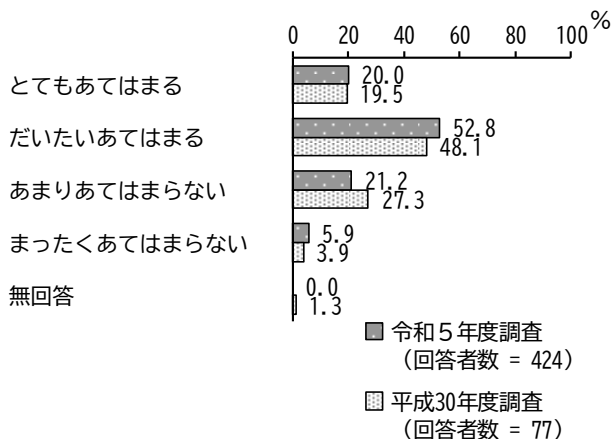
■ とてもあてはまる ■ だいたいあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない □ 無回答



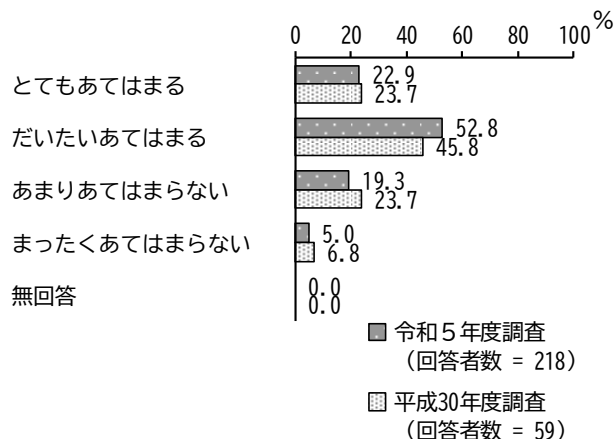
①自分のことが好きである。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】

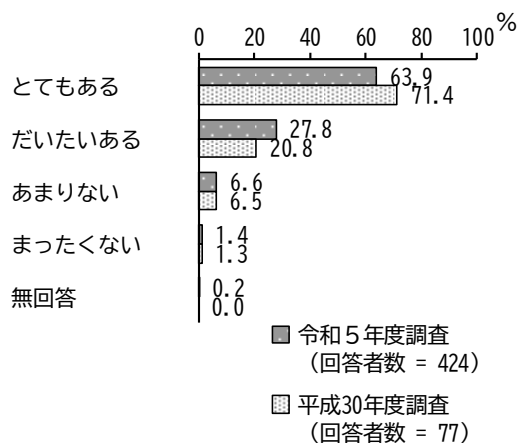


②好きなこと・やりたいことがある。

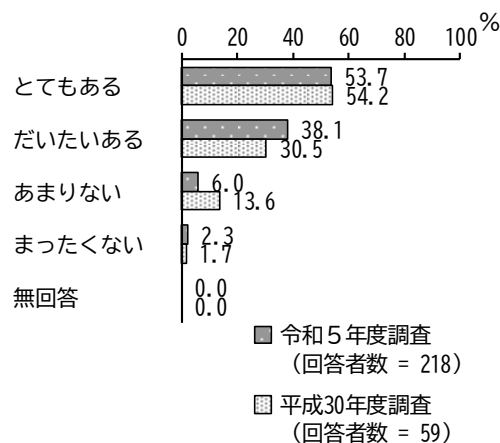
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいある」の割合が増加しています。一方、「とてもある」の割合が減少しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。

【中学生】



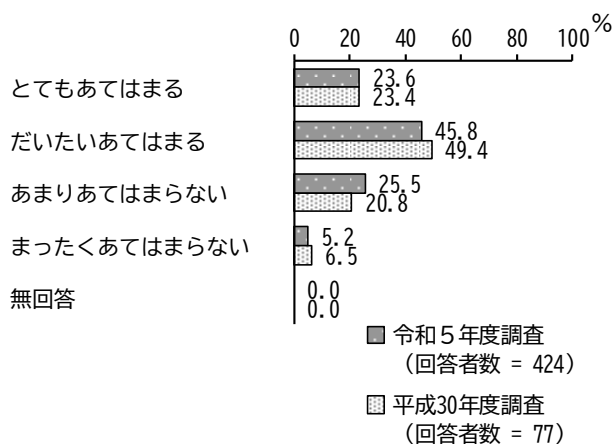
【高校生】



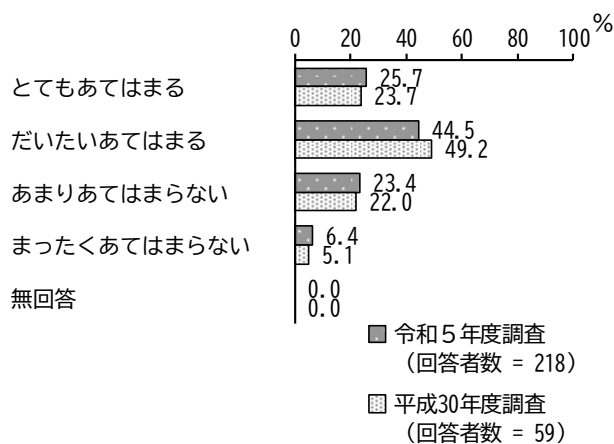
③人前で自分の意見をきちんと言える。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】

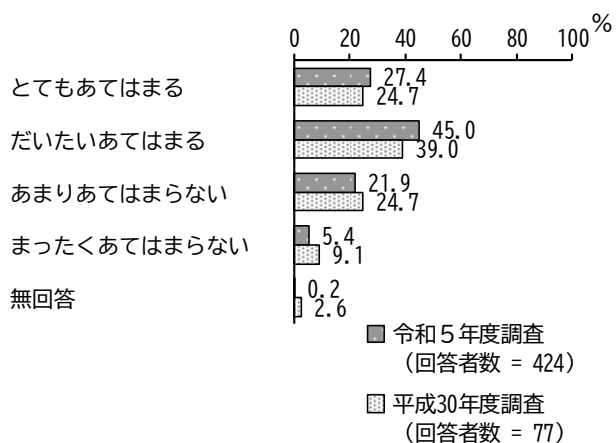


④自分に自信がなくなる時がある。

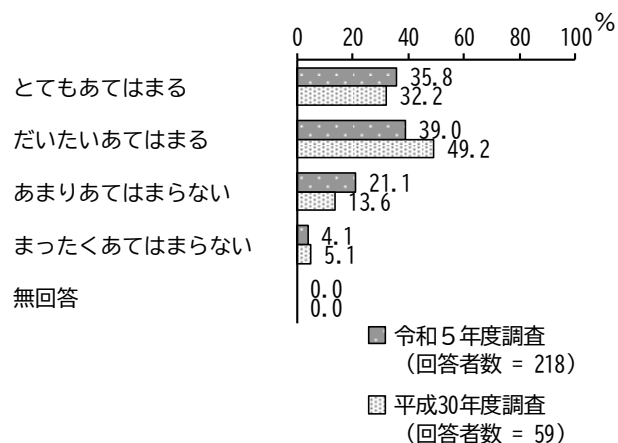
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「あまりあてはまらない」の割合が増加しています。一方、「だいたいあてはまる」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

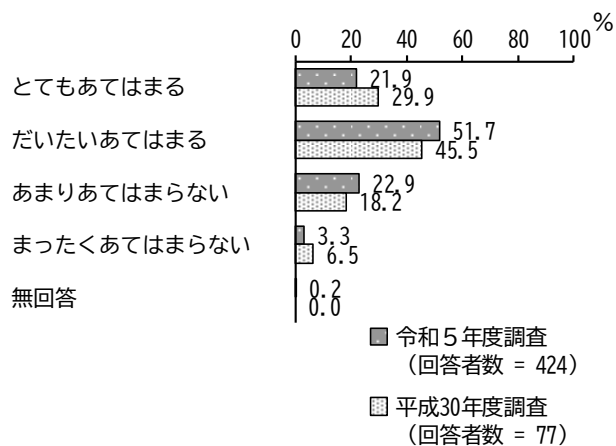


⑤困難があっても最後までやりとげようとする。

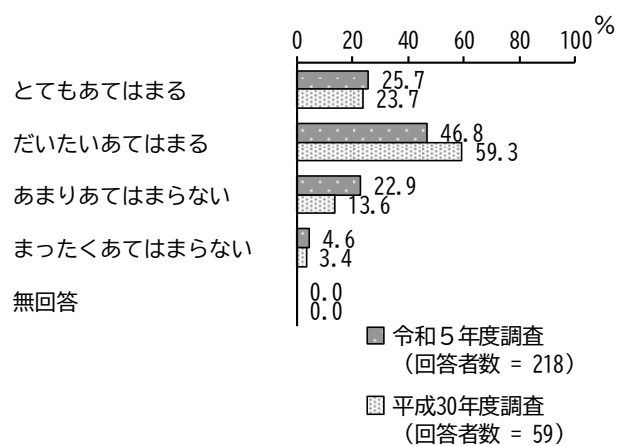
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。一方、「とてもあてはまる」の割合が減少しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「あまりあてはまらない」の割合が増加しています。一方、「だいたいあてはまる」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

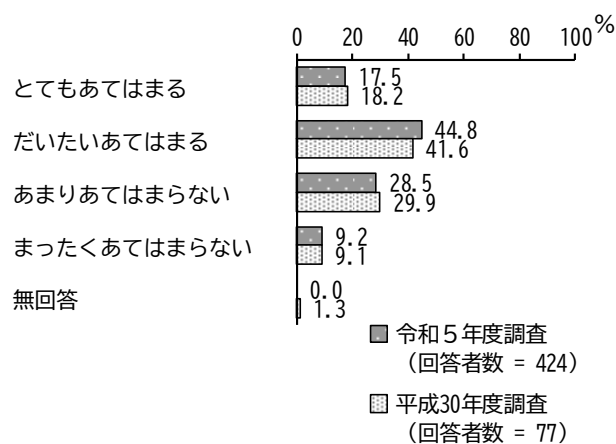


⑥時間を自分で決めて行動できる。

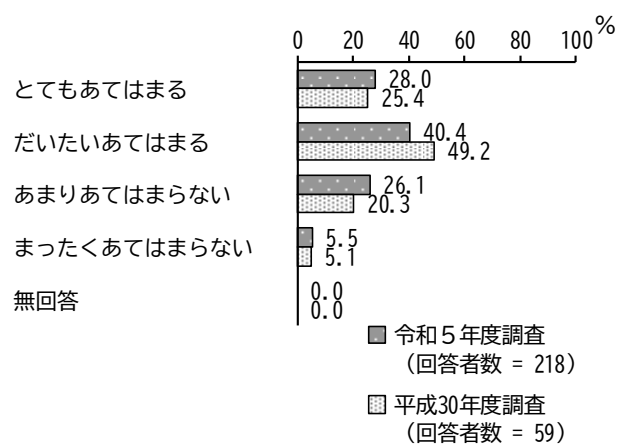
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「あまりあてはまらない」の割合が増加しています。一方、「だいたいあてはまる」の割合が減少しています。

【中学生】



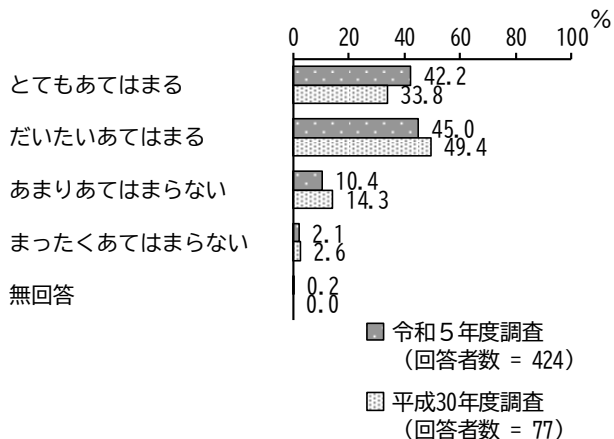
【高校生】



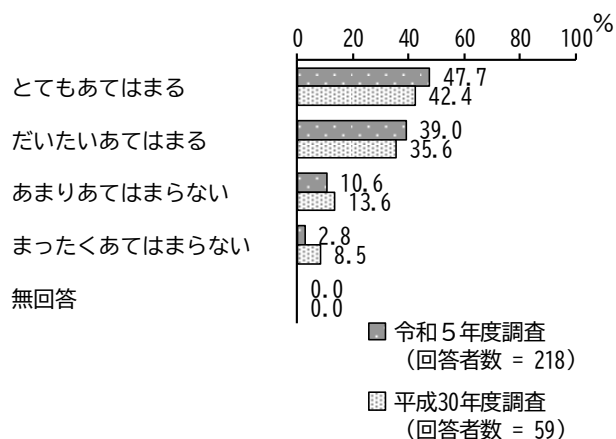
⑦自分は愛されていると感じる。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「とてもあてはまる」の割合が増加しています。一方、「まったくあてはまらない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

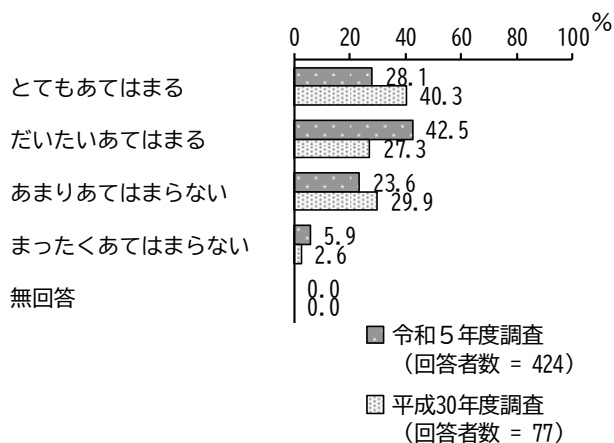


⑧新しい友達をつくる自信がある。

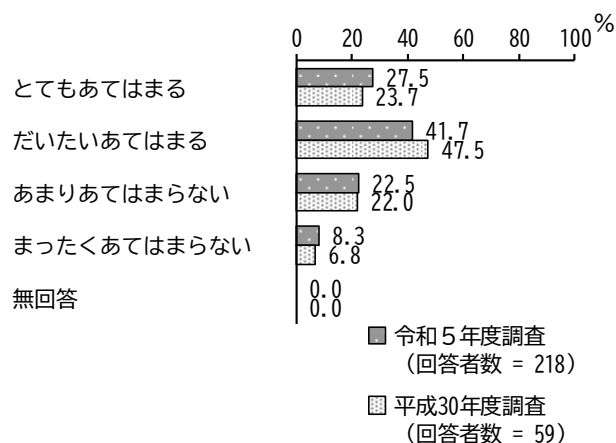
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。一方、「とてもあてはまる」「あまりあてはまらない」の割合が減少しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】

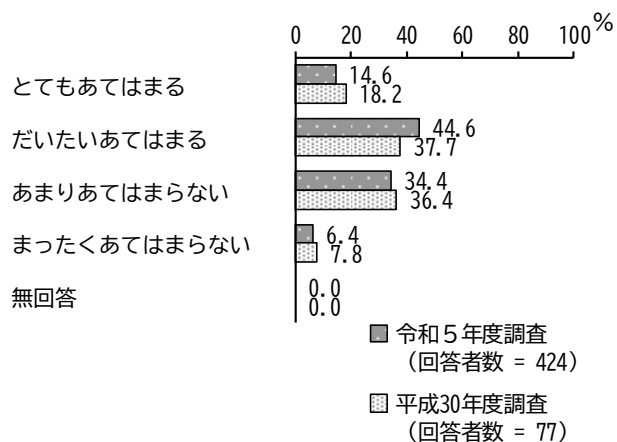


⑨他の人に比べて物事をうまく進めることができる。

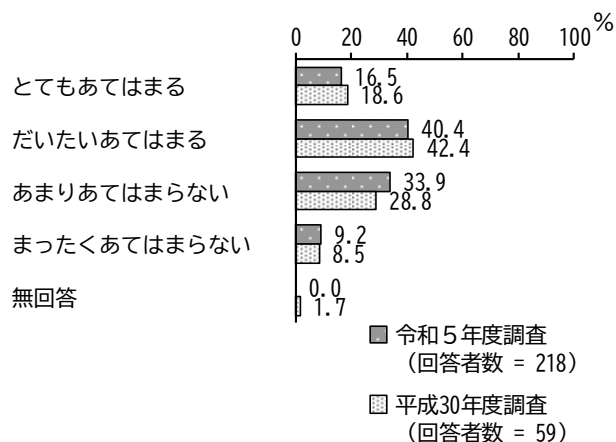
中学生では、平成 30 年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。

高校生では、平成 30 年度調査と比較すると、「あまりあてはまらない」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】

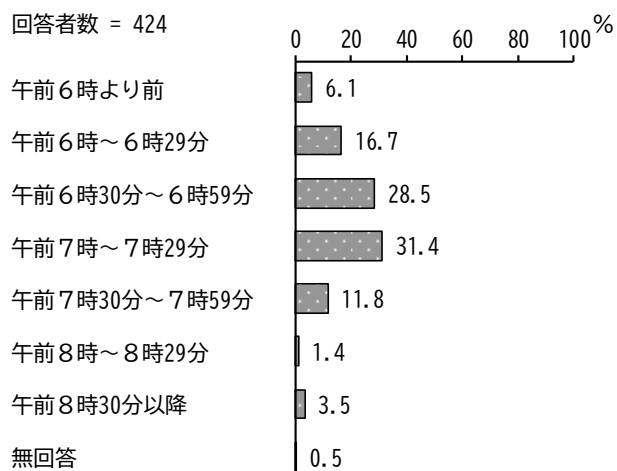


問 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。(○は1つだけ)
(中学生：問4、高校生：問4)

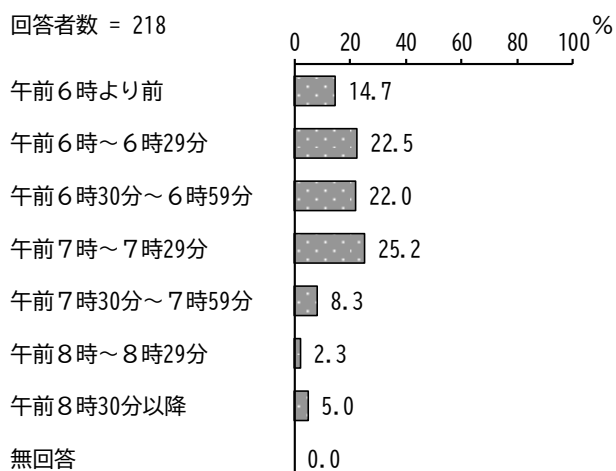
中学生では、「午前7時～7時29分」の割合が31.4%と最も高く、次いで「午前6時30分～6時59分」の割合が28.5%となっています。

高校生では、「午前7時～7時29分」の割合が25.2%と最も高く、次いで「午前6時～6時29分」の割合が22.5%、「午前6時30分～6時59分」の割合が22.0%となっています。

【中学生】



【高校生】

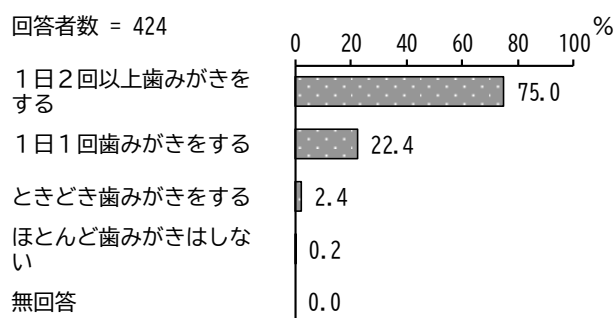


問 あなたは歯みがきをどのくらいしますか。(○は1つだけ)
(中学生：問5、高校生：問5)

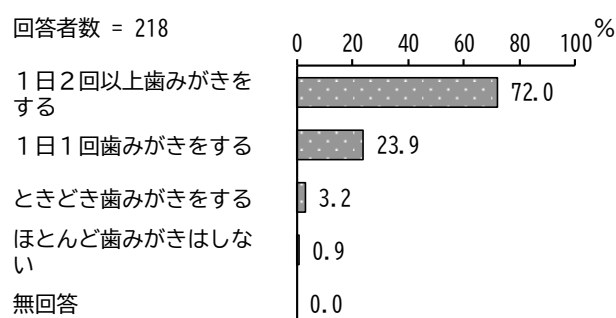
中学生では、「1日2回以上歯みがきをする」の割合が75.0%と最も高く、次いで「1日1回歯みがきをする」の割合が22.4%となっています。

高校生では、「1日2回以上歯みがきをする」の割合が72.0%と最も高く、次いで「1日1回歯みがきをする」の割合が23.9%となっています。

【中学生】



【高校生】

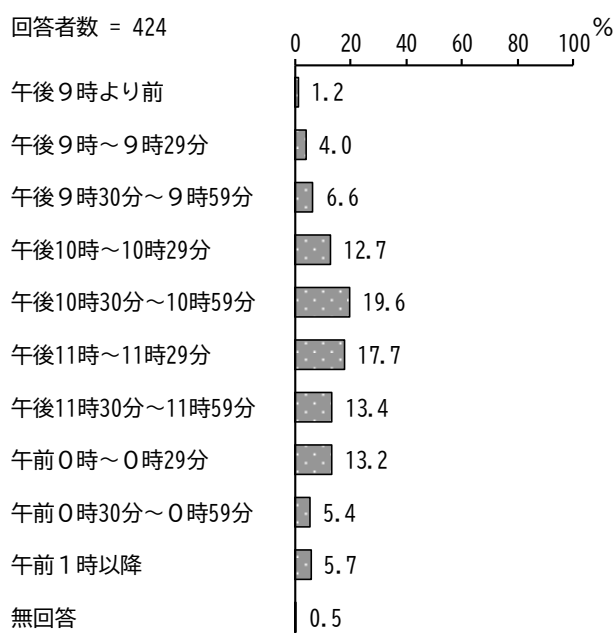


問 あなたは、次の日に学校がある日はだいたい、何時ごろに寝ますか。
(○は1つだけ) (中学生：問6、高校生：問6)

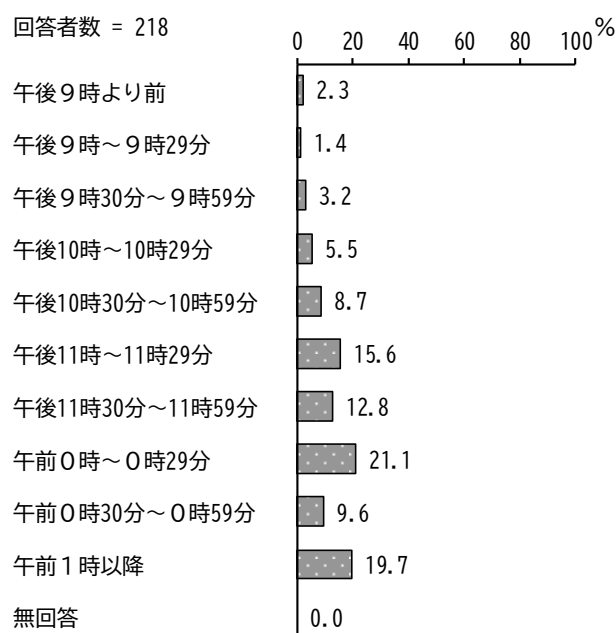
中学生では、「午後10時30分～10時59分」の割合が19.6%と最も高く、次いで「午後11時～11時29分」の割合が17.7%となっています。

高校生では、「午前0時～0時29分」の割合が21.1%と最も高く、次いで「午前1時以降」の割合が19.7%となっています。

【中学生】



【高校生】



問 あなたは、夕ごはんを子どもだけで食べることがありますか。(○は1つだけ)
(中学生：問7、高校生：問7)

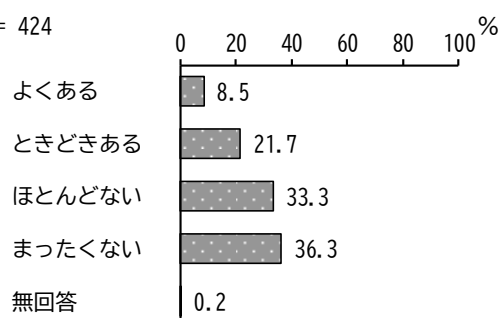
中学生では、「まったくない」の割合が36.3%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が33.3%、「ときどきある」の割合が21.7%となっています。

高校生では、「ほとんどない」の割合が29.4%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が27.1%、「まったくない」の割合が25.7%となっています。

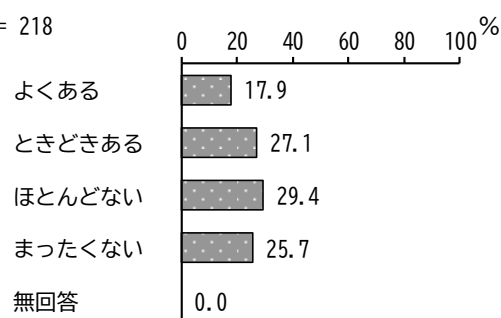
【中学生】

【高校生】

回答者数 = 424



回答者数 = 218



問 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。(○はそれぞれ1つだけ)
(中学生：問8、高校生：問8)

中学生、高校生ともに、「(3) 頑張ればいいことがある」で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、「(2) 自分には将来の夢や目標がある」で「そう思わない」の割合が高くなっています。

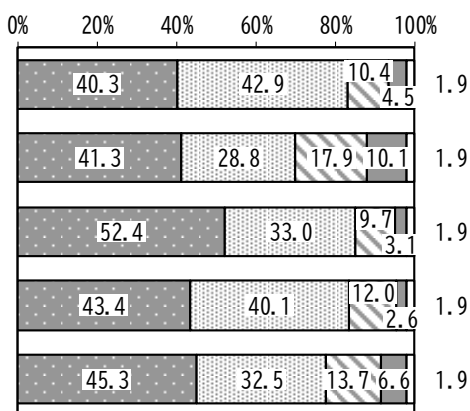
【中学生】

【高校生】

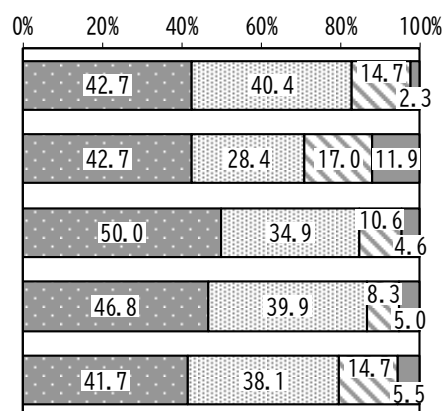
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

回答者数 = 424

- (1) 自分にはよいところがあると思う
- (2) 自分には将来の夢や目標がある
- (3) 頑張ればいいことがある
- (4) 失敗することもあるが、自分の成長につながると思える
- (5) 何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる



回答者数 = 218



(2) あなたと親（保護者）の関係について

問 あなたは親（保護者）とどのくらい話をしていますか。（○は1つだけ）
（中学生：問9、高校生：問9）

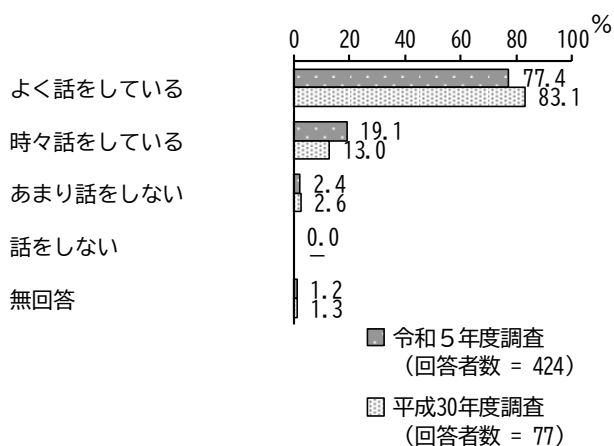
中学生では、「よく話をしている」の割合が 77.4%と最も高く、次いで「時々話をしている」の割合が 19.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「時々話をしている」の割合が増加しています。一方、「よく話をしている」の割合が減少しています。

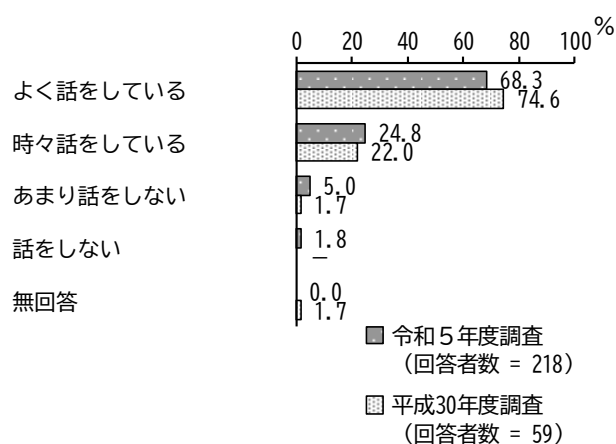
高校生では、「よく話をしている」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「時々話をしている」の割合が 24.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「よく話をしている」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



※前回調査では、「話をしない」の選択肢はありませんでした。

問 親（保護者）とどんな話をしますか。（〇はいくつでも）
（中学生：問 10、高校生：問 10）

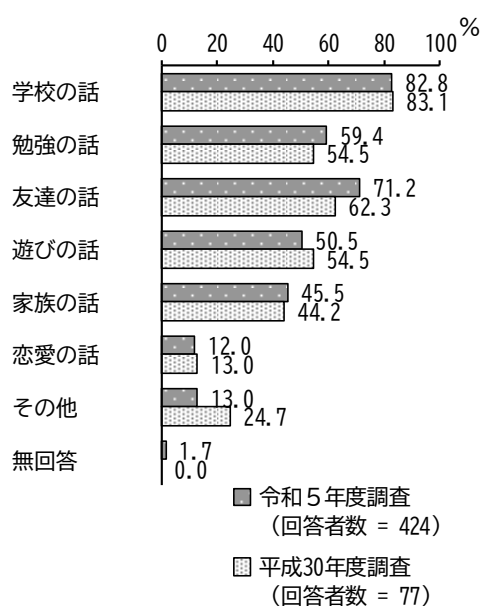
中学生では、「学校の話」の割合が 82.8%と最も高く、次いで「友達の話」の割合が 71.2%、「勉強の話」の割合が 59.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友達の話」の割合が増加しています。

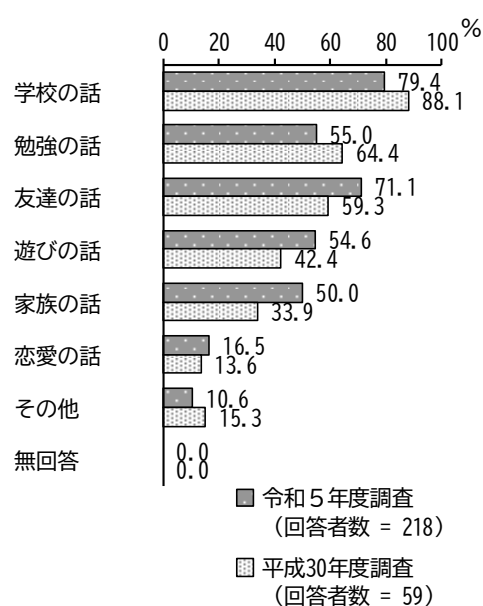
高校生では、「学校の話」の割合が 79.4%と最も高く、次いで「友達の話」の割合が 71.1%、「勉強の話」の割合が 55.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友達の話」「遊びの話」「家族の話」の割合が増加しています。一方、「学校の話」「勉強の話」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 親（保護者）と一緒に食事を食べますか。（○は1つだけ）
（中学生：問 11、高校生：問 11）

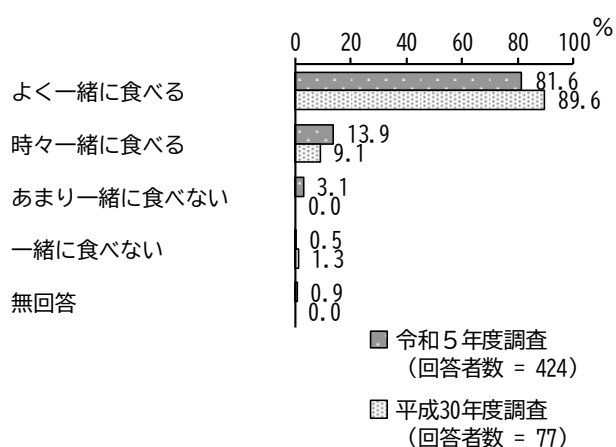
中学生では、「よく一緒に食べる」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「時々一緒に食べる」の割合が 13.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「よく一緒に食べる」の割合が減少しています。

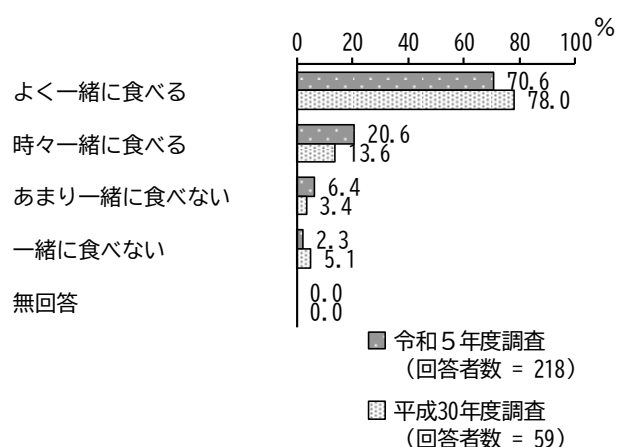
高校生では、「よく一緒に食べる」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「時々一緒に食べる」の割合が 20.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「時々一緒に食べる」の割合が増加しています。一方、「よく一緒に食べる」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 親（保護者）と一緒に出かけますか。（○は1つだけ）
（中学生：問 12、高校生：問 12）

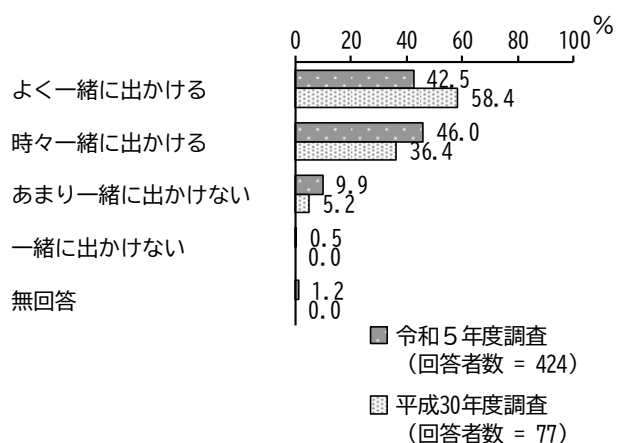
中学生では、「時々一緒に出かける」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「よく一緒に出かける」の割合が 42.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「時々一緒に出かける」の割合が増加しています。一方、「よく一緒に出かける」の割合が減少しています。

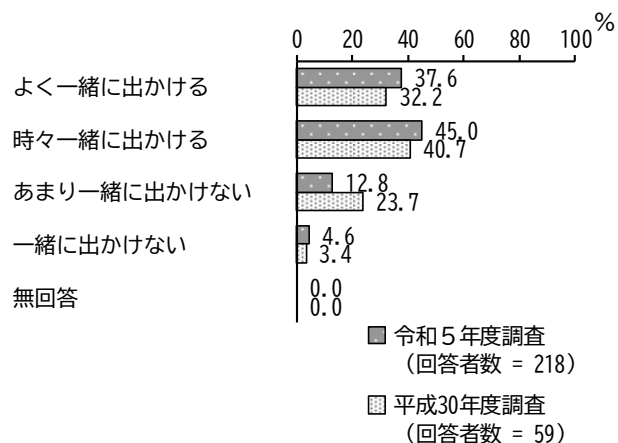
高校生では、「時々一緒に出かける」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「よく一緒に出かける」の割合が 37.6%、「あまり一緒に出かけない」の割合が 12.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「よく一緒に出かける」の割合が増加しています。一方、「あまり一緒に出かけない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



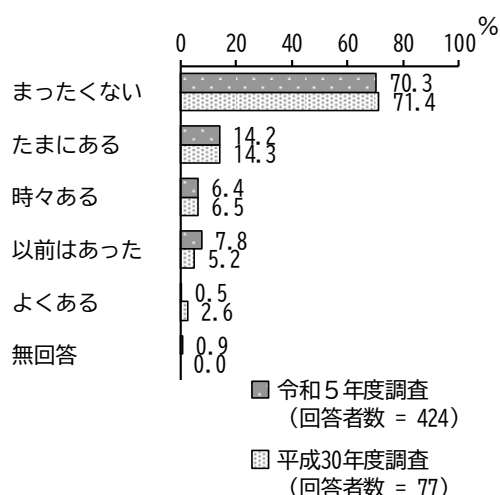
問 親（保護者）からきつい言葉で怒られたり、強くたたかれたり、食事をもらえなかったりしたことはありますか。（○は1つだけ）（中学生：問 13、高校生：問 13）

中学生では、「まったくない」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が 14.2%となっています。

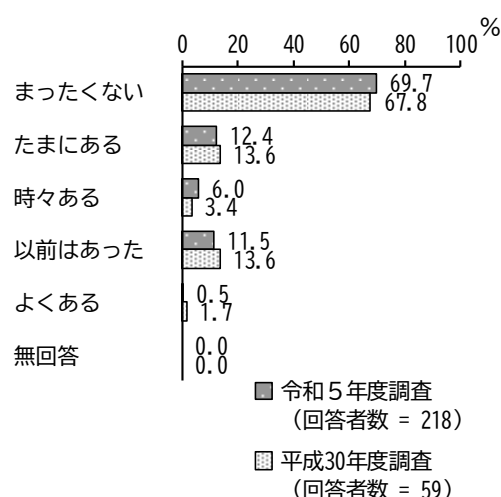
高校生では、「まったくない」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が 12.4%、「以前はあった」の割合が 11.5%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】



問 親（保護者）に暴力をふるってしまったことはありますか。（○は1つだけ）（中学生：問 14、高校生：問 14）

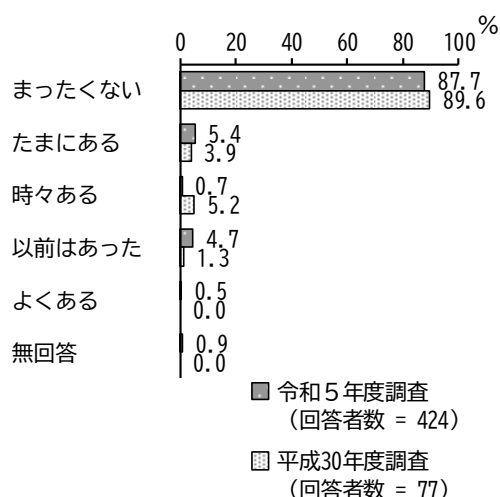
中学生では、「まったくない」の割合が 87.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

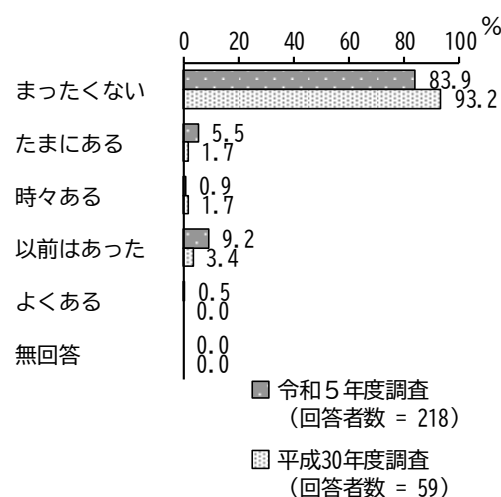
高校生では、「まったくない」の割合が 83.9%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「以前はあった」の割合が増加しています。一方、「まったくない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



(3) 学校や友人について

問 学校は毎日楽しいですか。(○は1つだけ) (中学生：問 15、高校生：問 15)

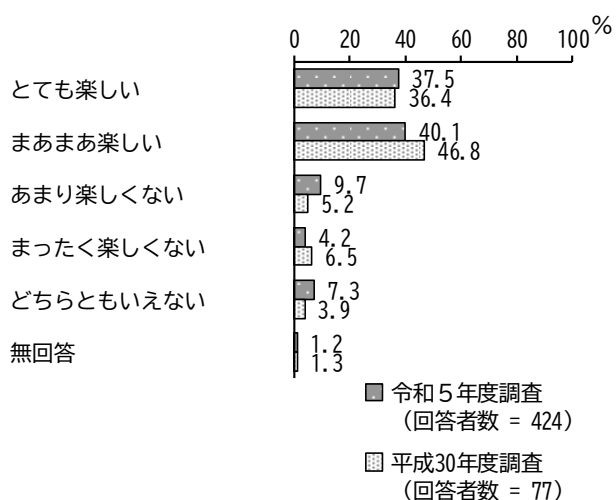
中学生では、「まあまあ楽しい」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「とても楽しい」の割合が 37.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まあまあ楽しい」の割合が減少しています。

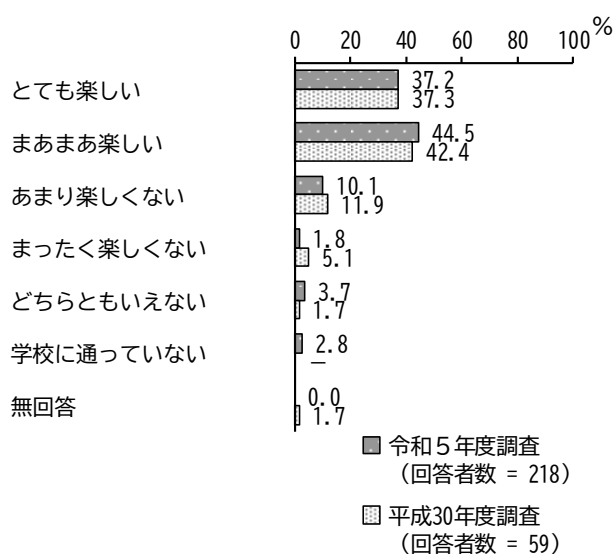
高校生では、「まあまあ楽しい」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「とても楽しい」の割合が 37.2%、「あまり楽しくない」の割合が 10.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】



※前回調査では、「学校に通っていない」の選択肢はありませんでした。

学校はとても楽しい、まあまあ楽しい方にお聞きます。

問 楽しい理由をお答えください。(〇はいくつでも)
(中学生：問 15－1、高校生：問 15－1)

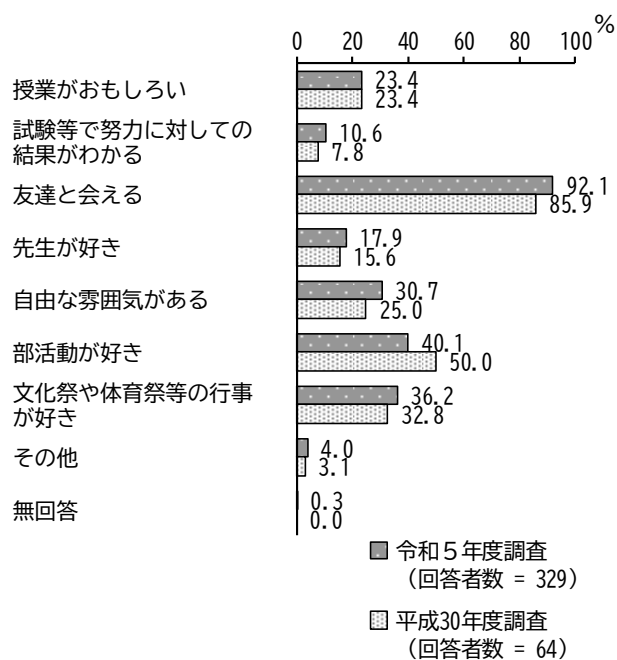
中学生では、「友達と会える」の割合が 92.1%と最も高く、次いで「部活動が好き」の割合が 40.1%、「文化祭や体育祭等の行事が好き」の割合が 36.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友達と会える」「自由な雰囲気がある」の割合が増加しています。一方、「部活動が好き」の割合が減少しています。

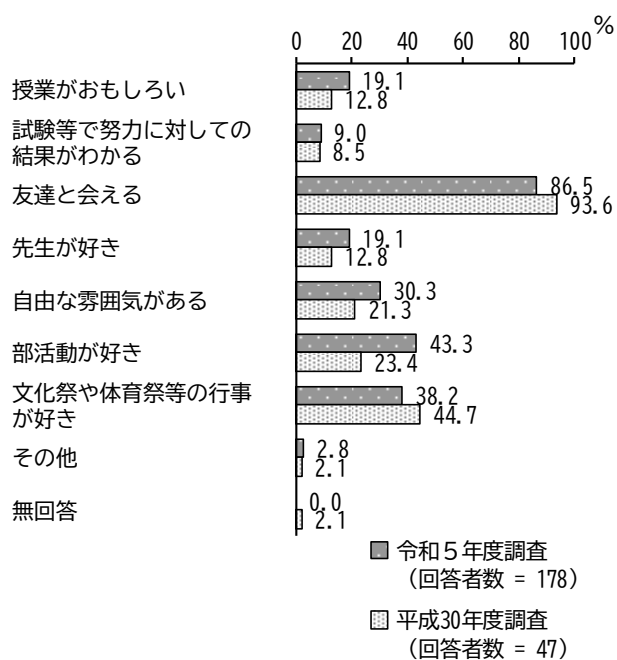
高校生では、「友達と会える」の割合が 86.5%と最も高く、次いで「部活動が好き」の割合が 43.3%、「文化祭や体育祭等の行事が好き」の割合が 38.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「授業が面白い」「先生が好き」「自由な雰囲気がある」「部活動が好き」の割合が増加しています。一方、「友達と会える」「文化祭や体育祭等の行事が好き」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



学校はあまり楽しくない、まったく楽しくない方にお聞きします。

問 楽しくない理由をお答えください。(〇はいくつでも)
(中学生：問 15－2、高校生：問 15－2)

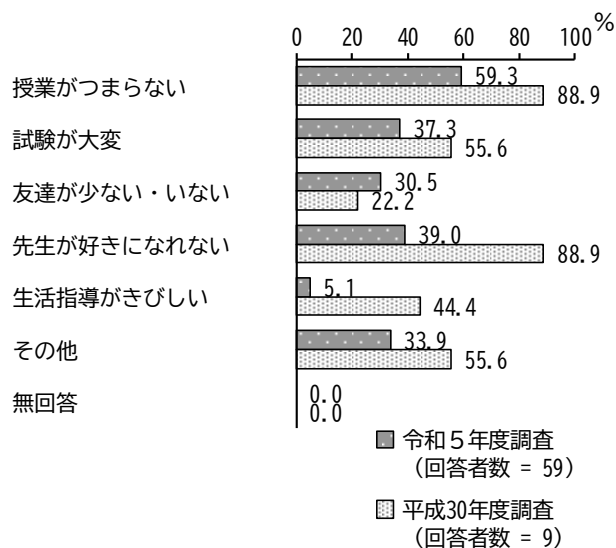
中学生では、「授業がつまらない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「先生が好きになれない」の割合が 39.0%、「試験が大変」の割合が 37.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友達が少ない・いない」の割合が増加しています。一方、「授業がつまらない」「試験が大変」「先生が好きになれない」「生活指導がきびしい」の割合が減少しています。

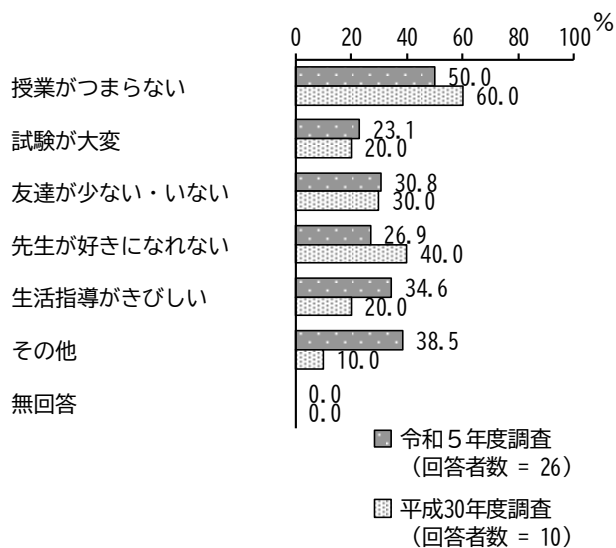
高校生では、「授業がつまらない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「生活指導がきびしい」の割合が 34.6%、「友達が少ない・いない」の割合が 30.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「生活指導がきびしい」の割合が増加しています。一方、「授業がつまらない」「先生が好きになれない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 あなたと友達・クラス・学校との距離について下記の項目それぞれにあてはまるものをお答えください。(それぞれ○は1つだけ)
(中学生：問 16、高校生：問 16)

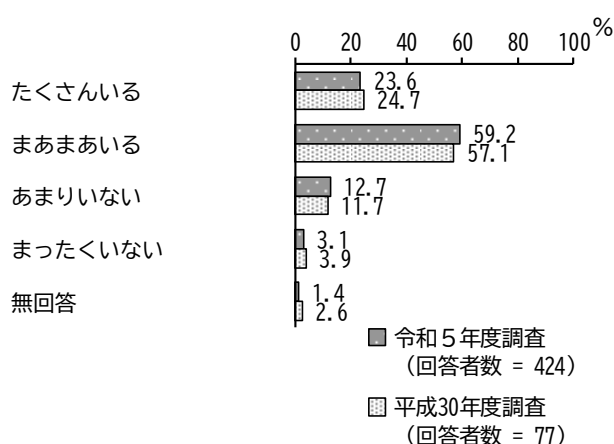
①自分の気持ちをわかってくれる友達がいる。

中学生では、「まあまあいる」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「たくさんいる」の割合が 23.6%、「あまりいない」の割合が 12.7%となっています。

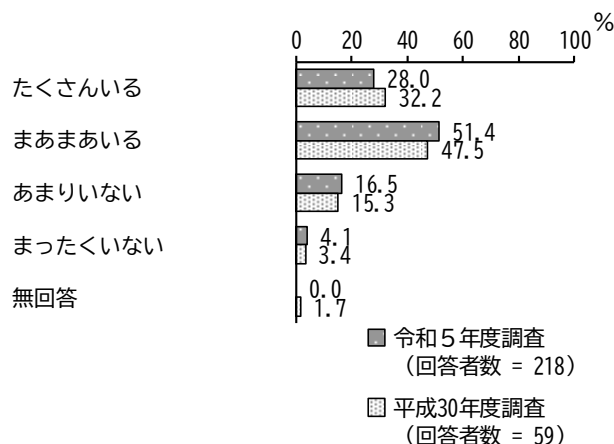
高校生では、「まあまあいる」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「たくさんいる」の割合が 28.0%、「あまりいない」の割合が 16.5%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】



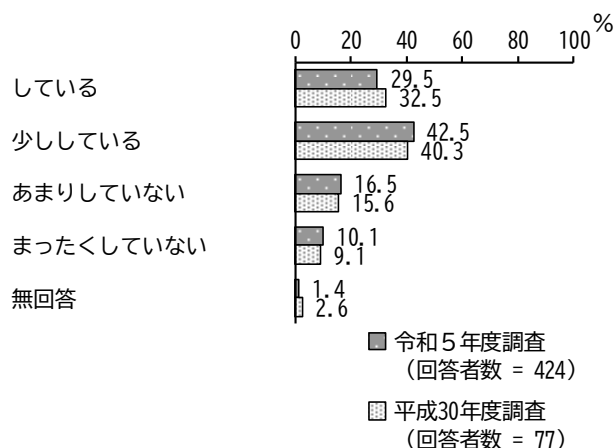
②自分を友達に理解してもらおうと努力している。

中学生では、「少ししている」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「している」の割合が 29.5%、「あまりしていない」の割合が 16.5%となっています。

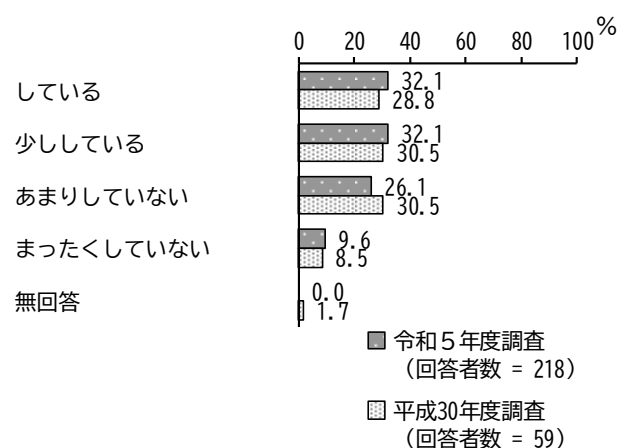
高校生では、「している」、「少ししている」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「あまりしていない」の割合が 26.1%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】



③誰とでも仲良くなれる。

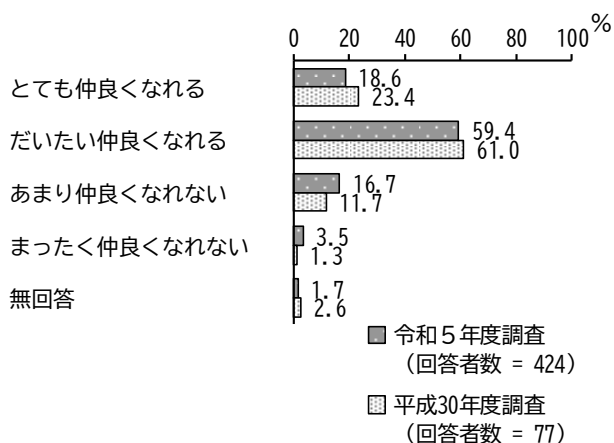
中学生では、「だいたい仲良くなれる」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「とても仲良くなれる」の割合が 18.6%、「あまり仲良くなれない」の割合が 16.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

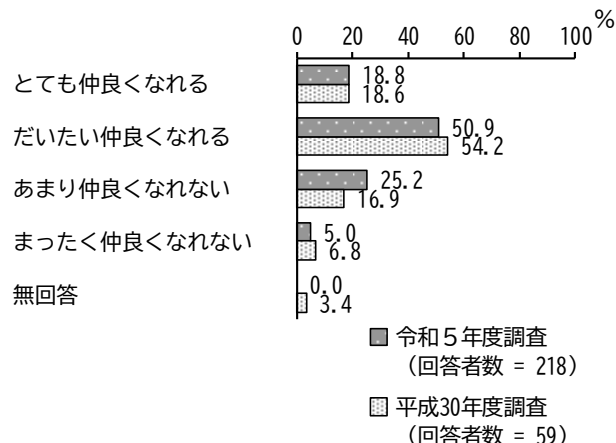
高校生では、「だいたい仲良くなれる」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「あまり仲良くなれない」の割合が 25.2%、「とても仲良くなれる」の割合が 18.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あまり仲良くなれない」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



④友達の言いなりになってしまう。

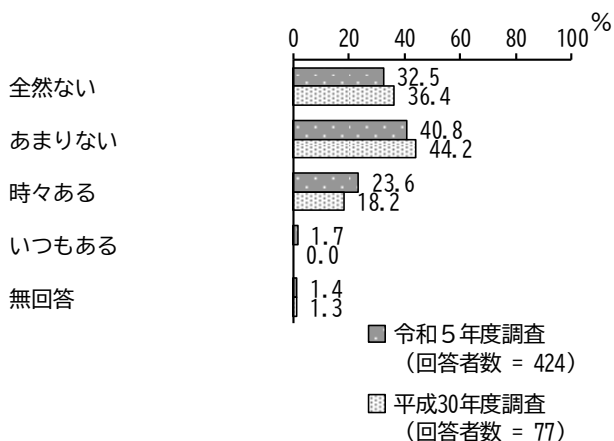
中学生では、「あまりない」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「全然ない」の割合が 32.5%、「時々ある」の割合が 23.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。

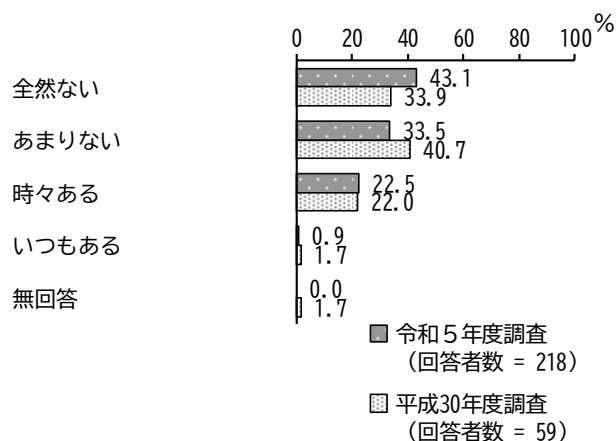
高校生では、「全然ない」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 33.5%、「時々ある」の割合が 22.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



⑤大勢の仲間という仲間はずれに思ったように感じる。

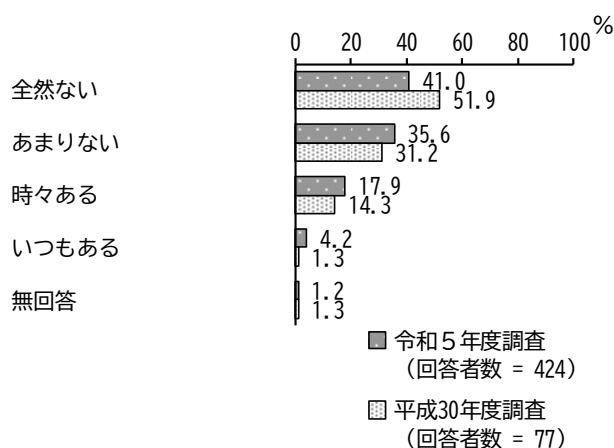
中学生では、「全然ない」の割合が41.0%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が35.6%、「時々ある」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が減少しています。

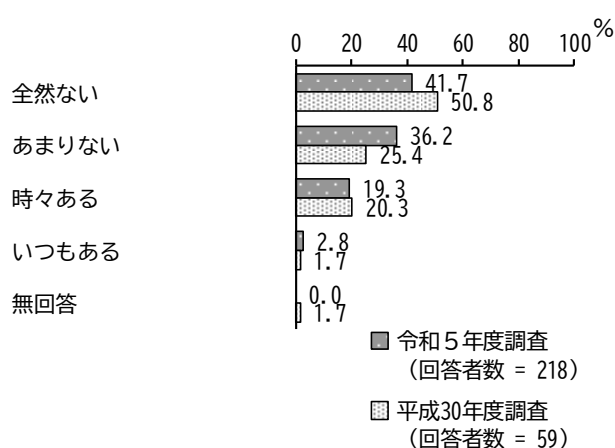
高校生では、「全然ない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が36.2%、「時々ある」の割合が19.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あまりない」の割合が増加しています。一方、「全然ない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



⑥友達というときに自分が無理をしていると感じる。

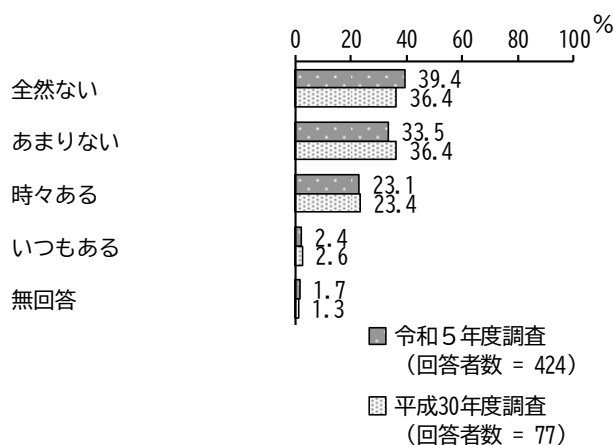
中学生では、「全然ない」の割合が39.4%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が33.5%、「時々ある」の割合が23.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

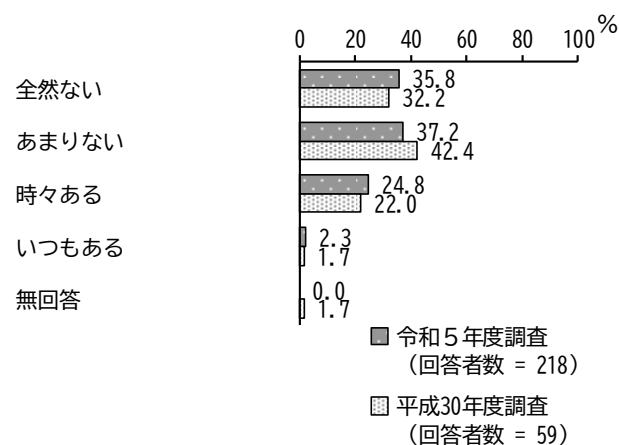
高校生では、「あまりない」の割合が37.2%と最も高く、次いで「全然ない」の割合が35.8%、「時々ある」の割合が24.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あまりない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



⑦人前で思っていることをうまくいえない。

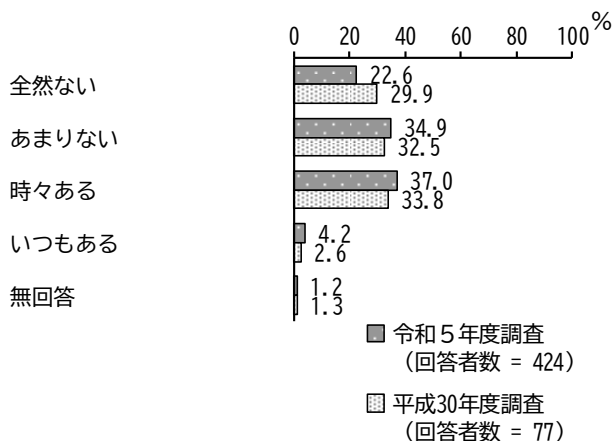
中学生では、「時々ある」の割合が37.0%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が34.9%、「全然ない」の割合が22.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が減少しています。

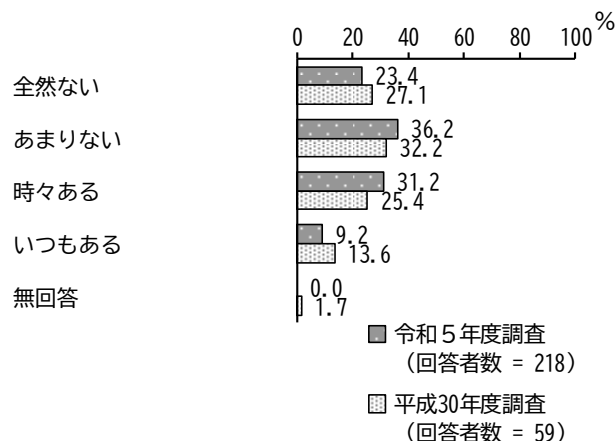
高校生では、「あまりない」の割合が36.2%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が31.2%、「全然ない」の割合が23.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



⑧友達から頼まれると断れない自分が嫌い。

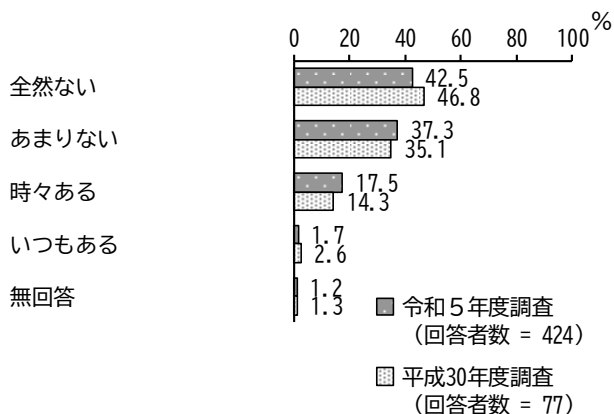
中学生では、「全然ない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が37.3%、「時々ある」の割合が17.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

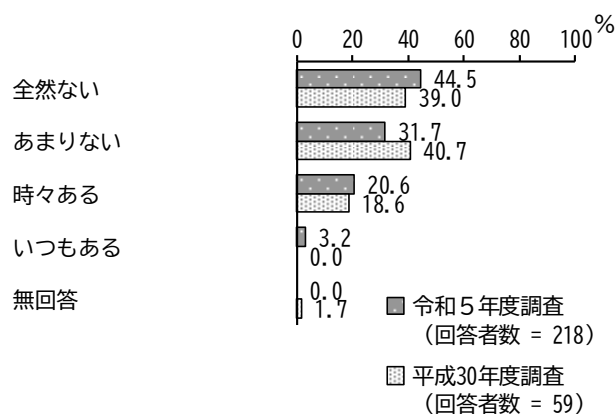
高校生では、「全然ない」の割合が44.5%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が31.7%、「時々ある」の割合が20.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



⑨自分がどう見られているかが気になる。

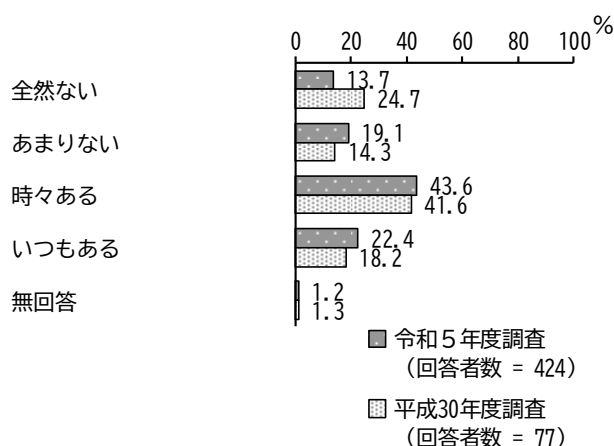
中学生では、「時々ある」の割合が43.6%と最も高く、次いで「いつもある」の割合が22.4%、「あまりない」の割合が19.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が減少しています。

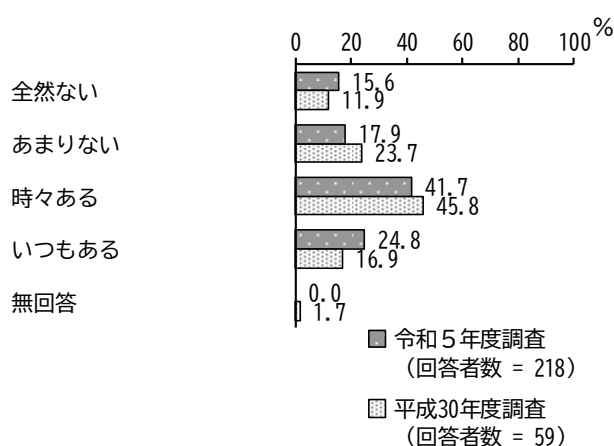
高校生では、「時々ある」の割合が41.7%と最も高く、次いで「いつもある」の割合が24.8%、「あまりない」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いつもある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



⑩友達に気に入られたいと思う。

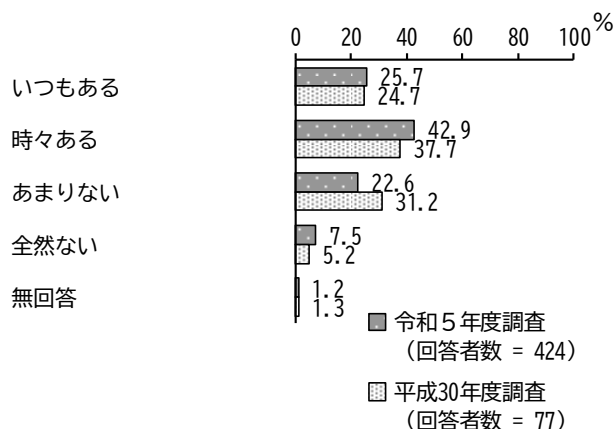
中学生では、「時々ある」の割合が42.9%と最も高く、次いで「いつもある」の割合が25.7%、「あまりない」の割合が22.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。

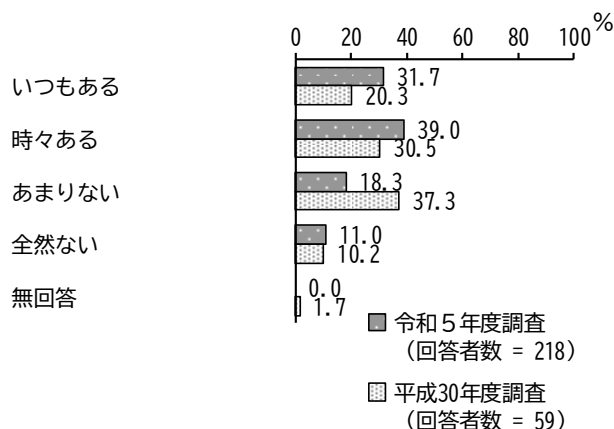
高校生では、「時々ある」の割合が39.0%と最も高く、次いで「いつもある」の割合が31.7%、「あまりない」の割合が18.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いつもある」「時々ある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



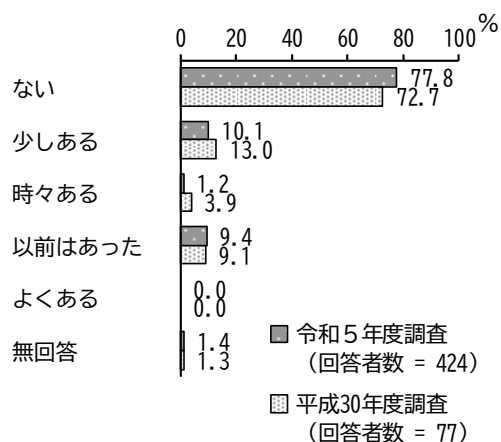
問 学校で人をいじめたり、無視したことがありますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 17、高校生：問 17)

中学生では、「ない」の割合が77.8%と最も高く、次いで「少しある」の割合が10.1%となっています。

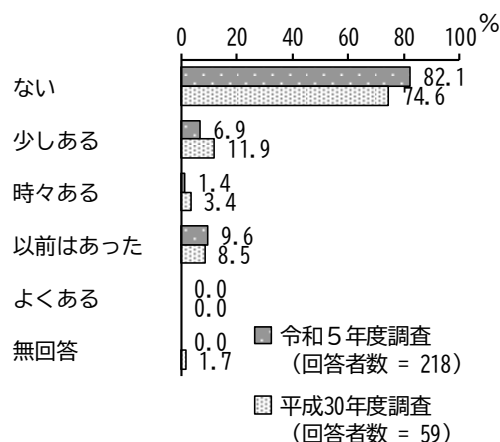
高校生では、「ない」の割合が82.1%と最も高くなっています。

中学生、高校生ともに、平成30年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



問 学校で誰かにいじめられたり、無視されたことがありますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 18、高校生：問 18)

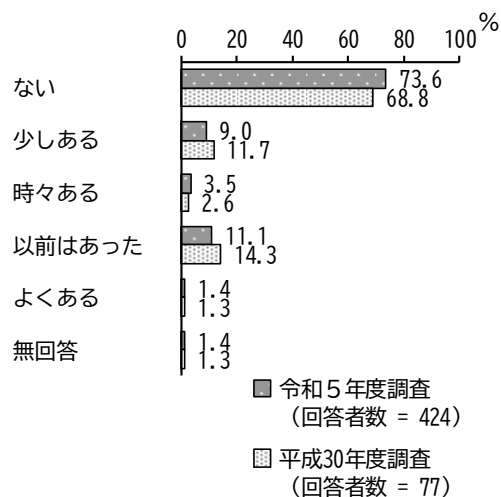
中学生では、「ない」の割合が73.6%と最も高く、次いで「以前はあった」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

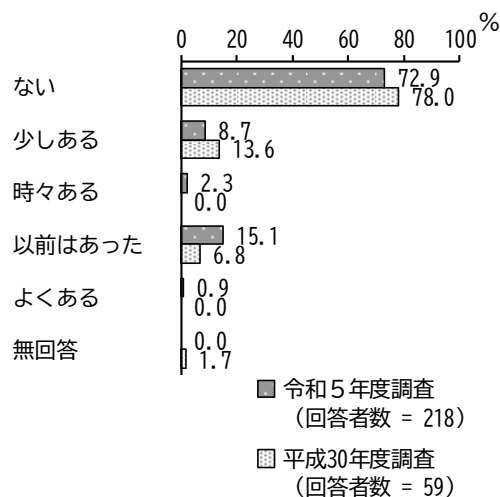
高校生では、「ない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「以前はあった」の割合が15.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「以前はあった」の割合が増加しています。一方、「ない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 不登校になっている同級生や身近な人について。(それぞれ○は1つだけ)
(中学生：問 19、高校生：問 19)

①不登校の同級生や身近な人についてあなたはどのように感じていますか。

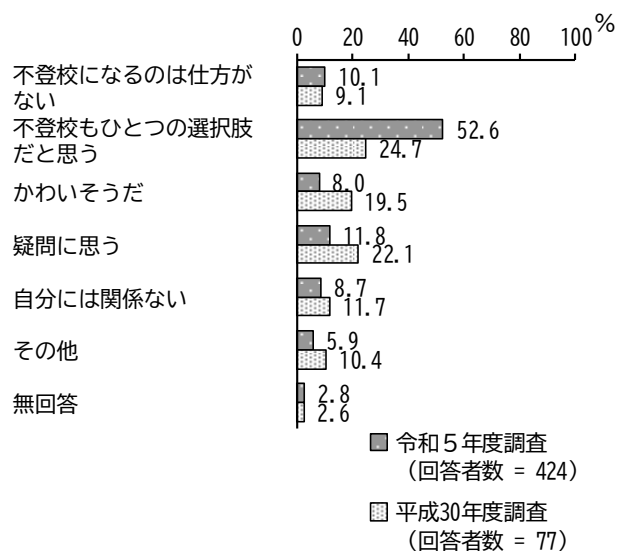
中学生では、「不登校もひとつの選択肢だと思う」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「疑問に思う」の割合が 11.8%、「不登校になるのは仕方がない」の割合が 10.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「不登校もひとつの選択肢だと思う」の割合が増加しています。一方、「かわいそうだ」「疑問に思う」の割合が減少しています。

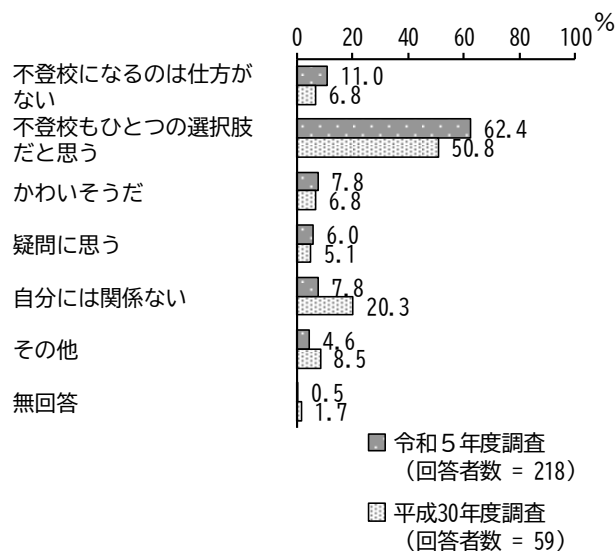
高校生では、「不登校もひとつの選択肢だと思う」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「不登校になるのは仕方がない」の割合が 11.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「不登校もひとつの選択肢だと思う」の割合が増加しています。一方、「自分には関係ない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



②不登校の同級生や身近な人に対して自分にできることは何だと感じていますか。

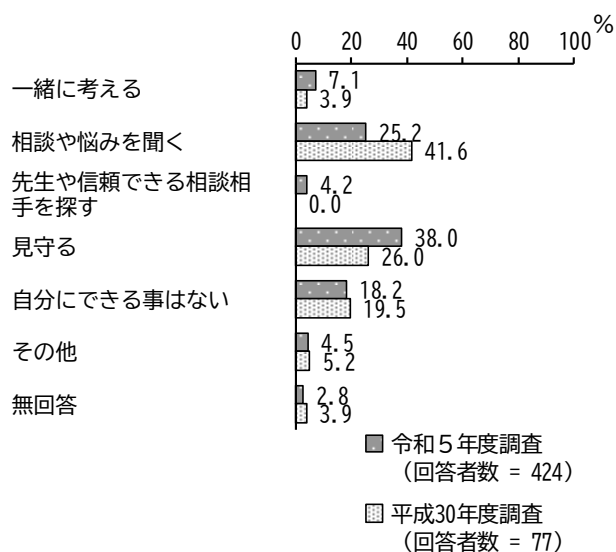
中学生では、「見守る」の割合が38.0%と最も高く、次いで「相談や悩みを聞く」の割合が25.2%、「自分にできる事はない」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「見守る」の割合が増加しています。一方、「相談や悩みを聞く」の割合が減少しています。

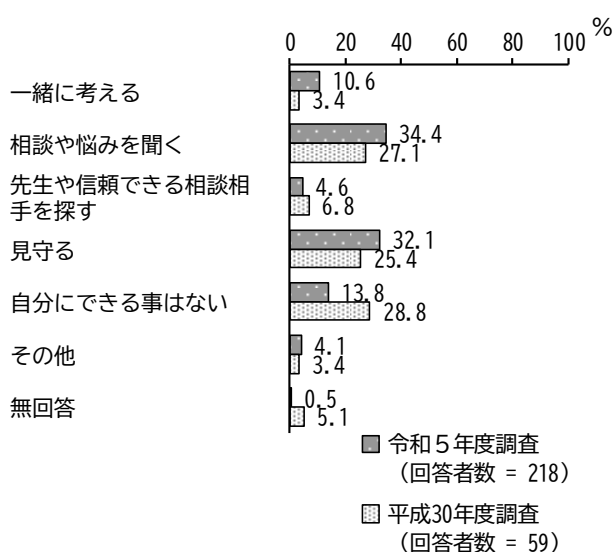
高校生では、「相談や悩みを聞く」の割合が34.4%と最も高く、次いで「見守る」の割合が32.1%、「自分にできる事はない」の割合が13.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「一緒に考える」「相談や悩みを聞く」「見守る」の割合が増加しています。一方、「自分にできる事はない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



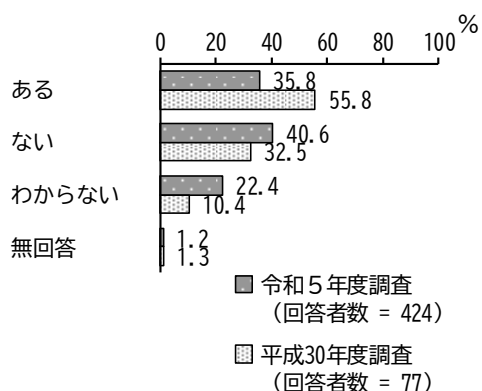
問 あなたは今、悩みがありますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 20、高校生：問 20)

中学生では、「ない」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「ある」の割合が 35.8%、「わからない」の割合が 22.4%となっています。

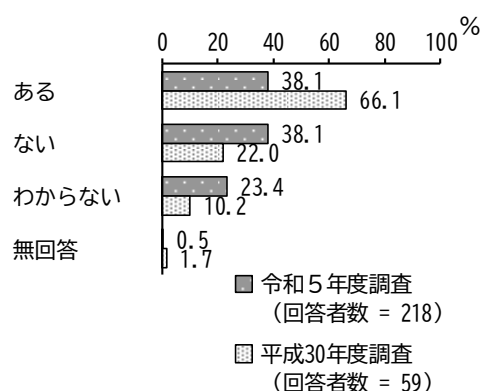
高校生では、「ある」、「ない」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.4%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「ない」「わからない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



悩みがある方にお聞きします。

問 どんなことに悩んでいるかをお答えください。(○はいくつでも)
(中学生：問 20－1、高校生：問 20－1)

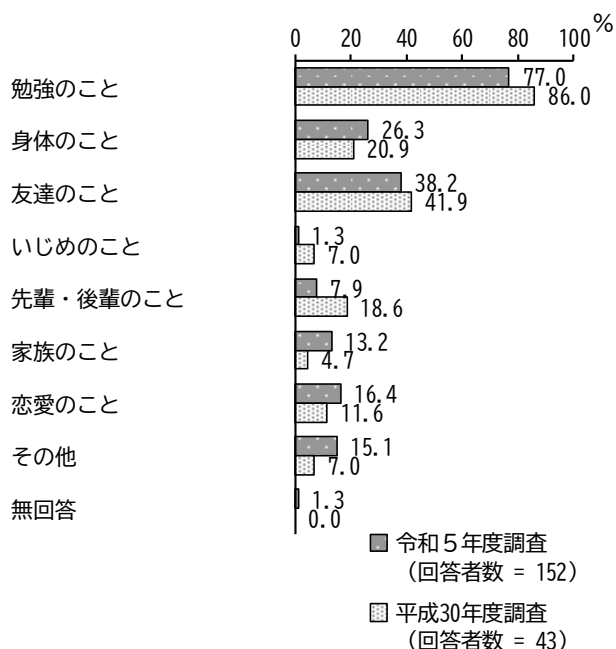
中学生では、「勉強のこと」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「友達のこと」の割合が 38.2%、「身体のこと」の割合が 26.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「身体のこと」「家族のこと」の割合が増加しています。一方、「勉強のこと」「いじめのこと」「先輩・後輩のこと」の割合が減少しています。

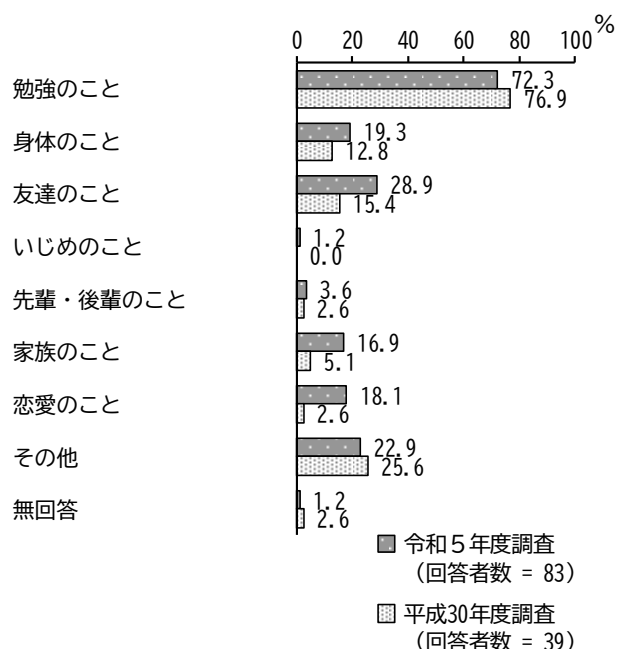
高校生では、「勉強のこと」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「友達のこと」の割合が 28.9%、「身体のこと」の割合が 19.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「身体のこと」「友達のこと」「家族のこと」「恋愛のこと」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



問 困ったとき、誰に相談をしますか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 21、高校生：問 21)

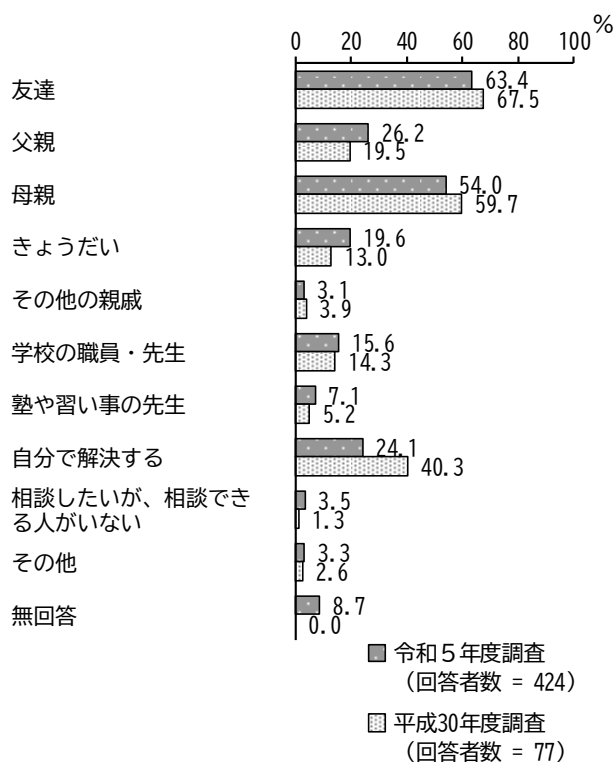
中学生では、「友達」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「母親」の割合が 54.0%、「父親」の割合が 26.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親」「きょうだい」の割合が増加しています。一方、「母親」「自分で解決する」の割合が減少しています。

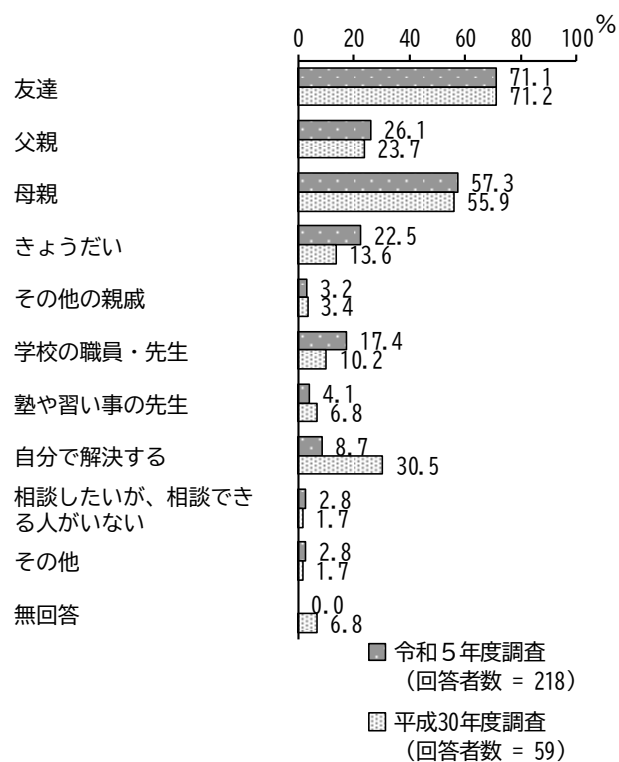
高校生では、「友達」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「母親」の割合が 57.3%、「父親」の割合が 26.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「きょうだい」「学校の職員・先生」の割合が増加しています。一方、「自分で解決する」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 どのような仲のよい友達がありますか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 22、高校生：問 22)

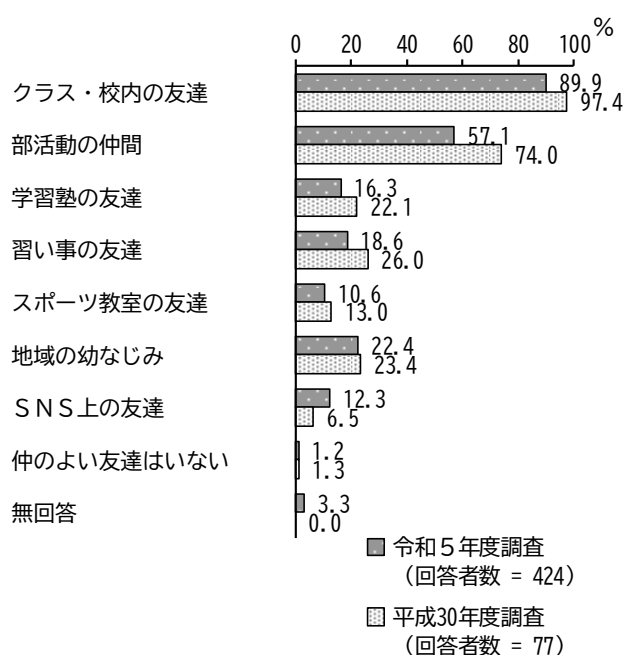
中学生では、「クラス・校内の友達」の割合が 89.9%と最も高く、次いで「部活動の仲間」の割合が 57.1%、「地域の幼なじみ」の割合が 22.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「SNS上の友達」の割合が増加しています。一方、「クラス・校内の友達」「部活動の仲間」「学習塾の友達」「習い事の友達」の割合が減少しています。

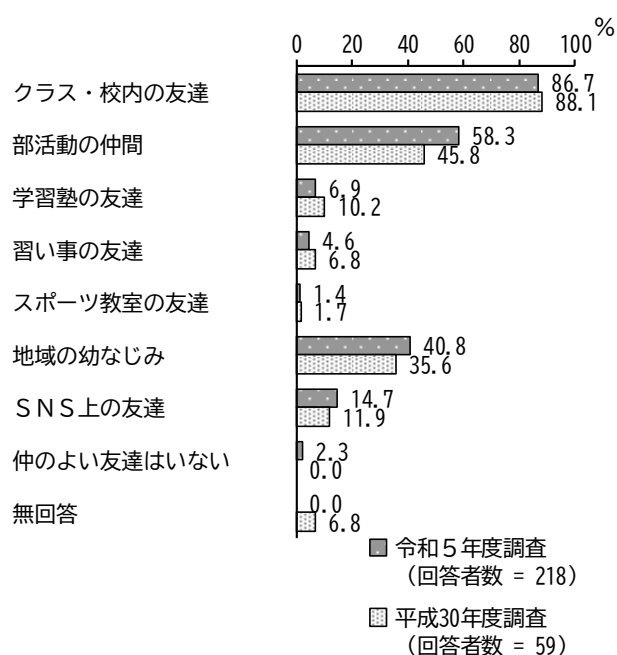
高校生では、「クラス・校内の友達」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「部活動の仲間」の割合が 58.3%、「地域の幼なじみ」の割合が 40.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「部活動の仲間」「地域の幼なじみ」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



問 あなたは自分専用として、次のものを持っていますか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 23、高校生：問 23)

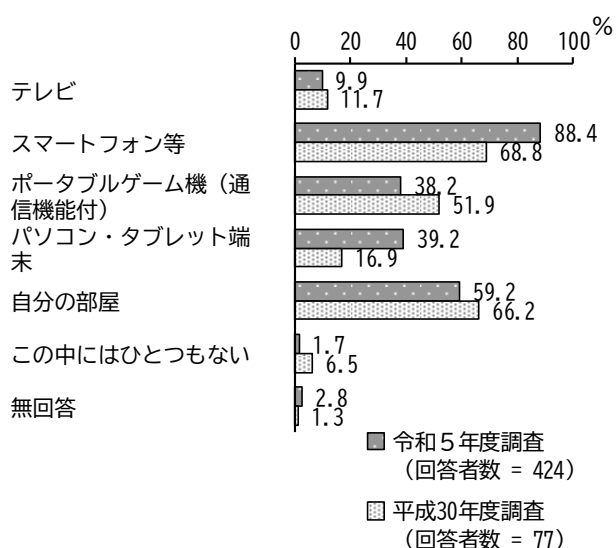
中学生では、「スマートフォン等」の割合が 88.4%と最も高く、次いで「自分の部屋」の割合が 59.2%、「パソコン・タブレット端末」の割合が 39.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「スマートフォン等」「パソコン・タブレット端末」の割合が増加しています。一方、「ポータブルゲーム機（通信機能付）」「自分の部屋」の割合が減少しています。

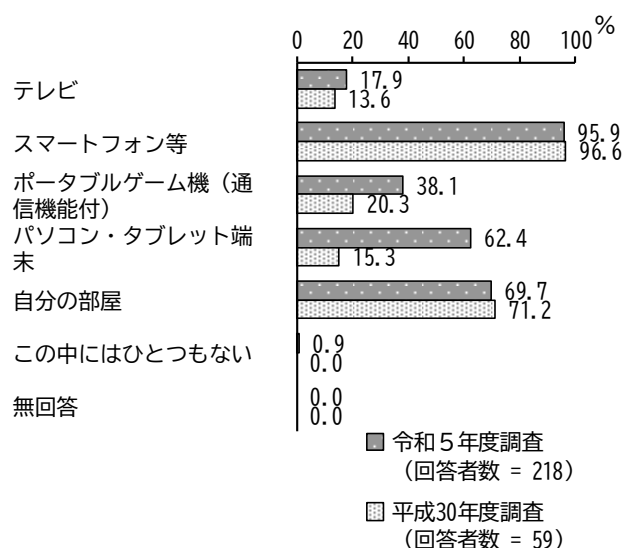
高校生では、「スマートフォン等」の割合が 95.9%と最も高く、次いで「自分の部屋」の割合が 69.7%、「パソコン・タブレット端末」の割合が 62.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ポータブルゲーム機（通信機能付）」「パソコン・タブレット端末」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



自分専用のスマートフォン、ポータブルゲーム、パソコンを持っている方にお聞きします。

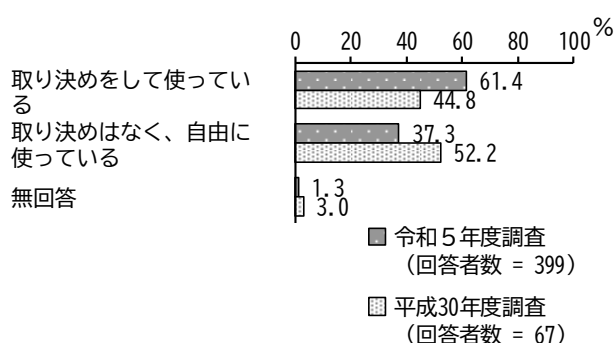
問 利用について家族できちんと取り決めをして使っていますか。
(○は1つだけ) (中学生：問 23－1、高校生：問 23－1)

中学生では、「取り決めをして使っている」の割合が 61.4%、「取り決めはなく、自由に使っている」の割合が 37.3%となっています。

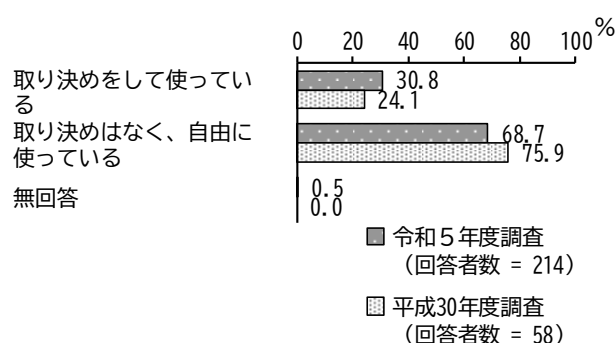
高校生では、「取り決めをして使っている」の割合が 30.8%、「取り決めはなく、自由に使っている」の割合が 68.7%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「取り決めをして使っている」の割合が増加しています。一方、「取り決めはなく、自由に使っている」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



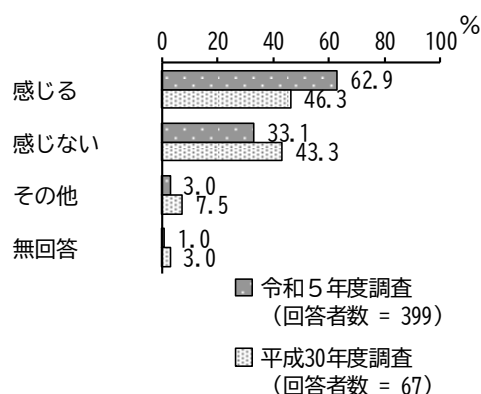
問 SNS等のインターネットに夢中になっていると感じますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 23－2、高校生：問 23－2)

中学生では、「感じる」の割合が 62.9%、「感じない」の割合が 33.1%となっています。

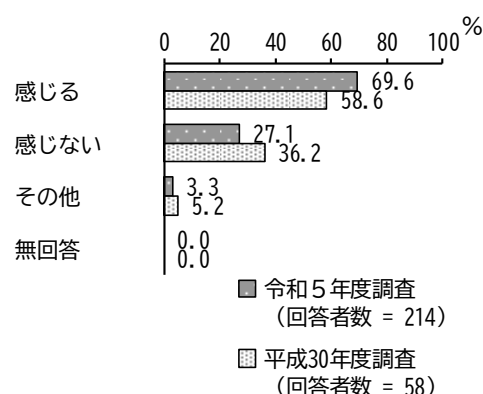
高校生では、「感じる」の割合が 69.6%、「感じない」の割合が 27.1%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「感じる」の割合が増加しています。一方、「感じない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



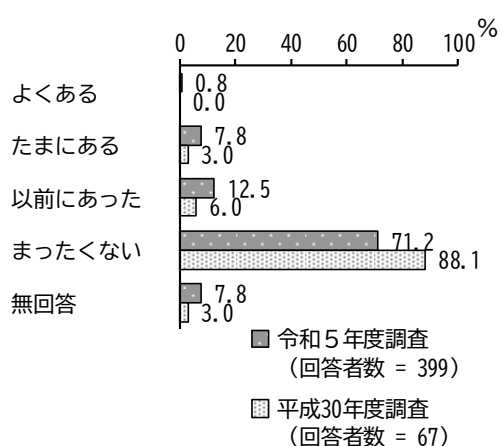
問 SNS等で、インターネット上でやり取りした相手からの言動等で嫌な思いや怖い思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 23－3、高校生：問 23－3)

中学生では、「まったくない」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「以前にあった」の割合が 12.5%となっています。

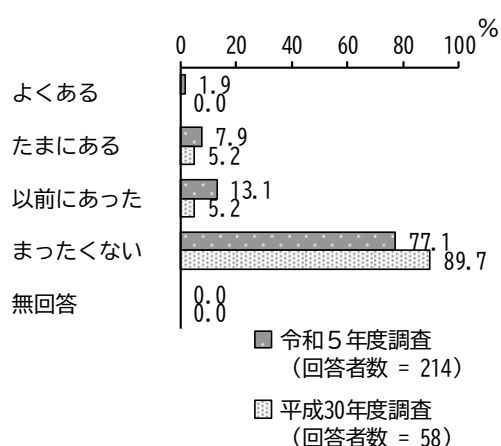
高校生では、「まったくない」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「以前にあった」の割合が 13.1%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「以前にあった」の割合が増加しています。一方、「まったくない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 ソーシャルゲーム等に課金をして、お金を使いすぎてしまったことがありますか。(○は1つだけ) (中学生：問 23－4、高校生：問 23－4)

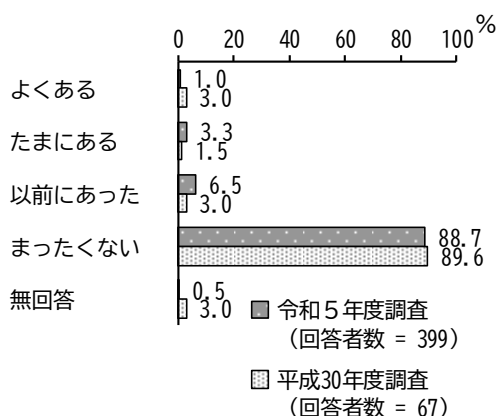
中学生では、「まったくない」の割合が 88.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

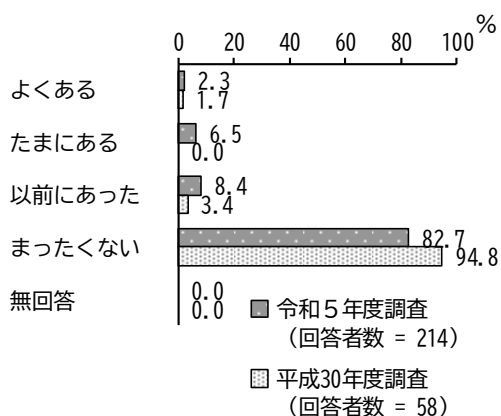
高校生では、「まったくない」の割合が 82.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「たまにある」の割合が増加しています。一方、「まったくない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 友達とコミュニケーションを図るときに使っている方法は次のうちどれですか。
(○は3つまで) (中学生：問 24、高校生：問 24)

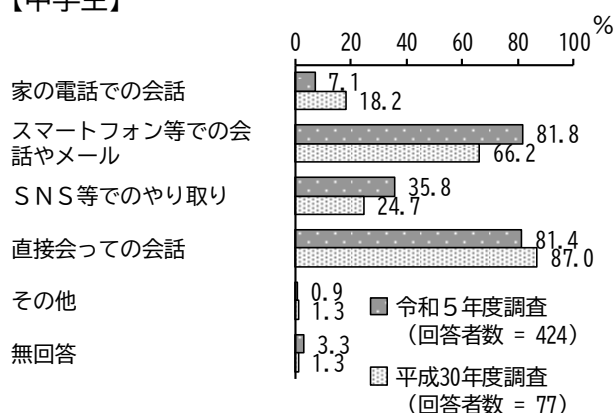
中学生では、「スマートフォン等での会話やメール」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「直接会っての会話」の割合が 81.4%、「SNS等でのやり取り」の割合が 35.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「スマートフォン等での会話やメール」「SNS等でのやり取り」の割合が増加しています。一方、「家の電話での会話」「直接会っての会話」の割合が減少しています。

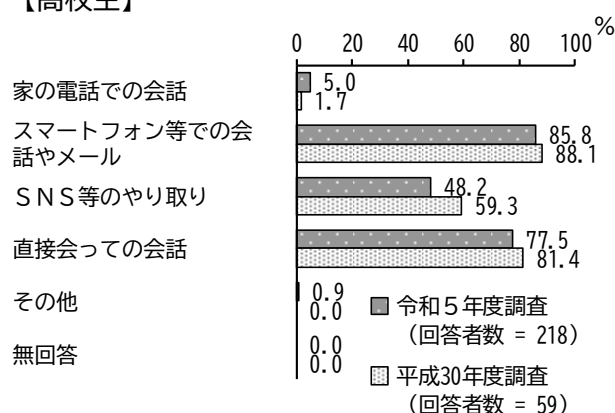
高校生では、「スマートフォン等での会話やメール」の割合が 85.8%と最も高く、次いで「直接会っての会話」の割合が 77.5%、「SNS等のやり取り」の割合が 48.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「SNS等のやり取り」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 自分にとって、とても大切だと思う友達とはどのような人ですか。
(○は1つだけ) (中学生：問 25、高校生：問 25)

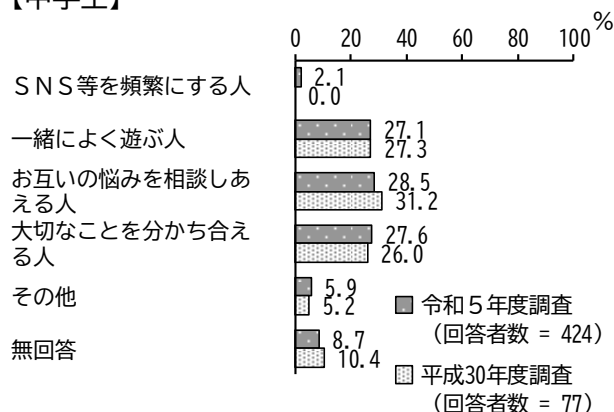
中学生では、「お互いの悩みを相談しあえる人」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「大切なことを分かち合える人」の割合が 27.6%、「一緒によく遊ぶ人」の割合が 27.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

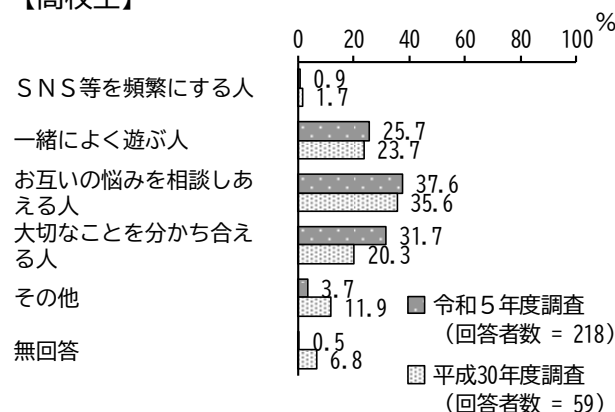
高校生では、「お互いの悩みを相談しあえる人」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「大切なことを分かち合える人」の割合が 31.7%、「一緒によく遊ぶ人」の割合が 25.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「大切なことを分かち合える人」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



(4) 放課後や休日について

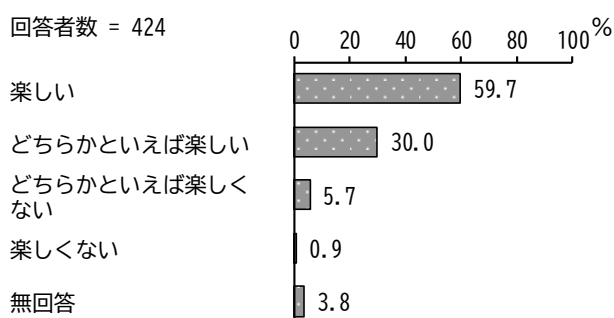
問 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(○は1つだけ)
(中学生：問 26、高校生：問 26)

中学生では、「楽しい」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 30.0%となっています。

高校生では、「楽しい」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 30.3%となっています。

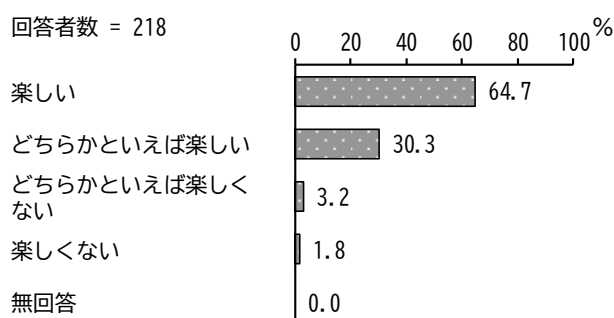
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



放課後の時間がどちらかといえば楽しくない、楽しくない方にお聞きします。

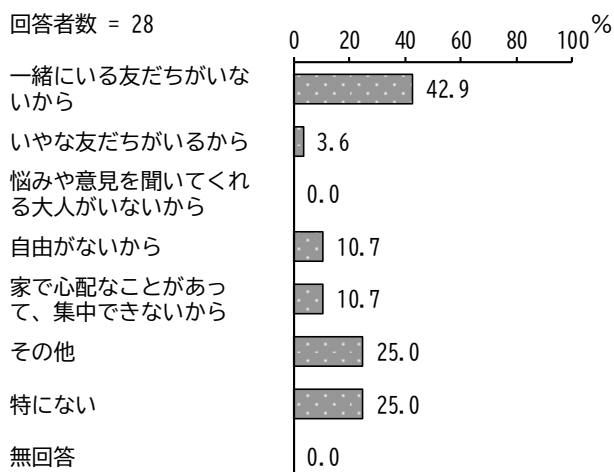
問 楽しくない理由は何ですか。(○はいくつでも)
(中学生：問 26-1、高校生：問 26-1)

中学生では、「一緒にいる友だちがいないから」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 25.0%、「自由がないから」、「家で心配なことがあって、集中できないから」の割合が 10.7%となっています。

高校生では、「一緒にいる友だちがいないから」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから」の割合が 27.3%、「自由がないから」の割合が 18.2%となっています。

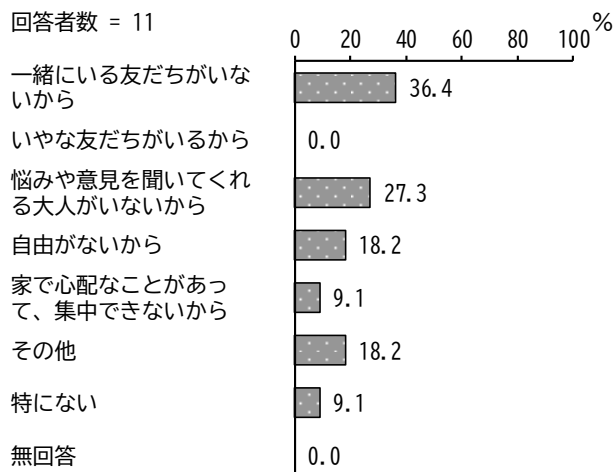
【中学生】

回答者数 = 28



【高校生】

回答者数 = 11



問 普段、学校が終わって家に帰ると、家に誰かいますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 27、高校生：問 27)

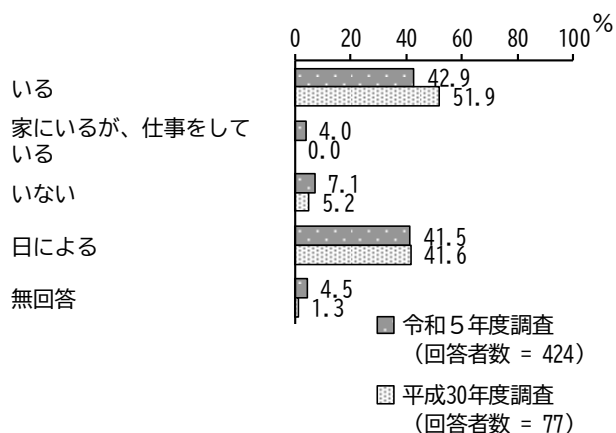
中学生では、「いる」の割合が42.9%と最も高く、次いで「日による」の割合が41.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いる」の割合が減少しています。

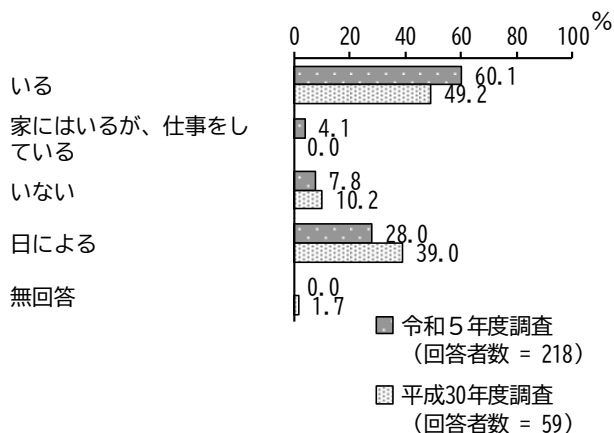
高校生では、「いる」の割合が60.1%と最も高く、次いで「日による」の割合が28.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いる」の割合が増加しています。一方、「日による」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



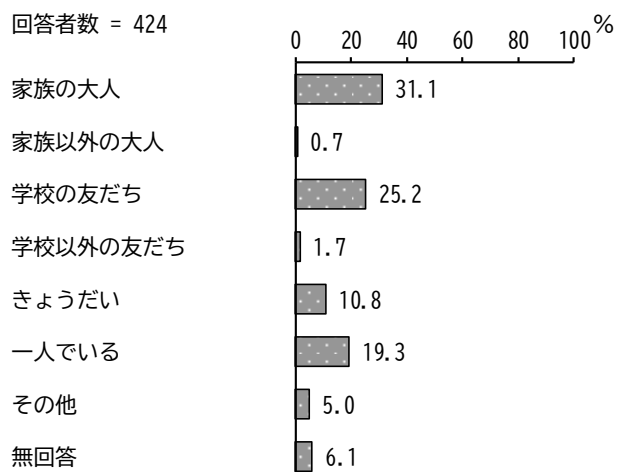
問 あなたは放課後に誰と過ごすことが一番多いですか。(○は1つだけ)
(中学生：問 28、高校生：問 28)

中学生では、「家族の大人」の割合が31.1%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が25.2%、「一人でのいる」の割合が19.3%となっています。

高校生では、「学校の友だち」の割合が33.9%と最も高く、次いで「家族の大人」の割合が32.1%、「一人でのいる」の割合が19.7%となっています。

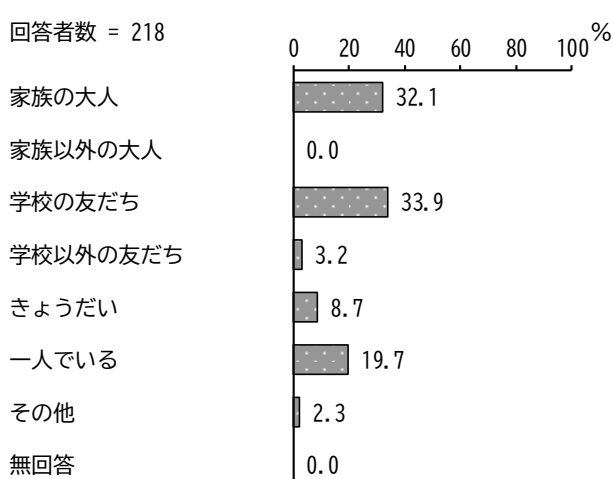
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

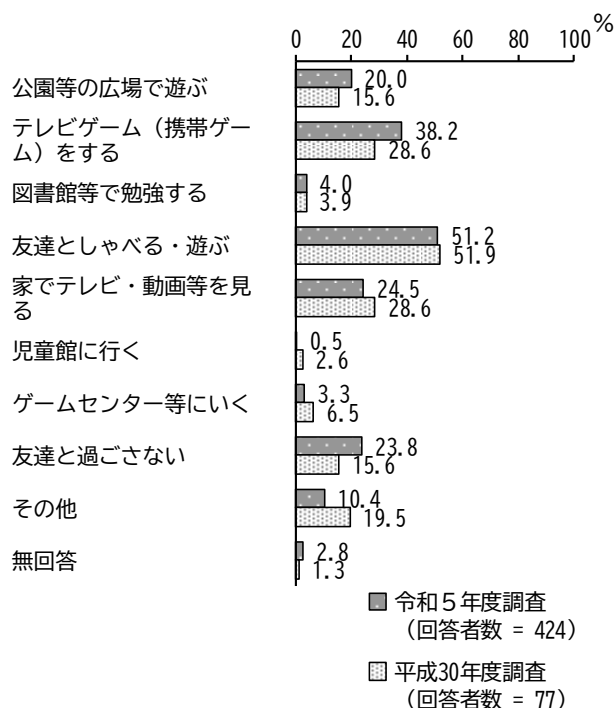
回答者数 = 218



問 学校が終わってから友達とどんな事をして過ごしていますか。(○は3つまで)
(中学生：問 29)

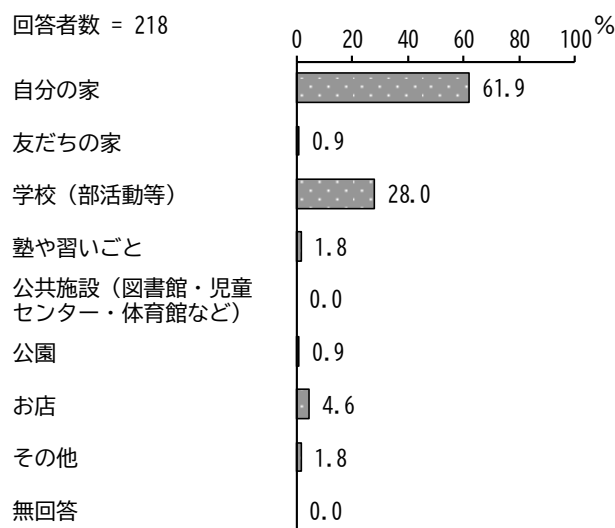
中学生では、「友達としゃべる・遊ぶ」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「テレビゲーム(携帯ゲーム)をする」の割合が 38.2%、「家でテレビ・動画等を見る」の割合が 24.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「テレビゲーム(携帯ゲーム)をする」「友達と過ごさない」の割合が増加しています。



問 あなたは放課後にどこで過ごすことが一番多いですか。(○は1つだけ)
(高校生：問 29)

高校生では、「自分の家」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「学校(部活動等)」の割合が 28.0%となっています。

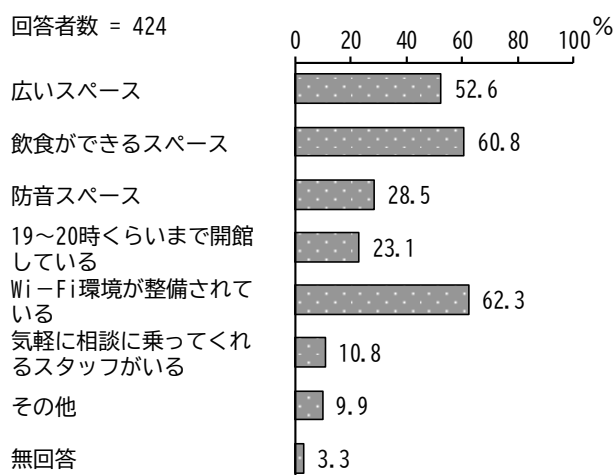


問 あなたは放課後過ごすのに、どんな公共施設がある行ってみたいと思いますか。
(○はいくつでも) (中学生：問 30、高校生：問 30)

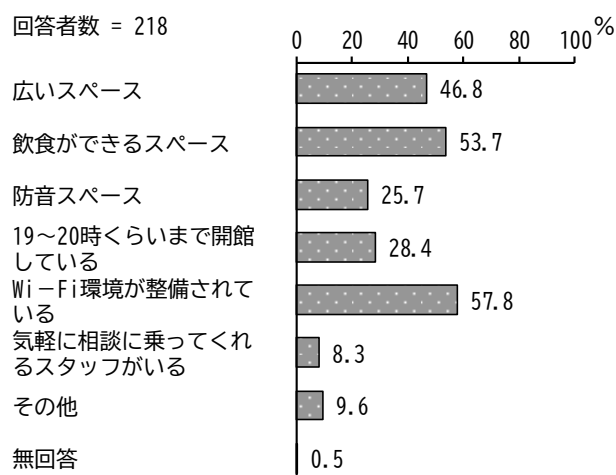
中学生では、「Wi-Fi 環境が整備されている」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「飲食ができるスペース」の割合が 60.8%、「広いスペース」の割合が 52.6%となっています。

高校生では、「Wi-Fi 環境が整備されている」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「飲食ができるスペース」の割合が 53.7%、「広いスペース」の割合が 46.8%となっています。

【中学生】



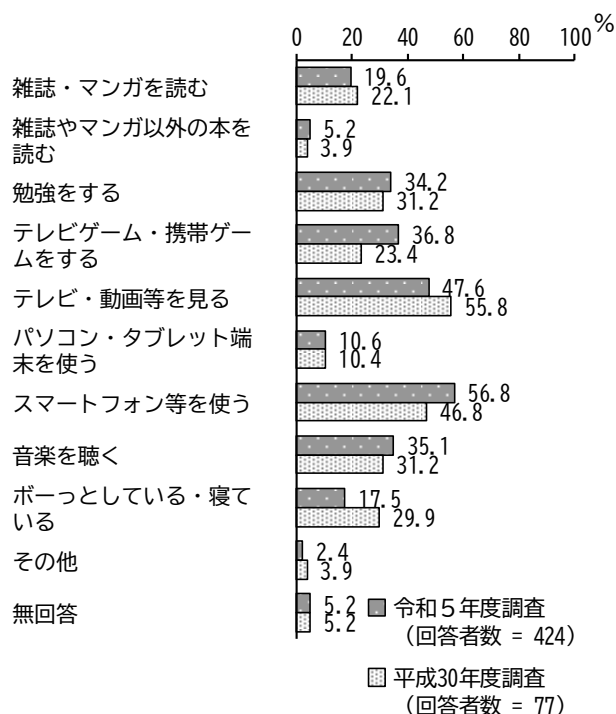
【高校生】



問 自宅に1人での時はどんなふうに過ごしていますか。(○は3つまで)
(中学生：問 31)

中学生では、「スマートフォン等を使う」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「テレビ・動画等を見る」の割合が 47.6%、「テレビゲーム・携帯ゲームをする」の割合が 36.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「テレビゲーム・携帯ゲームをする」「スマートフォン等を使う」の割合が増加しています。一方、「テレビ・動画等を見る」「ボーっとしている・寝ている」の割合が減少しています。



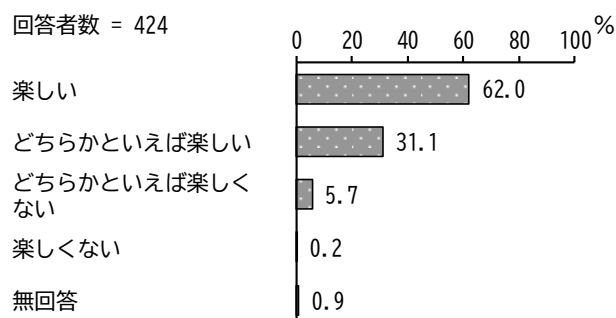
問 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(○は1つだけ)
(中学生：問 32、高校生：問 36)

中学生では、「楽しい」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 31.1%となっています。

高校生では、「楽しい」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 28.0%となっています。

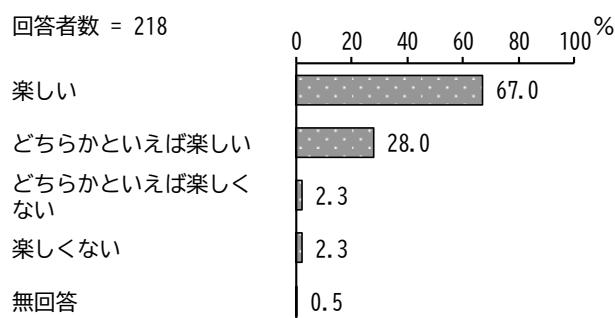
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



自宅にいるときの時間がどちらかといえば楽しくない、楽しくない方にお聞きします。

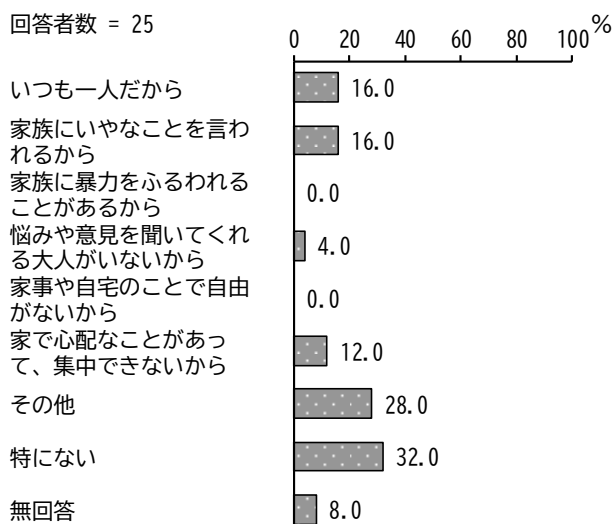
問 楽しくない理由は何ですか。(中学生：問 32-1、高校生：問 36-1)

中学生では、「特にない」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「いつも一人だから」、「家族にいやなことを言われるから」の割合が 16.0%となっています。

高校生では、「家で心配なことがあって、集中できないから」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「いつも一人だから」、「家族にいやなことを言われるから」、「家事や自宅のことで自由がないから」の割合が 20.0%となっています。

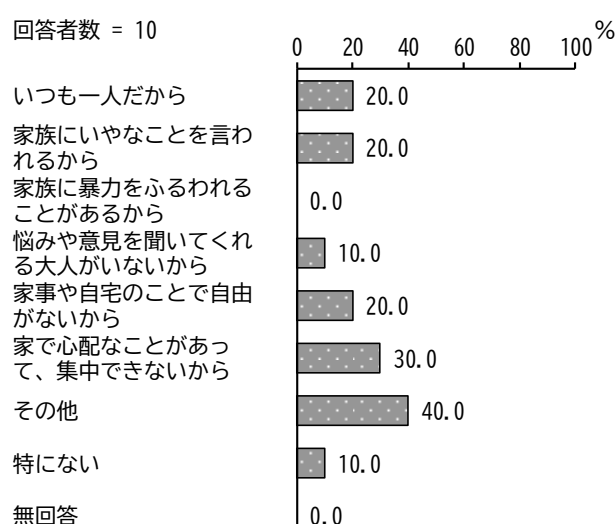
【中学生】

回答者数 = 25



【高校生】

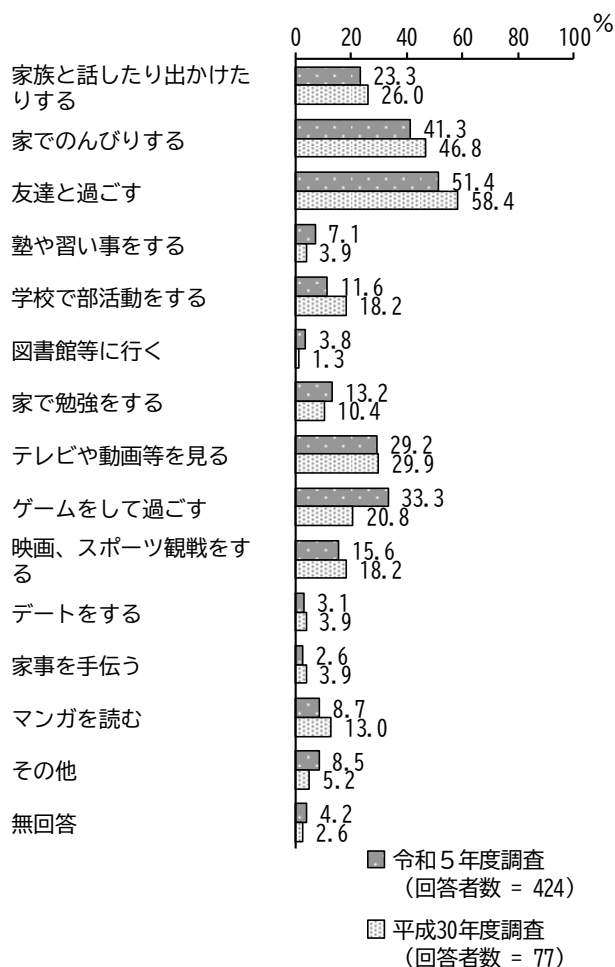
回答者数 = 10



問 自由な時間が今より増えたらどんなことをして過ごしたいですか。
(○は3つまで) (中学生：問 33)

中学生では、「友達と過ごす」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「家でのもんびりする」の割合が 41.3%、「ゲームをして過ごす」の割合が 33.3%となっています。

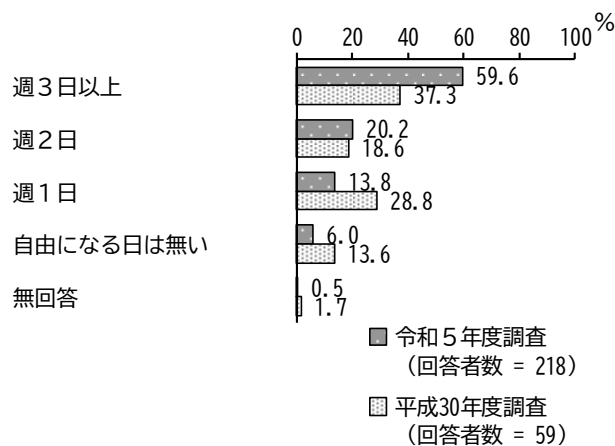
平成 30 年度調査と比較すると、「ゲームをして過ごす」の割合が増加しています。一方、「家でのもんびりする」「友達と過ごす」「学校で部活動をする」の割合が減少しています。



問 一週間のうち、部活動や塾その他の用事がなく自由に使える日は何日ですか。
(○は1つだけ) (高校生：問 31)

高校生では、「週3日以上」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「週2日」の割合が 20.2%、「週1日」の割合が 13.8%となっています。

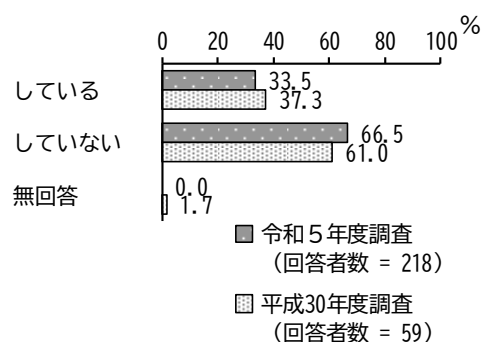
平成 30 年度調査と比較すると、「週3日以上」の割合が増加しています。一方、「週1日」「自由になる日は無い」の割合が減少しています。



問 今、アルバイトをしていますか。(○は1つだけ)
(高校生：問 32)

高校生では、「している」の割合が 33.5%、「していない」の割合が 66.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「していない」の割合が増加しています。

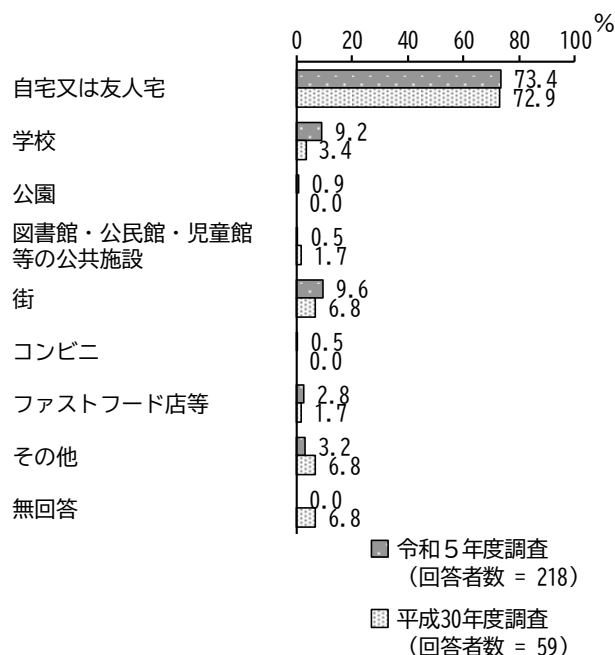


問 休日等は、どこで誰と何をして過ごしていますか。(○は1つだけ)
(高校生：問 33)

①どこで

高校生では、「自宅又は友人宅」の割合が 73.4%と最も高くなっています。

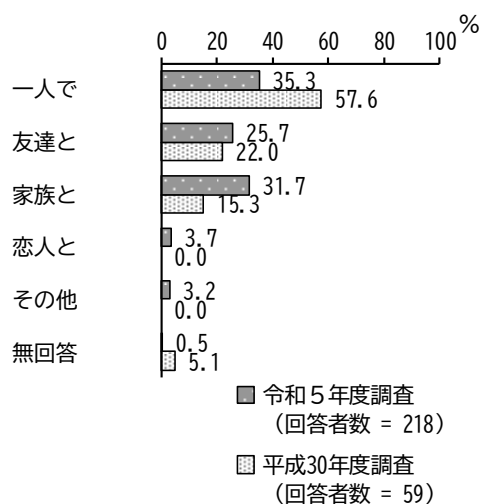
平成 30 年度調査と比較すると、「学校」の割合が増加しています。



②誰と

高校生では、「一人で」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「家族と」の割合が 31.7%、「友達と」の割合が 25.7%となっています。

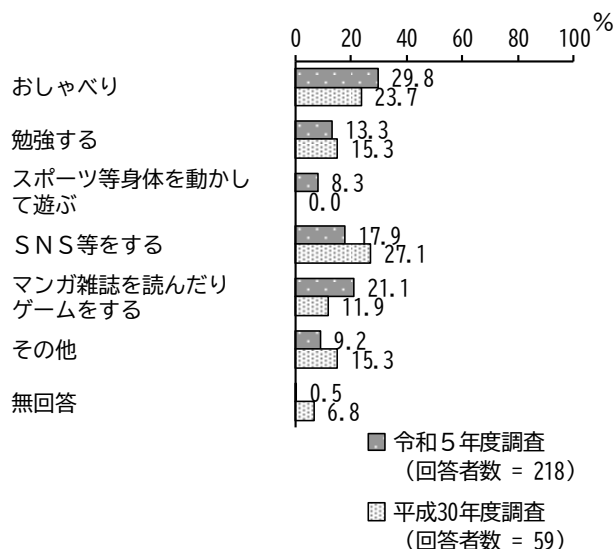
平成 30 年度調査と比較すると、「家族と」の割合が増加しています。一方、「一人で」の割合が減少しています。



③何をして

高校生では、「おしゃべり」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「マンガ雑誌を読んだりゲームをする」の割合が 21.1%、「SNS等をする」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「おしゃべり」「スポーツ等身体を動かして遊ぶ」「マンガ雑誌を読んだりゲームをする」の割合が増加しています。一方、「SNS等をする」の割合が減少しています。



問 普段、学校や地域で活動している事は何ですか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 34、高校生：問 34)

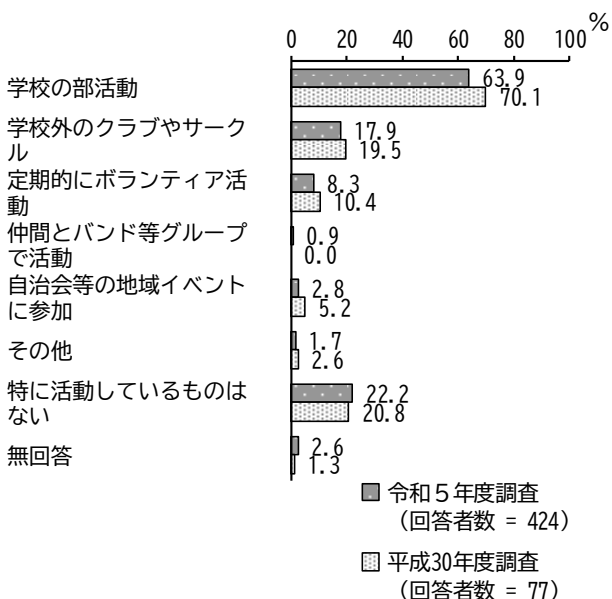
中学生では、「学校の部活動」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「特に活動しているものはない」の割合が 22.2%、「学校外のクラブやサークル」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「学校の部活動」の割合が減少しています。

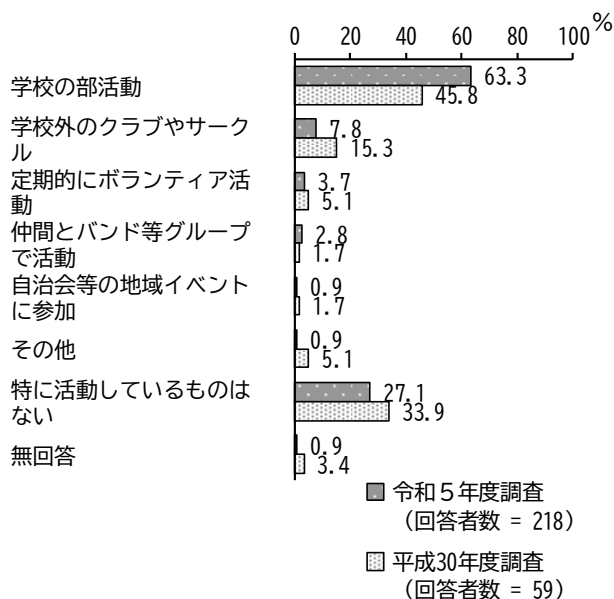
高校生では、「学校の部活動」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「特に活動しているものはない」の割合が 27.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「学校の部活動」の割合が増加しています。一方、「学校外のクラブやサークル」「特に活動しているものはない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 あなたが何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときですか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 35、高校生：問 35)

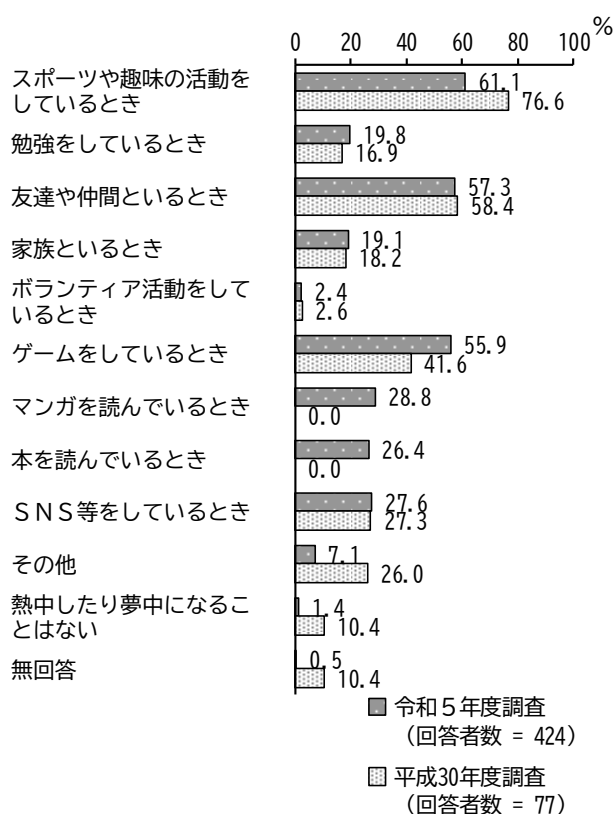
中学生では、「スポーツや趣味の活動をしているとき」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「友達や仲間といるとき」の割合が 57.3%、「ゲームをしているとき」の割合が 55.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ゲームをしているとき」「マンガを読んでいるとき」「本を読んでいるとき」の割合が増加しています。一方、「スポーツや趣味の活動をしているとき」「熱中したり夢中になることはない」の割合が減少しています。

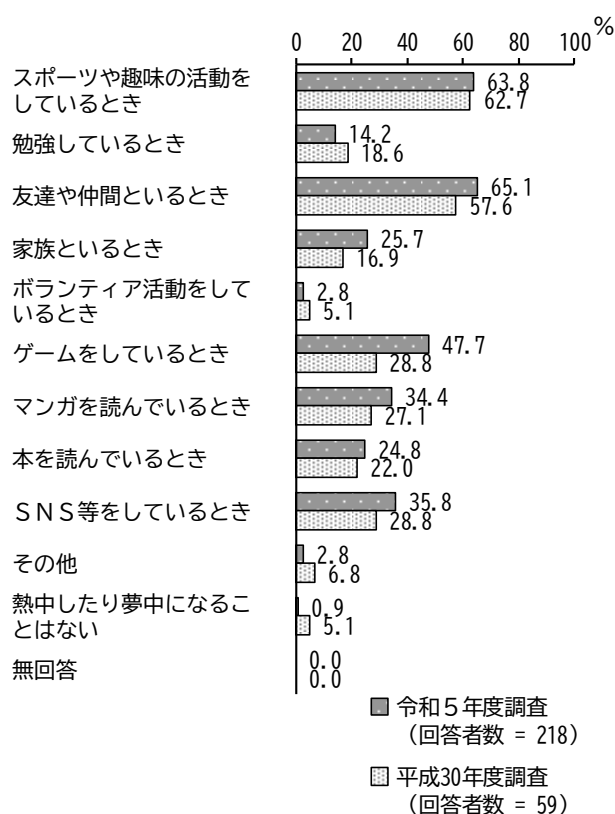
高校生では、「友達や仲間といるとき」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「スポーツや趣味の活動をしているとき」の割合が 63.8%、「ゲームをしているとき」の割合が 47.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友達や仲間といるとき」「家族といるとき」「ゲームをしているとき」「マンガを読んでいるとき」「SNS等をしているとき」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



(5) あなたの将来について

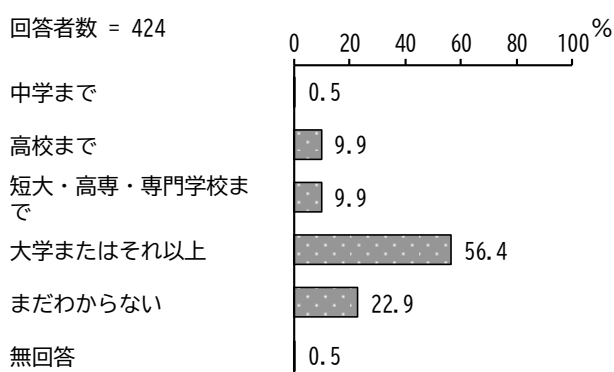
問 あなたは将来どの段階まで進学したいですか。(○は1つだけ)
(中学生：問 36、高校生：問 37)

中学生では、「大学またはそれ以上」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 22.9%となっています。

高校生では、「大学またはそれ以上」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」の割合が 16.1%、「まだわからない」の割合が 12.4%となっています。

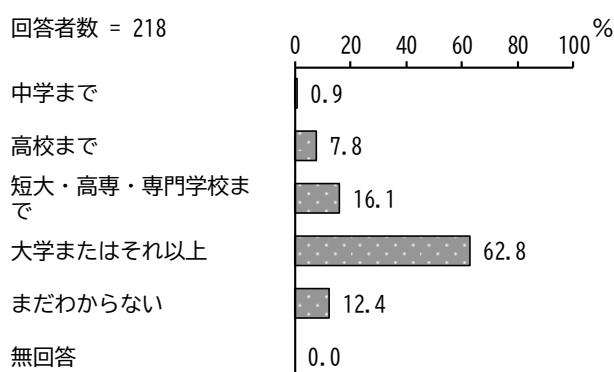
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



将来、進学したい方にお聞きします。

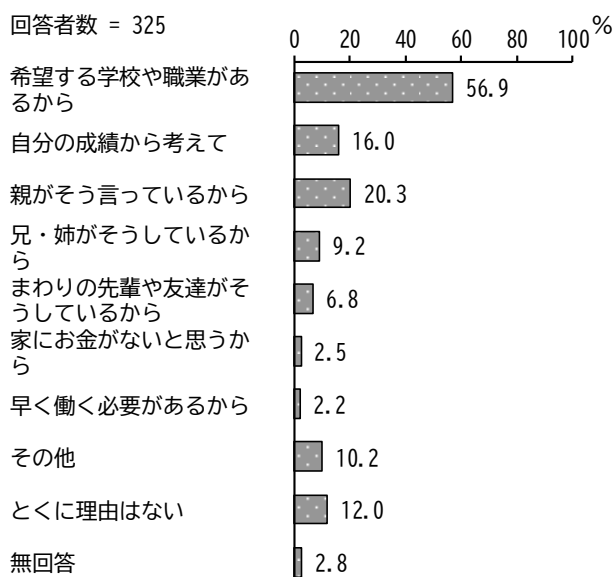
問 その理由を教えてください。(○はいくつでも)
(中学生：問 36-1、高校生：問 37-1)

中学生では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「親がそう言っているから」の割合が 20.3%、「自分の成績から考えて」の割合が 16.0%となっています。

高校生では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が 18.8%、「親がそう言っているから」の割合が 13.1%となっています。

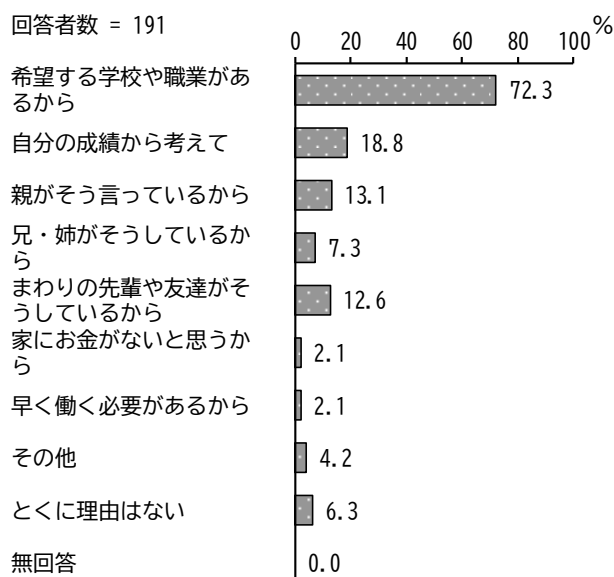
【中学生】

回答者数 = 325



【高校生】

回答者数 = 191



問 将来の職業についてお聞きします。(中学生：問 37、高校生：問 38)

①将来の職業のイメージをぼんやりとでも思い描くことはできますか。(〇は1つだけ)

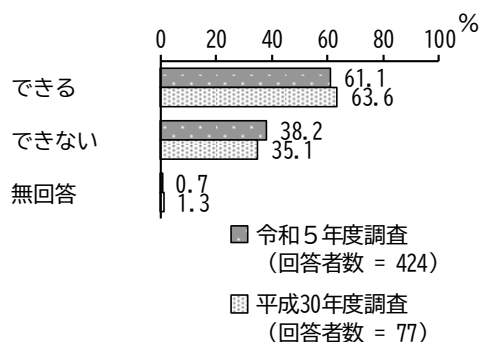
中学生では、「できる」の割合が 61.1%、「できない」の割合が 38.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

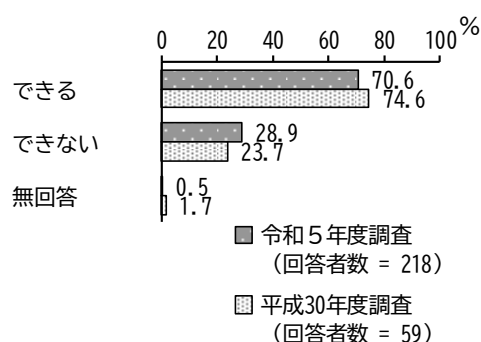
高校生では、「できる」の割合が 70.6%、「できない」の割合が 28.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「できない」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



将来の職業のイメージをぼんやりとでも思い描くことができない方にお聞きします。

問 できない理由をお答えください。(高校生：問 38)

高校生では、「自分の夢ややりたいことで生活していけるか不安だから」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.7%、「将来に夢や希望をもてないから」の割合が 30.2%となっています。

回答者数 = 63

自分の夢ややりたいことで生活していけるか不安だから

今考えることではないから (その時になったら考えればいい)

周りの人に合わせようと思うので、考えていない

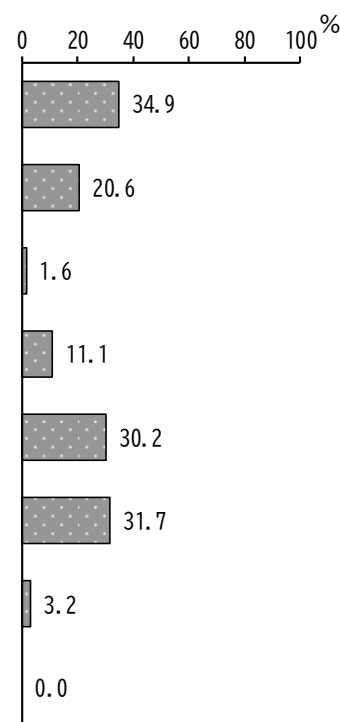
将来について考える余裕がないから (毎日の生活で精一杯)

将来に夢や希望をもてないから

わからない

その他

無回答



②仕事に対するイメージについて、あなたの考えをお答えください。(〇はいくつでも)

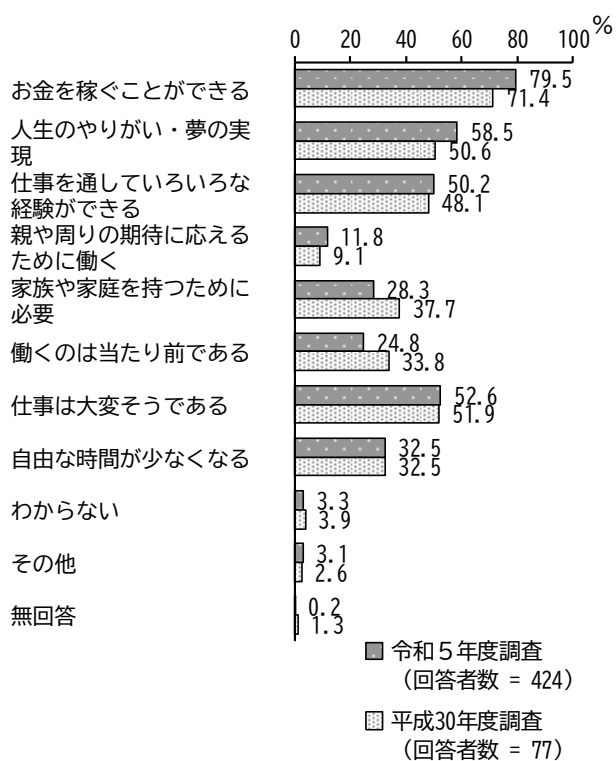
中学生では、「お金を稼ぐことができる」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「人生のやりがい・夢の実現」の割合が 58.5%、「仕事は大変そうである」の割合が 52.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「お金を稼ぐことができる」「人生のやりがい・夢の実現」の割合が増加しています。一方、「家族や家庭を持つために必要」「働くのは当たり前である」の割合が減少しています。

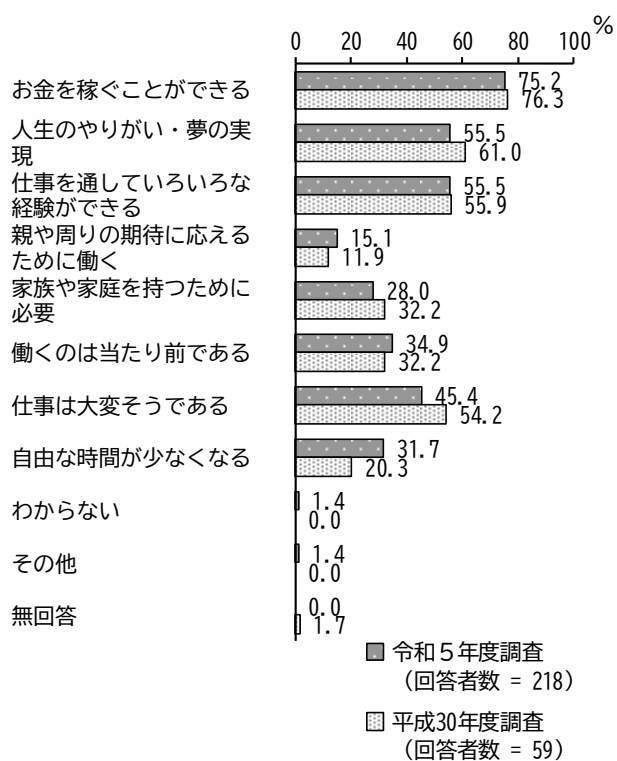
高校生では、「お金を稼ぐことができる」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「人生のやりがい・夢の実現」「仕事を通していろいろな経験ができる」の割合が 55.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自由な時間が少なくなる」の割合が増加しています。一方、「人生のやりがい・夢の実現」「仕事は大変そうである」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



③職業のイメージを具体的にするために役立つものはなんだと思いますか。(〇は3つまで)

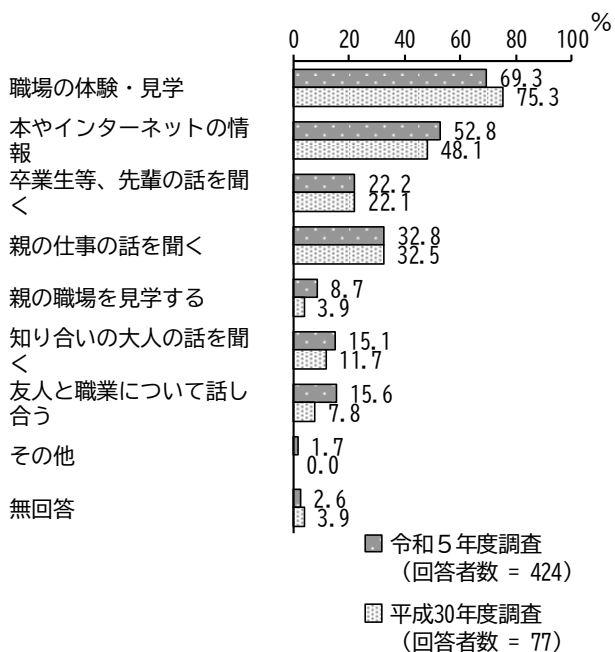
中学生では、「職場の体験・見学」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「本やインターネットの情報」の割合が 52.8%、「親の仕事の話を聞く」の割合が 32.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人と職業について話し合う」の割合が増加しています。一方、「職場の体験・見学」の割合が減少しています。

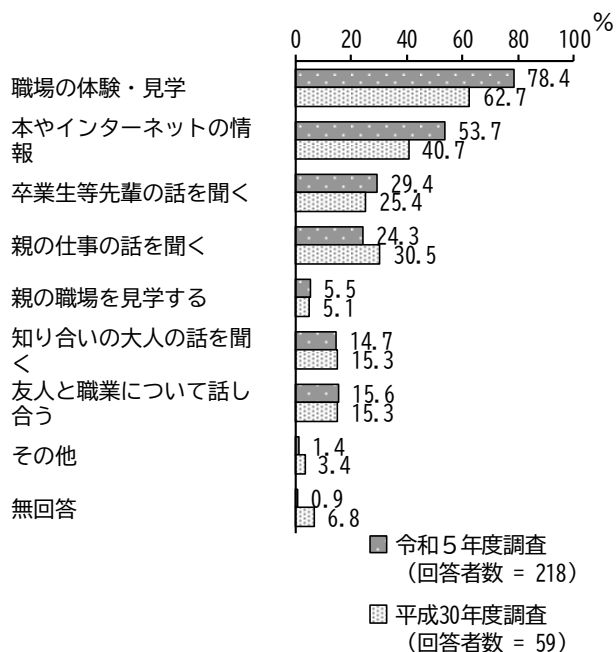
高校生では、「職場の体験・見学」の割合が 78.4%と最も高く、次いで「本やインターネットの情報」の割合が 53.7%、「卒業生等先輩の話を聞く」の割合が 29.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「職場の体験・見学」「本やインターネットの情報」の割合が増加しています。一方、「親の仕事の話を聞く」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 学業を終えて社会に出た時の事を考えて、どのようなことを不安に思いますか。
(○はいくつでも) (中学生：問 38、高校生：問 39)

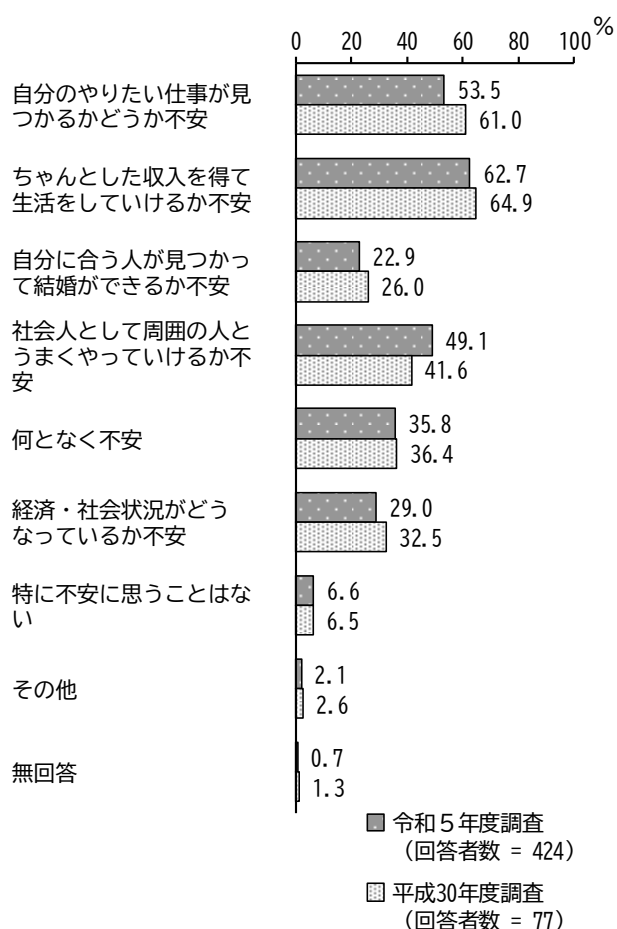
中学生では、「ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が 53.5%、「社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安」の割合が 49.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安」の割合が増加しています。一方、「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が減少しています。

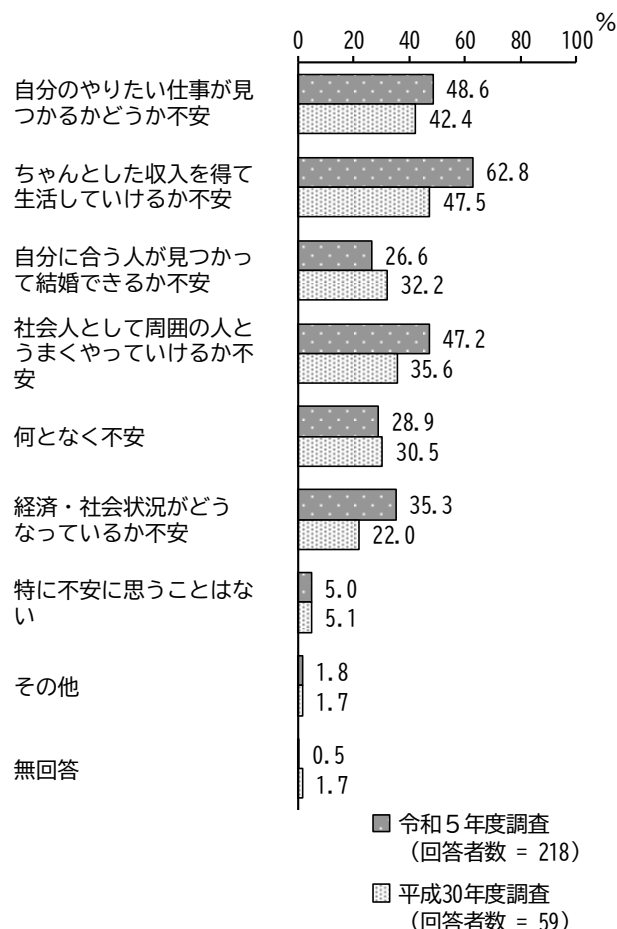
高校生では、「ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が 48.6%、「社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安」の割合が 47.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」「ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安」「社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安」「経済・社会状況がどうなっているか不安」の割合が増加しています。一方、「自分に合う人が見つかって結婚できるか不安」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 家族のあり方についてお聞きします。(中学生：問 39、高校生：問 40)

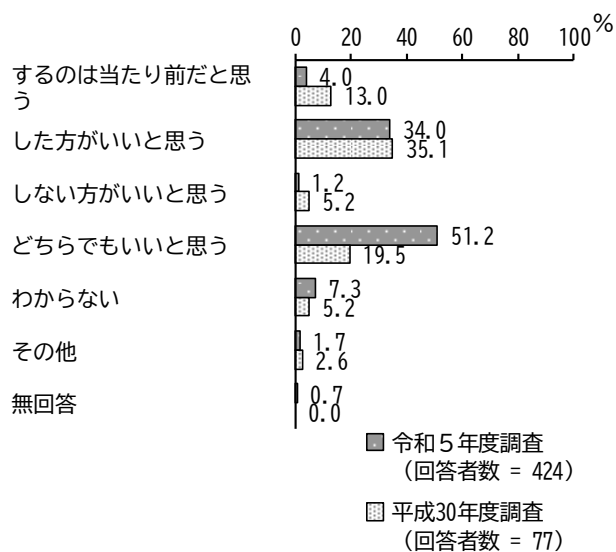
①結婚についてどう思いますか。(○は1つだけ)

中学生では、「どちらでもいいと思う」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「した方がいいと思う」の割合が 34.0%となっています。

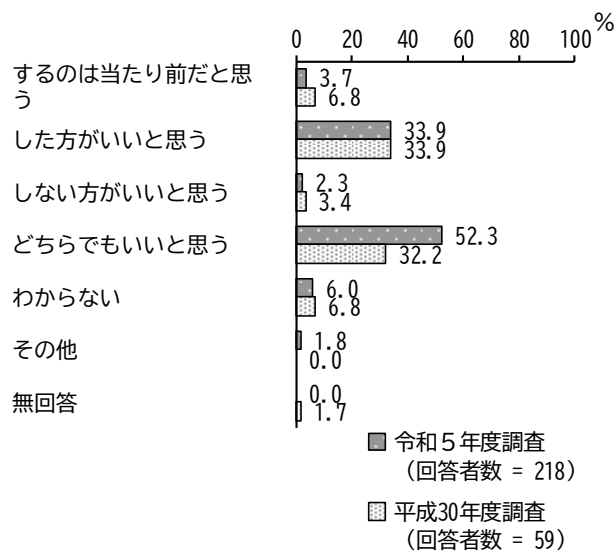
高校生では、「どちらでもいいと思う」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「した方がいいと思う」の割合が 33.9%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「どちらでもいいと思う」の割合が増加しています。一方、「するのは当たり前だと思う」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



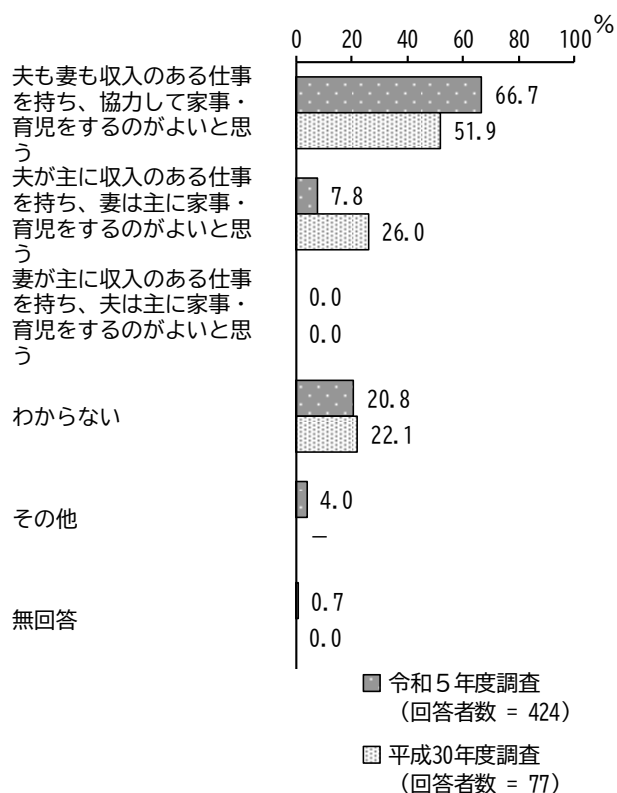
②将来結婚した場合、家事や育児はどのようにするのがよいと思いますか。(〇は1つだけ)

中学生では、「夫も妻も収入のある仕事を持ち、協力して家事・育児をするのがよいと思う」の割合が66.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が20.8%となっています。

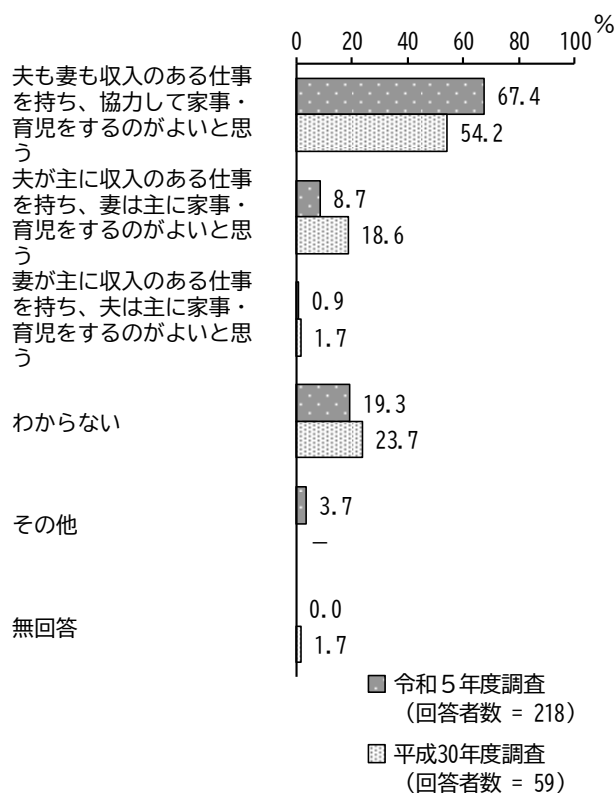
高校生では、「夫も妻も収入のある仕事を持ち、協力して家事・育児をするのがよいと思う」の割合が67.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が19.3%となっています。

中学生、高校生ともに、平成30年度調査と比較すると、「夫も妻も収入のある仕事を持ち、協力して家事・育児をするのがよいと思う」の割合が増加しています。一方、「夫が主に収入のある仕事を持ち、妻は主に家事・育児をするのがよいと思う」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



※前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

③欲しい子どもの人数は何人ですか。(○は1つだけ)

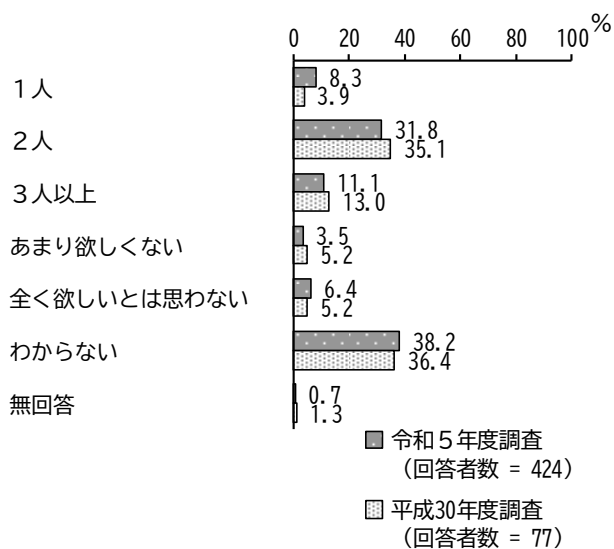
中学生では、「わからない」の割合が38.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が31.8%、「3人以上」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

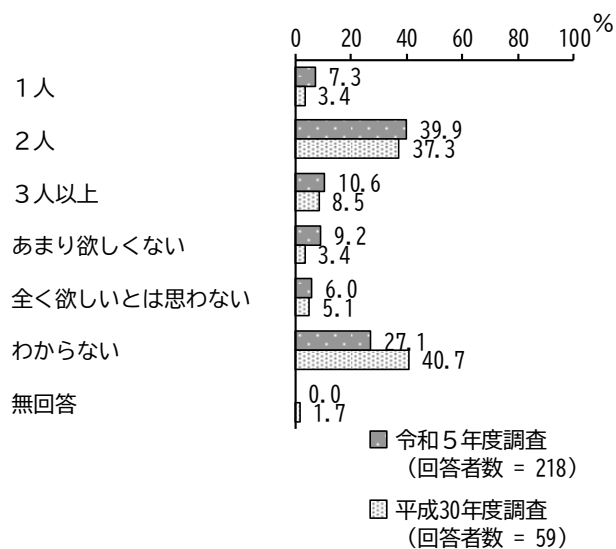
高校生では、「2人」の割合が39.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.1%、「3人以上」の割合が10.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あまり欲しくない」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



④子どもを持つことのイメージについて、あなたの考えをお答えください。(〇は3つまで)

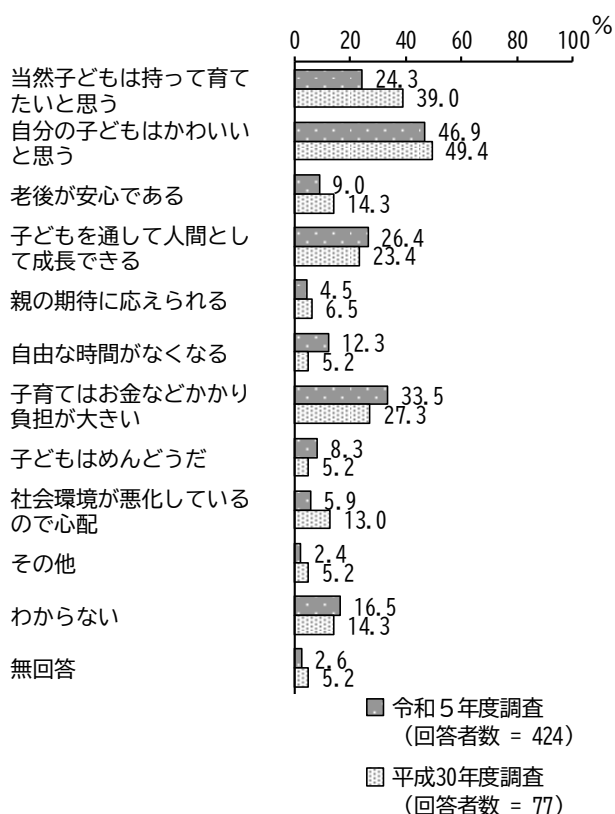
中学生では、「自分の子どもはかわいいと思う」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「子育てはお金などかかり負担が大きい」の割合が 33.5%、「子どもを通して人間として成長できる」の割合が 26.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自由な時間がなくなる」「子育てはお金などかかり負担が大きい」の割合が増加しています。一方、「当然子どもは持って育てたいと思う」「老後が安心である」「社会環境が悪化しているので心配」の割合が減少しています。

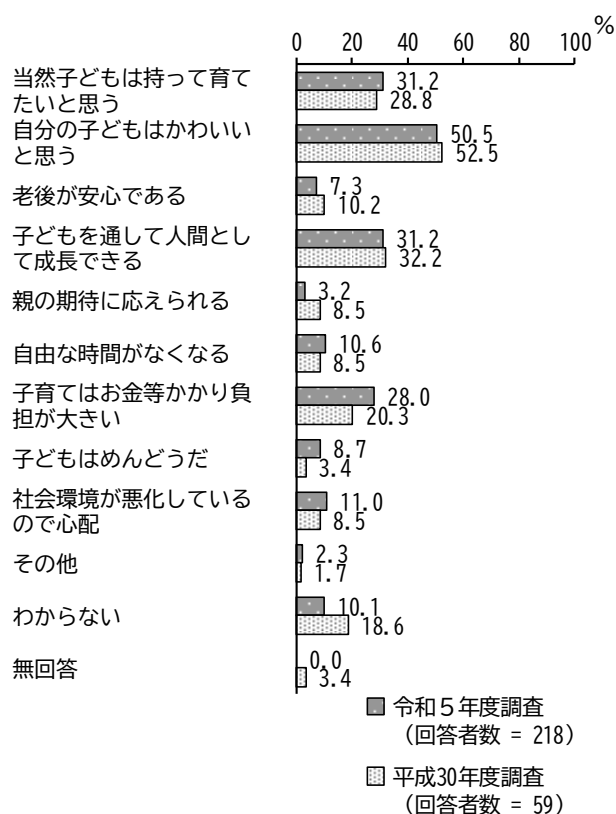
高校生では、「自分の子どもはかわいいと思う」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「当然子どもは持って育てたいと思う」、「子どもを通して人間として成長できる」の割合が 31.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てはお金等かかり負担が大きい」「子どもはめんどろだ」の割合が増加しています。一方、「親の期待に応えられる」「わからない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



(6) 子どもの権利について

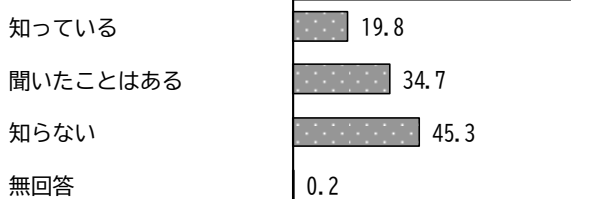
問 東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）を知っていますか？（○は1つだけ）（中学生：問 40、高校生：問 41）

中学生では、「知らない」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 34.7%、「知っている」の割合が 19.8%となっています。

高校生では、「知らない」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 18.8%、「知っている」の割合が 12.4%となっています。

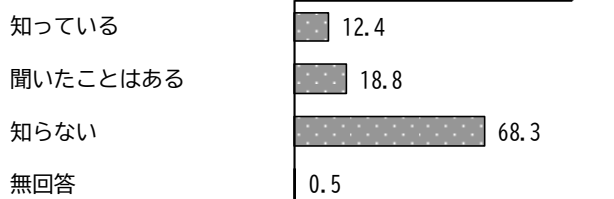
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



問 あなたは、自分を大切にしていますか。（○は1つだけ）（中学生：問 41、高校生：問 42）

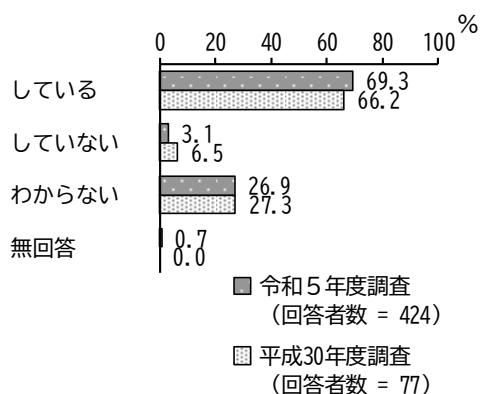
中学生では、「している」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 26.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

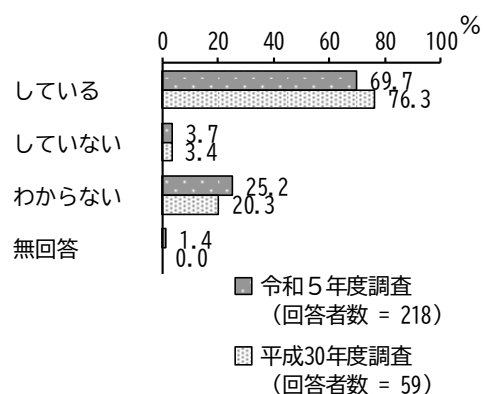
高校生では、「している」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 25.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「している」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



問 あなたは、他の人を大切にしていますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 42、高校生：問 43)

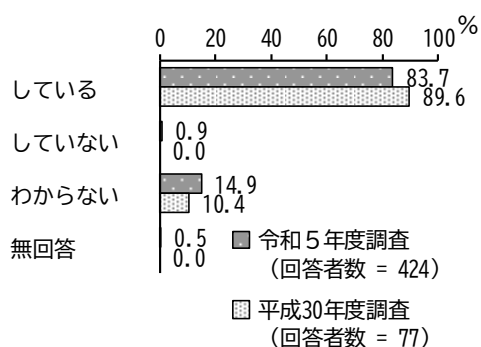
中学生では、「している」の割合が 83.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 14.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「している」の割合が減少しています。

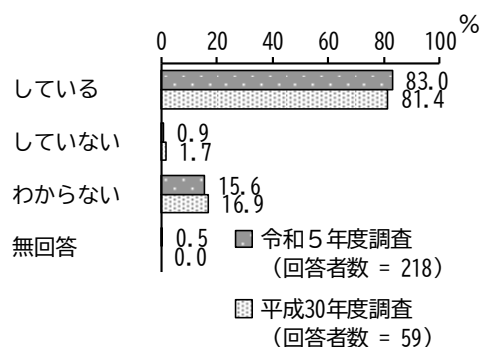
高校生では、「している」の割合が 83.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 15.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】



問 あなたは、社会のルールを守るように努めていますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 43、高校生：問 44)

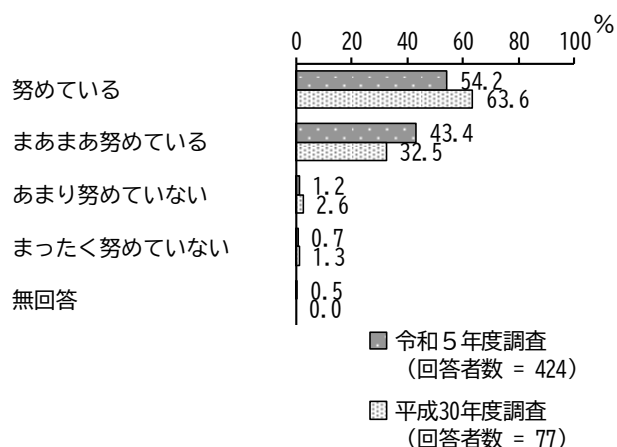
中学生では、「努めている」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「まあまあ努めている」の割合が 43.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まあまあ努めている」の割合が増加しています。一方、「努めている」の割合が減少しています。

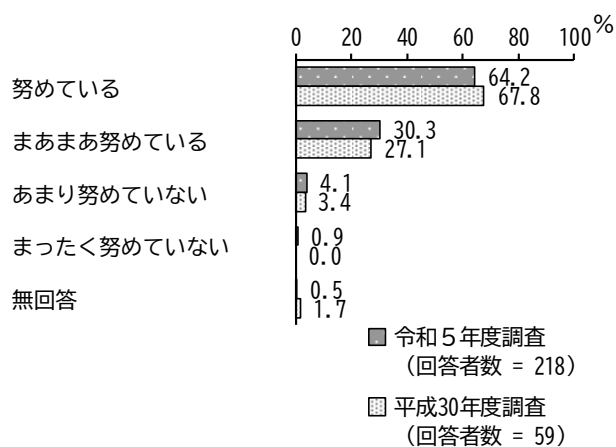
高校生では、「努めている」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「まあまあ努めている」の割合が 30.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】



問 あなたの権利は、守られていると感じますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 44、高校生：問 45)

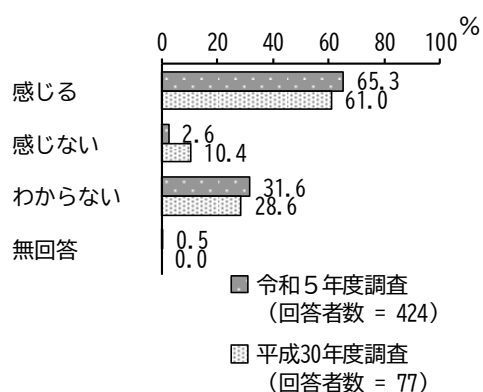
中学生では、「感じる」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「感じない」の割合が減少しています。

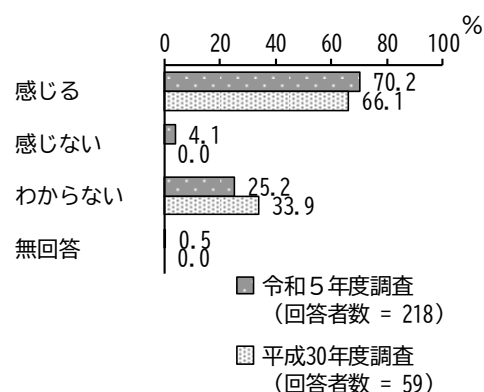
高校生では、「感じる」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 25.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



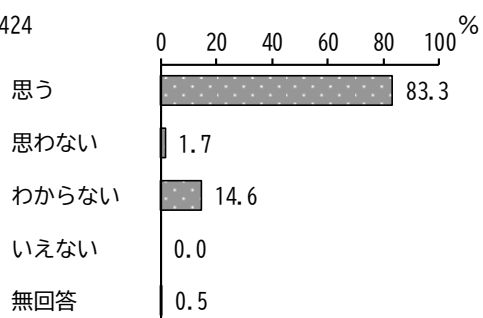
問 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。
(○は1つだけ) (中学生：問 45、高校生：問 46)

中学生では、「思う」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 14.6%となっています。

高校生では、「思う」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 11.5%となっています。

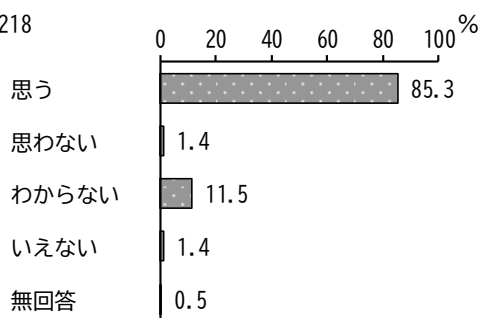
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



問 あなたは、親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。(○は1つだけ) (中学生：問 46、高校生：問 47)

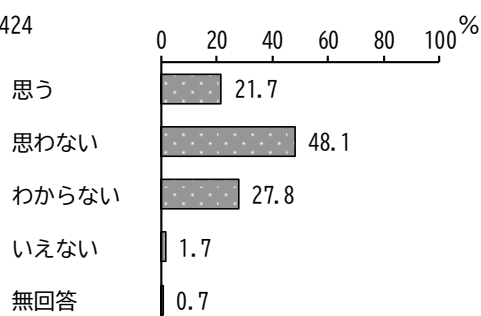
中学生では、「思わない」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 27.8%、「思う」の割合が 21.7%となっています。

高校生では、「思わない」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 29.4%、「思う」の割合が 26.1%となっています。

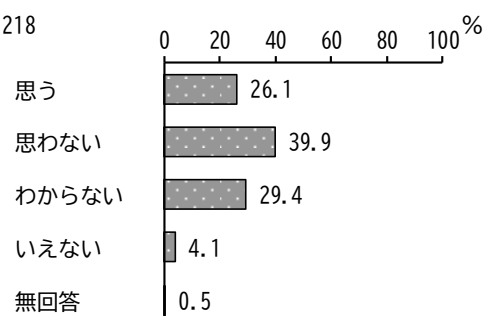
【中学生】

【高校生】

回答者数 = 424



回答者数 = 218



親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思う方にお聞きします。

問 それはどんなことですか。(○はいくつでも)
(中学生：問 46－1、高校生：問 47－1)

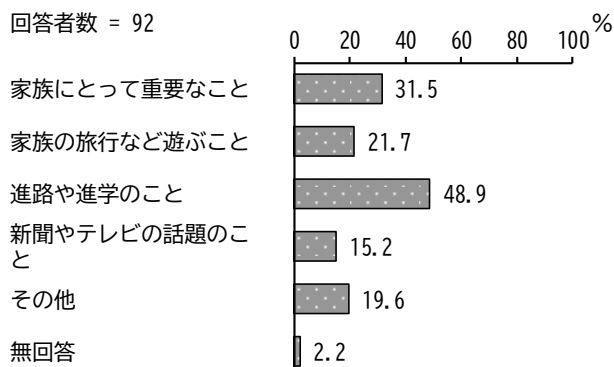
中学生では、「進路や進学のこと」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「家族にとって重要なこと」の割合が 31.5%、「家族の旅行など遊ぶこと」の割合が 21.7%となっています。

高校生では、「家族にとって重要なこと」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「進路や進学のこと」の割合が 42.1%、「家族の旅行など遊ぶこと」の割合が 21.1%となっています。

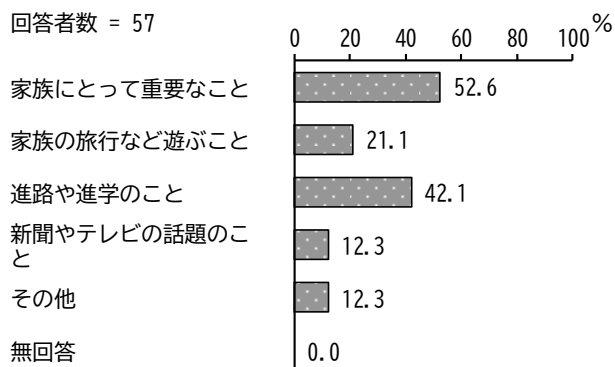
【中学生】

【高校生】

回答者数 = 92



回答者数 = 57



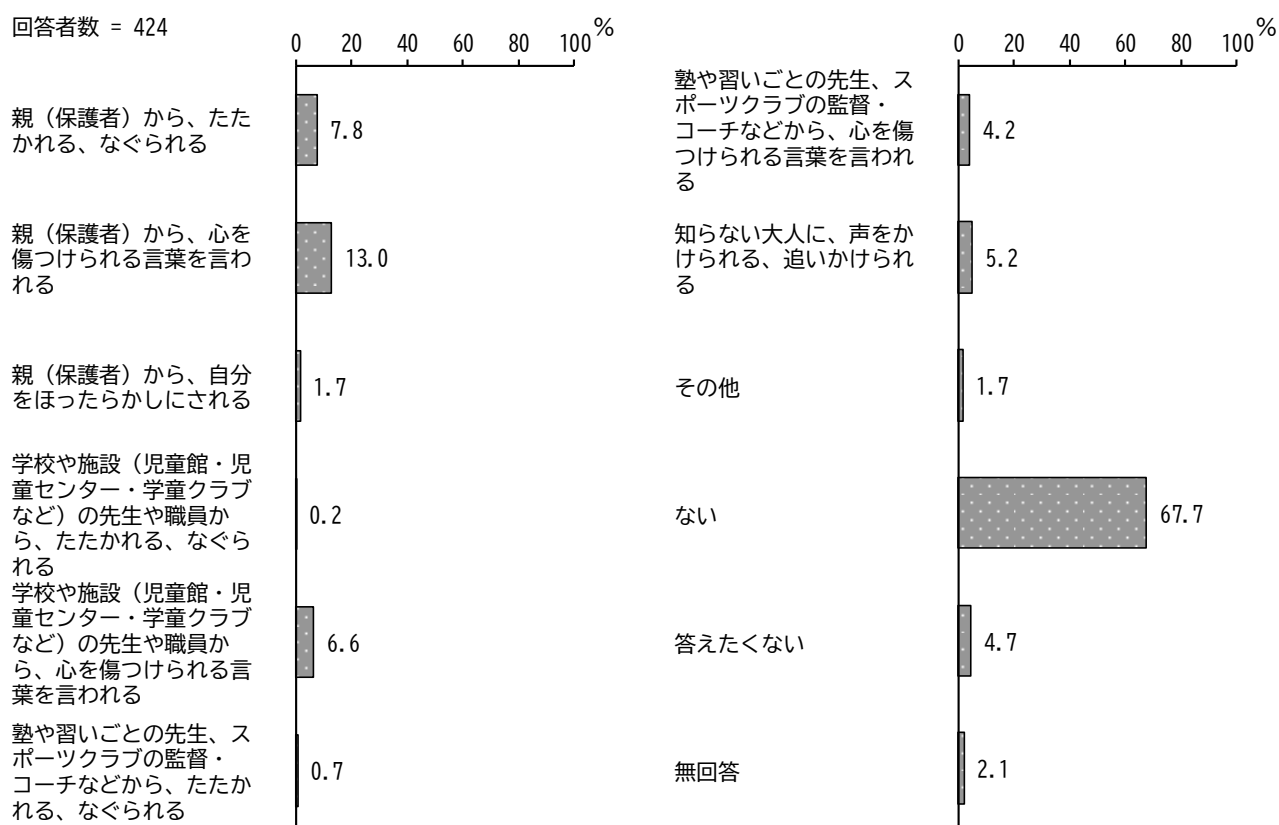
問 あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。(○はいいくつでも)(中学生：問 47、高校生：問 48)

中学生では、「ない」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「親（保護者）から、心を傷つけられる言葉を言われる」の割合が 13.0%となっています。

高校生では、「ない」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「親（保護者）から、心を傷つけられる言葉を言われる」の割合が 15.1%、「親（保護者）から、たたかれる、なぐられる」の割合が 10.6%となっています。

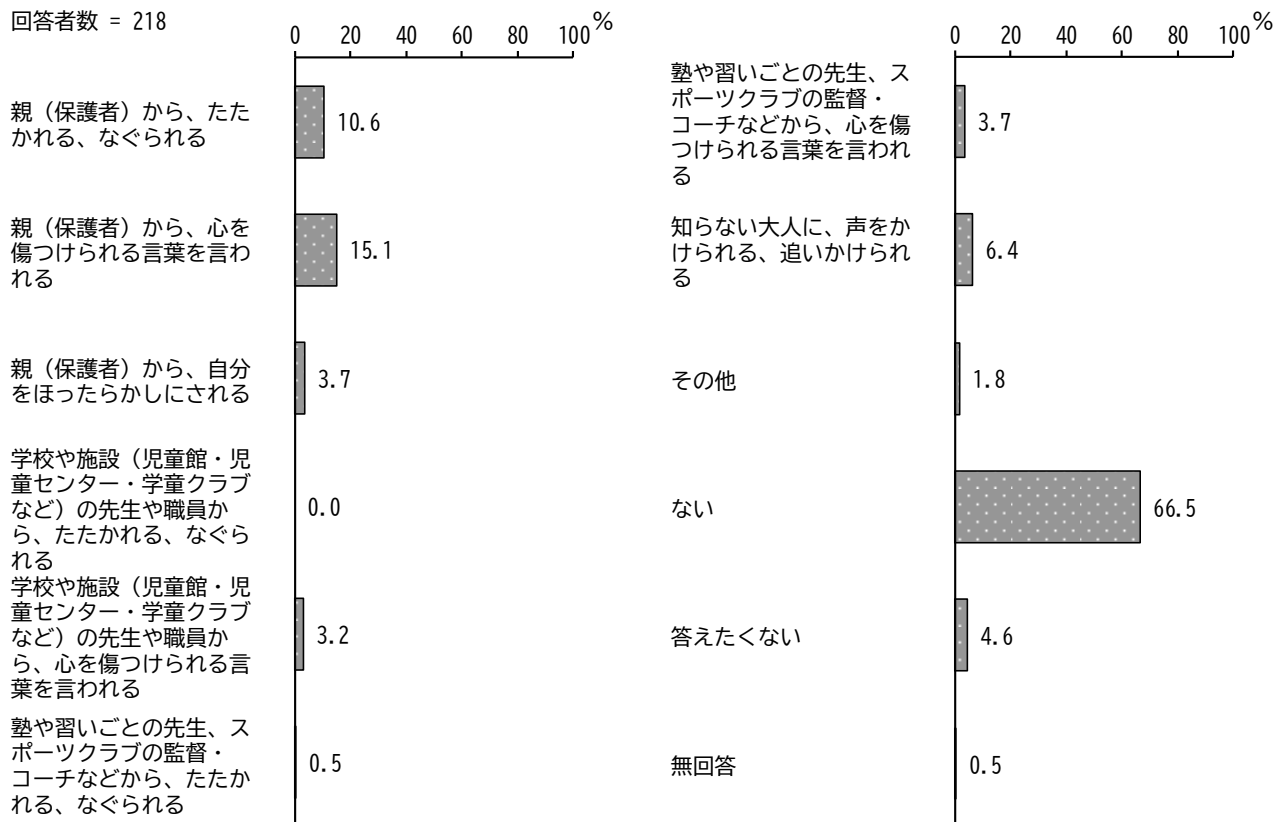
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



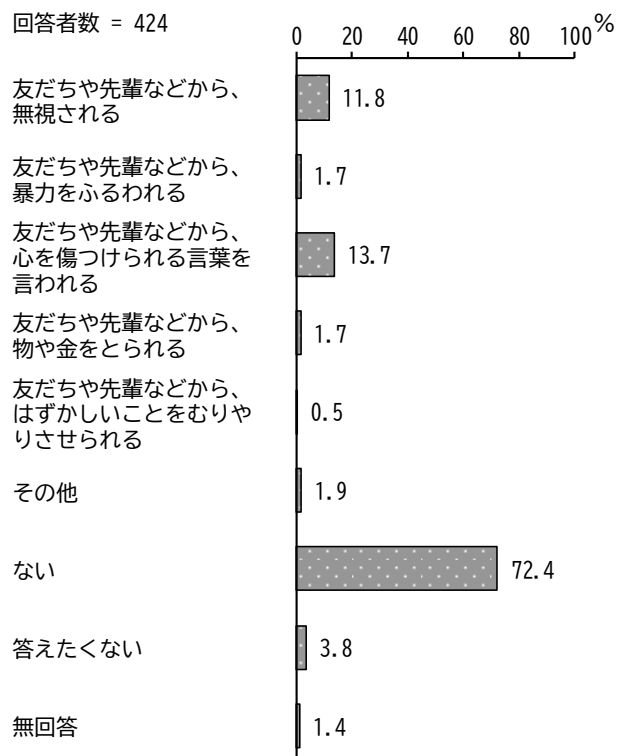
問 あなたは、これまで友だちや先輩から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。(〇はいくつでも)(中学生：問 48、高校生：問 49)

中学生では、「ない」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる」の割合が 13.7%、「友だちや先輩などから、無視される」の割合が 11.8%となっています。

高校生では、「ない」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる」の割合が 16.1%、「友だちや先輩などから、無視される」の割合が 11.5%となっています。

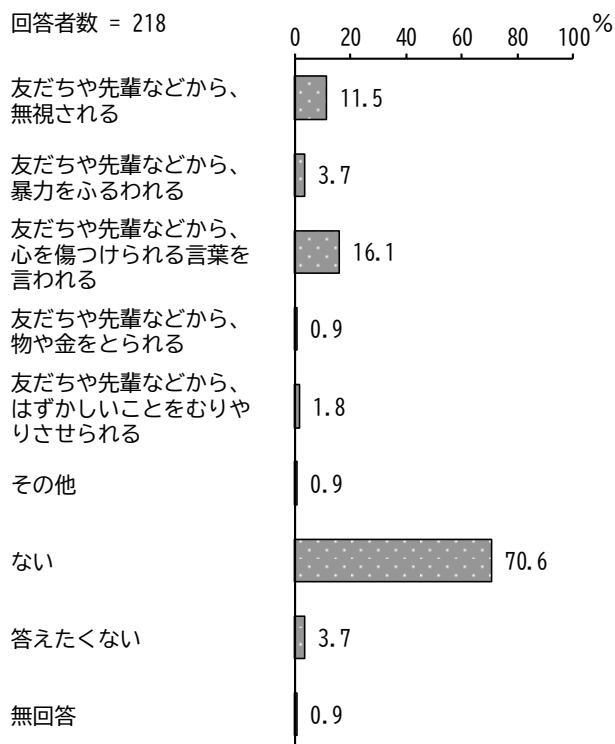
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



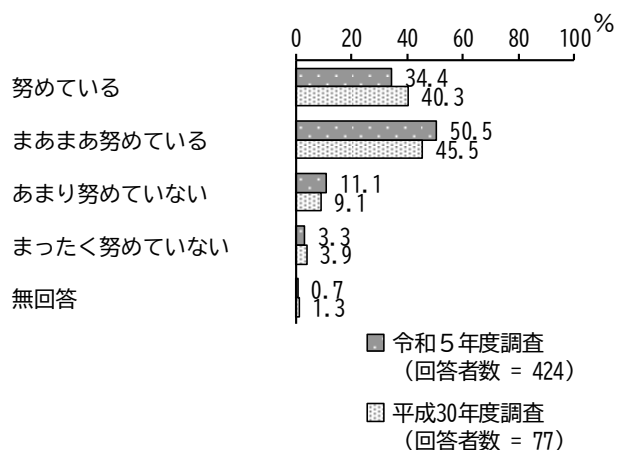
問 あなたは、社会の一員として責任と役割を理解し、果たすよう努めていますか。
(○は1つだけ) (中学生：問 49、高校生：問 50)

中学生では、「まあまあ努めている」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「努めている」の割合が 34.4%、「あまり努めていない」の割合が 11.1%となっています。

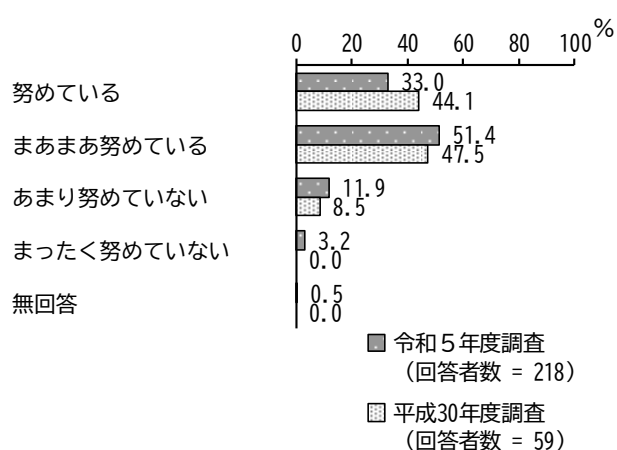
高校生では、「まあまあ努めている」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「努めている」の割合が 33.0%、「あまり努めていない」の割合が 11.9%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「努めている」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



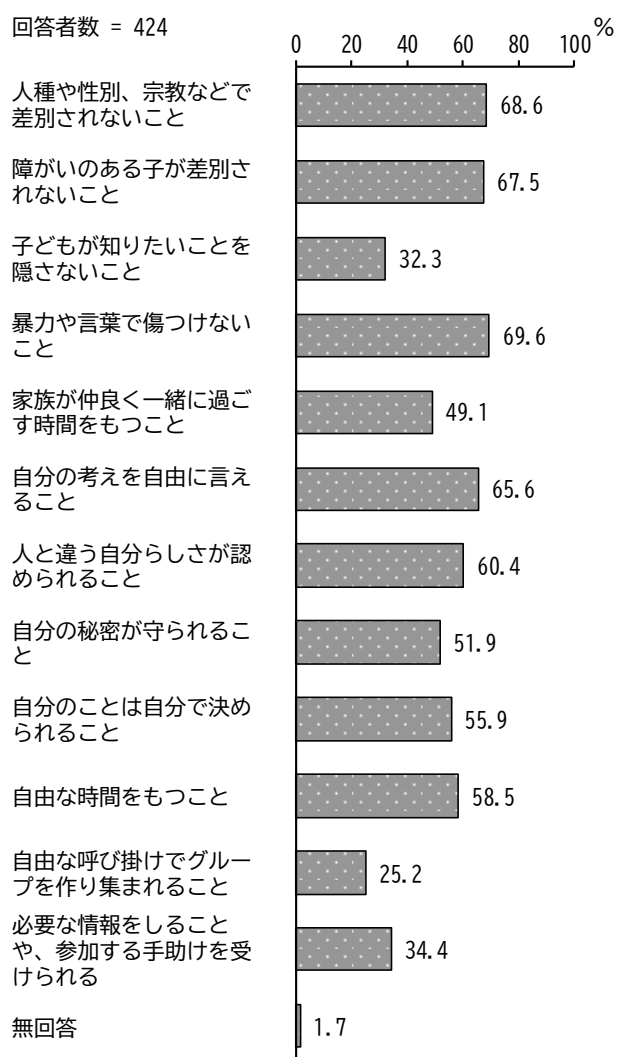
問 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 50、高校生：問 51)

中学生では、「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「人種や性別、宗教などで差別されないこと」の割合が 68.6%、「障がいのある子が差別されないこと」の割合が 67.5%となっています。

高校生では、「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「人種や性別、宗教などで差別されないこと」の割合が 62.8%、「障がいのある子が差別されないこと」の割合が 61.0%となっています。

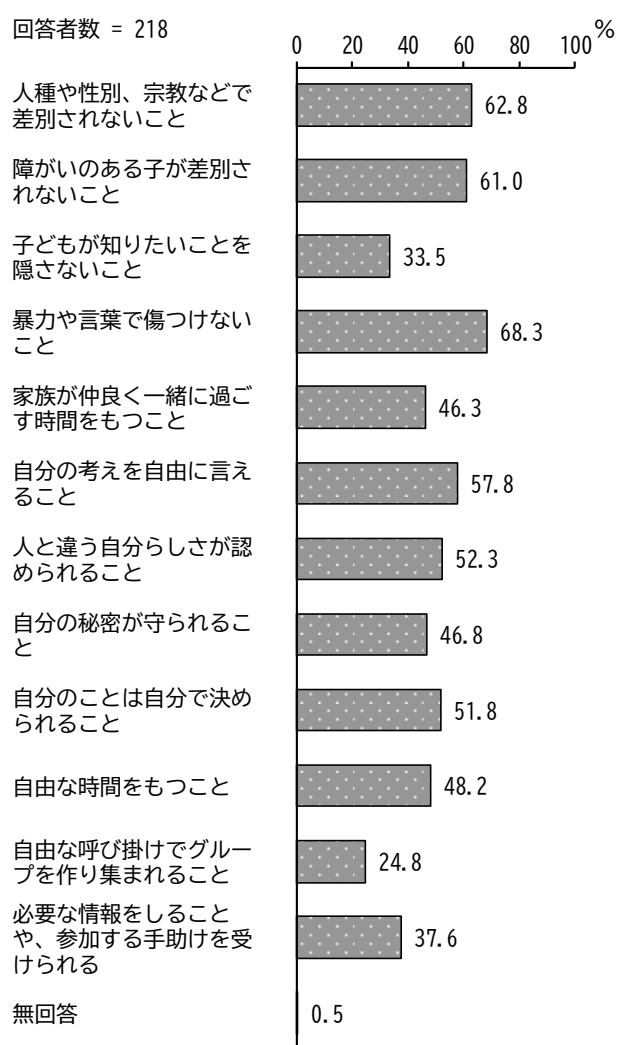
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



(7) ヤングケアラーについて

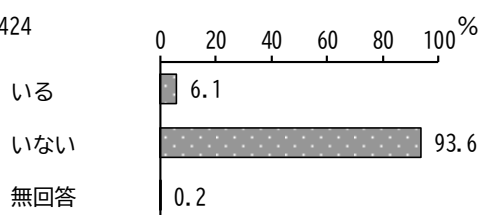
問 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(○は1つだけ)
(中学生：問 51、高校生：問 52)

中学生では、「いる」の割合が 6.1%となっています。

高校生では、「いる」の割合が 2.3%となっています。

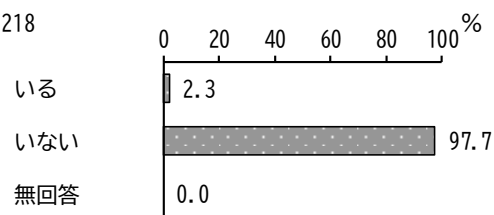
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

回答者数 = 218



お世話している人がいる方にお聞きします。

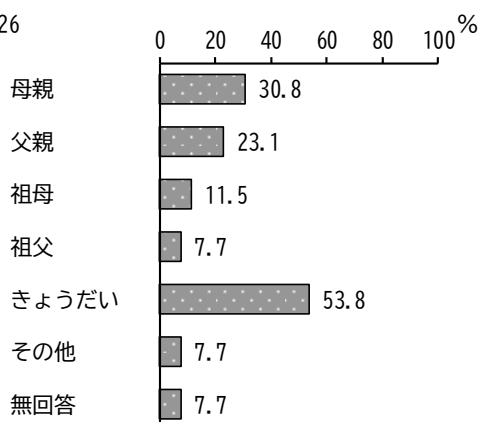
問 あなたは誰のお世話をしていますか。(○はいくつでも)
(中学生：問 51-1、高校生：問 52-1)

中学生では、「きょうだい」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「母親」の割合が 30.8%、「父親」の割合が 23.1%となっています。

高校生では、「きょうだい」が 4件となっています。「母親」が 2件、「父親」が 1件となっています。

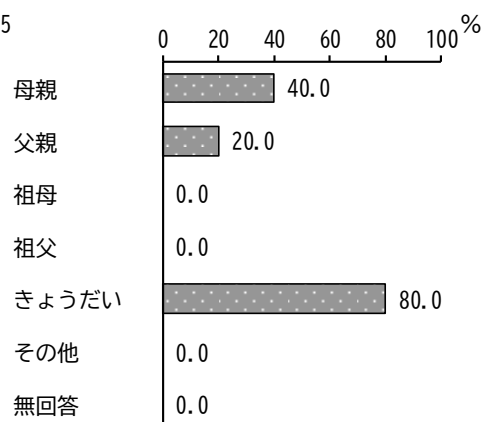
【中学生】

回答者数 = 26



【高校生】

回答者数 = 5

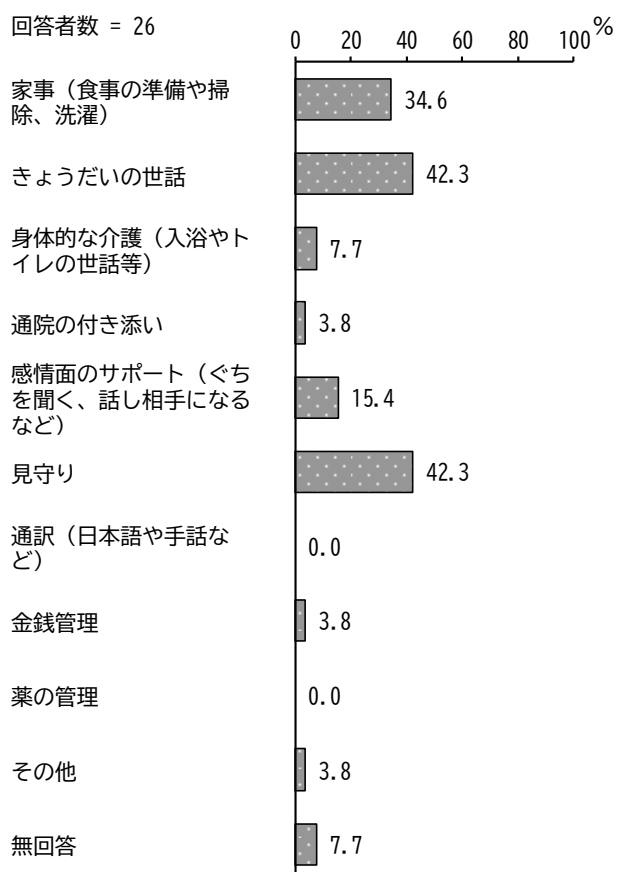


問 その人のために何をしていますか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 51－2、高校生：問 52－2)

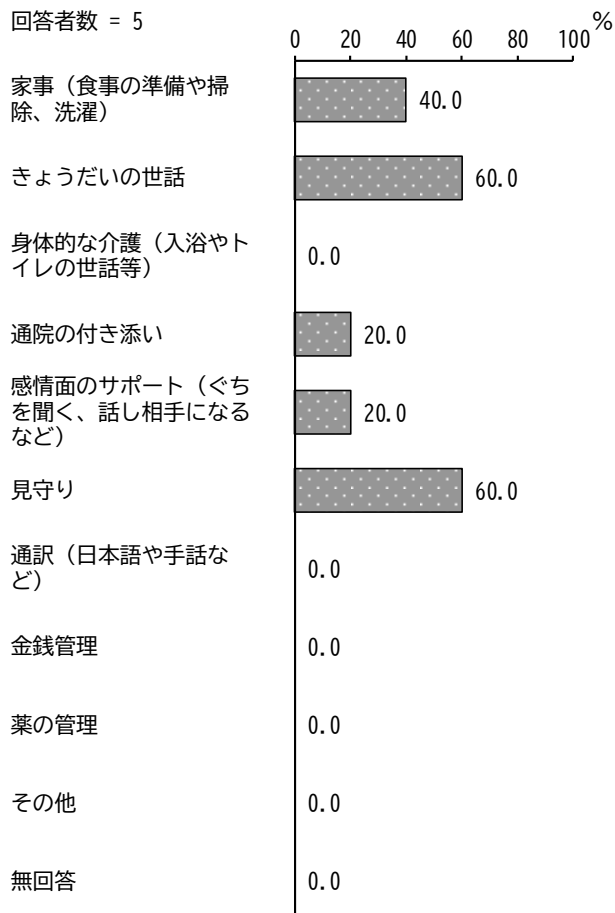
中学生では、「きょうだいの世話」、「見守り」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が 34.6%となっています。

高校生では、「きょうだいの世話」、「見守り」が3件となっています。「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が2件となっています。

【中学生】



【高校生】



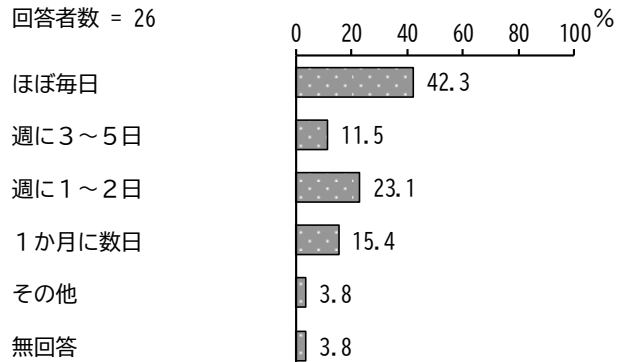
問 どのくらいお世話をしていますか（頻度）。（○は1つだけ）
（中学生：問 51－3、高校生：問 52－3）

中学生では、「ほぼ毎日」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「週に1～2日」の割合が 23.1%、「1か月に数日」の割合が 15.4%となっています。

高校生では、「ほぼ毎日」が4件となっています。「1か月に数日」が1件となっています。

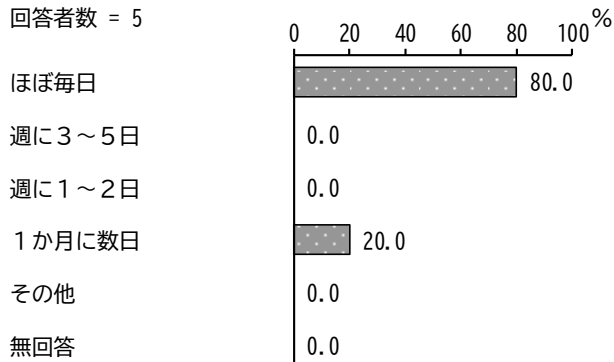
【中学生】

回答者数 = 26



【高校生】

回答者数 = 5



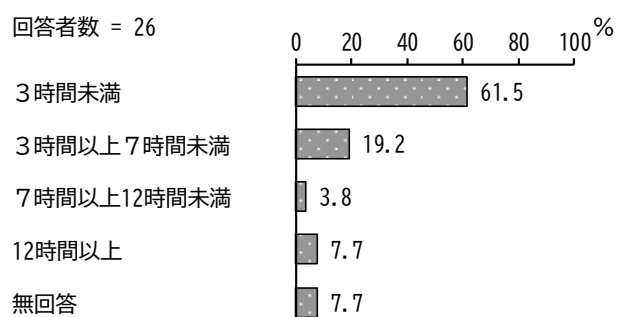
問 どのくらいお世話をしていますか（1日当たりの時間）。（○は1つだけ）
（中学生：問 51－4、高校生：問 52－4）

中学生では、「3時間未満」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「3時間以上7時間未満」の割合が 19.2%となっています。

高校生では、「3時間未満」が3件となっています。「3時間以上7時間未満」、「12時間以上」が1件となっています。

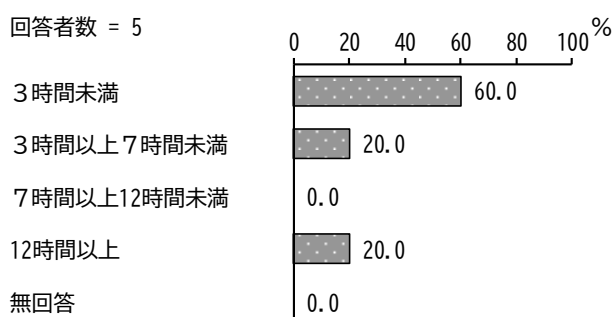
【中学生】

回答者数 = 26



【高校生】

回答者数 = 5

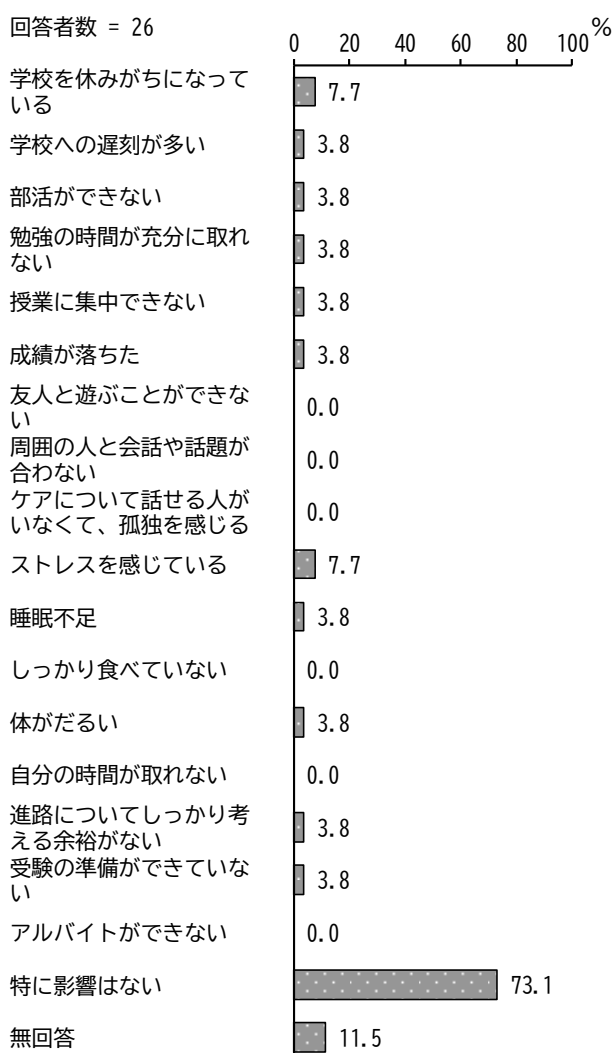


問 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
(○はいくつでも) (中学生：問 51－5、高校生：問 52－5)

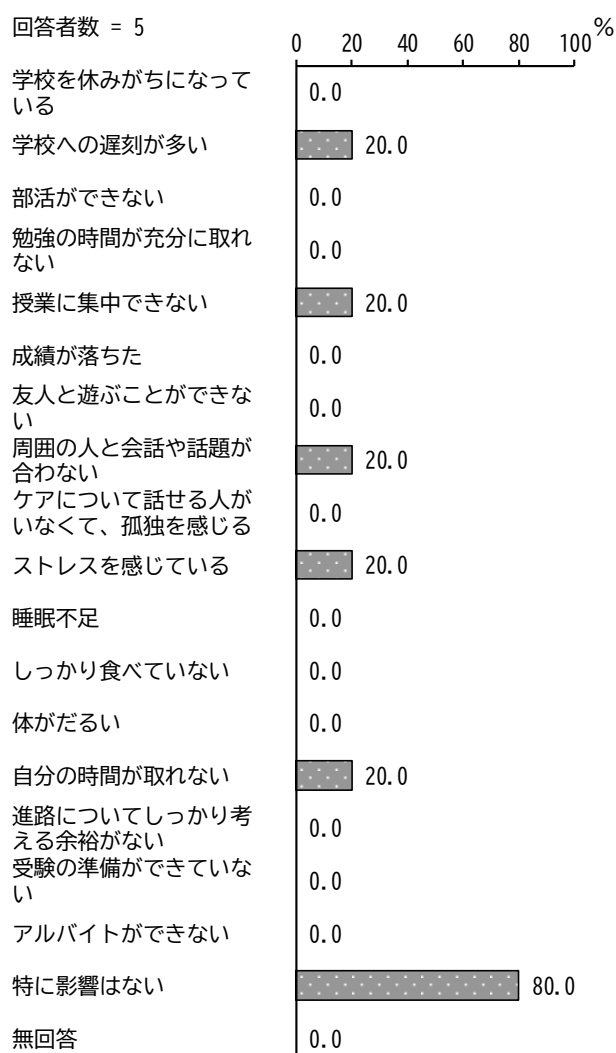
中学生では、「特に影響はない」の割合が 73.1%と最も高くなっています。

高校生では、「特に影響はない」が 4 件となっています。「学校への遅刻が多い」、「授業に集中できない」、「周囲の人と会話や話題が合わない」、「ストレスを感じている」、「自分の時間が取れない」が 1 件となっています。

【中学生】



【高校生】



問 お世話について相談した経験がありますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 51－6、高校生：問 52－6)

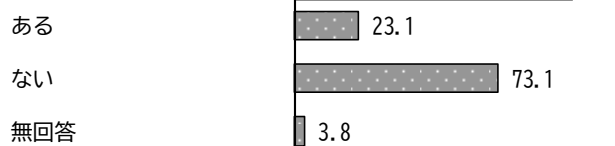
中学生では、「ある」の割合が 23.1%、「ない」の割合が 73.1%となっています。

高校生では、「ある」が 1 件、「ない」が 4 件となっています。

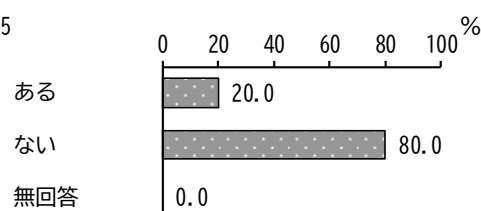
【中学生】

【高校生】

回答者数 = 26



回答者数 = 5



問 お世話について相談した相手は誰ですか。(○はいくつでも)
(中学生：問 51－7、高校生：問 52－7)

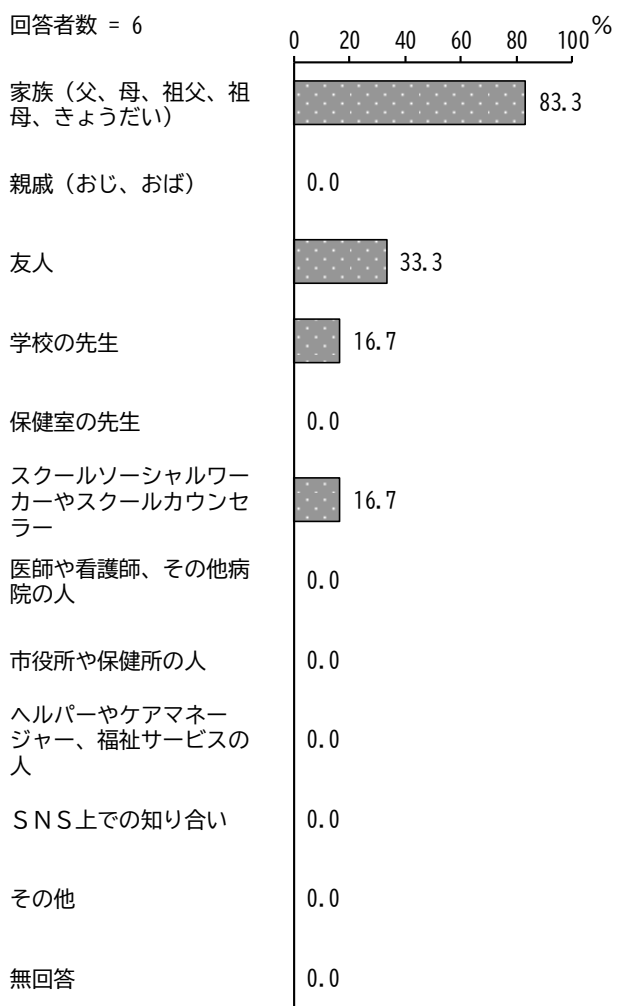
中学生では、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」が 5 件となっています。「友人」が 2 件、「学校の先生」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」が 1 件となっています。

高校生では、「学校の先生」、「市役所や保健所の人」、「SNS 上での知り合い」が 1 件となっています。

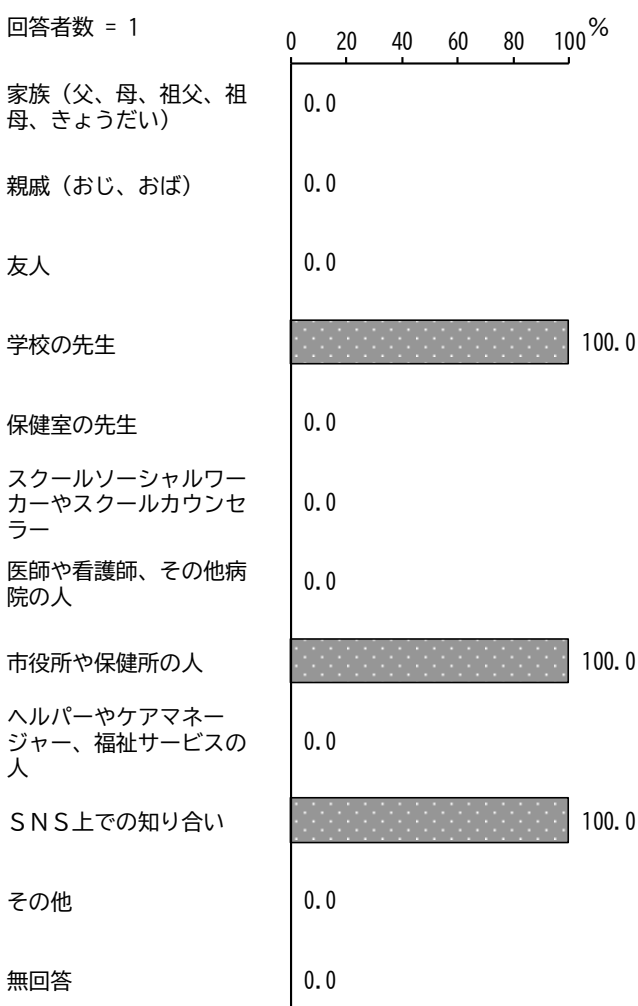
【中学生】

【高校生】

回答者数 = 6



回答者数 = 1



(8) 社会環境について

問 親や学校の先生以外の大人からほめられたり、注意されたことがありますか。
(それぞれ○は1つだけ) (中学生：問 52、高校生：問 53)

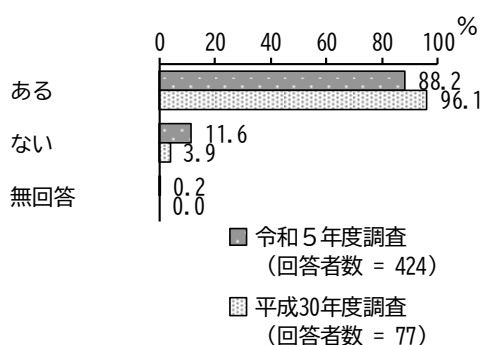
①ほめられたこと。

中学生では、「ある」の割合が 88.2%、「ない」の割合が 11.6%となっています。

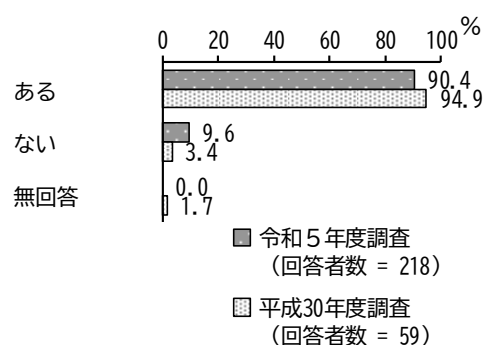
高校生では、「ある」の割合が 90.4%、「ない」の割合が 9.6%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



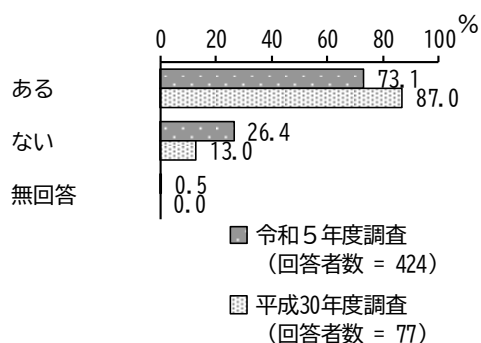
②注意されたこと。

中学生では、「ある」の割合が 73.1%、「ない」の割合が 26.4%となっています。

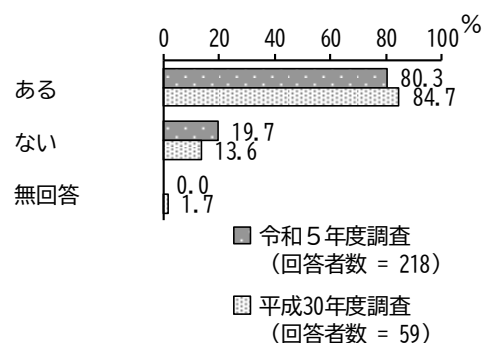
高校生では、「ある」の割合が 80.3%、「ない」の割合が 19.7%となっています。

中学生、高校生ともに、平成 30 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。

【中学生】



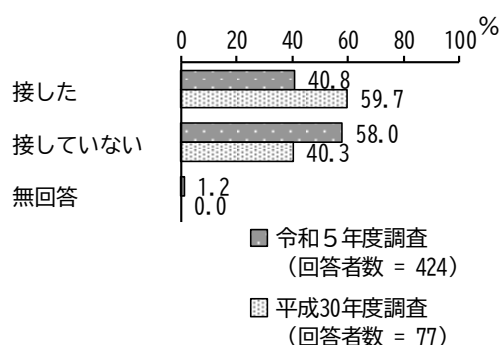
【高校生】



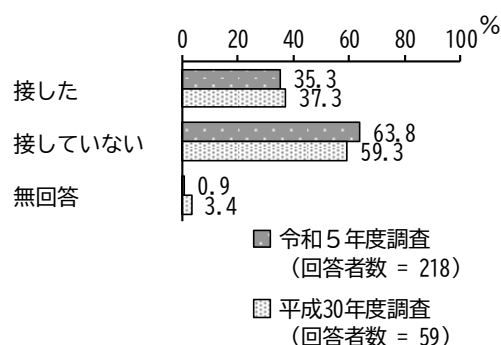
問 小学校にまだ通っていない小さな子どもと接することについてお聞きします。最近、小さい子どもと接しましたか。(○は1つだけ)
(中学生：問 53、高校生：問 54)

中学生では、「接した」の割合が40.8%、「接していない」の割合が58.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「接していない」の割合が増加しています。
高校生では、「接した」の割合が35.3%、「接していない」の割合が63.8%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【中学生】



【高校生】



子どもと接した方にお聞きします。

問 接してみてどう感じましたか。(○は1つだけ)
(中学生：問 53-1、高校生：問 54-1)

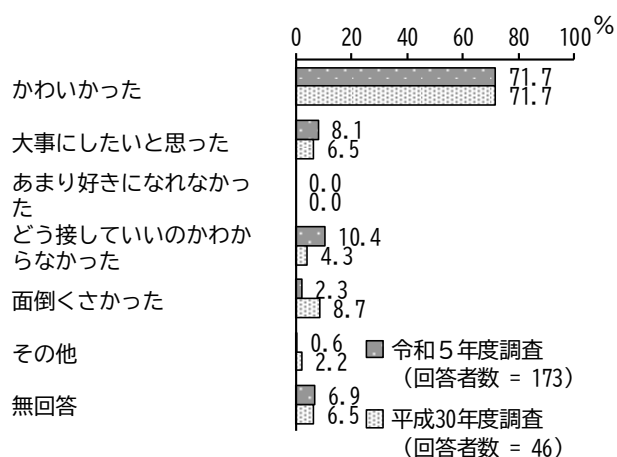
中学生では、「かわいかった」の割合が71.7%と最も高く、次いで「どう接していいのかわからなかった」の割合が10.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「どう接していいのかわからなかった」の割合が増加しています。一方、「面倒くさかった」の割合が減少しています。

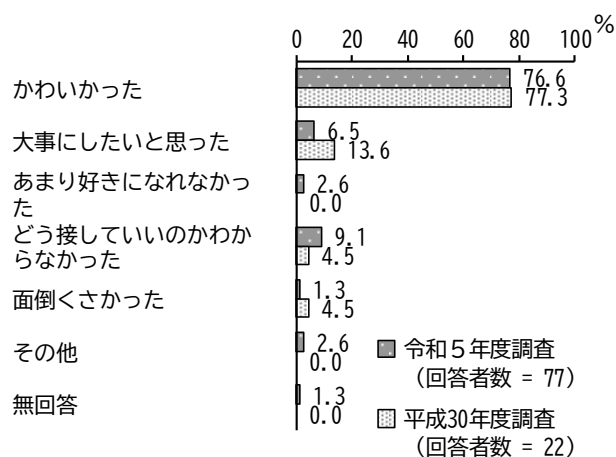
高校生では、「かわいかった」の割合が76.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「大事にしたいと思った」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



子どもと接していない方にお聞きします。

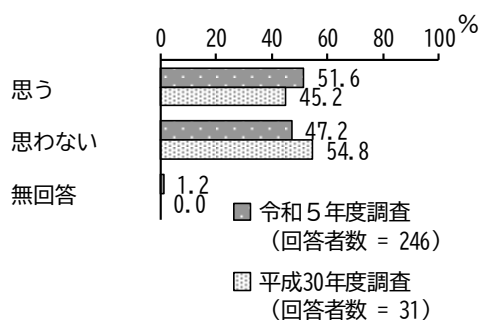
問 接してみたいと思いますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 53－2、高校生：問 54－2)

中学生では、「思う」の割合が 51.6%、「思わない」の割合が 47.2%となっています。

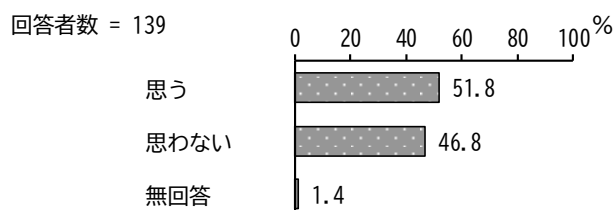
平成 30 年度調査と比較すると、「思う」の割合が増加しています。一方、「思わない」の割合が減少しています。

高校生では、「思う」の割合が 51.8%、「思わない」の割合が 46.8%となっています。

【中学生】



【高校生】



※高校生の前回調査では、設問がありませんでした。

子どもと接してみたいと思わない方にお聞きします。

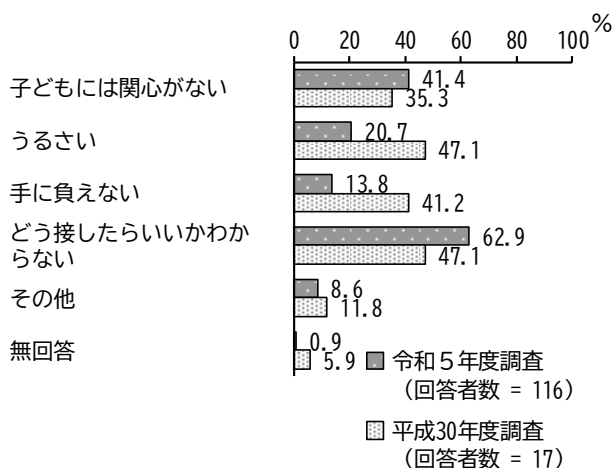
問 その理由は何ですか。(○はいくつでも)
(中学生：問 53－2－1、高校生：問 54－2－1)

中学生では、「どう接したらいいかわからない」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「子どもには関心がない」の割合が 41.4%、「うるさい」の割合が 20.7%となっています。

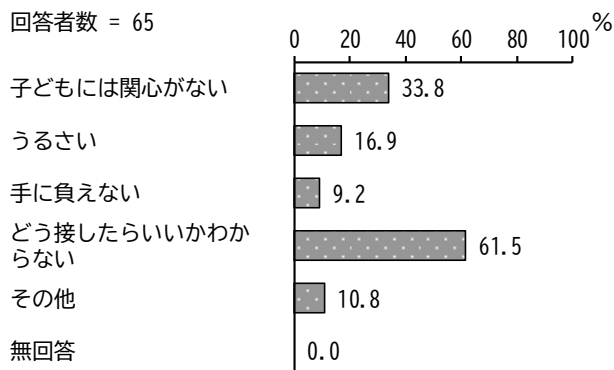
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもには関心がない」「どう接したらいいかわからない」の割合が増加しています。一方、「うるさい」「手に負えない」の割合が減少しています。

高校生では、「どう接したらいいかわからない」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「子どもには関心がない」の割合が 33.8%、「うるさい」の割合が 16.9%となっています。

【中学生】



【高校生】



※高校生の前回調査では、設問がありませんでした。

問 放課後、休日、夏休みなどにボランティアをしたことがありますか。
(○は1つだけ) (中学生：問 54、高校生：問 55)

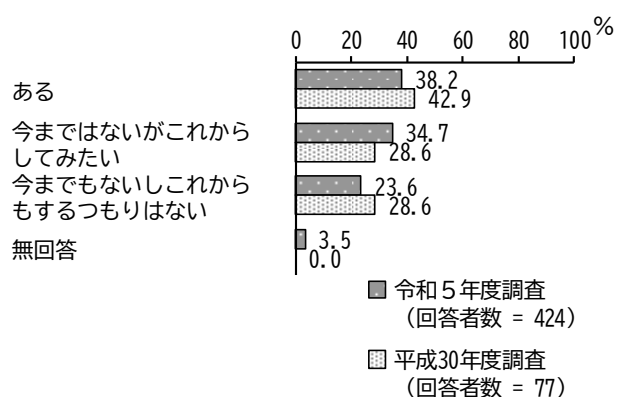
中学生では、「ある」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「今まではないがこれからしてみたい」の割合が 34.7%、「今までもないしこれからするつもりはない」の割合が 23.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「今まではないがこれからしてみたい」の割合が増加しています。

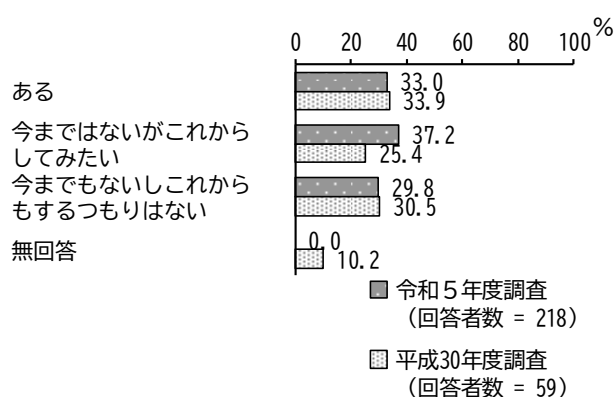
高校生では、「今まではないがこれからしてみたい」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「ある」の割合が 33.0%、「今までもないしこれからするつもりはない」の割合が 29.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「今まではないがこれからしてみたい」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



放課後、休日、夏休みなどにボランティアをしたことがある方にお聞きします。

問 ボランティアをしてみてどう感じましたか。(○はいくつでも)
(○は1つだけ) (中学生：問 54－1、高校生：問 55－1)

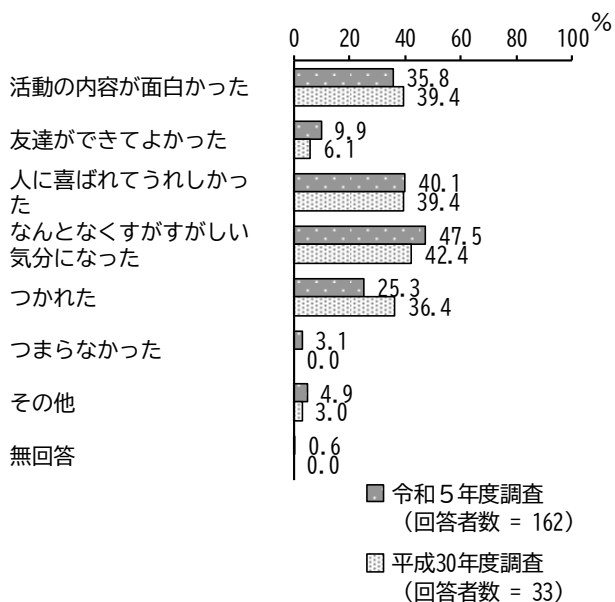
中学生では、「なんとなくすがすがしい気分になった」の割合が47.5%と最も高く、次いで「人に喜ばれてうれしかった」の割合が40.1%、「活動の内容が面白かった」の割合が35.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「なんとなくすがすがしい気分になった」の割合が増加しています。一方、「つかれた」の割合が減少しています。

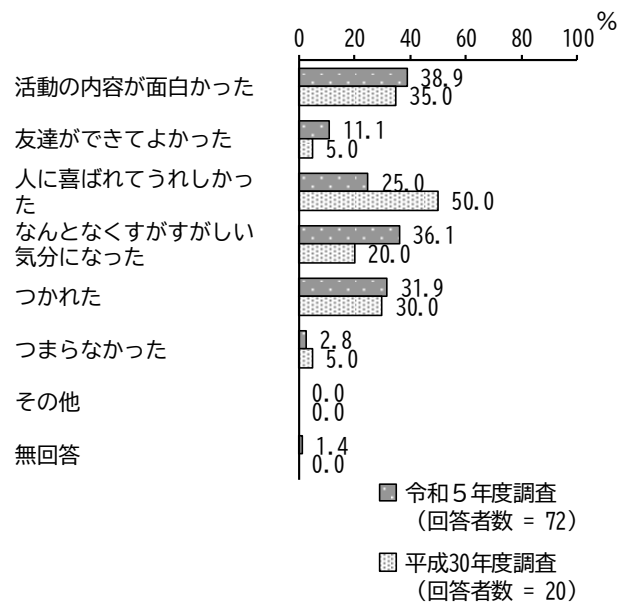
高校生では、「活動の内容が面白かった」の割合が38.9%と最も高く、次いで「なんとなくすがすがしい気分になった」の割合が36.1%、「つかれた」の割合が31.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「友達ができてよかった」「なんとなくすがすがしい気分になった」の割合が増加しています。一方、「人に喜ばれてうれしかった」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



放課後、休日、夏休みなどにボランティアを今までもないしこれからもするつもりはない方にお聞きします。

問 それはどうしてですか。(○は1つだけ)
(中学生：問 54－2、高校生：問 55－2)

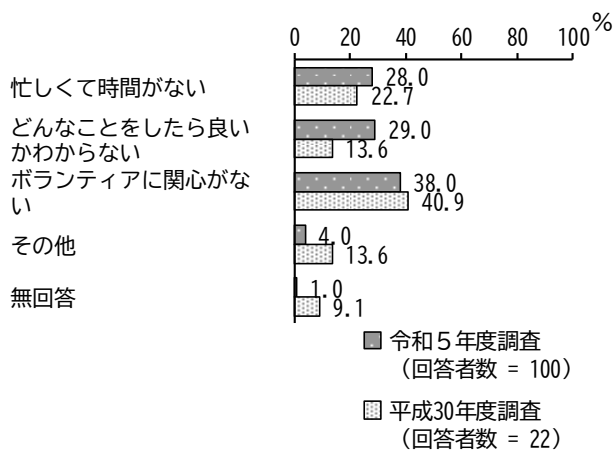
中学生では、「ボランティアに関心がない」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「どんなことをしたら良いかわからない」の割合が 29.0%、「忙しくて時間がない」の割合が 28.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「忙しくて時間がない」「どんなことをしたら良いかわからない」の割合が増加しています。

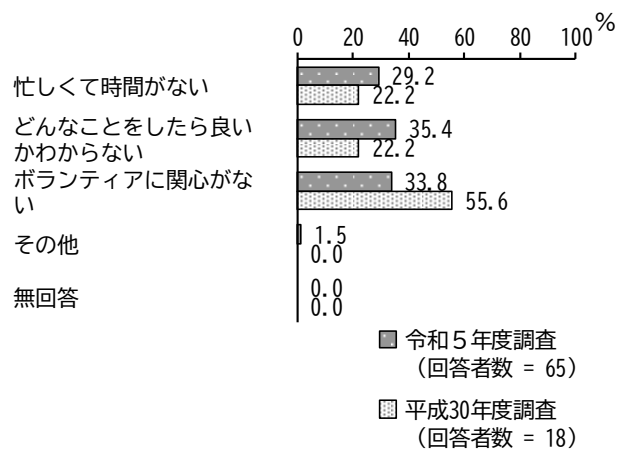
高校生では、「どんなことをしたら良いかわからない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「ボランティアに関心がない」の割合が 33.8%、「忙しくて時間がない」の割合が 29.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「忙しくて時間がない」「どんなことをしたら良いかわからない」の割合が増加しています。一方、「ボランティアに関心がない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



(9) 最後に

問 今の生活についてどう思いますか。(○は1つだけ)
(中学生：問 55、高校生：問 56)

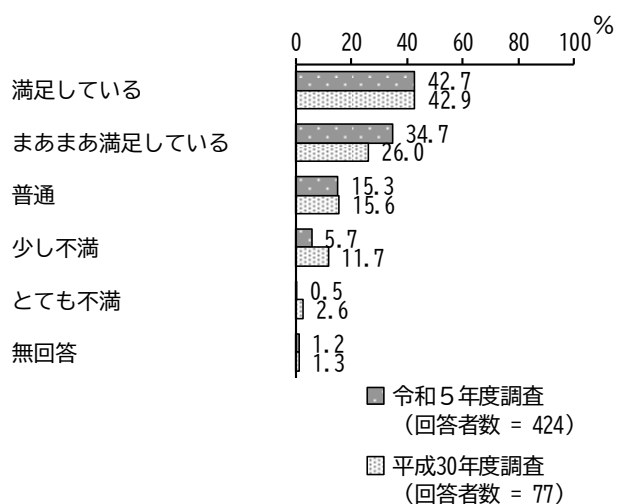
中学生では、「満足している」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「まあまあ満足している」の割合が 34.7%、「普通」の割合が 15.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まあまあ満足している」の割合が増加しています。一方、「少し不満」の割合が減少しています。

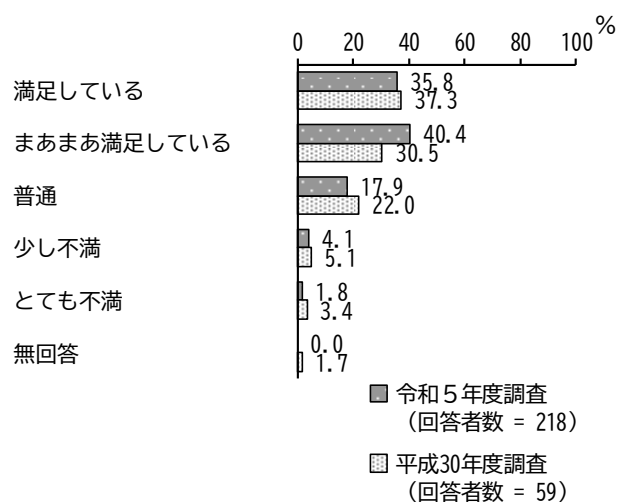
高校生では、「まあまあ満足している」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「満足している」の割合が 35.8%、「普通」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まあまあ満足している」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



今の生活に満足している、まあまあ満足している方にお聞きします。

問 そう思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)
(中学生：問 55－1、高校生：問 56－1)

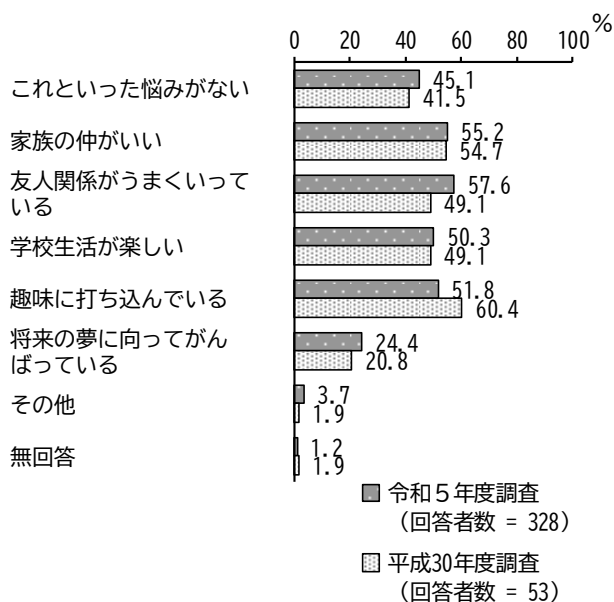
中学生では、「友人関係がうまくいっている」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「家族の仲がいい」の割合が 55.2%、「趣味に打ち込んでいる」の割合が 51.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人関係がうまくいっている」の割合が増加しています。一方、「趣味に打ち込んでいる」の割合が減少しています。

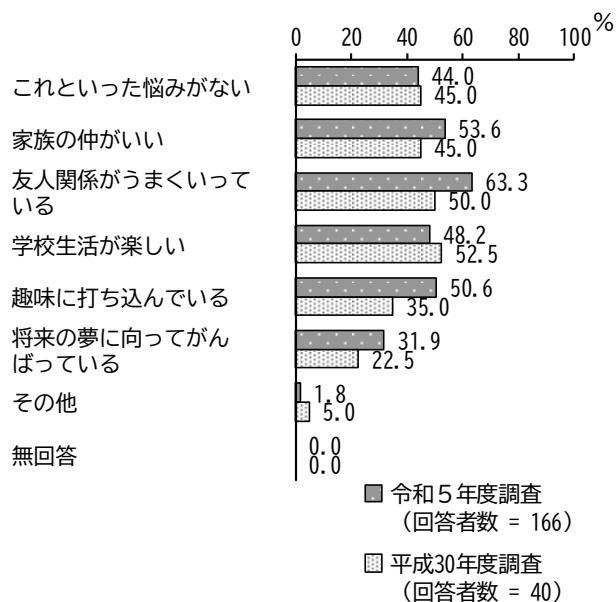
高校生では、「友人関係がうまくいっている」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「家族の仲がいい」の割合が 53.6%、「趣味に打ち込んでいる」の割合が 50.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「家族の仲がいい」「友人関係がうまくいっている」「趣味に打ち込んでいる」「将来の夢に向かってがんばっている」の割合が増加しています。

【中学生】



【高校生】



今の生活に少し不満、とても不満な方にお聞きします。

問 そう思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)
(中学生：問 55－2、高校生：問 56－2)

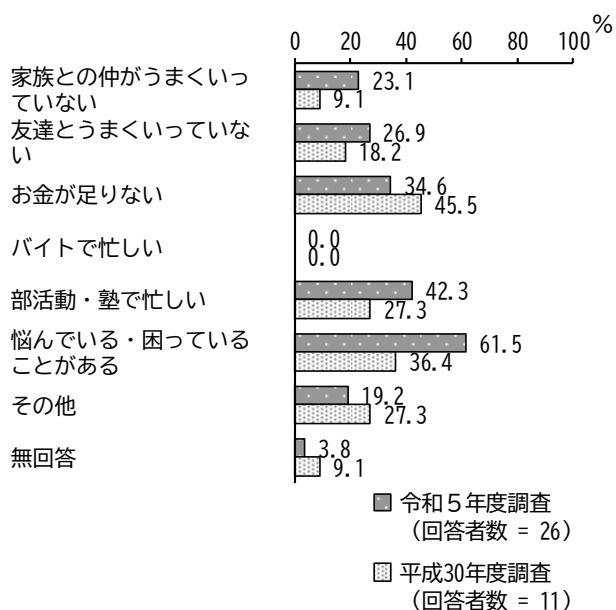
中学生では、「悩んでいる・困っていることがある」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「部活動・塾で忙しい」の割合が 42.3%、「お金が足りない」の割合が 34.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「家族との仲がうまくいっていない」「友達とうまくいっていない」「部活動・塾で忙しい」「悩んでいる・困っていることがある」の割合が増加しています。一方、「お金が足りない」の割合が減少しています。

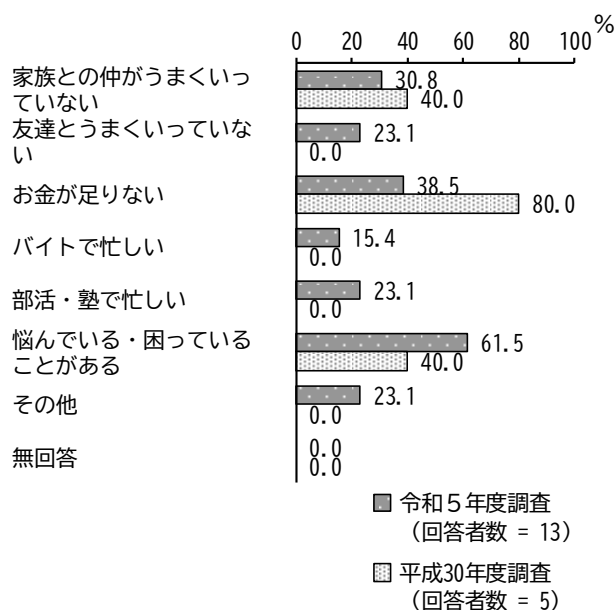
高校生では、「悩んでいる・困っていることがある」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「お金が足りない」の割合が 38.5%、「家族との仲がうまくいっていない」の割合が 30.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友達とうまくいっていない」「バイトで忙しい」「部活・塾で忙しい」「悩んでいる・困っていることがある」の割合が増加しています。一方、「家族との仲がうまくいっていない」「お金が足りない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



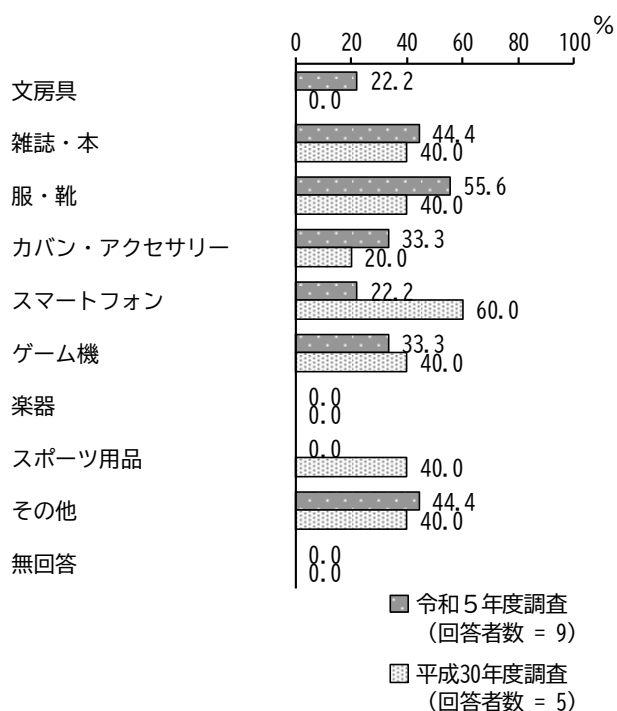
お金が足りない方にお聞きします。

問 欲しい物で買えない・買ってもらえない物がありますか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 55－3、高校生：問 56－3)

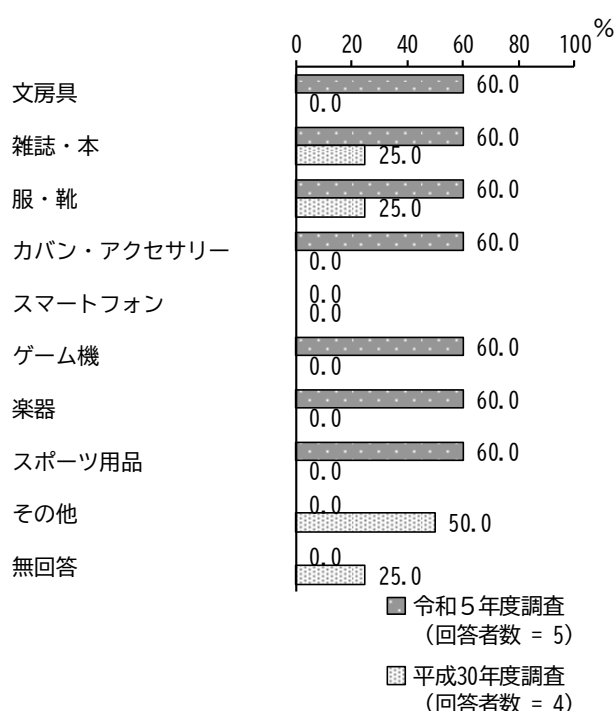
中学生では、「服・靴」が5件となっています。「雑誌・本」が4件、「カバン・アクセサリ」、「ゲーム機」が3件となっています。

高校生では、「文房具」、「雑誌・本」、「服・靴」、「カバン・アクセサリ」、「ゲーム機」、「楽器」、「スポーツ用品」が3件となっています。

【中学生】



【高校生】

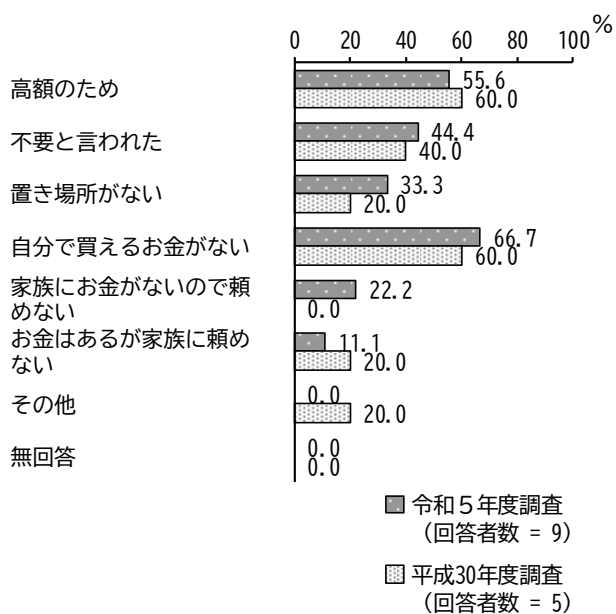


問 買えない・買ってもらえない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
(中学生：問 55－4、高校生：問 56－4)

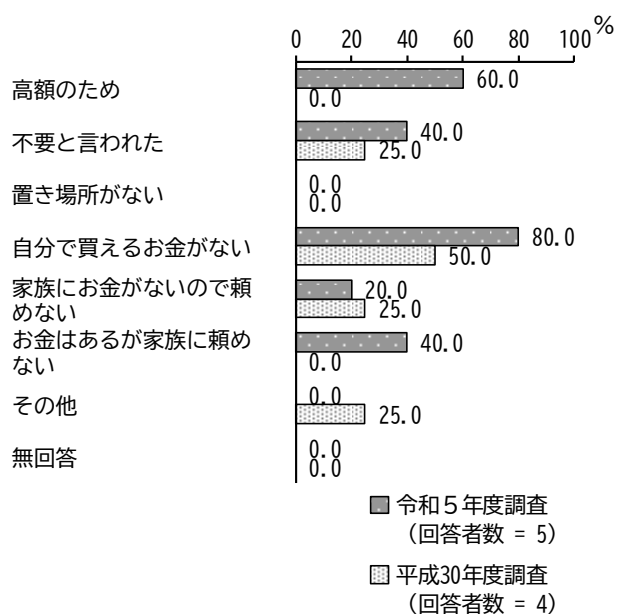
中学生では、「自分で買えるお金がない」が6件となっています。「高額のため」が5件、「不要と言われた」が4件となっています。

高校生では、「自分で買えるお金がない」の割合が1.8%と最も高くなっています。

【中学生】



【高校生】



問 あなたは、将来どのような大人になりたいですか。(○は2つまで)
(中学生：問 56、高校生：問 57)

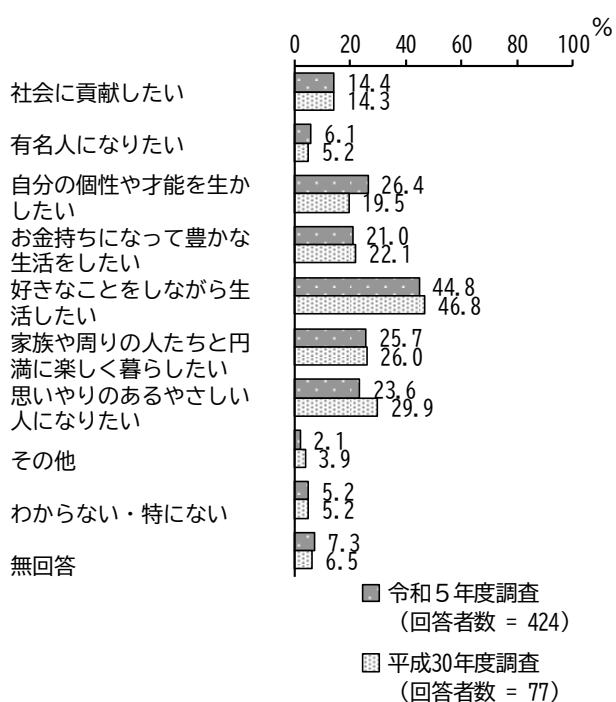
中学生では、「好きなことをしながら生活したい」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が 26.4%、「家族や周りの人たちと円満に楽しく暮らしたい」の割合が 25.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が増加しています。一方、「思いやりのあるやさしい人になりたい」の割合が減少しています。

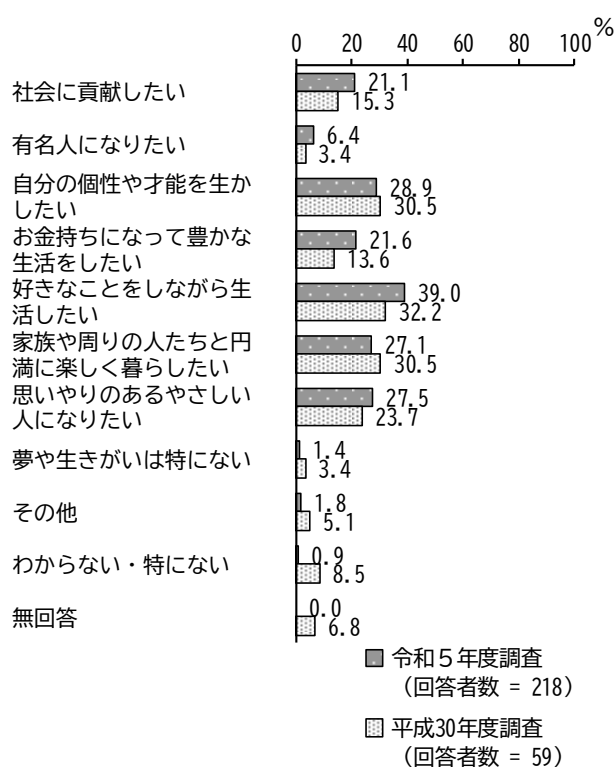
高校生では、「好きなことをしながら生活したい」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が 28.9%、「思いやりのあるやさしい人になりたい」の割合が 27.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「社会に貢献したい」「お金持ちになって豊かな生活をしたい」「好きなことをしながら生活したい」の割合が増加しています。一方、「わからない・特にない」の割合が減少しています。

【中学生】



【高校生】



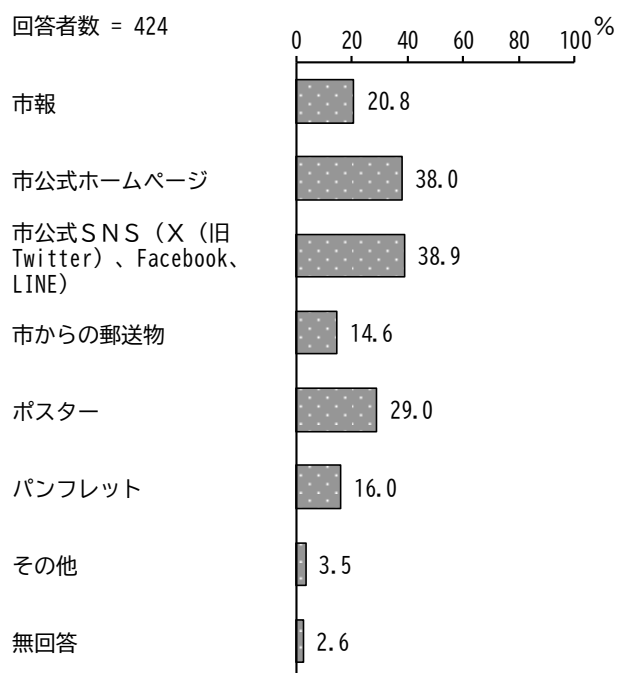
問 市の情報（イベント情報、災害情報など）をどの方法で知りたいですか。
（〇はいくつでも）（中学生：問 57、高校生：問 58）

中学生では、「市公式SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、LINE）」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「市公式ホームページ」の割合が 38.0%、「ポスター」の割合が 29.0%となっています。

高校生では、「市公式SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、LINE）」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「市公式ホームページ」の割合が 33.0%、「市報」の割合が 21.6%となっています。

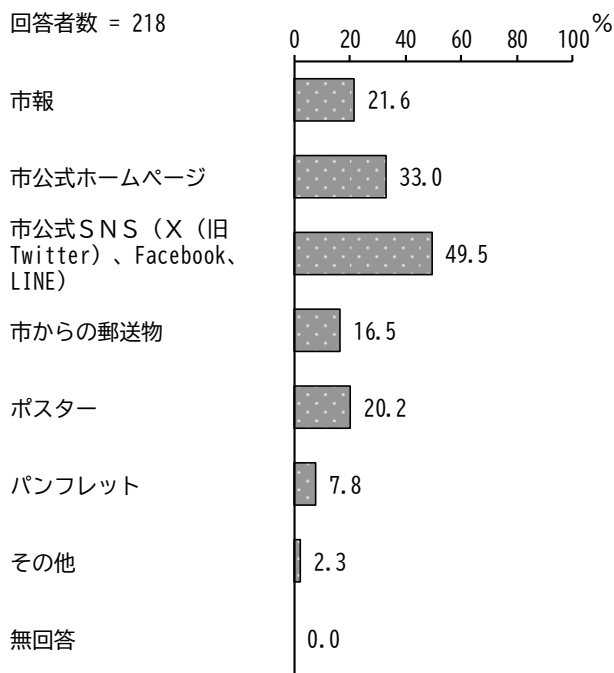
【中学生】

回答者数 = 424



【高校生】

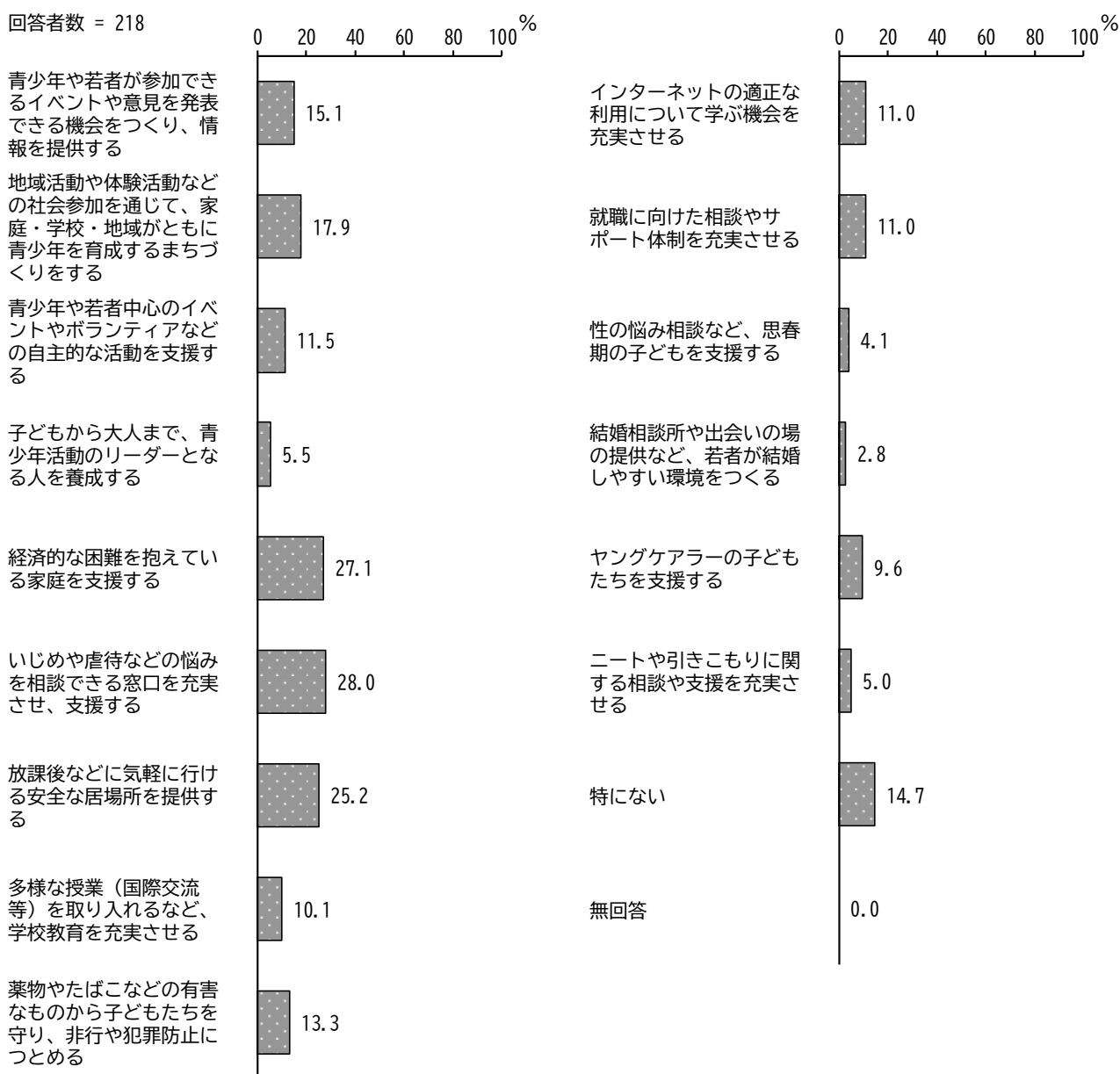
回答者数 = 218



問 あなたは、東大和市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。
(〇は3つまで) (高校生：問 59)

高校生では、「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」の割合が 27.1%、「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 25.2%となっています。

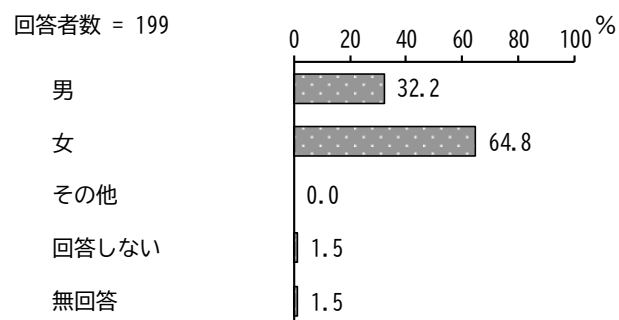
回答者数 = 218



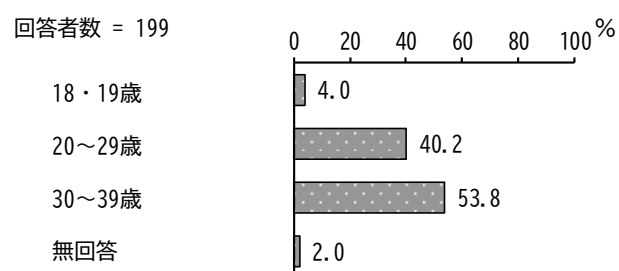
3 若者

(1) 回答者属性

F 1 性別



F 2 年齢



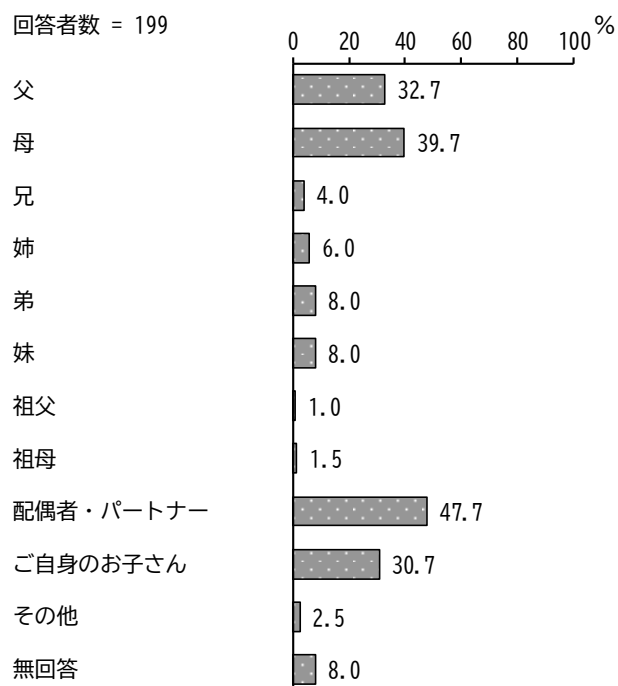
(2) あなたの、普段の生活について

問1 あなたが同居している方で、あてはまる人をお答えください。また、同居している人数（あなたも含め）も教えてください。

(1) 同居している方（〇はいくつでも）

「配偶者・パートナー」の割合が47.7%と最も高く、次いで「母」の割合が39.7%、「父」の割合が32.7%となっています。

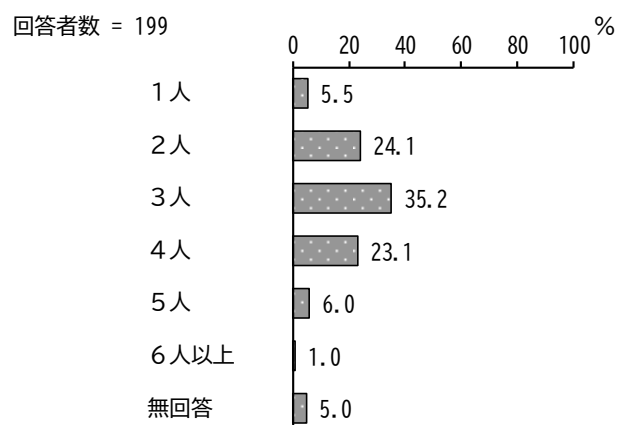
回答者数 = 199



(2) 同居している人数（あなたも含め）

「3人」の割合が35.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が24.1%、「4人」の割合が23.1%となっています。

回答者数 = 199

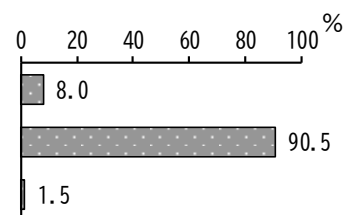


問2 あなたの学生時代、家族の中にあなたがお世話（ケア）をしている人はいます（した）か。（ここで「お世話」とは本来大人がやっていると想定されている家事や家族の世話などをする事です。）（○は1つだけ）

「いる（いた）」の割合が8.0%、「いない（いなかった）」の割合が90.5%となっています。

回答者数 = 199

いる（いた）
いない（いなかった）
無回答



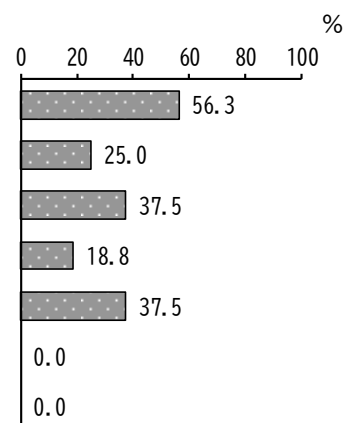
問2で「いる（いた）」と答えた方のみ、問3～問5の質問に回答してください。

問3 お世話（ケア）を必要としている方（していた方）はどなたですか。（○はいくつでも）

「母親」の割合が56.3%と最も高く、次いで「祖母」、「きょうだい」の割合が37.5%となっています。

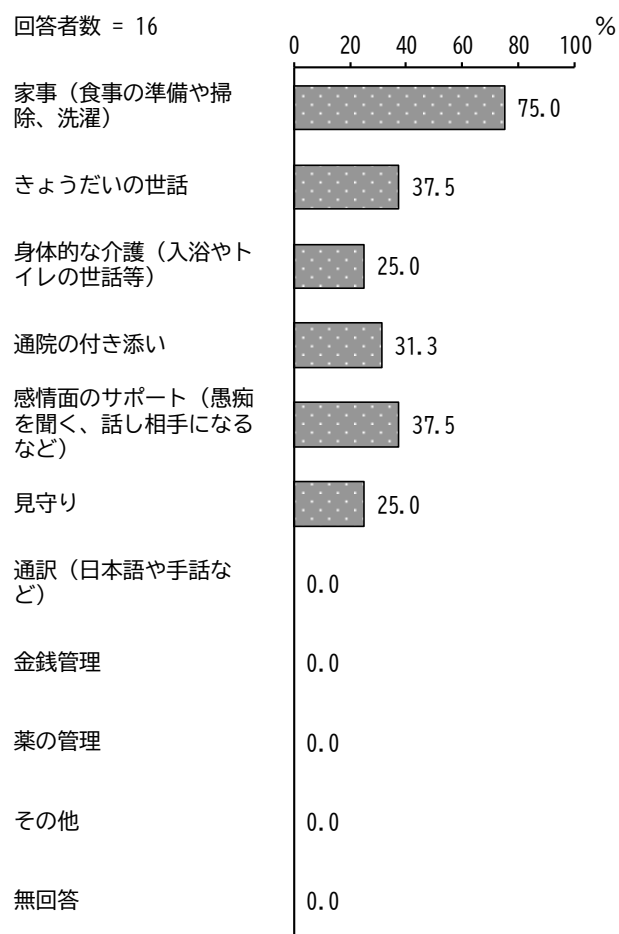
回答者数 = 16

母親
父親
祖母
祖父
きょうだい
その他
無回答



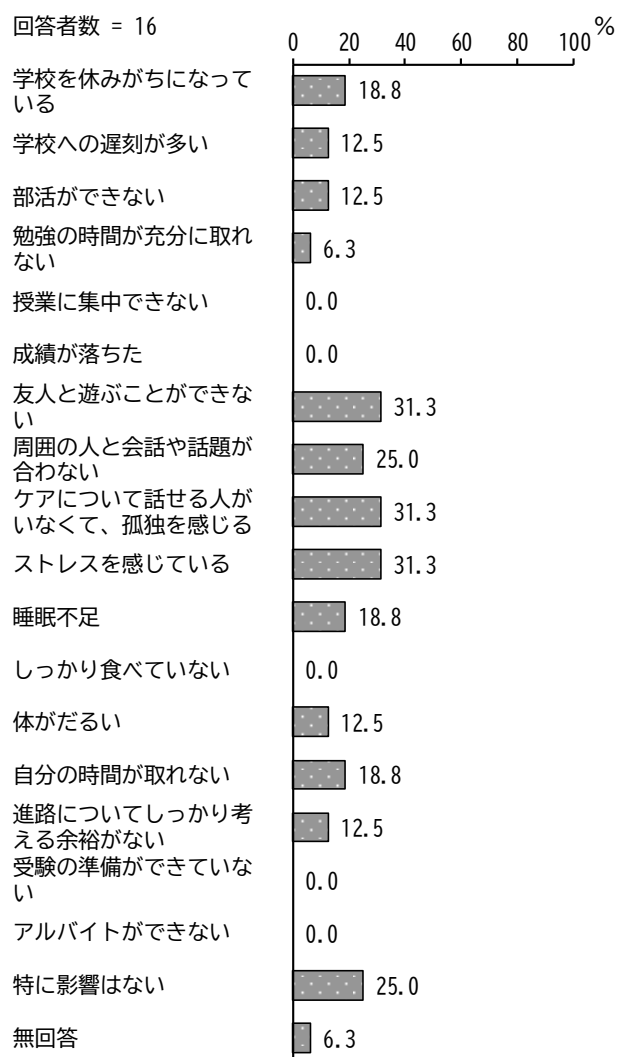
問4 お世話（ケア）を必要としている方（していた方）の状況やあなたがやっている（行っていた）お世話とは何ですか。

「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が75.0%と最も高く、次いで「きょうだいの世話」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」の割合が37.5%となっています。



問5 家族のお世話（ケア）をしているために、自分の生活にどんな影響が出ている（出ていた）と思いますか。（〇はいくつでも）

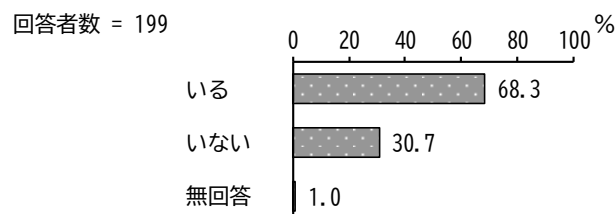
「友人と遊ぶことができない」、「ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる」、「ストレスを感じている」の割合が31.3%と最も高くなっています。



(3) あなたの、現在の人間関係や悩み事について

問6 あなたは、親友と呼べる友人がいますか。(○は1つだけ)

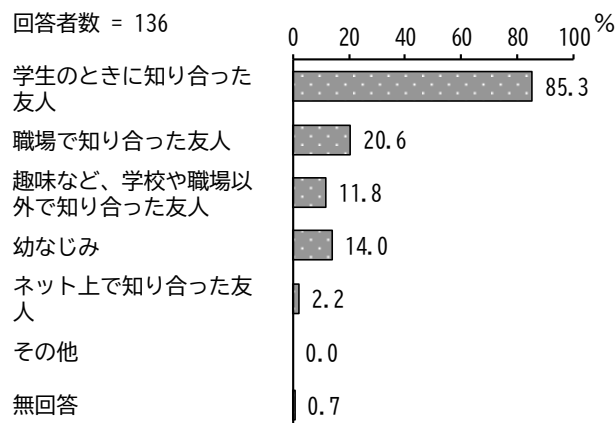
「いる」の割合が 68.3%、「いない」の割合が 30.7%となっています。



問6で「いる」と答えた方のみ、問7の質問に回答してください。

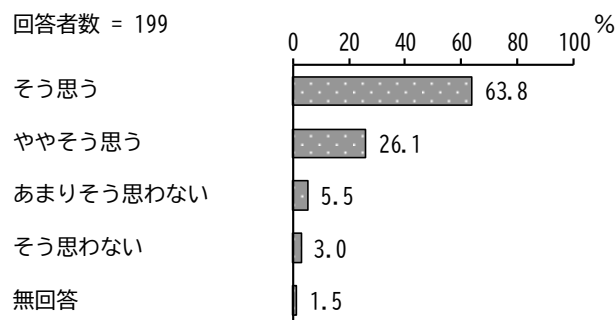
問7 その人はどのような人ですか。次のうちからあてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「学生のとときに知り合った友人」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「職場で知り合った友人」の割合が 20.6%、「幼なじみ」の割合が 14.0%となっています。



問8 あなたは、家族とは仲が良いと思いますか。(○は1つだけ)

「そう思う」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が 26.1%となっています。



問9 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○は1つだけ)

「思う」の割合が35.7%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が25.6%、「非常に思う」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 199

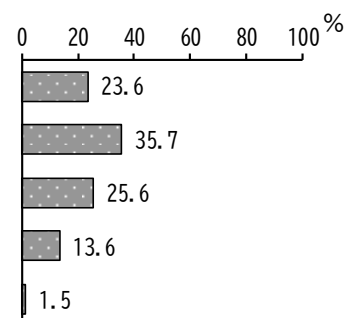
非常に思う

思う

少し思う

思わない

無回答



問10 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○は1つだけ)

「親」、「配偶者・パートナー」の割合が23.6%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が16.6%となっています。

回答者数 = 199

親

きょうだい

友人・知人

配偶者・パートナー

祖父母

学校の先生

職場の同僚・上司

カウンセラー・精神科医

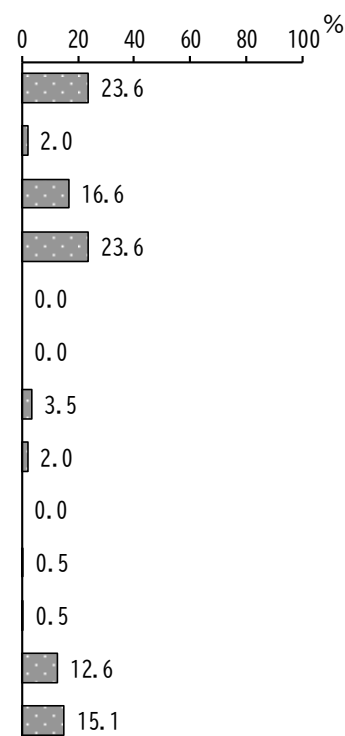
都・市などの専門機関の人

ネット上の知り合い

その他

誰にも相談しない

無回答



問11 あなたが、現在の人間関係に関して不安に思っているものがあれば、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

「不安に思うものはない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「職場（アルバイト先）での人間関係」の割合が23.6%、「家族関係」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 199

家族関係

友人関係

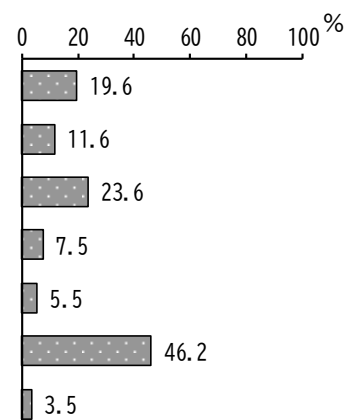
職場（アルバイト先）での人間関係

恋愛のこと

その他

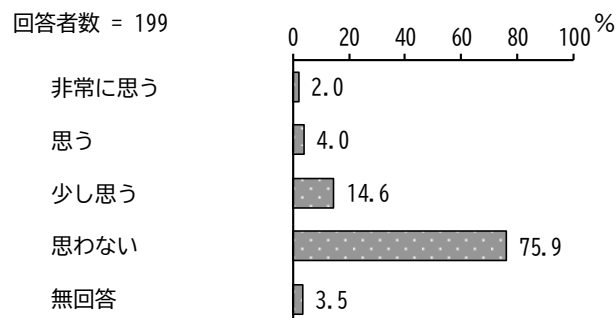
不安に思うものはない

無回答



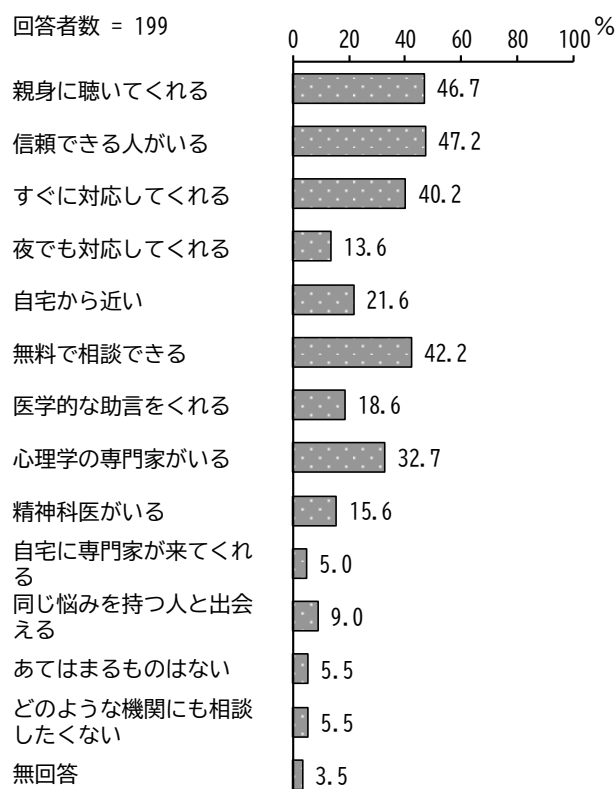
問 12 現在の状態（人間関係など置かれている環境や、不安に思っているもの・悩みなど）について、関係機関（例：市役所青少年課、東京都若者総合相談センター 若ナビα等）に相談したいと思いますか。（○は1つだけ）

「思わない」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が 14.6%となっています。



問 13 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。（○はいくつでも）

「信頼できる人がいる」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「親身に聴いてくれる」の割合が 46.7%、「無料で相談できる」の割合が 42.2%となっています。



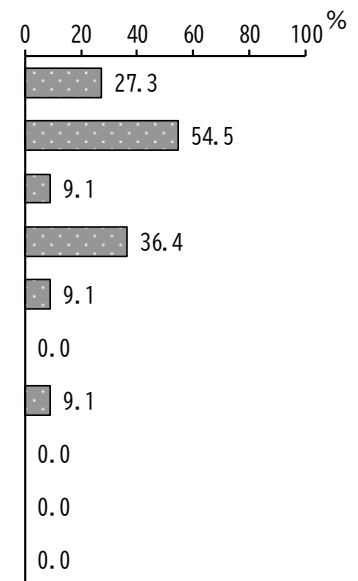
問 13 で「どのような機関にも相談したくない」と答えた方のみ、回答してください。

問 14 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

「行っても解決できないと思う」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「相手にうまく話せないと思う」の割合が 36.4%、「自分のことを知られたくない」の割合が 27.3%となっています。

回答者数 = 11

自分のことを知られたくない
行っても解決できないと思う
何をきかれるか不安に思う
相手にうまく話せないと思う
行ったことを人に知られたくない
お金がかかると思う
相談機関が近くにいる
その他
特に理由はない
無回答

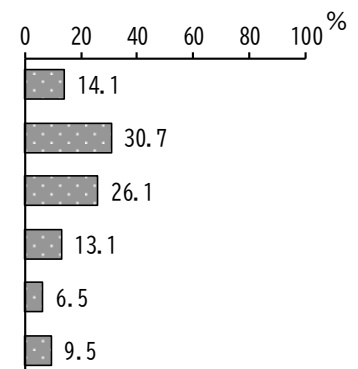


問 15 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つだけ)

「ほとんどない」の割合が 30.7%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が 26.1%、「決してない」の割合が 14.1%となっています。

回答者数 = 199

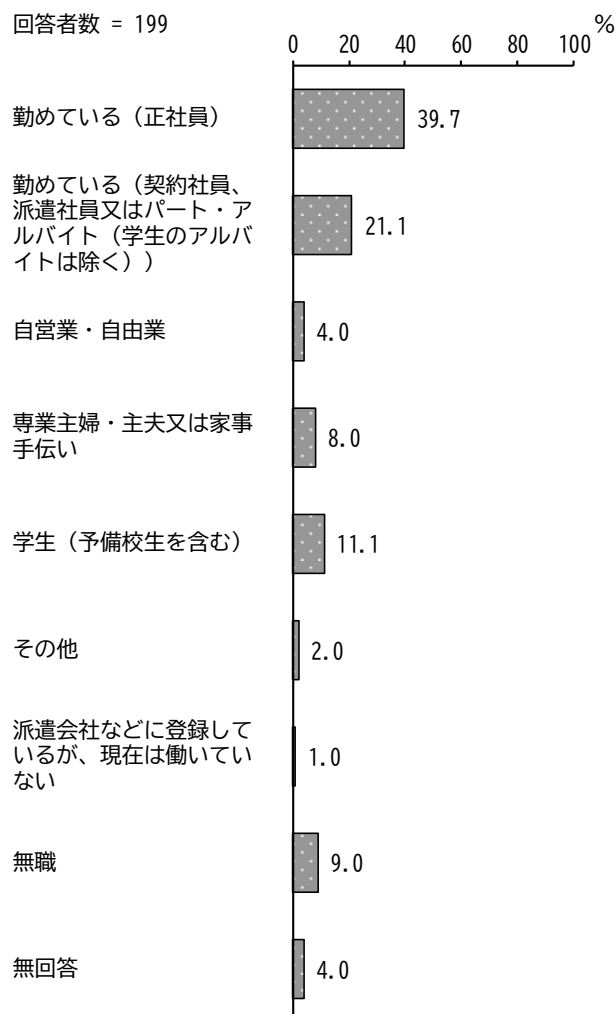
決してない
ほとんどない
たまにある
時々ある
しばしばある・常にある
無回答



(4) 仕事に関することについて

問 16 あなたは現在働いていますか。(○は1つだけ)

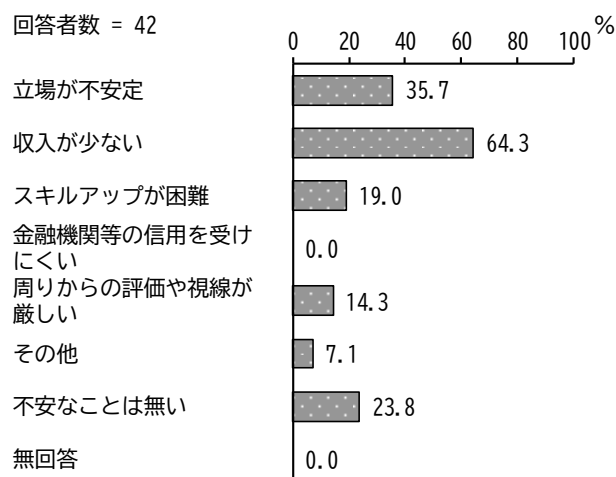
「勤めている（正社員）」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」の割合が 21.1%、「学生（予備校生を含む）」の割合が 11.1%となっています。



問 16 で「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」と答えた方のみ、問 17～問 18 の質問に回答してください。

問 17 あなたは現在の雇用形態について不安なことはありますか。(○はいくつでも)

「収入が少ない」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「立場が不安定」の割合が 35.7%、「不安なことは無い」の割合が 23.8%となっています。

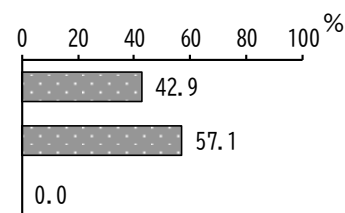


問 18 あなたは、正社員として就職したいですか。(○は1つだけ)

「したい」の割合が 42.9%、「このままでも良い」の割合が 57.1%となっています。

回答者数 = 42

したい
このままでも良い
無回答



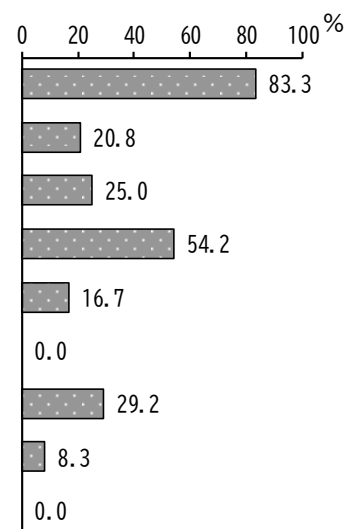
問 18 で「このままでも良い」と答えた方のみ、問 19 の質問に回答してください。

問 19 あなたが、現在の雇用形態のままだと考える理由であてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「時間の融通がきくから」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「あまり責任を感じずに済むから」の割合が 54.2%、「主に家事や育児をしているから」の割合が 29.2%となっています。

回答者数 = 24

時間の融通がきくから
好きな仕事ができるから
仕事以外にやりたいことがあるから
あまり責任を感じずに済むから
定職にしたいと思う仕事が無いから
今のままだと十分に収入があるから
主に家事や育児をしているから
その他
無回答



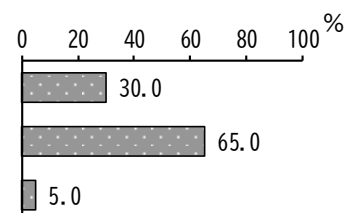
問 16 で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「無職」と答えた方のみ、問 20～21 の質問に回答してください。

問 20 あなたは現在就職活動や、進学のための勉強などをしていますか。(○は1つだけ)

「している」の割合が 30.0%、「していない」の割合が 65.0%となっています。

回答者数 = 20

している
していない
無回答

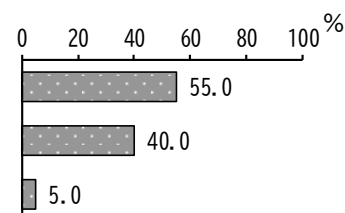


問 21 あなたは現在仕事をしたいと思っていますか。(○は1つだけ)

「仕事をしたい」の割合が 55.0%、「仕事を
したくない」の割合が 40.0%となっています。

回答者数 = 20

仕事をしたい
仕事をしたくない
無回答



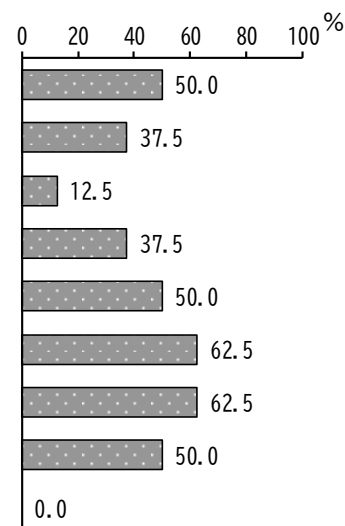
問 21 で「仕事をしたくない」と答えた方のみ、問 22 の質問に回答してください。

問 22 あなたが仕事をしたくないと思う理由について教えてください。

「体力的につらい」、「働く意味が見いだせな
い」が5件となっています。「人間関係がうまく
いかない」、「お金を稼ぎたい」という気持ち
がない」が4件となっています。

回答者数 = 8

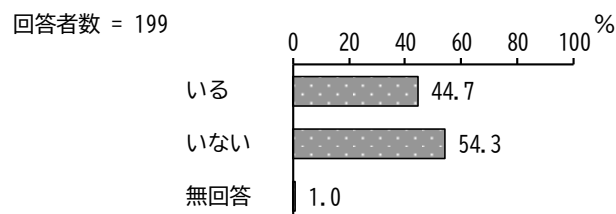
人間関係がうまくいかな
い
給料が見合わない
仕事や職場が合わない
自由な時間が欲しい
「お金を稼ぎたい」とい
う気持ちがない
体力的につらい
働く意味が見いだせない
その他
無回答



(5) 結婚・将来のことについて

問 23 あなたは現在配偶者がいますか。(○は1つだけ)

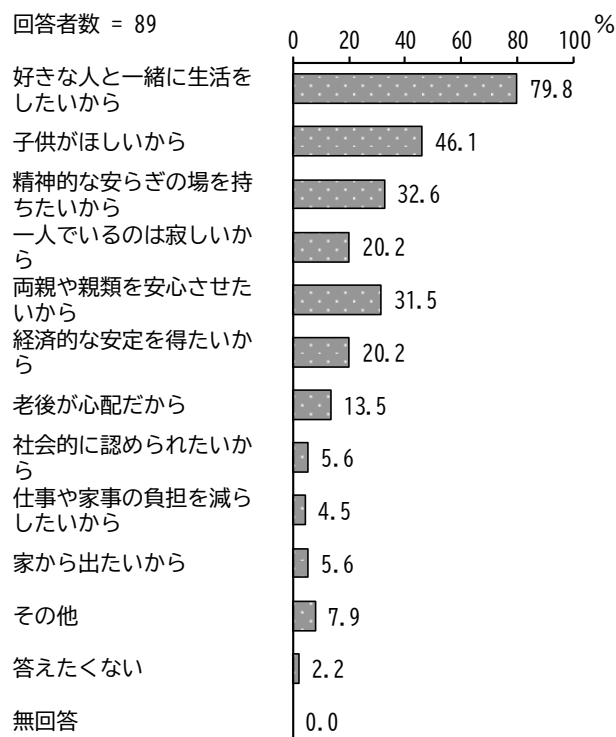
「いる」の割合が 44.7%、「いない」の割合が 54.3%となっています。



問 23 で「いる」と答えた方のみ、問 24 の質問に回答してください。

問 24 現在結婚している方は結婚した理由について、当てはまるもの全てお選びください。(○はいくつでも)

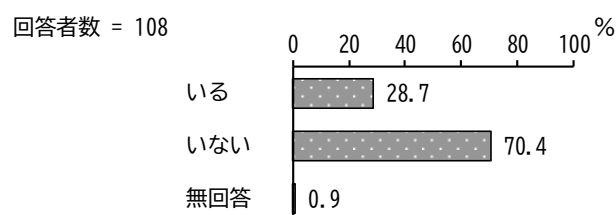
「好きな人と一緒に生活をしたいから」の割合が 79.8%と最も高く、次いで「子供がほしいから」の割合が 46.1%、「精神的な安らぎの場を持ちたいから」の割合が 32.6%となっています。



問 23 で「いない」と答えた方のみ、問 25 の質問に回答してください。

問 25 あなたは、現在交際しているパートナーはいますか。(○は1つだけ)

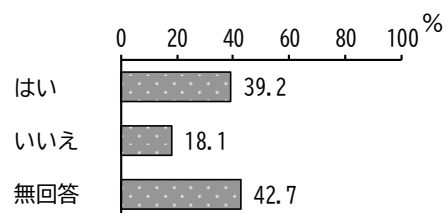
「いる」の割合が 28.7%、「いない」の割合が 70.4%となっています。



問 26 あなたは、いつかは結婚して家庭を持ちたいと思いますか。(○は1つだけ)

「はい」の割合が 39.2%、「いいえ」の割合が 18.1%となっています。

回答者数 = 199

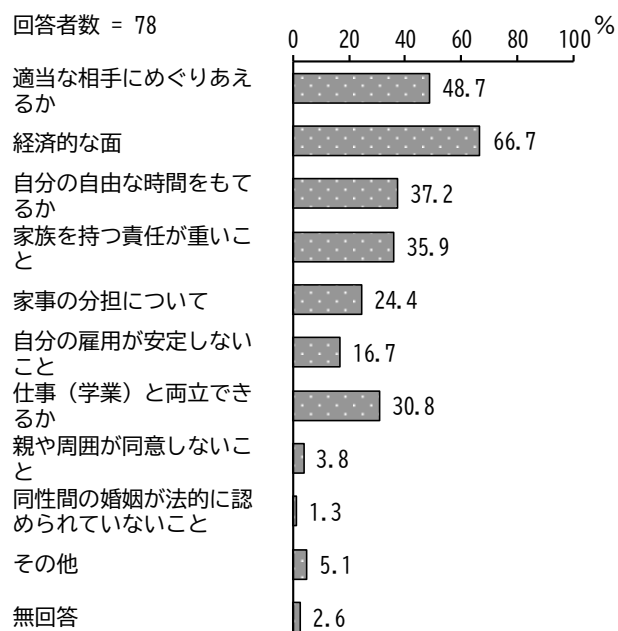


問 26 で「はい」と答えた方のみ、問 27 の質問に回答してください。

問 27 あなたが現在結婚について抱いている不安として、当てはまるものを次のうちから選んでください。(○はいくつでも)

「経済的な面」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「適当な相手にめぐりあえるか」の割合が 48.7%、「自分の自由な時間をもてるか」の割合が 37.2%となっています。

回答者数 = 78



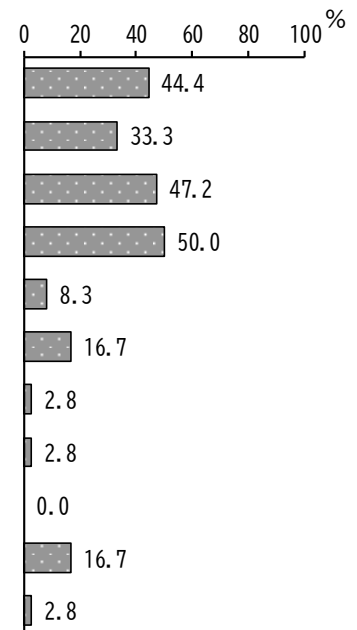
問 26 で「いいえ」と答えた方のみ、問 28 の質問に回答してください。

問 28 あなたが結婚したくないと考える理由を次のうちからお答えください。
(○はいくつでも)

「家族を持つ責任が重いから」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「自分の自由な時間をもてないから」の割合が 47.2%、「適当な相手にめぐりあわないから」の割合が 44.4%となっています。

回答者数 = 36

適当な相手にめぐりあわないから
経済的な面
自分の自由な時間をもてないから
家族を持つ責任が重いから
家事の分担があるから
自分の雇用が安定していないから
仕事（学業）と両立できないから
親や周囲が同意しないから
同性間の婚姻が法的に認められていないから
その他
無回答



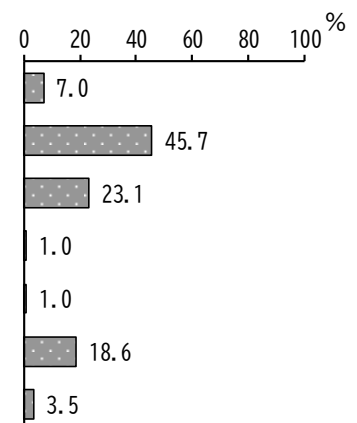
問 29 あなたの理想とする子どもの数と、現実の子どもの数は何人ですか。
(○はそれぞれ 1 つだけ)

(1) 理想

「2 人」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「3 人」の割合が 23.1%、「子どもは欲しくない」の割合が 18.6%となっています。

回答者数 = 199

1 人
2 人
3 人
4 人
5 人以上
子どもは欲しくない
無回答

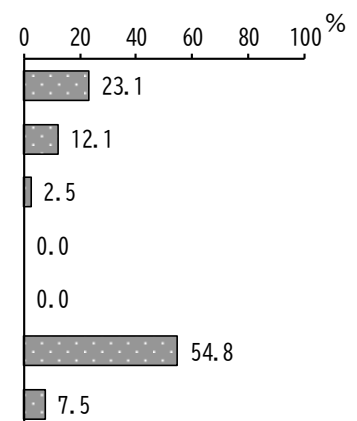


(2) 現実

「現在子どもはいない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「1 人」の割合が 23.1%、「2 人」の割合が 12.1%となっています。

回答者数 = 199

1 人
2 人
3 人
4 人
5 人以上
現在子どもはいない
無回答



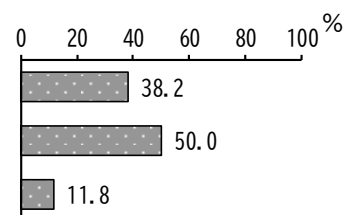
問 29 で、現実の子どもの数が、理想の子ども数より少ない回答をされた方は、問 30～32 の質問に回答してください。

問 30 あなたが理想とする子どもの人数は、実現可能だと思いますか。
(○は1つだけ)

「実現可能だと思う」の割合が 38.2%、「実現することは難しいと思う」の割合が 50.0%となっています。

回答者数 = 144

実現可能だと思う
実現することは難しいと思う
無回答



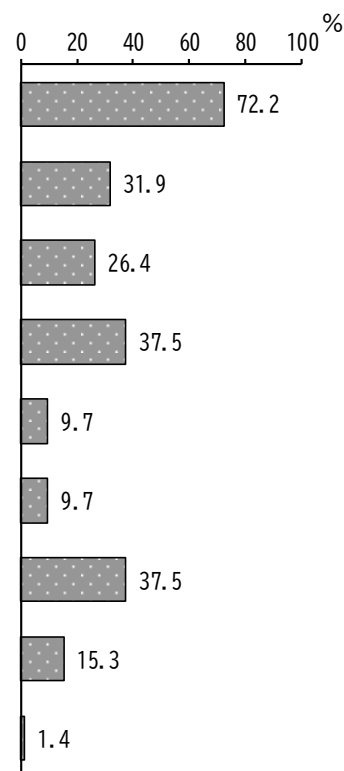
問 30 で「実現することは難しい」と答えた方は、問 31～32 の質問に回答してください。

問 31 実現することが難しいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

「子育てのための経済的負担が大きいから」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が困難だから」、「年齢的あるいは健康上の理由から」の割合が 37.5%となっています。

回答者数 = 72

子育てのための経済的負担が大きいから
子どもが将来どう育つか不安になるなど、精神的負担が大きいから
子育てのための肉体的負担が大きいから
仕事と子育ての両立が困難だから
子育てより自分の時間を大切にしたいから
子育てをするための住宅事情が悪いから
年齢的あるいは健康上の理由から
その他
無回答



問 32 子どもを欲しいと思う理由について、当てはまるものを全てお選びください。
(○はいくつでも)

「子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「子どもが好きだから」の割合が 50.0%、「好きな人の子どもが欲しいから」の割合が 36.1%となっています。

回答者数 = 72

子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから

子どもが好きだから

好きな人の子どもが欲しいから

結婚して子どもを育てることは自然なことだから

親や友人が子育てをしている様子を見て、良いイメージがあるから

子どもは老後の支えになるから

交際相手や親など周囲が望むから

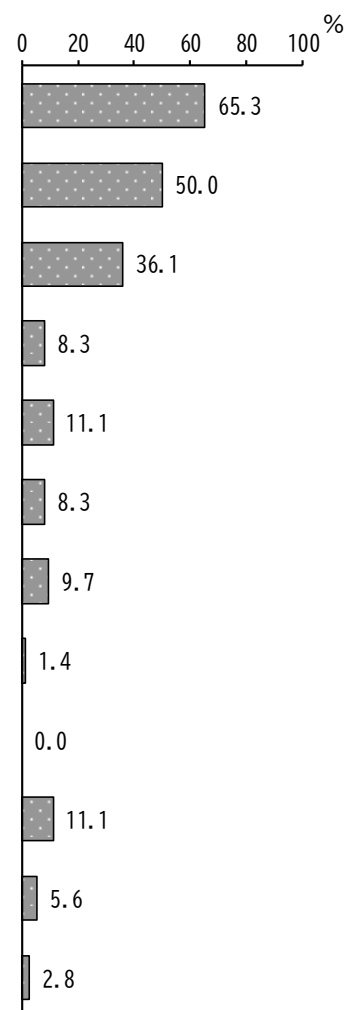
子どもを育てることで周囲から認められるから

有名人が子育てをしている様子を見て、良いイメージがあるから

その他

答えたくない

無回答



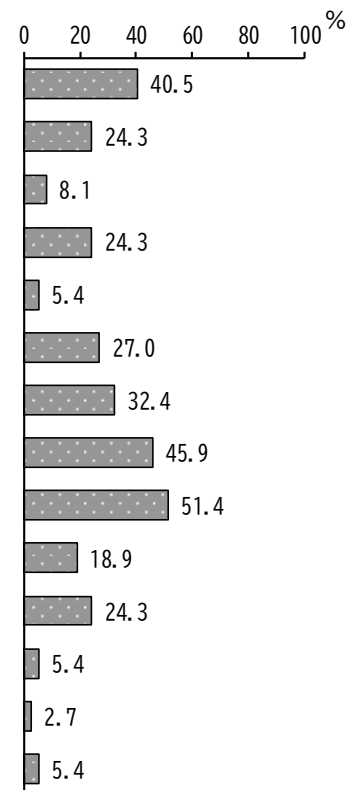
問 29 で「(1) 理想の子どもの数」に「子どもは欲しくない」と答えた方のみ、問 33 の質問に回答してください。

問 33 子どもを欲しくないと思う理由について、当てはまるものを全てお選びください。(○はいくつでも)

「子育てをする自信がないから」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「経済的に不安があるから」の割合が 45.9%、「結婚をするつもりがないから」の割合が 40.5%となっています。

回答者数 = 37

結婚をするつもりがないから
夫婦だけで暮らしたいから
仕事を優先させたいから
趣味・娯楽を優先させたいから
友人との関係を優先させたいから
健康上の理由から
妊娠・出産が大変だと思うから
経済的に不安があるから
子育てをする自信がないから
子どもが好きではないから
社会全体が子どもや子育てにやさしくないから
その他
わからない
無回答

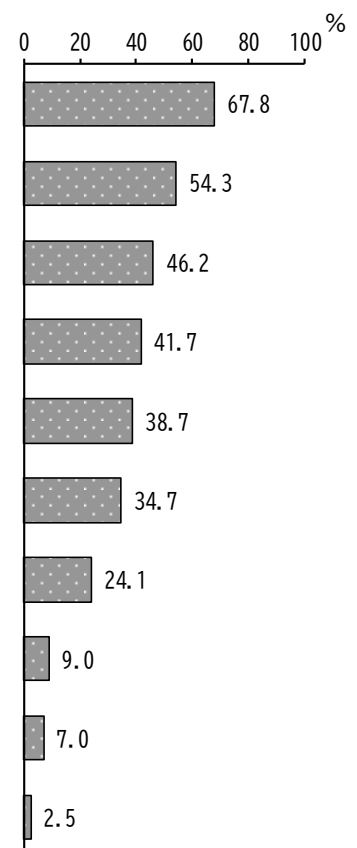


問 34 子ども・子育てにやさしい社会を作る上で、有効だと思う取組は何だと思いますか。当てはまるものを全てお選びください。(○はいくつでも)

「子ども・子育てに関する社会の理解促進」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「公共・民間施設での育児サービスの充実（おむつ替えスペース等）」の割合が 54.3%、「移動しやすい環境整備（公共交通機関での優先スペース等）」の割合が 46.2%となっています。

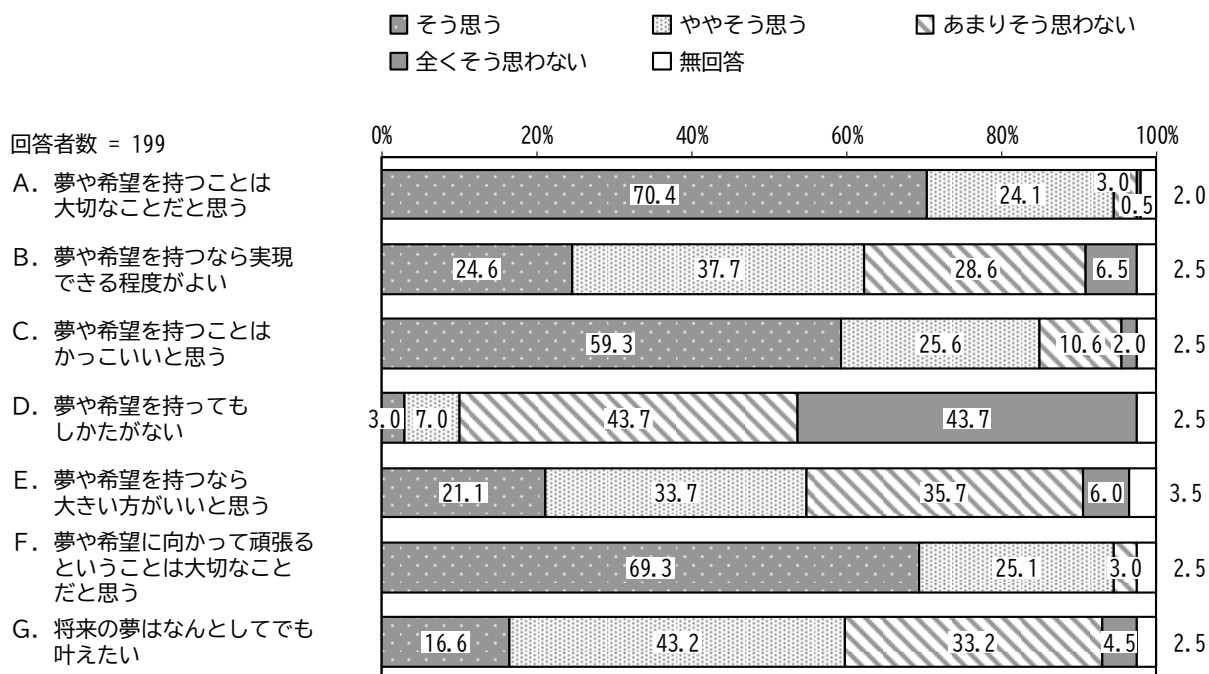
回答者数 = 199

子ども・子育てに関する社会の理解促進
公共・民間施設での育児サービスの充実（おむつ替えスペース等）
移動しやすい環境整備（公共交通機関での優先スペース等）
行政による子育て支援の情報発信
子ども・子育てを応援する地域や企業の取組紹介
地域での子育て支援の促進（地域ボランティア等）
子育て中の父親・母親同士が交流できるきっかけづくり
その他
わからない
無回答



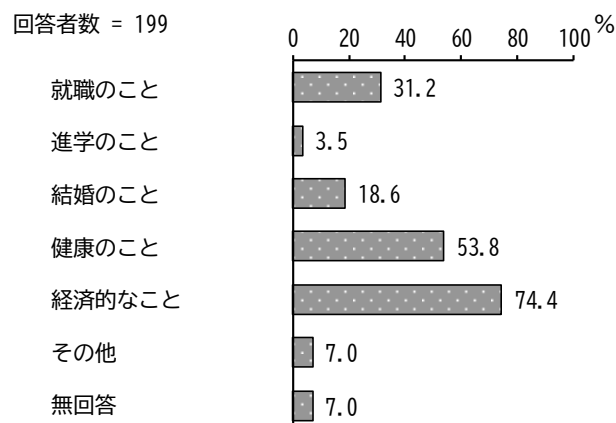
問 35 夢を持つことについて、次の項目ごとにあなたの考えに最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(○は各項目につき1つ)

「D. 夢や希望を持ってもしかたがない」で「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」の割合が、「G. 将来の夢はなんとしてでも叶えたい」で「ややそう思う」の割合が高くなっています。



問 36 あなたが将来に関することで不安に思っていることがあれば、次のうちから選んでください。(○はいくつでも)

「経済的なこと」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「健康のこと」の割合が 53.8%、「就職のこと」の割合が 31.2%となっています。



(6) あなた自身のことについて

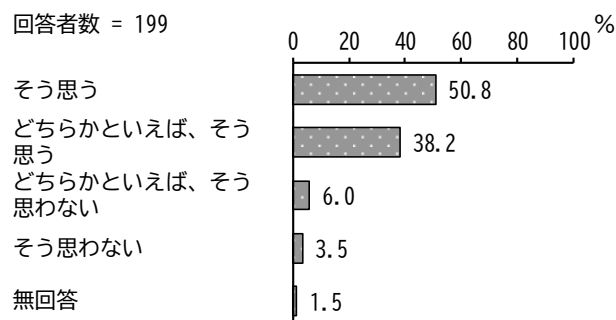
問 37 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。(○は各項目につき1つ)

「N. 自分の生活のことで人から干渉されたくない」、「R. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのは仕方がないと思う」で「はい」の割合が高くなっています。一方、「S. 自殺を考えたことがある」で「いいえ」の割合が高くなっています。



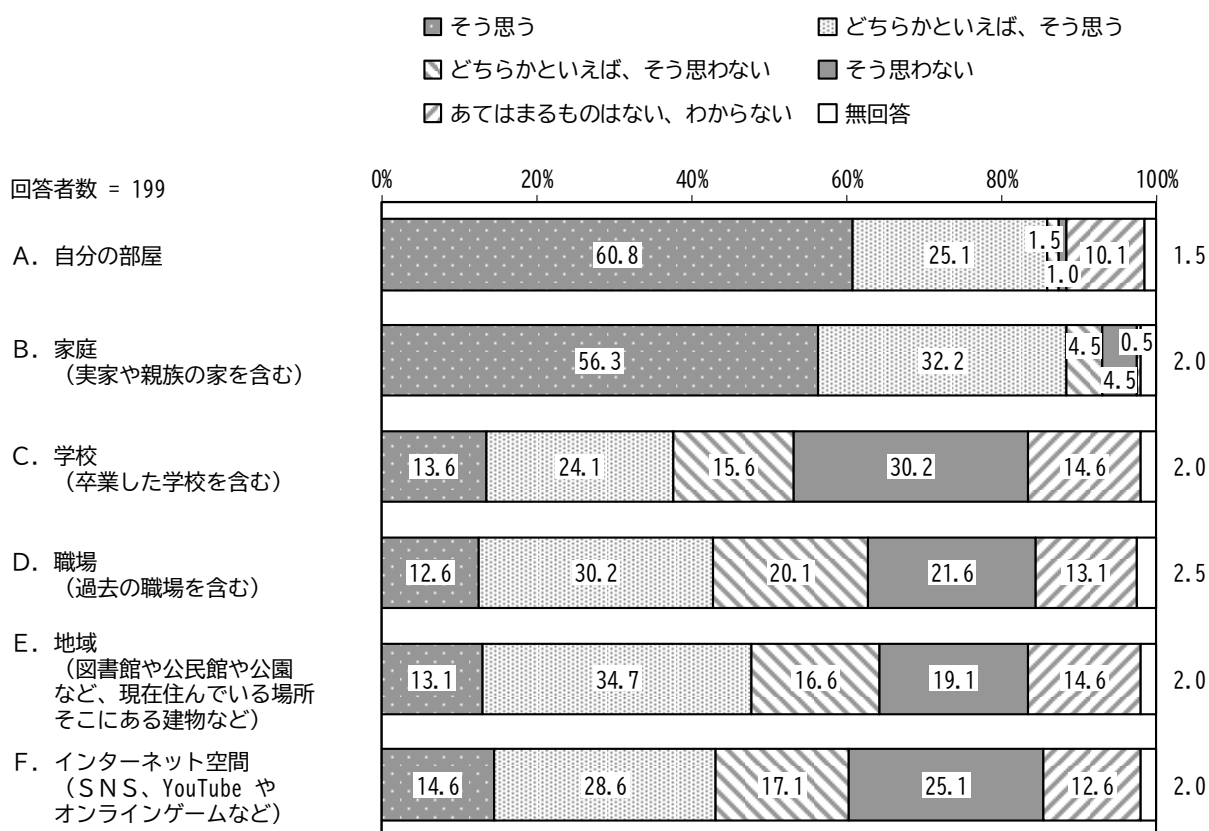
問 38 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(○は1つだけ)

「そう思う」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が 38.2%となっています。



問 39 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。(○は各項目につき1つ)

「A. 自分の部屋」、「B. 家庭（実家や親族の家を含む）」で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、「C. 学校（卒業した学校を含む）」で「そう思わない」の割合が高くなっています。



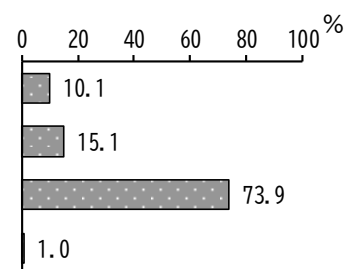
(7) 公共施設・関係機関や政策について

問 40 東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）を知っていますか？（○は1つだけ）

「知らない」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 15.1%、「知っている」の割合が 10.1%となっています。

回答者数 = 199

知っている
聞いたことはある
知らない
無回答

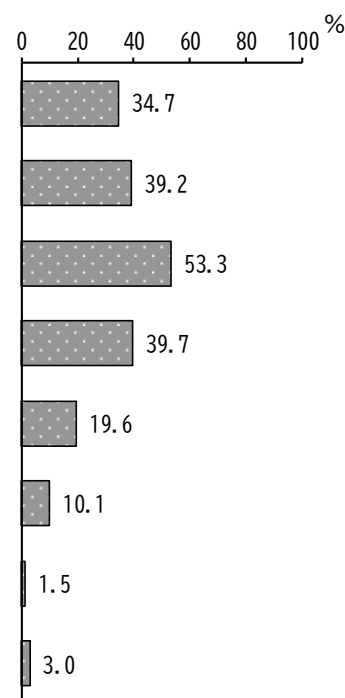


問 41 市の情報（子育て情報、災害情報など）をどの方法で知りたいですか。（○はいくつでも）

「市公式SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook、LINE〕」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「市からの郵送物」の割合が 39.7%、「市公式ホームページ」の割合が 39.2%となっています。

回答者数 = 199

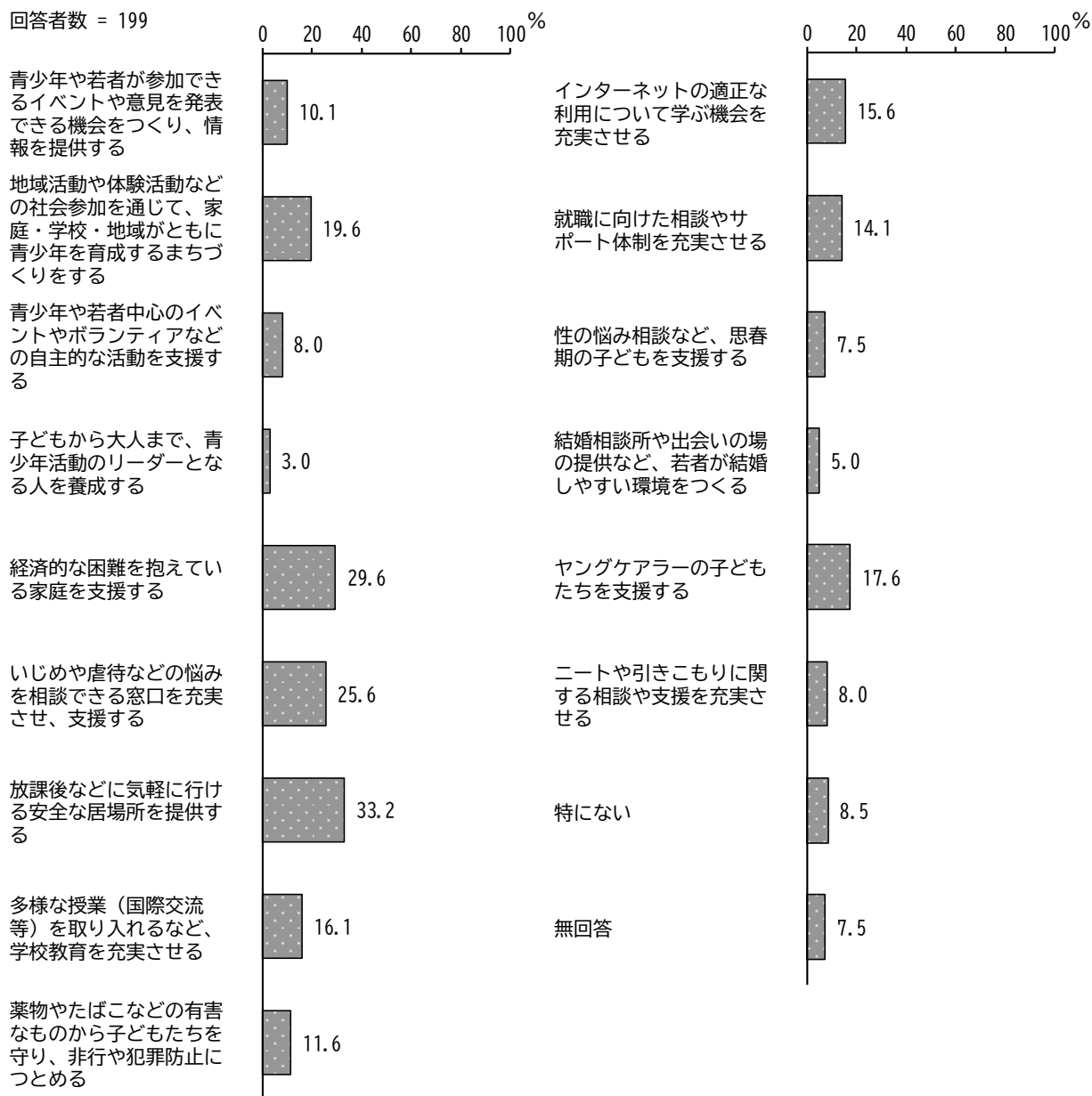
市報
市公式ホームページ
市公式SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook、LINE〕
市からの郵送物
ポスター
パンフレット
その他
無回答



問 42 あなたは、東大和市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか
(〇は3つまで)

「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」の割合が 29.6%、「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する」の割合が 25.6%となっています。

回答者数 = 199



Ⅲ 自由回答・自由意見

アンケートの最後に、東大和市における子育ての制度や支援についての考えや希望、要望などについて、未就学児では 295 名、就学児では 157 名、中学生では 34 名、高校生では 17 名の方から合計 503 件の回答をいただきました。ここでは寄せられた回答の中から、各事業等の項目ごとに代表的な意見を紹介します。

内容は多岐にわたっており、紙面の都合上すべてを掲載することができないため、意見の主旨を損なわないように配慮しながら一部省略、修正をしました。

意見の件数は、同じ人で複数の意見がある場合は、分けており、回答者数より多くなっています。

1 未就学児保護者

カテゴリー項目	件数
(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について	34
(2) 保育園について	50
(3) 幼稚園について	7
(4) 学童保育・ランドセル来館について	16
(5) 学校について	42
(6) 放課後子ども教室について	7
(7) 児童館について	13
(8) 公園・遊び場について	47
(9) 母子保健・医療について	38
(10) 病児・病後児保育・障害児保育等について	18
(11) 子育て制度・行政等について	92
(12) その他	44

(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について

- ・ 一時預かりが予約でとれない事があるので、もっと一時預かり事業を増やしてほしい。また、日・祝も預れるようにしてくれたらありがたい。
- ・ 子どもが幼稚園に入るまでは一時預かり（主にかかるがも）を利用してパートができたのがうれしかったです。また、リフレッシュにも利用でき、精神的にもとても救われました。今後も一時保育事業を続けてほしいです。ありがとうございました。
- ・ 支援センターの施設を新しくしてほしいです。とても多くの方が利用し、助けられているにも関わらず駐車場はじゅうり、おもちゃも使い古されたものが多く、児童館の方がよりおもちゃの種類があります。
- ・ 私のように身近に頼れる人がいない場合、支援センターの一時預かりを良く利用しますが、兄弟を預ける場合は少しでも割引があると助かります。
- ・ ママ同士が気負わず、コミュニケーションをとれる場（土、日、祝に）がほしいです。平日は、フルタイムで働いており、保育園のおむかえ時も、あわただしくすませてしまい、近所や保育園でコミュニケーションがありません。

- ・ 東大和の子育て支援サービスはとても充実していると思います。かるがもの一時保育や、子育て広場は、保育園に通っていない子どもの親としてはとてもありがたいサービスでした。かるがものスタッフの方々には本当に助けられました。話を聞いて頂けるだけでも子育ての大変さがだいぶ軽減されます。気軽に相談できる人がいることはとても心強いです。イベントとかではなく、自分の都合の良い時にいつでも行ける支援センターの存在がありがたかったです。特に新しいものは必要と思いませんが、ずっと続いてくれると良いと思います。
- ・ 父親の仕事で長期出張があり、両親（祖父母）も障害や病気で頼れないのもう少し近いところに一時保育が利用できる場所があるとよい（0才児育児中）。現状0才児の一時預かりをやっているのがひとつだけなので、行くのも大変で利用することが難しい。
- ・ 補助金も助かるのですが、何より、人とのつながり居場所づくりが1番大切です。何かあった時、お互いサポートしあえる関係程強いものはありません。サポート側の方にお金を使って下さい。頼れる人がいない、その時に気軽に見てくれる人や母の入院時、長期で複数人を預かってもらえる場がありません。妊娠しても、上の子の預け先がなく、切迫早産になったらどうしようという悩みがありました。
- ・ 補助金の無さや保育園の数、学校に学童が併設されていないため子ども達だけで移動を余儀なくされる事、預ける時間が短く曜日も限られている事等。もっと気軽に預けられる場がほしい。
- ・ 生まれたての子どもがいる時期は、母親はとても孤独に感じることがあるので、一人でも行きやすい場所を提供してもらえると嬉しいです。
- ・ 理由問わず、制限なく子どもを預けられる施設があると良い。
- ・ 土日祝でも利用できる支援センターがたくさんあると嬉しいです。近くにあったら利用したいです。
- ・ 産後、子どもを自転車に座って乗せられるまで、支援センターに行ったり外で他の親子さんと交流できる場に行くことができず、夫が外国にいて1人の中、孤独感がすごく強かった。支援センターのような場所を増やして欲しい。バスで送迎してくれるサービスなどがあれば嬉しい。
- ・ かるがもなど一時預かりのハードルが高い。予約とれない急な体調不良で病院に行きたいときにこまる。
- ・ リフレッシュのために、土日に子どもをあずかってくれる施設がほしい。時々、母親もリフレッシュが必要。今は、認可保育園に入っていない子どもが、土日にリフレッシュの時にあずかってくれる施設があるが、認可保育園に入っている子どもでもリフレッシュの時にあずかってくれるようにしてほしい。
- ・ 一時保育は、親の体調不良や通院の時に利用したいからです。また、祖父母も孫のために仕事が休みやすくなるとよいと思います。現状は、祖父母が働いていて休めないので緊急時などに頼れないです。
- ・ 子育てひろば等について、引っ越してくる前の自治体の支援センター等に比べ、東大和市の支援センターは利用者も少ない・活気がない・自由参加のイベントも少ない。予約制のイベントも狭いからか定員数が少ない。・おもちゃの数も少ないし、年季の入った古いものも多い。・おもちゃは、月齢別に一時期しか使わない物が多い為自宅には高価な物は中々買いにくいので、支援センターには手作りおもちゃ等よりしっかりしたおもちゃや家に置きにくい大きいおもちゃを置いて欲しい。・建物の構造上なのか、狭く薄暗く風通しも良くない。・職員の方も常に巡回していないので、気軽に相談出来る雰囲気では無い。前の自治体の支援センターは常にスタッフが巡回していて、話しかけてくれたり、1人での親子に声をかけて他の月齢の近いママとの架け橋になって一緒に遊んだりしやすくしてくれていた。また疲れている時はスタッフが子どもの遊び相手をしてくれて、母親は休んだりできた。・息抜きに人と話したいと集まりの場に行っても閑散としているので、家に子どもといると変わらない。夜泣きで寝不足な中、支度をしてわざわざ出向く気にならなかつた。ただ、子どもには家がない目新しいおもちゃが刺激になり夜長く寝てくれるようになるのでその為になるべく行っている。辛辣な事を長々書きましたが、他自治体と比べて結構差があると感じました。東大和市の子育て政策、期待しております。よろしくお願いします。
- ・ 上の子が2歳、今回の調査対象の子どもも1歳であり、私自身育休中で子育てというほどの子育てをしていませんが、この3年間で感じたことは、給付金や市が手がけている相談できる場があり、ありがたかったです。子どもを笑顔で健康にするためまずは母親が笑顔で健康であるために、無料で月に1回子どもを預けて自分の時間をもらえるサービス等があれば良いなと感じました。日本の母親はきっと頑張り過ぎて周囲に頼れない母親が多いのではないかと感じます。子ども家庭支援センター等子どもを預ける手段はありますが、なかなか自分で預ける勇気が出ない人も居るかと思います。そんな時に、給付金や支援金だけでなく無料で子どもを預けられるサービスがあれば、無料だし一度利用してみようかなと思う人もいらっしゃるのではないかと思います。また利用することで、その施設をまた利用してみようと思えたり、他の行事等にも参加してみようかなと思えたり、自分の時間を過ごしてみても育児頑張ろうと思えたりできるのではないかと思います。
- ・ かるがもさんは東大和市のどの保育施設より、安心できます。そう言ったところがもう少し増えればと思います。
- ・ 一時保育の予約が取りやすくなると嬉しい。予約がいっぱいだったり、予約が1ヶ月前なので予定を決めづらい。仕事の場合は証明書を出せば一時保育の利用料金が安くなったりすると助かります。
- ・ かるがもも一時保育はあるが、外で順番待ちをして予約を取らないといけないという時代にそぐわない制度なので、ネットで予約を取れるなど、時代にあった予約方法も希望します。区から引っ越しをして東大和市に来ましたが、あまりにも古い制度でびっくりしました。もっと新しい制度、時代にあった制度を取り入れて欲しいと思います。
- ・ 子育て支援センターかるがもの雰囲気が古く、暗い感じなのであまり行きたくないです。おもちゃもあまり綺麗ではありません。新しくリニューアルしてほしいです。明るく清潔な雰囲気を保ってほしいです。
- ・ かるがも一時保育室が利用したい時に予約がいっぱいでいつも利用できない。リフレッシュも大事ですが、本当に

必要な人が利用できるように、枠を増やすなど改善してもらいたい。

- ・ 市の中心部に行かないと何も無い(医療施設、育児施設)。出張かるがもを増やして欲しい。
- ・ 一般的な当たり障りのない対応よりも専門家の方の意見が聞ける機会が欲しいです。同じ地域に住む方と一緒に、軽い悩みは相談出来ますが、本気で悩んでいることは口には出来ません。子育てのための様々な制度や支援があることは知っていますが、結局お金がないので利用することができません。
- ・ 親の就労等に関係なく、こどもをいつでも預けられる施設を作って欲しい。
- ・ 一時預かりの利用料がもっと安かったらいいと思います。
- ・ 子どもが小さい時、毎日のように保育園の子育て広場に遊びに行っていました。今は預かりだけになってしまいましたが、気軽に行けて、ベテランの保育士さんが話を聞いていただき、悩みの相談にのってくれて、「お母さんなら、大丈夫よ」と笑顔で言ってくれるだけで、子育ての疲れやモヤモヤがなくなりました。お母さん同士の交流もでき、今でも仲が良い人もいます。未就学児のお母さんは家ばかりになりそうですが、そういう気軽に行けて、何気ないことをおしゃべりする場合は、リフレッシュするのにありがたいと思います。情報交換もできますし。東大和市外から来たお母さんは、1人で孤独を感じている人は多いと思います。そういう気軽に行ける場は貴重でした。
- ・ 0歳児の預かり保育がほとんど無く、1ヶ所しかないのももう少し増やしてほしい。
- ・ 一時預かりについては、急な体調不良で「急に預けたい」と思うことが多かったので、即日利用できるようなシステムがあれば良いと思います。要求ばかりになりましたが、私自身は市役所の方や保健センターの方にとっても助けられましたのでこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。これからも”子育てしやすい街東大和”を作っていくて下さい。

(2) 保育園について

- ・ 仕事のない日（母が土曜出勤で木曜休み）にも保育園を理由などなくても預かってもらいたい。現状は木曜休みなので週4日しか通園しておらず、通院や家の用事などで理由のある時のみ週5日通園しています。給食費など一律なので、就学に向けてリズムを作る為にも週5日登園できると良いのと思います。
- ・ 認可保育所が少ない。又、保育士の不足により必要な保育を受けられていない。(例) 8:30~17:00の仕事がある場合にも子どもの身心の状態を理由に早めの迎えを強要される。給食を食べない(本人の気分) 装具の破損(着けてなくとも歩行が可能) 鼻水がすごいから等の理由をつけ、度々仕事を欠勤、早退させられている為、本当に保育の充実力を入れてほしい。加配を利用しているが16:30で退勤するからとの理由で親の仕事の時間さえ変えさせられている。
- ・ 土曜保育があるのは助かるが祝日も保育園をやってほしいと思う。保育園の休みや祝日にあわせてお休みをとるのが難しい場合もある。
- ・ 保育サービスの費用負担を充実させてほしい。・働きたいのに保育園の待機児童が多くて働けない。待機児童0となっているが実際は0ではないと聞いた。ホームページの記載は合っているのでしょうか。・土・日の預け先を増やしてほしいです。身近に頼れる人がいない為。
- ・ 狭山保育園での一時保育を実施してほしいです。(廃園までの間) 1~2才(上の子が卒園までの間は(下の子) 保育可能など) (その後は転園)・清原付近に保育園を作してほしいです。・兄弟別々の保育園になってしまうなどは無くしてほしいです。
- ・ 保育園での習い事は、通園している園では体操だけだが、送迎が負担なので園で英語等の習い事等を自費で負担してもいいのでやってほしい。
- ・ 発達障害児のサポートがうすい。保育園での理解や、あずける時間の制限などがあり、辛かった。また、熱性けいれん時の坐薬の対応困難など、保育園を替えるとはいけないことは、子ども、親にとっても負担。保育士の処遇改善の前に、体制の整備の強化が必要。大変だからと園側が、声を大にして言う機会が増えただけ。働く親(フルタイム)は、悪者。パート短時間の親は、良い親、そんな保育園の状況にうんざりしてます。改善を望みます。
- ・ 保育園入園前は、保育課のコンシェルジュ2名の方に大変お世話になりました。おかげさまで3月末で卒園を迎えることができます。言葉の発達遅れもありつつ理解力はそこそこあり、場を読めるみたいで保育園で学んだかいがありました。
- ・ 保育園での保護者面談を年2~3回にしてほしい。
- ・ 保育園に同時に入りづらかったりすることが多いです。
- ・ 保育園申請の点数付けについて、保護者の親や親戚が周りや身近におらずサポートが受けられない場合も考慮頂きたい。また母(当方)は海外出張が多く家を空けることが多い。この点も考慮頂けるとありがたい。上記の理由から父(配偶者)が仕事を探す時間とタイミングがない状況にある。どうぞご検討のほどよろしくお願い致します。
- ・ 保育園にてかかる費用も園によってさまざまな為(カバン、体着服ナド)統一させてほしい。
- ・ 3人目でも保育園の給食費が無料であるとうれしい。
- ・ 子育てに関して保育園に関してなら経営が法人などで病児は休ませ、兄弟も元気でも休まなくてはいけない。病児だけ休んで兄弟は通園可などいろいろ。保育園選びする時、そこまで気にせずとりあえず入れれば。とみんな選ぶ。

市で統一する事ができないことを把握してるのか。色々な支援は嬉しいが、支援としての一番は、保育料、給食費、学費（教材費）の免除。給付金を繰り返したり、子ども手当を充実させるより、毎月かかる給食費、なにかと高い教材費を持って頂ける方が子育て支援と感じる。

- ・ また、保育園で行っているイベントの告知がホームページに載っていないことも多く、分かりにくいです。市ホームページなどに同じフォーマット内で統一してほしいです。
- ・ 保育園入園の為に点数で、学生の点数が 45 点で満点にならず困りました。16:30 まで授業では、保育園なしでは大変でした。
- ・ 昨年の夏は尋常ではない暑さで、テレビでも命に関わる暑さと報道されて、熱中症警戒アラートも発令されていました。そんな中、我が子が通う保育園では 0 才児クラスでも外で水遊びをしており不安を感じました。実際に近隣の市の小学校や保育園では、アラートが発令されると、校外・園外へ出ることを禁止していました。東大和市は、対応は園に任せるということ。夏しかできない遊びの経験も必要ですが、第一は子どもの命です。安全面の徹底をお願いしたいです。
- ・ 保育園の数を増やしてほしい（新堀）。
- ・ 狭山保育園廃園の撤回、市の公立保育園を増やす。
- ・ 4 月うまれば 11 ヶ月で 4 月の 0 才入園に申し込めるが、早うまれだと産まれてすぐになってしまい実質 4 月 1 才入園を狙わなければいけなくなってしまう。そうすると、1 才入園は保活も激戦なので入れなかったりして不平等だと思う。なので、育休 1 年終わったら入園が確実にできる制度をやしてほしい。子と一緒にいたいのに、早目に復帰しなくてはならないのは、双方にとって良くないと思う。
- ・ 保育園入所する時に、子どもに発達などのおくれがあり短時間勤務の延長の申出が保育園よりあった。
- ・ 保育料や子育てにかかるお金が多すぎてパート代だけではやっていけない。子どものために貯金もしてあげたいが今の現状では難しい。
- ・ 駅前など立地の良い場所に保育園、幼稚園を増やしてもらいたい。
- ・ 桜が丘地域での保育園の不足。
- ・ 保育園の利用に関して、仕事をしている時間帯のみあずかる保育園が多く、親のリフレッシュ利用も一律に可能にしてほしい。
- ・ 多胎児や子どもが多い世帯にもっとやさしい市であって欲しい。現に引越しをひかえているが、引越し先近くの保育園に転園できず、徒歩 30 分かけて登園させなければいけない状況。そして 3 人目の出産をひかえています。点数だけではなく、他の支援の方法も考えてくれなければとても子育てしにくいです。
- ・ 毎年、就労状況を出すのが、めんどくさい。色々な手続きがもっとかんたんにできるようにしてほしい。
- ・ 認可保育園を移転する時には入園前面談の時など、事前にお知らせして欲しいです。保育園に入園した後に移転を知らされた者としては、本当に困り家計にとっても影響が出ています。ぽけっとという施設は本当に利用者のことを考えてくれていてぜひ、あの土地に残して欲しい施設です。
- ・ 保育士です。利用者の支援はすごく広がり良いと思いますが、支える施設側の大変さはすごく感じます。「こども誰でも通園制度」すごく良いと思います。しかし、施設は大変になりそうです。（保育士の待遇を良くして欲しいです。直接人に届いて欲しい）。お父さんのお迎えや送り、子どもと居る姿が年々多くなりとても、とても良いと思います。
- ・ 東大和市に引越してきて 1 年半になりますが、子どもが保育園に通っているの、保育園にある情報（ポスターなど）以外の情報があまりわかりません。
- ・ 保育園について。育休中の人がかどもを保育園に入れるにあたり、条件が入園月の翌月 1 日までに復職とあるが、もう少し猶予期間を延ばしてほしい。復職先の人員が足りている場合、別部署や別会社（同グループ内の）に異動になるケースが多く、それらの面談や手続きには時間がかかる為です。現在私（母親）がそのような状況に置かれています。時間がないあせりや、異動先が見つからなかったら、最悪保育園を退園になってしまうケースを考えると怖いです。子育て世代の仕事の続けにくさを肌で感じています。母親の負担が大きすぎます。これでは少子化に拍車がかかると感じます。
- ・ 保育園の悩みで保育課に相談をしに行った事があるのですが、ただの無料相談所で中立として全く役に立たず今もモヤモヤしているが自己解決するほかないと思った。
- ・ 保育園の閉園時間が早いため、時短勤務にせざるをえなく、収入が減ってしまう。閉園時間を延長できないものか、又は減収分給付金で補えないか。
- ・ 保育園も車送迎が多いのに駐車場不足も感じます。保育園を作ってほしいと思います。
- ・ 保育士として働いていますが、自分の職場に子どもが入園出来たら送迎の手間が省けていいと思っています。また、早生まれだと 0 歳児入園が難しく、働けずに経済的に負担が増えてしまう。急いで探してどこでも空いているところにとすると、自宅や職場から離れているところを選択せざるをえない。
- ・ 0 才～2 才の保育料の減額を。
- ・ 認定こども園を向原だけではなく、清水や桜が丘の方にも増やして欲しいです。
- ・ 0 歳からでもリフレッシュで預けられる場所が欲しかった。育児ノイローゼになりそうだったし、保育園に早く入

れたくても、保育園の定員が少なく入らずに、保育園がある職場を選んだ。1歳の市内の保育園に入りたいから、0歳のうちに働いたが、今もしんどい。

- ・ 保育園での土曜保育などを親の就業を問わず、リフレッシュに使わせて欲しいです。
- ・ 保育園に入れて働きたい。少しでも貯蓄に回したいし、自由に使えるお金（常に夫に気を遣う）が欲しい。何より社会とのつながり、家事育児以外で自分の成長できる場所に行きたい。でも実際は専業主婦だから難しいし、子ども3人、かつ祖父母は頼れない、夫は帰りが遅くワンオペ、自分の時間が皆無なので、身動きがとれない。専業主婦が短時間でも働ける場所が市内にたくさんあればいいのに、と思うことがある。愚痴を吐き出せる場所が欲しい。夜ご飯をつくってくれる人がいたらいい。お風呂上がりに、こどもひとりでいいから、ふいてクリームをぬって服を着せてドライヤーをしてくれる人が欲しい。入学に向けた家庭学習をしてくれる家庭教師が欲しい。子どもひとりずつとめいっぱい公園で遊びたい。かんしゃくを起こしているときに、母親ひとりだけで対応したくない。母親が満たされれば、父親やこどもに怒りが向くことはないし、子育てに集中できる。
- ・ 保育園などの保育士人数の拡充。規定より+1人など、安心して預けられる保育環境。ただ施設を増やすではなく、保育の質の底上げ。
- ・ 日祝日もいつもの認可保育園で保育ができると嬉しい。
- ・ 1歳から入れる保育園を増やしてほしいです。
- ・ 施設に通っている方以外でも誰でも子育てしている保護者であれば、預かり保育園を利用できる制度を作りたい。
- ・ 子どもの登園渋りがあるので思うように預かり保育を利用することが出来ず、夜中に自分の仕事を進めるので睡眠不足が続いています。
- ・ 子育てで引越してきて、友人も居らず、実家が遠かったり、不仲や諸事情で頼れない方は、子育ての負担はかなり大きいと思います。日常的に送迎や家事の支援で頼れる方と同じフィールドで考えるのはどうなのかと疑問があります。以前復職しメンタル不調な時に夫が土曜日に学校に通う事になり、週6ワンオペで疲労困憊な時に、土曜日保育をお願いした所、事情も聞かずに「週6日預けるのはやめてください」と言われた事がすごく辛かったです。制度的な所はもちろん理解していますが、相談できる関係性もまだ作れて無かったですし、保育園のお考えもわかりますが、家族背景やワンオペ状況、祖父母の支援の有無等も考慮して助言していただきたかったです。そのような支援を臨みます。常に週6で預けるつもりも無かったですし、一時的な配慮はいただきたかったです。言わずにいた私もよく無かったのですが、そんな事相談したらダメだと飲み込んでいる方も多いと思います。家でイライラして過ごしてしまうより、保育園で笑って過ごしてほしいと思います。
- ・ 2人目以降は、希望する場合、保育施設での預かりを認めて欲しいです。お金がかかっても預けたかったです。2人目以降の育児は、上の子がいると、最低限の食事、排泄以外、十分にできません。外に連れ出すのも、準備や、授乳の時間を考えると一苦労です。介護や病気の世話をすると同じくらい手が必要なんです。預かりを認めてほしいです。

(3) 幼稚園について

- ・ 市内の幼稚園についての冊子などが無く、わかりにくい。
- ・ 幼稚園の補助をもう少し増やしてほしいです。
- ・ 幼稚園や保育園が東大和市中心にあるので東村山市寄りの地域にもあると良いと思いました。東大和市はプレスクールがある幼稚園が少ないので、もっと増やしてほしいです。
- ・ 他市などに比べて、幼稚園の補助金が少ない。
- ・ 幼稚園の質がとてつもなく下がっています。指導して欲しいです。先生はすぐいれかわります。不安です。
- ・ 幼稚園児の2歳児クラスであっても利用者負担額は満3歳児と同じく減らして頂きたいです。
- ・ 物価上昇に伴い、給食費も上がっているので、全額とは言いませんが、せめて半分でも補助があれば家計が助かります。幼稚園無償化といいつつも、入園金や、やたら高い制服代、給食費や施設費、バス代、その他学用品の購入もあり、負担は大きいです。幼稚園の制服やカバンなどのお下がりの無償の提供場などがあれば嬉しいかな。

(4) 学童保育・ランドセル来館について

- ・ 学童保育の長期休暇中にお弁当屋給食を出してほしい。
- ・ 小学4年生以降も、保護者の終業時間に関わらずランドセル来館を利用できるようにしてほしい。現在は終業時間が16時01分以降でなければ申し込み出来ない。
- ・ 学童保育所の充実をしていただき、開所時間を遅くしてほしい（19時半まで。また19時まで基本料金のみにしてほしい）。
- ・ 小学校になると学童費がかかるので、学童も無償になるとうれしい。
- ・ 学童など決定通知が遅いので3月をすぎてからの預け先があるのか、ないのか仕事をこのまま続けられるのか分か

らず不満。学童申し込みには、通勤時間が全く考慮されていないのも不満。正直働きながら子育てしづらいまじだと感じます。

- ・ ランドセル来館や学童の利用を申請する際、月の就労日数 13 日以上ではなく、保育園利用の申請時と同じ、1 ヶ月あたり 48 時間以上就労しているにほしい。
- ・ 学童の長期休みのお昼寝をなくして欲しい。小学生でのお昼寝は必要ではない。お昼寝してしまうことで、夜ねなくなり余計負担になったり、子どもが行きたがらなくなる。今すぐなくして欲しいです。お願いします。
- ・ 金銭的なことも含め、もっと学童保育の充実、その他の放課後の子ども達の居場所が学校や家の近くにある（利用しやすい、子どもが行きやすい）と親ももう少し安心して預けて働くことができるのではと思います。
- ・ 都内へ遠いので学童を充実してほしい。
- ・ 学童保育・ランドセル来館の申請の条件を緩くしてほしい。
- ・ 学童の送迎サービスなどがあるとありがたいです。
- ・ 保育施設や学童などの利用基準を緩和し、利用しやすい環境整備を強く希望します。（特に保育園申請時、休職中は 2 ヶ月間しか猶予がない事など。学童やランドセル来館を利用したいが、就業時間が足りず時間を伸ばさないと申請できない。中学年になっても留守番できない子もいる。仕事を辞めるか検討したくらいです）たくさん書きましたが、東大和市は住みやすいです。
- ・ 幼稚園や保育園は充実していると思いますが、学童も充実すると良いと思います。（職員さんの待遇面も含め）
- ・ 東大和市は休日保育があるので非常に助かってますし、とてもありがたいです。しかし、小学生に上がると利用出来なくなってしまう、小 1 の子が 1 人で家で待つのもきびしいため、小 2 くらいまで、休日学童とかがあると助かるなあと思います。
- ・ 未就学児の時には保育所などが長時間やっており、共働き家庭ができる環境にあると思うが、小学校に行くと学童保育の預かり時間も短くなり、朝の開始時間も遅いため、フルタイムでの共働きがしにくい環境だと感じる。こどもの安全面などを考えても、せめて小学校低学年のうちは、こども 1 人では行動させるのが危ないことも多いので、引き続き共働きを続けていけるよう、もう少し支援を考えてほしい。
- ・ 最近市内の公園に遊具を増やしたり整備してくれているので子育て世代として感謝しています。学童の定員が少なかったところから拡充してくれていた体制を変えてくださっていて感謝しています。小学校内の学童では外遊びができないという話を聞いたことがあるため、遊べるように検討してほしいです。（他の市では目立つゼッケンなどを使用して、区別しているのをみたことがあります。）

(5) 学校について

- ・ 学校の保護者会などで 1 年生に留守番は不安。学校の校庭、図書室などで子どもたちを見てくれる人がほしい。
- ・ 小学校の環境があまりよくないと感じております。教員数の確保、保護者と学校の連携にも力を入れて頂きたいです。まずは普通の授業風景を見てほしいです。
- ・ 小学校を選ぶときに、住む所によって小学校まで遠い場合があるので、小学校を選択制で選べるようにしてほしい。子どもに合う学校を選べるようにしてほしい。
- ・ 小中学校の設備の改善（古すぎる）。特にトイレを早くすべて洋式にすることや、清掃を週 1 回でも大人の方が行うような仕組みにしてほしい。また全教室に加湿器を冬の時期には設置し、インフルエンザなどの予防対策をして欲しいです。
- ・ 保護者が働いてないけど外出などで遅くなる時、小学校低学年 1 人で留守番ができないのでどうすればよいかわからない。塾に行かないでも済む教育。小学校の教材を減らし通学時の荷物を軽くする。海外のように教科書を貸し出し制にしたり、鉛筆も共有して物を大切に扱うことも学ぶ。名前書きの負担をなくす。
- ・ 新青梅街道を境に多くのことが南側に偏っている。小中学校にエアコン設置を行っていることには感謝するが校庭に日陰を作ることも考えてほしい。
- ・ 小学生になるといじめが始まると聞きます。先生方の負担が増えてしまうのは分かっていますが、どうかいじめをしてしまう子どもに目を向けて、少しでもいじめられる子どもが減るようお願いできたらと思います。
- ・ 小学校のトイレ整備を進めたい。ふるさと納税で小学校のトイレ整備を使用目的に出してみる。街角で募金活動する場合、活動に何が必要なのかをサポートしてくれる部署があると良い（ほかの事業で署名活動をする場合も含め）。
- ・ 保育園、幼稚園と比べてしまうと施設の老朽化が目につきます。耐震性が新基準に満たされていない事が特に気になっています。又、共働きは今となっては多数になっておりますので放課後、長期休みの間の子ども達の居場所確保についてご検討頂きたいです。
- ・ 学校の先生の件について、若い新任の先生をサポートする体制を望みます。
- ・ 1 クラス 40 人程のクラス体制は、人数が多いと感じます。場合によっては、サポートの先生等ついてほしいです。
- ・ 支援が必要と思われる児童を先生の側からも、見落とさない様な体制があると良いなと思います。
- ・ 学校の担任の先生によって違いがありすぎる（宿題の量など）。

- ・ 学年によって1クラスの人数にバラつきがあり、低学年（1クラス30人以上だったの）の場合は、先生の目が行き届いていないような感じがする。
- ・ 小学校、特に中学校の学力の低さが目立つ。現状では受験対策の家庭の負担が大きいのではないかと。今後、進学する中学校（市立）は先生も熱心ではなく宿題など毎日出さないため、学習の習慣づけが全くなされず、そんな環境下で意欲的に学習していくのは非常に難しいとか。自然も多く子どもが遊ぶ場所もわりと多めなのでよい地域ではあると思うが、引っ越して来て学力が低いというのは非常にショックだった。将来を担う子ども達のために底上げを計って欲しい。
- ・ 2年前から小学校でも、巡回の通級制度が始まりました。しかし、小学校側の理解が低いと、通級と普通学級の連携が取れていないように感じています。
- ・ 学校の教育の差が、各学校によって大きいと感じる。学区の切り方がおかしいと思う。
- ・ 小学校の学力が気になります。宿題や補習の少なさなど。近隣市と比べても学力が低いのでどうにかして欲しいです。共働きのため学習指導を自宅で行うことが困難です。もう少し学校で底上げしてほしいです。
- ・ 東大和市の小・中学生の学力レベルなどを公表して、皆さんに知って頂いて市全体で教育レベルを向上していくことが大切だと感じます。
- ・ 東大和市の学力の低さをとても不安に思っています。学校単位ではなく、市や教育委員会が先頭に立って対策をして欲しいです。
- ・ 周囲の市と比べて、東大和市の小学校は授業時間が少ないように思います。普段少ない代わりに夏休みが短いのだと思いますが、来年度から英語教育が本格化し、すでに道徳、プログラミングにも取り組み始めているため、今のままだと主要教科の時間数が減り、駆け足で授業を進めざるを得ず理解度の格差が広がる一方ではないかと心配です。格差の広がりを最小限にしてもらえたらと思います。
- ・ 他市では、1週間通しの授業公開があると聞きます。小学校では全くなく、学校・地域の教育に関する関心が低すぎるように思えます。
- ・ 環境についてソフト面も大事ですが、ハード面も大事。小中学校、学童の老朽化。頑張っているとは思いますが本当に悩んでいるので書かせて頂きました。
- ・ 学校での勉強の復習のために学習塾へ通っている子どもの話をよく聞きます。他の習い事（ピアノやスイミングなど）に通わせていると、塾へ通わせるだけの金銭的余裕がありません。学校で学習できる時間をもっと増やしてほしいです。隔週で土曜日の午前中だけでなく、普段からの授業数を増やす事を希望します。学習のスピードが速すぎて子どもが理解していない状態で帰ってくる事もあります。もう少し余裕をもって授業を進めてほしいです。
- ・ 学校の設備、子どもの人数、活気など差があると思う。上の子どもの学校は体育館の改修を終えたら、部活動もあるスポーツの公式コートの面が取れなくなった。
- ・ 学校にもエアコンが教室だけに設置してもらったのですが、体育館にもエアコンを設置していただきたいです。朝礼や始業式、終業式など色々な面で体育館も使われているのでぜひお願いしたいです。よろしくお願い致します。
- ・ 今通っている小学校で行事がある度に「あれを用意して下さい」「これを用意して下さい」と何かにつけて準備する物があり、かなり出費がかさむ。1回しか使わない物もあるのでなるべく買わせないで欲しい。かなり細かい指定をされる時もありとても困る。子ども達から給食が美味しくない、量が少ないといった内容のクレームがありました。見直す必要があるのではないのでしょうか。
- ・ PTA負担について。PTA役員が学校の下働きのようになっており、共働きが増えている現在、負担が大きくなっています。校庭の芝刈りや地域安全の為（こども110番のお願い巡り、パトロールなど）の人員がかり出され、特に母親が働きづらくなっています。そろそろPTAありきの学校運営は見直し、校内でできる所までやる。又は、保護者以外の人員を募集するなど、何らか行政が検討・実施していかなければいけない時が来たのではないのでしょうか。
- ・ 学校のトイレも早く和式から洋式へ全部変えて下さい。不衛生です。土日等で父親と一緒に参加できるイベント、（料理教室等）実施して下さい。中学（6年生は気になります。どんなレベルなのか、賞とか）、高校の部活紹介等の案内（情報がほしい）を早く何とかして下さい。
- ・ 小学校のクラスに、知的障害とは別の障害クラス（自閉症・情緒など）を設けて欲しい。
- ・ 上の子が支援級で送迎などの負担が大きいのでスクールバスなどがあると助かる。
- ・ 各小中学校に特別支援学級の設置と障害児に対する専門の知識を有する教師の配置。障害があっても地域で生活できる環境づくり。健常の児童へ障害者に対する理解を広める教育を取り入れてほしい。
- ・ 食育はとても大切なことの1つだと思っているので、給食に力を入れていただきたい。子ども達が大きくなった時、「こんな給食だったよね」「あれは思い出の味」等良い思い出として振り返ることができる、バランスのよいもの、食の大切さを考えられるように、実際自分達で作って（育てて）食べてみる等、地域の方々と協力しながら地元で学べる事を希望。
- ・ 小中学校の欠席（病欠以外の私用目的）の自由。（平日休みの親とも出かけられる。）欠席が無理ならリモート授業でのどこでも参加自由（引きこもり、不登校にも対応できる）。
- ・ 父親も日、祝仕事で子どもと休みがあわない、平日学校を休むと授業についていけなくなる。その日の学習をタブレットで見返せる事や、休みをとっても休みとならない対応がほしい。

- ・ 学校給食のメニュー数や価格についてはとても満足しています。給食や医療費等子どもが充実する為であれば、提供レベルが下がるのなら少しの支出は構わない。レベルの維持が優先と思っています。
- ・ 小学校中学校の給食費無償にしてほしいです。
- ・ 小3の兄もいますが、二人共、発達障害で兄は特別支援学級に在籍し、本人も同じ学級に就学します。同じ学級の他のお子さんもそうですが、本当に本人にとって最善の環境なのか、今一度、環境体制を見直してほしいです。発達障害の専門知識のある先生を各校配属して頂きたいです。また、就業だけではなく、私のような障害を持った親への理解と配慮（例えば PTA などの役員）をして頂けると心強く有難いです。今息子を見て下さる保育園の先生方には本当に毎日感謝しております。

(6) 放課後子ども教室について

- ・ こどもの就学後も、親の就労に関係なく、学童のように、放課後や長期休みに、長時間こどもを預けられる場所を作って欲しい。(保育園と学童の入所条件が違うため、今まで午前中だけのパートでこどもは保育園に通っていたが、小学生になったら、学童には通えないため、夏休みにこどもの預け先がなく、仕事をやめなくてはならない)
- ・ 放課後教室の回数が少なすぎるため、雨の日や冬でも午後早くから暗くなる時など、行かせたくても行かせられない。児童館が少なすぎる。公園も人が多すぎ、小学校低学年と中学生が狭い中で一緒に遊んでいるのは危ない。通常は学校があるため留守番の時間が短い、夏休みなどの長期休暇のみの登録ができればありがたい。
- ・ 放課後子ども教室の回数が、小学校により差があるので、同等にして欲しいです。実施日が習い事と重なる子どもは一度も参加できないのが現状なので改善を望みます。児童館から離れた場所に住んでいると利用するチャンスに恵まれません。とくに低学年程、足が遠のいてしまいます。平日の夕方、近所の公園に「遊びのプロ」のような方がいて下さると助かるのにといつも思いました。自分が面倒をみてもらううちに、次は年下の子を面倒みられるようになる、そういう環境が手に入るなら他の市に負けない魅力を発信できると思います。
- ・ 放課後に学習できる場所の提供があったら良いと思う。現在、学校で提供してくれているが学童の子どもは行けないなどしほりがあるため。
- ・ 小学生の息子は放課後子ども教室や地域未来塾に楽しく参加しています。下の子どもの事情で送り迎えが難しく、このような学校で行って預ける参加型はとても助かっています。
- ・ 放課後子ども教室についての取組は有難く、充実をお願いすると共にボランティアをもっと気軽に参加出来るようにする事で、人手不足の解消につながるのではないかと思います。
- ・ 放課後子ども教室はとても良いと思う。子どもの帰宅時間をちょっと調整したいときの居場所としてもですが、クラス以外の場、日常接しない大人の人との交流、体験が良いと思う。

(7) 児童館について

- ・ 近年、夏が暑すぎて外遊びができないので、子育て広場や児童館、体育館など室内で遊ばせられる施設を増やしてほしい。
- ・ 児童館の親子体操を利用したいが無く、他市に行っている。清水に児童館・公民館・図書館など全くなき残念。
- ・ 日曜、祝日にあいている室内施設（支援センター、児童館）がないので月1、月2でもあけてもらえるとても助かります。
- ・ 児童館はいくつか行ってみましたが、遊具などの設備が少なかったり、おもちゃに年季があり、部品が足りないものの、電池が切れていて遊べないもの、清潔さに疑問があるものなどが多く感じます。子どもが家で経験できない遊びができたり、保育園のような清潔さや充実さがあるととても行きたくなくと思います。
- ・ 児童館等の日曜開館、施設の充実、改装などで子どもがのびのび遊べ、親子が気軽に楽しく過ごせる場所が市内に増えることを期待しております。
- ・ 児童館が古くて入りづらい。他市の方がきれいなので他市をよく利用してしまう。どこも古いので、建てかえた方がいいと思う。
- ・ 児童館の設備や環境をもっと充実させてほしい。行きたい、あそびたいと思える場所がほとんど市内にない。
- ・ 平日の午後は小学生が多く、幼児が安心して利用できる場所がないので、幼児と小学生の活動スペースを明確に分けてほしい。他市では、民間に委託して児童館を運営しており、日曜・祝日も開館している。また、職員の対応やイベントの数、施設の充実に大きな差を感じている。
- ・ 日曜も遊べる児童館のような施設や本を傷つける事を許容してくれる図書館、園庭の土日開放
- ・ 児童館のスタッフさんは、子どもが同年代か上の方で先輩・同輩ママさんという感じで、育児や発達の相談をする感じではなかった。
- ・ 子育てをする上で、何でも話せる温かい雰囲気がある場が大切だと思います。私の場合は児童館のスタッフさんによく声をかけてもらえて、何でも話せる話でも聞いてもらえて安心できました。

- ・ 児童館の施設、職員の対応が他の市に比べてレベルが低い。
- ・ 住んでる地域が公園や児童館が遠いため、公民館や集会所などの部屋に児童館みたいに使える体を動かせる遊具、用具があるといいなと思います。
- ・ 自家用車がないので近くに児童館があるのは嬉しいが、助産師さんだったり子育てのプロの先生など週に何度か来てくれる日などがあれば、悩んだ時に気軽に相談できていいと思う。

(8) 公園・遊び場について

- ・ 公園ですが奈良橋付近は大きな公園がなく、よく子どもたちが家の前の道路で遊んでいます。土地は沢山余っているので、狭山公園みたいな広々とボールあそびも出来るような公園の設置をお願いしたいです。
- ・ 子どもが遊べる場所の整備（公園が汚ない）。幼児用遊具の充実（特に0～1歳用）。
- ・ 安心して遊ばせられる公園（南公園に遊具がほしい）。
- ・ 公園の遊具がどこも古く数が少ないので、種類をもっと増やしてもらえたらと思います。公園は最も身近な親子で遊べる場所ですので、公園の整備と管理の徹底を要望致します。（公園内にゴミやタバコの吸いガラ、動物のフン等がいつも落ちています。）
- ・ 子育てひろばはあるが、利用したいと思うような建物ではない。近づきにくく、入りにくい。きれいに整備されていない公園が家の近くに多く、古いかんじなので、新しくきれいにした方がいいと思う。
- ・ 清水5丁目には公園が周りにない。本当に作って欲しいです。
- ・ 新しい遊具が設置されたり公園がとても開けた場所に変わって、本当に嬉しいです。ありがとうございます。
- ・ 遊具の多い公園を作ってほしい。
- ・ 休日に、小中の体育館やグラウンドを、ルールを設けて月一回くらいで開放して、思いっきりボール遊びをすれば子どももボール運動が上手になると思います。制度や支援と少しははずれてしまいましたが、子ども達を見て小さい時に思い切りボールを投げたことがある子が少ないと感じたからです。
- ・ 雨の日曜の遊ぶ所が（小学生も）ないので、無料で利用できるかともみたいな所があるとうれしい。
- ・ 3才～大きくなってくると子育てひろばが小さい子むけで楽しめなくなってくるので、もう少し大きい子向けの遊び場・交流場があったらいいと思います。
- ・ いろいろな公園があり、とても助かっています。砂場にカバーがかけてあるところもあり清潔さを感じます。そのような清潔な公園が増えると嬉しいです。
- ・ 新しくなり、きれいに変わった公園もありますが、まだまだ手付かずの場所も多いように感じています。室内の遊び場や子どもと一緒に過ごせる場所が足りていないと思います。
- ・ 小さい赤ちゃんが遊べる場所がない。
- ・ 子どもたちがのびのびとボールを使ったり、自転車の練習をしたり出来る公園を作ってほしい。今は、ボール禁止や、自転車禁止など禁止ばかりの公園が多い。
- ・ 子どもも通るような場所や公園などでの喫煙を早く禁止にしてほしいと思っています。
- ・ 2才から保育園に行かせて頂き、土日は自宅保育ですが休日の遊び場所に苦慮しております。特に日曜日はかかるが、児童館が閉館日のため公園に行きますが一番近くの南公園は遊具が廃止したまま進展なし。他の公園も古い遊具が多いです。雨天はアソビック以外選択肢がなく、市外へ行く事が多いです。
- ・ 他市施設のような、親子で気軽に遊びに行ける場所が少ない。・公園の遊具が少なすぎる。滑り台、ブランコだけではつまらない。砂場も汚く、ゴミが混ざっていて安心して遊べない。雑草の手入れをもっと行ってほしい。・公園や児童館などの駐車場が少ない、または狭い。車で気軽に遊びに行けるよう整備してもらいたい。
- ・ 芋窪には公園がありません。小さな子どもを负担が少なく連れていける近くに公園が欲しいです。公園では親子共々リラックス、近所の人々と交流できると思います。トイレトレーニングもあるのでトイレ付きの公園の設置を希望します。
- ・ 子どもが少し大きくなってきたら、子どもだけで遊べる場所（送り迎えは親がする）を作ってもらえると親も自分の時間を持てて良い関係が築けそうです。
- ・ 市内の公園の遊具が新しいものになっているので、大変ありがたいと感じています。
- ・ 1、2才も安全に利用できる公園が欲しい。外遊びができる場所が欲しい。
- ・ コロナ禍での子育てだったので上の子の子育ての時期よりも利用できない施設や物が多くあったように思います。私自身、遊ぶ場所がないか等、調べたりしましたが調べる手段がない人などは知らないまま子育てをする方もいるかと思いました。最近は近所の公園が新しくなったりして嬉しいので、少しずつ遊べる場所が増えていくといいなと思ったのと、午後は小学生以下の子どもが公園に行くと、お兄さんやお姉さんたちが遊具を占領していて遊べないので幅広い年代で遊べる場所が出来たらいいなと思いました。
- ・ 上仲原公園の喫煙所がありますが、砂場で遊んでいると風向きによって煙がくるので、改善してほしいです。

- ・ 公園が充実していると過ごしやすくなると思います。遊具が少ない印象があります。実家は田舎ですが 1 つの遊具にすべり台が 6 つ程ついた大型の物が複数あったりアスレチックやジップラインなど足腰をきたえられる遊具がたくさん設置してありとても重宝しました。平日も休日も賑わっていて子どもと楽しく過ごせたので東大和市にもあったらと思いました。大型でなくとも足腰をきたえられるものがあったら嬉しいです。
- ・ 屋内プールがない為、子どもに泳ぎを教えてあげられない。
- ・ 公園にゴミやタバコの吸いながら落ちていたり、遊具に破損があったりするので、改善してほしい。
- ・ また、大きな公園や保育施設も増やして頂けると今後子育てがしやすくなるなと感じます。もっともっと東大和市が子育てしやすい町になるよう願っております。
- ・ 東京街道団地周辺も団地を増やすよりも子どもが遊べる場所。
- ・ 広くて大きな遊具のある公園があればいい。
- ・ 公園の駐車場が増えると嬉しいです。狭山緑地の遊具が新しくなったので行ってみると、駐車場が満車でした。私たちはギリギリ入れましたが、駐車できず引き返す車も多かったです。公園の遊具で錆びているものがありました。表面がささくれており、触るとケガしてしまいそうなので、その公園に行くことをやめました。小さな公園でも低年齢の子どもにはちょうどいいので、遊具の点検と必要に応じて新しくしてほしいです。
- ・ 多少お金がかかる施設(1 回 200 円くらい)でもよいので遊び場が増えるとうい、と思います。(駅前のあそびつくは高くてなかなか行けません)
- ・ こどもが体を使える多様な遊び場を増やしてほしい。公園は沢山あるものの単調な遊具のみで子どもは飽きてしまう。過去に遊具による事故や維持管理の問題で撤去された事もあるかもしれませんが、子どもたちが体を使ってリスクを学べる場所が少ない。またダンスやスケートボードなど若い人が好むスポーツをする場所も他の自治体にくらべ圧倒的に少なく感じる。室内遊びが多くなりがちで、ゲームをせざるをえない事が多い。
- ・ 0~2 歳の子どもとの関わり方、遊び方を知りたいが言葉が伝わらない。どんな遊びをすればいいのか迷う家の安全対策を習いたい(角を丸くする、落下防止等の商品紹介)
- ・ 安全に利用できる遊具の設置、子どもと座っておやつが食べられるベンチなどの場所が欲しいです。私が知らないだけかもしれませんが子どもと無料で遊べる屋内施設がないので、クッションマットが敷いてあったり、飛んだり跳ねたりしてぶつかっても安全なビニールクッションソファやおもちゃのある部屋や、子ども達が、自由にもものづくりが出来る部屋があるなどの施設が欲しいです。公園にトイレがあっても、子どもと一緒に利用できるトイレが少ないので、親子トイレが欲しいです。交通公園がないので、標識や、踏切や、横断歩道を学習しつつ自転車や三輪車を練習する場所がありません。交通ルールを学びながら、楽しめる交通公園が欲しいです。
- ・ 公園の遊具が古い場所が多く、比較的綺麗なところに集中し小学生など大きな子に幼児は負けて遊べない。もう少し全体的に公園を整備してほしいです。
- ・ 児童館以外の室内で遊べる施設が欲しい。
- ・ 公園の遊具が少しずつ新しくなって子どもと行く機会も増えました。他市はトイレがある公園が多く、東大和でもトイレがある公園が多くなれば、子育てがしやすい町になるのかなと望んでいます。
- ・ 小さい子を連れていける屋内の遊び場がほしいです。
- ・ キッズスペースについて、行政の仕事ではないかもしれませんが、東大和市内の商業施設にはキッズスペースが少なく感じます。子ども連れでおでかけしやすい様な場所が欲しいです。
- ・ 狭山緑地公園のアスレチック遊具が、子どもが気に入っておりよく行きます。大変ありがたいです。桜が丘に住んでいるため、少し遠いのと、悪天候あけは暫くぬかるみとなり、泥だらけとなるのが難点です。南公園は都立の公園と思いますが、市の管理部分に、木製遊具設置目的で遊具が撤廃になったもの、木製遊具設置が見送られたと掲示を拝見しました。狭山緑地のアスレチックほどのスペースはないかと思いますが、上中原や高木公園程度の遊具設置を希望いたします。よろしくお願いいたします。
- ・ 子どもがのびのび遊べるような公園の遊具を増やして欲しいです。
- ・ 他市の高架下公園と全く同じ遊具で公園を作ってほしいです。色々施策を打ってくださっても、まずは子どもにはシンプルに公園が必要であると思います。外に気軽に遊びにいける場があるだけで、預かってほしいとか、時間がなくて大変とか、そういう悩みの 70%くらいは解決します。青空の下でどんな子どもでも遊具に乗って遊べる市になってほしいです。
- ・ 子どもたちが自由に走り回ったり、遊具で遊んだりできる、無料のスペースが欲しい。(屋内、屋外共に)
- ・ 赤ちゃんがいると外遊びを上の子と一緒にするのが難しいため、イオンモール、ららぽーとなどの商業施設の室内遊びを利用することが増え、家計にもものすごく負担になり市外にでるのも大変です。あそびつくは唯一ありますがとても高く利用するのが難しいです。

(9) 母子保健・医療について

- ・ 出産後のサポートは充実していると思うが、産前のサポートもあると良いと思う。悪阻で体調が優れないときや臨月で動けないとき、支援があったら利用していたと思う。

- ・ 母（自分）が体調不良のときのサポートが充実してほしい。
- ・ 産後サービスの拡充をお願いしたいです。現在妊娠中（2人目）で産後サービスが以前住んでいた市と比べて質も量も低いと感じています。まず、産後ケアサービスですが対象病院が2つしかない事、利用日数も少なく、手つづきも大変でした。
- ・ 母親が育児に専念できるサポートをもう少し増やした方がいい。産後1年くらい母親は寝不足が続くので、それを回復させてくれる子ども預りサービスがほしかった。
- ・ 出産～新生児～5ヶ月くらいまでがとにかく心身ともに大変だったので妊婦の間に産後ケアの登録や里帰り中でも最寄りの小児科などで予防接種ができるようになれば良いと思います。（償還払いではなく）
- ・ 小児科や産婦人科の病院が少ない。とても不便。
- ・ 双子なので、病院の予約が取りづらかったり、病院の予約システムの改善と保育園入所申請の時の多胎児のポイントをもっと加算するなど、働きかけていただきたいです。
- ・ 産後の授乳マッサージ（助産院、産婦人科）を3回まで無料でうけられるようにしてほしいです。母乳が軌道にのるまで最低でも3回は助産師さんに指導してもらえるととてもありがたいです。里帰り出産で地元では3回まで無料でうけられるサービスがあり、私は市外だったので有料（1回3千円）でしたがとても助かりました。母乳が軌道にのるだけでなく産後、人と話すことができ、夜泣きや発達相談も同時にできたので、メンタルがとても安定することができました。
- ・ 発熱した時病院の予約が取りづらかったのとれる様になるとたすかる。
- ・ 1才半健診などの時間帯が、お昼寝の時間と丸かぶりのため、時間をずらしていただけると有り難いです。妊娠中に風邪や感染症にかかった場合の受診先がとても困りました。コロナ禍だったこともあるかもしれませんが、事前に電話で状況説明をすると、初診では対応できない、妊婦に対して適切な対応ができるか分からない、他を受診するように、など不安を煽るような返答や、たらい回しにされることがとても多かったです。妊婦も安心して受診できる医療の充実や、妊婦も快く受け入れてくださる内科、耳鼻科などの紹介もしてほしいです。
- ・ 産後ケアを受けるためには、条件があると思いますが、条件なく誰でも利用できると良いと思います。
- ・ 夜間診療している病院が一番近くて隣接市になるので東大和市の病院でも夜間の対応をしていただくと助かります。
- ・ 幼児歯科検診などのとりくみも有りがたいが、働いていたらほぼ利用不可（平日しかやってない）。もっともっと、働いてる親によりそった政策をやってもらいたいです。
- ・ 病院も少なく受けられる所が少ないので増やしてほしい。
- ・ 歯科健診等、予約枠をもっと増やしてほしい。
- ・ 発熱すると大変で、どこもいっばいで受診さえできないことが困る。40度をこえていても小児科、救急、夜間診療、どこも断られました。
- ・ 小児病院がもう少しあったら良いと思います。現状、セカンドオピニオンの小児は東大和市内にはないので、増えたら、待ち時間も減るし良いかと思っています。
- ・ 妊娠中（後期）・出産後（5ヶ月位）のサポートが充実しているとよいと思います。外出が難しい中、1人で悩んだり、体がしんどかったりするため。訪問やTELのサービスがあるとよいと思います。3、4ヶ月健診でDrから厳しく授乳について助言されたことが今でもトラウマです。集団健診のあり方の検討を望みます。
- ・ 子どもの健診を、市が無料で行っているのは助かるが、平日に日にちまで指定されて、仕事休まないといけないのが非常に困っています。小児科で各自、都合良い時にでも予約して行ってもらわないんですか。
- ・ 歯科検診は歯科からのお知らせで定期的に通えるが、眼科や脊柱彎曲などは個人ではなかなか受診、気づくことができない。
- ・ 産後のプレゼント（うまベエセット）は直接渡すのではなく、郵送・宅配にしたほうが産後の親の負担が少ないので良いと思いました。産後3ヶ月までが一番つらいのに、出歩かないともらいにいけないのがおかしいと感じましたので。本来、女性は産後1年までじっくり休んでいいはず。そのケア・サポートにもっと力を入れて、女性とパートナー（男性・女性）を応援する市になってほしいです。
- ・ 産後ケアを利用しました。産後ケアは、出産施設から退院してそのまま利用したいです。妊娠7ヶ月の産前に申請しておいても、許可証が届くのは産後3週間後くらいでした。その頃にはやっと自宅での育児に少し慣れて、しかも疲れ果てています。産後ケア施設に出かけること、支度すること自体がストレスで6ヶ月まで利用できませんでした。ぜひ改善していただきたいです。
- ・ 東大和助産院で受けられる産後ケアについて、もっと発信して情報を得られるようにしてほしい。
- ・ 小児科、薬局での待ち時間軽減
- ・ 新生児訪問のように、こどもが0～18歳ぐらいまで、担当の方がずっと定期的に発達をみしてくれるサポートがあると嬉しい。
- ・ 保健センターでの1歳半、3歳、5歳検診の待ち時間を短くしたり、託児スペースを設ける等して欲しい。
- ・ 私は産後うつになり、沢山の皆さんにお話を聞いてもらったり、サービスに繋がっていただいたので、なんとか子ども

が小さい頃やコロナ禍を乗り越えました。今でも感謝してもしきれません。当時、支援員一人ひとりがプロの仕事をしてくださり、各サービスに繋げて貰いました。ぜひ支援員皆さんのお給料を増やして頂き、また人数も増やして困っている方にサービスに繋がってほしいと思います。しかし、私はあくまで事前にサービスを知っていたので、相談しようと決断できました。なので、母親学級等で具体的にうつ症状(～のような思考になったら)とか、過去にこういう理由で利用ケースがある等、具体的に妊婦さんに伝え、相談のハードルを下げてほしいと思います。そして、大丈夫という言葉だけでなく、具体的、物理的解決の手助けをしてあげてほしいと思います。

- ・ 保健センター、市役所が平日 9:00~17:00 までのため、仕事が休めない環境にいる者としては、非常に不便に感じています。
- ・ 子どもの 3 歳児健診の時に問診をしてくれた方の対応に心が傷ついた事がありました。この子はおかしい。名前も言えないの？周りの子と違うよ。的な感じで言われました。その方の対応だけで決めつけるのは良くないと思いますが、今後健診以外で保健センターには行きたくないと思ってます。制度や支援も大切かもしれませんが、職員の方の対応を変えて欲しいなと思いました。相談したい時に塩対応されて相談出来ないのがいちばん辛いです。
- ・ 産後ケアの拡充を希望。ショートステイを 1~2 週間とれるようにしてほしい。
- ・ 産後は、双子のお母さんは実家に半年くらい、居ざるを得ない家が多いようです。私も 9 ヶ月くらい市内の実家に居ました。多胎児家庭に無条件に産後の家事サポートを提供していただける制度があればよいと思います。半年くらいは 2 人の赤ちゃんの世話で、家事をするひまも、買い物に行くひまも、書類を書く時間も捻出するのが大変でした。
- ・ 物価が上がっているので赤ちゃんのオムツ、粉ミルク等の割引補助(月額クーポン)のような物があれば助かったと思う。子どものワクチン(任意接種)の自治体独自の補助(定期は無料だが任意も結局接種しなくてはいけないので)。保健センターの方は、話は聞かすが、専門的な相談になると要予約(発達の相談は数か月後まで予約が埋まっていると言われた覚えあり)というイメージで、敷居が高かった。
- ・ 保健センターの何歳児検診とかの混雑具合がとても嫌でした。
- ・ 保健センターの保育付き講習会について、保健センターにて保育付き講習会があり、別室にて赤ちゃんを絨毯に寝かせてもらっていたのですが、講習会が終わり赤ちゃんを迎えに行くと、髪の毛にたくさんのほこりや絨毯の汚れが付いていてとてもショックでした。絨毯自体とても古そうでしたので、清潔なものに替えて頂けるとありがたいです。
- ・ 以前、ヨーカドーに育児相談室があったが、無くなってしまった。保健センターでも育児相談はできるが、相談後に生年月日を聞かれるので、何となく記録に残されたり虐待を疑われているようで相談に抵抗を感じてしまう。保健センター以外の、行政ではない育児相談所(保健師さん配属)があると嬉しい。
- ・ 保健センターの心理士さんが、予約がずっと埋まっていて、何ヶ月も待たないといけない状況である。相談したいなと思った時に、すぐ相談できるようなサービスにしてもらいたい。

(10) 病児・病後児保育・障害児等について

- ・ 病児・病後児保育室を利用しているが、使いたい時に予約がいっぱいで使えないことが多く、やむをえず仕事を何度も休んでいた。定員を増やしたり、市内に何か所かあるとありがたいです。
- ・ 身障者を子に持つ親は、まともに働くことも許されず日々、職場と保育所で板挟みにされている。安心して子を預け働ける環境にしてほしい。倒れてしまう前に。数少ない保育所の中で、限られた、閉ざされた環境で日々ストレスと闘っている。どんなに身内に頼っても足りない。
- ・ 持病があり、幼稚園、保育園に気軽に通えない子どもがいるが(1才)後々パートなどしたい。(リフレッシュもしたい)病児保育や病気に理解のある園があれば情報を知りたいです。
- ・ 発達障害がある子を持つ親が、集まれる場があると有難いです。市報や、パンフレット送付等で知らせて頂けたら嬉しいです。
- ・ 4 月からは支援学校へ入学します。放課後デイサービス契約できました。子どもの成長に期待する次第です。4 月からは環境の変化が大きく生じますが、環境の変化に対処できるケアサービスが重要です。
- ・ 支援学級に通う兄がいます。市内に放課後等デイサービスが少ないこと、支援学級に十分な人員がないことなど、発達に心配のある子どもがもっと安心して過ごせるようになってくれたら嬉しいです。
- ・ 自閉スペクトラム症なので、児童館やイベント等で気を使わない、また、他人の目が気にならない広い公園が落ちつきます。発達障害のある子をもつ親の集まり等は自分から探しに行かないとないと見つからないと感じます。父親はもっと関心を持ってもらいたい。病院の送迎や、子どもが通院をいやがる時の説得が大変。就学や自発支援事業所の情報収集。相談したくても、まず説明からしないといけないうは大変である。
- ・ 発達障害の療育施設が少なく、順番待ちになっているのを、すぐに入れるようにしてほしい。また、病院も発達障害の病院は、順番待ちが多い。
- ・ 特別支援教育の拡充
- ・ 発達障害児に対する支援を充実して欲しい。保育園、病院、療育、小学校等連携できる環境を充実してほしい。

- ・ 病児保育がもっと気軽に使えるようにしてほしい。(保育施設に併設、保育時間延長)
- ・ いまは子どもの病気のときの仕事の問題が 1 番負担が大きいので、もっとハードルの低い病児預かりサポート・ベビーシッター(当日の急な対応もできるような)があればすごくありがたいです。
- ・ 病児保育について近隣に頼れる身内がいる方や、ひとり親などの世帯状況を鑑みて優先枠などを設けて欲しいです。
- ・ 働かないと給料を得られない、仕事を休んでいると生活も豊かにならないので働かないといけないが、病気の子どもを預かってもらえないため親にとってかなりストレスとなる。

(11) 子育て制度・行政等について

- ・ 経済的な支援としては大学までのサポートがあればと思う。(難しさはあると理解しているが)子どもが安心して就労まで育っていくために、018 サポートや児童手当は本当に有難く感じている。また「赤ちゃんファースト」でポイントが利用できるのも今後の方々にも継続して頂ければと思う。父親の育休が取得しやすく、また最低 1 ヶ月はとれるとよい。(1 ヶ月経てば外出が可能になることも多いため、母の孤独感も減るのでは。1 ヶ月健診までとれるとよりよいと思う。)
- ・ どの施設、買い物先でも、子どものオムツを入れるゴミ箱がすくない。他市のイオンモールのトイレは子育て向けのトイレになっていてすごく良いと思う。
- ・ 習い事をしたくても人気のところは時間帯が合わず、就労をしている家庭は送迎が出来ないので習いたくても通わせてあげることが出来ないの、保育園や学童から習いごとまでの送り迎えサービスがあると安心で助かる。
- ・ ファミサボもネット手つづきが出来ず、電話と直接面談が必要で、もっと手つづきを簡易にしてほしいです。
- ・ 経済的な支援。
- ・ 男性に育休を取らせるだけでなく、妊婦検診の同行などから父親としての自覚を持たせるようにしてほしい。男性は仕事、女性は家事・育児という役割が未だにつづいている。仕事の仕方も見直していくべきだと思う。
- ・ 東大和市は子育てがしやすい環境だと感じています。行政の働きかけで改善されるのかはわからないのですが、夫の職場では子育てに理解がないと感じており、不満を感じております。配偶者以外の親族が遠方に住んでいるため、夫婦だけで子育てをしなければならない状況なので夫の協力が不可欠です。夫の職場の理解のなさには、いつも憤りを感じます。
- ・ 父親が子育てできるよう、社会の中での男性の慣習的なものを見直す必要があると思う。例えば、男性も育児することが当たり前になって育児のために残業しない前提の業務体制をつくることが必須だと思う。男女という性差関係なく親が子育てできる社会づくりをお願いします。
- ・ 金銭的なサポートが欲しい。1 歳のギフトカタログ等助かりましたが、もう月齢的に使わない物が多くあり、年齢に合った物が提供されると良いと思います。
- ・ 経済的に苦しい家庭がほとんどではないかと思います。市の方もわかってますよね、国がダメなら地域の自治体がやるしかないと思います。お願いします。アンケートをして満足、制度を作って満足ではなく、この先に必ずつなげて下さい。
- ・ 保育料の無償化。・ 大型商業施設内での子どもの遊び場の充実。・ 児童手当の増額。
- ・ インフルエンザワクチンの費用を安くしてほしい。2 回打たなければならず、兄弟がいるとお金がかかりすぎる。75 歳以上は費用助成があると知り、重症化しやすいのは子どもも同じなのになぜ子どもには助成がないのかと憤りを感じた
- ・ 父親同士が集まれるコミュニティがあるといいです。気軽に参加できるような、子育て情報を交換できるような「何か」があれば、父親としての自覚をもって欲しい。
- ・ 市独自の子育て手当あれば、子育てサービスを利用しない人にとっても恩恵になります。(サービスは必ずしも皆のニーズと一致すると限らないので)。全体的に未就学児関係のアンケートでしたが、子育ては小学～大学まで、様々な支援がふえてほしいです。よろしくおねがいします。
- ・ 親子で一緒に参加できる体験型のイベントを充実させて欲しいです。
- ・ 小学校の子どもを夕方一人で帰らせたりしてるので見守りがあるとうれしい。又 GPS とか市で負担してもらえたらうれしい。
- ・ ベビーカーを押す時に道がせまいのと道路(歩道)がガタガタしてるため、とても散歩がしづらいので道の改善をしてほしい。街灯が木でかげってしまい暗くて危ない。ヤオコー付近など買い物の際に授乳できるベビールームなどがあると助かる(少ないため)。玉川上水の団地付近に買い物できる店が少ないため 100 均や育児用品を扱う店などがあると便利。
- ・ オムツや衣類等の割引が年に数回でもあると助かる(クーポン券等の配布)。
- ・ 一時金などお金を支給するのではなく、学用品など(教材含む)物品で支給した方が、確実に子どもに還元されるので、そうしてほしい(お金だとだらしのない親は自分が使ってしまうと思う)。
- ・ 子どもと共にちょこバスに乗ることが多い。もう少し本数を増やしてほしい。車に乗れないので、タクシー利用券など子どもと共に交通機関を使う際のサポートがあると嬉しい。

- ・ 小学校就学までは住民税非課税にすると税金の部分で支援してほしい。家賃補助とかあるとありがたい。赤ちゃんがいる世帯には都営住宅の希望の部屋を選択できるようにしてほしい。
- ・ 交流の場や訪問などを充実させても、交流の場に行く事が億劫。訪問される時間日にちを決める事が嫌。そういう方は多い。どのようなサポートをしようとしているのか。
- ・ 物価が高くなりすぎて、子ども 2 人の学費（高校や大学）のことで真剣に悩む時代が来てしまいそうで怖いです。もし職を失ったという恐怖があるまま仕事をするというのも、不健康と感じます。子どもが少ない今だからこそ、無償化にふみ切ってほしいです。
- ・ 家できちんとした食事が取れない子どものための、子ども食堂のようなものがあればいいと思います。温かい食事を食べ、温かい言葉をかけ合い、誰かが自分のことをちゃんと見てくれている、という安心感を、全ての子どもに持っていて欲しいです。愛情がある、ないにかかわらず、3 食きちんと食事があげられる環境であるかは、とても重要だと考えます。親はもちろん、周りの大人が自分のことを大切に想ってくれるという経験を幼い頃からして欲しいです。
- ・ 毎月じゃなくても数ヵ月に 1 回でもオムツ等の物資支援や保育園料の減額、子ども手当を増やす等していただけるともう少し子どもの為の生活がしやすくなると感じています。
- ・ 幼児に関しては、保育の充実といった意味でも、保育関係者へのサポートをしてあげて欲しいです。3 人子どもがいますが、将来への不安さえなければ子ども達はかわいい。まだ何人が産んで育てられたかなともあります。子育てしやすい町東大和市。これからはずっと住むつもりです。子育て世帯にオススメできる、住みやすい、育てやすいがもっと実感できるように願っています。きたいしてます。
- ・ 保育料引き落とし口座にネットバンクも含めて欲しい。
- ・ 信頼できる大人へ子どもを預けられる、子ども自ら、そこに行きたいと言ってくれるような公共サービスがあると助かる。
- ・ 現在、小学校に通っている子どもがいます。子ども同士の暴言、いじめがひどいクラスがあり、先生方に相談しても解決できない状況です。親として子どもを守る為にどこへ相談に行けば良いのか、子どもがかかえる悩みを聞いてくれるカウンセラーや相談できる場をもっと増やして頂き、解決できる場をホームページなどで教えて頂きたい。ひきこもり、登校しぶりをしている子がたくさんいます。学校だけにまかせるのではなく、市としても動いて頂き、未来ある子ども達を救ってもらえたらと思います。
- ・ 武蔵大和周辺はバスの環境（交通機関）がとても悪く、雨の日はどこへも行けないということがあり、一日何をして過ごそうと悩みました。交通機関の充実を希望します。
- ・ 市の運動施設、図書館が増えると、子どもが成長する過程で安心して過ごせる場所が増えるといつも思っております。
- ・ 子のみを預かって宿泊させてもらえる場（最後のライフライン）が欲しいです。もう 1 人子が欲しいですが、自分 1 人では負担が大きすぎて、不安大です。産後 1 年程は、困った時にすぐよべる方が近くにいたらと切実に思います。お金だけあっても人は 1 人では生きられないですから。住みたい街は、安心して子が遊んだり、皆がかんような所がよいです。
- ・ 保育や学費等の経済的支援。収入が少なく物価が高いので、子どもが欲しくても作れない。
- ・ 他市の市民総合センターでは『学生未来BOX』というのが設置され、学生服がリユースされている。幼稚園の制服は高額なので、リユースや譲渡会など行ってもらいたい。また、遊んだ後に昼食を食べられるコーナーを作ってもらいたい。東大和市は『子育てしやすいまち』とアピールしているが、他の市に比べて“ここがすごい”“このサービスは素晴らしい”と思えるものが 1 つも無い。もっとがんばってもらいたいです。
- ・ 子育てにかかる費用の負担がおおきい。他県のようなオムツ提供などのサービスがあればありがたい。出産前にはタクシー利用できるクーポン、出産後、無料でまたは補助ありで産後ケアを利用できるサービスがあるところも聞く。そういった手厚いサポートがあればより安心して東大和で子育てしたいと思える。友人たちが受けている手厚いサポートを知り少しショックだった。
- ・ 最近他市から引っこして来ましたが、他市の出産祝いの品物が子ども商品（赤ちゃんファースト）10 万円分でも助かっていたのですが、東大和市の出産祝いにはオムツ等をいただけるのはありがたいのですが、少しガッカリしてしまいました。
- ・ 年々、学習塾の月謝が高額になっているように感じます。高収入家庭以外の家庭も通えるサポートもあるといいと思います。
- ・ ベビーシッターを利用することありますが利用料も高いのでファミリーサポートの幅が広がってくれと嬉しいなと思いました。
- ・ 幼児が参加できる行事を充実させてほしい。（市報はチェックしていますが、乳児 or 学童期の対象のものが多いと感じています。）
- ・ “子どもの体調不良時のあずけ先”や、“地域の行事（お祭り）”など、自分に必要な情報や、役立つ情報がすぐわかるようになると、より子育てしやすいまちになるのかなと思います。市の HP などいろいろな情報がすぐわかるようになると嬉しく思います。
- ・ 気軽に参加できる物造り体験などがあるといいなと思う。親が人との交流が苦手なので、交流目的なイベントは参

加するのハードルが高い。

- ・生活保護の家庭だけでなく税金をきちんと納めている子育て世代にも恩恵がほしい。働かなくても子育てできる様な家庭もあり、一生懸命働いて納税しているのがバカみたいと思える時がある。納税するとこれだけ恩恵があるということをもっと具体的に PR してほしい。
- ・生まれた時だけでなく、子どもを育てる間（特に未就学児）は大変。継続的に子育てクーポンが欲しい。欲しいサービスを自分で選べるのがすごく良い。家族構成によってニーズも違うので。
- ・子育ては母親のイメージが根強い。市職員が率先して、子育てイベント、保育園の行事に参加してほしい。余裕のない親が多い。（時間的にも気持ち的にも。）プッシュ型の支援により、行政側からサポート体制を知らせる工夫が必要。行政の役割を、民間とも力を合わせて出来ればベストと考えてます（市の民間を担う一人として）。
- ・子育て世帯に対する税制の優遇。子育てに理解のある企業に対しての法人税 e t c の優遇措置（これにより、育休がとりやすくなるのではないかな）。
- ・東大和市は子育てしやすい環境だと思います。でもこの頃の値上げ、物価高上昇は本当に家庭に大打撃です。どうしても共働きしなくてはならない状況の家庭も増えています。それだけでなく、女性ももっと社会で働きやすい環境が必要です。子どもを育てながらの仕事は女性に負担が大きくなりがちな現状はまだ多いと思います。子どもが小学校にあがってからのサポートも、もう少し手厚くしていただきたいです。
- ・今でもいろいろなサポートが増えてきていると思いますが、実際にもっと手の出しやすい身近な部分に重きをおいて利用の少ないものはまとめたりして、うまくバランスを取りながら支援をしていただける環境を作っていただきたいです。
- ・昨年、ひとり親の各種手当（給付金）が、所得制限限度額を超えた為、支援が全てなくなりました。月の手取りは 20 万です。額面と養育費で超えてしまったのですが、限度額の見直しをしていただきたいです。養育費は“義務”なもので“もらえてない人もいる”という基準も間違っていると思いますし、手取り 20 万で一般家庭と同じ扱いは、おかしいと思います。生活ギリギリです。手当をもらえる為に仕事も変え、手取りがかなり下がります。（4 月～）これがひとり親家庭の現実です。ネットでも同じ様な意見を目にします。どうか働きかけをお願いします。
- ・ネットスーパー等の宅配支援金。子育て支援金。結局金銭面での負担が大きくなり働かざるを得ない、やらせてあげられるものも減る。相談や話を聞いてほしい制度は正直利用しない。こちらから SOS を発することは、子育て中では難しいと思う。市からこちらに発してほしい。
- ・情報配信が遅いなど感じています。まわりから“3 小は統合するからなくなる”と 2 年前位からチラホラ聞きます。いつからなのか、途中入学の場合どうなるのか、最初から転入予定の学校に通えるのか知りたいが HP を調べてもでてこない。決定事項でなくても市が公式に現段階を公表してほしい。
- ・ひとり親同士、子ども同士で交流できる場所があるといいと思います。ひとり親にとっても心強くなると思うし、子どもにとっても同じ環境というのは気持ちの面で安心できる気がする。全ての子どもたちに（ひとり親に限らず）バースデーギフトなど、毎月あると助かる。家賃補助（他の区、市のように）も検討してもらいたい。それとレジャー関連へいくための補助。
- ・ファミサポを利用したかったのですが、（産前・産後で子どもの送迎を希望しました）利用内容が合わず使えませんでした。ファミサポがもっと子育て世代に柔軟に利用できるシステムになってほしいです。私の実母が遠方で義母も仕事をしています。産前、切迫でほぼ横になっていたのもそういう時助けてくれるサポートが欲しかったです。お金を支払ってきちんとやってくれるの方が安心です。身近なママ友も働いている方が多いので、子育てで急にこまった時にすぐ対応してくれる人、スタッフとかいたらありがたいのですが。保健センターの方も話をきいてくれるだけで本当の意味で親身ではないです。そこまです仕事内容ではないので仕方のないことですが。
- ・今は子どもが熱を出したりした時に自分の有休を使っているため、親が具合が悪くなくても休めなかったり、必要な時に有休が取れないことがある。子どもの介護休暇や手当などが職場毎の制度ではなく、一律にもらえるようになると助かると思います。
- ・イベントを開催してくれたり、保育室（公民館）付きの講座があるのは親も子どもとても充実した時間になり良い取り組みだと感じる。
- ・世帯年収の高い人口を増やしてほしい（もちろん学力は NO. 1 にしてほしい）。学校給食の無償化、また栄養面・量などを見直すこと。
- ・子ども 1 人産むにつれ、支援金が欲しいです。子どもは産みたいけどお金がかかると思うと一歩が踏み出せません。
- ・教育、医療の無償化を広げてほしい。子どもを産めば産むほど所得税の税率が下がるなど、金銭面の優遇がされるようにしてほしい。無利子の大学学費奨学金を市独自で作って欲しい。
- ・1 オバースデーギフトのセンスが悪い。1 才未満がつかうものをのせられても困るし、他市みたいに 1 万円分のギフト券がベスト。うまべえ推しにコストをかけないで欲しい。
- ・長い時間働かないと生活できないただ時短にしてる分収入は減ってしまう。最大限で働いても時短しないといけなく収入も下がる一方、時短にしてる家庭にも補助金が欲しい
- ・出産に関しての手当が少ない。
- ・とにかくまともに働いて税金納めてる家庭がまともな子育てをできるようにしてください。非課税世帯は非課税な時点で優遇されてます。老人よりも将来のある子どもへの支援拡充を願います。

- ・ アンケートだけでなく、行政が定期的に子育て世帯を訪問するなど、実態を常に把握し、子育てのニーズを把握してほしい。このアンケートも必要だが、実際に現場を見ることによって、本当に必要なことが分かってくるのではないのでしょうか。アンケートだけで子育て世帯の現状を把握しようとするのは無理がある。
- ・ こちらから情報にアクセスしなくても良い様にしたい。市役所に行かなくても色々な申請が出来るようにしてほしい。
- ・ うちが双子の家庭ですが、双子の家庭への支援が東大和市には、ファミサポくらいで、何もなくて、育児ノイローゼになりそうでしたよ。せめて、東大和市独自じゃなくても多摩地域として、ヘルパーさんなどの支援など、欲しかったです。
- ・ 初対面の人と話すのが苦手なので交流の場に行きたくないが情報が欲しい。3歳と1歳の親だが、東大和市内の小学校の口コミや「小1の壁」の対処方法（市内の施設やサービスを利用したなどの情報があると更に参考になる）などをネットで読みたい。子育て応援でカタログギフト内から選択することが多いが、欲しいのがないので現金かこども券が良い。
- ・ 玉川上水保育園の休日保育園や病児保育があるので、有難いが、急遽の場合には、休むしか選択肢がない。シングルの人で、家族の協力もない場合は、生活に支障を来すため、急遽祝日・日曜日出勤になったり、子どもが風邪になってしまった時に、子どもを見てくれるベビーシッターさんがいていれると助かる。NPO法人だと、料金が高いのでハードルが高い。また、親のリフレッシュのために保育園や幼稚園、ベビーシッターを充実させることで、親が気持ちよく子どもに接することができると思う。東大和市は子育てしやすいとおもいます。もっとよくなると尚よいと思います。
- ・ 私の職場は、最大3年まで育休取得が可能です。しかしそのためには、保育園不採用通知が必要で、応募して落ちたという証明が必要です。もっと育ち盛りの子どもと一緒に過ごしたいのに、その手続きが分からないのと手間がかかりそうで面倒に思います。育休延長の手続きの簡略化（もし延長ができないのであれば、出来るようにしてほしい）をしてほしいです。
- ・ 東大和市がどんな活動や事業をしているのかが全くわからない。情報を得られる場も少ない。また、学校や公共施設のトイレなど設備がとても古く使うのにためらう。
- ・ どんなサービスがあるかもわからなかったし、産後に調べる余裕もなかったため産前などのときに市役所・公民館やかかるがもなどを見学ツアーできてたら利用しやすかったと思います。あと保育者との対面ができれば安心して預けたりしやすかったなと感じました。
- ・ 父親への子育てや家事の理解、指導はやはり母性がある無いは違いがあるかと思いますし、昔よりも理解がある男性が増えてると思います。ですが、同じ目線で子育てや家事をしたいです。何度話しても理解してもらえず第三者からの指導があれば理解も深まると思います。
- ・ もっと、子育て世代が住みやすい環境を整える事が住民税など含め、市の財政の安定にも繋がると思う。（私達のような子育て世代→その子ども達が大人になった後世代など、長く住みたいと思う環境作り）その一つとして、東大和市の入り口になる東大和市駅前のリニューアルが大事だと思います。ただの乗り降りする駅ではなく、帰りに買い物などできるショッピングモール、簡易的な市役所の設置や、病院等のクリニック、託児所等の保育の充実などがあると、東大和外に仕事へ行く人達の、住みたくする市になると思う。
- ・ 私立小学校の学費支援
- ・ 子どもをベビーカーに乗せたままバスに乗るのが、まだまだハードルが高いと感じています。車椅子の方が多かったり、杖を持っている方がいたりで、子連れは肩身が狭いと感じてしまいます。交通機関に対するベビーカーについて特集していただき認知活動などしていただけたらと思います。認知が広がって自家用車を持っていない家庭でも子育てしやすい環境になっていけばいいなと思います。
- ・ また、こどもに関する施設やサービスの質・数についても隣接する市と比較すると目劣りしてしまう。こどもと一緒に出掛ける場所・イベントも隣の市に魅力的なものが多い為、わざわざそこまで行くことが多い。
- ・ 東大和市で生活していて不便だと感じるところは離乳食を気軽にあげられるところがない（あっても汚くて狭い、1人くらいしか入れない）。子どもを見ながらテレワークしたり勉強したりできる場所がない。保育と就労のことを同時に相談できる窓口がない。小1の壁に対する相談窓口がない。母親の自殺率がたかい子どもが9ヶ月頃の支援がない。子どもとの関わり方、過ごし方などは悩んだらいくらでも自分で調べられる時代ですが、子どものいる母親が転職活動をするにあたり自治体で行っている保育支援、就労支援があるのかないのか調べてもわからないので市役所の方に聞いてもそういう窓口はないというのが不便だと感じました。保育と就労、どちらも相談できる窓口が欲しいです。
- ・ 職場のある市では、子どもとお年寄りインフルワクチンが無料であり、オムツの提供、収入関係なく高校まで医療費無料で子ども支援が手厚く、下の子が小学校上がる時に移住したくなるくらい魅力を感じる。
- ・ 小学校に入るにあたって、自費で用意するものが多かった。ひとり親家庭に対しては助成してほしい。所得制限が厳しすぎる。
- ・ 経済的に厳しい状況まではいかなくても、とても余裕のある家庭は少ないと思います。経済的余裕とこどもの教育環境、将来性は大きく関係するため、補助などがあると安心出来ると思います。父親学級をぜひ行って頂き、しっかりと子育ての重要性を理解し、協力してもらいたいです。義務化でも良いくらいです。1人でも多くの父親が育児休業制度を利用出来る社会になれば、女性の社会的地位が確立され、労働人口が増え、経済的な安定があり、子育て

て意識が高まり少子化対策に繋がると思います。不安がなく子育てが出来る社会が成り立つ未来が今のこども達の未来になるように願うばかりです。

- ・ 子どもを産んで、こんなにも出費が多いのかと実感した。これだと、子どもが欲しくても金銭面的に諦めたりしている世帯も多いと思う。出産金、支援金や物資、保育施設の無料化などもっと子育てしやすい環境をつくってほしい。
- ・ 子育て支援金を現金でいただくと助かります。毎回カタログギフトのため、続けて子どもを産んでいる場合、選択肢に困ること、現金だと一時預かりや整体マッサージなどの自身のリフレッシュにも使える幅が増えるので、現金、もしくは〇〇Payなどが使いやすいです。正直、おもちゃや子育てグッズを購入するより、食費や学費に充てたいです。
- ・ 誰に相談して良いか分からない。子ども同士では相談窓口があるが。
- ・ 公園など子どもが遊べる場所が多く、また来年度の4月から東大和市の認可保育園を利用させていただく予定で、今のところ不安や不満と感じていることはありません。しかし、市や都、国の子育て支援の情報を得る機会がなかなかありません。私自身、仕事と家の行き来をしているのみでスマホで情報収集できる時間が少ないので、そのような情報を様々な形で提供していただくととても助かります。
- ・ 支援は現在でも充実していると感じます。ただ、精神面が辛いと感じることが多いです。なので、ここに行くと子どもとも安心して、楽しい、行くとリフレッシュできる、そういう場所が東大和には公園以外あまりないと感じますので、そういう場所、カフェや屋内の遊び場、イベントが開かれる場、美術館的な美しい場所を作っていただければ、それを楽しみに日々の苦しい仕事と子育ても乗り切れるのになと思います。
- ・ 高齢出産だった為、子育てと、親の介護の時期が重なり、体力的、金銭的な不安があります。仕事を継続する為、子育てや介護のサポートを期待します。
- ・ 転入前に保育園について近隣自治体に電話で問い合わせた時に、東大和市が最も親切に対応してくださったことや、保育コンシェルジュがいたことから転入を決めました。このような調査を行うなど子育て支援に力を入れてくださっていると感じます。近くに子育てを頼れる身内や知人がいない人への支援が十分でないと感じます。ひとり親で近隣に親戚、知人もいないため、とくに自分が体調を崩した時にどうにもなりません。ファミサポはあらかじめ予約が必要、保育園はまず送迎ができないと預かってもらえず、また、コロナ以降は子どもが元気で大人が体調悪いと(風邪などうつるものでなく偏頭痛などでも)預かってもらえない場合があります。以前、他県の子育て SOS の記事を読み、そういったサービスが有料でも東大和市にあればよいなと思いました。
- ・ 児童手当の金額が第3子以降は高くなっているけど、第1子の時から支給される金額を上げてほしい。
- ・ 6ヶ月頃からはひろばや保育園・図書館のイベントに参加できるようになり、親子で楽しめたり、母が息ぬきできたりしてとても助かっています。今のサービスの継続を望みます。
- ・ 身近に子育てのサポートをしてくれる家族がいても、産後宿泊できたり、通ったりもできる子育て支援してもらえる場所がもっと充実すれば嬉しいと思います。
- ・ 他県から越えてきて思うのは東大和市の役所の方はどちらかというとお役所さまという感じがしていて、気軽に市役所に行って相談ができない。他の市との対応の差がありすぎるのと子育てする上でグレーゾーンの子を預ける場所が少なすぎる。手続きも時間がかかるし市の担当の方に相談してもどこか他人事で話ができない。もう少し市民に寄り添う役所になってほしい
- ・ 子育てがしやすい町と感じたことはない。保育園も入りやすいわけでもない。子どもを預かるサービス(かるがも)なども面倒。時間に余裕のある人や細かくチェックできる人なら利用できるだろうが、つかれきっている自分には全く無理だった。PTAは全員参加、しかもスクールガード、任意ではなく強制参加。いじめがあっても他の小学校は選べず、保育園も布オムツ推奨や持ちもののタオルは手づくりで(愛情だから)など、施設のハードルが高いところもある。今の時代にあった、子どもの為に働ける親への取り組みをしてほしい。
- ・ かるがも・児童館(良い方もいらっしゃいました)・保健センターの健診で表面上では「いつでも相談してください」と言うが、実際に相談すると深くは聞かず、他の施設を紹介したり、「また、何かあったら」とごまかされているような印象を受けました。形だけで行っているのだなと思いました。ここが地元でもなく知人もおらず、ここで子育てしていくのかと思うと不安です。
- ・ 市役所の対応がいつも悪いと感じます。知識の差が人によって大きいです。里帰り出産する人に対するサポートがないに等しい。東大和市の保育園に在園していても里帰りしたときに里帰り先の一時保育を利用できるようにしてほしい。祖父母も働いている場合、里帰り先で一時保育を利用できないのは本当に辛かったです。親子ともどもストレスがたまりました。
- ・ 子育て支援は色々やっていると思うが、まだまだだと思う。もっと、先進的な取りくみをして他の市区町村の事例を学んで、もっともっと取り入れてほしい。病児保育も1ヶ所しかないし、預り人数も少なく、利用しにくい。ファミサポなども利用してみたいと思うが、料金の負担も大きく、それなら自分で何とかしようかと思ってしまう。

(12) その他

- ・ 東大和で不便なことはないが、東大和でよかったと思うことはなかった。子どもが多いのに、大切にされているという感じがしない。
- ・ 2才と散歩することが多いのですがフェンス（ぐらぐらはずれそうなところもあります）についている看板がはずれ、はり金だけとび出て残っていたり、子どもの目線（犬もそうかな）等にあり、危険を感じます。タバコの吸いがらゴミが最近多く不快です。拾いながら散歩...（子をつれて）はちょっと厳しいので、どうしたものかと...。
- ・ 本など生まれた時だけでなく頂きたいです。
- ・ 自然あふれて、犯罪も少なく安心して暮らせる東大和市が好きです。もっと良い街になることを期待と楽しみにしています。
- ・ 小学校へ行くまでの道が車の抜け道と重なってとても道幅もせまく、ガードレールもないのもものすごく不安です。途中からは時間で通れないがそれまでが不安。
- ・ 子どもが3人おり、生活のため車を手放しました。おかげで生活に不満はないですが、ホテルや交通費が高く家族で連休中の旅行に行くことがすっかりなくなってしまいました。子どもたちにいろいろな体験をさせたいのですがなかなか出来ません。子ども達のさまざまな体験が出来るような活動があれば、参加したいと思っています。
- ・ 市内をめぐるちょこバスの本数が少ないので利用しにくいです。
- ・ ちょこバスの本数をふやしてほしい→通院で利用させていただくが、帰りの時間に合わなくて何分も待ったり、タクシー利用になってしまう。車がないので、子どもをつれての移動はとても大変。病気のときだけでも送迎があるととてもたすかる。タクチケとか。
- ・ ゴミ袋の料金が高いので見直してほしい。
- ・ 少人数で沢山の小学校（小学校の数と子どもの数が合っていない）ではなく沢山の子どもが通う学校にしてほしい。低所得層ではなく、納税世帯が助かる子どもの習い事サポート支援金など納税していることのメリットがほしい。非課税、生活保護の現役世代からきちんと納税してもらってください。支援より親への教育、課税が必要なのかもしれない。
- ・ 散歩中やスーパーで声をかけてくれる人が多く、市民が温かい。高齢者と子どもが同じ空間で過ごせると嬉しい。
- ・ 今後小学校などの登校を考えたときに、道のせまい所で車が通る所がいくつかあるのでなんとかならないかと思う時がある。
- ・ 東大和はすごく子育てしやすい市だと思っています。コロナの時に出産もあり不安でしたが、色々と支援下さったり助かりました。ありがとうございました。子ども3人おりますが、これからも東大和で子育てしていきたいと思っています。
- ・ 芋窪の道は古くせまいので歩道をベビーカーで通るのは大変でした。ちょこバスも通っていないので出掛けることに苦労しました。以前小さなタクシーかバス「いもタク」が走ったことがありますが、その行き先には用がなく利用することはありませんでした。市役所や駅、各幼稚園、スーパー等へ向かうバスがあれば便利なのだと思います。便も少なく、これでは帰ってこれなくなります。
- ・ 東大和市内で子育てしながら就労できるように企業の誘致。若い人が引っ越したくなる様な取りくみを。自然が多く良い場所ですが、親がどうしても遠い所で働かなければ育てられない（給与面でも）環境をなんとかしてほしいです。子どもともっと一緒にいたい。
- ・ 地域のシルバーさんに横断歩道に立っていてほしい。何度も車にひかれそうになった。
- ・ 隣の市などの方が充実した子育て支援がされているなども知人などから伺います。期待しています。
- ・ 市役所に相談したときもこちらの気持ちを理解してもらえず、現在の制度として出来ないというのは分かりますが説明不足、代替案等の案内も無しでした。子育てしたことがない、若しくは不自由なく子育てした人ばかりが保育園にいますのだと思います。対応に不信感を感じたのもう東大和市にいる限りは子どもを産みたいとは思わなくなりました。上の子のときファミリーサポートに登録しましたが結局連絡がありませんでした。身近に頼れる人がいない我が家としては、不安しかなく母親の負担が大きく感じます。また、夫が発達障害のため、苦しめられることが多く、子どもたちの前で喧嘩をしてしまったり、経済的に苦しいこともあるのですが保健センター等で相談しても解決することがなく、どこに助けを求めればいいのかわかりません。東大和市は子育てしやすいというのは今のところ感じたことはありません。我が家もそうですが遠距離通勤をしている家庭もあると思いますが、駅の近くに保育園がないことも不便に思います。
- ・ アンケートに答えている時間が苦痛。質問が多すぎる。もう少し簡潔に少ない質問に出来ないものかと感じる。子育て中は特に忙しいので、その辺も理解出来ないのかなと感じます。今後、このようなアンケートがなくなる事を望みます。
- ・ 保育園や小学校の前に徐行させる段差の設置を。
- ・ 犯罪や事故に巻き込まれないように、子どもの通学路の安全が保たれること。
- ・ 交通安全面の強化。（歩道へのガードレールの設置。通学路が遠回りすぎて子どもが危険な道を使用しているの見守りの強化、通学路の見直し。車のスピード違反の取り締まり強化）

- ・ 「子育てしやすい市」を掲げている割に何も無いと感じます。他市の方が子育て遊びの場が充実していました。他市の保育園のほうが保育の場として充実しているのをテレビで見かけました。特筆できるものはないように感じますが、どの点を「子育てしやすい」とおっしゃるのが、実際の子育て家庭としては不明瞭に思います。未就学児（園児）と就学児（小学生）と、それぞれのイベント日程が重複しやすく、学校と園の橋渡しをしていただけないと、それぞれの運動会等に満足に参加できません。コロナ禍を経て、観客としての家庭出席人数を控えられている園もあり、各家庭2名等の制限とされた場合には小学生だけを留守番させるわけにもいかず、やりくりに困ります。市立の学校と市内の幼保施設とのスケジュール調整を一番に望みます。悩んでいるご家庭の意見をよく耳にします。まずは是非ともこの点をご検討ください。
- ・ 子育てしやすいと感じたことがない。他市と違う目玉作戦を作った方がいい。産後母親が宿泊できるサービス。母親でも働ける市の事業。など働きたくても働けない母親が沢山います。新しい子育て支援を始めて働きたい母親を雇用したらいいとおもいます。父親は仕事があるのであてにしない。母親が働いて自分の収入を得ることができる。一番満たされると思います。パートで働いていますがフルで働いて沢山お給料がほしいです。そうできる環境を作ってください。
- ・ 子育て世帯が多く、子育てを安心してできる印象があります。
- ・ 子育て世代が安く住めるマンションなどを作ってほしい。
- ・ 子育てしやすい街というのは、ただ保育園の待機児童が少ないというだけでなく、安心して遊べるような場所の提供や密な地域との繋がりなどをもっと充実させるべきだと考える。
- ・ たまにタバコを吸いながら、自転車に乗っている人がいますが、街の中に歩きタバコを禁止する看板なども無く、道でタバコを吸う事を野放しにして欲しくありません。条例で禁止できないのでしょうか。危険ですし、病気を誘発します。
- ・ 他の場所で子育てをしたことがないので比較はできませんが、東大和市で子育てをしてみて、とても子育てしやすい街だと感じています。今年2人目を出産予定なので、引き続き子育て制度を利用させていただきます。宜しくお願いします。
- ・ 空気悪すぎるので並木道の樹をもっと充実させてほしいです。狭山公園や公園以外の町並みがあまりにも灰色で。洗濯も干すとほこりっぽくつらいです。子どもたち・大人たちの健康のためにも全力で動き出してほしいです。
- ・ 子どもと遊べる商業施設をもっとつくって欲しいです。アカチャンホンポやスリーコインズなどベビー用品が買えるショップがもっと沢山あると嬉しいです。ベビーやキッズメニューがあったり 親子で楽しくお散歩をしたり休めるスペースがあると良いと思います。
- ・ 忙しい人ほど、このようなアンケートに回答する時間すらないのでと思います。
- ・ 安心して、自分の興味があることや能力があることを伸ばすことができる環境が必要。経済的理由で伸ばせない子どもがあるのは残念なことだと感じる。
- ・ 母親が仕事をしていても、していなくても、一人ひとりの子どもを平等に支援してほしい。子育てしやすい環境を整えてほしい(例えば月1回などの定期的なおむつやミルク配給サービスを兼ねながらの子育て訪問など)。
- ・ 公共交通機関の充実。
- ・ 重度の障がいを持つ子が通える通所施設を増やしてほしいです。在宅レスパイトがあると、きょうだいの行事に行きたい等、泊まる程ではないが、長時間、おうちでみてもらえる制度があると助かるし、利用したいです。
- ・ 子育てをしていて思うことは、ご近所の子育てを終えた方の経験談など聞いたり、その方たちのあたたかく見守って下さるお言葉をいただくことがホッとしました。
- ・ 子どもが成長するにつれて、年齢ごとにこちら側が必要とするもの、悩みも違いますが、常に思うことは、教育・子育ての専門家レベルの方で、堅苦しくなくもっと気楽に些細な事でも相談できるそんなコミュニケーションがあればいいと思いました。
- ・ 少し前にファミリーサポートを利用した事があったのですが、サポーターさんのご自宅につれて行かないといけなくて使いづらく利用をやめました。もし可能ならばこちらの自宅や自宅付近の児童館などでもみてもらえるともっと助かるなと思いました。
- ・ 図書館の本も古いものばかり。(そのせいか子どもがガのアレルギーになった)。SNS、ネットなどで話題になっている絵本は大体なくて、他市からかりたりしてる。
- ・ 中央図書館も暗いので、特に絵本や児童書コーナーは明るく清潔な感じにリニューアルしてほしいと思います。
- ・ 子どもがまだ1歳頃に、自分の病気治療のために育児が難しいときがあり、預けるサービスを利用したかったが、手続きや聞き取りをしに市役所まで何度も出向いていくことが本当に辛かった。特に病気があり身動きが取れない保護者のために、柔軟に対応してほしい。結局サービスを利用することはできなかったため、身内に依頼したが、負担がとても大きかった。
- ・ 市では不登校の生徒さんが通えるサポート施設みたいな所があるのでしょうか。芋窪地域には本当に公園や公民館、児童館がありません。ぜひぜひ公園を作ってください。そして七森「下立野林間こども広場」をこわさないでください。心からお願いします。
- ・ 父母共に東大和市内で働いているわけではないので、日本全体的に働く時間を制限してほしい。母親の負担は大き

く、職場にも自分自身にも無理をして子育てする場面が多い。父親（男性）は休みづらさや何時まででも働いていられるというそもそもの考えを持っていて、それは社会が制限しないから勘違いしてると思うし、その人自身の考え方の問題でもある。少子化と騒いでいるが、働かないと子どもを育て上げられる資金がない。子どもが大きくなればどんどんお金もかかってくる。親は年齢を重ね身体的に辛い中働かなければいけない。子どもに好きなことをさせたいがそこまでの余裕が時間にも経済的にも生まれない。親は必死で働くしかない世の中では、若い人たちにとって結婚も子どもも必要とは思えないかもしれない。世の中の仕組み自体を変えないと難しいと思う。

2 小学生保護者

カテゴリー項目	件数
(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について	6
(2) 保育園について	7
(3) 幼稚園について	1
(4) 学童保育・ランドセル来館について	26
(5) 学校について	49
(6) 放課後子ども教室について	5
(7) 児童館について	10
(8) 公園・遊び場について	30
(9) 母子保健・医療について	9
(10) 病児・病後児保育・障害児保育等について	15
(11) 子育て制度・行政等について	75
(12) その他	43

(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について

- ・ 子どもが幼稚園や小学校低学年の時は、預かり保育の充実を望んでいました。
- ・ ママ友同士のつながりも大切ですが、実際問題、お互いに大変で助け合えないこともあると思うので、子育て経験のある方のサポートは心強く感じます。
- ・ 子どもが産まれて、1才くらいの頃、近所に知り合いもいなくて、とても孤独でした。子どもの支援センターも、「かるがも」もバスに乗らないといけない。
- ・ 上の子との時間を確保するために、下の子を一時保育に預けたいがなかなか予約をとることが困難である。
- ・ 両親共にフルタイムで仕事するのは祖父母の協力がないとつらいと思わないぐらいサポートが手軽に利用できるようになると良いと思います。(ファミリーサポート利用したこと有)。不登校児へのサポートもありさわやか教育相談には助けられていると思います。不登校になる前に学校のカウンセラーとの関係があったら、もっと違ったのかと思うことがあったので、相談する→カウンセラー対応するというのではなく日常にカウンセラーの関わりがあると良いのかも。サポートルームがもう少し近いと助かる。
- ・ 親が気軽に遊びに行ける場所、公民館や市民センターでの子育てサークルへの支援、集まれる場所作り、家事サービスなどの充実。

(2) 保育園について

- ・ 保育園では、年末年始特別保育、休日保育も利用させて頂きました。助かりました。
- ・ 普段利用している保育園で病児保育を受けられるようになると嬉しい。広沢子どもクリニックが遠いので利用できても遅刻、早退しないといけない。
- ・ 保育所への入りやすさや環境はとてものついでにすばらしいと思いますが、画一的というか……。 (私は土日勤務なのですがそれに対応するサービスがとても少ないです)。少し料金が高くてもいいので、民間的のサービス(助けも)利用して様々なパターンの支援があるといいなと思います。また子育ての先輩である高齢者の方々からのアドバイスや協力がもっとあるとうれしいです。(今の放課後教室などのような)。
- ・ 保育所を増やすなどの考えだけでは保育士の負担を全く考えていない事も感じます。大事な命を預かっている仕事の大変さをもっと理解してほしい。保育所だけでなく、もっと保育士の事を考えてほしい。保育士のお給料も時給もとても低いです。東大和市独自でも賃上げを考えて頂けたらと思う。
- ・ 支援サービスとは違いますが、保育園の教育方針に疑問を持っています。勉強やスポーツを出来るまで叩き込んでいるのか、出身の子が学校に上がると、勉強やスポーツが他の子や、先生が教える段階より群を抜いて出来る為か、『もう出来るからつまらない』と言って1人遊びしてしまったり、友達を巻き込んで騒いだり、出来ない子や先生をバカにしてしまい、学級崩壊が起きていると感じています。先生がそちらへ取られてしまい、学力の低下がみられます。
- ・ 下の子が通っている狭山保育園の突然の廃園予定に対する具体的な策も未だ納得できるものは出てきていません。新しい市長が狭山保育園の廃園により余った資金を子どもたちのために使用すると発言している文面を見て、我が子は市の子どもたちの犠牲になったのだと感じました。東大和市で今後も子育てしたいかと聞かれれば、したくないけど、これ以上お金をかけて家を建てたり引っ越しをすることもできないのでせざるを得ないという回答になります。なぜその選択肢がないのか、情報操作を感じざるを得ません。この回答によりなにがわかるのか知りませんが、ただのパフォーマンスでは無いことを願います。この市に越してきて5年、ここで子どもを産んでよかったと感じたことはただの一度もありません。
- ・ 子育てが大変で自分だけでは見ることができないと判断し、1才から預けたいと思い仕事をしています。他市に住んでいた時は保育園に入れず、仕事の話が来ましたが取り組むことはできませんでした。東大和に引っ越しして保育園に入れ、助けていただいたと思っています。親世代にはメインで預けたいとは思わず、保育園に入れて自分の意志で子育てしたいと考えています。東大和で保育園に入れなかったら、母親はがまんするだけの人生だったと思います。母親は子育てで10年~15年間は自分の人生はありません。(保育園学童に入れなかった場合、入れたとしても仕事や生活をセーブしています)。(コメント記入母親)。
- ・ 仕事の関係上、(主人に子どもあずけて)土日に出勤しています。主人が仕事になった時はどうにか調整して休みをとるが、休日にも保育できるところを増やしてほしい。

(3) 幼稚園について

- ・ 子どもが幼稚園に通っている時、第3子は保育料無料となり、‘負担が減る’と思っていたが、幼稚園そのもの(管理費など)が高く、無料というより変わらないと思った。

(4) 学童保育・ランドセル来館について

- ・ 学童を退所するタイミング(小学校中学年)での放課後の過ごし方を心配しています。親は家にいられないので、安全に過ごせる場や地域の見守りがあればと思います。

- ・ 保育園内に学童があると良い。
- ・ また、我が家は、2人の子ともとも0才、1才より保育園に通っていました。上の子どもが就学する際、通勤時間が夫婦2人とも1時間半、正社員で働いていたのにもかかわらず、学童保育にも入れず、とにかく困りました。会社の時間短縮勤務を使っても、朝は7:30に家を出て、帰りも18:00すぎるのにです。その時、週数回市内で扶養内でパート勤務されている方が、学童に入っていました（夏休みの利用しない）。正直、本当に腹が立ちました。こういう不公平はあってはならないと思います。親の勤務地、帰宅時間、きちんと勘案されるべきではないでしょうか。何年経ってもこれだけは納得いきません。仕方ないので、近くの勤務先に転職しました。こういうことは絶対にあってはいけないと思います。（なお、同じ時に、0才、1才より保育園に通っているお子様数名も学童落選して困っていました。）
- ・ 日、祝も学童を利用したい。（別途料金がかかっても）。
- ・ 学童へ預けるハードルが高くて、預けることをあきらめて仕事中は留守番させて過ごさせました。就労時間の合計時間のこと。1~2年生の間は、もう少し預けやすいようにならないものかと思いました。学年が上がれば友達と遊んだり、一人で近場の習いごとに行けるので楽になりました。（パートやフリーランスの仕事内容だと難しく感じました）。
- ・ 学童が入りにくい。学童やランドセル来館（児童館）はもっと広くて良いと思います。仕事で習い事の送迎が難しい時に使えるような、ちょこバスの様なものがあると便利かと思います。子ども限定とか、ある程度の人数のいるスクールや塾をまわったり、など。
- ・ 学童が市の運営でなくなってからとても質が悪くなったと思います。
- ・ 職業がら、土日が休めず、子どもも1人で留守番させざるのは危ないので出来ません。日、祝も子どもが預かってもらえる所あれば、職場に迷惑かけることなく働きやすくなります。もちろん、子どもと過ごす時間は減りますが…。ずっと子どもといえるのはダメなので。（イライラしてしまうので働いていた方が楽です）。祖母に頼りっぱなしになるのは、考えなくてはいけません。サポートして頂けると助かります。
- ・ 近くに身内がないため、長期休みの時に未就学児のように半日でも子どもを見てくれる施設があると助かります。学童やランドセル来館は、フルで働いている方優先で、その方たちも入れない場合があると聞きます。短時間でももう少しハードルが下がるとよいかなと。
- ・ 保育園には年末保育がありますが、学童にはなく、両親共に仕事・祖父母に頼れない場合に行き場に苦慮します。また、高学年になり平日は学童が不要でも、長期休暇の間の居場所には困ります。年末保育や休日保育、学童の利用ができるようにして、協力してくださる保育士さんや、先生たちには十分な報酬を用意してほしいです。
- ・ 長期休暇だけ学童などの子どもを預かる施設が利用できること。普段は授業が終わる時間には親が帰宅できるためランドセル来館や学童を利用しなくて済むが長期休暇だけ利用したい人はたくさんいると思うから。また東大和市のランドセル来館の規定で『3ヶ月以上利用のない人は登録を抹消します』と書いてありますが、厳しすぎますね。なら長期休暇だけ利用できるものを考えたらいいかなでしょうか。
- ・ ひとり親家庭かつ、親類も遠方の為、子育て支援がないと働けない状況でこれまで子どもたちを学童に預けていましたが、今年度から異動されてきた学童職員による子どもたちへの言葉の暴力等により、安心して子どもたちを預ける事が出来なくなり、年度末を待たずして退所を余儀なくされました。学童や市へ改善を求める連絡を何度もしましたが、特に改善が見られる様子もなく、学童の園長、委託先、市の職員の方においても誠実さは感じられませんでした。退所をすれば、子どもたちへ行った不適切な保育の実態はなかったものにされていることにも本当に腹がたちました。
- ・ 学童の数が少なすぎる。学童に通える人数が少なすぎる。
- ・ 学童保育の充実（保育時間延長や学校休暇中の利用）と、適正な利用ができているのかの確認。学童保育の子が帰宅後に、その場所を利用して、夕食支援や学習支援ができたら助かる方がいるのかもしれない。
- ・ 学童の利用について、小学生低学年、中学年までは、必ず入れるようにしてほしい。保育園までは、かなり厚いサポートがあるが、小学生になると、人数の関係で学童に預かってもらえないことが過去にあった。フルタイムで両親が働いている世帯にはかなりの負担になる。学童も学校の敷地内に設けてほしい。安心して生活をしたい。
- ・ ランドセル来館の登録時、パートの時間、扶養内での勤務のため時間が足りず登録できなかった。学年で時間が決められているのは働きづらい。
- ・ 学童、ランドセル来館の充実を希望します。日中のみのパートだと申し込みすらできなかったのですが、夏休みや学校の振休の日の子どもの居場所（急な残業ができないことも・・・）に困りました。
- ・ 現在ランドセル来館を利用していますが、学年が上がるにつれて終業時間の条件が変わる為、扶養内での勤務が出来なくなる事が悩みです。学校の長期休暇中に半日一人で留守番をさせる事も心配なので、春夏冬休みのみ預かって頂ける様に検討して頂けると大変ありがたいです。（現在1年生で、2年生までは扶養内でぎりぎり預かって頂けますが、3年生から条件に合わなくなってしまいます。3年生、もしくは4年生までは預かって頂けるとありがたいです。）
- ・ 清原学童、児童館、利用したくても戦時中の建物の様でやめました。（子ども）人もつまこみ。学校、児童館トイレもようやく便器だけ新しく・・・ドア、床そのまま。どうしてそれ以外そのまま？そんなにお金ない？暗くて臭い。パソコンなどよりトイレなどの方が大事では。

- ・ ランドセル来館でおやつが出ないこと。
- ・ 長期休みの間のランドセル来館の時間を、現在の 8:30～17:00 から 8:00～18:00 くらいに延長して欲しい。
- ・ 七小にランドセル来館を作ってほしい。放課後こども教室は毎日あるが、九小との統合で毎日放課後こども教室があるのか不安。働きたいけど、預かり先がないと働けない。放課後の見守りを地域の方をお願いしたい。不審者が増えているので、薄暗くなってきたときなど見回りをしてもらおうと親として有り難いです。
- ・ ランドセル来館の利用が就労時間と学年によって定められているが、学年が上がり利用できなくなり、長期休暇中に居場所がなくなってしまうのは親として困る。放課後少しの時間の留守番なら仕方がないが、長期休暇となると朝から親が帰宅するまで 1 人で過ごさせるのは心配なので、長期休暇中に居場所のない子が安心して集まれる場所がほしいです。

(5) 学校について

- ・ 小学生の学力の地域間格差が気になります。母子世帯の多い地域など市の方で把握できていると思いますので、格差がへらせるよう、特定の地域の教育支援に取り組んでほしい。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが非常勤（嘱託）職員だが、教員（学校）や家庭などと連携し、しっかりと支援していくには非常勤では困難だと思う。市独自の取り組みとして、どの児童にもきめ細やかに対応して成長の手助けにしてほしいので、ぜひ常勤での採用をすすめてほしい。非常勤職員では、本当はこういう関わりがしたいと思っていても、限界がでてしまい、支援に支障がでるかもしれません。
- ・ 小学校の統廃合を進めないでほしいです。
- ・ 学校給食に関しては、無償化できると良いと思いました。他市でも 2024 年度から無償化するとのニュースを見ました。教育費に全てを投入できるよう、お金のかけどころをピンポイントにできると、親としては助かります（物価高で日々の生活費はきびしいですから）。
- ・ 東大和市立第五中学校が数年後に廃校になると聞いています。芋窪は、ちょこバスも廃止になって不便になってしまった上に、中学校まで廃校になってしまうと、子どもがどんどん減っていき、子育てがしにくい町になってしまいます。子どもたちも登下校だけで疲れきってしまつては、勉学に励むこともできなくなってしまうので、五中は残していただきたいです。街灯もお店も少ない芋窪なので、遅い時間の下校は大変危険に感じられます。再検討をお願いします。
- ・ インターナショナルスクールに通っても、インター校の夏期休業中に市内公立校に通えるようにしてほしい。中学校で行っている英会話を、タブレットでのオンライン英会話ではなく、A L T との直接授業に変更してほしい。子どものオンライン英会話を聞いていたところ、毎回違う先生のため、毎回はじめの 5 分程を自己紹介に費やしており時間の無駄と感じる。また、先生によっては明らかに聞きとりにくいフィリピンアクセントの英語かつ指導力の無い人材がいるため、オンライン英会話の質が低いと感じている。子どもたちのコミュニケーション力向上を考えるなら、オンラインではなく A L T の直接指導を希望する。
- ・ 市では S N S のルールにフィルタリングをと記載されているのに、学校の PC は全くフィルタリングがしていない。PC を持ってから、生活リズムがずれてしまった。家に持ち帰らせない、またはフィルタリングや時間制限できるようにしてほしい。
- ・ 小学校へ子どもを通わせて感じているのは、先生の数が足りずに圧倒的に勤務時間、内容の負担が過剰だということです。これでは、せっかく優れた能力の先生方も休みもとる時間も少なく、リフレッシュや生徒対応のパフォーマンスも活かせられなく残念に思います。東大和市は教育にお金（予算）をかけて学校の運営がスムーズに回るよう、努力すべきかと思われます。地域の方、保護者の方の協力を今以上にお願いしたり、第三者、専門家、顧問など雇う必要があると感じます。S S W、S C の数を増やしたり、休みの対応を考えて人手を増やして下さい。教育にお金をかけるべきです。お願い致します。
- ・ 学校教育、給食費なぜ値上げする。きちんと支払いしている家庭ばかり負担になるのは不平等では。未収の徴収はできているのか。働く家庭にも一定の還元をすべきでは。非課税世帯や一人親ばかり優遇されて、出てく税金ばかりで、何のために働いてるかわかりません。
- ・ 来年中学校へ入学しますが、給食費の負担がなくなるととてもいいと思います。中学校の部活動の種類がどんどん減ってきていて入りたい部活がありません。やりたい事があれば外でやってほしいとの先生からの話もあり残念に思いました。先生方の負担も大きく大変だとは思いますが、何かいい方法がないものかと思っています。
- ・ 夏休み等の長期休み時の学習指導。子どもだけでも参加できるイベントの拡充。
- ・ 義務教育の 9 年間、給食費、教材費等、他の市や区は、行政が負担する事に切り替わってきてますが、東大和市は切りかわらないのでしょうか。修学旅行などの負担も多いと思います。市からの援助（令和 5 年度の）が、2,000 円しか補助されませんでした。子育てしやすい市というのであれば、上記のような補助を充実しないと子育てしやすいとは言えないです。補助してもらった分、子どもに習い事や学習塾に行かせる事が出来ると私は考えます。
- ・ 学習する場である学校の美的環境を整えて欲しいです。ほこりだらけ。壁が汚れている。棚も古い。掃除、塗りがえ、などお願いしたいです。
- ・ 小中学校のトイレを新しくしてほしいです。給付金を配るよりも教育環境に使ってほしいです。市長がトイレを新

しくしてくれた。と実績になります。給食の開始と終了が他市と比べて非常に早いです。給食費を上げてよいので始業式から終業式までにしてほしいです。

- ・ 23 区同様に医療費の所得制限撤廃に動いてくれたのは評価したい。オンライン英会話レッスンが中学校であるが(レッスンが少なすぎるが・・・)小学校でも取り入れてみてはどうか。東大和市は住みやすい街だと感じるが、教育面、施設、設備等で他の地区に見劣りすると感じている。
- ・ 公立小中学校の学力向上を一番と考える上で必要な対策、特に、小学 6 年生から中学 1 年生に進級の際、スムーズに勉強が移行出来ているのでしょうか。東大和市で小中一貫教育、市立小中一貫校の設立を考えてみてはいかがでしょうか。子育ては幼い子どもの時よりも小中学になってからがむずかしくなってきます。子どもの学力 No.1 を目指すと子育て世代が安心して定住できると思います。東京都下で学力 No.1 を目指して下さい。
- ・ 学校に 1 クラスでも良いので支援級の教室を作ってください。他小まで遠くて毎日通う事ができません。
- ・ 今困っていることは、学校の PTA です。なり手のいない PTA の役員、委員をくじ引き等できめ、くじに当たると、毎月平日の昼間に学校へ出向いたり、夜や休日に PC に向かって資料を作ったり。有給休暇を子どもの学校行事に自分の為に使いたいの、PTA のために使うことになっていて、いろいろと非常に負担が大きいです。
- ・ 是非学校行事、保護者会、授業参観のオンライン化。PTA の廃止又は希望者のみでの運営に変更。遠足時のお弁当持参の廃止。夏休み、冬休み、春休み時の給食又は、お弁当の提供。学校の敷地内での学童保育。放課後の体育館、校庭、図書室が開放され、子どもが誰でも自由に遊んだり、本を読んだり、宿題ができる見守りスタッフがいて安心して利用できる環境があると大変助かります。
- ・ 給食時間の確保。(授業開始を早くして、ゆっくり食事をする習慣を)
- ・ 小学校しかわからないが、教育環境が低い。学校も色々なモノがこわれているもので授業したり、お金がないからできないと言われ、子どももそれを受け入れる。あきらめ。子どもへの教育投資をしないから、市の小学校も廃校となったりしている。教育環境が昭和、平成のままである。各学校によりパソコン利用した授業もバラバラ、全く一貫性がない。期待もできない。親の資質も低い、子どもに残念な環境である。
- ・ 学校で過ごす時間が多い為、学校施設の耐震化についてもよろしくお願い致します。
- ・ 学校での放課後遊びが、例えば誰でも 4:00 位まで放つたらかしで良いのであったら良いと思います。
- ・ 小学校中学校でも、本人、家族が希望すれば、支援の先生をつけて頂けるようにしてほしいです。以前学校にかけあいましたが、予算をつけてもらえない為、要望には応えられないと言われた事がありました。通級の支援教室と固定の支援級の差が激しすぎるように感じます。支援教室の利用時間数をもっと増やして、充実させてほしいと思います。担任の先生の負担もものすごくかかっているのでは、と心配なのです。
- ・ 小学校のトイレを洋式にしてほしい。小学校の熱中症対策として浄水器などを用意してほしい。毎日水筒の持ち物が子どもの負担になる。水道水は飲まない。ランドセルと荷物が重すぎる。子どもの体の負担がかなり大きい。小学校の土曜授業公開があると平日振替休日のため平日に保護者が仕事を休まないといけいない。年間の祝日も多いので平日振替休日はなくしてほしい。教育のレベルを上げてほしい。誰でも受けられるような放課後や土曜日を利用した塾の先生などの講義をしてほしい。
- ・ 学校で 1 人 1 台の PC 配布はよいのですが、使い方は先生によっても差が出ています。また、ネットリテラシー等もう少し定期的に子どもたちと確認する場を作してほしいです。先生方の負担ばかりを増すのではなく、専門の方を招いてやっていく方が学校側にも子どもたちにも良いと考えます。PC の活用も大事だとは思いますが、そればかりにとらわれすぎず、読解力をつけるための地道な教育も必要であると思います。
- ・ 6 年度から教科書が全て PC に入っている授業になると噂を聞きました。ぜひそうしてほしいです。もう少し軽い PC になると有難いとも思います。あとは PC の電池が持たなくなった、カバーが壊れてしまった等の場合、交換がすぐにできるような体制になってくれると嬉しいです。(上の子が既にカバーが破れていて、こちらで別カバーに取り替えても良いのか、市の方で対応していただけるのかが分からない状態です) こういった声を届けられるような仕組みがある(あるのであれば周知される)と嬉しいです。
- ・ 特にいまさら行政に頼ろうと思わないが、ひとり親の家庭、障害のある子の家庭のほうが、行政・教育機関も、手厚く優遇していて、いわゆる一般的な子は、むしろ放置されている感が否めない。例えば、当該児童のクラスには担任教諭他に加配された 2 名が、入れ替わりで授業に配置されているが、配慮が必要な子どもしかサポートしていない。事前に知らずに公開授業に参加し、かなり驚いた。また上の学年の通常のクラスにも、1 人の生徒に対し専任のサポートティーチャーがいる。
- ・ 物価や光熱費が高騰しているなかで、就学支援の対象になるための収入限度額に見直しはあったのでしょうか？ギリギリのラインの収入の場合、対象にならないので家計が厳しい。高校生が上にいる場合、子育て支援の給付は削られるが、学費や交通費、日々のお昼ご飯代などの負担があるので、収入限度額以外でもトータルで判断してほしいです。
- ・ 東大和市として PTA をすべての公立校から廃止の方向で推進してくだされば、小中学生の子どもを持つ親の実際の負担と負担感どちらも軽減されると思います。同様の理由で、通学路の旗振り当番に関しては市からの助成金などを投入してでもシルバー人材や有償ボランティア活用を推進していただきたいです。親が旗振りに立つ場合も有償ボランティア扱いにするなど、強制的にやらされるのではなく、ボランティア活動として前向きに参加できる体制ができれば良いのではと思います。無償ボランティアでなければやりたくないという声もお聞きしますが、そういった方には実労働分を学校や任意の団体へ寄付という形でダブルで地域に貢献していただくことも可能と考えま

す。

- ・ 集団登下校があると良いです。
- ・ 午前中 5 時間時程の実施をすべての学校にしてほしい。学力向上をしてほしい。
- ・ 私立高校の費用について、所得制限なく、給付して欲しい。
- ・ 小学校の活動で夫婦共働きでない事が前提と感じる事が多々あり、(数週間前の保護者参加イベントのお知らせや学校から帰宅時の歯磨きなど)大変ストレスに感じる。
- ・ 学校の少人数制や副担任制などを実施することにより、先生の負担を減らし、子ども一人ひとりにじっくり向き合えるようになり、いじめや学級崩壊などが防げると思います。是非、優先的に取り組んでいただきたいです。
- ・ 保育園は新園開園や園舎が新しくなる等、充実してきたと感じるが、小中学校は学校の大きさに対して児童数が多かったり、設備が古かったり、1 人一台端末が重く児童には使いにくいスペックのものだったり、十分に予算が取られていないと感じる。
- ・ 私が子どもの頃は、休みの日に自由に学校の施設を使うことができた。公園だけでなく学校の校庭や体育館でスポーツしたり遊んだりできた。遊具もブランコ、ジャングルジム、回旋塔が無くなっている。多少の怪我は経験したり危ないと体験させる必要がある。あと理科の実験など実際にやってみる機会が減ってるのも気になる。子どもの時期は色々体験して経験を積む時期だと思います。うるさい親もいますが世の中リスクだらけでゼロにすることはできません。生き残るためにも危険というモノがどこにどんなモノがあるのか教える必要があります。
- ・ 小学校、中学校の校則を見直した方がいいと思います。全員が守らなければいけないことなのか、進学先の事を考えなければいけないのであれば 親でも大人でもなく本人が決めるべきだと今回のこどもの権利について考えた時に思いました。すべての校則を撤廃したら自分自身でメリットデメリットを考えるのではないのかなと。市役所の方で議論してほしいです。こどもと大人で議論する訳ではないのでなかなか柔軟な意見は出せないかもしれませんが、もし進展がありましたら、中学生とも話し合って意見を聞いていただけたらなにか変わるかもと思います。押さえつけられるのが嫌だった中学生時代、大人の理不尽さを学ぶ機会だったのかなと思いますが、その学びは必要なのかと今の時代の流れを見ていると思います。
- ・ 共働きが当たり前の世の中で、小学校や中学校は PTA や地区委員など、抽選で強制的に選び、仕方なくやらなければいけない。東大和市としてこの制度を変えていってほしい。
- ・ 子どもの教育の場において、各学校での格差をつけず、平等に教育の場を与えて欲しい。林間学校がある学校とない学校、遠足で遠方へ行ける学校と近場の公園しか行けない学校、格差があるのはずっと不思議に思っています。子育てにおいては不便なく行えています。
- ・ 学校公開や行事等で学校に行く際、赤ちゃんのオムツ替えのスペースがないのはとても不便でした。
- ・ 子どもが学生である内(大学も含む)の経済支援や子どもの年齢によっては入学時が重なり、制服などお金が掛かる時の補助金があると助かる。
- ・ アンケートの実施、ありがとうございます。学校教育についてですが、土曜日授業の後にほぼ振替休日が設定してあることがありがたいです。近隣ではそうでないこともあるようなのですが、ぜひ続けてほしいです。タブレットの起動が遅く、使いにくいと感じます。使いにくいと使用頻度が上がらず、技能や創意工夫の力も定着しないと思っています。気軽に使えるよう、起動の早いものを切望します。よろしくお願いします。
- ・ 学校の教員の向上。学びや体験の場を増やして欲しい。
- ・ 放課後に公園などで遊ぶのもいいが、せっかくの成長期である為、習い事などでさまざまな体験をさせた方がよいと思う。しかしフルタイムで働いていると、できる習い事は限られる。学校内を利用した習い事が可能であれば、親の送迎も必要なく、かつ子どもだけで受けられて時間を有効的に使えるのではないかな。
- ・ 高学年になると放課後に過ごす場所がないです。学校のサポートも地域の方の協力があればこそですが、開放される日がまちまちな印象。学童では低学年が多いので、行きたがらない。子どもだけで、夜まで過ごすのは心配です。安心して働き続けられるようにしてほしいです。
- ・ 特別支援学級には該当しなくても、発達や学習への遅れがある普通級の小学生に対して、学校や教員に学習フォローをお願いしたいが、教員の数が足りず保護者が授業のフォローに入ると言われて実施している。両親共働きでフォローにも限界がある為、市や教員委員会に対応して頂きたい。
- ・ 給食をもっとおいしく、独自の食育をしてほしい。子どもにとって食は大切だと思います。

(6) 放課後子ども教室について

- ・ 放課後子ども教室も、ボランティアの方々のご協力のおかげであることは理解していますが、欲を言えば毎日利用できるようなとありがたいです。
- ・ 子どもは普段ランドセル来館を利用していますが、放課後子ども教室がある日は楽しみに毎回通っているので、回数が増えれば嬉しいです。
- ・ 両親が共に仕事をする上で、放課後や長期休みなどに子どもが安全に過ごせる居場所の確保が一番必要かと思います。今ある放課後子ども教室のように、学校を毎日そのまま利用できるような制度があれば安心です。また、近年

夏の暑さが厳しくなっており、特に低学年の下校時は一番日が高い時が多いため大変危険だと感じております。学校に長くとどまれば一番安心ではありますが、体を冷やせるような保冷剤などを朝持たせても帰る頃には意味がないため、各教室に簡易的な冷蔵庫のようなものがあればと思います。

- ・ 放課後こども教室の制度はとてありがたくこれからも続けて欲しいと思います。
- ・ 放課後の子どもの居場所がもう少し充実すると思う。学童よりも気軽に行かせられたり、宿題もできたりする場所があるといい。

(7) 児童館について

- ・ 児童館等でのイベント。
- ・ 四小区域に児童館を建てて頂きたいです。雨の中、屋外で遊ぶ姿をよく見かけます。また、児童館があることで子どもの居場所確保や見守り体制の強化、非行防止にもつながると考えます。
- ・ 児童館やランドセル来館がもっと増えてほしいなあと思います。住んでいる所から子どもが歩いて行くには遠く、大通り、車通りの多い道を通るので行かせるのも心配・・・。
- ・ 子育て中は、東大和市（東京）から出たくない、他よりは安心できると思う。周囲（親や友人や夫）も大変（頼れるが、平日の日中はまずいない）だったしので、行政のサポートを希望。特に児童館がもっと赤ちゃんの親を助けてくれたらと思った。（わらをつかむ思いで子どもを連れていったが、結局親が目をはなさずみていなければならぬ休めない上に、事務室で職員があつたかい飲み物片手に談笑していて・・・こちらは自販機もなく飲み物も買えない。支援する気はあの人たちはないな、と思った。）
- ・ 高学年（3年生くらい）から学童への入所ができず、ランドセル来館では物足りず、自宅で留守番となってしまう。高学年が楽しく安心してすごせる場所を早くつくってほしい。夏も暑くて外に出られず、不健康です。児童館を大きく作りかえてほしい。夏休みを延長するならば、留守番する子の対策をしてからにしてほしい。困り果てている。仕事をやめなければならない。
- ・ 乳幼児の頃は、市の子育てイベント（子ども家庭支援センターや児童館）でとても助けて頂きました。親子ともに楽しくすごせる場をたくさん提供頂きありがたかったです。
- ・ 児童館が、日・祝も開館してほしい。
- ・ 児童館古すぎて驚き。本当に災害時大丈夫？水回りにしても・・・。知っていたら越してこないレベル。友人にもありのままだと伝えてます。子どもが小さい時も、東村山、小平の施設を利用していました。（サポート制度、支援も大事ですが、過ごす時間の多い学校、学童の環境そのものも大事だと思います）。
- ・ 児童館の幼児向け、小学生向けの行事が少なすぎます。もっと活用してママ達が集まれる場所をつくって下さい。
- ・ 児童館が7時半から18時まで利用できたらいいなと思います。

(8) 公園・遊び場について

- ・ 子どもの遊び場について、天気の良い日は公園、校庭等外で遊べますが、天気の悪い日はそれができず友達と遊ぶ場所に困ります。例えばフリー開放している公民館、体育館等室内で自由に遊べる場所がほしいなと常々思っていました。
- ・ 公園等の切り株の危険性（お子さんが転んで目にささりそうでこわいです）。
- ・ 子ども達が遊べる公園の充実を希望します。私の子どもは肢体不自由児で遊べる公園がほとんどありません。先日府中の森公園に行きインクルーシブ公園を体験し、とても楽しんでいました。障がいのない子もある子もみんな楽しんでる公園を市内に作ってください。
- ・ 公園にベンチを設置してほしいです。公園の木を切ってしまうと悲しいです。
- ・ 東大和市内の公園が、あちこち工事され、きれいになってきているのは（遊具等も）子どもたちは、喜んでいます。しかし、ボール遊びができる公園や広場が少ない。場所がないので、道路で遊んでいると近所の大人にどなられた・・・という事もありました。小さい公園は、整備されていない所が多く（特に湖畔地区）、子どもが遊びたがらず（こわいなど）、広場があっても、大人が（高齢者）いて中々、遊べないなどもあります。子どもが安心して遊べる場所が増えてほしい。特にキャッチボールぐらいできる場所などが欲しい。
- ・ 東大和南公園に、遊具を設置して頂きたいです。木の伐採に反対する方が居て、設置が見送られた事があると小耳に挟みましたが、じゃぶじゃぶ池の場所なら木を切らずに設置できるのではないのでしょうか。第八小学校に通っておりますが、学区が広い為、子ども同士が共通理解のある公園は南公園しかなく、放課後の遊び場確保の為にもご検討いただきたくお願いいたします。
- ・ 学校以外に、子どもが遊べる場、通える場所があったらよい。

- ・ 公園の草むしりを細めにしてほしい。雑草が伸び切ってあそべない。公園の遊具が古いため新しいもの（安全な）に変えてほしいです。
- ・ バスの本数はとても少なく、自転車や車がなかったので、徒歩で行ける子どもの遊び場があったら良いのに。とずっと思っていました。
- ・ 子どもたちのあそべる公園の数が少ないので、もっと増やしてほしい。
- ・ 東大和市の公園は、タバコの吸いながら、ゴミなどがあって子どもを遊ばせる事ができない。遊具もサビでいて古いので安全で小さな子どもでも楽しく遊べるようにしてください。
- ・ 子どもが主体的に自由に安全に遊べる場所を作ってほしい。学校で放課後に自由に遊ぶことができなくなっていて、驚いた。新しく施設等を作るのは大変だと思うので、子どもが放課後学校で自由にあそべるようにしてほしい。
- ・ 子どもが帰宅時間に帰っているかの心配が現在は携帯の GPS で確認するしかないのが不安。公園や人が集まっている所で「時間になったら帰る事が当たり前」の環境作りをして欲しい。声かけや時間の認識の徹底など。（習い事の移動以外）。
- ・ 子ども同士や、家族で楽しめる施設があるとよい。
- ・ プラネタリウムやアスレチックのような、素敵な場所がとても気に入っています。アスレチックの広場（遊具）が新しくなって、より一層楽しくなったようです。手入れして下さってありがとうございます。遠方から来る方もいるようで、駐車できずに利用をあきらめたりしているようです。難しいとは思いますが、駐車場が少し増えたら・・・と思います。
- ・ 親子でバスケットボールを楽しめる場所がほしい。（例：体育館や学校などを団体でかりるのではなく、個人でかりられるように）。
- ・ 夏休みのプールや勉強が廃止されなかつ、夏休みが長くなります。働いてる私たちからしたら、子どもで行ける場所を与えて欲しい。4 年になるので学童は行きません。プールも勉強もなくなり日数も長くなり 1 人で留守番させることが不安しかありませんし、仕事が休みでも子どもが居るので休む時間やホッとする時間もとれないと思うと今から夏休みが不安でしょうがないです。
- ・ 気軽に利用できる子どもが安心して遊べる場所がもっとあるといいとおもいます。父親にも育児を促すお知らせなどがあるといいとおもいます。
- ・ 公園でもっと自由に遊べるようにしてほしい。ボールが使えない、大きな声をあげてはいけない花火ができないなど昔のように公園くらいは子ども達の好きなように使わせてあげたいです。公共の場を近所迷惑などの理由でルールを作るのは間違えていると思います。また、屋外に自由に使えるバスケットコートを作りたいです。
- ・ ただの広場の公園でなく、子どもが遊べる遊具のある公園があると良いと思う。また、公園でタバコを日常的に吸う人がおり、子どもたちに良くないので、公園含め、公共の場所は禁煙にしてほしい。
- ・ また、天気は左右されない市営の遊具施設（あそびつぐのようなところ）を作ってほしい。民間の施設は 1 時間あたりの利用料が高いので、こども 1 人 100 円くらいで利用できたら通いたいと思う。ちょこバスは利用者はおらず無人で走っていることが多く、活用されていないと思う。市の経費で無駄に発生しているものを見直し、子育て施設の増設やサービスに回してもらえたら嬉しい。
- ・ 近年公園の設置は難航するばかりですが、やはりある程度の規模、様々な対象年齢のアスレチックを設置することで、子ども達は飽きずに集まるのではないかと思います。
- ・ 少子化傾向ですが、東大和市は多子世帯が多いので多子世帯に対する経済的サポートや支援があると育てやすいと思います。
- ・ お年寄りが子どもへの理解がなくとても残念に思う。子どもがのびのび遊べる公園とボール遊びができる公園を作りたい。
- ・ 上仲原公園やアスレチックは遊具が綺麗になりましたが、まだまだ汚い公園が多すぎます。南公園の遊具も少なく、近くてせっかく大きい公園なのにあまり遊びに行きません。さらに、最近家の前で気軽に遊んだりも出来ず、うちはマンション住まいですが、中庭でのボール遊び禁止、走り回る遊び禁止、大きな声を出す遊び禁止など、どんどん規制されてしまい、子どもたちは結局お友達と集まってもスマホや switch です。特に女の子だと今の時代気軽に外に行っておいでは言えません。公園や大きな通りには監視カメラや明るいソーラー電気などをもっと増やしたり、防犯対策も講じていただきたいです。
- ・ 地域に市が運営する遊戯施設などがあると良い。多摩湖の方まで行かないとない。

(9) 母子保健・医療について

- ・ 子育てに対してのお気軽問い合わせサポート（電話やラインで）。
- ・ 所得制限で医療費が助成されないことがとても残念です。都内との格差を感じます。高校生まで無料にしてくれたら本当に助かります。まずは義務教育の中学生まででも、医療費無償化してほしいです。
- ・ また、土日祝日や 21 時まで診療してくれる、小児科や耳鼻科が増えることを望みます。
- ・ 小児科の予約がとりづらいので改善してほしい。

- ・ 子どもの医療費を9月からではなく早く無料にしてほしい。
- ・ 男児の頸がんワクチンについて都の方針に従い導入してほしい。
- ・ インフルエンザの予防接種費用を負担して欲しい。子どもは2回接種で負担が大きいので、接種されない家庭も多いです。流行して、学級閉鎖になると家庭での負担も大きいですし、授業の進度に支障が出て困ります。
- ・ 他市では中学生や高校生まで医療費が無料なのに東大和はかかります。病気になったらどうしよう、とか何度も病院へいくと毎回二百円かかるから少なくすませようかと思ってしまいます。安心して病院にかかれるようになったらいいと思います。
- ・ 子どもの医療費の完全無償化は助かりますが、不必要な受診が増え、財源確保が困難な状況になり、増税にならないよう、お願いしたいと思います。所得制限撤廃のみでよかったのではないのでしょうか。

(10) 病児・病後児保育・障害児等について

- ・ 子育て支援は積極的にされる感がありますが、障がいの子どもに対する支援が不十分だと思います。以前市長への手紙も送りましたが、もっと積極的に障がいのある子の世帯についての意識調査、実態を調べて支援の手をのばしてほしい。切羽つまった時、いざという時に頼れないのは非常に残念であります。障がいのある子が増えています。全ての子育て世帯に、育てやすい市であってほしい。
- ・ 息子が小さい頃に病児保育が1ヶ所しかなく、しかも車も持ってなかったので自転車で行かないとで、遠いし、なかなか予約も取れず、対応も悪く、それでも仕事に行かなくては行けなくて、あの時の事を思い出すと本当に苦しくて泣きたくなります。東大和市は子育てに手厚い市であってほしいと思います。今の赤ちゃんがいるお母さんがツライ思いをしていないかととても心配になります。病児保育がもっと沢山、近くに、絶対預けられる状態にしてほしいと願います。今は子どもが11歳になり、手もかからなくなってきましたが、小さな頃は本当に大変でした。どうか少しでもいいので赤ちゃんや5才ぐらいまでの子を持つお母さんの味方になってほしいです。どうか病児保育を増やしてあげて下さい。駅前や地区に。宜しくお願いします。
- ・ 子どものADD、ADHDに関することで、どういうサポートがあるか知りたいです。発達障害がある子の育て方など教えてもらいたいです。
- ・ 市の5歳児健診があるのは良いと思う、就学して通級利用に時間を要した。発達の検査結果や親のニーズがあるのに利用できないことに困惑した。学校の対応にも不満だった。就学前からの療育機関を充実させて欲しい。
- ・ 身近に支援が必要なお子さんを育てている保護者がいます。学校、療育事業所、病院、教育委員会（市役所）、あけぼの学園など色々な施設を利用されています。それぞれの立場、主観、環境によって色々な視点からお子さんに対する見解や支援に相違があるように感じます。その橋渡しをするのはその子の保護者となっていて、大変そうですし、難しいように見えます。1人の子に関わる色々な機関、専門家が直接つながればよりスピーディーにより良く事が進むと感じます。また市役所と保健センターですら見解が違い、戸惑うこともあります。横のつながりの強化をお願いしたいです。
- ・ 病児、病後児保育、さわやかサポートなどは、父方母方とも実家が遠方、主人が単身赴任で働く私にとって、とても心強いサポートでした。しかし周りに利用している友達は少なく、もっと気軽に誰でも利用出来る雰囲気になればいいと思います。実際の利用はなくても、登録だけしているといざという時の為の保険になるし、心にもゆとりが生まれます。もっとみんなに知って欲しい。病児保育はもう一施設欲しい、枠が少ないので、子育てしやすいまち、東大和、さらにサポートの充実を希望します。
- ・ 働く母親としては、病児保育の受け入れ人数を増やしてほしい。
- ・ 障がい児を育てているため、子育て支援はもちろんですが、福祉の支援の希望の方が正直なところ多いです。子育ての制度や支援となると、このアンケートの中では障がい児は分断されている気がしてしまい、答えにくいものが多かったです。頼れる親族が近くにいないため、病児保育が障がい児でも利用できると就労につながります。持病があるため利用しにくいと考え、仕事をやめました。ファミリーサポートも障がい児はハードルの高いものと感じています。障がい児でも積極的に支援をお願いできるように思えるのが理想です。
- ・ 都内まで働きに行っている親もいるので、何かあってもすぐに帰れず、ひろさわ病児保育タクシーのサービスは大変助かった。
- ・ 学習障害があっても大学まで行けるよう高校、大学の情報を小学生の時から知っておきたい。高校受験などでいろいろなサポートがあるとは聞いているが、実際にこの学校がどのようなサポートをしてくれるのか一覧表などで分かりやすくなっている表があるとうれしいです。
- ・ 東大和市は子育て支援を重視してくださっているの、いつもとても感謝しております。個人的な事情ですが、ひとり親であり、子どもが1人障害を持っているため将来の生活に不安を感じております。兄弟に負担をかけないために、親亡き後も自立できるよう色々教えていきたいと思いますが、障害のある子が大人になってからも安心して生活できるような見守りや経済的な支援を充実させていただければと思います。これからもよろしくお願いいたします。
- ・ ギフテッドや特異な才能を持つが故に公立学校の通常教育になじめず不登校になってしまう児童がいます。サポートルーム等の支援や配慮には大変助けられますが、次のステップとして市内にも個別対応や能力別に自由度のある教育を実施頂ける場所や取り組みがあると、市外の私立校や渋谷区で始まったギフテッド対応のプログラム等に頼

らず、市内で育児を負担少なく続けることができると思います。

- ・ 何度か病児保育を利用しようとしたのですが予約がいっぱいで利用できたことはありません。
- ・ 障害児に対するサービスが他市に比べて少ない。支援学級のある学校の送迎や放課後デイサービスの増加、支援学校など充実してほしい。
- ・ 障がいや偏りのある子どもの支援体制が他の地域に比べて弱い。臨機応変な対応がない。保健センターに相談してもまるで親が悪いように言われ、助けになるどころか嫌な思いをするだけで二度と行きたくない。それが長年続いているようなので、改善してほしい。他市から転居してきて、あまりの対応の酷さに愕然とした経験が何度もある。今の時代に合ったサポートができる人を入れてほしい。

(11) 子育て制度・行政等について

- ・ 学びの場について、小学校のうちは民間の塾等ではなくとも、気軽に集まって分からない勉強を聞けるような寺子屋的学習の場があるのもいいなあと思います。アルバイトの学生が講師になってもいいと思うし、かつて先生をしていた先生方などが教えてくれる場所とか、地域密着で東大和市らしいですね。
- ・ 多子世帯（第3子以降）への支援が、更に充実されると安心だと思います。
- ・ 東大和市しかやっていないような、子育て世代が増えていくような大胆な政策が欲しいです。子育てに力を入れているという割に強みがないと正直思います。もっと、わくわくするような（大人も子どもも）制度があるといいです。
- ・ 子ども手当をもっとほしい。
- ・ 年齢問わず交流できる機会がほしい。地域にどんな人が住んでいるのかよくわからないので。運動オンチや体力低下の子どもが多いと感じる。地域でも学校でも外に出て活動できる機会を多くしてほしい。
- ・ 周りに、3人4人と多くのお子さんを育てていらっしゃる方が多いです。どうしても母親への負担が大きいように感じます。余裕がないと支援サービスなどがあっても中々自分で探したり助けを求める気持ちすら持ちにくいこともあるかもしれません。また、市報なども中々目にされない方もいらっしゃるかもしれません。予防接種や保育・就学における知らせの通知などにも子育て支援サービスの情報を同封するなど、サポート体制の周知に力を入れていただけると助かるのではと感じています。ベビーシッターなどの派遣も頼みやすい体制を作っていただけると有難いです。
- ・ 所得制限によるサービスの違いに不公平感を感じる。
- ・ 「子どもは未来を担う宝」だということを、地域に住む全ての人に理解してもらいたい。うるさい、さわがしい、ジャマ、と子どもをじゃまもの扱いする大人（特に老人）が多いように思う。遊んでいる子どもを見て、元気いっぱい良いね。と思ってもらえたら嬉しい。自転車専用レーンの設置をして欲しい。
- ・ にぎわいや活力のある楽しくワクワクする東大和市になるように、家族が笑顔になるイベントを定期的にやってほしい。笑顔と音楽があふれる魅力的なまちづくりを希望します。駅前がじみすぎて楽しくないです。街なかコンサートとか駅前コンサートとか希望。
- ・ 子どもを持つ親は子育てが大切なことは十分承知なので子育てしてない人の理解を深めることが先だと思う。今のままでは子どもを育てながらフルタイムなど資格があってもムリなので、行政の補助がどこまでできるかが問題だと思う。国は子どもを増やす気が全くないことが政策を見て分かるので、せめて地域、市議会、自治体で市民を守ってほしいと思う。他の市町村に比べれば東大和は子育てに関してはマシだと思うが、もっと力を入れている場所もあるので、それを手本にしてほしい。
- ・ 妻は正社員ではないため、家計を支えるのは私であるが、仕事の都合上、子育てへの介入は限定的である。長女（現18才）が中学生の時、不登校になった。どうしても仕事の性質上、助けてあげることが困難な時期がありとても辛い思いをした。男女問わず育児休業が容易になる様、自治体等から社会へも啓蒙をお願いしたい。小学校の校長先生を中心に、先生方がとても熱心に情報発信し、信頼構築に力を入れていらっしゃるの、市に限らずロールモデルとして、教育現場の充実のため手本としていただいたら良いと思う。
- ・ 私が帰宅時間も遅く、勉強を見てあげられないので塾に行っていますが、地域の子で集まって気軽に勉強できる場があればありがたいと思います。親の経済的理由で子どもたちの夢をあきらめさせないように、そんなサポートがあればいいな、と思います。
- ・ まずは子育て世代への金銭給付が必要。物価高の中、経済的に苦しくなれば、そのしわよせは必ず子どもにいく。役所は「持続可能な行財政運営」を理由に、民間化することばかり考えているように見えるが、市が責任を持って子育て施策を進めることが必要。予算については不要なものを支出し続ける姿勢を攻めるべき。他市の記事を読み、閉塞感漂う日本の中でも、住民が住みやすいと感じる自治体があるのかと興味をもった。東大和市もそのような市になれると良い。
- ・ 自宅で一人で留守番ができる程に成長した今では、あまりその種のサービスを必要としなくなりましたが、同様の年齢の子どもを持つ人との交流の機会がないに等しいので、そのような人達が集まれる、もしくはSNS等で交流できる場があると助かります。進学についてや子どもの将来について話す相手が配偶者のみになっている為。
- ・ 保育室やサークル、支援センターなどとても魅力的なものが東大和にはたくさんあり、私も子育てでそのサービス

を使用してとても助かったママの1人です。子育ては本当に毎日忙しいようでゆっくりでもつねにピリピリしていて・・・なかなか外に目を向けることができないので。市報も申し込みしないと届けてもらえなかったり、友だちがいなければ支援センターの情報さえも分からない（特に1人目は）。SNSも子育てしながらではなかなかゆっくり見れないし、1歩ふみ出すのもすごく勇気がいることだと思うので・・・もう少し一歩がふみ出しやすい案内たくさんしてあげることが良いのかと思います。案内のQRコードが入ったチラシを1ヵ月検診の時に配って案内（←ここ大事）したり（まとめてではなく1枚1団体とかで魅力を伝えられるもの）、半年検診や1才児検診の時にサークル案内や支援センターの方に実際に来てもらって案内するとか・・・一方的な案内ではなく対面で案内することで一歩がふみ出せるのかな・・・。

- ・ 毎月、家計がカツカツなので、この間いただいた給付金は本当に助かりました。ありがとうございます。子育てにかかるお金が年々増えているのに手取りはまったく増えないので、将来が不安です。東大和は子育てするのに向いている市だと思っているので、これからも住み続けたいと考えています。教育にかかる費用がもう少し少なくなれば・・・と思っています。どうかよろしくお願いします。
- ・ ひとり親への支援が手厚すぎる。自分の都合でひとり親になったのなら、他の両親のいる世帯と同じような扱いで充分だと思う（死別やDV等、別れなければならなかったなら仕方ないし、支援は必要だと思うけど）。あと、3人目への支援も手厚くなるとモヤモヤする。1人も3人も大変なのは同じことです。
- ・ 公民館や市の体育館などで、低価格で習い事など増やしてほしい（子どもの習いごとだけでなく、保護者の習い事も含め）。
- ・ 東大和市は、「子育てしやすい」を掲げていますが、どこら辺がそうなのでしょう。他の市は、子育てチケットや、母と子どもが楽しめるチケットが配布されていたり、医療費も給食も無料なところがたくさんあります。「子育て」を大きく掲げるのであれば、子育てしている人が、この街で良かった、と1つでも思えることがあったらよいと思います。和地さんが市長になってから、とても期待しているのでよろしくお願いします。
- ・ 今の時代に合った学び（SNS、性教育、進路等）を教えて欲しいです。自分が育った時代とは社会の変化がめまぐるしいため親も現状を受け止めるための学びが必要ですし、その上で子どもとの会話ができれば関係性もより良く、深く、手は離れてもつながっていられる（信頼感で）と思います。自分だけではどうにもできないとなる前に多くの視点を自身が身につけること、他者と分かち合ったり相談できる環境と人間関係の構築、親自身が人任せにしないこと（子どもの手が離れてきたとしても）が大切だし、そのサポート、機関があれば救いだと思います。
- ・ 経済的な支援については、高収入の家庭への援助は必要ないと思う。上限の撤廃は理解出来ない。子育て支援の施設が市役所周辺ばかりなので、駅の近くなど便利な場所に分けられてあると良い。バスや車で行く場所は、妊婦であればなおさら不便です。時代は変わり、マンションや人が多くいる地域に行政の中心を持ってくる、無理なのであれば出張所などを駅前を作るなど、利用しやすくして欲しい。ちょこバスは時間が限られていて、往復で都合の良い時間割は、ほぼないが、両親学級、母親学級は不便な保健センターでの実施だったので、苦労した。公共交通機関を中心に考えるべきです。
- ・ 昨年父親が亡くなり、母子2人になりました。“父親”がわりの、大人の男性と息子が触れ合える機会があればいいなと思います。（スポーツや活動を通して。）
- ・ 昨年引っ越してきましたが、以前住んでいた市とのちがいは、子育ての支援についてです。インフルエンザ等の助成金がない。給食費の値上げ。などです。この街にずっと住み続けたいと思う様な施策を講じて頂けると幸いです。
- ・ アンケート調査お疲れ様です。東大和市は近隣の市の質の良いサービスをもっと取り入れるべきだと思います。財政は限られているでしょうが、子育てしやすい市と掲げているのなら、もっと改善すべきことがあると思います。それから、子育て世帯も重要ですが、現役世代への補助（ワクチン等）拡充も期待します。なぜなら親が元気でないとなかなか子育てが出来ないからです。
- ・ 高校での給食又は学食、お弁当の提供を検討して頂きたいです。
- ・ 地産地消にも貢献できるよう、保育園や小学校の給食に東大和市産野菜をもっと取り入れていけたら良いかと思います。小さい子をもつ母親の体調が悪い時など、予約無しでもヘルパーさんが家へお手伝いに行けると助かるかもしれません。例えば、市内の子育て家庭と保育士等お手伝いできるヘルパーさんとのマッチングアプリのような制度があり、お互いのニーズに合う契約や急なお願い、短時間、短期、長期など様々な条件や状況に対応相談が臨機応変に、気軽にできるシステムがあると素敵だと思います。子育てしている方がリフレッシュするためのエステやジム英会話塾等親が学習するための場所と派遣保育士のマッチングシステムもあれば、市内の事業者さんが保育付きのサービスなどを提供しやすくなるかもしれません。子どもを預けてリフレッシュできる場が増えると子育て負担がだいぶ緩和するような気がします。
- ・ 平日は働いているので、地域交流の場があっても行くことは難しいです。また、行く機会があったとしても知らない方と知り合うことはハードルが高く感じます。しかし、子育てに関する情報は欲しいと思うので、情報提供の充実に力を入れてほしいです。よろしくお願いいたします。
- ・ 未就学時の時は、短時間の見守りや保育をお願いできるところ、サービスがほしかった。今、小学中学年になると、児童館は、面白くないので放課後行きたがらなくなりました。近所の友達と野球をして過ごすことが多いので、野球を教えてくれるシニアの方がいらしゃったら、そういう方々と交流するなど、地域のつながりを作れたらとも思います。
- ・ 子育てにおける支援金（子ども医療証、助成金、児童手当等）については所得制限を設けず、平等に受け取れるよ

うにして頂きたいです。

- ・ 中学生、高校生の子ども家庭において、1人親世帯だけでなく年収に応じてでもなく補助制度を利用したいです。他市との違いが多く、(夏休み期間や制度、補助)について不信感があります。
- ・ 毎年行っている公民館の行事(夏休み)は初日で定員になるため、働いている私は、初日並べないし結局なにも体験させてあげられません。子どもの居場所を早急に対応して頂けたら助かります。
- ・ 地域の子ども達が集まって活動する場があれば嬉しいです。(昔の子ども会のように)。あとは、父親へのしつけ、子育てのやり方の講演会や教育もしてほしい。今までのそのような場合は、ほとんど、母親が行くため、母親には考える場があったが、父親には全くない。父親限定で行って頂きたい。うちは娘です、女の子の気持ちが母親にはわかるが、男の父親にはわからず、第三者から論じてほしいです。
- ・ 小学生だけのキャンプ、中学生だけのキャンプ等、市のイベントを増やしてほしい。地方研修、国内研修、海外研修等の機会を増やしてほしい。そういう場から新しい可能性や機会が出来ると思う。子どもが大きくなるにつれ、子どもだけで何かをする機会があればと思います。
- ・ 経済的負担を減らしてもらえると、子育ても楽しく充実したものになると思います。少しでも家庭での負担をなくしてもらえば、家庭内も明るくなり、子ども達の笑顔も増えると思います。
- ・ 共働きだと仕事で遅くなると子どもの迎えが大変になることも多いので保育園や学童の送迎に対するサポートがあればよい。
- ・ 親が仕事中に習い事をさせたくてもおくりむかえの時間が取れないので、送迎用の子育てタクシーのようなサービスが欲しい。調べたが都内はあるが東大和は利用エリア外。もしくはファミサポのような人を拡充して、連れて行ってほしい。(以前東大和のファミサポを登録しに行ったが、自分が住んでいるエリアにはそもそも登録している人が少なく、マッチング不可であった)。
- ・ 中学生以上は職場から看護休暇がない為、発熱していても自宅で1人きりにさせてしまい、心配である。自宅に巡回などでもいいから様子を見てくれる人がいるとありがたい。
- ・ 市の子育て制度の充実や、保護者のサポートは大切ですが、それ以上に必要なのは、子どもの悩みと真剣に向き合い、子どもの個性に応じた後押しを通じて、子どもの成長を引き出す人を、一人でも多く、増やすことではないでしょうか。子どもの持ち味を理解でき、子どもの味方でいられる大人が、子育て支援に関わることを、東大和市に要望します。
- ・ 子どもが小さいうちは、近所に子育てを応援してくれる場所があり、気軽に利用できるといいのかなと思います。
- ・ 市、独自の政策をもっと増やせば市民ももっと向き合うのでは。他の市町村と同じことをやってもあまり東大和市に対して興味がわからない。私は上京してきてたまたま東大和市に住んでいるけど、別に他市でもいいと思ってる。近隣の市町村に無い東大和市独自の何か政策があるのなら教えて欲しい。そういうものをもっとPRしないとこちらは分からない。
- ・ 誰でも気軽に使えるような窓口が広ければ有難い。(補助や援助も含めて)
- ・ 近隣と交流をしない家庭が一定数います。大人だけならまだ良いですが、子どもがいる家庭だととても心配になります(特に片親家庭)。近隣の大人達で他の家庭のお子さんも見守っていけるような仕組みがあれば良いと思います。また、虐待ではないかと感じ、学校や家庭相談所に連絡しても、改善している感じがしない。親が子どもに関心を持っていないと、他人が子どもの発達に疑問を持っていてもどうする事も出来ない。もっと小規模な範囲で相談や訪問をしてくれる機関があると良い。(東大和市独自でも可)。こども食堂の様な、近所の子どもで誘い合って夕飯を食べられる場所をもっと増やすべき。(きちんと食べているか不安な子がいても、その子を我が家の夕飯へ誘うのは難しい為)
- ・ 特にないですが、末端の窓口で対応してくださるスタッフの方が信頼できる優しい人柄であることが一番重要なかなと思います。3歳児健診でお世話になった際の保健師さんや、母子手帳を受け取りに伺った(妊娠中です)際にご対応いただいた方など、みんな明るく優しい方で安心いたしました。転入してきたばかりですが、転出元の市よりもあたたかく迎えてもらえたようでとてもうれしく思っております。皆様がこの方々のような対応をしていただけだと、なにかあったときにも「市を頼ろう」と思えると感じました。
- ・ 病児保育開設や保育園の待機児童減などの取り組みが近隣自治体より素早かったと思う。高齢者だけでなく小児もインフルエンザワクチン補助、子どもの自転車ヘルメット代補助、夏休みの弁当支給など、健康で安全な住みやすい街になれば現役世代だけでなく子ども達世代も地元に残り人口や税収も保たれると思う。東大和市、武蔵大和、両駅前の整備など再開発に取り組み、若い世代が増えると良いと思う。とにかく経済的に子育てしづらいので、子どもへの補助を出せば市内の子どもも増えると思う。
- ・ 仕事と家庭の両立で、特に子どもが乳幼児の時の保育園からの帰宅後の時間がとにかく辛かった。仕事で疲れきって帰ってきた身体での、目が離せない子どもとのワンオペの時間を救済してほしい。母子家庭やワンオペ親子の夜ごはんとお風呂をサポートしてくれる駆け込み寺のような場所があったら逃げ込んでいたと思う。
- ・ 保育園や学校のアナログなシステムをなんとかしてほしいです。なんで今時紙に書いてハンコがいるものがあんなに多いのだろうととても思います。保育園自体はだいぶシステム化してるのに保育課に提出するものが紙とかフォーマットがホームページに置いてあるだけとか、学校の年度はじめに書く書類も期限がすごく短いのに全部紙なのとか…。本当に働く親のこと考えているのなら、そういうところから直してほしいです。保育課や市教委がトップダウンでやらないと、DX化はできませんよ。

- ・ 子育て支援と言いながら預け先の拡充ばかりで、実際子育てがしにくい。特に小中学校に上がってから。公園等の居場所作りや学力向上対策、通学路の整備、性教育の徹底など、安全安心に育てられる政策を望む。
- ・ 育児にかかること以外の家政婦さんのようなサービス。
- ・ 行事や自治体のお祭情報など、ここを見れば市内の情報が全てわかるというサイトなどあれば知りたい。地域の活動にもっと参加させたいが、調べ方がわからない。
- ・ 負担感のない価格で気軽に利用できるヘルパーのサービスを検討して欲しい。
- ・ 父親の子育ては、各勤め先が勤務時間軽減等に取り組まない限りより良い形にはならない。市が働きかけてもどうして好転するとは思えないので、予算をかけて取り組む必要はない。
- ・ 不登校児の居場所、学ぶ場の拡充、サポート体制の充実。
- ・ 子どもを楽しませるイベントが多かったり、学校で行われるさまざまなイベントにももちろん資金調達、たくさんの人の協力がなければ成り立ちません、それを東大和市は行き届いてと感じています。今後も期待して東大和市に住んでみたいと思います。
- ・ 子育てというと小学生までという感じが多く、中高生への支援がもっとあればと思います。具体的にと言われると思いつきませんが、私立中に通っている兄弟がいますが、市内の学校ではないせいか、情報が入ってこない感じがします。
- ・ 子どもの三季休業中(特に夏季)の居場所が増えるとありがたいです。
- ・ 経済的支援や、就労時間を確保しやすくするサポート。
- ・ 残業等で急遽帰りが遅くなってしまうときに、自宅にご飯を届けてくれるサービスがあると助かります。
- ・ 現在夫と共働きですが、どちらかが働けなくなったり、ひとり親になったら生活どうすればと不安になります。そういう時に、子育て続けていけるよう金銭的にもサービスの的にもサポートを充実させていただきたいです。
- ・ 仕事をしていると子ども達の宿題のフォローができないことが多いので、シニアで希望する方や育児経験者が子どもの宿題や学習のサポートをしてくれるような場所、サービスがあったらよいと思う。
- ・ 就学援助制度について、総収入だけで審査せずもっとあらゆるケースに対応して欲しい。給与と事業所得(マイナス)があるケースなど、しっかりと本質をみて審査してほしい。うちは非課税世帯でも援助してもらえません。
- ・ 不登校児の居場所を増やしてほしいです。
- ・ 我が家は母親が夜遅く帰宅するため父親が子育てを主にしています。父親が子育てについて悩んだ時、困った時に相談しやすいところがあるといいのかなと思います。例えば父親の子育てサークルのようなものなど
- ・ サポートの目的として大事なのは、保護者が子に関わる時間が確保できること。と考えます。それもちょっと手伝ってもらえたら充分なのです。平日は、親子ともに帰宅後が大事な時間ですが、その時間に、夕食準備、洗濯取り入れたたみ収納、子のお風呂や歯磨きなどに追われます。家事育児を通し親子時間は作れます。洗濯取り入れ～たたみが終わっているだけでかなり助かります。こんなちょっとを希望する家庭を集めて、時間までにアプリで訪問希望を登録すると、サポーターが巡回してくれたら助かります。
- ・ 子ども服や小学校、幼稚園の制服、体操服などの再利用やリユースのシステム作りを行政が行っていただくと安心感があって助かります。少しの期間しか使わずサイズアウトしてしまった制服など、必要な方に使っていただきたくても、身近に必要としている方がいるのか分からないからです。実際に周りの方からは、多少汚れていても良いからお下がりがもらえれば良いとの声を良く聞きます。物価高で少しでも出費を抑えるため、子ども服や制服のリユースのニーズは高いのではないかと思います。
- ・ 様々な工夫や制度を整えようとしているのは市報やお知らせなどから知っていますが、具体的には自分にはまったく関わっていないと感じます。サポートに相談する時間も余裕も無いからです。たびたび聞かれる何らかの子育て関係のアンケートには、未だに母親主体の育児がデフォルトで表記されているし、(上記の「父親の子育て」という表記に違和感を感じないのでしょうか)、相談する人がいない、などと回答してもそれに対するなんのアクションもありません。
- ・ 新市長体制から間もなくして今回このような調査があったことは、評価できます。ただ、質問 23 や 32 は、優先順位をつけて対応することではなく、すべて必要であると市がわかっているから選択肢にしているので、まだその段階なのかと不快感を感じます。「どのようなサポートがあればいいか」の答えは選択肢にもうなっていますよね。既に想定されている選択肢について、市としてはこのようなことができるかどう思いますか、現況の改善点はあるですか、という調査の方が有意義だと思います。調査結果から、何を優先するかではなく、全てするためにはどうしたらいいかではないでしょうか。市民の状況に関わらず、全ての必要な人が必要な時にすぐに受けられるサービスを既に備えているのが当然だと思います。「子育てしやすい街」というのは、そういうことではないでしょうか。子ども・若者・子育て支援ニーズ調査とのことですが、当然関係している障がい児者や介護、高齢者関係についてはほとんど触れられていません。この質問の「父親の子育て状況」とは何でしょうか。そもそもの福祉や教育、地域といったことの捉え方が古く認識不足だと思います。市長が変わったので、個人的にはこれからの市政に期待しています。調査を存分に活かして、子どもたち、私たちの未来を支えてください。どうかお願いします。
- ・ 野球やサッカー等、親の負担が大きく、親は強制参加。子どもの学ぶ場ではなく、親の社交場と化している。必然的に、自分が幼いときに過ごした環境とのギャップが大きく、地域の集まりに参加する気にもなれない。プライオリティは、当然、生活水準の低い人に合わせるべきであることは理解できるが、生活水準の高い人は、市主体の活

動には参加せず、有料の施設や活動、生活水準の低い人は、時間がないので参加しない。悪循環しかない。少子高齢社会なら、リタイア組に積極的にボランティアを呼びかけ、知見、経験を次世代にげるような仕組みを作って欲しい。無償ボランティアではなく、雇用を生み出す仕組みを作れば、ウィンウィンになると単純に思うのだが…。

- ・ 子ども達が小さい頃は寝不足等でかなり大変だったので、個々の生活スタイルに合った解決方法が見つかる支援が可能になるよう、願っております。
- ・ 習い事の補助金制度などのサポートがあれば良いと感じる。市によってサポートの種類や数がさまざまなので、足並みを揃えてもらい都内どこの区や市でも育児がしやすくなるようにしてもらいたい。
- ・ 小さい子どもがいる家庭ではベビーシッターの回数券のようなものを自治体から出るとありがたいと思う。
- ・ 学校で過ごせない子どもが、家で過ごすだけでなく、気軽に利用ができて安心・安全に過ごせる居場所があると良いかと。
- ・ 親が同伴しなくても参加できる子どもと地域の集まり（お弁当を持ってくる、参加費 300 円でお昼付きの催し等）あったらよい。こども食堂が少なすぎて、あっても（南街）遠いので不便で行ったことがなく、子ども食堂を増やしてほしい。
- ・ 小学生、中学生の親としては塾の補助費などがあるとありがたい。
- ・ 大学卒業までの医療費・学費全額補助。歳が離れた子どもも第一子として扱う第三子が小学生なのに、学年が進級するにつれて、第二子・第一子に変わるのはおかしい。児童手当の額が変わるのはおかしい。高校生・大学生には補助がない。子どもを多く子育てするには生活が厳しい。
- ・ 子育てを続けたい市ではなく、引越しをすることがないため問 35 は「思う」に回答しました。子育てに力を入れて下さりとてもありがたいと思いますが、あまり親として何が他の所より力を入れているのかわかりにくいです

(12) その他

- ・ 東大和市役所の職員の方が使用している喫煙所は必要でしょうか。子どもたちが歩道を歩く際、煙草の匂いや煙がひどく困っています。ご検討をお願いします。
- ・ 父親の子育てについて、個人差があると思います。そして、いつも最後に行きつく答えは、男と女の性別の違いは埋められず、価値感の違いは結局分かり合えない、という事です。それでもお互いが理解し合えればいいんですけどね。
- ・ 歩道の段差の改善（子育て、年配の方への配慮）。歩きタバコの禁止（子どもの顔の高さです）。
- ・ 八小通学路やオコーとヨーカドー交差点の見守りをお願い致します。登下校時間外に警察官がいたりしますが、児童の多い登下校の時間帯でないと無意味です。
- ・ 子どもはいずれ大人になります。大人になった時に人としてどうか？を考え行動出来る人に、なってくれたら良いと思っています。それには自分達、大人もその様に考え行動し、子どもに見てもらわなくてはならないとも思っています。
- ・ 7 人子どもを産んだけど、特別何かしてもらったとは思ってない。子どもを 3 人以上産んでほしいと思ってるのなら出産にお金がかからないようにしてくれればいいのと思う。ほぼ子育ては終わってるので、今さら何も望んでない。
- ・ 主人と同じフルタイムで勤務しているが家事の負担が自分に多く休日でもつかれている。今の日本の社会では子どもをたくさん産んでも教育費、子育て、家事負担で産みたいとは思わなくなると思います。3 人子どもを産んだがお金がたまらない。
- ・ 野菜を安く売ってくれる場所の提供。
- ・ 子育ては地域の方々に助けて頂いた様に思います。乳児期は「孫と年が一緒だ」と母達を家に呼んで下さり母親同士をつなげて下さる方、小学校低学年期は、下校時に庭に出てそうじをしつつ見守ると言っておばあちゃん。もしかしたらもうご高齢の方たちが集まる会で、この様に声をかけて・・・等言ってお婆ちゃんかもしれないが、もしないのであれば、声をかけて頂き、これからも地域の方々に見守って頂けたら・・・と思っています。
- ・ 細く、見通しの悪い道が多いため、歩道と車道のしっかりと分かれた整備された道が増えるといいなと思います。（子どもが安心して通れる通学路の確保。）
- ・ 平日の夕方、青パトのパトロールを増やしてほしい。（不審者や交通トラブル、いじめ）など見守ってほしい。
- ・ 大人や子どもが自由に使える学習スペース（自習室）があれば嬉しいです。全国には、その様なスペースの有る自治体も沢山あると思います。USBやワイファイが使える、オシャレ感あるスペースを期待します。
- ・ 父親の子育て状況は 9 年たっても、かわる事はなく。「男は外で仕事、女は子育て家事」です。
- ・ 市内で 1 つしかない特別支援学級がある五中の最寄り駅、上北駅階段段下に喫煙所が設置されており、特に不安が強く、こだわりが強かったり、特性のある子が利用する（息子）ので、早急に対応頂きたいです。父親の子育ては、ただ家にいても我が家は余計な負担です。父親の意識改革とともに父親の性格・特性にもよります。

- ・ 通学区域が広く、自由登校だが夏の暑さなどを考えると、ちょこバスは利用してもよい、サポートがあるなどにしたらよいのではないか。
- ・ 交通量が多いため、通学路（ガードレールなど）の安全確保を引き続きお願いしたい。
- ・ 学校などでも、たまにこの子は大丈夫なのかな？と心配になる子がいます。でも自分にできる事がなくなかなか難しいと思います。自分自身も子育てに悩んだり、疲れ果てる事もあるが、みんな大変な状況でも相談する時間もないと思います。
- ・ ちょこバスをよく利用させてもらっているのですが、芋窪地区は周ってこないため、是非芋窪地区にもルートに入れてほしいです。市役所へ行くのに必要です。（現状、上北台駅に行くのに、MMシャトルを使わせてもらってます）。
- ・ 夏休みのイベント（お祭り）など土、日の開催となっていますが、習い事が土、日の為参加が難しく行かせてあげられない為、平日でのご検討をいただきたい。
- ・ 子育てとなるとだいたい父親が非協力的という前提で調査などがなされますが、父親の方が頑張っている場合もあります。両親に対して公平な形で調査や施策立案を進めて頂ければと思います。
- ・ 街灯が少ないと思う。暗い場所が無い対策を行ってほしい。ゴミすて場の使用方法を守る様伝えてほしい。
- ・ 保育園や幼稚園の教諭へのサラリー、待遇の改善を要望。例えば、男性保育士が定年まで、安心できる給与体系では無いと感じる。
- ・ 父親はとても協力的ですが、仕事を優先せざるをえないため、母親の負担が大きくなります。大人の目の届く小学生の居場所が少ないと感じます。
- ・ ダブルケア家庭の場合の要介護認定の介護度をあげてほしい。
- ・ 自分で塾などの習い事に行かせるために、駅までの交通機関を便利にしてほしい。南街だけでなく、ハミングロード方面にバスを走らせてほしい。ふれあいサポートは、その都度誰が来るかわからないため頼む気にならない。大事な子どもや家を任せるのは誰でもよいとは思っていない。
- ・ 世の中の仕事のあり方や働き方、将来的な不安がなくなる限りは、その場しのぎの対策にしかないと思う。街全体でカバーする方向に持っていかなければいけないと思っている。
- ・ このようなアンケートを回答することで、本当に私たちの声は届くのでしょうか。子どもたちの未来を本当に考えて下さるのであれば小さな声も拾う必要があると思います。誠実な改善を求めます。このままでは子どもたちを安心して預けることも出来ず、働くことも難しくなります。
- ・ 森永周辺のガードレールを増やしてほしい。トラックが多くてこれから1人で外出する機会も増えると思うので心配。
- ・ マンションが多く、人通りが多い桜が丘の地域は、交通規制含め、子どもたちが安全に通学できるようにしてほしい。大通りの抜け道にされており、交通量、速度ともに危険な道路がある。
- ・ 学童、ランドセル来館に行っていない子（高学年は特に）で親が共働きで災害などが起きた際に受け入れてくれる公共の施設の設定。児童館で受け入れてもらえる等とわかれれば、東日本大震災の時の様な事が起きた際も、子どもだけでパニックになるより大人がいるという安心感が親に生まれる。
- ・ 多胎児や年子の家庭に、収入制限なしで経済的に支援があると助かると思います。物価高騰などで、日々の生活に余裕がなくなり、これから中学、高校と年齢が上がるにつれて、同時（翌年）にかなりの額の資金が必要になると思うと不安です。
- ・ 子育ての支援は充実していると思います。ただ私のように子育てだけでなく介護も同時に始まったダブルケアをしている者としては、子育て支援だけの施策だけでは、解決しない事も多かったです。東大和市は介護の支援も力を入れていると思います。そのどっちでもない、ダブルケア当事者の交流会を持てる場を設けて欲しい。何度も相談に行ったが、まだ市内にはダブルケアの窓口はなく、それぞれでの対応しかしてもらえない。他の地域でダブルケアに力を入れている所も探してみたが、遠すぎて子どもが小さい為、中々参加できずに現在に至っています。
- ・ 子育て支援＝預け先の確保ばかりのような空気を感じます。子どもを預けて働いていないと、他の人と同じスタートラインにすら立てていない感じがします。早く働かなくてはという焦り、惨めさを感じます。平日の日中、近所を歩いていても1〜3歳くらいの子はあまり見かけることがありません。みなさん育休→1歳代で保育園に預けている方がほとんどなのではないでしょうか。子育てしかしていない自分はダメな人間と思えてきます。とてもむなしく感じています。
- ・ 図書館の始まる時間を早くして欲しい。
- ・ 交通事故に関して、市内に危ない通学路が見受けられるため改善してほしい。
- ・ 子育てでの支援としましては、周囲の方々へは子育てへの関心や配慮の広い心を持って接して頂けたら素晴らしいのと思っています。
- ・ 市長様はじめ、市役所の皆様、市民の意見を聞いてくださる機会を与えて下さり嬉しく思います。お忙しい中ありがとうございました。
- ・ 国をあげての話になり、市だけのことではありませんが、父親の子育てへの関心や協力を引きだせないものかと日々考えています。そもそも協力でなく、「自分が親である」ことへの関心や自覚がない父が多いのが日本ですので、変わっていった子どもたちが大人になるころには、そういった性差がなくなるとよいと思っています。

- ・ 現在共働きの家庭がほとんどなのに子どもの保護者会に来るのはほぼ母親という事にいつも違和感を感じています（通院などの付き添いなど含め）。働きづらいのは企業の努力不足というよりも家族の協力が少な過ぎるからではないでしょうか。子どもとのかけがえのない時間を大切に使いたいと思い、老後や教育費の確保をしなければいけないという焦りで日々悩んでいます。
- ・ 育児は自分で行いたいので保育園及び一時的な学童保育を除いたサービスの利用がないため、個人的には現状以上のサポートは必要ないと思っている。どちらかと言えば職場のポスト（収入）を維持するために本意に反して就労しており、それゆえに時間が足りないと常を感じている。現代は産後から子どもと離れて両親が働くスタイルが当たり前になっているが、そもそもこれが不満。育児休暇を長期化して欲しい。預ける場所ばかり増やすことしか考えられないのか。自治体レベルでは解決困難なので期待していないが、まずはどんどん都に上申していただきたい。

3 中学生

カテゴリー項目	件数
(1) 学校生活について	21
(2) 学校外での活動等	6
(3) 学校施設等について	22
(4) 市のまちづくり	55
(5) その他	57

(1) 学校生活について

- ・ 本人が不登校。学校も市も何もしない。やってるつもりだけ。今やってる事で改善なんてしない。先生がやってま
すってアピールしてるだけ。だから何も望まない。何かやってもらおうとも思ってない。昔から変わらないから。
- ・ 支援学級をもっとかいてきにしてほしい。不登校の人たちのために、オンライン授業をやってほしい。
- ・ いじめのない学校にしてほしい。
- ・ 東大和市の小中学校の持ち物をパソコン一台にしてほしい。
- ・ 都立、私立高校の春、夏、冬休みの日にちを増やしてほしい。
- ・ 私たちの学校では“学校評価アンケート”を行っているのですが、記名をしなければいけないので、先生方のこと
を考えると本当のことが書きづらいです。匿名制にしてもらえたらうれしいです。
- ・ 土曜授業の振替休日を統一する。
- ・ 教師の質を上げて欲しい。
- ・ 市長や市議会議員の方に学校に来て講演をしてほしい（政治のことなどを話してもらいたいから）。以上です。
- ・ 部活動の指導の行き過ぎが起きないように改革して欲しい。
- ・ 授業時間を減らしてほしい パソコンをもっといい物にしてほしい。行事をもっと増やしてほしい。
- ・ 教員の教育機関があるとよい。半数を超える生徒が『これどうよ』と思う先生にはそれなりの対応処置をしてほし
い。
- ・ 学校側には、生徒の意見や要望を積極的に聞き、対応してほしいです。
- ・ 学校の仲間とスキー教室に行きたかった。市内の他の中学校では行っているのに、自分の中学校ではスキー教室が
なくなったのが残念すぎる。復活させて欲しい。
- ・ 学校の先生たちの年齢が高く、毎日当たり前のようにハラスメント的な言動があったり、昔の校則が変わらず続い
てる環境を変えて欲しいです。
- ・ 給食内容をもっと種類たくさん、美味しくしてほしい。部活の外部コーチのシステムを早く確立して、スムーズな
運営をしてほしい。
- ・ 私のクラスは給食をあまり食べない人が多く、たくさんの食品ロスが出ています。クラスにあった給食の量が提供
されたら食品ロスが減るのになぁと思っています。
- ・ 東大和市二中学校の制服を見直して欲しい。卒業記念品をもう少し豪華なものにして欲しい。
- ・ 卓球クラブが欲しい。
- ・ 土日に部活をしたい。

(2) 学校外での活動等

- ・ 年齢関係なく皆であそべるイベントがほしい。
- ・ クラシック音楽会。
- ・ 僕はサッカーをやっています。そこでグラウンドがほしいです。人工芝でゴールがあって、いつでも練習ができる
環境がほしいです。ぜひ、ご検討をお願いいたします。
- ・ UNICEF（ユニセフ）やODA、NGO などへの募金。ホームレスの方への手助け。
- ・ 自然環境を良くする活動（ボランティア等）をもっとしてほしい。いろんな人が交流できる場所がほしい。

(3) 学校施設等について

- ・ 学校をきれいにしたい。学生が安心して勉強できる施設をつくってほしい。
- ・ 教育施設の充実。(学校の中など)
- ・ 学校をもっときれいに使いやすくしてほしいです。
- ・ 学校の修繕を検討してほしい。
- ・ 学校の体育館を大きくしてほしい。設備を整えてほしい。
- ・ 市の中心部以外の地域にも施設を充実させて頂きたいです。
- ・ 学校を改築してほしい。学校の水道水がまずい。のどが乾いても水が飲めない。(水筒を忘れた時) 大きめのきれいな図書館がほしい。
- ・ 学校の門に時計を設置する。
- ・ スポーツのできる環境の整備。
- ・ 私は、給食のトラックに保冷機能を搭載して欲しいです。以前、学校の給食センターで働く栄養士の方にお話を伺う機会がありました。私は、何故揚げパンが冬季にしか出ないかを質問しました。栄養士の方によると、気温が高いと給食を運ぶトラックの中の温度が高くなる為、揚げパンの砂糖が溶け、ベタベタになってしまうので、夏は出せないということでした。揚げパンは絶大な人気を誇るメニューで、今年度給食センターがとった好きな給食アンケートでは、中学生枠で一位を収めています。私の学校には学年問わず夏に揚げパンを食べたいと言う人が後を絶ちません。給食のトラックに保冷機能を搭載すれば揚げパンに関わらず、夏に冷たいデザートを出したりなどとメニューの幅がより一層広がるはずです。どうか給食のトラックに保冷機能を搭載して頂けませんか。
- ・ 学校が汚かったり設備があまり整っていなかったりしているので、校舎の修繕などに予算をかけてほしい。
- ・ 中学校の男子トイレの便器が黒ずんでいたりするので綺麗に改修して欲しいです。
- ・ 体育館を広くして欲しい。
- ・ 学校の教室の窓に網戸を付けてほしいです。夏に換気をするために開けると、ハチやカメムシが入って大変なことが多々ありました。プールサイドのコンクリートがとても熱くて足の裏がヒリヒリするので改善していただきたいです。
- ・ 学校のトイレをすべて洋式にして欲しい。
- ・ 市内の中学校の設備をもう少し充実させて欲しい。特にトイレすべて洋式化してほしい。
- ・ 学校などの公共施設のトイレの衛生面をしっかりとしてほしい。
- ・ 体育館のバスケットゴールを運ぶやつではなく上から降りてくるような電動のやつにする。
- ・ 冬学校が寒いのでエアコンを入れてほしい。風邪ひく。

(4) 市のまちづくり

- ・ 憩いの場を作してほしい。噴水とかきれいな公園とかあったらいいな～。
- ・ 駅前の整備。(にぎわい施設の設置)
- ・ 正月に南街通りで行われている書き初めの垂れ幕のイベントが好き。もっと規模を広げても面白いと思う。
- ・ ボールが使える公園や場所がないので増やして欲しい。
- ・ 大きいお店を増やしてほしい。バスの便を増やしてほしい。(ちょこバス)
- ・ 市内に目玉の観光スポットをつくる。→地域がうるおう。公立、私立関係なく授業料を無償化。
- ・ 自主的な勉強に使えるスペース、公共施設がほしい。友達と行けたり、飲食(自分で持ち込み。など)もできるとうれしい。
- ・ 硬式球が使える公園やグラウンドが欲しい。ボールが使える公園が少ないので、東大和市からはスポーツ選手が生まれないと思う。
- ・ ナイター設備。
- ・ イベントやこえんの遊具をふやしてほしい。
- ・ 公園を増やしてほしい。←子どもがのびのびと騒いでも怒られないようなところがあると嬉しい。
- ・ ショッピングモールがほしい。不審者が多いので街灯を増やして暗い道を減らしてほしい。夜まで勉強できる施設、カフェをつくってほしい。話題になるお店を作してほしい。
- ・ 公共場所を増やしてほしいです。イオンみたいなをつくってほしいです。
- ・ 野球できる広場。
- ・ 他の人が東大和市に来たいと思えるような場所を作してほしいです。

- ・ もっと楽しく遊べる公園、施設などが欲しい。
- ・ 勉強できる施設（カフェ等）をつくってほしい。ボールを使える公園を1つでもいいから、つくってほしい。（壁打ちができれば嬉しい。）
- ・ うまべえ～に会う機会を増やしてほしい。
- ・ 家電から取り出したリチウムイオン電池を捨てる場所が欲しいです。親が「庭に埋めるしかない」と言っていて困っています。
- ・ アニメの聖地にしてください。マックなど、駅前にほしい。
- ・ もっと小、中、高生があそべる所をふやしてほしい。おしゃれにしてほしい。古風な街にしてほしい。お店をもっと沢山。カフェがほしい。マンガや小説が沢山よめる場所がほしい。おしゃれにしてください。本当に。（街を）おねがいします。
- ・ ちょこバスの本数を増やしてほしい。
- ・ 市民プールにウォータースライダーを作してほしい。
- ・ インスタグラムなどで、うまべえの着ぐるみが K-POP や j-POP のダンスを踊っている映像を投稿していただきたいです。参考：チーバくんダンスチャレンジ（インスタグラム）。
- ・ 公園にバスケットゴールを設置してほしいです。
- ・ 多摩湖の外周の道を整備して欲しい。
- ・ 公園の遊具を増やす 理由:遊具が沢山あることによって小さい子がより楽しく公園で遊ぶことができるから。
- ・ この前、上仲原公園の遊具が変わって、中高生が遊べなくなってしまったので、中高生向けの遊び場的な場所を設けて欲しいです。
- ・ 市民プールの更衣室を綺麗にして欲しい。
- ・ 防犯カメラの設置をして欲しい。
- ・ 公園を増やしてほしい。ゲームセンターやイオンが欲しい。
- ・ バスケットコートを増やしてほしい。ショッピングモールをもっと増やして欲しい。
- ・ お祭りを増やして欲しい。
- ・ 料金が月 3000 円以内のトレーニングジムを作って欲しいです。お小遣いでやりくりできる料金をお願いします。テスト勉強ができるような自習室を作って欲しいです。
- ・ 東大和駅、特に武蔵大和の駅にもっと遊べる所増やして欲しい。とにかく街の商店街を発展させて欲しい。
- ・ 町の清掃(たばこのぼい捨てによる環境を直すように)呼び掛けをしてほしい。教育にたいしては今の政策でいいと思う。
- ・ 街灯に防犯カメラをつけてほしい。本屋を増やして欲しい。ゴミ袋の料金を無料にしてほしい。
- ・ 子どもも大人も一緒に楽しめる場所が欲しいです。
- ・ 若者が楽しめる栄えている都市にしてほしいです。
- ・ スポーツ公園の設立。
- ・ 遊べる施設をもう少し増やして欲しい。
- ・ 釣り堀の建設。外来種を入れるボックス。
- ・ 遊べる場所が欲しい。
- ・ 大きいショッピングモールを作してほしい。
- ・ 土日や祝日、振替休日の日に家だと勉強に集中できないので、図書館に自習スペースを設けて頂けると、本当に助かります。
- ・ 家だと勉強する気がおきないから、自由に質問できて、いつでも勉強できる場所がほしい。

(5) その他

- ・ 子育て支援金をもっと充実させてほしい。
- ・ うまべえに家族や友達を作してほしい。
- ・ 安心して大学に進学したい。お金の費用が高いから将来進みたい道にいけるか不安。補助金があると進みたい道を考えることができる。
- ・ 医療費の無償化（高校卒業まで）。ワクチン（インフルエンザ、コロナ）接種補助金。子育て支援金・救急医療（時間外）の充実。
- ・ この調査の冊子の内容について改善してほしい所があります。ヤングケアラーについての質問のように学校についての所、はじめに学校に通っているか、聞く必要があります。後の質問は“放課後”どう過ごしていますか。など不

登校の人には答えようがなく配慮が足りていないと感じました。これでは中途半端な実態調査になってしまいます。“身近にいる不登校の子についてどう思うか” などではなく当事者についても聞かなければ東大和の中学生の現状を把握することはできないと思います。改善をお願いします。

- ・ 税金を安くして欲しい。
- ・ 無料になっても、私立高校が高すぎる。
- ・ 子ども全員に 100 万円欲しい。(コロナが流行った時にそういう話がでたから、楽しみにしてたけど、貰えなかったから。) そのお金で親に沢山生活用品を買いたいと思った。ぜひ、教員委員会の方々にお願いします。
- ・ 特にないです。よい市だと思います。ありがとうございます。
- ・ 図書館に漫画を取り入れてほしいです。
- ・ 図書館の開館時間を長くしてほしい。誰でも気軽に勉強できる自習スペースをつくってほしい。
- ・ 所得制限をいっぱい、皆平等にしてください。給食費無償化。将来のことをもっとよく考える機会をたくさんあたえてほしい。教育にもっと力を入れてほしい。
- ・ 道路で遊んでいる子どもをどうかしてほしいです。
- ・ 外国人とのかかわりをふやしたい。
- ・ 道を広くしてください。登校中、車との距離が近い。特に雨の日。
- ・ ねさげ。
- ・ 今さらおそいですが、不登校児の給食代がもったいなかったです。
- ・ 子どもは未来を担う人材です。その人材を育てるため、学校の先生等に満足しているか（この授業方法は気にいらぬとか。）聞くことや、私の中学校では行いましたが、正しい性教育について文化教室を行ってほしいです。また、市外の学校に通う子や、市をよりよくしたいという思いを持つ子を集め、市の大人との対話の機会がほしいです。東大和市の給食が個人的に大好きなので、うまかんベェ〜祭等で販売はできませんか。このアンケートの内容で東大和市がより良くなるよう、心の底から祈ります。
- ・ 大学無償化してください。
- ・ 地震や富士山噴火などでの自然災害への取り組み。特に、噴火時の火山灰の撤去（や物資の輸送）に力を入れて欲しいです。自分は少しのホコリでもむせたり、息苦しかったりするので、火山灰でむせかえったり息苦しくならぬいか心配だからです。
- ・ 金を増やす。
- ・ とくにありません。頑張ってください。
- ・ 給食費を無償化してほしい。子どもたちの立場になって（大人の事情だけではなく）考えてほしい。
- ・ いつもどおり、今まで通り、過ごしやすい東大和市であってほしい。
- ・ 年に 2 回くらい市民にアンケートなどといった方が良いと思います。
- ・ もっと子どもにお金を配ってほしい。塾費の補助を出してほしい。
- ・ アンケートなのに長すぎだと思います。真面目に答えた人が時間を奪われてしまうと思います。
- ・ 小・中学校の先生の負担を減らしてあげて欲しい。
- ・ これからは、少子高齢化が深刻になっていくので、子育て世代への支援を充実させてほしい。
- ・ 高校生への LINE Pay 1 万ポイントの配布を行いました。今後実施する予定はありますか？また、そちらの実施理由について、「物価高騰のため」と記載されていましたが実際、物価高騰の影響を受けているのは働く世代であり、高校生はそこまでの影響を受けているとは思いません。それに加え、今後もそのような企画を実施しないのであれば、それは現小中学生との格差が生まれてしまいますよ。高校生へは公式ラインの追加のみで 1 万円も配布したのに、このアンケートでは、回答者に時間を取らせるのにも関わらず、謝礼もないのですか？図書カード 500 円分でも配布したほうが良いと思いました。
- ・ スマホを無料配布して欲しい。

4 高校生

カテゴリー項目	件数
(1) 学校生活について	3
(2) 学校外での活動等	2
(3) 学校施設等について	4
(4) 市のまちづくり	31
(5) その他	19

(1) 学校生活について

- ・ 東大和市だけの話じゃないけど、高校生に対しての校則が厳しすぎる。例えば、メイク禁止とか言ってるけど社会に出たらメイクするのが当たり前になる。高校から就職する人もいるしそこら辺の校則は見直す機会が必要だと思う。
- ・ それから学校の授業でもっと英語との触れ合いを増やして英語が喋れる人を増やす。学校の多様化。これらをしていけばもっともっと市民が増えて子育てしやすいまちになると思います。よろしく。
- ・ 小学校の体育館で遊びたい。

(2) 学校外での活動等

- ・ バンドなどがエントリーしてライブをやる音楽祭みたいなのをやってほしいです。
- ・ 高校生でも小学生のプールの監視員などのボランティアに参加したい。

(3) 学校施設等について

- ・ 三小をなくさないでほしい。
- ・ 学校を綺麗にして欲しいです。
- ・ 学校のトイレをもっと綺麗にしてほしいです。

(4) 市のまちづくり

- ・ 企業の誘致等、東大和市の発展に向けて頑張ってもらいたい。
- ・ 大きな体育館が欲しい。
- ・ スタジオを作ってください。ボール遊びが出来る公園が欲しい。ボール当ての出来る壁が公園に欲しい。木が少ない。
- ・ 交流を深めるためにはスポーツが大切だと思う。今でも市民体育館は運営されているが、どんな形でも良いのもっとスポーツに力を入れてほしいと思う。
- ・ ゴミ箱を作ってもらいたい。
- ・ 広い土地を活用して東大和市にはあまり無い、商業施設等の大型施設を作ってもらいたい。
- ・ 登下校の安全を確保してほしい。
- ・ 東大和市駅前の道のポイ捨てを無くして、清潔な道にして欲しい。
- ・ 友達と遊んだり話したりするスペースがほしい。
- ・ ショッピングモールを作ってもらいたい。
- ・ 道路の凹凸の整備。歩きタバコなどの廃止。受動喫煙が辛い臭い、ゴミが落ちてる。古い建物の改装、補修。汚いのはあまり良い思いしない。公衆トイレなど、最近利用してないが4.5年前は臭い、汚いで必要な時に利用できない、桜街道駅近くの空き地などに何か生活に良いものを作って欲しい。
- ・ 子どもが遊ぶのは良いが住宅街で騒いだりボールを使って家や車に当たったりするのをやめさせて欲しい、ルールを作ったり学校などから親、子どもたちへ警告。住宅街の代わりに公園で遊ばせてほしい。
- ・ 世界的に自然が減少しつつあるため、新しい施設などはいいから自然を大事にして、いらない施設などがあつたら

新たな発展のために新しい施設を立てるのも素晴らしいと思うが、植物を植えて自然溢れる町にして欲しい。

- ・ ボール遊びができる公園を作ってほしいです。
- ・ もっと、子どもたちがたくさん遊べる広い公園などを作って、ボール遊びやスケボーなどやバスケなどができる総合スポーツ場作ることそれも無償でみんなが使える。それから市議会の世代交代。もっと子育てがしやすく、これからを担っていく子どもたちが、生き生きと生活していけるようなまちづくりをしていく。
- ・ イトーヨーカドー以外に中高生が、遊べる場所を作ってほしい。
- ・ 商業施設を増やして欲しい。
- ・ 家の前の川に架かる橋が落ちないか、壊れないか不安。

(5) その他

- ・ スタバ作って欲しいです。一件もありません。
- ・ 少子化対策に成功した他市などを参考にして子育て支援に真摯に取り組んで欲しい。
- ・ DVD、漫画を借りられるところが欲しい。
- ・ これからも東大和市をよろしくお願いします。
- ・ Paypay30%還元。武蔵大和の駅の近くをどうにかしてほしい。何もなさすぎて暇。電車の本数を、もう少し増やして欲しいです。
- ・ 成人式以外でも同窓会したい。成人式で貰える物センスある物にしてほしい。成人式、中学受験して市内の中学に行かなかった人でも楽しめるようにして欲しい。
- ・ じかいのうまべえ祭りも楽しみにしています。
- ・ 市内にゲームセンター等の遊べる場所や飲食店を増やして欲しい。
- ・ セグウェイをなくしてほしい。
- ・ 勉強できるスペースが欲しいです。
- ・ 図書館で勉強出来る”部屋”を作ってほしい。(暖かさ、涼しさが保たれる)もしくは夜遅くまで空いている自習スペース。
- ・ 子どもを持つ家庭への金銭的支援。
- ・ 動物福祉の促進。
- ・ 私立や通信制の学校に行きやすい様に支援をして欲しい。
- ・ 公共施設をもっと充実させてほしいです。(自習スペースなど)子育て支援はありがたいですが、子どもがスマホを持っていない家庭もあります。子どもがスマホを持たない家庭のことも考えて欲しいです。
- ・ 発達障害がある人に理解がある地域づくりをしてほしいです 発達障害ある人が参加出来るイベント等を開催してほしいです。
- ・ もっと中学生から大学生までの支援をして欲しい。
- ・ バスの本数を増やして欲しいです。
- ・ 医療費を大学生まで 200 円にしてほしいです。理由→大学生はお金がかかるのでバイトの日数を増やす予定だから。
- ・ 賃金を上げて欲しい、特に保育士。自然をずっと大切にしてほしい。保育士の仕事環境改善。
- ・ 動物を保護できる場所を作って欲しい。
- ・ 一人暮らしの学生に対する支援などがあるとありがたいと感じました。
- ・ もっと手厚い補助、無料の塾、市民が使える買い物券無料配布、学生限定の無料駐輪場、定期券の割引。
- ・ 高校生へのLINEpay1万円給付は素晴らしかったと思います。これからもこのような取り組みが行われることを期待しています。できれば、お金のかかる大学生への支援をお願いします。
- ・ この前五小でやっていた逃走中みたいなのかとか 5 地区祭りとかやって欲しいです。高校生にもなるとあんまり市内で遊ばないので、小さい頃から参加して、みたいなのがあったといいなと思います。あの規模でやってくれると友達誘いやすいし。あまり耳に入っていないことも原因だと思いますが、市で行っている活動をよく知らないの、市にあまり期待しない様な感じがあります。市と言うよりも世間に思うところですが、問題に対する未来のための対策を今始めることが必要だと思っていて、私達が大人になってからでは遅いと感じています。なので、今回の機会を良く思っています。もっと色々な世代の意見を聞いて反映させていって欲しいです。

5 若者

カテゴリー項目	件数
(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について	2
(2) 保育園について	1
(3) 幼稚園について	2
(4) 学童保育について	2
(5) 学校について	5
(6) 児童館・ランドセル来館について	1
(7) 公園・遊び場について	9
(8) 母子保健・医療について	5
(9) 病児・病後児保育・障害児保育等について	4
(10) 子育て制度・行政等について	27
(11) その他	28

(1) 一時保育・子ども家庭支援センター等について

- ・ 簡単に預けられる場所がほしい。
- ・ 私が、市の政策に期待していることは子育てする親や子どもへの支援です。周囲の話を聞くと子どもがいる家庭は良いなと思いますが、仕事と家庭の両立が大変そうで自分には出来ないと感じます。仕事をしなければ経済的に苦しいし、家事や育児をしなければ生活が成り立たないという状況でとても大変だと思うので、そうした親を支援できる仕組みが出来たら良いなと思います。そうした親や子どもたちのためにも相談ができる場所をより良くしてほしいと考えています。相談できる場所はあるのかもしれませんが、分からないことが多くてハードルが高いように感じます。

(2) 保育園について

- ・ 働いていなくても保育園に預けられる制度がほしい。(働く為には保育園に預けないといけない、保育園に預けるには働いていないといけない矛盾)

(3) 幼稚園について

- ・ 幼稚園の数が少ない。通わせたい幼稚園が遠く、希望ではない幼稚園に通っていた。
- ・ 幼稚園も田舎で意味がない。

(4) 学童保育について

- ・ 学童に入りづらい。せめてランドセル来館は条件等なしに誰でも通えるようにしてほしい。
- ・ 小学生が通う学童保育をもう少し充実させて欲しい。ランドセル来館でのトラブルなど多々聞くことがあるので通わせることに不安を感じている。(指導員の少なさから目が届かず、子ども間でのトラブルが発生している印象)

(5) 学校について

- ・ 中学、高校の制服のジェンダーレス化を進めていただきたいです。ズボン、スカートは自由に選択できるようにする等。ご検討よろしくお願いします。
- ・ いじめや虐待などで苦しんでいる子どもたちが相談できる窓口をしっかりと作ってあげてほしい。その為にも大々的に“こういう相談をできる場所があります”と子どもたちの目に入るようにポスターや学校での配布などを行う

てほしい。

- ・ 私が子どもの頃から東大和市は東京都内で学力がワースト 1~3 位に入ると言われていて、今もそういう話を耳にします。塾や通信教材で学校の補習をしている子ども多いと思いますが、学校での放課後教室みたいのを東大和もやればいいのかなと思います。学校だったらいつも通っている場所だから子どもも親も安心できるし、放課後教室なら学校の先生でなくても勉強を教えられる若者や主婦の方が来て、先生の負担を増やさず地域一体で学力をあげる活動や、そういうコミュニティがあってもいいのではないかと思います。
- ・ 学校給食もう少しなんとかならないのかなと毎回写真を見る度に思います。子ども達が可哀想になる。
- ・ 小学校の教科書代が無償提供だった。

(6) 児童館について

- ・ 子育てや教育へのサポート、体験機会の提供等についてはぜひ注力していただきたいです。最近は子ども同士が安心して遊べる場所も減っていると聞くので、児童館も充実しているとありがたいです

(7) 公園・遊び場について

- ・ 公園のアスレチックを増やしてくれたり、広い公園。
- ・ 小学生が放課後にボールを使って遊べる公園をつくって欲しい。少しでもボールを使うと（やわらかいボール）学校に通報される。子どもの体力低下は、こういうところから始まるんだと実感した。
- ・ 子どもが遊べるところ。
- ・ マンションに住んでいます。公園が少ないせいか、マンションの駐車スペースや廊下で遊ぶ子がたくさんいて危ないと感じたり、騒音が気になるときがあります。もう少し広場が近くにあれば良いなと思いました。
- ・ 子どもの遊び場が少ない。
- ・ 0 歳の第一子を子育て中です。子どもと気軽に参加できる遊びの場や体験活動が充実すると嬉しいです。
- ・ 私が小中学生の頃、東大和の条例で、公園でボールを使えなくなり、とても腹立たしかった。ボールを使える公園を確保するべき。
- ・ 芋窪地域に遊具のある公園が欲しい。
- ・ 引きこもっている人同士が、気軽に遊んだりおしゃべりしたりして、繋がれる場所があるといいなと思っています。

(8) 母子保健・医療について

- ・ 東大和市は近隣市に比べて、不妊治療の助成金が少ない。子どもはほしいがそのあたりはとても不安。見直して頂きたい。
- ・ 医療支援を頑張ってほしい。
- ・ 日曜祝日に子どもが熱を出した際、診療してもらえる病院を探すのに困らなかった。すぐ見つかったこと。
- ・ インフルエンザ等の予防接種に補助がほしい。
- ・ 子育ては想像以上に大変で、親や配偶者が仕事をしているとなかなか頼れないことも多く、産後ケア・保育・家事育児の支援を手厚くしていただけると、これから第二子や第三子を安心して産みたいと思えると思います。

(9) 病児・病後児保育・障害児保育等について

- ・ 発達障害がある子どもも利用できる場所、施設の充実。特別支援学校はないし、学級も少なすぎる。
- ・ 若い障害のある人が交流できる場所があれば良いと思います。私は友人がいないので、同じ境遇を持った人達と出会える場所があり、ありがたいです。
- ・ 通う予定の小学校が発達の気になる子への理解があること。支援体制が整っていると感じた。
- ・ 身体障害者や施設が多いなかで、東大和市だけが出来ることはなにか自分たちで考えろ。

(10) 子育て制度・行政等について

- ・ 子育てをする上で若い方でも安心して子育てが行なえるような金銭面や、物資の充実があれば若いうちでも子どもを望んだり、1 人だけでなく 2、3 人と子どもを望めるのではないかと考えます。
- ・ 市民税の値下げ。

- ・ 金を配るなら現金にしてくれ。受け取るためにポイントの会社に登録させないでくれ。
- ・ 学校・保育園の先生を増やし、子どもへの手厚い支援を希望致します。職業体験など子どもと地域のかかわりをふやす。
- ・ 情報だけを発信してもただ流れるだけで、心や頭には入ってこないから、学校などに人を派遣し、担任の先生のみが生徒をみるだけではなく、他の人も生徒をみることによっていじめや悩みなど、1人1人解決していくことが増えると思うので、実際のサポートをすることが大切だと思います。現場への支援だと思います。
- ・ 政府が掲げる「異次元の少子化対策」や「子ども家庭庁」など、X等のSNSで「中抜き温床」や「ステルス増税の名目」などで悪く言われてしまっているものに頼らず良い対策、政策を行ってほしいです。和地市長になってから「くらしの便利帳」等、今までの市長の時とは何か違うかなと思うので、今後も頑張って改善して欲しい。
- ・ 他市には母子の家賃の補助があったりするが、東大和にはないのであるといいなと思う。
- ・ 子育てを楽しくできるようにしてもらえると嬉しいです。いろいろなイベントや補助など。
- ・ そもそも若者への政策をあまり認知していません。もっと広報して下さい。ごみアプリから届く情報はよく見えます。生活上必ず見るアプリなので、お知らせが来るたびチェックします。そういう所からなら認知しやすいと思います。
- ・ 学校でかかる費用（給食費など）は限りなく0にしてあげて欲しいです。備品代（ノートやペンなど）を少し負担してあげるなど・・・女子の生理ナプキンも学校の備品として用意しておいて欲しいです。
- ・ 独身から結婚につながるような施策、結婚生活の悩み解決になる施策があると嬉しく思います。
- ・ 職業訓練学校だけでなく、その後の就職先のサポートもしてくれる機関もあつたらいいと思います。職業訓練学校で学べる職種ももう少しあるとありがたいです。
- ・ 現在妊娠8ヶ月です。助成金制度があり助かっております。ありがとうございます。出産頑張ります。
- ・ 【東大和市で子育てをしていて嬉しかった、有り難かったこと】もうすぐママ応援給付金がある。
- ・ 一人目の子どもに対しても市から補助が欲しい。
- ・ 有料の指定ゴミ袋の導入で何が変わったのか。
- ・ 誰もが暮らしやすい地域を目指すために、生活的に困窮している人の支援を重視して欲しい。
- ・ スマートフォンが普及している世の中なので、持っていないと考えられる若年層、高年層以外の連絡は電子化するほうが郵送の準備にかかる人件費だけでなく資源の無駄にもならず、また回答後のデータ収集や解析も容易になるので電子化を進めて欲しい。
- ・ 市役所職員の方の対応の柔軟性が他の自治体に比べて低いと感じる。寄り添い対応してくれるようになると市の活性化に繋がるはず。
- ・ 小学校の学区分けにより大通りを歩くことも多いので、事故防止のため見守りの目をふやして欲しい。（親の役員当番などで負担を増やすのではなく、入学の季節以外も通年市政で人員確保してもらいたい）
- ・ 私の周りでは就職を機に東大和を出ていく子が半分以上です。地域にどんな仕事があるのかなど、職と若者をつなぐ施策があればいいのにと、自身が就活をしている時に思ったことがあります。
- ・ もっと子どもを増やしていくために妊婦や子ども持ちの家庭に支援してほしい。
- ・ また、引きこもりの人などはかくれた才能の持ち主であつたりもするので、学校に戻るよう支援するのではなく、市の力になれるような仕事を任せてみるのもありなのではないかと思う。
- ・ 一人でも若者が安心して暮らせる街づくりをしてほしいです（例：就職支援充実、相談支援サポート充実）。
- ・ せっかくの施策も所得制限等でごく限られた人しか対象にならないようではもったいないので、多くの人にとってメリットのある政策をお願いできればと思います。応援しています。世の中に何となく閉塞感が溢れ、明るい未来が見えなくなってきたと感じているので中高生などの若者もこの先に期待を持って勉学に励めるような環境の整備や政策の策定を望みます。
- ・ 子どものいない夫婦に対しての支援がなにひとつない。結婚しているからといって必ずしも子どもがいるわけではないので、平等になるような支援を求めます。子どもがいないからといってお金がかからないわけがない。そのような支援（子どもがいる家庭ばかりへの支援）しかないのなら、東大和市で生活をしていきたいくない。

(11) その他

- ・ 図書館で本を借りる際、インターネットから手続きができるのが非常に便利。
- ・ もう少し親身になって欲しい。
- ・ 私が住んでいる所は、子育てしている方が多くいて、そんな中路上でタバコを吸う人を多く見かける。これは若者だけに限らず、どの世代にも言えることだ。気にしない人もきつーと思うが、住みやすい環境にするにはマナーを守る人が増えてほしいと同時にマナー違反を減らす工夫も必要だと思う。

- ・ 闇バイトが昨今増えているため、そういった事を知るための機会づくり。
- ・ 独居の高齢祖母が心配。ゆとりのある子育てをしたい。心身、経済的にも。
- ・ 市内での良いボランティア活動を提唱するよう若者たちを鼓舞し続け、若者たちが地域社会の強力なリーダーになれるようサポートする。
- ・ 2 年前に引っ越してきましたが、東大和市は住みやすいところだなーと感じています。より地域活性化していくためにも若い人の学びややる気、行動力をひきだしサポートして欲しいと思います。
- ・ 東大和はギャルママが多く、明るくとても良い所だと思います。地元から離れる人も少なく、あたたかいのか。
- ・ 変わりゆく時代についてゆくステキな町へ。うまべえかわいいのでバズらせてほしいです。うまべえを使って子どもの興味をひくコンテンツを期待します。うまべえ SNS で面白い投稿したら流行ると思います。
- ・ 若い方の意見をきちんと受け入れ、あまり年配の方の意見につぶされないような環境が必要だと思います。
- ・ 安楽死を可能にする。それしか私は救えない。無職やニートの問題は、学校でいじめがなくなると同じで解決できるわけない。金の給付、不登校の理解ぐらいか。
- ・ SNS やインターネットでの子どもが被害にあう犯罪を不安に思っています。すでに SNS の使い方等は指導・発信をしていると思いますので、ぜひ情報のアップデートを続け、発信しつづけてほしいです。いじめに関しても、法律の専門家を招いての刑法での扱いを知る場などを設けて頂きたいです。
- ・ たまにインターネットで虐待やいじめを受けた子どもが、児相や学校の先生に助けを求めたが、まったく機能しておらず酷い対応で帰されてしまうといったケースを見る。そういったことがないようにしてほしい。
- ・ 今回の調査で「東大和市子どもと大人のやくそく」の事を知りましたので、もっと発信をしてほしいと思います。
- ・ 女市長になったことをこのアンケートで感じる。
- ・ 少子化は若者が幸せを感じないと変わらない。国になんて何も期待していない。私を助けてくれない。勝手に死んでほしいのが分かる。
- ・ 問 42 の選択肢はいずれも重要と思いました。
- ・ 東大和市は良い街だと思います。これからも今のような感じでより良い街にしてほしいです。
- ・ 子どもや若者のためには、やはり大人たちの余裕や笑顔のある環境が大切だと思います。こういう大人になりたいと思えるような、大人が身近にいたり、将来に対してワクワクできるような環境づくりだったり。子育てなどに対する政策や支援はありがたいことですが、まず大人たちが未来を生きることへ楽しみをもち、エネルギーをもっていられることが、大切だと思います。
- ・ 私は母子家庭で、高校受験の際の通塾支援にとても助けられた。支援のおかげで私は将来の道を閉ざすことなく、進学校に進み、大学に進学し、3 年の 12 月に内定をもらった。明らかな経済困窮層への支援はもちろん、母子家庭や非正規雇用世帯のような潜在的な困窮層への支援は、貧困スパイラルからの脱却の可能性を見出すことができるため、今後も拡大して欲しいと思う。
- ・ ベッドタウンとしての機能は果たしておりますが、宿泊施設がないと思います。ホテルなどの施設誘致をお願いしたいです。
- ・ 現代の若者の最大の問題あるいは少子化の最大要因は若者世代の所得低下、雇用不安定化なのでそこを重点的にサポートすれば多くの問題は自ずと解決に向かうと考えます。
- ・ おしゃれな場所を作っていただけるととっても嬉しい。木造のおしゃれなカフェやコンクリートでできたアンティーク調のカフェなど。大学生はおそらく都内に出ってしまうので地元の中、高校生向けの場所を作ってあげてほしい。
- ・ これからを担う子どもの存在をもっと大切にしたい政策を望みます。また、若者の 1 人でも自立した生活(親に頼らない位の生活費)が出来るような社会を望みます。もっとこれから先、希望の持てる社会への実現を目指してほしいです。
- ・ 今の社会を担う大人が「嘘つきの社会」を作らず、「人を守る社会」を作ってほしいと心から思います。裏金問題もそうですが、自分に都合の良い政策を作り、自分の利益になるようなものばかり作るなら、社会にとって人にとって有益になるものを作る方が社会の安定と発展につながると思う。今の若者をはっきりさせないような自分勝手な理不尽な政策を作ってほしくないと思います。
- ・ 若者や子育てに力を入れていると謳っているが実際調べてみると中身がないし、近隣の市の方が充実していてびっくりした。
- ・ 歩道や横断歩道を歩いていると、自転車がスピードを出して歩行者に向かって走って来ます。若者に限りませんが、自転車利用者に交通安全を徹底してほしいです。

IV 調査票

1 未就学児保護者

東大和市子ども・若者・子育て支援ニーズ調査

【未就学児編】

《調査へのご協力をお願い》

日頃から、東大和市政への理解、ご協力をいただきありがとうございます。
さて、東大和市では、子ども・子育てに関する施策や事業を推進するための、子育てを総合的に支援する計画「東大和市子ども・子育て未来プラン」の次期計画の策定を予定しています。
新たな計画策定に向けて、未就学児とその保護者の皆様の生活実態やご要望・ご意見を把握し、今後の計画に反映させていくため、本調査にご協力をお願いいたします。
この調査は、未就学児の保護者、小学生、高校生相当の年齢の方、18～39歳の若者を対象としており、令和5年12月1日現在で本市に在住する各年代の方を操作別に選ばせていただきます。調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

令和6年2月

東大和市 和地 仁美

【ご記入に当たってお願い】

- 質問には、選択肢の番号に○を付けるほか、回答欄に選択肢の数字や字句をご記入いただく場合があります。また、回答によりお答えいただく設問に指定があります。記載の設問番号や矢印等、質問の指示にそって回答をお願いします。※回答時間は20分程度です。
- 質問は2ページ目より始まりますが、1ページには本調査の考え方や計画策定の流れ等が記載してあります。回答の順にお読みいただくよう、お願いします。
- 回答は新送またはインターネットで行うことができます。インターネットでの回答は下記のURLまたは二次元コードからアクセスしてください。インターネットで回答した場合は、この調査用紙の提出は不要です。
URL: <https://questant.jp/q/%454N546>
ID: ●●●●●●
- ご記入いただいたアンケートはインターネットから回答もしくは同封の返信用封筒に入れ、**令和6年3月4日(月)**までに、お近くの郵便ポストへ投函してください。切手は必要ありません。
- 調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。
【調査の趣旨に関すること】
東大和市子ども・若者・子育て支援課
子育推進係
株式会社 名義（委託業者）
所在地 愛知県名古屋市中区松原2-2-33
電話 042-563-2111（内線1765）
FAX 042-563-5928
e-mail azodatsuchi@city.higashiyama.aiz.jp



あなたの声が東大和市の
未来をつくります！

1ページ

回答するに当たってお読みください

東大和市では、「東大和市子ども・子育て未来プラン（令和2年度～令和6年度）」を策定し、市の子育て支援の柱となる子育て支援の充実を図るため、市民一人ひとりが子育てについて理解と認識を深め、家庭・教育・保育施設、学校、事業者、地域の関係者等の皆様と市が相互に協力し、地域社会が一体となって取り組んでいくことを目指して、総合的な子ども・子育て支援施策を推進しています。

国は、令和5年4月、子ども施策を総合的に推進する「こども基本法」を施行しました。同法では、市町村における「市町村こども計画」の策定が努力義務とされ、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる「こどもみんなな社会」の実現を目指すことが求められています。また、「こども計画」においては、子ども本人の意見やニーズを反映することが重要であるとされています。

そこで、本市においても、令和7年度から始まる「こども計画」の策定に向け、子育て中の方が必要としている支援のニーズや市の施策に対する意向を把握するとともに、子ども本人の生活状況・市への意見を把握することを目的としてアンケート調査を実施します。

調査票を受け取られたみなさまにおかれましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

※回答にあたって確認が必須な場合は、市にお問い合わせください。

※このニーズ調査票は、未就学児1,800人を性別基本台帳から抽出し、その保護者の方に送付しています。



【用語の定義】

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・子育て支援：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる教育・教育・関係するもの
- ・教育：関係するもの
- ・関係するもの（幼稚園等）の意味で用いています。

- ①子ども・若者の権利を保障し、最善の利益を図る
- ②子ども・若者や子育て当事者とともに計画を推進
- ③ライフステージに応じた切れ目ない支援
- ④良好な成長環境の確保と、貧困・格差の解消
- ⑤若い世代の生活意識の支援と関係・子育ての希望を実現
- ⑥施策の総合性を確保

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてお聞きします。

問1 お住まいの地区をお聞きます。(○は1つだけ)

1. 宇佐	2. 蔵敷	3. 奈良橋	4. 湖井	5. 高木
6. 多摩湖	7. 狭山	8. 清水	9. 清原	10. 新堀
11. 神原	12. 向原	13. 中央	14. 南原	15. 立野
16. 上北台	17. 坂が丘			

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

(元号に○をつけ、□内に数字をご記入ください。数字は一位に一字)

令和○年○月○日生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを告めた人数を□内に数字でご記入ください。

きょうだい数 □人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係をお聞きます。

(○は1つだけ)

1. 母親	2. 父親	3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお聞きます。(○は1つだけ)

1. 配偶者(夫または妻)がいる	2. 配偶者(夫または妻)はいない

問6 父母以外で、宛名のお子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいませんか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常時に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいませんか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つだけ)

1. いる/ある	2. いない/ない

問7で「1. いる/ある」と答えた方にお聞きます。

問7-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。回答いただいている方との関係をお答えください(○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 兄弟姉妹	3. 父母・義父母
4. 友人・知人	5. 近所の人	
6. 子ども家庭支援センター等の市役所の子育て相談窓口	8. かるがもひろば・子育てひろばの職員	
7. 保健センター	10. 民生委員・児童委員	
9. 保育園・幼稚園等の先生	11. かかりつけの医師	
12. その他()		

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてお聞きます。

問8 宛名のお子さんの保護者(父母または養育者ともに)の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお聞きます。(○は1つだけ)

※母親の場合は(1)母親のみ、父子家庭の場合は(2)父親のみご記入ください。

※保護者が父母以外の養育者の場合は、性別に応じて、女性の場合は父の回答をお願いします。

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2	2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3	3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4	4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5	5	以前は就労していたが、現在は就労していない
6	6	これまで就労していない

問8で「1~4」(就労している)のいずれかと答えた方にお聞きます。

問8-1 過去の「就労日数」(1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」)をお聞きます。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお聞きます。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお聞きます。

(□内に数字でご記入ください。数字は一位に一字)

(1) 母親	(2) 父親
① 1日当たり □ 日 □ 時間	① 1日当たり □ 日 □ 時間
② 1日当たり □ 日 □ 時間	② 1日当たり □ 日 □ 時間

問8-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお聞きます。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお聞きます。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお聞きます。

時間は、必ず (例) 8時~18時のように、24時間制でご記入ください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一位に一字)

(1) 母親	(2) 父親
① 家を出る時刻 □ 時 □ 分	① 家を出る時刻 □ 時 □ 分
② 帰宅時刻 □ 時 □ 分	② 帰宅時刻 □ 時 □ 分
③ 主に在宅勤務	③ 主に在宅勤務

問8で「1-4」(就労している)、「5」(以前は就労していたが、現在は就労していない)のいずれかと答えた方にお聞きします。

問8-3 子育てをしながら仕事をを行う上での課題は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 子どもと過ごす時間が短い
2. 家事、育児の負担が大きい
3. 職場での理解不足
4. 子どもに十分な教育機会(習い事等)を提供できていない
5. 給食等の給付に影響が出る
6. 保育園、病児保育等の確保不足
7. 配偶者との関係性
8. 希望する職務に就けない
9. その他()

問8で「3-4」(パート・アルバイト等で就労している)のいずれかと答えた方にお聞きします。

該当しない方は、問9へお進みください。

問8-4 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇はいくつでも)

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	フルタイム(1週5日程度・1日の時間性の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問8で「5」以前は就労していたが、現在は就労していないまたは「6」これまで就労したことのない」と答えた方にお聞きします。該当しない方は、問9へお進みください。

問8-5 就労したいという希望はありますか。

(〇はいくつでも) 該当する口内には数字をご記入ください。数字は一律に一字。

(1) 母親	(2) 父親
1. 就労の予定はない	1. 就労の予定はない
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい
→希望する就労形態	→希望する就労形態
ア. フルタイム	ア. フルタイム
イ. フルタイム以外	イ. フルタイム以外
→1週当たり 日 1日当たり 時間	→1週当たり 日 1日当たり 時間
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態	→希望する就労形態
ア. フルタイム	ア. フルタイム
イ. フルタイム以外	イ. フルタイム以外
→1週当たり 日 1日当たり 時間	→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の日常的な教育・保育等の利用状況についてお聞きします。

※ここでの「日常的な教育・保育等」とは、月単位で日常的に利用している事業(施設)を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問9-1に示した事業が含まれます。

問9 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「日常的な教育・保育」を利用されていますか。

(〇はいくつでも)

1. 利用している
2. 利用していない

問9-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。年間を通じて「日常的に」利用している事業をお聞きします。(〇はいくつでも)

1. 幼稚園(幼児教育を行う施設。通常の就園時間を利用のみ)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 保育園(預かる事業に適合した施設で専任保育士の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設)
5. 認定保育園(認可保育園ではないが、東京都が認定した施設)
6. その他の認可外の保育施設(企業主導型保育施設など、認可を受けていない保育施設)
7. その他()

問9-2 問9-1で○をつけた施設や事業等について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、利用したい時間帯を口内に(例)9時-18時 のように24時間制でご記入ください。数字は一律に一字)

(1) 現在	(2) 今後
1週当たり 日 1日当たり 時間 (時~ 時)	1週当たり 日 1日当たり 時間 (時~ 時)

※ : 現在と同じでよい場合はチェックを入れてください

問9-3 平日に日常的に教育・保育を利用されている理由についてお聞きします。(〇はいくつでも)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 就労しているため
3. 就労予定があるため/求職中であるため
4. 家族・親族などを介護しているため
5. 養育者に病気や障がいがあるため
6. 養育者が学生であるため
7. その他()

問9-3で「2. 就労している」「3. 就労予定がある／求職中である」と答えた方にお聞きします。

問9-4 教育・保育を利用される前の就労等の状況についてお聞きいたします。(○は1つだけ)

(1) 母親		(2) 父親		通園施設	
1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労していた	1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労していた		
2	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労していた	2	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労していた		
3	育児休業中であった	3	育児休業中であった		
4	就労していなかった	4	就労していなかった		
5	その他（ ）	5	その他（ ）		

問9-5 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

問9-6 この通園制度を利用したいですか。(○は1つだけ)

1. 父親または母親が育児をしており利用する必要がないため
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため
3. 近所の人や父母の友人・知人がみているため
4. 保育園や幼稚園等の教育・保育の事業に空きがないため
5. 経済的な理由で事業を利用できないため
6. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため
7. 事業の質や場所等、納得できる事業がないため
8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ）

問9-7 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

問9-8 利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

※子ども誰でも通園制度とは、親が働いてなくても、定められた月の利用時間の中で、時間単位で子どもを預けられる新たな通園制度です。現在は、国の試行期間において、0歳6か月から2歳までを対象とし、一人当たり「月10時間」（1日中利用すれば1回、年間に2時間利用とするとすれば毎週利用できる）を上限として行うこととされており。

1. はい
2. いいえ

問9-9で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

問9-10 利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 育児負担軽減のため
2. リフレッシュのため
3. 子どもに集団生活を経験させたいため
4. 通園や合機等を行うため
5. その他（ ）

問9-11 利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 家庭で保育したいから
2. 希望利用しない施設に預けることで子どもが不安を感じる態があるから
3. 試行期間の利用上限時間（月10時間）では足りないから
4. 一時預かり等その他の保育サービスを利用するから
5. その他（ ）

問10 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、

「日常的に」利用したいと考える事業をお聞きます。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(○はいくつでも)

1. 幼稚園（幼児教育を行う施設。通常の就園時間を利用のみ）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定型的な利用のみ）
3. 保育園（0歳6か月未満の乳幼児に満ちた施設で就園時間等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業（0歳6か月未満の乳幼児により認可された定員5人以上19人以下の3歳未満児の保育を行う施設）
6. 家庭的保育事業（保育ママ）（市が定める基準により認可された定員5人以下の3歳未満児の保育を行う施設）
7. 事業所内保育施設（企業が生に就業員用に運営する施設）
8. 認証保育所（認可保育所ではないが、東京都が認証した施設）
9. その他の認可外の保育施設（企業主導型保育施設など、認可を受けていない保育施設）
10. その他（ ）

問10で「1. 幼稚園（通常の就園時間を利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」と答え、かつ3～10にも○をつけた方にお聞きします。

問10-1 3歳以降、幼稚園（特に幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問11 お子さんの平日の教育・保育を選ぶ際、特に重視する点はどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 送迎しやすい
2. 教育・保育の方針に共感できる
3. 園長・教員・保育士等の対応や園の印象が良い
4. 園庭等の施設設備が充実している
5. 評判が良い
6. 給食を提供している
7. 送迎がある
8. 駐車場がある
9. 夜間保育・延長保育がある
10. 保育料が安い
11. その他（ ）

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお聞きします。

問 12 宛名のお子さんは、現在、「かるがもひろば（子ども家庭支援センターで実施）」や「子育てひろば（大和南子育て支援センター・ぽけっと・れんげ上北台保育園・玉川上水保育園・各児童館で実施）」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。

（○は1つだけ。おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字）

1. 定期的に利用している → 1か月当たり □ □ 回程度
2. 年に数回利用した（利用している）
3. 利用していない

問 13 問 12 のような「かるがもひろば」や「子育てひろば」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと願っていますか。

（○は1つだけ。おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字）

1. 利用していないが、今後利用したい → 1か月当たり □ □ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい → 1か月当たり更に □ □ 回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

問 14 問 12 のような「かるがもひろば」や「子育てひろば」について、期待する機能は何か。（○はいくつでも）

1. 子どもが遊べる場所や道具
2. 同月齢の保護者との交流
3. 保育知識のある職員との会談
4. 子どもと参加できる行事
5. 職員や他の保護者とは置わずに施設を利用して子どもと過ごしたい
6. 子育てに関する講座
7. その他（ ）

問 15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお聞きします。（①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○）

項目	A	B	C
① 児童学級、児童学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② 保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 幼稚園の子育て相談・子育て講演会	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 幼稚園の未就学児クラス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ 保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ 子ども家庭支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ 赤ちゃん・ふらっと	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧ 東やまとの子育て（新ホームページの子育て情報サイト）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨ 家庭教育に関する学校・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩ 子育て応援アプリ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪ うまへま子育て応援バック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫ 児童館（子育てひろば）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬ 公民館保育室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「日常的」な教育・保育等の利用希望についてお聞きします。

問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、日常的な教育・保育の利用希望はありますか。
 (一時的な利用は除きます)
 希望がある場合は、利用したい時間等を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。
 (○は1つだけ。数字は1～9の範囲で記入してください)
 なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。
 ※教育・保育等とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設等の事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日	(2) 日曜日・祝日
1. 利用する希望はない	1. 利用する希望はない
2. ほぼ毎週利用したい	2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい	3. 月に1～2回は利用したい
<利用したい時間帯> 〇時から〇時まで	<利用したい時間帯> 〇時から〇時まで

問 16 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」と答えた方にお聞きします。

問 16-1 毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)
 1. 月に数回仕事が入るため
 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
 4. リフレッシュのため
 5. その他 ()

問 9-1 で、「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

問 17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み・春休み等、長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。
 希望がある場合は、利用したい時間等を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。
 (○は1つだけ。数字は1～9の範囲で記入してください)
 なお、これらの利用には一定の利用者負担が発生します。

1. 利用を希望しない	〇時から〇時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	<利用したい時間帯> 〇時から〇時まで
3. 休みの期間中、週に数回利用したい	〇時から〇時まで

問 17 で、「3. 週に数回利用したい」と答えた方にお聞きします。

問 17-1 毎日ではなく、時々利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)
 1. 週に数回仕事が入るため
 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
 4. リフレッシュのため
 5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてお聞きします。
 (平日の教育・保育等を利用している方のみ)

平日の日常的な教育・保育等を利用していると答えた保護者の方 (問9で1に○をつけた方) にお聞きします。
 現在利用していない方は、問19にお進みください。

問 18 この1年の間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つだけ)

1. あった	2. なかった

問 18 で「1. あった」と答えた方にお聞きします。

問 18-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった場合に、この1年の間に行った対処方法はなんですか。当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数 (おおよそ) も口内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は1～9の範囲で記入してください)

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	〇 日
2. 母親が休んだ	〇 日
3. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	〇 日
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	〇 日
5. 病児・病後児保育施設等を利用した	〇 日
6. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	〇 日
7. その他 ()	〇 日

問 18-1 で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」と答えた方にお聞きします。

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 (○は1つだけ。日数 (おおよそ) についても口内に数字でご記入ください。数字は1～9の範囲で記入してください)
 なお、病児・病後児事業等の利用には、事前または利用当日の登録に、かかりつけ医の受診が必要となり、一定の利用料 (1日 2,000 円) がかります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	〇 日
2. 利用したいとは思わない	〇 日

問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と答えた方にお聞きします。

問 18-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 (○はいくつでも)

1. 施設 (例: 幼稚園・保育園等) に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科等に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て支援等の身近な場所にて保育する事業
4. その他 ()

問 18-2で「利用したいと思わない」と答えた方にお聞きます。

問 18-4 そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安であるため
2. 地域の事業の質に不安があるため
3. 近隣に祖父母等がいるため
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくないため
5. 登録・入退手続が煩雑であるため
6. 利用料がかかる・高いため
7. 利用料がわからないため
8. 親が仕事を休んで対応できるため
9. その他（ ）

問 18-1で「4～7」のいずれかと答えた方にお聞きます。

問 18-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

問 18-1の「4～7」の日数のうち仕事を休んで看った日数（おおよそ）についても数字でご記入ください。

(○はいくつでも、数字は一律に一字)

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 日
2. 休んで看ることは非常に難しい

問 19 病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに問わず、感じていることを数えてください。(○はいくつでも)

1. 子どもの負担が大きい
2. 初めての場所であらないうスタッフの慣習を受けさせることに抵抗がある
3. 家族や親族等に対応できる
4. 自宅近くでない
5. 利用料が高い
6. 利用するための手続き等が煩雑である
7. 申込みしても定員が一杯で断られることが多い
8. その他（ ）
9. 特になし



宛名のお子さんの不定期の教育・保育等の利用についてお聞きます。

問 20 宛名のお子さんについて、私用、通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。
(○はいくつでも、数字は一律に一字)

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに一般的に子どもを預育する事業、子ども家庭支援センターや保育園で実施)	年間 日	
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	年間 日	
3. ファミリー・サポーター・センター事業（さわかやサービス） (地域住民が子どもの預かりや送迎等を行う事業、社会福祉協議会で実施)	年間 日	
4. ベビーシッター	年間 日	
5. 子どもショートステイ (施設又は養育施設員宅で一泊期間、子どもを預かる事業)	年間 日	
6. その他（ ）	年間 日	
7. 利用していない		

<参考>

ファミリー・サポーター・センター事業（さわかやサービス）
乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者等を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動です。

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 特に利用する必要がないため
2. 利用したい事業が地域にないため
3. 地域の事業の質に不安があるため
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくないため
5. 利用料がかかる・高いため
6. 利用料がわからないため
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかかわからないため
8. 保育施設を利用しているため
9. 事業の利用方法（手続き等）がわからないため
10. その他（ ）

問 25-4 育児休業からは、「家庭」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取ったかったですか。
□内に数字をご記入ください。(数字は一位に一字)

(1) 母親 (お子さんの年齢をご記入ください)	(2) 父親 (お子さんの年齢をご記入ください)
復帰の時期 □ 歳 □ □ か月のとき	復帰の時期 □ 歳 □ □ か月のとき
希望 □ 歳 □ □ か月まで	希望 □ 歳 □ □ か月まで

問 25-5 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取ったかったですか。□内で数字をご記入ください(数字は一位に一字)。

(1) 母親 (お子さんの年齢をご記入ください)	(2) 父親 (お子さんの年齢をご記入ください)
□ 歳 □ □ か月	□ 歳 □ □ か月

問 25-6 実際の復帰と希望が異なる方にお聞きします。

問 25-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお聞きします。(○はい/いいえ/どちらでもない)

(1) 「希望」より早く復帰した方

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	希望する保育園等に入るため
2	2	保育園に入れなくなると思ったため
3	3	配偶者や家族の希望があったため
4	4	経済的な理由で早く復帰する必要があるため
5	5	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
6	6	その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	保育園に入れなかったため
2	2	自分や子どもなどの体調が回復しなかったため
3	3	配偶者や家族の希望があったため
4	4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5	5	子どもをみてくれる人がいなかったため
6	6	その他 ()

問 25-7 「1. 育児休業終了後、職場に復帰した」と答えた方にお聞きします。

問 25-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○はい/いいえ/どちらでもない)

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	利用する必要がなかった
2	2	利用した
3	3	利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった) → 問 25-8へ

問 25-7 「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と答えた方にお聞きします。

問 25-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(○はい/いいえ/どちらでもない)

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため
2	2	仕事が忙しかったため
3	3	短時間勤務にすると給与が減額されるため
4	4	短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がるため
5	5	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため
6	6	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいたため
7	7	職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)ため
8	8	短時間勤務制度を利用できなかった(知らなかった)ため
9	9	その他 ()

問 25-9 「4. 働いていなかった」と答えた方にお聞きします。

問 25-9 必ず預け先が確保できる保育事業があれば、宛名のお子さんを保育施設等に預けて働き始めたいですか。(○はい/いいえ/どちらでもない)

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	小学校に入学前に働き始めたい
2	2	小学校に入学後に働き始めたい
3	3	子育てや家事に専念するため、働く予定はない
4	4	その他

問 25-9 「1. 小学校に入学前に働き始めたい」、「2. 小学校に入学後に働き始めたい」と答えた方にお聞きします。

問 25-10 働き始めるときはどのような就業形態を希望しますか。(○はい/いいえ/どちらでもない)

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の勤務)で就労したい
2	2	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の勤務)で就労したい
3	3	その他 ()

問 25-10 「2. 取得中である」と答えた方にお聞きします。

問 25-11 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預け先が確保できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(○はい/いいえ/どちらでもない)

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	1歳になるまで育児休業を取得したい
2	2	1歳になる前に復帰したい
3	3	その他 ()

ご家庭での生活の様子についてお聞きします。

問 26 宛名のお子さんの過去1か月の朝食の状況についてお聞きします。お子さんは朝食を食べますか。
(○は1つだけ)

1. 毎日食べる 2. 週に4～5回 3. 週に2～3回
4. 週に1回程度 5. 食べない

問 26で「1～4」のいずれかに答えた方にお聞きします。

問 26-1 お子さんの朝食がお菓子だけに becoming ことがありますか。(○は1つだけ)

1. まったくない 2. ほとんどない 3. 時々ある
4. 毎回 5. その他 ()

問 26-2 お子さんの朝食に野菜が含まれていますか。(○は1つだけ)

1. 毎回 2. ときどき 3. ほとんどない
4. まったくない 5. その他 ()

問 26-3 お子さんの朝食の品数はどれくらいありますか。(例：朝食が「ご飯、しゃけ、みそ汁」であれば、品数は「3品」になります) (○は1つだけ)

1. 1品 2. 2～3品 3. 4～5品 4. 6品以上

問 26で「4. 週に1回程度」「5. 食べない」と答えた方にお聞きします。

問 26-4 お子さんが朝食を週に1回程度食べるまたは食べない理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 朝起きる時間が遅いので、時間がいないため 2. 朝は子どもの食欲がないため
3. 家族全員に、朝ごはんを食べる習慣がないため 4. 食事を作る人が起きていないため
5. その他 ()

問 27 お子さんの夕食のとり方についてお聞きします。(○は1つだけ)

1. 家族と一緒に食べる 2. 子どもたちだけで食べる
3. ひとりて食べる 4. 食べない
5. その他 ()

問 27で「1. 家族と一緒に食べる」と答えた方にお聞きします。

問 27-1 お子さんが夕食を子どもたちだけで食べたり、ひとりて食べたりすることはどのくらいありますか。
(○は1つだけ)

1. まったくない 2. ほとんどない 3. 時々ある
4. その他 ()

問 28 宛名のお子さんの食みぎの様子についてお聞きします。(○は1つだけ)

1. 1日2回以上 2. 1日1回 3. 毎日がない
4. その他 ()

問 29 お子さんは歯みがき剤を使用していますか。(○は1つだけ)

1. 使用している 2. 使用していない 3. その他 ()

問 29で歯みがき剤を「1. 使用している」と答えた方にお聞きします。

問 29-1 一般的にはお子さんのむし歯予防のためフッ素入りの歯みがき剤が推奨されていますが、お子さんが使用している歯みがき剤は、フッ素入り(フッ化物配合)ですか。(○は1つだけ)

1. はい 2. いいえ 3. フッ素入りかわからない

問 30 お子さんの歯みがきで、保護者の方が仕上げみがきをすることがあります。(○は1つだけ)

1. はば歯固している 2. 時々している 3. していない

問 31 お子さんは歯科医院で治療や定期的な歯科チェックを受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている 2. 受けていない 3. その他 ()

ヤングケアラーについてお聞きします。

問 32 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は聞いたことがある 3. 知らない

問 32で「1. 言葉も内容も知っている」と答えた方にお聞きします。

問 32-1 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。
(○はいくつでも)

1. 子ども本人に様子を聞く
2. 自分の家族、知人、友人に相談する
3. 学校の先生や部活の顧問等に相談する
4. 関係機関(子ども家庭支援センターなど)に相談する
5. 何もしない
6. わからない
7. その他 ()

ご家庭の経済状況についてお聞きします。

問 33 宛名のお子さんと同居している方の人数をご記入ください。単身赴任をしている家族も含めてください。

同居している方（あなたも含め） 人

問 34 あなたの家族の現在の暮らしの状況についてお聞きします。（○は1つだけ）

1. 大変ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. 普通
4. やや苦しい 5. 大変苦しい

問 35 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナス含む精算額）」をお聞きします。（○は1つだけ）

1. 0円	2. 1～50万円未満	3. 50～100万円未満
4. 100～200万円未満	5. 200～300万円未満	6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満	8. 500～600万円未満	9. 600～700万円未満
10. 700～800万円未満	11. 800～900万円未満	12. 900～1,000万円未満
13. 1,000万円以上	14. 不明	

問 36 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で次のものの買えなかったり、支払うことができなかったことがありますか。（それぞれ○は1つだけ）

項目	あった	なかった	該当しない
① 食料品（嗜好品除く）	1	2	3
② 衣服（高価な衣服や貴金属・宝飾品除く）	1	2	3
③ 光熱水費のいづれか	1	2	3
④ 携帯電話料金	1	2	3
⑤ 家賃	1	2	3
⑥ その他	1	2	3

子育て全般についてお聞きします。

問 37 子育てを楽しいと感じることは多いですか。（○は1つだけ）

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他（ ）

問 38 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
(1) (2) それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 成長や発達発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育て支援サービスのこと
4. 子どものしつけに関すること
5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
6. 子どもの教育・保育に関すること
7. 子どもの友だちづきあいにに関すること
8. 子どもの登所・登園拒否・不登校など
9. 特になし

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにつきあいたってしまいうこと
9. 子育てによる身体の不調が大きいこと
10. 子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
11. 特になし
12. その他（ ）

問 39 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくること
2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やすこと
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくること
4. がランティアが活動しやすい環境をつくること
5. 子どもと親が一緒にできる活動を増やすこと
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくること
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8. その他（ ）
9. 特に必要ない

問 40 日常生活において孤立感を感じますか。（○は1つだけ）

1. 全く感じない 2. あまり感じない 3. やや感じる
4. 強く感じる 5. わからない

問 41 最後には不安や負担は感じましたか。(○は1つだけ)

1. とても感じた (感じている) 2. 時々感じた (時々感じている)
3. あまり感じなかった (あまり感じていない) 4. まったく感じなかった (まったく感じていない)

問 42 「1. とても感じた (感じている)」, 「2. 時々感じた (時々感じている)」と答えた方にお聞きます。

問 41-1 それはどんな内容ですか。(○はいくつでも)

1. 出産や育児による体の疲れ
2. 上の子との育児の両立が難しい
3. 十分な睡眠がとれない
4. イライラしたり落ち込んだりする
5. 自分の時間がとれない
6. 自分の育児方法が正しいのか分からない
7. 母乳をあげるトラブル
8. 家事ができない
9. 子どもが泣きやまない
10. 乳癌のトラブル
11. 仕事への復帰や仕事との両立が大変
12. 子育てにお金がかかる
13. ほかの子どもと自分の子どもの発達などを比べて不安になる
14. 子育てに自信が持てない
15. まわりの育児の専門家が足りない
16. 配偶者や家族との関係がうまくいかない
17. 相談できる友人がおらず、孤独感を感じる
18. ほかの親 (ママ友など) との関係がうまくいかない
19. その他 ()

問 41-2 どのような支援を受けたかったか。受けたいですか。(○はいくつでも)

1. お子さんを預かるサービス付きの母親が休養できる宿泊サービス
2. 夫への育児技術指導
3. 宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導 (ベビーマasseurやスキミングケアなど)
4. 1日を通して赤ちゃんとの接し方指導
5. 夜泣きに関する指導
6. 母乳のペースや方法の指導
7. 宿泊しながらの乳房ケアサービスと指導
8. 沐浴、お風呂の入れ方の指導
9. ご自宅にうかがっての育児や不安に関する相談サービス
10. ご自宅にうかがっての育児技術に関するアドバイス、指導
11. 日帰りでの赤ちゃんへのケア方法指導 (ベビーマasseurやスキミングケアなど)
12. 日帰りでの乳房ケアサービスと指導
13. 日帰りでの夫への育児技術指導
14. その他 ()

問 42 あなたは地域の人から見守られていると思いますか。(○は1つだけ)

1. とても見守られている 2. どちらかと言えば見守られている
3. どちらとも言いえない 4. どちらかと言えば見守られていない
5. まったく見守られていない 6. よくわからない

問 43 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。(それぞれ○は1つだけ)

項目	全くない	少しだけ	時々	たいてい	いつも
① 理由もなく疲れ切ったように感じた	1	2	3	4	5
② 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
③ どうしても落ち着けなくらいに、神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
④ 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
⑤ それぞれ、落ち着けなく感じた	1	2	3	4	5
⑥ じっと座っていられないほど、落ち着けなく感じた	1	2	3	4	5
⑦ ゆっくりに感じた	1	2	3	4	5
⑧ 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
⑨ 何をすることも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
⑩ 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 44 これまで、子どもに対して、思わすたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相事や世話をしないことがありましたか。(それぞれ○は1つだけ)

項目	全くない	少しだけ	時々	たいてい	いつも
① からだ(尻・手・足・頭・顔など)をたく	1	2	3	4	5
② 大声でしかる	1	2	3	4	5
③ なくる	1	2	3	4	5
④ 屋外に締め出す	1	2	3	4	5
⑤ 無視をする	1	2	3	4	5
⑥ 食事を与えない	1	2	3	4	5
⑦ 子どもが構つこうなことを繰り返し言う	1	2	3	4	5
⑧ 夜間、子どもだけを残して外出する	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの目の前で大人げんかをする	1	2	3	4	5
⑩ 子どもの目の前でタバコを吸う	1	2	3	4	5
⑪ 子どもの世話よりゲームやスマートフォン等を優先する	1	2	3	4	5

子どもの権利※についてお聞きします。

※ 「子どもの権利」とは、1989年に国連総会で採択された「児童の権利に関する条約」において、締約国が尊重し、確保することが定められている権利です。条約における次の4つの原則は、日本の子どもに関する基本的な法律である「子ども基本法」にも取り入れられています。

- ①差別の禁止(差別のないこと)
- ②子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)
- ③生存、生活及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)
- ④子どもの意見の尊重(子どもが意見のある参加ができること)

問 45 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(○は1つだけ)

1. 常にしている	2. ときどきしている
3. あまりしていない	4. まったくしたことがない

問 46 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている	2. 名前を知っているが内容は知らなかった
3. 知らなかった	

問 47 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(○はいくつでも)

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 母がいのある子が差別されないこと
3. 子どもが知りたことを聞かないこと
4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

令和2(2020)年、東大和市に住むすべての人たちが、みんなで明るい未来を目指し、それぞれが、自分らしく成長していくように、「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」をつくりました。「やくそく」には、子どもと大人、それぞれがお互いに呼びかけ合い、お互いの心を通じ合わせるといいます。



詳しくはこちらの二次元コードよりアクセスしてください。



問 48 東大和市に住むすべての人たちが、みんなで明るい未来を目指し、それぞれが、自分らしく成長していくようにつくられた、東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)を知っていますか? (○は1つだけ)

1. 知っている	2. 聞いたことはある	3. 知らない

公共施設・関係機関や政策等についてお聞きします。

問 49 市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。(○は5つまで)

1. 子育てに関する相談、情報提供の充実
2. 親子・親同士の交流の場の充実
3. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実
4. 母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問などの充実
5. 子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣等の充実
6. 正しい食生活を伝えるため、食に関する指導や情報提供の充実
7. 性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実
8. 安心して子どもが保育園にかかれる体制の充実
9. 次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実
10. 子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実
11. 地域における子どもの放課後の充実
12. 児童虐待やいじめ等に対する対策の充実
13. 障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施設等の充実
14. 子どもを取り巻く育環境の充実
15. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
16. 保育サービスの費用負担や学費等経済的支援の充実
17. 仕事と子育てが両立できるよう保育園、幼稚園の施設や内容の充実
18. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発
19. 親子トイレ・授乳コーナーの設置や安眠時防止等、子どもにやさしい環境整備の充実
20. 犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実
21. その他 ()

問 50 市の情報（子育て情報、災害情報など）をどの方法で知りたいですか。(○はいくつでも)

1. 市報
2. 市公式ホームページ
3. 市公式SNS (X (旧 Twitter), Facebook, LINE)
4. 市からの郵便物
5. ポスター
6. パンフレット
7. その他 ()

問 51 東大和市における子育ての環境や支援への満足度についてお聞きします。(○は1つだけ)



問 52 今後も東大和市で子育てをし続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う
2. 思わない

問 53 東大和市における子育ての制度や支援についての希望や要望等をご記入ください。また、子育てをする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。父親の子育て等の状況などを含め、ご自由にご記入ください。



東大和市LINE公式アカウント
まだ知らない人は、こちらから
子育て相談のイベントなどのお知らせが
タイムリーに届きます！

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
三つ折りにし、切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

2 小学生保護者

東大和市子ども・若者・子育て支援ニーズ調査

【小学生編】

《調査へのご協力をお願い》

日頃から、東大和市政への理解、ご協力をいただきありがとうございます。
さて、東大和市では、子ども・子育てに関する施策や事業を推進するための、子育てを総合的に支える計画「東大和市子ども・子育て未来プラン」の次期計画の策定を予定しています。
新たな計画策定に向けて、小学生とその保護者の皆様の生活実態やご意見、ご意見を把握し、今後の計画に反映させていくため、本調査にご協力をお願いいたします。
この調査は、未就学児の保護者、小学生、高校生相当の年齢の方、18～39歳の若者を対象としており、令和5年12月1日現在本市に在住する各年代の方を無作為に選ばせていただきました。調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

令和6年2月

東大和市 和地 仁美

【ご記入に当たってのお願い】

- 質問には、選択肢の番号に○を付けるほか、回答欄に選択肢の数字や文字をご記入いただく場合があります。また、回答によりお答えいただく設問に指定があります。記載の設問番号や矢印等、質問の指示にそって回答をお願いします。※回答時間は15分程度です。
- 質問は2ページ目より始まりますが、1ページには本調査の考え方や計画策定の流れ等が記載してあります。回答の前にお読みいただくよう、お願いします。
- 回答は郵送またはインターネットで行うことができます。インターネットでの回答は下記のURLまたは二次元コードからアクセスしてください。インターネットで回答した場合は、この調査用紙の提出は不要です。
URL: <https://questant.jp/q/00008102>
ID: 00000000
- ご記入いただいたアンケートはインターネットから回答もしくは用封の返信用封筒に入れ、**令和6年3月4日（月）**までに、お近くの郵便ポストへ投函してください。切手は必要ありません。

■調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【調査の進捗に関すること】
株式会社 名貴（委託業者）
〒111-0033 東京都中央区 3-930
電話 042-563-2111（代線 1765）
FAX 042-563-5928
e-mail kazodateshi@city.higashiyamato.lg.jp



あなたの声が東大和市の
未来をつくります！

回答するに当たってお読みください

東大和市では、「東大和市子ども・子育て未来プラン（令和2年度～令和6年度）」を策定し、市の子どもの健やかな育ちと保護者様の子育てへの支援を充実するため、市民一人ひとりが子育てについて理解と認識を深め、家庭・教育・保育施設、学校、事業者、地域の関係者等の皆様と市が相互に協力し、地域社会が一体となって取り組んでいけるまちをめざして、総合的な子ども・子育て支援施策を推進しています。

現在は、令和5年4月、子ども施策を総合的に推進する「子ども基本法」を施行しました。同法では、市町村における「市町村子ども計画」の策定が努力義務とされ、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる「子どもまんなか社会」の実現を目指すことが求められています。また、「子ども計画」においては、子ども本人の意見やニーズを反映することが重要であるとされています。

そこで、本市においても、令和7年度から始まる「子ども計画」の策定に向け、子育て中の方が必要としている支援のニーズや市の施策に対する意向を把握するとともに、子ども本人の生活状況・市への意見を把握することを目的としてアンケート調査を実施します。

調査票を受け取られたみなさまにおかれましては、調査の趣意をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

※回答にあたって選択肢が必要の場合は、市にお問い合わせください。



※このニーズ調査票は、小学生1,600人を住民基本台帳から無作為抽出して、その保護者の方へ送付しています。

東大和市子ども・若者・子育て支援未来プラン

計画に基づいて施策

- ①子ども・若者の権利を守り、最善の利益を図る
- ②子ども・若者や子育て当事者とともに計画を推進
- ③ライフステージに応じた切れ目のない支援
- ④良好な成長環境の確保と、貧困・格差の解消
- ⑤若い世代の生活基盤の安定確保と結婚・子育ての希望を実現
- ⑥施策の総合性を確保

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてお聞きします。

問1 お住まいの地区をお聞きます。(○は1つだけ)

1. 宇佐	2. 蔵敷	3. 奈良橋	4. 湖井	5. 高木
6. 多摩湖	7. 狭山	8. 清水	9. 清原	10. 新堀
11. 神原	12. 向原	13. 中央	14. 南原	15. 立野
16. 上出谷	17. 坂が丘			

問2 宛名のお子さんの学年をお聞きます。(○は1つだけ)

1. 一年生	2. 二年生	3. 三年生
4. 四年生	5. 五年生	6. 六年生

問3 宛名のお子さんのようすはいくらですか。宛名のお子さんを告めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係をお聞きます。

(○は1つだけ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただく方はどの関係者についてお聞きます。(○は1つだけ)

1. 配偶者 (夫または妻) 2. 配偶者 (夫または妻) はい/いい

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてお聞きます。

問6 宛名のお子さんの保護者 (父母または養育者ともに) の現在の就労状況 (自営業、家族就業者含む) をお聞きます。(○は1つだけ)

※母子家庭の場合は (1) 母親のみ、父子家庭の場合は (2) 父親のみをご記入ください。
※保護者が父母以外の養育者の場合は、性別に応じて、女性の場合は母、男性の場合は父の回答をお願いします。

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2	2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3	3	パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4	4	パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5	5	以前は就労していたが、現在は就労していない
6	6	これまで就労したことがない

問6で「1〜4」(就労している) のいずれかと答えた方にお聞きます。

問6-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間 (就業時間を含む)」をお聞きます。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお聞きます。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお聞きます。
(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

(1) 母親	(2) 父親
① 週当たり 日	① 週当たり 日
② 1日当たり 時間	② 1日当たり 時間

問6-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお聞きます。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお聞きます。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお聞きます。
時間は、必ず (例) 8時〜18時のように、24時間制でご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

(1) 母親	(2) 父親
① 家を出る時刻 時 分	① 家を出る時刻 時 分
② 帰宅時刻 時 分	② 帰宅時刻 時 分

問6で「1〜4」(就労している)、「5」(以前は就労していたが、現在は就労していない) のいずれかと答えた方にお聞きます。

問6-3 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか。(○はいくつでも)

- 子どもと過ごす時間が短い
- 家事、育児の負担が大きい
- 子どもがいない時間帯など職場での理解不足
- 子どもに十分な教育機会 (習い事等) を提供できていない
- 給食等の献立に影響が出る
- 保育園、病児保育等の施設不足
- 配偶者との関係性
- 希望する職路に就けない
- その他 ()

問6で「3〜4」(パート・アルバイト等で就労している) のいずれかと答えた方にお聞きます。該当しない方は、問7へお進みください。

問6-4 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つだけ)

(1) 母親	(2) 父親	選択肢
1	1	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問6で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」と答えた方にお聞きします。該当しない方は、問7へお進みください。

問6-5 就労したいという希望はありますか。

(○は1つだけ。該当する□内には数字をご記入ください。数字は一律に一字)

	(1) 母親	(2) 父親
1. 就労の予定はない		
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい →希望する就労形態 ア、フルタイム イ、フルタイム以外 →1選当たり	□□日 1日当たり□□時間	□□日 1日当たり□□時間
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ア、フルタイム イ、フルタイム以外 →1選当たり	□□日 1日当たり□□時間	□□日 1日当たり□□時間



宛名のお子さんの病気の際の対応についてお聞きします。

問7 宛名のお子さんが病気やケガをして学校でできない場合、「できれば病児・病後児の保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つだけ。日数(おおよそ)についても□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

※病児・病後児事業等の利用には、事前または利用当日の登録ならびに、かかりつけ医の受診が必要となり、一定の利用料(1日2,000円)がかかります。

※病児・病後児保育施設等の利用対象年齢は、小学校6年生までになります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年間□□日

2. 利用したいとは思わない

問7-1 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。

(○はいくつでも)

1. 施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業

2. 小児科等に併設した施設で子どもを保育する事業

3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業

4. その他()

問7-2 そう思われる理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安であるため

2. 地域の事業の質に不安があるため

3. 近隣に祖父母等がいるため

4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよいいため

5. 登録・入会手続きが煩雑であるため

6. 利用料がかかる・高いため

7. 利用料がわからないため

8. 親が仕事を休んで対応できるため

9. その他()

問7-3 病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに関わらず、感じていることを教えてください。(○はいくつでも)

1. 子どもの負担が大きい

2. 初めての場所では知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある

3. 家族や親族等で対応できる

4. 自宅近くでない

5. 利用料が高い

6. 利用するための手続き等が煩雑である

7. 申込みしても定員が一杯で断られることが多い

8. その他()

9. 特になし

問 10で「4. 週に1回程度」「5. 食べない」と答えた方にお聞きします。

問 10-4 お子さんが週に1回程度食べるまたは食べない理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 朝起きる時間が遅いので、時間がいないため
2. 朝は子どもの食欲がないため
3. 家族全員に、朝ごはんを食べる習慣がないため
4. 食事と作る人が起きているため
5. その他 ()

問 11 お子さんの夕食のとおり方についてお聞きします。(○は1つだけ)

1. 家族と一緒に食べる
2. 子どもたちだけで食べる
3. ひとりで食べる
4. 食べない
5. その他 ()

問 12 家で一緒に食べる」と答えた方にお聞きします。

問 12-1 お子さんが夕食を子どもたちだけで食べていたり、ひとりで食べていたりすることはどのくらいありますか。

(○は1つだけ)

1. まったくない
2. ほとんどない
3. 時々ある
4. その他 ()

問 12 宛名のお子さんの歯みがきの様子についてお聞きします。(○は1つだけ)

1. 1日2回以上
2. 1日1回
3. 毎日みがない
4. その他 ()

問 13 お子さんは歯みがき剤を使用していますか。(○は1つだけ)

1. 使用している
2. 使用していない
3. その他 ()

問 13で歯みがき剤を「1. 使用している」と答えた方にお聞きします。

問 13-1 一般的にはお子さんのむし歯予防のためフッ素入り歯みがき剤が推奨されておりますが、お子さんが使用している歯みがき剤は、フッ素入り(フッ化物配合)ですか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ
3. フッ素入りかわからない

問 14 お子さんの歯みがきで、保護者の方が仕上げみがきをすることがありますか。(○は1つだけ)

1. ほぼ毎日している
2. 時々している
3. していない

問 15 お子さんは歯科医院で治療や定期的な歯科チェックを受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている
2. 受けていない
3. その他 ()

ご家庭の経済状況についてお聞きします。

問 16 宛名のお子さんと同居している方の人数をご記入ください。単身赴任をしている家族も含めてください。

同居している方(あなたも含め) 人

問 17 あなたの家族の現在の暮らしの状況についてお聞きします。(○は1つだけ)

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. 普通
4. やや苦しい
5. 大変苦しい

問 18 お子さんと世帯を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入(年間のボーナス含む額面額)」をお聞きします。(○は1つだけ)

1. 0円
2. 1~50万円未満
3. 50~100万円未満
4. 100~200万円未満
5. 200~300万円未満
6. 300~400万円未満
7. 400~500万円未満
8. 500~600万円未満
9. 600~700万円未満
10. 700~800万円未満
11. 800~900万円未満
12. 900~1,000万円未満
13. 1,000万円以上
14. 不明

問 19 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由での月々の料金の支払い、家賃、その他の返済ができていないことがありますか。(それぞれ○は1つだけ)

項目	あった	なかった	該当しない
① 食料品(嗜好品除く)	1	2	3
② 衣類(高価な衣類や貴金属・宝飾品除く)	1	2	3
③ 光熱費のいずれか	1	2	3
④ 携帯電話料金	1	2	3
⑤ 家賃	1	2	3
⑥ その他	1	2	3

ヤングケアラーについてお聞きします。

問 20 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は聞いたことがある 3. 知らない

問 20-1 「1. 言葉も内容も知っている」と答えた方にお聞きします。

問 20-1 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。

(○はいくつでも)

1. 子ども本人に様子を見る
2. 自分の家族、知人、友人に相談する
3. 学校の先生や部活の顧問等に相談する
4. 関係機関（子ども家庭支援センターなど）に相談する
5. 何もしない
6. わからない
7. その他（ ）

子育て全般についてお聞きします。

問 21 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。(○は1つだけ)

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることも辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他（ ）

問 22 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

(1) (2) それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

1. 成長や発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育て支援サービスのこと
4. 子どものしつけに関すること
5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
6. 子どもの教育・保育に関すること
7. 子どもの友だちづきあいにに関すること
8. 子どもの登所・登園拒否・不登校など
9. 特になし

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにもきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
11. 特になし
12. その他（ ）

問 27 これまで、子どもに対して、思わなかったり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありましたか。(それぞれ○は1つだけ)

項目	全くない	少しだけ	時々	たいてい	いつも
① からだ(尻・手・足・顔・顔など)をたたく	1	2	3	4	5
② 大声でしかる	1	2	3	4	5
③ なくる	1	2	3	4	5
④ 屋外に締め出す	1	2	3	4	5
⑤ 無視をする	1	2	3	4	5
⑥ 食事を与えない	1	2	3	4	5
⑦ 子どもが傷つくようなことを繰り返し言う	1	2	3	4	5
⑧ 夜間、子どもだけを強して外出する	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの目の前で大便をかをする	1	2	3	4	5
⑩ 子どもの目の前でタバコを吸う	1	2	3	4	5
⑪ 子どもの世話をよりゲームやスマートフォン等を優先する	1	2	3	4	5

子どもの権利についてお聞きします。

※ 『子どもの権利』とは、1989年に国連総会で採択された「児童の権利に関する条約」において、締約国が尊重し、確保することが定められている権利です。条約における次の4つの原則は、日本の子どもに関する基本的な法律である「こども基本法」にも取り入れられています。

- ①差別の禁止(差別のないこと)
- ②子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)
- ③生存、生存及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)
- ④子どもの意見の尊重(子どもが意味のある参加ができること)

問 28 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(○は1つだけ)

1. 常にしている	2. ときどきしている
3. あまりしていない	4. まったくしない

問 29 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている	2. 名前知っているが内容は知らなかった
3. 知らなかった	

問 23 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくること	
2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やすこと	
3. 子育てサークル等のグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくること	
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくること	
5. 子どもと親が一緒にできる活動を増やすこと	
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくること	
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動すること	
8. その他()	
9. 特に必要ない	

問 24 日常生活において孤立感を感じますか。(○は1つだけ)

1. 全く感じない	2. あまり感じない	3. やや感じる
4. 強く感じる	5. わからない	

問 25 あなたは地域の人から見守られていると思いますか。(○は1つだけ)

1. とても見守られている	2. どちらかと言えば見守られている
3. どちらとも言えない	4. どちらかと言えば見守られていない
5. まったく見守られていない	6. よくわからない

問 26 過去 30 日の間にどれくらい頻度で次のことがありましたか。(それぞれ○は1つだけ)

項目	全くない	少しだけ	時々	たいてい	いつも
① 理由もなく疲れ切ったように感じた	1	2	3	4	5
② 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
③ どうしても落ち着けないうらいに、神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
④ 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
⑤ そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
⑥ じっと座っていられないほど、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
⑦ ゆううつに感じた	1	2	3	4	5
⑧ 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
⑨ 何をしても面倒だと感じた	1	2	3	4	5
⑩ 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問題33 市の情報（子育て情報、災害情報など）をどの方法で知りたいですか。（〇はいくつでも）

1. 情報
3. 市公式 SNS [X (旧 Twitter)、Facebook、LINE]
5. ポスター
7. その他 ()
2. 市公式ホームページ
4. 市からの郵便物
6. パンフレット

問34 東大和市における子育ての環境や支援への満足度についてお聞きします。(〇は1つだけ)



問35 今後も東大和市で子育てを続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う
 2. 思わない

問 36 県大和市における子育ての制度や支援についての希望や要望等をご記入ください。

また、子育てをする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。父親の子育て等の状況などを含め、ご自由にご記入ください。

This image shows a single page of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, leaving small margins at the top and bottom. There are no vertical margin lines, text, or other markings on the page.

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
三つ折りにし、切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

3 中学生

東大和市子ども・若者・子育て支援ニーズ調査 ご協力をお願い

中学生

日頃から、東大和市政へのご理解、ご協力をいただいております。
さて、東大和市中では、子ども・子育てに関する施策や事業を推進するための、子育てを総合的に支援する計画「東大和市子ども・子育て未来プラン」の次期計画の策定を予定しています。
新たな計画策定に向けて、中学生の皆様の生活実態やご要望・ご意見を把握し、今後の計画に反映させていくため、本調査にご協力をお願いいたします。
この調査は、未成年者の保護者、小学生の保護者、中学生、高校生相当の年齢の方、18～30歳の若者を対象にしております。令和5年12月1日現在で本市に在住する各年代の方を無作為に選ばせていただきます。調査にご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

令和6年2月

東大和市長 和地 仁美

【ご記入に当たってのお願い】

- ◇調査票の記入について（回答時間はおよそ15分程度です）
 - ・この調査は対面の宛名のご本人が対象となります。
 - ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの希望を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
 - ・令和6年1月1日現在の内容をご記入ください。
 - ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に記入ください。
 - ・設問によって、○をつけていただく数を() 内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

- ・回答は郵送またはインターネットで行うことができます。
- ・インターネットでの回答は下記のURLまたは二次元コードからアクセスしてください。インターネットで回答した場合は、この調査用紙の提出は不要です。



URL: <https://questant.jp/c/8816ER0K>

ID: 000000

- ・ご記入いただいたアンケートはインターネットから回答もしくは同封の返信用封筒に入れ、**令和6年3月4日（月）**までに、お近くの郵便ポストへ投函してください。切手は必要ありません。

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【調査の趣旨に関すること】

東大和市子ども未来部子育て支援課

子育て推進係

所在地 東大和市中央 3-230

電話 042-563-2111（内線 1765）

FAX 042-563-5928

e-mail kosodoshie@city.higashiyama.lg.jp

【設問の内容に関すること】

株式会社 名量（委託業者）

所在地 愛知県名古屋市中区松原 2-2-33

電話 052-322-0071

FAX 052-322-0130

東大和市中では、すべての若者が、誰ひとり残されず夢と希望を持って成長・活躍していけるよう、日常生活や社会生活の自立と安定を目標とした支援の方針を検討しています。

このアンケートでは、皆さんの普段のくらしの様子や、どのような気持ちで過ごしているのか、将来どのようなのかについて、大人を通じてではなく、皆さんから直接の回答をいただきたいと思います。市内の中学生・高校生世代の皆さんに調査への協力を願うことになりました。

お答えいただいた内容は、東大和市中で行うさまざまな施策や取組に反映していきたいと考えています。施策や取組をより皆さん自身の意見や希望に沿ったものとするために、どうぞ皆さんの本音の気持ちや考えを教えてください。

※回答にあたって適切な場合は、市にお問い合わせください。

いただいた回答は他域の子育て支援の充実に生かされます



東大和市中子ども・子育て未来プラン
全体的子ども・若者・子育て環境を総合的に支援する計画
計画に基づいて実施
計画に基づいて実施

- ①子ども・若者の権利を守り、最善の利益を図る
- ②子ども・若者や子育て当事者とともに計画を推進
- ③ライフステージに応じた切れ目ない支援
- ④良好な成長環境の確保と、貧困・格差の解消
- ⑤若い世代の生活基盤の充実確保と結婚・子育ての希望を支援
- ⑥施策の総合性を確保



みんなで一緒に
東大和の未来をつくるべえ

1 あなたの事について

問1 あなたの性別・学年をお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

①性別

1. 男	2. 女	3. 答えたくない

②学年

1. 一年	2. 二年	3. 三年

③学校

1. 第一中学校	2. 第二中学校	3. 第三中学校
4. 第四中学校	5. 第五中学校	6. その他

問2 普段から次のことをしていますか。(それぞれ○は1つだけ)

①早寝早起きをする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

②朝食をとる。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

③あいさつ・お礼をする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

④物を大切にする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑤お手伝いをする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑥約束を守る。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑦料理をする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑧後片付けをする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑨からだを清潔に保つ。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑩公共の場所で騒がない。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

問3 次のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つだけ)

①自分のことが好きである。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

②好きなこと・やりたいことがある。

1. とてもある	2. だいたいある
3. あまりない	4. まったくない

③人前で自分の意見をきちんと言える。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

④自分に自信がなくなる時がある。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑤困難があっても最後までやりとげようとする。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑥時間を自分で決めて行動できる。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑦自分は愛されていると感じる。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑧新しい友達をつくる自信がある。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑨他の人に比べて物事をうまく進めることができる。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

問4 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。(○は1つだけ)

1. 午前6時より前	2. 午前6時～6時29分
3. 午前6時30分～6時59分	4. 午前7時～7時29分
5. 午前7時30分～7時59分	6. 午前8時～8時29分
7. 午前8時30分以降	

問5 あなたは歯みがきをどのくらいしますか。(○は1つだけ)

1. 1日2回以上歯みがきをする	2. 1日1回歯みがきをする
3. ときどき歯みがきをする	4. ほとんど歯みがきしない

問6 あなたは、次の日に学校がある日はだいたい、何時ごろに寝ますか。(○は1つだけ)

1. 午後9時より前	2. 午後9時～9時29分
3. 午後9時30分～9時59分	4. 午後10時～10時29分
5. 午後10時30分～10時59分	6. 午後11時～11時29分
7. 午後11時30分～11時59分	8. 午前0時～0時29分
9. 午前0時30分～0時59分	10. 午前1時以降

問7 あなたは、夕ごはんを子どもだけで食べることがありますか。(○は1つだけ)

1. よくある	2. ときどきある
3. ほとんどない	4. まったくない

問8 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。(○はそれぞれ1つだけ)

そう思う	そう思うかどうかといえ	そう思うかどうかといえ	そう思うかどうかといえ	そう思うかどうかといえ
(1) 自分にはよいところがあると思う	1	2	3	4
(2) 自分には将来の夢や目標がある	1	2	3	4
(3) 頑張ればいいことがある	1	2	3	4
(4) 失敗することも自分の成長につながると思える	1	2	3	4
(5) 何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる	1	2	3	4

2 あなたと親(保護者)の関係について

問9 あなたは親(保護者)とどのくらい話をしていますか。(○は1つだけ)

1. よく話をしている	2. 時々話をしている
3. あまり話をしない	4. 話をしない

問10 親(保護者)とどんな話をしますか。(○はいくつでも)

1. 学校の話	2. 勉強の話	3. 友達の話
4. 遊びの話	5. 家族の話	6. 恋愛の話
7. その他()		

問11 親(保護者)と一緒に食事を食べますか。(○は1つだけ)

1. よく一緒に食べる	2. 時々一緒に食べる
3. あまり一緒に食べない	4. 一緒に食べない

問12 親(保護者)と一緒に出かけけることはありますか。(○は1つだけ)

1. よく一緒に出かけける	2. 時々一緒に出かけける
3. あまり一緒に出かけない	4. 一緒に出かけない

問13 親(保護者)からきつい言葉で怒られたり、強くたたかれたり、食事をもらえなかったりしたことはありますか。(○は1つだけ)

1. まったくない	2. たまにある	3. 時々ある
4. 以前はあった	5. よくある	

問 14 親（保護者）に暴力をふるってしまったことはありませんか。（○は1つだけ）

1. まったくない 2. たまにある 3. 時々ある
4. 以前はあった 5. よくある

3 学校や友人について

問 15 学校は毎日楽しいですか。（○は1つだけ）

1. とても楽しい 2. まあまあ楽しい
3. あまり楽しくない 4. まったく楽しくない
5. どちらともいえない

問 15で「1. とても楽しい」「2. まあまあ楽しい」と答えた方にお聞きします。

問 15-1 楽しい理由をお答えください。（○はいくつでも）

1. 授業がおもしろい 2. 試験等で努力に対しての結果がわかる
3. 友達と会える 4. 先生が好き
5. 自由な雰囲気がある 6. 部活動が好き
7. 文化祭や体育祭等の行事が好き 8. その他（ ）

問 15で「3. あまり楽しくない」「4. まったく楽しくない」と答えた方にお聞きします。

問 15-2 楽しくない理由をお答えください。（○はいくつでも）

1. 授業がつまらない 2. 試験が大変
3. 友達が少ない・いない 4. 先生が好きになれない
5. 生活指導がきびしい 6. その他（ ）

問 16 あなたと友達・クラス・学校との距離について下記の項目それぞれにあてはまるものをお答えください。（それぞれ○は1つだけ）

①自分の気持ちをわかってくれる友達がいる。

1. たくさんいる 2. まあまあいる
3. あまりいない 4. まったくいない

②自分を友達に理解してもらおうと努力している。

1. している 2. 少ししている
3. あまりしていない 4. まったくしていない

③誰とでも仲良くなれる。

1. とても仲良くなれる 2. だいたい仲良くなれる
3. あまり仲良くなれない 4. まったく仲良くなれない

④友達の言いなりになってしまう。

1. 全然ない 2. あまりない 3. 時々ある 4. いつもある

⑤大勢の仲間といくと仲間はずれにあったように感じる。

1. 全然ない 2. あまりない 3. 時々ある 4. いつもある

⑥友達といるときに自分が無理をしていると感じる。

1. 全然ない 2. あまりない 3. 時々ある 4. いつもある

⑦人前で思っていることをうまくいえない。

1. 全然ない 2. あまりない 3. 時々ある 4. いつもある

⑧友達から頼まれると断れない自分が嫌い。

1. 全然ない 2. あまりない 3. 時々ある 4. いつもある

⑨自分がどう思われているかが気になる。

1. 全然ない 2. あまりない 3. 時々ある 4. いつもある

⑩友達に気に入られたいと思う。

1. いつもある 2. 時々ある 3. あまりない 4. 全然ない

問 17 学校で人をいじめたり、無視したことがありますか。(○はい一つだけ)

1. ない	2. 少しある	3. 時々ある
4. 以前はあった	5. よくある	

問 18 学校で誰かにいじめられたり、無視されたことがありますか。(○はい一つだけ)

1. ない	2. 少しある	3. 時々ある
4. 以前はあった	5. よくある	

問 19 不登校になっている同級生や身近な人について。(それぞれ○はい一つだけ)

①不登校の同級生や身近な人についてあなたはどのように感じていますか。

1. 不登校になるのは仕方がない	2. 不登校もひとつの国民的だと思う
3. かわいそうだ	4. 疑問に思う
5. 自分には関係ない	6. その他 ()

②不登校の同級生や身近な人に対して自分にできることは何だと感じていますか。

1. 一緒に考える	2. 相談や悩みを聞く
3. 先生や保護者で相談相手を探す	4. 見守る
5. 自分にできる事はない	6. その他 ()

問 20 あなたは今、悩みがありますか。(○はい一つだけ)

1. ある	2. ない	3. わからない

問 20で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 20-1 どんなことに悩んでいるかをお答えください。(○はいいくつでも)

1. 勉強のこと	2. 身体のこと	3. 友達のこと
4. いじめのこと	5. 先輩・後輩のこと	6. 家族のこと
7. 恋愛のこと	8. その他 ()	

問 21 困ったとき、誰に相談をしますか。(○はいいくつでも)

1. 友達	2. 父親	3. 母親
4. きょうだい	5. その他の親戚	6. 学校の職員・先生
7. 塾や習い事の先生	8. 自分で解決する	
9. 相談したいが、相談できる人がいない		
10. その他 ()		

問 22 どのような仲のよい友達がありますか。(○はいいくつでも)

1. クラス・校内の友達	2. 部活動の仲間	3. 学習塾の友達
4. 習い事の友達	5. スポーツ教室の友達	6. 地域の幼なじみ
7. SNS上の友達	8. 仲のよい友達はいない	

問 23 あなたは自分専用として、次のものを持っていますか。(○はいいくつでも)

1. テレビ	2. スマートフォン等
3. ポータブルゲーム機(通信機能付)	4. パソコン・タブレット端末
5. 自分の部屋	6. この中にはひとつもない

問 23で「2～4」と答えた方にお聞きします。

問 23-1 利用について家族でちゃんと取り決めをして使っていますか。(○はい一つだけ)

1. 取り決めをして使っている	2. 取り決めはなく、自由に使っている

問 23-2 SNS等のインターネットに夢中になっていると感じますか。(○はい一つだけ)

1. 感じる	2. 感じない	3. その他 ()

問 23-3 SNS等で、インターネット上でやり取りした相手からの言動等で嫌な思いや怖い思いをしたことがありますか。(○はい一つだけ)

1. よくある	2. たまにある	3. 以前にあった
4. まったくない		

問 23-4 ソーシャルゲーム等に課金をして、お金を使いすぎてしまったことがありますか。(○はい一つだけ)

1. よくある	2. たまにある	3. 以前にあった
4. まったくない		

問 24 友達とコミュニケーションを図るときに使っている方法は次のうちどれですか。(○は3つまで)

1. 家の電話での会話	2. スマートフォン等での会話やメール
3. SNS等でのやり取り	4. 直接会っての会話
5. その他 ()	

問 25 自分にとって、とても大切だと思う友達とはどのような人ですか。(○は1つだけ)

1. SNS等を頻繁にする人
2. 一緒によく遊ぶ人
3. お互いの悩みを相談しあえる人
4. 大切なことを分かち合える人
5. その他 ()

4 放課後や休日について

問 26 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(○は1つだけ)

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

※ 前の問で「3～4」に○をした人にお聞きします。

問 26-1 楽しくない理由は何か。(○はいくつでも)

1. 一緒にいる友だちがいないから
2. いやな友だちがいるから
3. 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから
4. 自由がないから
5. 家で心配なことがあって、集中できないから
6. その他 ()
7. 特にない

問 27 普段、学校が終わって家に帰ると、家に帰かいますか。(○は1つだけ)

1. いる
2. 家にいるが、仕事をしている
3. いない
4. 日による

問 28 あなたは放課後に誰と過ごすことが一番多いですか。(○は1つだけ)

1. 家族の大人
2. 家族以外の大人
3. 学校の友だち
4. 学校以外の友だち
5. きょうだい
6. 一人である
7. その他 ()

問 29 学校が終わってから友達とどんな事をして過ごしていますか。(○は3つまで)

1. 公園等の広場で遊ぶ
2. テレビゲーム (携帯ゲーム) をする
3. 図書館等で勉強する
4. 友達としゃべる・遊ぶ
5. 家でテレビ・動画等を見る
6. 児童館に行く
7. ゲームセンター等に行く
8. 友達と過ごさない
9. その他 ()

問 30 あなたは放課後過ごすのに、どんな公共施設があると行ってみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 広いスペース
2. 飲食ができるスペース
3. 待合スペース
4. 19～20時くらいまで開館している
5. Wi-Fi環境が整備されている
6. 気軽に相談に乗ってくれるスタッフががいる
7. その他 ()

問 31 自宅に1人している時はどんなふうに過ごしていますか。(○は3つまで)

1. 雑誌・マンガを読む
2. 雑誌やマンガ以外の本を読む
3. 勉強をする
4. テレビゲーム・携帯ゲームをする
5. テレビ・動画等を見る
6. パソコン・タブレット端末を使う
7. スマートフォン等を使う
8. 音楽を聴く
9. ポーッとしている・寝ている
10. その他 ()



問 32 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(○は1つだけ)

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない 4. 楽しくない

※問で「3～4」に○をした人にお聞きします。

問 32-1 楽しくない理由は何か。

7 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. いつも一人だから
2. 家族にいやなことを言われるから
3. 家族に暴力をふるわれることがあるから
4. 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから
5. 家事や自らのことで自由がないから
6. 家で心配なことがあって、集中できないから
7. その他 ()
8. 特になし

問 33 自由な時間が今より増えたらどんなことをして過ごしたいですか。(○は3つまで)

1. 家族と話ししたり出かけたりする 2. 家でのんびりする
3. 友達と過ごす 4. 塾や習い事をする
5. 学校で部活動をする 6. 図書館等に行く
7. 家で勉強をする 8. テレビや動画等を見る
9. ゲームをして過ごす 10. 映画、スポーツ観戦をする
11. デートをする 12. 家事を手伝う
13. マンガを読む 14. その他 ()

問 34 普段、学校や地域で活動している事は何か。(○はいくつでも)

1. 学校の部活動 2. 学校外のクラブやサークル
3. 定期的にボランティア活動 4. 仲間とバンド等グループで活動
5. 自治会等の地域イベントに参加
6. その他 ()
7. 特に活動しているものはない

問 35 あなたが何かに熱中したり夢中にになれるのはどんなときですか。(○はいくつでも)

1. スポーツや趣味の活動をしているとき 2. 勉強をしているとき
3. 友達や仲間といるとき 4. 家族といるとき
5. ボランティア活動をしているとき 6. ゲームをしているとき
7. マンガを読んでいるとき 8. 本を読んでいるとき
9. SNS等をしているとき 10. その他 ()
11. 熱中したり夢中になることはない

5 あなたの将来について

問 36 あなたは将来どの段階まで進学したいですか。(○は1つだけ)

1. 中学まで 2. 高校まで 3. 短大・高専・専門学校まで
4. 大学またはそれ以上 5. まだわからない

※問で「1～4」に○をした人にお聞きします。

問 36-1 その理由を答えてください。(○はいくつでも)

1. 希望する学校や職業があるから 2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから 4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから 6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他 ()
9. とくに理由はない

問 37 将来の職業についてお聞きします。

①将来の職業のイメージをぼんやりとも思い描くことはできますか。(○は1つだけ)

1. できる 2. できない

②仕事に対するイメージについて、あなたの考えをお答えください。(○はいくつでも)

1. お金を稼ぐことができる 2. 人生のやりがい・夢の実現
3. 仕事を通していろいろな経験ができる 4. 親や周りの期待に応えるために働く
5. 家族や家庭を持つために必要 6. 働くのは当たり前のことである
7. 仕事は大変そうである 8. 自由な時間が少なくなる
9. わからない 10. その他 ()

③職業のイメージを具体的にするために役立つものはなんでしょうか。(○は3つまで)

1. 職場の体験・見学	2. ネットやインターネットの情報
3. 卒業生等、先輩の話聞く	4. 親の仕事の話聞く
5. 親の職場を見学する	6. 知り合いの大人の話聞く
7. 友人と職業について話し合う	8. その他()

問38 学業を終えて社会に出た時の事を考えて、どのようなことを不安に思っていますか。(○はいくつでも)

1. 自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安
2. ちゃんとした収入を得て生活をしていけるか不安
3. 自分に合う人を見つけて結婚ができるか不安
4. 社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安
5. 何となく不安
6. 経済・社会状況がどうなっているか不安
7. 特に不安に思うことはない
8. その他()

問39 家族のあり方についてお聞きします。

①結婚についてどう思いますか。(○は1つだけ)

1. するのは当たり前と思う	2. した方がいいと思う
3. しない方がいいと思う	4. どちらでもいいと思う
5. わからない	
6. その他()	

②将来結婚した場合、家事や育児はどのようにするのがよいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 夫も妻も収入のある仕事を持ち、協力して家事・育児をするのがよいと思う
2. 夫が主に収入のある仕事を持ち、妻は主に家事・育児をするのがよいと思う
3. 妻が主に収入のある仕事を持ち、夫は主に家事・育児をするのがよいと思う
4. わからない
5. その他()

③欲しい子どもの人数は何人ですか。(○は1つだけ)

1. 1人	2. 2人	3. 3人以上
4. あまり欲しくない	5. 全く欲しいとは思わない	6. わからない

④子どもを持つことのイメージについて、あなたの考えをお答えください。(○は3つまで)

1. 当然子どもは持って育てたいと思う	2. 自分の子どもはかわいいと思う
3. 老後が安心である	4. 子どもを通して人間として成長できる
5. 親の期待に応えられる	6. 自由な時間がなくなる
7. 子育てはお金がかかり負担が大きい	8. 子どもはめんどろだ
9. 社会環境が悪化しているので心配	10. その他()
11. わからない	

6 子どもの権利について

令和2(2020)年、東大和市に住むすべての人たちが、みんなて明るく未来を担い、それぞれが、自分らしく成長していけるように、「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」をつくりました。「やくそく」には、子どもと大人、それぞれがお互いに呼びかけ合い、お互いの心を通い合わせるといふ想いを込めました。



詳しくはこちらの二次元コードよりアクセスしてください。



問40 東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)を知っていますか?

(○は1つだけ)

1. 知っている	2. 聞いたことはある	3. 知らない

問41 あなたは、自分を大切にしていますか。(○は1つだけ)

1. している	2. していない	3. わからない

問42 あなたは、他の人を大切にしていますか。(○は1つだけ)

1. している	2. していない	3. わからない

問43 あなたは、社会のルールを守るように努めていますか。(○は1つだけ)

1. 努めている	2. まあまあ努めている
3. あまり努めていない	4. まったく努めていない

問 44 あなたの権利は、守られていると感じますか。(○は1つだけ)

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

問 45 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う 2. 思わない
3. わからない 4. いえない

問 46 あなたは、親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありませんか。(○は1つだけ)

1. 思う 2. 思わない
3. わからない 4. いえない

前の問で「1」に○をした人にお聞きします。

問 46-1 それはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 家族にとって重要なこと 2. 家族の旅行など遊ぶこと
3. 道路や通学のこと 4. 新聞やテレビの話題のこと
5. その他()

問 47 あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか。もしたか。(○はいくつでも)

1. 親(保護者)から、たたかれる、なぐられる
2. 親(保護者)から、心を傷つけられる言葉を言われる
3. 親(保護者)から、自分をばったらかしにされる
4. 学校や施設(児童館・児童センター・学童クラブなど)の先生や職員から、たたかれる、なぐられる
5. 学校や施設(児童館・児童センター・学童クラブなど)の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われる
6. 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチなどから、たたかれる、なぐられる
7. 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチなどから、心を傷つけられる言葉を言われる
8. 知らない大人に、声をかけられる、追いかけられる
9. その他()
10. ない
11. 答えたくない

問 48 あなたは、これまで友だちや先輩から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 友だちや先輩などから、無視される
2. 友だちや先輩などから、暴力をふるわれる
3. 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる
4. 友だちや先輩などから、物や金をとられる
5. 友だちや先輩などから、はずかしいことをおとりやりさせられる
6. その他()
7. ない
8. 答えたくない

問 49 あなたは、社会の一員として責任と役割を理解し、果たすよう努めていますか。(○は1つだけ)

1. 努めている 2. まあまあ努めている
3. あまり努めていない 4. まったく努めていない

問 50 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(○はいくつでも)

『子どもの権利』とは、1989年に国連総会で採択された「児童の権利に関する条約」において、締約国が尊重し、確保することが定められている権利です。条約における次の4つの原則は、日本の子どもに関する基本的な法律である「子ども基本法」にも取り入れられています。

- ①差別の禁止(差別のないこと)
②子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)
③生命、生存及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)
④子どもの意見の尊重(子どもが意味のある参加ができること)

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 障がいのある子が差別されないこと
3. 子どもが知りたいことを聞かないこと
4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分をさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な呼び掛けてグループを作り集まれること
12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられる

7 ヤングケアラーについて

問 51 家族の中にあなたがお世話している人はいいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(○はいっだけ)

1. いる 2. いない

前の問で「1」に○をした人にお聞きします。

問 51-1 あなたは誰のお世話をしていますか。(○はいくつでも)

1. 母親 2. 父親
3. 祖母 4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 ()

問 51-2 その人のために何をしていますか。(○はいくつでも)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) 2. きょうだいの世話
3. 身体的な介護 (入浴やトイレの世話等) 4. 通院の付き添い
5. 感情面のサポート (ぐちを聞く、話し相手になるなど)
6. 見守り 7. 通訳 (日本語や手話など)
8. 金銭管理 9. 薬の管理
10. その他 ()

問 51-3 どのくらいお世話をしていますか (頻度)。(○はいっだけ)

1. ほぼ毎日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日
4. 1か月に数日 5. その他 ()

問 51-4 どのくらいお世話をしていますか (1日当たりの時間)。(○はいっだけ)

1. 3時間未満 2. 3時間以上7時間未満
3. 7時間以上12時間未満 4. 12時間以上

問 51-5 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
(○はいくつでも)

1. 学校を休みがちになっている 2. 学校への遅刻が多い
3. 勉強ができない 4. 勉強の時間が充分に取れない
5. 授業に集中できない 6. 成績が落ちた
7. 友人と遊ぶことができない 8. 周囲の人と会話や話題が合わない
9. ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる
10. ストレスを感じている 11. 睡眠不足
12. しっかり食べていない 13. 体がだるい
14. 自分の時間が取れない 15. 進路についてしっかり考える余裕がない
16. 受験の準備ができていない 17. アルバイトができていない
18. 特に影響はない

問 51-6 お世話について相談した経験がありますか。(○はいっだけ)

1. ある 2. ない

問 51-7 お世話について相談した相手は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 家族 (父、母、祖父、祖母、きょうだい) 2. 親戚 (おじ、おば)
3. 友人 4. 学校の先生
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その他病院の人 8. 市役所や保健所の人
9. ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人
10. SNS上での知り合い
11. その他 ()

8 社会環境について

問 52 親や学校の先生以外の大人からほめられたり、注意されたことがありますか。

(それぞれ○は1つだけ)

①ほめられたこと。

1. ある

2. ない

②注意されたこと。

1. ある

2. ない

問 53 小学校にまだ通っていない小さい子どもと接することについてお聞きします。最近、小さい子どもと接しましたか。(○は1つだけ)

1. 接した

2. 接していない → 問 53-2へ

問 53で「1. 接した」と答えた方にお聞きします。

問 53-1 接してみてもどう感じましたか。(○は1つだけ)

1. かわいかった

2. 大事にしたいと思った

3. あまり好きになれなかった

4. どう接していいのかわからなかった

5. 面倒くさかった

6. その他 ()



ひらっ

あともう少しだよ〜

問 53で「2. 接していない」と答えた方にお聞きします。

問 53-2 接してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う

2. 思わない

問 53-2で「2. 思わない」と答えた方にお聞きします。

問 53-2-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 子どもには関心がない

2. うるさい

3. 手に負えない

4. どう接したらいいかわからない

5. その他 ()

問 54 放課後、休日、夏休みなどにボランティアをしたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある

2. 今まではないがこれからしてみたい

3. 今までもないしこれからもするつもりはない → 問 54-2へ

問 54で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 54-1 ボランティアをしてみてもどう感じましたか。(○はいくつでも)

1. 活動の内容が面白かった

2. 友達ができよかった

3. 人に喜ばれてうれしかった

4. なんとなくすがすがしい気分になった

5. つかれた

6. つまらなかった

7. その他 ()

問 54で「3. 今までもないしこれからもするつもりはない」と答えた方にお聞きします。

問 54-2 それはどうしてですか。(○は1つだけ)

1. 忙しくて時間がない

2. どんなことをしたら良いかわからない

3. ボランティアに関心がない

4. その他 ()

9 最後に

問 55 今の生活についてどう思いますか。(○は1つだけ)

1. 満足している 2. まあまあ満足している
3. 普通 4. 少し不満
5. とても不満

→ 問 55-2へ

問 55で「1. 満足している」「2. まあまあ満足している」と答えた方にお聞きします。

問 55-1 そう思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. これといった悩みがない 2. 家族の仲がいい
3. 友人関係がうまくいっている 4. 学校生活が楽しい
5. 趣味に打ち込んでいる 6. 将来の夢に向かってがんばっている
7. その他 ()

問 55で「4. 少し不満」「5. とても不満」と答えた方にお聞きします。

問 55-2 そう思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 家族との仲がうまくいっていない 2. 友達とうまくいっていない
3. お金が足りない 4. バイトで忙しい
5. 部活動・塾で忙しい 6. 悩んでいる・困っていることがある
7. その他 ()

問 55-2で「3. お金が足りない」と答えた方にお聞きします。

問 55-3 欲しい物で買えない・買ってもらえない物はありますか。(○はいくつでも)

1. 文房具 2. 雑誌・本 3. 服・鞋
4. カバン・アクセサリ 5. スマートフォン 6. ゲーム機
7. 楽器 8. スポーツ用品
9. その他 ()

問 55-4 買えない・買ってもらえない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 高額のため 2. 不要と言われた
3. 置き場所がない 4. 自分で買えるお金がない
5. 家族にお金がないので頼めない 6. お金はあるが家族に頼めない
7. その他 ()

問 56 あなたは、将来どのような大人になりたいですか。(○は2つまで)

1. 社会に貢献したい
2. 有名人になりたい
3. 自分の個性や才能を生かしたい
4. お金持ちになって豊かな生活したい
5. 好きなことをしながら生活したい
6. 家族や周りの人たちと円満に楽しく暮らしたい
7. 思いやりのあるやさしい人になりたい
8. その他 ()
9. わからない・特にない

問 57 市の情報（イベント情報、災害情報など）をどの方法で知りたいたいですか。
(○はいくつでも)

1. 市報 2. 市公式ホームページ
3. 市公式 SNS (X (旧 Twitter)、Facebook、LINE) 4. 市からの郵送物
5. ポスター 6. パンフレット
7. その他 ()

○東大和市に取り組んでほしいことがありましたら、自由にご記入ください。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

三つ折りにし、切手は貼らずに同封の封筒でポストに入れてください。

1 あなたの事について

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男	2. 女	3. 答えたくない

問2 普段から次のことをしていますか。(それぞれ○は1つだけ)

①早寝早起きをする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

②朝食をとる。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

③あいさつ・お礼をする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

④物を大切にす。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑤お手伝いをする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑥約束を守る。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑦料理をする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑧後片付けをする。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑨からだを清潔に保つ。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

⑩公共の場所で騒がない。

1. できている	2. だいたいできている	3. できていない

問3 次のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つだけ)

①自分のことが好きである。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

②好きなこと・やりたいことがある。

1. とてもある	2. だいたいある
3. あまりない	4. まったくない

③人前で自分の意見をきちんと言える。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

④自分に自信がなくなる時がある。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑤困難があっても最後までやりとげようとする。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑥時間を自分で決めて行動できる。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑦自分は愛されていると感じる。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑧新しい友達をつくる自信がある。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

⑨他の人に比べて物事をうまく進めることができる。

1. とてもあてはまる	2. だいたいあてはまる
3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない

問4 あなたは平日(学校に通っている人は学校がある日)はだいたい朝何時ごろに起きますか。
(○は1つだけ)

1. 午前6時より前
2. 午前6時～6時29分
3. 午前6時30分～6時59分
4. 午前7時～7時29分
5. 午前7時30分～7時59分
6. 午前8時～8時29分
7. 午前8時30分以降

問5 あなたは歯みがきをどのくらいしますか。(○は1つだけ)

1. 1日2回以上歯みがきをする
2. 1日1回歯みがきをする
3. ときどき歯みがきをする
4. ほとんど歯みがきしない

問6 あなたは、平日の前日はだいたい、何時ごろに寝ますか。(○は1つだけ)

1. 午後9時より前
2. 午後9時～9時29分
3. 午後9時30分～9時59分
4. 午後10時～10時29分
5. 午後10時30分～10時59分
6. 午後11時～11時29分
7. 午後11時30分～11時59分
8. 午前0時～0時29分
9. 午前0時30分～0時59分
10. 午前1時以降

問7 あなたは、夕ごはんを子どもだけで食べることがありますか。(○は1つだけ)

1. よくある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. まったくない

問8 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、
あてはまるものに○をしてください。(○はそれぞれ1つだけ)

	そう 思う	そう 思う う	そう 思う う	そう 思う う	そう 思う う
(1) 自分にはよいところがあると思う	1	2	3	4	4
(2) 自分には将来の夢や目標がある	1	2	3	4	4
(3) 頑張ればいいことがある	1	2	3	4	4
(4) 失敗することも自分の成長につながると思える	1	2	3	4	4
(5) 何かをするときは、他の人からどのように見られるか 気になる	1	2	3	4	4

2 あなたと親(保護者)の関係について

問9 あなたは親(保護者)とどのくらい話をしていますか。(○は1つだけ)

1. よく話をしている
2. 時々話をしている
3. あまり話をしない
4. 話をしない

問10 親(保護者)とどんな話をしますか。(○はいくつでも)

1. 学校の話
2. 知恵の話
3. 友達の話
4. 遊びの話
5. 家族の話
6. 恋愛の話
7. その他()

問11 親(保護者)と一緒に食事を食べますか。(○は1つだけ)

1. よく一緒に食べる
2. 時々一緒に食べる
3. あまり一緒に食べない
4. 一緒に食べない

問12 親(保護者)と一緒に出かけることはありますか。(○は1つだけ)

1. よく一緒に出かける
2. 時々一緒に出かける
3. あまり一緒に出かける
4. 一緒に出かける

問13 親(保護者)からきつい言葉で怒られたり、強くたたかれたり、食事をもらえなかった
りしたことはありますか。(○は1つだけ)

1. まったくない
2. たまにある
3. 時々ある
4. 以前はあった
5. よくある

問14 親(保護者)に暴力をふるってしまっことはありますか。(○は1つだけ)

1. まったくない
2. たまにある
3. 時々ある
4. 以前はあった
5. よくある



3 学校や友人について

問 15 学校は毎日楽しいですか。(○は1つだけ)

1. とても楽しい	2. まあまあ楽しい
3. あまり楽しくない	4. まったく楽しくない
5. どちらともいえない	6. 学校に通っていない

問 16 で「1. とても楽しい」「2. まあまあ楽しい」と答えた方にお聞きします。

問 15-1 楽しい理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 授業がおもしろい	2. 試験等で努力に対しての結果がわかる
3. 友達と会える	4. 先生が好き
5. 自由な雰囲気がある	6. 部活動が好き
7. 文化祭や体育祭等の行事が好き	8. その他()

問 15 で「3. あまり楽しくない」「4. まったく楽しくない」と答えた方にお聞きします。

問 15-2 楽しくない理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 授業がつまらな	2. 試験が大変
3. 友達が少ない・いない	4. 先生が好きになれない
5. 生活指導がきびしい	6. その他()

問 16 あなたと友達・クラス・学校との距離について下記の項目それぞれにあってはまるものをお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

①自分の気持ちをわかってくれる友達がいる。

1. たくさんいる	2. まあまあいる
3. あまりいない	4. まったくいない

②自分を友達に理解してもらおうと努力している。

1. している	2. 少ししている
3. あまりしていない	4. まったくしていない

③誰とも仲良くなれる。

1. とても仲良くなれる	2. だいたい仲良くなれる
3. あまり仲良くなれない	4. まったく仲良くなれない

④友達の言いなりになってしまう。

1. 全然ない	2. あまりない	3. 時々ある	4. いつもある

⑤大勢の仲間といると仲間はずれに思ったように感じる。

1. 全然ない	2. あまりない	3. 時々ある	4. いつもある

⑥友達といるとき自分が無理をしていると感じる。

1. 全然ない	2. あまりない	3. 時々ある	4. いつもある

⑦人前で罵っていることをうまくいえない。

1. 全然ない	2. あまりない	3. 時々ある	4. いつもある

⑧友達から頼まれると断れない自分が嫌い。

1. 全然ない	2. あまりない	3. 時々ある	4. いつもある

⑨自分がどう見られているか気になる。

1. 全然ない	2. あまりない	3. 時々ある	4. いつもある

⑩友達に気に入られたいと思う。

1. いつもある	2. 時々ある	3. あまりない	4. 全然ない

問 17 学校で人をいじめたり、無視したことがありますか。(○は1つだけ)

1. ない	2. 少しある	3. 時々ある
4. 以前はあった	5. よくある	



問 18 学校で誰かにいじめられたり、無視されたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ない	2. 少しある	3. 時々ある
4. 以前はあった	5. よくある	

問 19 不登校になっている同級生や身近な人について。(それぞれ○は1つだけ)

①不登校の同級生や身近な人についてあなたはどのように感じていますか。

1. 不登校になるのは仕方がない	2. 不登校もひとつの選択肢だと思う
3. かわいそうだ	4. 疑問に思う
5. 自分には関係ない	6. その他()

②不登校の同級生や身近な人に対して自分にできることは何だと感じていますか。

1. 一緒に考える	2. 相談や悩みを聞く
3. 先生や信頼できる相談相手を探す	4. 見守る
5. 自分にできる事はない	6. その他()

問 20 あなたは今、悩みがありますか。(○は1つだけ)

1. ある	2. ない	3. わからない

問 20で「1. ある」と答えた方にお聞きます。

問 20-1 どんなことに悩んでいるかをお答えください。(○はいくつでも)

1. 勉強のこと	2. 身体のこと	3. 友達のこと
4. いじめのこと	5. 先輩・後輩のこと	6. 家族のこと
7. 恋愛のこと	8. その他()	

問 21 困ったとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

1. 友達	2. 父親	3. 母親
4. きょうだい	5. その他の親戚	6. 学校の職員・先生
7. 塾や習い事の先生	8. 自分で解決する	
9. 相談したいが、相談できる人がいない		
10. その他()		

問 22 どのような仲のよい友達がありますか。(○はいくつでも)

1. クラス・校内の友達	2. 部活動の仲間	3. 学習塾の友達
4. 習い事の友達	5. スポーツ教室の友達	6. 地域の幼なじみ
7. SNS上の友達	8. 仲のよい友達はいない	

問 23 あなたは自分専用として、次のものを持っていますか。(○はいくつでも)

1. デレゼ	2. スマートフォン等
3. ポータブルゲーム機(通信機能付)	4. パソコン・タブレット端末
5. 自分の部屋	6. この中にはひとつもない

問 23で「2～4」と答えた方にお聞きます。

問 23-1 利用について家族でちゃんと取り決めまして使っていますか。(○は1つだけ)

1. 取り決めをして使っている	2. 取り決めはなく、自由に使っている

問 23-2 SNS等のインターネットに夢中になっていると感じますか。(○は1つだけ)

1. 感じる	2. 感じない	3. その他()

問 23-3 SNS等で、インターネット上でやり取りした相手からの言動等で嫌な思いや怖い思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

1. よくある	2. たまにある	3. 以前にあった	4. まったくない

問 23-4 ソーシャルゲーム等に課金をして、お金を使いすぎてしまったことがありますか。(○は1つだけ)

1. よくある	2. たまにある	3. 以前にあった	4. まったくない



問 24 友達とコミュニケーションを回るときに使っている方法は次のうちどれですか。
(○は3つまで)

1. 家の電話での会話	2. スマートフォン等での会話やメール
3. SNS等のやり取り	4. 直接会っての会話
5. その他 ()	

問 25 自分にとって、とても大切だと思う友達とはどのような人ですか。(○は1つだけ)

1. SNS等を頻繁にする人	2. 一緒によく遊ぶ人
3. お互いの悩みを相談しあえる人	4. 大切なことを分かち合える人
5. その他 ()	

4 学校以外の時間（放課後や休日）について

問 26 あなたは学校以外の時間が楽しいですか。(○は1つだけ)

1. 楽しい	2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない	4. 楽しくない

前の問で「3～4」に○をした人にお聞きします。

問 26-1 楽しくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 一緒にいる友だちがいないから |
| 2. いやな友だちがいるから |
| 3. 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから |
| 4. 自由がないから |
| 5. 家で心配なことがあって、集中できないから |
| 6. その他 () |
| 7. 特になし |

問 27 普段、平日の夕方家に帰った時家に誰かいますか。(○は1つだけ)

1. いる	2. 家にはいるが、仕事をしている
3. いない	4. 日による

問 28 あなたは放課後に誰と過ごすことが一番多いですか。(○は1つだけ)

1. 家族の大人	2. 家族以外の大人
3. 学校の友だち	4. 学校以外の友だち
5. きょうだい	6. 一人である
7. その他 ()	

問 29 あなたは放課後にどこで過ごすことが一番多いですか。(○は1つだけ)

1. 自分の家	2. 友だちの家
3. 学校（部活動等）	4. 塾や習いごと
5. 公共施設（図書館・児童センター・体育館など）	7. お店
6. 公園	
8. その他 ()	

問 30 あなたは放課後過ごすのに、どんな公共施設があると行ってみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 広いスペース	2. 飲食ができるスペース
3. 防音スペース	4. 19～20時くらいまで開館している
5. 駅・駅周辺環境が整備されている	
6. 気軽に相談に乗ってくれるスタッフがいます	
7. その他 ()	

問 31 一週間のうち、部活動や塾その他の用事がなく自由に使える日は何日ですか。
(○は1つだけ)

1. 週3日以上	2. 週2日
3. 週1日	4. 自由になる日は無い

問 32 今、アルバイトをしていますか。(○は1つだけ)

1. している	2. していない

問 33 休日等は、どこで誰と何をして過ごしていますか。(○は1つだけ)

①どこで

1. 自宅又は友人宅	2. 学校	3. 公園
4. 図書館・公民館・児童館等の公共施設		5. 街
6. コンビニ	7. ファストフード店等	
8. その他 ()		

②誰と

1. 一人で	2. 友達と	3. 家族と
4. 恋人と	5. その他 ()	

③何をして

1. おしゃべり 2. 勉強する
3. スポーツ等身体を動かして遊ぶ 4. SNS等をする
5. マンガ雑誌を読んだりゲームをする
6. その他 ()

問 34 普段、学校や地域で活動している事はありますか。(○はいくつでも)

1. 学校の部活動 2. 学校外のクラブやサークル
3. 定期的にボランティア活動 4. 仲間とバンド等グループで活動
5. 自治会等の地域イベントに参加 6. その他 ()
7. 特に活動しているものはない

問 35 あなたが何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときですか。(○はいくつでも)

1. スポーツや趣味の活動をしているとき 2. 勉強しているとき
3. 友達や仲間といるとき 4. 家族といるとき
5. ボランティア活動をしているとき 6. ゲームをしているとき
7. マンガを読んでいるとき 8. 本を読んでいるとき
9. SNS等をしているとき 10. その他 ()
11. 熱中したり夢中になることはない

問 36 あなたは自宅にいたときの時間が楽しいですか。(○はいっだけ)

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない 4. 楽しくない

前の問で「3～4」に○をした人にお聞きします。

問 36-1 楽しくない理由はありますか。(○はいくつでも)

1. いつも一人だから
2. 家族にいやなことを言われるから
3. 家族に暴力をふるわれることがあるから
4. 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから
5. 家事や自宅のことで自由がないから
6. 家で心配なことがあって、集中できないから
7. その他 ()
8. 特にない

5 あなたの将来について

問 37 あなたはどの段階まで進学したいですか。(○はいっだけ)

1. 中学まで 2. 高校まで 3. 短大・高専・専門学校まで
4. 大学またはそれ以上 5. まだわからない

前の問で「1～4」に○をした人にお聞きします。

問 37-1 その理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 希望する学校や職業があるから 2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから 4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから 6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他 ()
9. とくに理由はない

問 38 将来の職業についてお聞きします。

①将来の職業のイメージをばんやりとても思い描くことはできますか。(○はいっだけ)

1. できる 2. できない

問 38-1 「2. できない」と答えた方にお聞きします。

できない理由をお答えください。

1. 自分の夢ややりたいことで生活していきけるか不安だから
2. 今考えることではないから(その時になったら考えればいい)
3. 周りの人に合わせようと思うので、考えていない
4. 将来について考える余裕がないから(毎日の生活で精一杯)
5. 将来に夢や希望をもてないから
6. わからない 7. その他 ()

②仕事に対するイメージについて、あなたの考えをお答えください。(○はいくつでも)

1. お金を稼ぐことができる 2. 人生のやりがい・夢の実現
3. 仕事を通していろいろな経験ができる 4. 親や周りの期待に応えるために働く
5. 家族や家庭を持つために必要 6. 働くのは当たり前のことである
7. 仕事は大変そうである 8. 自由な時間が少なくなる
9. わからない 10. その他 ()

③職業のイメージを具体的にするために役立つものには役立ちますか。(○は3つまで)

1. 職場の体験・見学	2. 本やインターネットの情報
3. 卒業生等先輩の話を聞く	4. 親の仕事の話を聞く
5. 親の職場を見学する	6. 知り合いの大人の話を聞く
7. 友人と職業について話し合う	8. その他 ()

問39 学業を終えて社会に出た時の事を考えて、どのようなことを不安に思っていますか。
(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安 |
| 2. ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安 |
| 3. 自分に合う人が見つかって結婚できるか不安 |
| 4. 社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安 |
| 5. 何となく不安 |
| 6. 経済・社会状況がどうなっているか不安 |
| 7. 特に不安に思うことはない |
| 8. その他 () |

問40 家族のあり方についてお聞きします。

①結婚についてどう思っていますか。(○は1つだけ)

1. するのは当たり前だと思う	2. した方がいいと思う
3. しない方がいいと思う	4. どちらでもいいと思う
5. わからない	
6. その他 ()	

②将来結婚した場合、家事や育児はどのようにするのがよいと思えますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 夫も妻も収入のある仕事を持ち、協力して家事・育児をするのがよいと思う |
| 2. 夫が主に収入のある仕事を持ち、妻は主に家事・育児をするのがよいと思う |
| 3. 妻が主に収入のある仕事を持ち、夫は主に家事・育児をするのがよいと思う |
| 4. わからない |
| 5. その他 () |

③欲しい子どもの人数は何人ですか。(○は1つだけ)

1. 1人	2. 2人	3. 3人以上
4. あまり欲しくない	5. 全く欲しいとは思わない	6. わからない

④子どもを持つことのイメージについて、あなたの考えをお答えください。(○は3つまで)

1. 当然子どもは持って育てたいと思う	2. 自分の子どもはかわいいと思う
3. 老後が安心である	4. 子どもを通して人間として成長できる
5. 親の期待に応えられる	6. 自由な時間がなくなる
7. 子育てはお金等かなり負担が大きい	8. 子どもはめんどろ
9. 社会環境が悪化しているのに心配	10. その他 ()
11. わからない	

6 子どもの権利について

令和2(2020)年、東大和市に住むすべての人たちが、みんなて明るいまをを目指し、それぞれが、自分らしく成長していけるように、「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」をつくりました。「やくそく」には、子どもと大人、それぞれがお互いに呼びかけ合い、お互いの心を通じ合わせるといふ思いを込めました。



詳しくはこちらの二次元コードよりアクセスしてください。



問41 東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)を知っていますか?
(○は1つだけ)

1. 知っている	2. 聞いたことはある	3. 知らない

問42 あなたは、自分を大切にしていますか。(○は1つだけ)

1. している	2. していない	3. わからない

問43 あなたは、他の人を大切にしていますか。(○は1つだけ)

1. している	2. していない	3. わからない

問44 あなたは、社会のルールを守るように努めていますか。(○は1つだけ)

1. 努めている	2. まあまあ努めている
3. あまり努めていない	4. まったく努めていない

問45 あなたの権利は、守られていると感じますか。(○は1つだけ)

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

問46 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う 2. 思わない
3. わからない 4. いえない

問47 あなたは、親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありませんか。
(○は1つだけ)

1. 思う 2. 思わない
3. わからない 4. いえない

箱の側で「1」に○をした人にお聞きします。

問47-1 それはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 家族にとって重要なこと 2. 家族の旅行など遊ぶこと
3. 道路や通学のこと 4. 新聞やテレビの話題のこと
5. その他()

問48 あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことが
ありましたか。(○はいくつでも)

1. 親(保護者)から、たたかれる、なぐられる
2. 親(保護者)から、心を傷つけられる言葉を言われる
3. 親(保護者)から、自分をほったらかしにされる
4. 学校や施設(児童館・児童センター・学童クラブなど)の先生や職員から、たたかれ
る、なぐられる
5. 学校や施設(児童館・児童センター・学童クラブなど)の先生や職員から、心を傷つ
けられる言葉を言われる
6. 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチなどから、たたかれる、なぐら
れる
7. 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチなどから、心を傷つけられる言
言を言われる
8. 知らない大人に、声をかけられる、追いかけられる
9. その他()
10. ない
11. 答えたくない

問49 あなたは、これまで友だちや先輩から次のようなことをされて「いやな思い」を
したことがありますか。(○はいくつでも)

1. 友だちや先輩などから、無視される
2. 友だちや先輩などから、暴力をふるわれる
3. 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる
4. 友だちや先輩などから、物や金をとられる
5. 友だちや先輩などから、はずかしいことをおやりやさせられる
6. その他()
7. ない
8. 答えたくない

問50 あなたは、社会の一員として責任と役割を理解し、果たすよう努めていますか。
(○は1つだけ)

1. 努めている 2. まあまあ努めている
3. あまり努めていない 4. まったく努めていない

問51 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(○はいくつでも)

「子どもの権利」とは、1989年に国連総会で採択された「児童の権利に関する条約」において、締約国が尊重し、確保することが定められている権利です。条約における次の4つの原則は、日本の子どもに関する基本的な法律である「こども基本法」にも取り入れられています。

- ①差別の禁止(差別のないこと)
②子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)
③生命、生存及び発達に対する権利(命を守られ成長できること)
④子どもの意見の尊重(子どもが意味のある参加ができること)

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 障がいのある子が差別されないこと
3. 子どもが知りたいことを聞かないこと
4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
12. 必要な情報をもつことや、参加する手助けを受けられる

7 ヤングケアラーについて

問 52 家族の中にあなたがお世話している人はいいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(○は1つだけ)

1. いる 2. いない

注: 問で「1」に○をした人にお聞きします。

問 52-1 あなたは誰のお世話をしていますか。(○はいくつでも)

1. 母親 2. 父親
3. 祖母 4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 ()

問 52-2 その人のために何をしていますか。(○はいくつでも)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) 2. きょうだいの世話
3. 身体的な介護 (入浴やトイレの世話等) 4. 通院の付き添い
5. 感情面のサポート (ぐちを聞く、話し相手になるなど)
6. 見守り 7. 通訳 (日本語や手話など)
8. 金銭管理 9. 家の管理
10. その他 ()

問 52-3 どのくらいお世話をしていますか (頻度)。(○は1つだけ)

1. ほぼ毎日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日
4. 1か月に数日 5. その他 ()

問 52-4 どのくらいお世話をしていますか (1日当たりの時間)。(○は1つだけ)

1. 3時間未満 2. 3時間以上7時間未満
3. 7時間以上12時間未満 4. 12時間以上

問 52-5 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(○はいくつでも)

1. 学校を休みがちになっている 2. 学校への遅刻が多い
3. 勉強ができないう 4. 勉強の時間が充分に取れない
5. 授業に集中できないう 6. 成績が落ちた
7. 友人と遊ぶことができないう 8. 周囲の人と会話や話題が合わない
9. ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる 11. 睡眠不足
10. ストレスを感じている 13. 体がだるい
12. しっかり食べていない 15. 進路についてしっかり考える余裕がない
14. 自分の時間が取れない 17. アルバイトができないう
16. 受験の準備ができないう
18. 特に影響はない

問 52-6 お世話について相談した経験がありますか。(○は1つだけ)

1. ある 2. ない

問 52-7 お世話について相談した相手は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 家族 (父、母、祖父、祖母、きょうだい) 2. 親戚 (おじ、おば)
3. 友人 4. 学校の先生
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その他病院の人 8. 市役所や保健所の人
9. ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
10. SMS 上での知り合い
11. その他 ()



さうっ～

あともう少しだべさ～

8 社会環境について

問 53 親や学校の先生以外の大人からほめられたり、注意されたことがありますか。
(それぞれ○は1つだけ)

①ほめられたこと。

1. ある 2. ない

②注意されたこと。

1. ある 2. ない

問 54 小学校にまだ通っていない小さい子どもと接することについてお聞きします。最近、小さい子どもと接しましたか。
(○は1つだけ)

1. 接した 2. 接していない → 問54-2へ

問54で「1. 接した」と答えた方にお聞きします。

問 54-1 子どもの印象はどうでしたか。(○は1つだけ)

1. かわいかった 2. 大事にしたいと思った
3. あまり好きになれなかった 4. どう接していいのかわからなかった
5. 面倒くさかった 6. その他()

問54で「2. 接していない」と答えた方にお聞きします。

問 54-2 接してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う 2. 思わない

問54-2で「2. 思わない」と答えた方にお聞きします。

問 54-2-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 子どもには関心がない 2. うるさい
3. 手に負えない 4. どう接したらいいかわからない
5. その他()

問 55 放課後、休日、夏休みなどにボランティアをしたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある 2. 今まではないがこれからしてみたい
3. 今までもないしこれからもするつもりはない → 問55-2へ

問55で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 55-1 ボランティアをしてみてもう感じましたか。(○はいくつでも)

1. 活動の内容が面白かった 2. 友達ができよかった
3. 人に喜ばれてうれしかった 4. なんとなくすがすがしい気分になった
5. つかれた 6. つまらなかった
7. その他()

問55で「3. 今までもないしこれからもするつもりはない」と答えた方にお聞きします。

問 55-2 それはどうですか。(○は1つだけ)

1. 忙しくて時間がない 2. どんなことをしたらいいかわからない
3. ボランティアに関心がない 4. その他()

9 最後に

問 56 今の生活についてどう思いますか。(○は1つだけ)

1. 満足している 2. まあまあ満足している
3. 普通 4. 少し不満
5. とても不満 → 問56-2へ

問56で「1. 満足している」「2. まあまあ満足している」と答えた方にお聞きします。

問 56-1 そう思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. これといった悩みがない 2. 家族の仲がいい
3. 友人関係がうまくいっている 4. 学校生活が楽しい
5. 趣味に打ち込んでいる 6. 将来の夢に向かってがんばっている
7. その他()

問 56で「4. 少し不満」「5. とても不満」と答えた方にお聞きます。

問 56-2 そう思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 家族との仲がうまくいっていない
2. 友達とうまくいっていない
3. お金が足りない
4. パイトで忙しい
5. 部活・塾で忙しい
6. 悩んでいる・困っていることがある
7. その他 ()

問 56-2で「3. お金が足りない」と答えた方にお聞きます。

問 56-3 欲しい物で買えない・買ってもらえない物は何ですか。(○はいくつでも)

1. 文房具
2. 雑誌・本
3. 服・靴
4. カバン・アクセサリー
5. スマートフォン
6. ゲーム機
7. 楽器
8. スポーツ用品
9. その他 ()

問 56-4 買えない・買ってもらえない理由は何か。(○はいくつでも)

1. 高額のため
2. 不便と言われた
3. 置き場所がない
4. 自分で買えるお金がない
5. 家族にお金がないので頼めない
6. お金はあるが家族に頼めない
7. その他 ()

問 57 あなたは、将来どのような大人になりたいですか。(○は2つまで)

1. 社会に貢献したい
2. 有名人になりたい
3. 自分の個性や才能を生かしたい
4. お金持ちになって豊かな生活をしたい
5. 好きなことをしながら生活したい
6. 家族や周りの人たちと円満に楽しく暮らしたい
7. 思いやりのあるやさしい人になりたい
8. 夢や生きがいには特にならない
9. その他 ()
10. わからない・特にならない

問 58 市の情報（イベント情報、災害情報など）をどの方法で知りたいですか。
(○はいくつでも)

1. 市報
2. 市公式ホームページ
3. 市公式SNS (X (旧 Twitter)、Facebook、LINE)
4. 市からの郵送物
5. ポスター
6. パンフレット
7. その他 ()

問 59 あなたは、東大和市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。
(○は3つまで)

1. 青少年や若者が参加できるイベントや意見を発表できる機会をつくり、情報を提供する
2. 地域活動や体験活動などの社会参加を通じて、家庭・学校・地域がともに青少年を育成するまちづくりをする
3. 青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
4. 子どもから大人まで、青少年活動のリーダーとなる人を養成する
5. 経済的な困難を抱えている家庭を支援する
6. いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口となる人を養成する
7. 放課後などに気軽にに行ける安全な居場所を提供する
8. 多様な授業（国際交流等）を取り入れるなど、学校教育を充実させる
9. 美術館やたばこなどの有害なものから子どもたちを守り、非行や犯罪防止につとめる
10. インターネットの適正な利用について学ぶ機会を充実させる
11. 就職に向けた相談やサポート体制を充実させる
12. 性の悩み相談など、思春期の子どもを支援する
13. 結婚相談所や出会いの場の提供など、若者が結婚しやすい環境をつくる
14. ヤングケアワーカーの子どもたちを支援する
15. ニートや引きこもりに関する相談や支援を充実させる
16. 特にならない

○東大和市に取り組んでほしいことがありましたら、自由にご記入ください。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
三つ折りにし、切手は貼らずに同封の封筒でポストに入れてください。

5 若者

東大和市では、すべての若者が、誰ひとり残されず夢と希望を持って成長・活躍していけるよう、日常生活や社会生活の自立と安定を目標とした支援の方針を検討しています。

このアンケートでは、皆さんの普段のくらしの様子や、どのような気持ちで過ごしているのか、将来どのようなかについて、皆さんから直接の回答をいただきたいと考え、市内の18～34歳の皆さんに調査への協力をお願いすることになりました。

お答えいただいた内容は、東大和市で行うさまざまな施策や取組に反映していきたいと考えています。施策や取組をより皆さん自身の意見や希望に沿ったものとするために、どうぞ皆さんの本音の気持ちや考えを教えてください。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます



東大和市子ども・子育て支援推進協議会

全ての子ども・若者・子育て家庭を総合的に支援する計画

計画に基づいて実施

①子ども・若者の権利を守り、最善の利益を図る
②子ども・若者や子育て当事者とともに計画を推進
③ライフステージに応じた切れ目ない支援
④良好な成長環境の確保と、貧困・格差の解消
⑤新しい世代の生活基盤の安定確保と結婚・子育ての希望を実現
⑥施策の総合性を確保



5-1-1

あなたの声が東大和市の
未来をつくります！

東大和市子ども・若者・子育て支援ニーズ調査

《調査へのご協力をお願い》

日頃から、東大和市政への理解、ご協力をいただいております。さて、東大和市では、子ども・若者・子育てに関する施策や事業を推進するための、子ども・若者を総合的に支援する計画「東大和市子ども・子育て未来プラン」の次期計画の策定を予定しています。

新たな計画策定に向けて、市民の皆様の生活実態やご要望・ご意見を把握し、今後の計画に反映させていただくため、本調査にご協力をお願いします。

この調査は、未就学児の保護者、小学生の保護者、中学生、高校生相当の年齢の方、18～34歳の若者を対象としており、令和5年12月1日現在で本市に在住する各年代の方を様々集めていただきたいと思います。調査にご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはございません。

令和6年2月

東大和市長 和地 仁美

【ご記入に当たってのお願い】

■質問には、選択肢の番号に○を付けるほか、回答欄に選択肢の数字や字句をご記入いただく場合があります。また、回答によりお答えいただく設問に指定があります。記載の設問番号や矢印等、質問の指示にそって回答をお願いします。

※回答時間は15分程度です

■回答は郵送またはインターネットで行うことができます。インターネットでの回答は下記のURLまたは二次元コードからアクセスしてください。インターネットで回答した場合は、この調査用紙の提出は不要です。

URL: <https://questant.jp/q/020228/q>

ID: ●●●●



ご記入いただいたアンケートはインターネットから回答もしくは何封の返信用封筒に入れ、**令和6年3月4日（月）**までに、お近くの郵便ポストへ投函してください。切手は必要ありません。

■調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【調査の趣旨に関すること】

【設問の内容に関すること】

株式会社 名量（委託業者）

東大和市子ども未来部子育て支援課

子育て推進係

所在地 東大和市中 3-430

電話 042-563-2111（内線1765）

FAX 042-563-5928

e-mail kazuo@shianfcty.higashiyamata.lg.jp

所在地 愛知県名古屋市中区栄 2-2-33

電話 052-322-0071

FAX 052-322-0130

1 はじめに、あなたの性別、年齢を教えてください。

F1 性別

1. 男 2. 女 3. その他 4. 回答しない

F2 年齢

歳 () 歳

2 あなたの、普段の生活についてお聞きます。

問1 あなたが同居している方で、あてはまる人をお答えください。また、同居している人数（あなたも含め）も教えてください。

(1) 同居している方 (〇はいくつでも)

1. 父 2. 母 3. 兄
4. 姉 5. 弟 6. 妹
7. 祖父 8. 祖母 9. 配偶者・パートナー
10. ご自身のお子さん 11. その他 ()

(2) 同居している人数（あなたも含め）

() 人

問2 あなたの学生時代、家族の中にあなたが世話（ケア）をしている人はいいます（した）か。
（ここで「お世話」とはホストがやっていると思われる家事や家族の世話などをするこ
とです。） (〇は1つだけ)

1. いる (いた) 2. いない (いなかった) → 問6へ

問2で「1」と答えた方のみ、問3～問5の質問に回答してください。

問3 お世話（ケア）を必要としている方（していた方）はどなたですか。(〇はいくつでも)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父
5. きょうだい 6. その他 ()

問4 お世話（ケア）を必要としている方（していた方）の状況やあなたがやっている（行
っていた）お世話とは何ですか。

1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯） 2. きょうだいの世話
3. 身体的な介護（入浴やトイレの世話等） 4. 通院の付き添い
5. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
6. 見守り 7. 通訳（日本語や手話など）
8. 金銭管理 9. 車の管理
10. その他 ()

問5 家族のお世話（ケア）をしているために、自分の生活にどんな影響が出ている（出て
いた）と思いますか。(〇はいくつでも)

1. 学校を休みがちになっている 2. 学校への通利が多い
3. 部活ができにくい 4. 勉強の時間が充分に取れない
5. 授業に集中できない 6. 成績が落ちた
7. 友人と遊ぶことができない 8. 同僚の人と会話が話題が合わない
9. ケアについて話せる人がいなくて、寂しさを感じる 11. 睡眠不足
10. ストレスを感じている 12. 体がだるい
14. 自分の時間が取れない 15. 通院についてしっかりと考える余裕がない
16. 空余の準備ができていない 17. プルバイトができない
18. 特に影響はない

3 あなたの、現在の人間関係や悩み事についてお聞きします。

問6 あなたは、親友と呼べる友人がいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない → 問8へ

問6で「1」と答えた方のみ、問7の質問に回答してください。

問7 その人はどのような人ですか。次のうちからあてはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

1. 学生のとときに知り合った友人 2. 職場で知り合った友人
3. 趣味など、学校や職場以外で知り合った友人
4. 幼なじみ 5. ネット上で知り合った友人
6. その他()

問8 あなたは、家族とは仲が良いと思いますか。(○は1つだけ)

1. そう思う 2. ややそう思う
3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問9 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 非常に思う 2. 思う
3. 少し思う 4. 思わない

問10 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○は1つだけ)

1. 親 2. きょうだい 3. 友人・知人
4. 配偶者・パートナー 5. 祖父母 6. 学校の先生
7. 職場の同僚・上司 8. カウンセラー・精神科医 9. 都・市などの専門機関の人
10. ネット上の知り合い
11. その他()
12. 誰にも相談しない

問11 あなたが、現在の人間関係に関して不安に思っているものがあれば、次の中から選んでください。

(○はいくつでも)

1. 家族関係 2. 友人関係
3. 職場(アルバイト先)での人間関係 4. 恋愛のこと
5. その他()
6. 不安に思うものはない

問12 現在の状態(人間関係など置かれている環境や、不安に思っているもの・悩みなど)について、関係機関(例：市役所青少年課、東京都若者総合相談センター 若ナビα等)に相談したいと思えますか。(○は1つだけ)

1. 非常に思う 2. 思う 3. 少し思う 4. 思わない

東京都若者総合相談センター 若ナビα：若者やその家族等を対象とした無料相談窓口です。若者のさまざまな悩みに対応する総合窓口として、東京都内にある専門の窓口や支援機関等へつないだり、情報提供を行っています。

問13 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思えますか。(○はいくつでも)

1. 親身に聞いてくれる 2. 依頼できる人がいる 3. すぐに対応してくれる
4. 夜でも対応してくれる 5. 自宅から近い 6. 無料で相談できる
7. 医学的な助言をくれる 8. 心理学的専門家がいる 9. 精神科医がいる
10. 自宅に専門家が来てくれる 11. 同じ悩みを持つ人と出合える
12. あてはまるものはない 13. どのような機関にも相談したくない

問13で「13. どのような機関にも相談したくない」と答えた方のみ、回答してください。

問14 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分のことを知られたくない 2. 行っても解決できないと思う
3. 何をされるかわからないと思う 4. 相手にうまく話せないと思う
5. 行ったことを人に知られたくない 6. お金がかかると思う
7. 相談機関が近くにない
8. その他() 9. 特に理由はない

問15 あなたはどの程度、孤独であると感じていますか。(○は1つだけ)

1. 決してない 2. ほとんどない
3. たまにある 4. 時々ある
5. しばしばある・常にある

4 仕事に関することについてお聞きします。

問16 あなたは現在働いていますか。(○は1つだけ)

1. 勤めている(正社員)
2. 勤めている(契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生のアルバイトは除く))
3. 自営業・自営業
4. 専業主婦・主夫又は家事手伝い
5. 学生(予備校生を含む)
6. その他()
7. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
8. 無職

問16で「2」と答えた方のみ、問17～問18の質問に回答してください。(○はいくつでも)

- 問17 あなたは現在の雇用形態について不安なことはありますか。(○はいくつでも)
1. 立場が不安定
 2. 収入が少なく
 3. スキルアップが困難
 4. 金銭的困窮等の使用を受けにくい
 5. 周りからの評価や期待が低い
 6. その他 ()
 7. 不安なことは無い

問18 あなたは、正社員として就職したいですか。(○は1つだけ)

1. したい
2. このままでも良い

問19 あなたは「2」と答えた方のみ、問19の質問に回答してください。

問19 あなたが、現在の雇用形態のままで良いと考える理由であてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 時間の融通がきくから
2. 好きな仕事ができるから
3. 仕事以外にやりたいことがあるから
4. あまり責任を感じずに済むから
5. 定額にしたいと思う仕事が無いから
6. 今のままでも十分に収入があるから
7. 主に家事や育児をしているから
8. その他 ()

問20 あなたは「7」「8」と答えた方のみ、問20～21の質問に回答してください。

- 問20 あなたは現在就職活動や、進学のための勉強などをしていますか。(○は1つだけ)
1. している
 2. していない

問21 あなたは現在仕事をしたいと思っていますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい
2. 仕事をしにくい

問22 あなたは「2」と答えた方のみ、問22の質問に回答してください。

- 問22 あなたが仕事をしにくいと思う理由について教えてください。
1. 人間関係がうまくいかない
 2. 給料が合わない
 3. 仕事や職場が合わない
 4. 自由な時間が欲しい
 5. 「お金を稼ぎたい」という気持ちがない
 6. 体力的につらい
 7. 働く意味が見いだせない
 8. その他 ()

5 結婚・将来のことについてお聞きします。

問23 あなたは現在配偶者がいますか。(○は1つだけ)

1. いる
2. いない

問24 「1」と答えた方のみ、問24の質問に回答してください。

問24 現在結婚している方は結婚した理由について、当てはまるもの全てをお選びください。(○はいくつでも)

1. 好きな人と一緒に生活をしたがから
2. 子供がほしいから
3. 精神的な安らぎの場を持ちたいから
4. 一人では寂しいから
5. 両親や親類を安心させたいから
6. 経済的な安定を助たいから
7. 老後が心配だから
8. 社会的に認められたいから
9. 仕事や家事の負担を減らしたいから
10. 家から出たいから
11. その他 ()
12. 答えたくない

問25 「2」と答えた方のみ、問25の質問に回答してください。

問25 あなたは、現在交際しているパートナーはいますか。(○は1つだけ)

1. いる
2. いない

問26 あなたは、いつかは結婚して家族を持ちたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問27 「1」と答えた方のみ、問27の質問に回答してください。

問27 あなたが現在結婚について抱えている不安として、当てはまるものを次のうちから選んでください。(○はいくつでも)

1. 適当な相手にめぐりあえるか
2. 経済的な面
3. 自分の自由な時間をもてるか
4. 家族を持つ責任が重いこと
5. 家事の分担について
6. 自分の雇用が安定しないこと
7. 仕事(学業)と両立できるか
8. 親や周囲が同意しないこと
9. 同性間の婚姻が法的に認められていないこと
10. その他 ()

問 26で「2」と答えた方のみ、問 28の質問に回答してください。

問 28 あなたが結婚したくないと考える理由を次のうちからお答えください。(○はいくつでも)

1. 適当な相手にめぐりあわないから
2. 経済的な面
3. 自分の自由な時間をもてないから
4. 家族を持つ責任が重いから
5. 家事の負担があるから
6. 自分の雇用が安定していないから
7. 仕事(学業)と両立できないから
8. 親や周囲が同意しないから
9. 同僚間の婚姻が法的に認められていないから
10. その他()

問 29 あなたの理想とする子どもの数と、現実の子どもの数は何人ですか。(○はそれぞれ1つだけ)

(1)理想	(2)現実	選択数
1	1	1人
2	2	2人
3	3	3人
4	4	4人
5	5	5人以上
6	6	子どもは欲しくない(理想) / 現在子どもはいない(現実)

問 29で、現実の子どもの数が、理想の子どもの数より少ない回答をされた方は、問 30～32の質問に回答してください。

問 30 あなたが理想とする子どもの人数は、実現可能だと思いますか。(○はい1つだけ)

1. 実現可能だと思います
2. 実現することは難しいと思う

問 30で「2」と答えた方は、問 31～32の質問に回答してください。

問 31 実現することが難しいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 子育てのための経済的負担が大きすぎるから
2. 子どもが将来どう育つか不安になるなど、精神的負担が大きすぎるから
3. 子育てのための肉体的負担が大きすぎるから
4. 仕事と子育ての両立が困難だから
5. 子育てより自分の時間を大切にしたいから
6. 子育てをするための住宅事情が悪いから
7. 年齢的あるいは健康上の理由から
8. その他()

問 32 子どもを欲しいと思う理由について、当てはまるものを全てお選びください。(○はいくつでも)

1. 子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから
2. 子どもが好きだから
3. 好きな人の子子どもが欲しいから
4. 結婚して子どもを育てることは自然なことだから
5. 親や友人が子育てしている様子を見て、良いイメージがあるから
6. 子どもは老後の支えになるから
7. 交際相手や親など周囲が望むから
8. 子どもを育てることによって周囲から認められるから
9. 有名人が子育てをしている様子を見て、良いイメージがあるから
10. その他()
11. 答えたくない

7

問 29で「1」結婚の子どもの数に「6」と答えた方のみ、問 33の質問に回答してください。

問 33 子どもを欲しくないと思う理由について、当てはまるものを全てお選びください。(○はいくつでも)

1. 結婚をするつもりがないから
2. 夫婦だけで暮らしたいから
3. 仕事を優先させたいから
4. 趣味・娯楽を優先させたいから
5. 友人との関係を優先させたいから
6. 健康上の理由から
7. 妊娠・出産が大変だと思うから
8. 経済的に不安があるから
9. 子育てをする自信がないから
10. 子どもが好きではないから
11. 社会全体が子どもや子育てにやさしくないから
12. その他()
13. わからない

問 34 子ども・子育てにやさしい社会を作る上で、有効だと思う取組は何だと思いますか。当てはまるものを全てお選びください。(○はいくつでも)

1. 子ども・子育てに関する社会の理解促進
2. 公共・民間施設での育児サービスの充実(おむつ替えスペース等)
3. 移動しやすい環境整備(公共交通機関での優先スペース等)
4. 行政による子育て支援の情報提供
5. 子ども・子育てを応援する地域や企業の取組紹介
6. 地域での子育て支援の促進(地域ボランティア等)
7. 子育て中の父親・母親同士が交流できるきっかけづくり
8. その他()
9. わからない

問 35 夢を持つことについて、次の項目ごとにあなたの考えに最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(○は各項目につき1つ)

	そう思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない
A. 夢や希望を持つことは大切なことだと思う	1	2	3	4
B. 夢や希望を持つなら実現できる確度が高い	1	2	3	4
C. 夢や希望を持つことはかっこいいと思う	1	2	3	4
D. 夢や希望を持ってもしかなかった	1	2	3	4
E. 夢や希望を持つなら大きい方がいいと思う	1	2	3	4
F. 夢や希望に向かって頑張るということは大切なことだと思う	1	2	3	4
G. 将来の夢はなんとしてでも叶えたい	1	2	3	4

問 36 あなたが将来に関することで不安に思っていることがあれば、次のうちから選んでください。(○はいくつでも)

1. 就職のこと
2. 進学のこと
3. 結婚のこと
4. 健康のこと
5. 経済的なこと
6. その他()

8

6 あなた自身のことについてお聞きします。

問 37 次の文にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。
(○は各項目につき1つ)

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ
A. 自分に自信がある	1	2	3	4
B. いろいろなことに積極的に挑戦することができ	1	2	3	4
C. 自分のことが好き	1	2	3	4
D. 自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺(どうよう)する	1	2	3	4
E. 人というと、馬鹿にされたり軽く扱われはしないかと不安になる	1	2	3	4
F. 大事なことを決めるときは、親や教師の言うことに従わないと不安だ	1	2	3	4
G. 大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ	1	2	3	4
H. 社会のために役に立つことをしたい	1	2	3	4
I. 自分の目標はなんとしてでも叶えたい	1	2	3	4
J. 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む	1	2	3	4
K. 自分の感情を表に出すのが苦手だ	1	2	3	4
L. 周りの人ともめごとが起ったとき、どうやって解決したらいいかわからない	1	2	3	4
M. たどえ観であっても自分のやりたいことに口出ししないで欲しい	1	2	3	4
N. 自分の生活のことで人から干渉されたくない	1	2	3	4
O. 家や自室に閉じこもって外に出ない人たちの気持ちかわかる	1	2	3	4
P. 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある	1	2	3	4
Q. 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる	1	2	3	4
R. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのとは仕方がないと思う	1	2	3	4
S. 自決を考えたことがある	1	2	3	4

問 38 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(○は1つだけ)

1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない

問 39 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。(○は各項目につき1つ)

	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	あてはまるものはない。
A. 自分の部屋	1	2	3	4	5
B. 家(実家や親族の家を含む)	1	2	3	4	5
C. 学校(卒業した学校を含む)	1	2	3	4	5
D. 職場(過去の職場を含む)	1	2	3	4	5
E. 地域(図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所 そこにある建物など)	1	2	3	4	5
F. インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	1	2	3	4	5

7 公共施設・関係機関や政策についてお聞きします。

令和2(2020)年、東大和市に生むすべての人たちが、みんなて明るい未来を目指し、それぞれが、自分らしく成長していけるように、「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」をつくりました。「やくそく」には、子どもと大人、それぞれがお互いに呼びかけ合い、お互いの心を通じ合わせるといふ思いを込めました。

詳しくはこちらの二次元コードよりアクセスしてください。



問40 東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)を知っていますか？
(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない

問41 市の情報(子育て情報、災害情報など)をどの方法で知りたいですか。(○はいくつでも)

1. 市販 2. 市公式ホームページ
3. 市公式SNS(X(旧Twitter)、Facebook、LINE) 4. 市からの郵便物
5. ポスター 6. パンフレット
7. その他()

問42 あなたは、東大和市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。
(○は3つまで)

1. 青少年や若者が参加できるイベントや意見を発表できる機会をつくり、情報を提供する
2. 地域活動や体験活動などの社会参加を通じて、家庭・学校・地域がともに青少年を育成するまちづくりをする
3. 青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
4. 子どもから大人まで、青少年活動のリーダーとなる人を養成する
5. 経済的な困難を抱えている家庭を支援する
6. いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する
7. 放課後などに気軽にに行ける安全な居場所を提供する
8. 多様な投資(国際交流等)を取り入れるなど、学校教育を充実させる
9. 果物やたばこなどの有害なものから子どもたちを守り、非行や犯罪防止につとめる
10. インターネットの適正な利用について学ぶ機会を充実させる
11. 保護にに向けた相談やサポート体制を充実させる
12. 性の悩み相談など、思春期の子どもを支援する
13. 結婚相談所や出会いの場の提供など、若者が結婚しやすい環境をつくる
14. ヤングケアラーの子どもたちを支援する
15. ニートや引きこもりに関する相談や支援を充実させる
16. 特になし

問43 最後に、若者に関する政策全般について、東大和市への思いや望むことなど自由に
お書きください。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
三つ折りにし、切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

東大和市
子ども・若者・子育て支援ニーズ調査
調査結果報告書

令和6年5月

発行：東大和市 子ども未来部 子育て支援課
T E L : 042-563-2111
F A X : 042-563-5932